

平成26年度国土交通省補助事業

平成26年度住宅市場技術基盤強化推進事業  
住宅省エネ化推進体制強化事業

～省エネ設計・施工に関する実態調査～  
報告書

平成27年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会



《目次》

1. 業務の目的	1	7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討	93
2. 業務の内容	1	(1) 資料等についての検討	93
3. 調査の内容	2	① 施工技術者講習の資料(テキスト、DVD、カットモデル)	
(1) 共通事項	2	② 設計者講習の資料(テキスト)	
(2) 省エネ設計・施工の実態把握	2	③ 新たな資料の検討	
(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集	5	(2) 講習内容、説明方法	94
(4) 講習会運営に関する情報収集	5	① 基本編について(施工技術者講習、設計者講習共通)	
4. 調査の実施概要	8	② 施工編について(施工技術者講習)	
(1) 調査実施概要	8	③ 設計編について(設計者講習)	
(2) アンケート調査票	10	(3) 講師	94
(3) 回答者の属性	14	(4) 修了考査	94
5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果	16	(5) 演習(設計者講習のみ)	94
(1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料	16	8. 講習会運営に関する調査結果	95
(2) 施工技術者講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ	36	(1) 講習会開催の認知経路	95
(3) 今回の講習内容で施工する場合の手間	39	(2) 講習会への参加動機	96
(4) 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時のチェックに使用する図面	42	(3) 講習時間	97
(5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル	43	(4) 講習会運営に関する意見	101
(6) 計算経験のある断熱性能	44	(5) 講師、スタッフ、受講者への意見	105
(7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先	45	9. 今後の講習会運営に関する検討	106
(8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発	46	(1) 広報・開催案内	106
(9) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果のまとめ	47	(2) 会場・設備	106
6. 講習内容・資料検討に関する調査結果	51	(3) 講習時間	106
(1) 施工技術者講習	51	(4) 受講者のマナー違反対策	106
① 講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)		(5) 講師、会場スタッフのマナー	106
② 講習内容、説明方法		《資料編》	
③ 修了考査		・平成26年度講習会アンケート調査結果	
④ 講師の説明			
(2) 設計者講習	70		
① 講習会資料(テキスト)			
② 講習内容			
③ 演習			
④ 修了考査			
⑤ 講師の説明			

本文中の略称凡例

- ・全国協議会：全国木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・地域協議会：各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・施工技術者講習会 および 施工C  
：住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会
- ・設計者講習会 および 設計C  
：住宅省エネルギー技術 設計者講習会



## 1. 業務の目的

---

平成 26 年度国土交通省補助事業である住宅市場技術基盤強化推進事業「住宅省エネ化推進体制強化事業」において、新築住宅の省エネ基準適合率を平成 32 年度までに 100%とすることを旨し、地域の木造住宅生産を担う中小工務店の断熱施工技術の向上、及び木造住宅設計者の断熱設計技術の向上を図るため、全国各地域において施工技術者・設計者を対象とした講習会を実施した。

本業務は上記講習会において、省エネ設計・施工に関する実態調査をアンケート形式により実施し、省エネ設計・施工の現状と実態の把握を目的とする。

併せて講習会の内容、資料、運営面についてもアンケートを実施し、今後の講習会の方向性、運営方法の検討を行うことを目的とする。

## 2. 業務の内容

---

本業務の内容は以下の通りとする。

- ①アンケート調査票の作成
- ②アンケート調査票の配布、回収
- ③調査結果の集計
- ④調査結果の分析・まとめ

### 3. 調査の内容

---

本調査は省エネ設計・施工の実態把握、及び住宅省エネルギー技術施工技術者講習会・設計者講習会の運営・資料作成の検討に資する情報の収集を目的として実施した。平成24・25年度に実施された調査の3年目の調査である。調査内容は今年度もこれまでと同様としており、以下に内容を示す。

#### (1) 共通事項

##### ①調査方法

調査票を用いたアンケート調査。

A 4 × 2 枚、回答所要時間 10～15 分程度の内容とした。

##### ②回答者属性の把握

年齢層、職種、業種を把握した。

#### (2) 省エネ設計・施工の実態把握

##### ①省エネ設計・施工の実態把握の視点

省エネ設計・施工の実態把握を以下の視点から行った。

- 多用される断熱工法、断熱材料は何か。
- 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
- 講習会で説明する施工方法と現状の施工実態に相違があるか。
- 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。
- 多用される省エネレベルは何か。
- 省エネ性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。
- 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているか。
- 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

## ②調査対象者

調査対象者は、質問の内容によりそれぞれ現場施工者、設計者、現場管理者を対象とした。

### ●現場施工に関する質問

主に現場施工者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された施工技術者講習の受講者を対象とした。

### ●設計、現場管理に関する質問

主に設計者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された設計者講習の受講者を対象とした。

## ③具体的な調査内容

### 1) 現場施工、設計、現場管理に共通する質問

#### ●普段携わっている断熱工法は何か、断熱材料は何か。

- ・多用される断熱工法、断熱材料は何かを把握。
- ・取合い部分における断熱工法、断熱材料にはそれぞれどのような組合せが多いかを把握。
- ・取合い部分とは「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」とした。
- ・断熱工法毎に断熱材料は何が多用されているのかを把握。
- ・断熱工法は部位毎に以下の工法を選択肢とした。

《屋根・天井》天井断熱、屋根野地上断熱、垂木間充填断熱。

《外壁》充填断熱、外張断熱、充填外張併用断熱。

《床・基礎》床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)、床断熱(根太+大引間充填)、基礎断熱。

- ・断熱材料はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)、その他を選択肢とした。

#### ●断熱・施工方法の情報入手先

- ・省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのかを把握。
- ・職場内研修、住宅生産関連団体の講習会などから、公的講習会・仕様書から、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから、建築雑誌から、その他を選択肢とした。

#### ●最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・「断熱住宅」のキーパーソンは誰かを把握。
- ・設計従事者、施工管理者、現場施工者、建築主、その他を選択肢とした。

## 2) 主に現場施工に関する質問

現場の施工実態と理想形(施工技術者講習会で示す原理原則)とのギャップには何があるか、どれくらいあるかを把握した。また自由記述からも意見を抽出した。現実の施工とギャップがあった場合、改善していく為には今後の講習会で何に取り組むべきか、テキストなどに何を追加または割愛すべきか、講習会以外にもギャップを埋める為にどんなサポート出来るのかを結果から考察する。

- 講習を受講して、普段の施工方法に勘違い等があったか。
  - ・現場施工者は正しい断熱施工を把握しているかを確認。
  - ・施工技術者講習会の受講内容を基準として「今まで正しく施工していなかったところ」、「難しい・やりにくいなと感じたところ」はどこか。
  - ・「講習内容の施工」に取り組むためのハードルはどの部分か。
  - ・壁への施工、屋根への施工、天井への施工、下屋への施工、筋かい部への施工、真壁への施工、浴室への施工、気流止めの施工、基礎への施工、その他を選択肢とした。
  
- 適切な施工を行うにはどの程度の手間賃のアップが必要か。
  - ・現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
  - ・「講習内容の施工」に取り組みにくいか、取り組みやすいか。感じている負担度合いを把握。
  - ・ほとんど変わらない、坪あたり〇〇人工程度増加、坪あたり〇〇人工程度減少を選択肢とした。
  - ・人工増なら普段は「講習内容の施工」をしていないと解釈した。
  - ・人工増は何人工ほどの増となるかを把握。

## 3) 主に設計、現場管理に関する質問

- 断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面は何か。
  - ・設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何をを用いているか。
  - ・特記仕様書、仕上表、平面図、平面詳細図、矩計図、その他を選択肢とした。
  
- 普段携わっている省エネ基準レベルは何か。
  - ・多用されている省エネレベルを把握。
  - ・H11年基準(次世代基準・等級4)、H4年基準(新基準・等級3)、S55年基準(旧基準・等級2)、H11年基準以上を選択肢とした。

- 断熱性能の計算経験はあるか。
  - ・断熱性能を把握するための計算がどれくらい行われているかという点から、断熱設計への取り組み実態を把握。
  - ・年間冷暖房負荷、Q値(熱損失係数)、U値(部位熱貫流率)、R値(熱抵抗値)を選択肢とした。

### (3) 講習内容・資料検討に関する情報収集

講習資料、講習内容、修了考査、講師について受講者の感想を把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。

#### ①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習のC講習受講者。

#### ②具体的な調査内容

- テキスト等の講習資料、講師
  - ・大変わかりやすかった、わかりやすかった、普通、わかりにくかった、大変わかりにくかったを選択肢とした。
- 講習内容、修了考査、演習
  - ・難しかった、難しいとは思わない、易しいを選択肢とした。

### (4) 講習会運営に関する情報収集

講習会開催情報の認知経路、参加理由、講習時間について把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。

#### ①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習の受講者。

#### ②具体的な調査内容

- 講習会開催情報の認知経路
  - ・会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて、各都道府県の地域協議会からの情報、所属業界団体(会社等)からの情報・依頼、その他を選択肢とした。

●参加理由

- ・これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから、所属業界団体または会社等から受講を指示されたから、その他を選択肢とした。

●講習時間

- ・長い、ちょうどよい、短いを選択肢とした。

属性	NO	質問内容 [選択肢]	施工技術者講習	設計者講習	
			施工C	設計C	
属性	1	業種 [1.工務店 2.住宅メーカー/建設会社 3.設計事務所 4.その他( )]	質問1	質問1	
	2	職種 [1.施工 2.現場管理 3.設計 4.その他( )]	質問2	質問2	
	3	年齢層 [1.19歳以下 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60歳代以上]	質問3	質問3	
省エネ設計 施工の実態把握	4	普段施工(設計または現場管理)している断熱工法(※:( )内は設計者講習での設問文面)(複数選択) ①屋根・天井[1.天井断熱 2.屋根野地上断熱 3.垂木間充填断熱] ②外壁 [1.充填断熱 2.外張断熱 3.充填外張併用断熱] ③床・基礎 [1.根太間充填床断熱 2.大引間充填床断熱 3.根太+大引間充填床断熱 4.基礎断熱]	質問11-1	質問12-1	
	5	上記で回答した工法で使っている断熱材(複数選択) ①屋根・天井[1.2・3] ②外壁[1.2・3] ③床・基礎[1.2・3] [1.グラスウール,ロックウール 2.発泡プラスチック系断熱材(ホト状) 3.その他( )]	質問11-2	質問12-2	
	6	断熱施工の中で ①今まで正しく施工していなかったところ[1.2・3・4・5・6・7・8・9・10](複数選択) ②難しいやりにくいなと感じたところ[1.2・3・4・5・6・7・8・9・10](複数選択) [1.壁への施工 2.屋根への施工 3.天井への施工 4.下屋への施工 5.筋かい部への施工 6.真壁への施工 7.浴室への施工 8.気流止めの施工 9.基礎への施工 10.その他( )]	質問11-3	-	
	7	今回の講習内容で施工する場合の時間は普段と比べてどれくらい変わるか。 [1.ほとんど変わらない 2.坪あたり( )人工程度増加する 3.坪あたり( )人工程度減少する]	質問11-5	-	
	8	断熱仕様について設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面(複数選択) ①屋根・天井[1.2・3・4・5・6] ②外壁[1.2・3・4・5・6] ③床・基礎[1.2・3・4・5・6] [1.特記仕様書 2.仕上表 3.平面図 4.平面詳細図 5.炬計図 6.その他( )]	-	質問12-3	
	9	普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル [1.H11年基準(次世代/等級4)以上 2.H4年基準(新/等級3) 3.S55年基準(旧/等級2) 4.S55年基準以下]	-	質問12-4	
	10	計算したことのある性能値(複数選択) [1.年間冷暖房負荷 2.Q値(熱損失係数) 3.U値(部位熱貫流率) 4.R値(熱抵抗値)]	-	質問12-5	
	11	断熱・施工方法に関する情報の主な入手先(複数選択) [1.職場内研修から 2.住宅生産関連団体の講習会などから 3.公的講習会・仕様書から 4.建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 5.建築雑誌から 6.その他( )]	質問11-4	質問12-6	
	12	最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か(複数選択) [1.設計従事者 2.施工管理者 3.現場施工者 4.建築主 5.その他( )]	質問11-6	質問12-7	
	講習内容・資料関連	13	施工技術者講習の資料について ①テキスト[1.2・3・4・5] ②DVD[1.2・3・4・5] ③カットモデル[1.2・3・4・5] [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問7	-
		14	施工技術者講習の講義内容について ①基本編テキストについて 1)これからの住まい[1.2・3] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1.2・3] 3)断熱設計/開口部設計[1.2・3] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1.2・3] ②施工編テキストについて[1.2・3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問8	-
		15	設計者講習のテキストについて [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	-	質問7
16		設計者講習の講義内容について ①基本編テキストについて 1)これからの住まい[1.2・3] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1.2・3] 3)断熱設計/開口部設計[1.2・3] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1.2・3] ②設計編テキストについて 1)外皮性能の計算[1.2・3] 2)一次エネルギー消費量の計算[1.2・3] 3)仕様基準による基準判定方法[1.2・3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問8	
17		設計者講習の演習について [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問9	
18		修了考査について [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問9	質問10	
19		講師の説明について [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問10	質問11	
講習会運営関連	20	講習会を何で知ったか(複数選択) [1.会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2.各都道府県の地域協議会からの情報 3.所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4.その他( )]	質問4	質問4	
	21	講習会への参加理由・目的(複数選択) [1.これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2.所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3.その他( )]	質問5	質問5	
	22	講習時間について [1.長い 2.ちょうどよい 3.短い]	質問6	質問6	
共通	23	自由記述	質問12	質問13	

図 3-1 質問内容、対象講習一覧

平成26年度 標準カリキュラム 施工技術者講習

時間割	講義科目
9:00～9:30 (30分)	受付
9:30～9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認
9:40～10:40 (60分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計
10:40～10:50 (10分)	【休憩】
10:50～12:05 (75分)	DVD放映 断熱施工(42分)、設備配管(30分)
12:05～13:00 (55分)	【昼休憩】
13:00～14:40 (100分)	『施工技術者講習テキスト-施工編』
14:40～14:55 (15分)	【休憩】
14:55～15:15 (20分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度
15:15～16:00 (45分)	模型解説
16:00～16:10 (10分)	修了考査問題配布、説明
16:10～16:40 (30分)	修了考査
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入
17:00	閉会

平成26年度 標準カリキュラム 設計者講習

時間割	講義科目
9:00～9:30 (30分)	受付
9:30～9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認
9:40～10:40 (60分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計
10:40～10:50 (10分)	【休憩】
10:50～12:15 (85分)	『設計者講習テキスト』 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算
12:15～13:15 (60分)	【昼休憩】
13:15～15:15 (120分) ※小休憩10分含む	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様基準による基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例 演習問題
15:15～15:30 (15分)	【休憩】
15:30～15:50 (20分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度
15:50～16:00 (10分)	修了考査問題配布、説明
16:00～16:40 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入
17:00	閉会

図 3-2 平成 26 年度住宅省エネルギー技術講習会標準カリキュラム

## 4. 調査の実施概要

---

### (1) 調査実施概要

- ・ 調査対象  
：主に現場施工者、現場管理者、設計者。
  
- ・ 調査期間  
：2014年8月～2015年2月
  
- ・ 調査場所  
：全国47都道府県で開催の平成26年度住宅省エネルギー技術施工技術者講習会及び設計者講習会場。延べ732会場。
  
- ・ アンケート票配布及び回収方法  
：講習会場にて教材と共に配布。  
終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。
  
- ・ アンケート票回収数  
：全国で24,009票。

地域	回答数
北海道	840
東北	3,032
関東	5,805
北陸	1,768
中部	4,022
近畿	2,679
中国	2,089
四国	1,170
九州・沖縄	2,604
全体	24,009

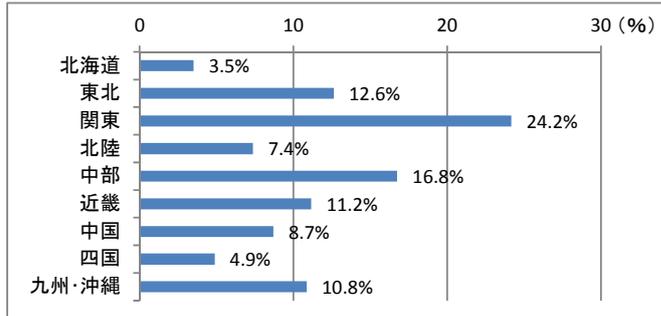


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数
北海道	北海道	840
東北	青森県	578
	岩手県	465
	宮城県	714
	秋田県	235
	山形県	419
関東	福島県	621
	茨城県	646
	栃木県	552
	群馬県	513
	埼玉県	674
	千葉県	588
	東京都	1,429
	神奈川県	1,109
	山梨県	294
	北陸	新潟県
富山県		367
石川県		389
福井県		177
中部	長野県	759
	岐阜県	796
	静岡県	1,019
	愛知県	1,094
	三重県	354
近畿	滋賀県	309
	京都府	366
	大阪府	1,017
	兵庫県	621
	奈良県	112
中国	和歌山県	254
	鳥取県	216
	島根県	396
	岡山県	575
	広島県	652
四国	山口県	250
	徳島県	213
	香川県	334
	愛媛県	443
九州・沖縄	高知県	180
	福岡県	628
	佐賀県	227
	長崎県	420
	熊本県	343
	大分県	198
	宮崎県	209
	鹿児島県	391
沖縄県	188	
全体	24,009	

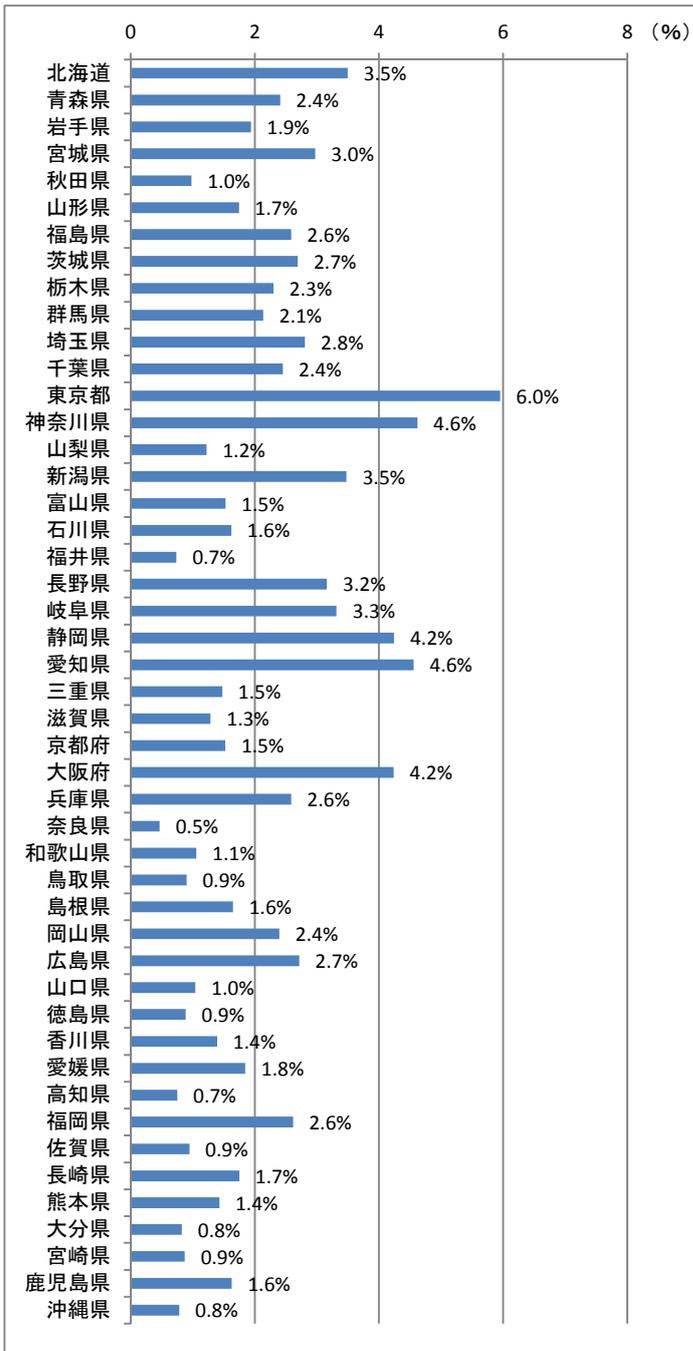


図 4-1-2b 都道府県別回答数

## (2) アンケート調査票

### ① 施工技術者講習アンケート調査票

施工技術者講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「省エネ講習会(施工技術者講習会)」に関するアンケート</u>		<b>施工 C</b>								
受講者各位		全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会								
<p>この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。 つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。</p>										
<p>受講日:平成 年 月 日( ) 会場: _____ 会場(都道府県名でお書きください)</p>										
回答者属性	<p><b>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</b>            1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他( )</p> <p><b>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</b>            1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他( )</p> <p><b>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</b>            1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>									
講習会運営に関する情報収集	<p><b>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</b>            1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて            2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報            3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼            4: その他( )</p> <p><b>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</b>            1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから            2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから            3: その他( )</p> <p><b>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○)</b>            1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>									
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p><b>質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○)</b></p> <p>7-1. テキスト            1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>7-2. DVD            1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>7-3. カットモデル            1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p><b>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</b></p> <p>8-1. 基本編テキストについて</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1)第1章 これからの住まい</td> <td style="width: 20%;">[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化</td> <td>[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計</td> <td>[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度</td> <td>[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</td> </tr> </table> <p>8-2. 施工編テキストについて [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p><b>質問9. 修了考査について (ひとつに○)</b>            1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p><b>質問10. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○)</b>            1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>		1)第1章 これからの住まい	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]
1)第1章 これからの住まい	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]									
2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]									
3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]									
4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度	[1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]									
		※ 裏面に続きます								
1										

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいなと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他( )
② 難しい・やりにくいなと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他( )

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他( )

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。(複数選択可)

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり( )人工程度増加する
3. 坪あたり( )人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他( )			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。


講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。  
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

## ②設計者講習アンケート調査票

設計者講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「省エネ講習会(設計者講習会)」に関するアンケート</u>		<b>設計 C</b>
受講者各位		全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
<p>この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。 つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。</p> <p>受講日:平成 年 月 日( ) 会場: _____ 会場(都道府県名でお書きください)</p>		
回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他( )</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他( )</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>	
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他( )</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要または参考にてできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他( )</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>	
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. テキストについてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. 基本編テキストについて</p> <p>1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>8-2. 設計編テキスト・省エネ基準編について</p> <p>1)第2章 外皮性能の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第3章 一次エネルギー消費量の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 仕様基準による基準判定方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問9. 演習についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>質問10. 修了考査についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>質問11. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>	
		※裏面に続きます

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )

12-4. 普段、目指している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。(複数選択可)

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

12-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他( )

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他( )			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。


講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。  
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

### (3) 回答者の属性

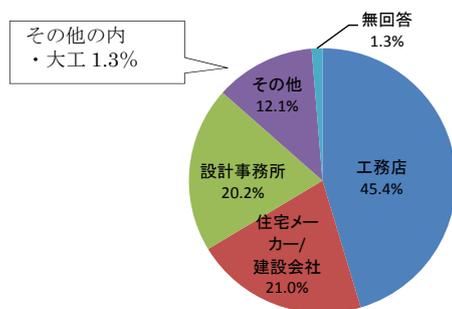
#### 1) 業種と職種

業種は工務店が 10,893 人(全体の 45.4%。以下同じ)、住宅メーカー・建設会社が 5,039 人(21.0%)、施工に関わる業種は合計 15,932 人(66.4%)であった。また設計事務所が 4,851 人(20.2%)であった。

設計者講習における回答者数は前年度 9,245 人から 1,264 人増えているが、設計事務所は前年度 5,243 人から 392 人減となっている。

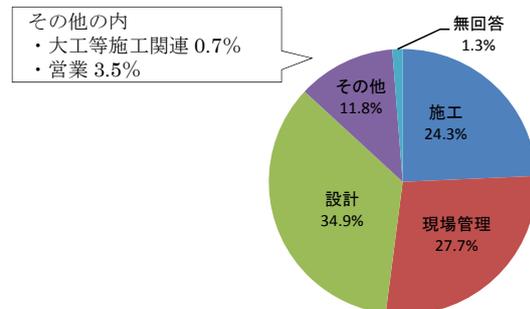
職種は施工が 5,833 人(24.3%)、現場管理が 6,661 人(27.7%)、施工現場に関わる職種は合計 12,494 人(52.0%)であった。また設計が 8,369 人(34.9%)、営業が 836 人(3.5%)であった。

施工は前年度 6,192 人から 359 人減(前年度比 94.2%)、現場管理は同 5,798 人から 863 人増(同 114.9%)、設計はほぼ同数(同 99.2%)となっている。



業種	回答数	内訳	
		施工C	設計C
工務店	10,893	7,688	3,205
住宅メーカー/建設会社	5,039	2,910	2,129
設計事務所	4,851	852	3,999
その他	2,914	1,839	1,075
無回答	312	211	101
全体	24,009	13,500	10,509

図 4-1-3a 業種



職種	回答数	内訳	
		施工C	設計C
施工	5,833	5,122	711
現場管理	6,661	4,997	1,664
設計	8,369	1,582	6,787
その他	2,844	1,606	1,238
無回答	302	193	109
全体	24,009	13,500	10,509

図 4-1-3b 職種

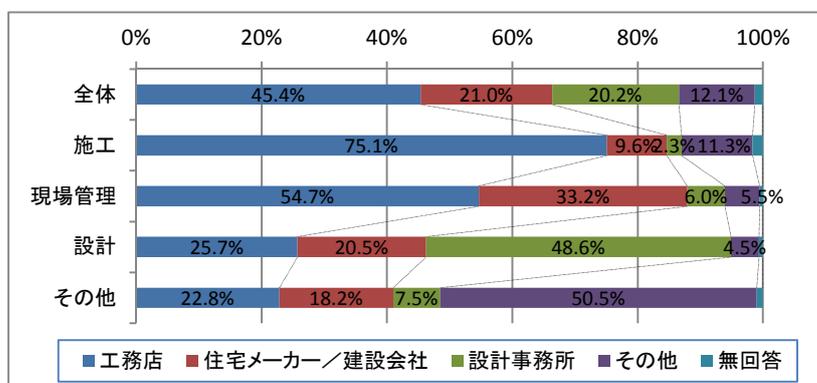


図 4-1-3c 職種別の所属業種

## 2) 年齢層

前年度同様、30～60代以上の各年代が万遍なく受講している。その中では60代以上で前年度4,118人から696人減(前年度比83.1%)となっている。一方、20代の受講者は前年度1,917人から452人増(同126.6%)となっている。

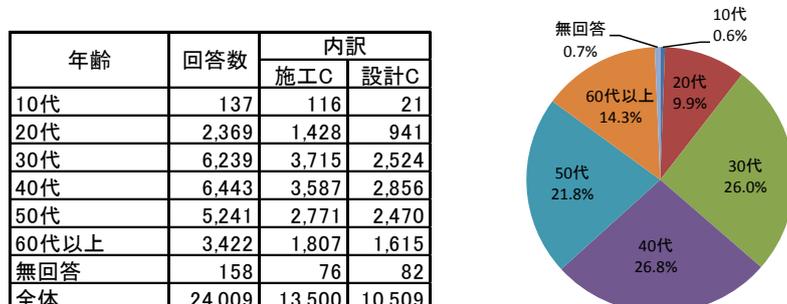


図 4-1-4a 年齢層



図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

## 5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果

省エネ設計・施工に関する実態調査においては以下の項目について結果を整理し考察を行った。

- (1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料
- (2) 講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ
- (3) 今回の講習内容で施工する場合の手間
- (4) 断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面のチェックに使用する図面
- (5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル
- (6) 計算経験のある断熱性能
- (7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先
- (8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

### (1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料

#### A. 普段たずさわっている断熱工法

##### 1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法は天井断熱が 69.3% で最も多い。地域別でも全地域で天井断熱が最も多い。

屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	16,640
屋根野地上断熱	3,916
垂木間充填断熱	5,834
無回答	3,271
全体	24,009

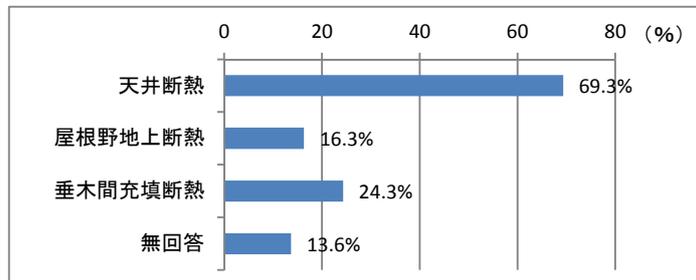


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	24,009	69.3	16.3	24.3	13.6
北海道 (全体との差)	840	78.2 +8.9	18.3 +2.0	16.0 -8.3	11.2 -
東北 (全体との差)	3,032	73.9 +4.6	14.4 -1.9	20.3 -4.0	12.9 -
関東 (全体との差)	5,805	66.8 -2.5	17.7 +1.4	25.9 +1.6	15.5 -
北陸 (全体との差)	1,768	73.9 +4.6	12.7 -3.6	23.5 -0.8	8.5 -
中部 (全体との差)	4,022	69.6 +0.3	15.8 -0.5	28.8 +4.5	11.2 -
近畿 (全体との差)	2,679	64.7 -4.7	20.8 +4.4	27.8 +3.5	13.1 -
中国 (全体との差)	2,089	75.4 +6.1	15.1 -1.2	23.1 -1.2	9.9 -
四国 (全体との差)	1,170	63.9 -5.4	13.4 -2.9	19.7 -4.6	24.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,604	65.3 -4.0	15.7 -0.6	21.1 -3.2	17.1 -

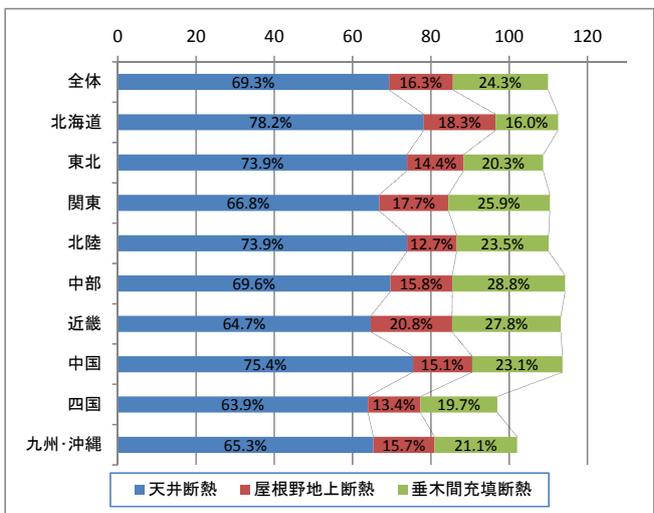


図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

## 2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている外壁の断熱工法は充填断熱が 73.7% で最も多い。

地域別では、北海道地域で充填外張併用断熱も充填断熱と同程度の割合となっている。併用断熱が多いことについて付加断熱の採用が多いことが推測される。その他の地域はいずれも充填断熱が約 60～80% で、外張断熱、併用断熱の割合と大きな差がある。

外壁の断熱工法は北海道とその他地域とで傾向が異なっている。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	17,702
外張断熱	2,850
充填外張併用断熱	1,761
無回答	3,783
全体	24,009

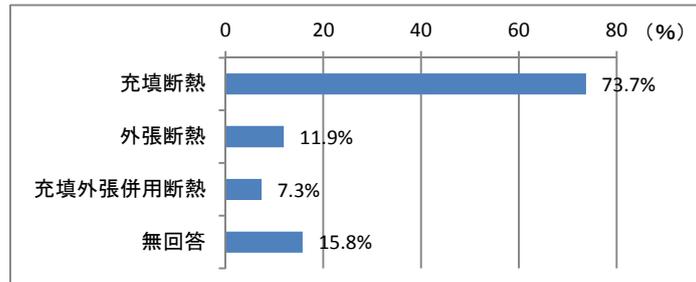


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	24,009	73.7	11.9	7.3	15.8
北海道	840	46.0	14.8	47.3	11.1
(全体との差)		-27.8	+2.9	+39.9	-
東北	3,032	71.6	16.7	11.2	13.8
(全体との差)		-2.1	+4.9	+3.9	-
関東	5,805	74.0	11.1	5.2	17.6
(全体との差)		+0.2	-0.8	-2.1	-
北陸	1,768	80.9	13.1	6.1	9.5
(全体との差)		+7.2	+1.2	-1.2	-
中部	4,022	78.8	10.6	6.1	12.9
(全体との差)		+5.1	-1.2	-1.3	-
近畿	2,679	77.3	11.8	4.4	14.5
(全体との差)		+3.5	-0.1	-3.0	-
中国	2,089	78.9	10.2	4.6	12.9
(全体との差)		+5.2	-1.6	-2.7	-
四国	1,170	64.0	10.4	5.2	27.1
(全体との差)		-9.7	-1.4	-2.1	-
九州・沖縄	2,604	68.4	10.2	3.6	22.5
(全体との差)		-5.3	-1.7	-3.8	-

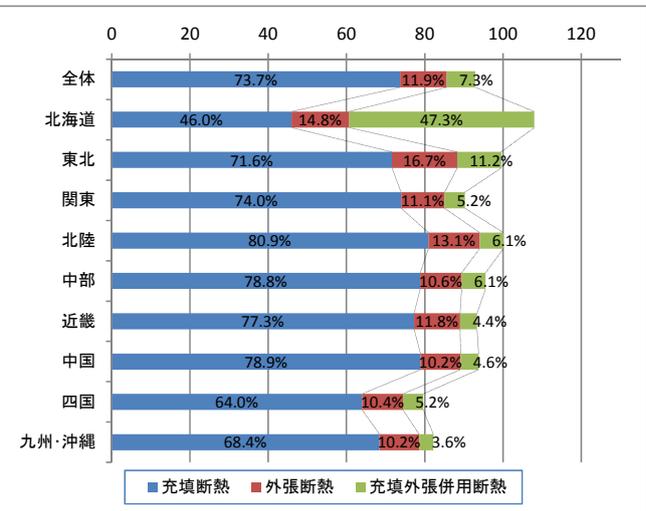


図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

### 3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている床・基礎の断熱工法は根太間充填断熱が 40.6%で最も多いが、大引間充填断熱や基礎断熱との差は、屋根・天井や外壁の工法間に見られる差に比べると大きくない。

地域別では、北海道地域は基礎断熱が最も多く、床断熱はいずれの工法も少ない。東北地域は大引間充填断熱が最も多いが、根太間充填断熱、基礎断熱と概ね三分されている。その他の地域は、近畿地域で大引間充填断熱が最も多い以外は根太間充填断熱が最も多い。

床・基礎の断熱工法は北海道、東北とその他地域とで傾向が異なっている。

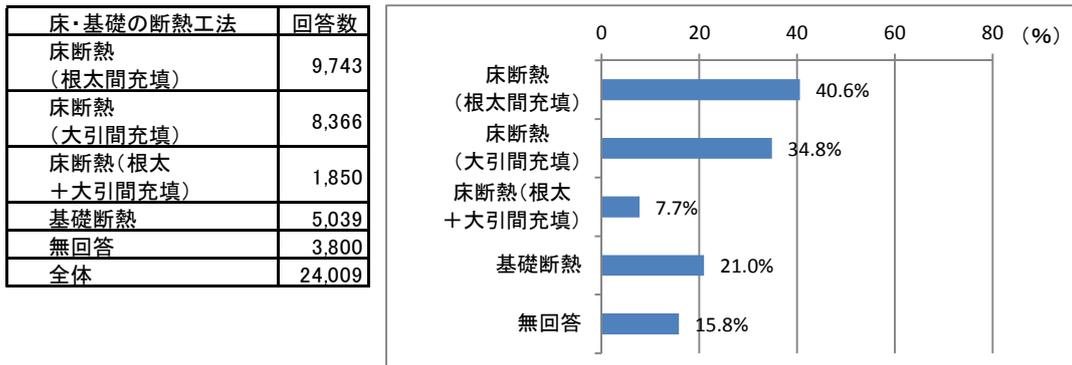


図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

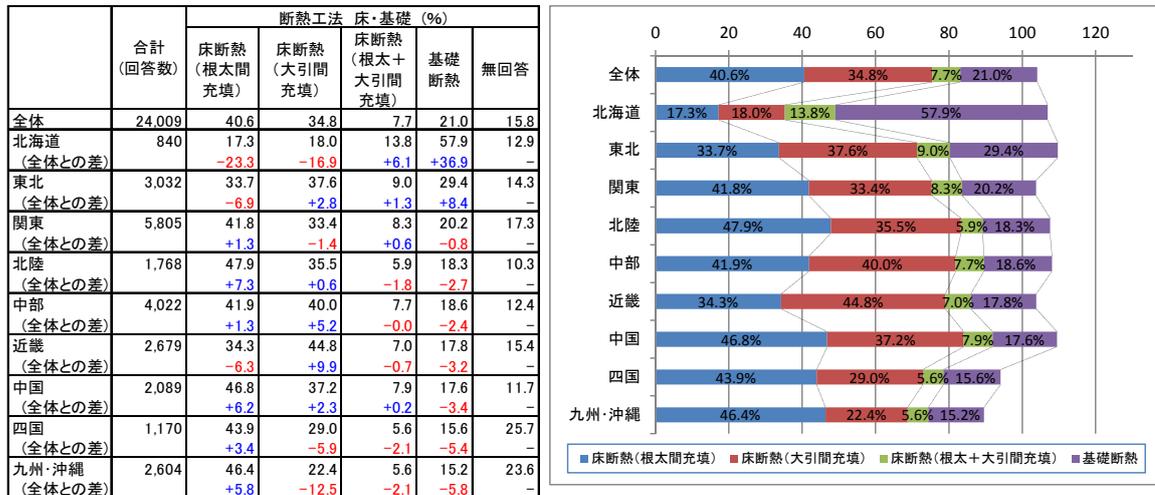


図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

#### 4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せは、外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最も多い。外壁外張断熱では外張同士の組合せとなる屋根野地上断熱も約5割の回答となっているが、天井断熱の割合の方が高い。

地域別では、いずれの地域も全体と同様、外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最も多く、外壁外張断熱との組合せは屋根野地上断熱の方が垂木間充填断熱より多い。

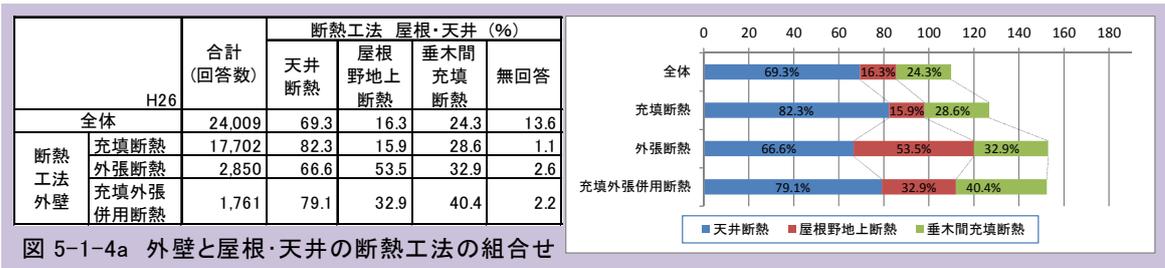


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

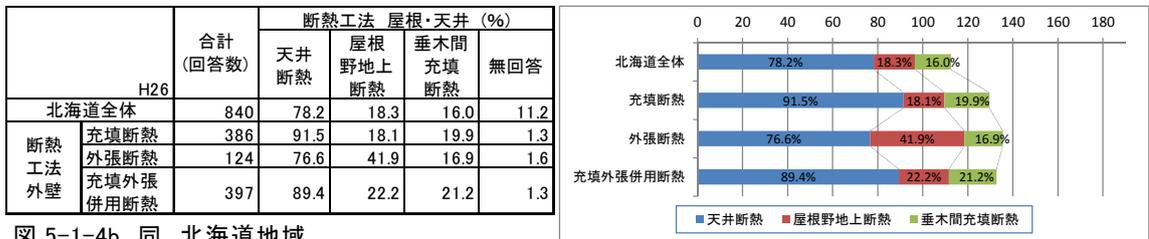


図 5-1-4b 同 北海道地域

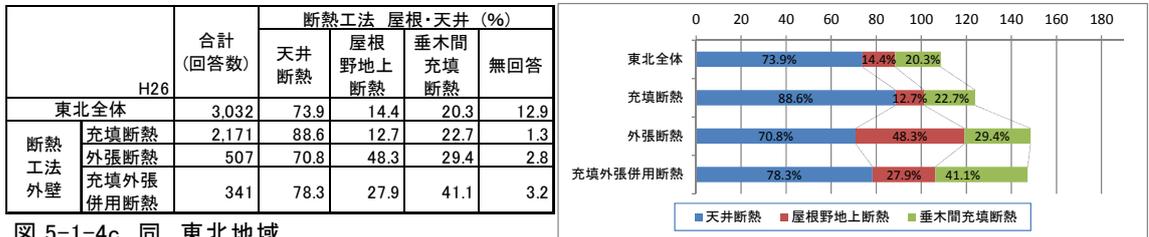


図 5-1-4c 同 東北地域

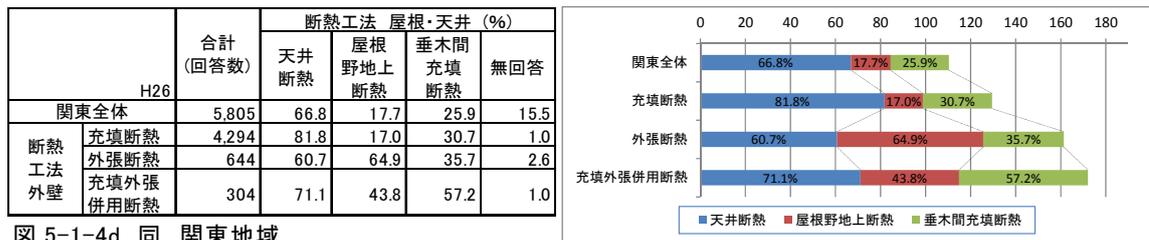


図 5-1-4d 同 関東地域

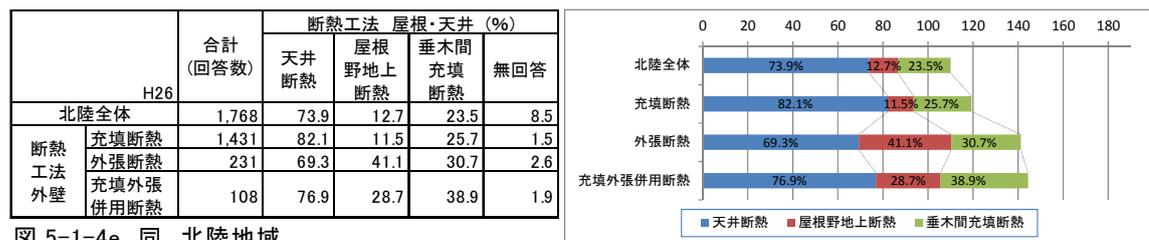
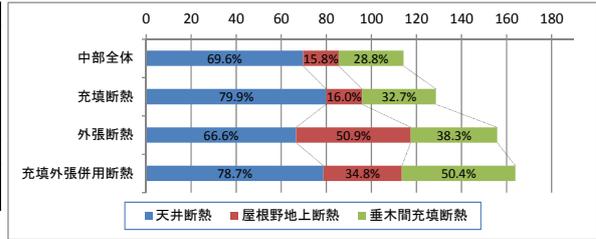


図 5-1-4e 同 北陸地域

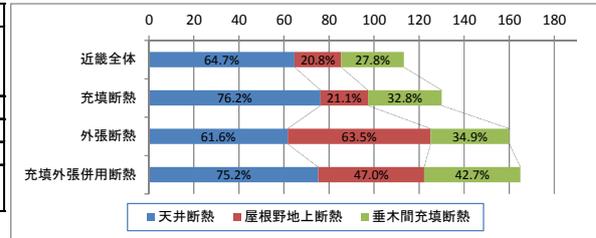
		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
H26						
中部全体		4,022	69.6	15.8	28.8	11.2
断熱 工法 外壁	充填断熱	3,170	79.9	16.0	32.7	0.8
	外張断熱	428	66.6	50.9	38.3	2.1
	充填外張 併用断熱	244	78.7	34.8	50.4	1.6

図 5-1-4f 同 中部地域



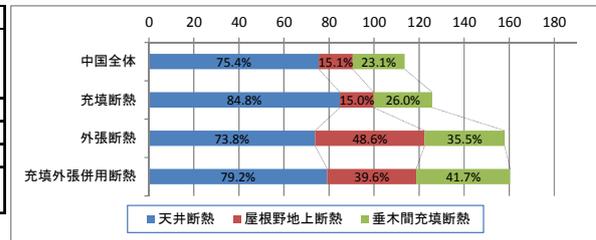
		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
H26						
近畿全体		2,679	64.7	20.8	27.8	13.1
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,070	76.2	21.1	32.8	1.0
	外張断熱	315	61.6	63.5	34.9	3.5
	充填外張 併用断熱	117	75.2	47.0	42.7	1.7

図 5-1-4g 同 近畿地域



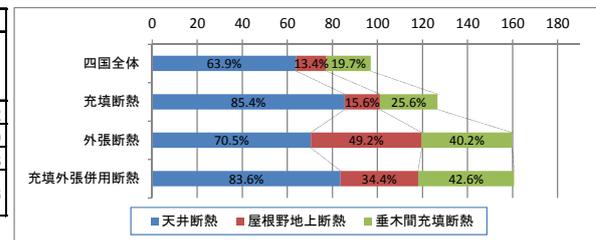
		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
H26						
中国全体		2,089	75.4	15.1	23.1	9.9
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,649	84.8	15.0	26.0	0.9
	外張断熱	214	73.8	48.6	35.5	1.9
	充填外張 併用断熱	96	79.2	39.6	41.7	4.2

図 5-1-4h 同 中国地域



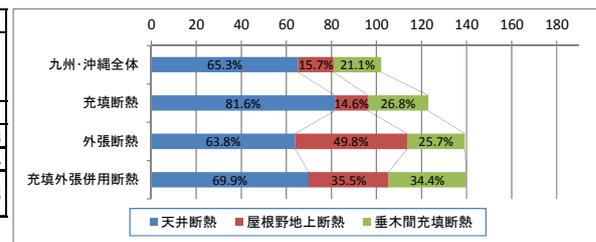
		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
H26						
四国全体		1,170	63.9	13.4	19.7	24.2
断熱 工法 外壁	充填断熱	749	85.4	15.6	25.6	1.9
	外張断熱	122	70.5	49.2	40.2	0.8
	充填外張 併用断熱	61	83.6	34.4	42.6	1.6

図 5-1-4i 同 四国地域



		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
H26						
九州・沖縄全体		2,604	65.3	15.7	21.1	17.1
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,782	81.6	14.6	26.8	1.3
	外張断熱	265	63.8	49.8	25.7	3.4
	充填外張 併用断熱	93	69.9	35.5	34.4	7.5

図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域



### 5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

外壁と床・基礎の断熱工法の組合せについて、外壁充填断熱は根太間充填断熱、外壁外張断熱と外壁充填外張併用断熱は基礎断熱との組合せが最も多い。

地域別では、外壁のいずれの断熱工法との組合せについても、北海道地域は基礎断熱、中国地域、四国地域、九州・沖縄地域は根太間充填断熱が最も多い。

北海道地域以外の地域では外壁充填断熱との組合せは根太間または大引間充填断熱のどちらかが最も多くなり、基礎断熱との組合せは少なくなる。

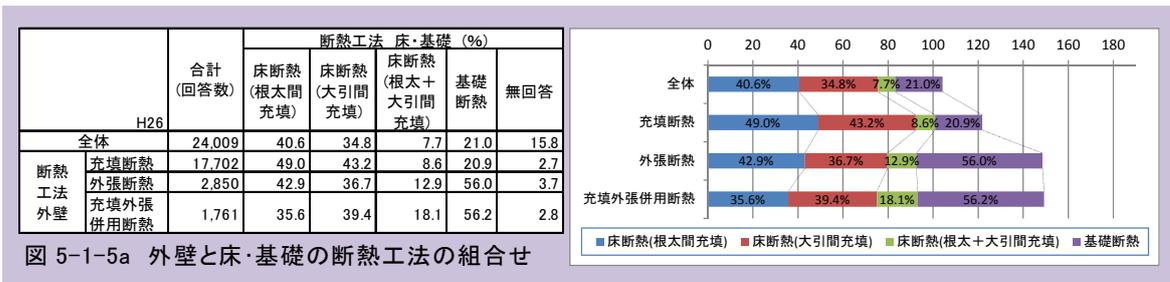


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

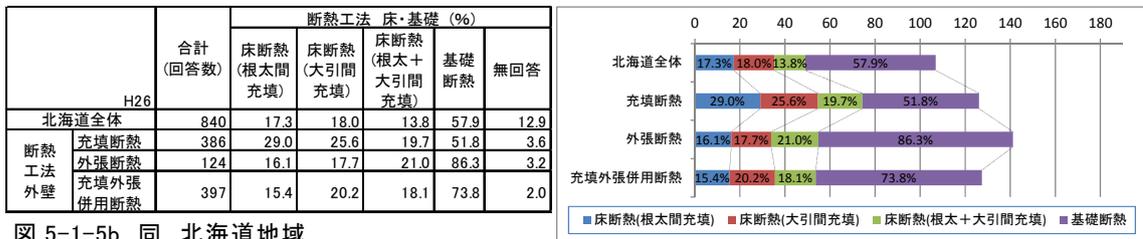


図 5-1-5b 同 北海道地域

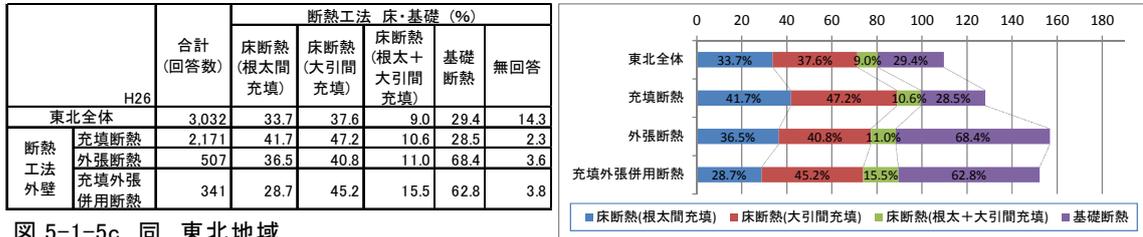


図 5-1-5c 同 東北地域

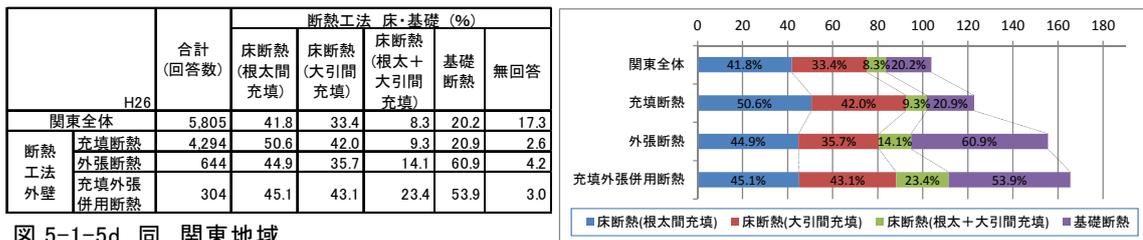


図 5-1-5d 同 関東地域

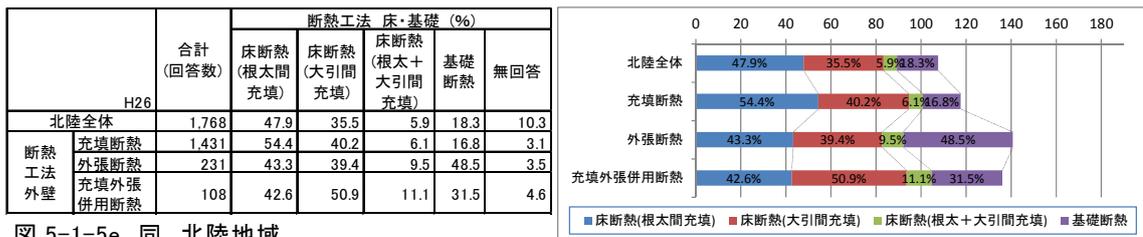
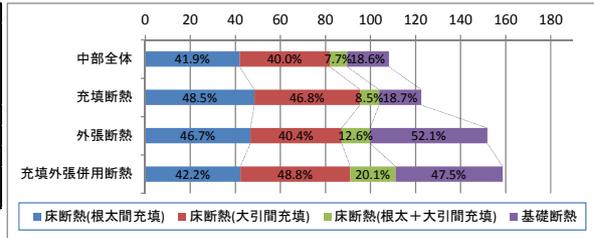


図 5-1-5e 同 北陸地域

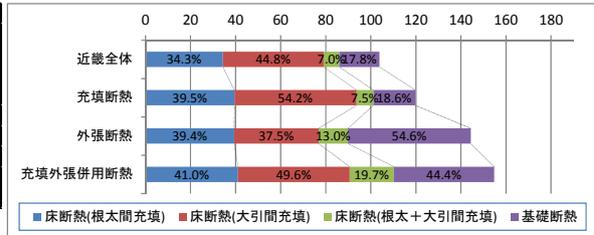
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
中部全体	4,022	41.9	40.0	7.7	18.6	12.4
断熱 工法						
充填断熱	3,170	48.5	46.8	8.5	18.7	1.8
外張断熱	428	46.7	40.4	12.6	52.1	1.9
外壁						
充填外張 併用断熱	244	42.2	48.8	20.1	47.5	2.5

図 5-1-5f 同 中部地域



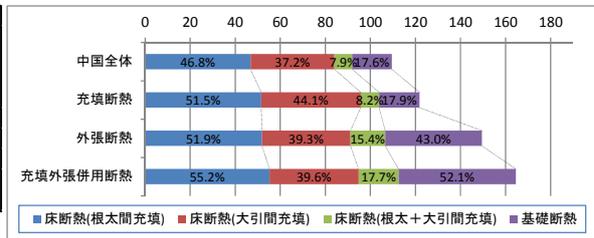
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
近畿全体	2,679	34.3	44.8	7.0	17.8	15.4
断熱 工法						
充填断熱	2,070	39.5	54.2	7.5	18.6	3.0
外張断熱	315	39.4	37.5	13.0	54.6	3.5
外壁						
充填外張 併用断熱	117	41.0	49.6	19.7	44.4	3.4

図 5-1-5g 同 近畿地域



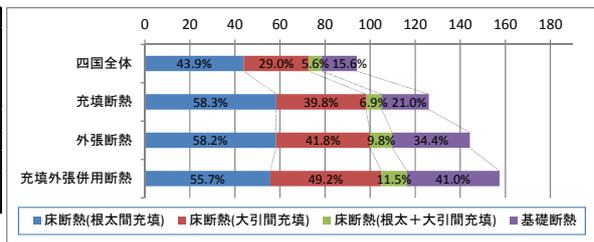
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
中国全体	2,089	46.8	37.2	7.9	17.6	11.7
断熱 工法						
充填断熱	1,649	51.5	44.1	8.2	17.9	2.4
外張断熱	214	51.9	39.3	15.4	43.0	2.8
外壁						
充填外張 併用断熱	96	55.2	39.6	17.7	52.1	1.0

図 5-1-5h 同 中国地域



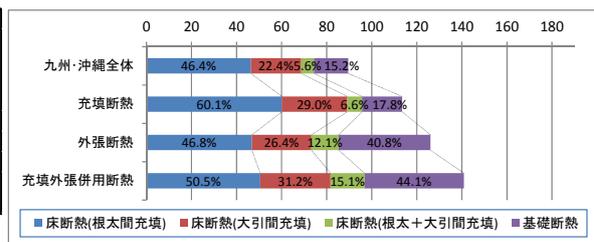
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
四国全体	1,170	43.9	29.0	5.6	15.6	25.7
断熱 工法						
充填断熱	749	58.3	39.8	6.9	21.0	2.4
外張断熱	122	58.2	41.8	9.8	34.4	2.5
外壁						
充填外張 併用断熱	61	55.7	49.2	11.5	41.0	1.6

図 5-1-5i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
九州・沖縄全体	2,604	46.4	22.4	5.6	15.2	23.6
断熱 工法						
充填断熱	1,782	60.1	29.0	6.6	17.8	4.4
外張断熱	265	46.8	26.4	12.1	40.8	7.9
外壁						
充填外張 併用断熱	93	50.5	31.2	15.1	44.1	3.2

図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域



## B. 普段たずさわっている断熱材料

### 1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料は、グラスウール・ロックウールが77.2%で最も多い。

地域別にみても全ての地域でグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

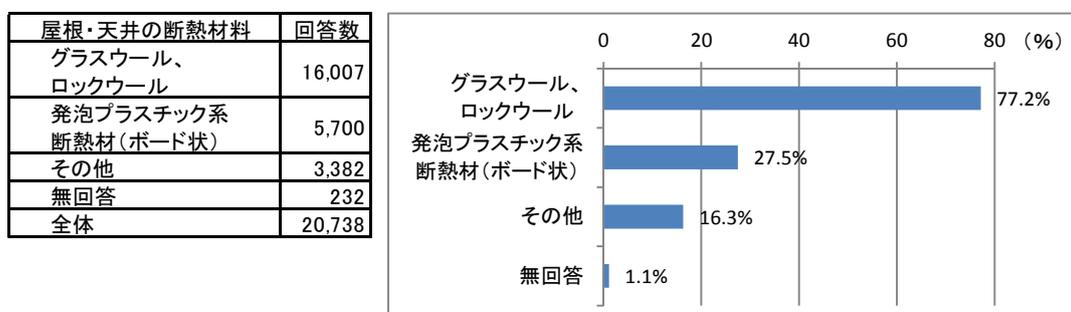


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

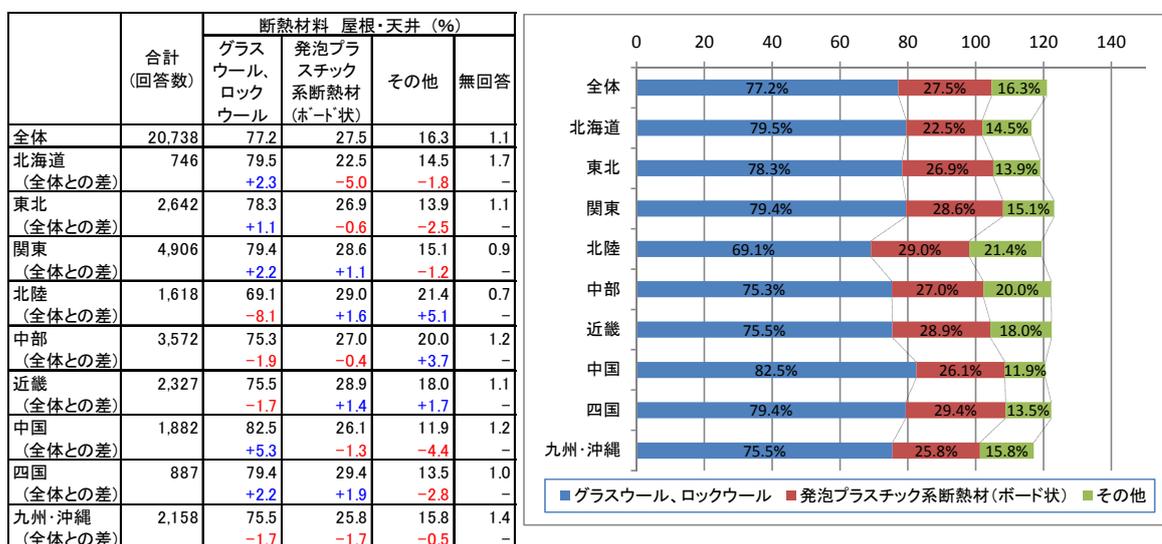


図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	739	3.6%
吹込グラスウール,ロックウール	18	0.1%
吹込その他	56	0.3%
現場発泡ウレタン(a)	952	4.6%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	99	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	361	1.7%
ポリエステル	52	0.3%
木質系	34	0.2%
羊毛	124	0.6%
コルク	2	0.0%
未分類	465	2.2%
2種類以上の記載のあるもの	104	0.5%
その他記入有り合計	3,006	14.5%
その他全体	3,382	16.3%
全体	20,738	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

## 2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている外壁の断熱材料は、グラスウール・ロックウールが77.0%で最も多い。

地域別にみても全ての地域でグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

北海道地域は他の地域と異なり、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多く、断熱工法で充填外張併用断熱が多くなっていることと関係すると考えられる(外壁にて普段たずさわっている断熱工法の項目を参照)。

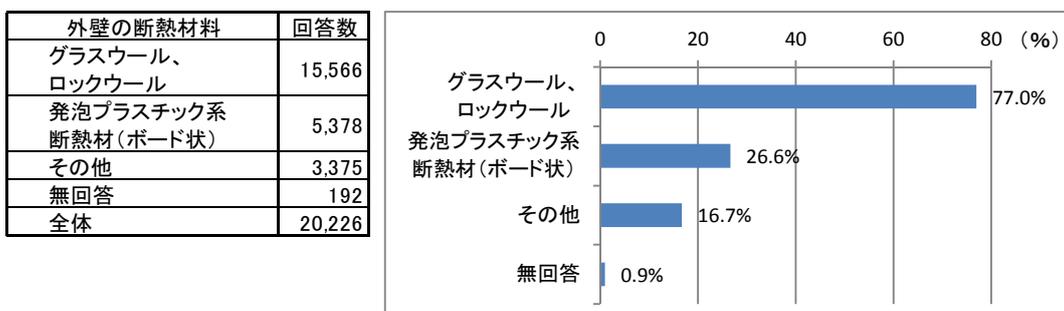


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料

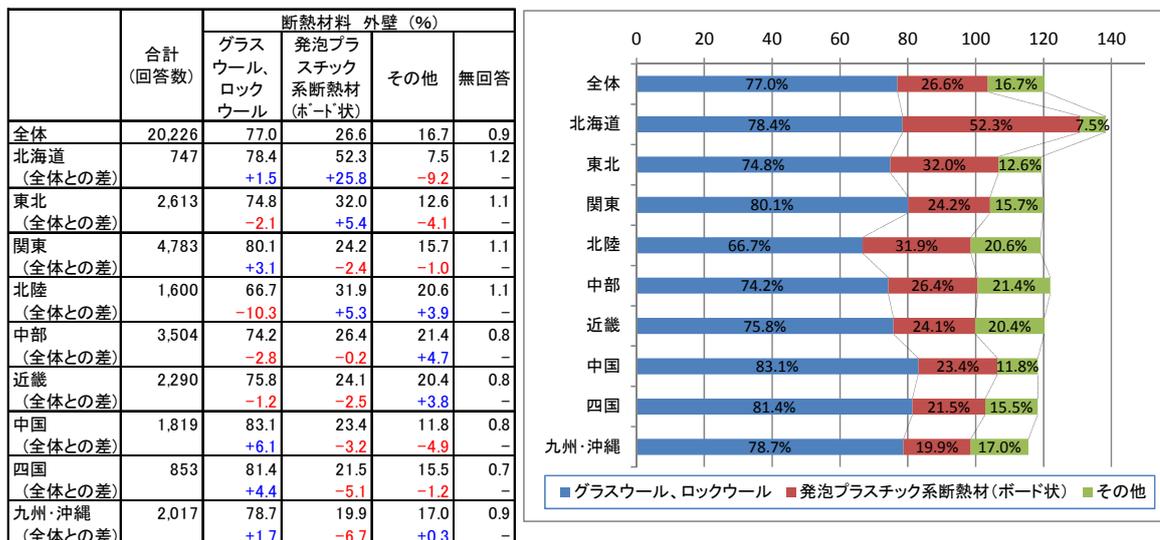


図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	654	3.2%
吹込グラスウール、ロックウール	1	0.0%
吹込その他	8	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	980	4.8%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	115	0.6%
ウレタン(aかbか不明)	379	1.9%
ポリエステル	60	0.3%
木質系	28	0.1%
羊毛	150	0.7%
コルク	4	0.0%
未分類	510	2.5%
2種類以上の記載のあるもの	98	0.5%
その他記入有り合計	2,987	14.8%
その他全体	3,375	16.7%
全体	20,226	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

### 3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている床・基礎の断熱材料は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が80.9%で最も多い。

地域別にみても全ての地域で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。北海道地域はグラスウール・ロックウールの割合が他の地域より高くなっている。工法との組合せでみても他の地域と異なり、床断熱にグラスウール・ロックウールを使う割合が高い(床・基礎の断熱工法と材料の組合せの項目を参照)。

床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、ロックウール	4,710
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	16,356
その他	1,328
無回答	330
全体	20,209

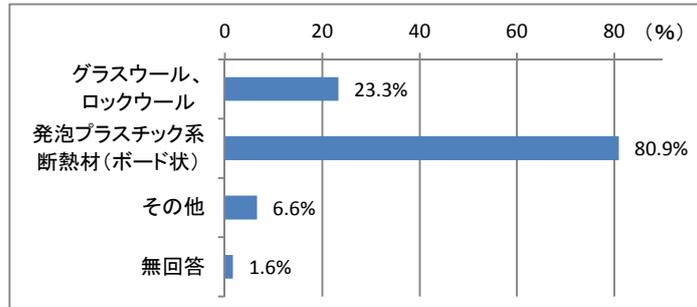


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,209	23.3	80.9	6.6	1.6
北海道 (全体との差)	732	41.1 +17.8	73.1 -7.8	5.1 -1.5	1.6 -
東北 (全体との差)	2,597	22.3 -1.0	82.5 +1.6	6.4 -0.1	1.7 -
関東 (全体との差)	4,803	27.1 +3.8	79.1 -1.8	6.7 +0.2	1.6 -
北陸 (全体との差)	1,586	16.6 -6.7	84.4 +3.5	9.0 +2.4	1.2 -
中部 (全体との差)	3,522	24.3 +1.0	80.6 -0.4	6.4 -0.1	1.6 -
近畿 (全体との差)	2,267	21.1 -2.2	81.7 +0.8	6.9 +0.4	1.6 -
中国 (全体との差)	1,844	16.4 -6.9	86.0 +5.1	4.4 -2.1	1.6 -
四国 (全体との差)	869	17.4 -5.9	83.3 +2.4	6.6 -0.0	1.5 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,989	23.8 +0.5	77.3 -3.6	6.7 +0.2	2.0 -

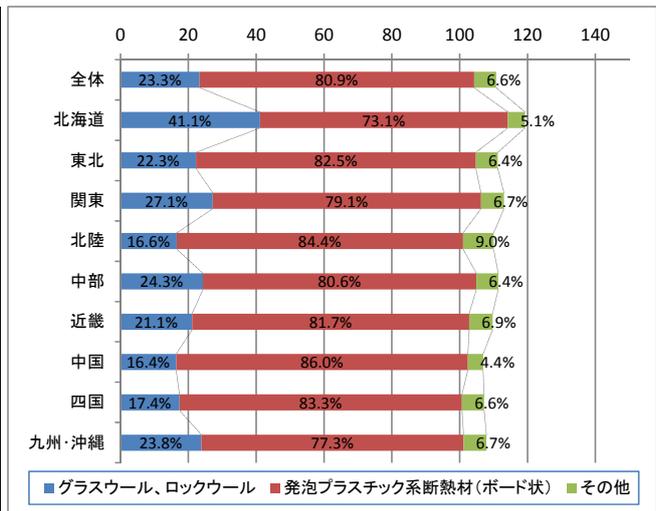


図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	197	1.0%
吹込グラスウール、ロックウール	1	0.0%
吹込その他	5	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	286	1.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	205	1.0%
ウレタン(aかbか不明)	137	0.7%
ポリエステル	30	0.1%
木質系	11	0.1%
羊毛	50	0.2%
コルク	3	0.0%
未分類	149	0.7%
2種類以上の記載のあるもの	22	0.1%
その他記入有り合計	1,096	5.4%
その他全体	1,328	6.6%
全体	20,209	100.0%

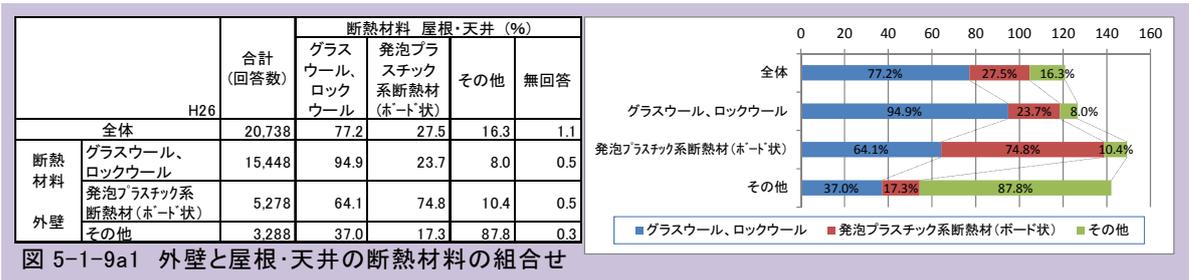
図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

#### 4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように同じ断熱材料同士の組合せが最も多い。

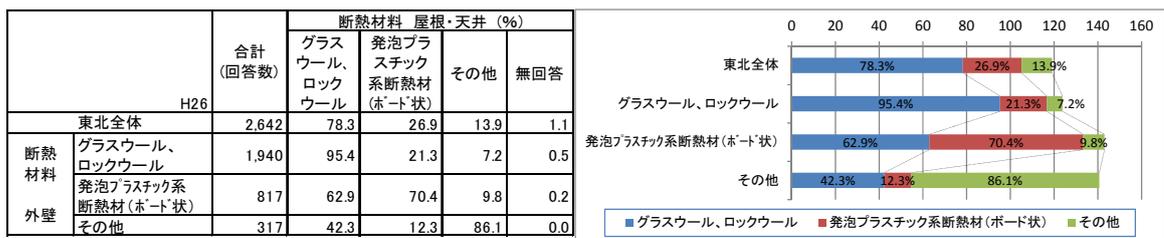
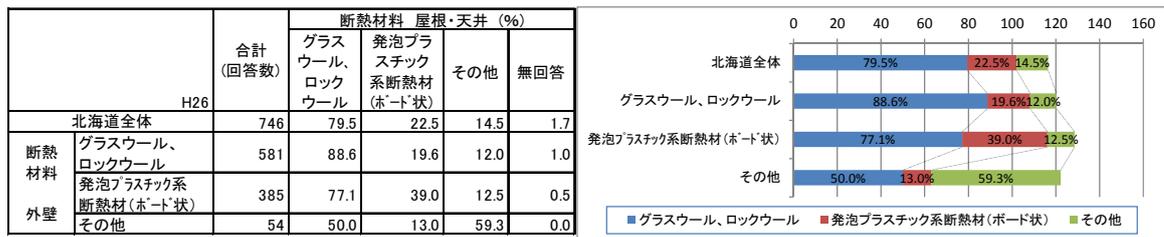
外壁の発泡プラスチック系断熱材(ボード状)は、屋根・天井をグラスウール・ロックウールとする組合せも多い。その他同士の組合せは、その内の約6割が同じ断熱材料を使用している(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)。

地域別にみると北海道地域は全体と異なり、外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最も多い。その他の地域は全体と同様の傾向になっている。



H26 断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	535	18.5%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	1	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	3	0.1%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	768	26.6%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	59	2.0%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	290	10.0%
ポリエステル × ポリエステル	44	1.5%
木質系 × 木質系	19	0.7%
羊毛 × 羊毛	95	3.3%
コルク × コルク	1	0.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	1,815	62.9%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	1,072	37.1%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	2,887	100.0%

図 5-1-9a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
関東全体		4,906	79.4	28.6	15.1	0.9
断熱材料	グラスウール、ロックウール	3,799	95.6	24.9	7.7	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	1,136	63.6	82.0	11.7	0.2
	その他	736	39.4	21.2	89.5	0.3

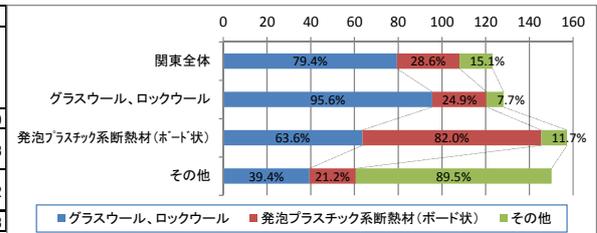


図 5-1-9d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
北陸全体		1,618	69.1	29.0	21.4	0.7
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,063	94.8	23.3	8.7	0.2
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	498	55.8	75.9	10.0	0.4
	その他	319	25.4	11.0	90.9	0.3

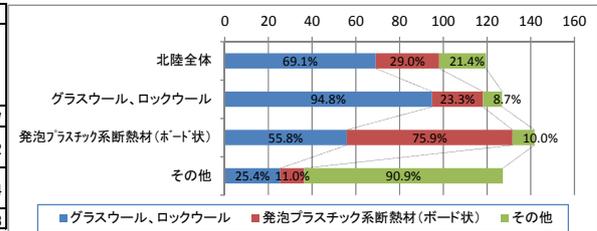


図 5-1-9e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
中部全体		3,572	75.3	27.0	20.0	1.2
断熱材料	グラスウール、ロックウール	2,584	95.2	24.8	9.1	0.7
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	918	67.6	75.8	10.7	0.7
	その他	736	34.6	17.7	88.7	0.4

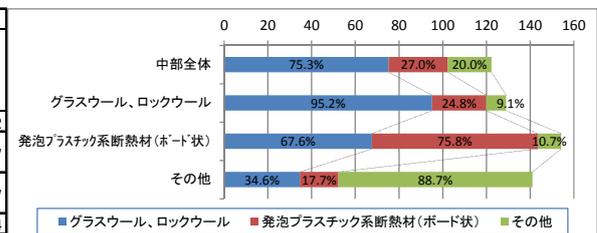


図 5-1-9f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
近畿全体		2,327	75.5	28.9	18.0	1.1
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,723	94.5	25.5	8.9	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	540	61.5	81.1	10.6	0.9
	その他	455	36.0	20.7	84.2	0.9

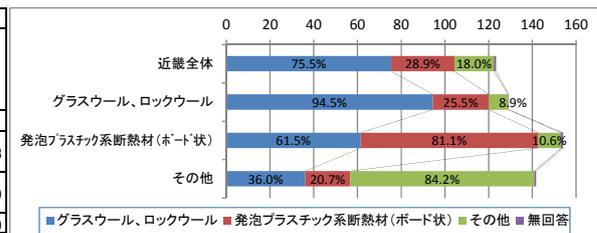


図 5-1-9g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
中国全体		1,882	82.5	26.1	11.9	1.2
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,499	95.7	23.6	5.8	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	419	69.0	76.1	7.9	1.4
	その他	209	41.6	15.3	90.4	0.0

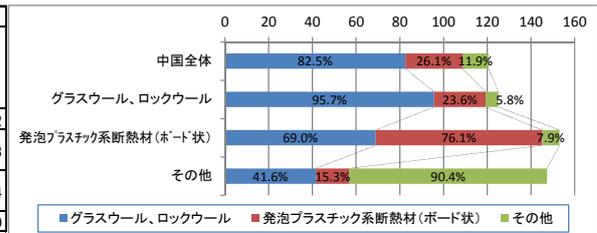


図 5-1-9h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
四国全体		887	79.4	29.4	13.5	1.0
断熱材料	グラスウール、ロックウール	688	94.0	26.0	7.8	0.4
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	176	56.3	85.8	8.5	1.1
	その他	128	47.7	20.3	86.7	0.0

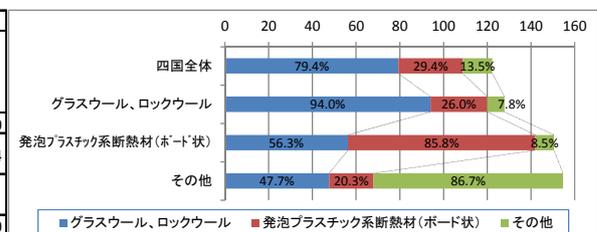


図 5-1-9i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
九州・沖縄全体		2,158	75.5	25.8	15.8	1.4
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,571	94.6	20.6	7.5	0.7
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	389	59.6	79.7	9.3	0.3
	その他	334	35.6	15.0	88.9	0.0

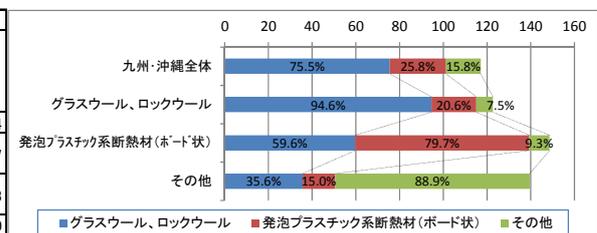


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

### 5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

外壁と床・基礎の断熱材料の組合せは外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多い。

地域別にみても、全ての地域で外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多い。

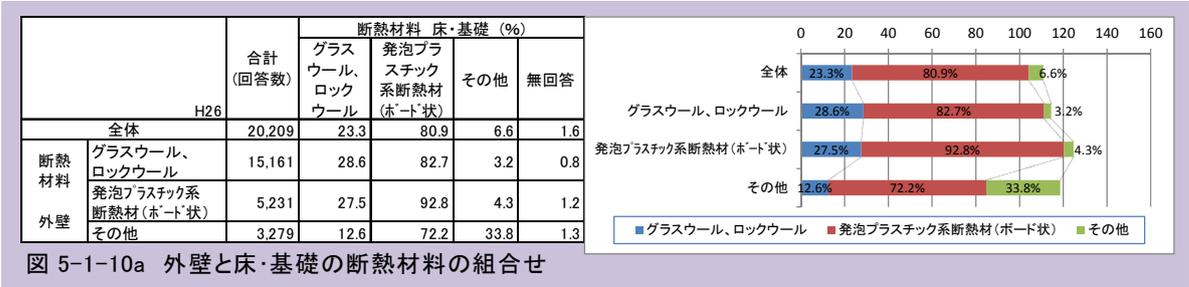


図 5-1-10a 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

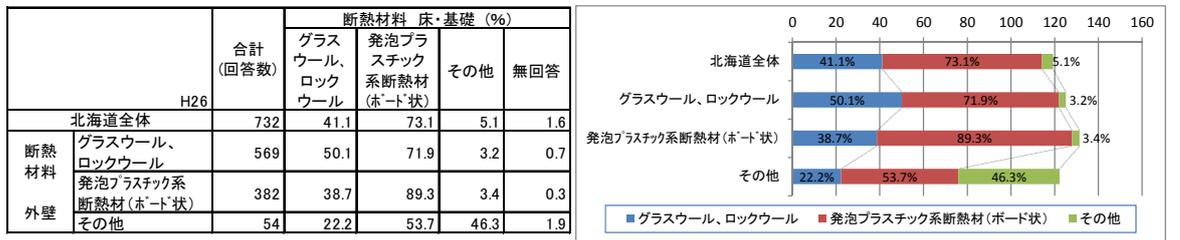


図 5-1-10b 同 北海道地域

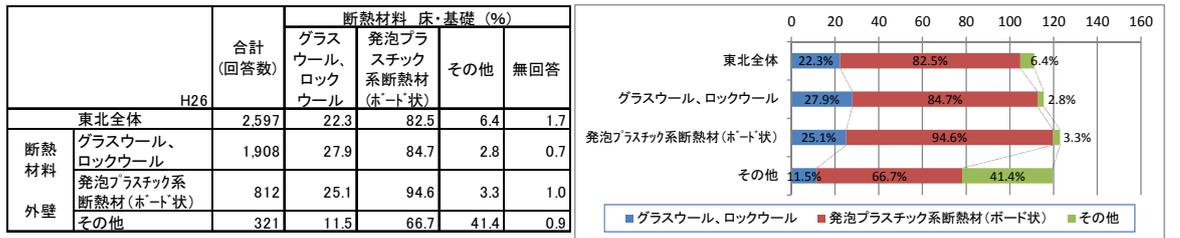


図 5-1-10c 同 東北地域

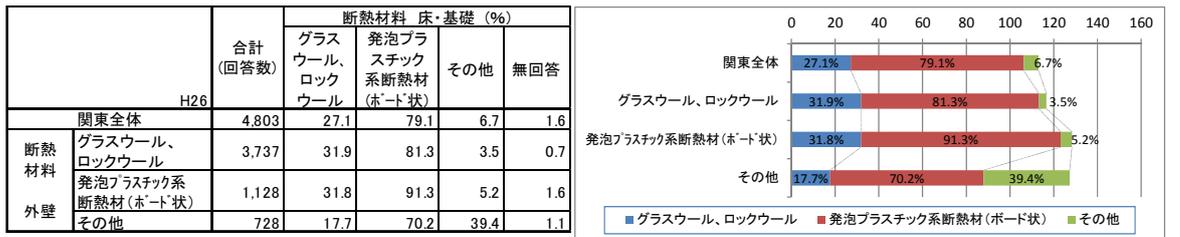


図 5-1-10d 同 関東地域

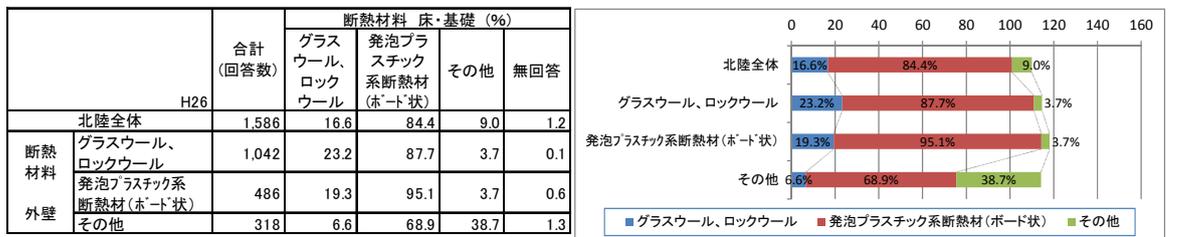
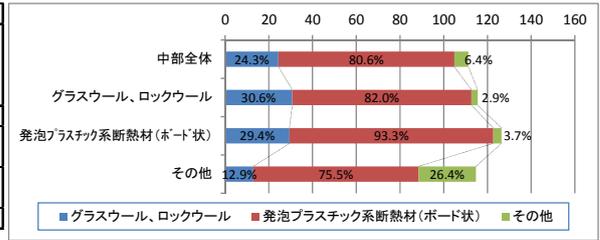


図 5-1-10e 同 北陸地域

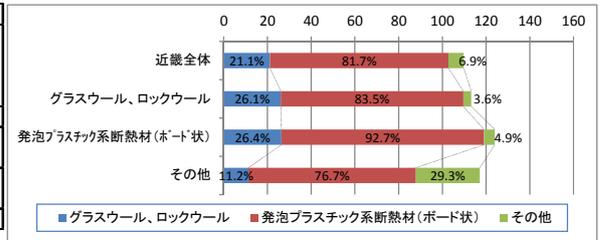
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H26					
中部全体	3,522	24.3	80.6	6.4	1.6
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	2,552	30.6	82.0	2.9	0.8
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	911	29.4	93.3	3.7	1.3
外壁					
その他	736	12.9	75.5	26.4	1.8

図 5-1-10f 同 中部地域



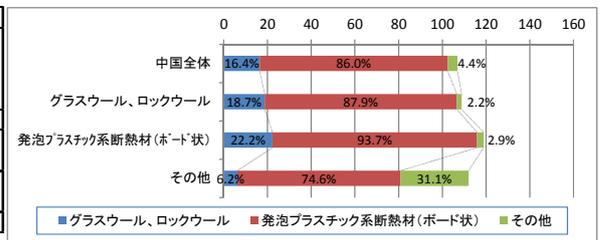
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H26					
近畿全体	2,267	21.1	81.7	6.9	1.6
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	1,681	26.1	83.5	3.6	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	534	26.4	92.7	4.9	1.5
外壁					
その他	454	11.2	76.7	29.3	1.1

図 5-1-10g 同 近畿地域



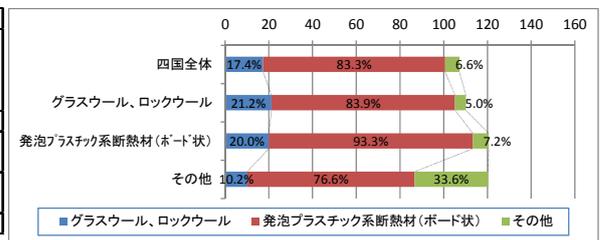
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H26					
中国全体	1,844	16.4	86.0	4.4	1.6
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	1,477	18.7	87.9	2.2	1.0
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	414	22.2	93.7	2.9	1.4
外壁					
その他	209	6.2	74.6	31.1	0.5

図 5-1-10h 同 中国地域



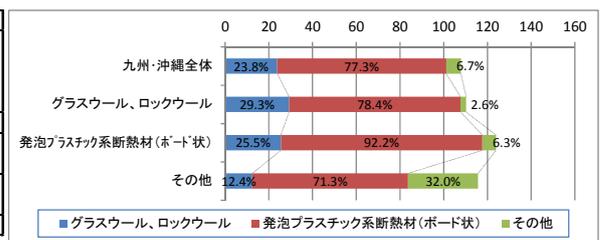
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H26					
四国全体	869	17.4	83.3	6.6	1.5
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	679	21.2	83.9	5.0	0.7
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	180	20.0	93.3	7.2	1.1
外壁					
その他	128	10.2	76.6	33.6	3.1

図 5-1-10i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H26					
九州・沖縄全体	1,989	23.8	77.3	6.7	2.0
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	1,516	29.3	78.4	2.6	1.5
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	384	25.5	92.2	6.3	1.3
外壁					
その他	331	12.4	71.3	32.0	1.5

図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域



## C. 普段たずさわっている断熱工法と材料の組合せ

### 1) 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

屋根・天井の断熱工法と材料の組合せは、いずれの工法についてもグラスウール・ロックウールの使用が最も多くなっている。屋根野地上断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)もグラスウール・ロックウールと同程度となっている。

地域別では、東北地域と北陸地域以外の地域で屋根・天井のいずれの工法についてもグラスウール・ロックウールの使用が最も多くなっている。東北地域と北陸地域では、屋根野地上断熱で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

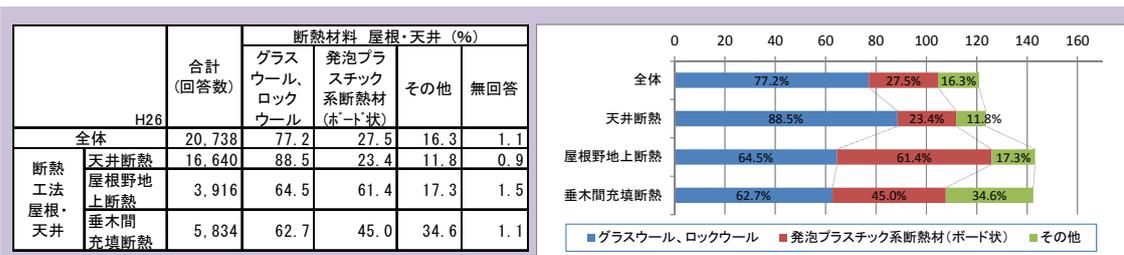


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

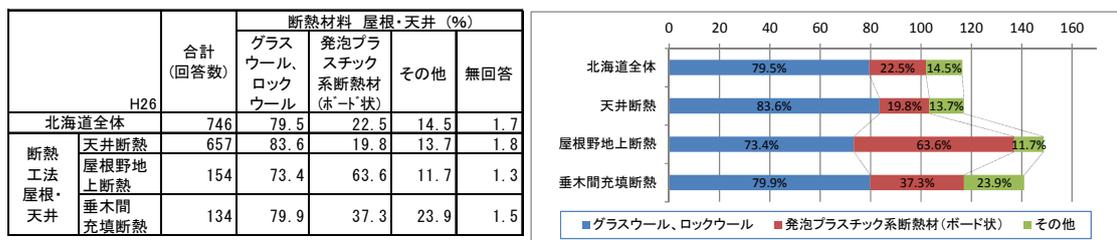


図 5-1-11b 同 北海道地域

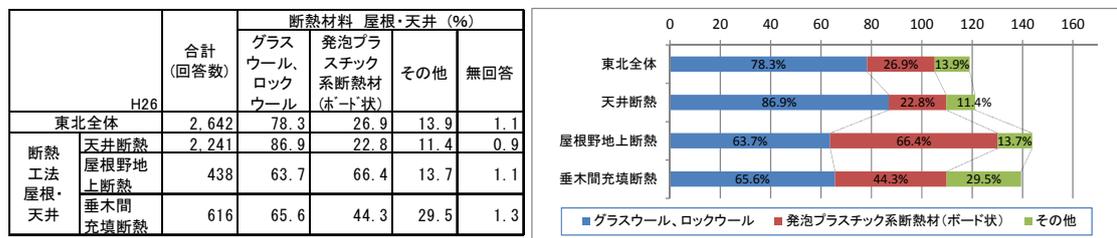


図 5-1-11c 同 東北地域

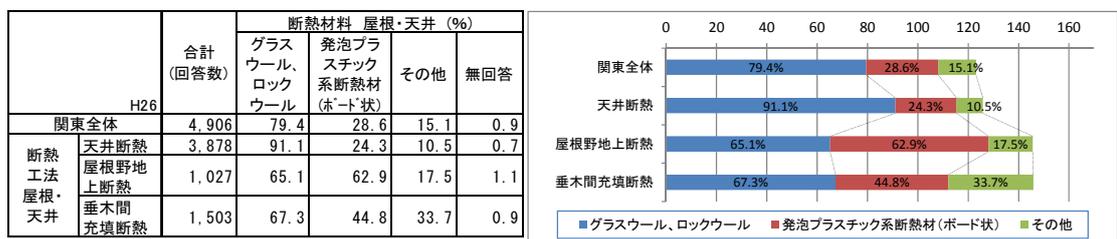


図 5-1-11d 同 関東地域

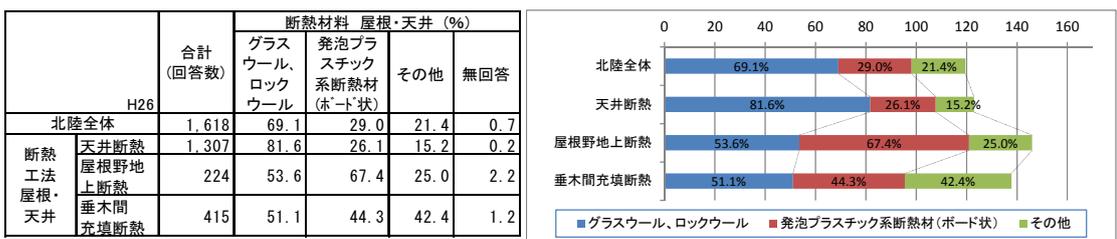
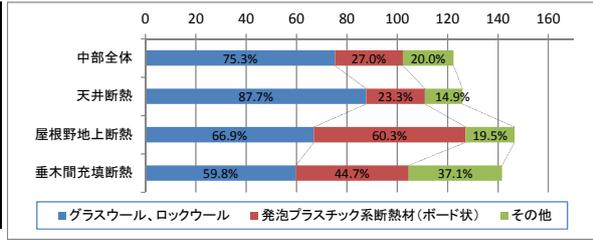


図 5-1-11e 同 北陸地域

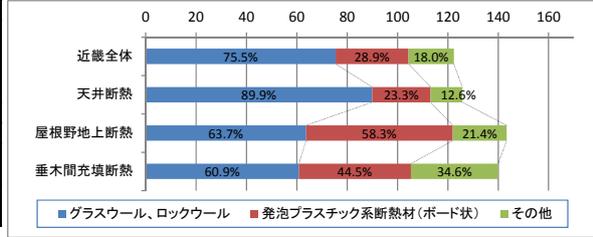
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中部全体	3,572	75.3	27.0	20.0	1.2	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	2,801	87.7	23.3	14.9	1.1
	屋根野地 上断熱	637	66.9	60.3	19.5	1.6
	垂木間 充填断熱	1,158	59.8	44.7	37.1	0.8

図 5-1-11f 同 中部地域



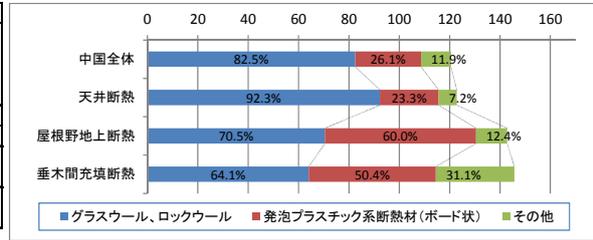
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
近畿全体	2,327	75.5	28.9	18.0	1.1	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,732	89.9	23.3	12.6	0.9
	屋根野地 上断熱	556	63.7	58.3	21.4	1.3
	垂木間 充填断熱	746	60.9	44.5	34.6	1.2

図 5-1-11g 同 近畿地域



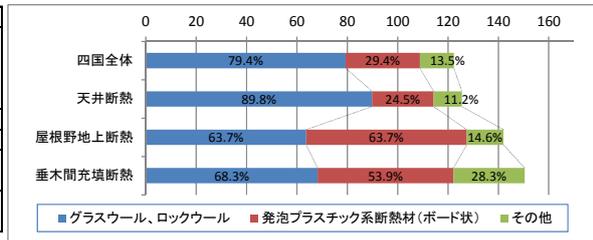
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中国全体	1,882	82.5	26.1	11.9	1.2	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,576	92.3	23.3	7.2	1.0
	屋根野地 上断熱	315	70.5	60.0	12.4	1.6
	垂木間 充填断熱	482	64.1	50.4	31.1	1.5

図 5-1-11h 同 中国地域



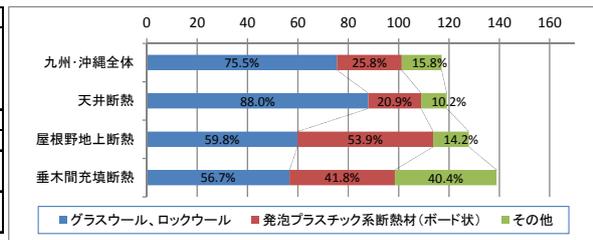
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
四国全体	887	79.4	29.4	13.5	1.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	748	89.8	24.5	11.2	0.8
	屋根野地 上断熱	157	63.7	63.7	14.6	1.9
	垂木間 充填断熱	230	68.3	53.9	28.3	1.7

図 5-1-11i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
九州・沖縄全体	2,158	75.5	25.8	15.8	1.4	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,700	88.0	20.9	10.2	1.2
	屋根野地 上断熱	408	59.8	53.9	14.2	2.5
	垂木間 充填断熱	550	56.7	41.8	40.4	0.7

図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域



## 2) 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

外壁の断熱工法と断熱材料の組合せは、充填断熱、充填外張併用断熱にグラスウール・ロックウール、外張断熱に発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

地域別では、北海道地域、東北地域、関東地域、中部地域、近畿地域が全体と同じく充填断熱、充填外張併用断熱にグラスウール・ロックウール、外張断熱に発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。中国地域、四国地域、九州・沖縄地域ではいずれの断熱工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多く異なっている。

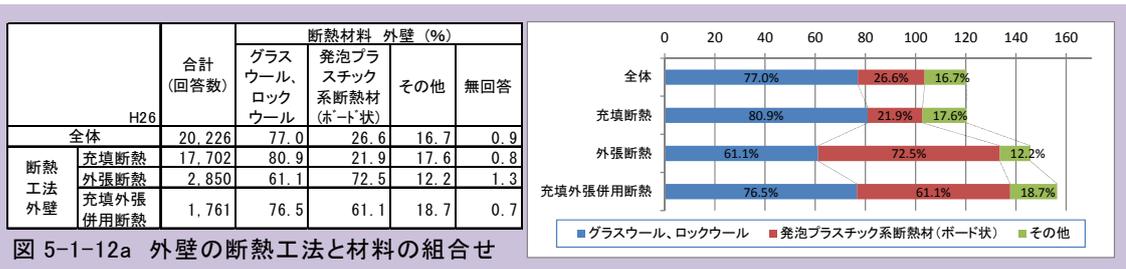


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

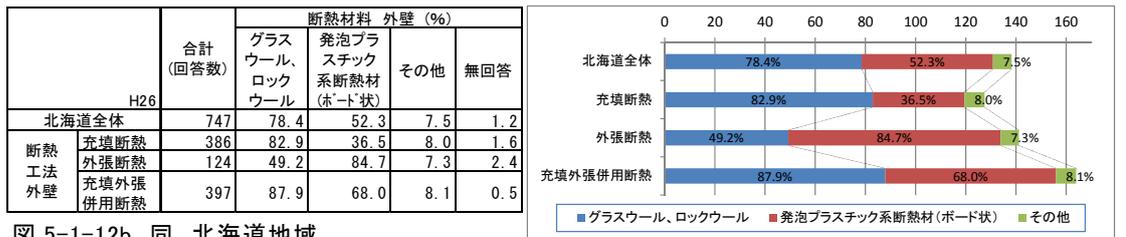


図 5-1-12b 同 北海道地域

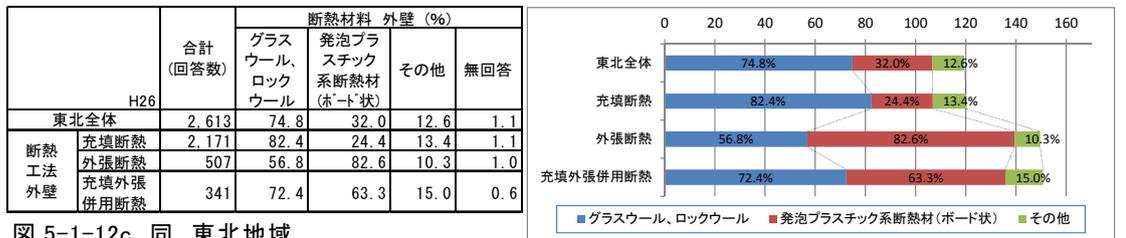


図 5-1-12c 同 東北地域

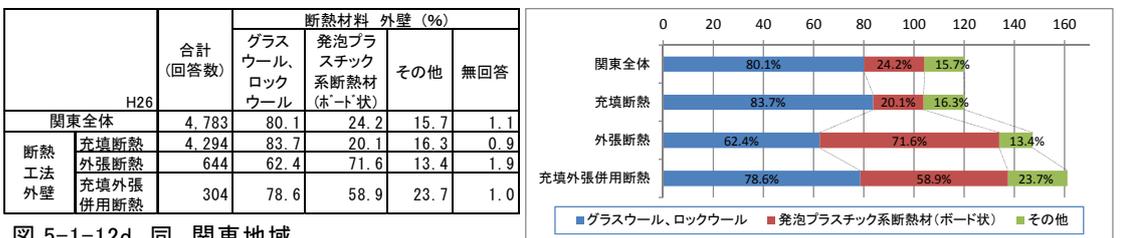


図 5-1-12d 同 関東地域

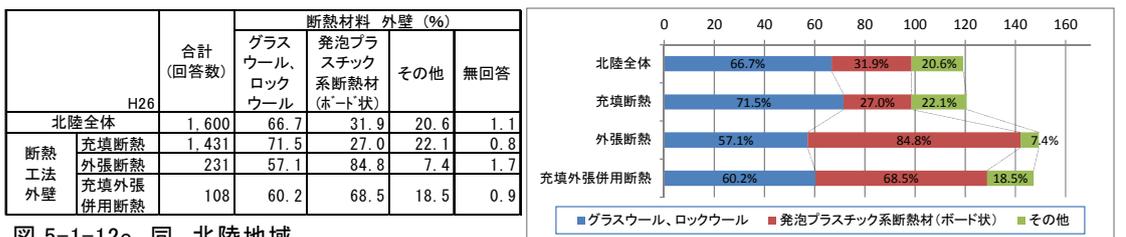
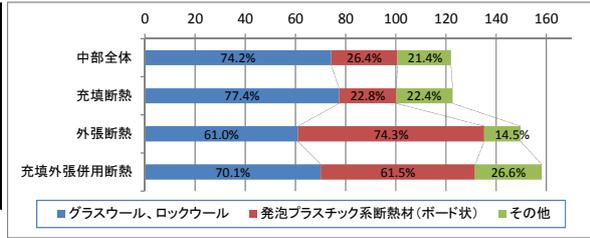


図 5-1-12e 同 北陸地域

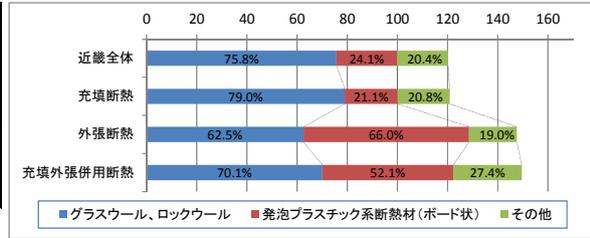
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
中部全体	3,504	74.2	26.4	21.4	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	3,170	77.4	22.8	22.4	0.7
	外張断熱	428	61.0	74.3	14.5	1.2
	充填外張 併用断熱	244	70.1	61.5	26.6	1.2

図 5-1-12f 同 中部地域



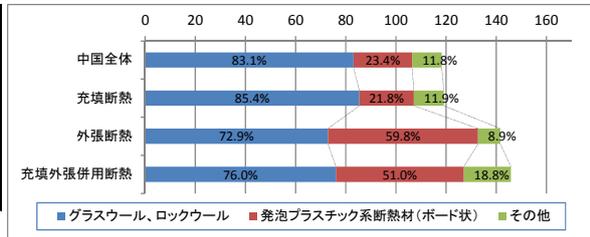
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
近畿全体	2,290	75.8	24.1	20.4	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,070	79.0	21.1	20.8	0.8
	外張断熱	315	62.5	66.0	19.0	0.0
	充填外張 併用断熱	117	70.1	52.1	27.4	0.9

図 5-1-12g 同 近畿地域



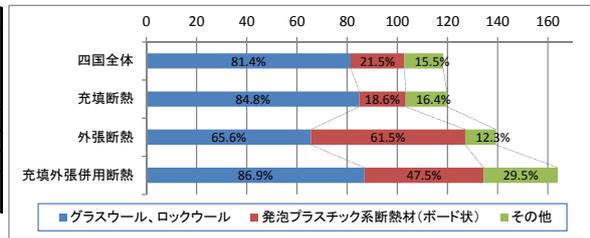
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
中国全体	1,819	83.1	23.4	11.8	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,649	85.4	21.8	11.9	0.7
	外張断熱	214	72.9	59.8	8.9	1.9
	充填外張 併用断熱	96	76.0	51.0	18.8	0.0

図 5-1-12h 同 中国地域



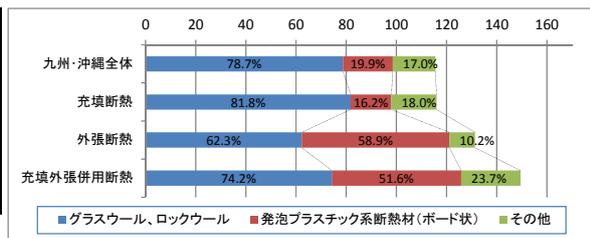
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
四国全体	853	81.4	21.5	15.5	0.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	749	84.8	18.6	16.4	0.5
	外張断熱	122	65.6	61.5	12.3	1.6
	充填外張 併用断熱	61	86.9	47.5	29.5	0.0

図 5-1-12i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
九州・沖縄全体	2,017	78.7	19.9	17.0	0.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,782	81.8	16.2	18.0	0.8
	外張断熱	265	62.3	58.9	10.2	1.1
	充填外張 併用断熱	93	74.2	51.6	23.7	1.1

図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域



### 3) 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

床・基礎の断熱工法と断熱材料の組合せは、いずれの工法も発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多くなっている。

地域別で見ると、北海道地域はいずれの床断熱工法でもグラスウール・ロックウールとの組合せが最も多く、その他の地域は全体の傾向と同様となっている。

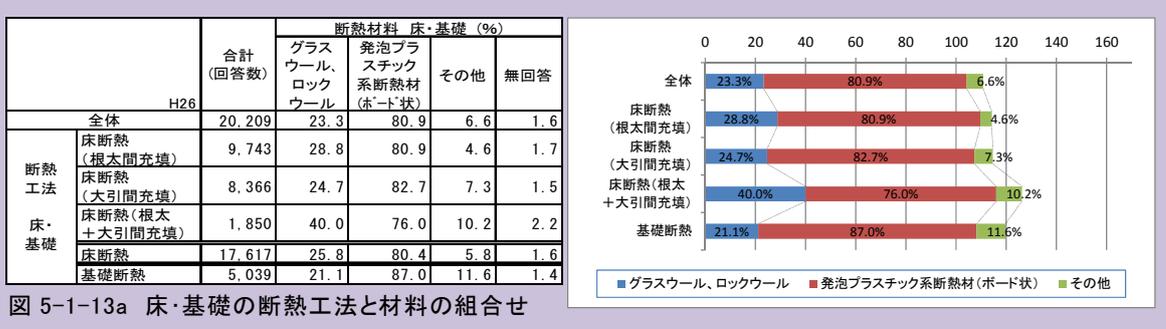


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

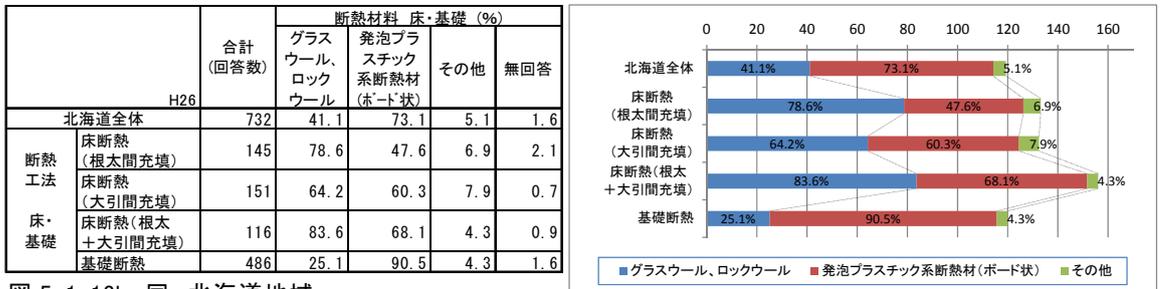


図 5-1-13b 同 北海道地域

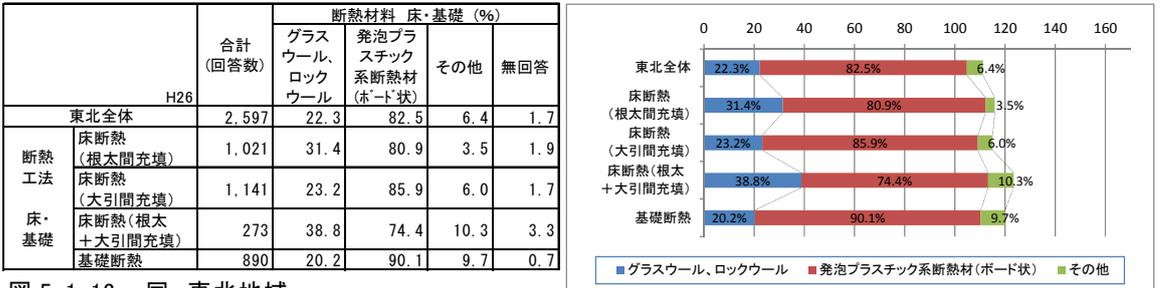


図 5-1-13c 同 東北地域

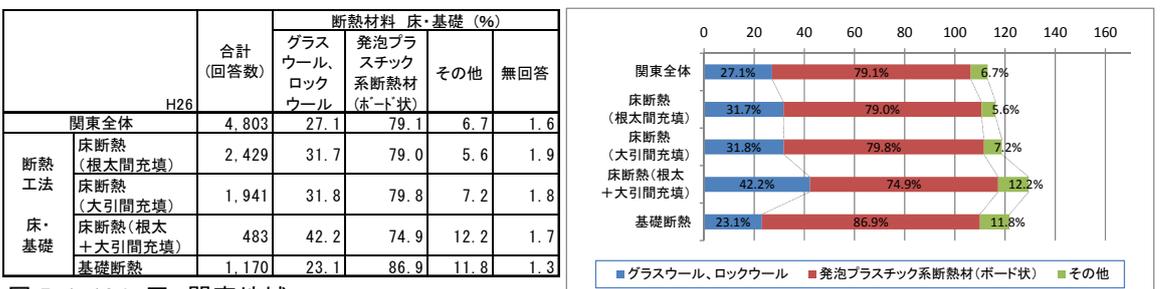
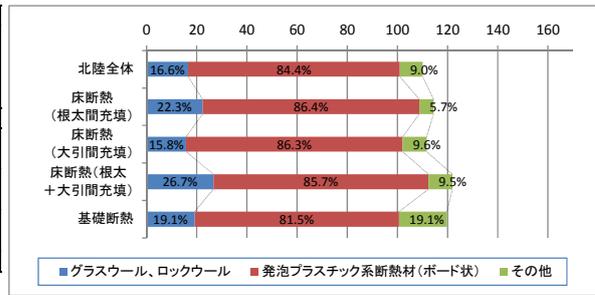


図 5-1-13d 同 関東地域

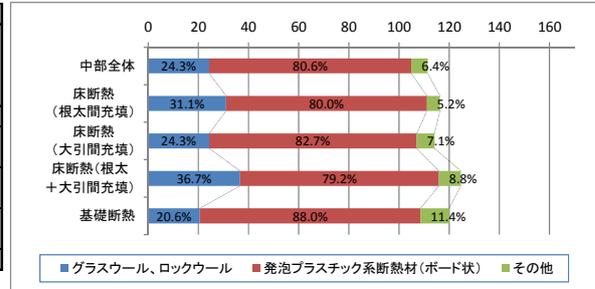
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
北陸全体	1,586	16.6	84.4	9.0	1.2	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	22.3	86.4	5.7	0.8	
	床断熱 (大引間充填)	627	15.8	86.3	9.6	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	105	26.7	85.7	9.5	1.0
	基礎断熱	324	19.1	81.5	19.1	1.9

図 5-1-13e 同 北陸地域



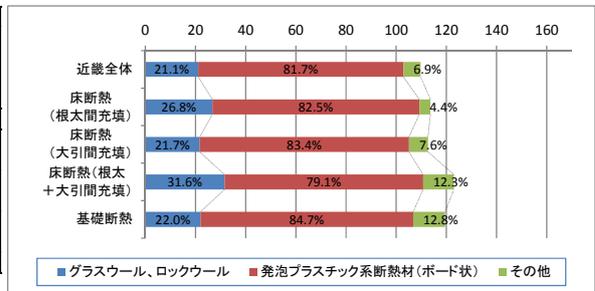
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中部全体	3,522	24.3	80.6	6.4	1.6	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	1,684	31.1	80.0	5.2	1.5
	床断熱 (大引間充填)	1,609	24.3	82.7	7.1	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	308	36.7	79.2	8.8	2.3
	基礎断熱	747	20.6	88.0	11.4	2.1

図 5-1-13f 同 中部地域



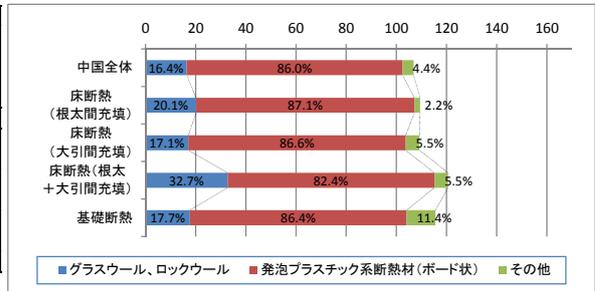
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
近畿全体	2,267	21.1	81.7	6.9	1.6	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	919	26.8	82.5	4.4	1.6
	床断熱 (大引間充填)	1,199	21.7	83.4	7.6	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	187	31.6	79.1	12.3	1.6
	基礎断熱	477	22.0	84.7	12.8	1.9

図 5-1-13g 同 近畿地域



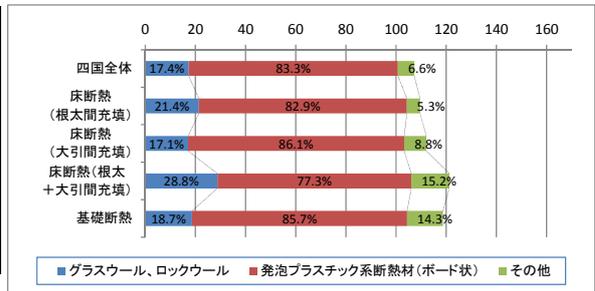
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中国全体	1,844	16.4	86.0	4.4	1.6	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	978	20.1	87.1	2.2	1.7
	床断熱 (大引間充填)	777	17.1	86.6	5.5	1.4
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	165	32.7	82.4	5.5	2.4
	基礎断熱	367	17.7	86.4	11.4	1.4

図 5-1-13h 同 中国地域



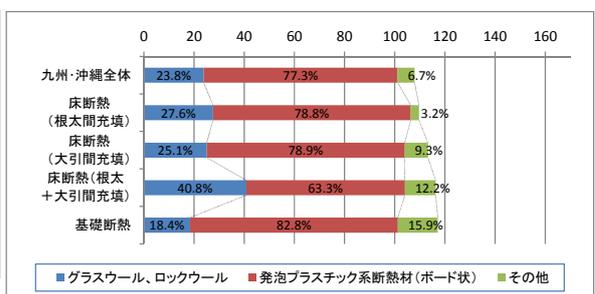
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
四国全体	869	17.4	83.3	6.6	1.5	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	514	21.4	82.9	5.3	1.9
	床断熱 (大引間充填)	339	17.1	86.1	8.8	0.6
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	66	28.8	77.3	15.2	1.5
	基礎断熱	182	18.7	85.7	14.3	2.7

図 5-1-13i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
九州・沖縄全体	1,989	23.8	77.3	6.7	2.0	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	1,207	27.6	78.8	3.2	2.2
	床断熱 (大引間充填)	582	25.1	78.9	9.3	2.9
床・ 基礎	床断熱(根太 十大引間充填)	147	40.8	63.3	12.2	4.1
	基礎断熱	396	18.4	82.8	15.9	0.8

図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域



## (2) 施工技術者講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ

施工技術者講習で説明のあった「断熱層・気密層・防湿層がきちんと連続し、気流止めが設置され、筋かい廻りにしっかり断熱材を充填しつつ防湿フィルムも適切に取り付けられる等の施工」をする場合と、現場における施工実態との間には、以下のようなギャップが見られた。

### 1) 今まで正しく施工していなかったところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。

地域別では、北海道地域の設問回答率が約3割と、他地域に比べて大幅に少なく、その他の地域は全体と同じく、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。

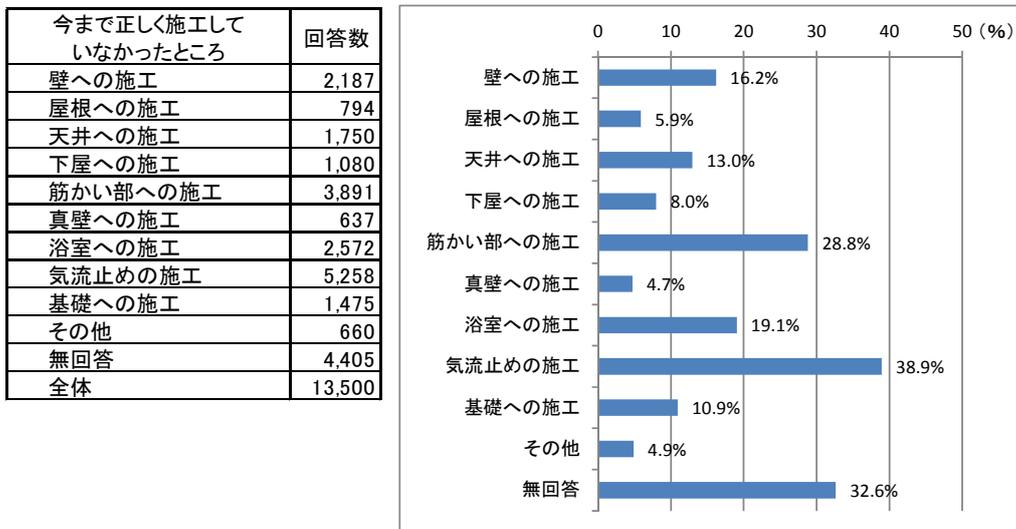


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,500	9,095	67.4	16.2	5.9	13.0	8.0	28.8	4.7	19.1	38.9	10.9	4.9	32.6
北海道	396	126	31.8	3.3	2.3	0.8	4.3	5.6	2.0	4.0	8.6	1.3	8.8	68.2
東北	1,691	1,077	63.7	15.7	5.0	11.4	6.7	27.7	4.7	14.4	34.9	7.0	4.7	36.3
関東	3,465	2,333	67.3	15.9	5.8	13.0	8.5	29.4	5.4	21.9	40.3	11.8	4.7	32.7
北陸	1,056	780	73.9	17.0	5.5	15.5	7.6	30.9	4.1	18.8	43.3	9.4	6.3	26.1
中部	2,168	1,546	71.3	17.2	6.1	13.4	8.0	30.5	5.3	18.3	43.1	10.9	4.8	28.7
近畿	1,430	966	67.6	14.8	5.7	14.3	8.9	28.0	3.6	20.0	38.1	11.5	5.9	32.4
中国	1,216	908	74.7	19.8	6.7	17.2	9.1	33.3	5.8	21.4	42.6	13.3	3.5	25.3
四国	721	436	60.5	12.1	5.3	10.5	6.4	24.4	2.5	17.5	34.8	10.8	5.1	39.5
九州・沖縄	1,357	923	68.0	19.7	7.9	11.9	8.7	30.4	4.9	21.0	39.0	14.8	3.5	32.0

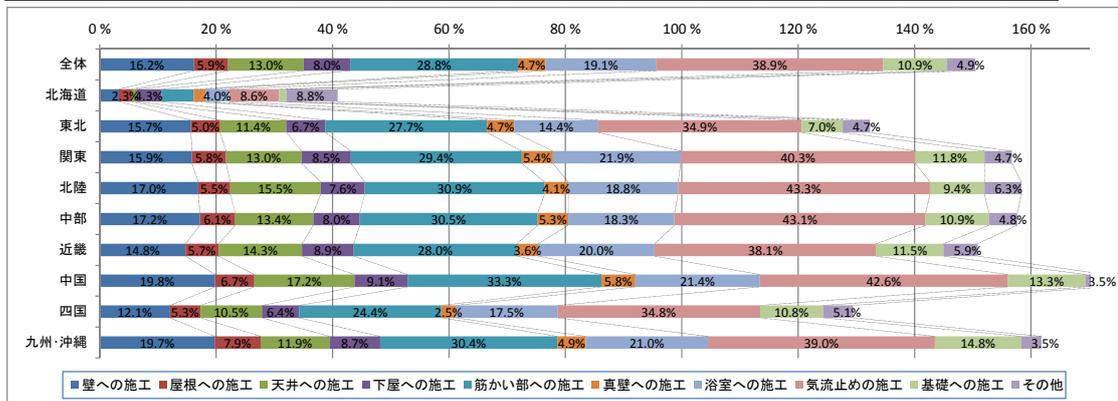


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

## 2) 難しい・やりにくいと感じたところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、今まで正しく施工していなかったところと同様、筋かい部への施工、気流止めの施工が多いが、最も多い回答は筋かい部への施工となっている。

地域別では、今まで正しく施工していなかったところと同様、北海道地域の設問回答率が他地域に比べて少なく、断熱施工への慣れが関係していると考えられる。又北海道地域で最も多い回答は「下屋への施工」であった。

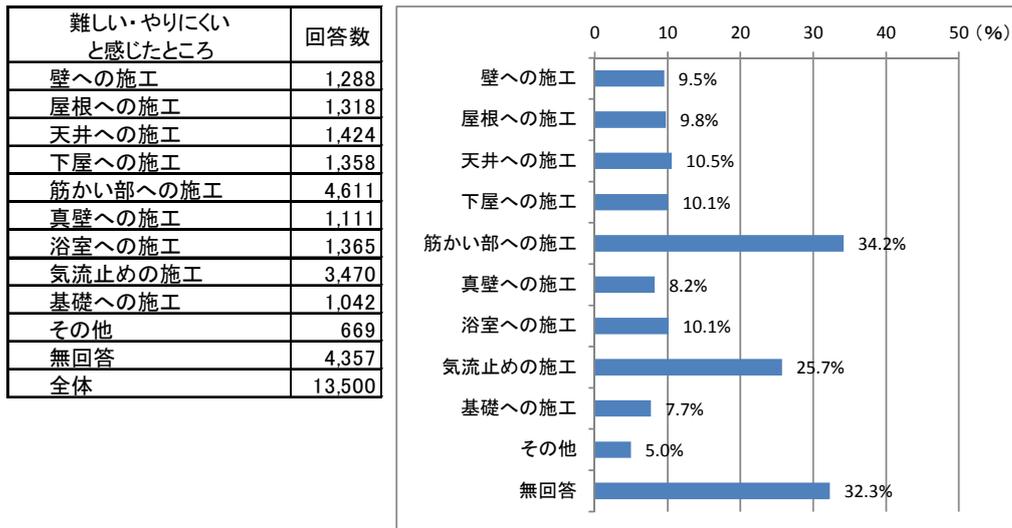


図 5-2-2a 難しい・やりにくいと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,500	9,143	67.7	9.5	9.8	10.5	10.1	34.2	8.2	10.1	25.7	7.7	5.0	32.3
北海道	396	179	45.2	3.0	7.6	2.5	12.9	8.3	4.8	8.1	9.8	1.5	7.3	54.8
東北	1,691	1,101	65.1	8.5	9.3	8.2	9.2	33.8	7.7	7.4	19.5	4.1	4.7	34.9
関東	3,465	2,331	67.3	9.0	9.2	10.2	9.4	35.8	9.8	10.5	27.1	8.5	5.5	32.7
北陸	1,056	778	73.7	10.6	10.3	13.8	10.2	36.2	7.9	9.7	30.4	6.9	5.0	26.3
中部	2,168	1,539	71.0	10.3	9.6	11.9	11.8	35.4	9.6	11.1	29.9	8.5	4.5	29.0
近畿	1,430	974	68.1	9.7	9.2	11.0	10.3	34.1	5.9	10.9	25.6	9.2	5.2	31.9
中国	1,216	886	72.9	11.4	12.2	12.8	10.0	39.0	7.9	10.8	28.0	8.5	3.2	27.1
四国	721	438	60.7	7.4	8.0	10.0	7.6	28.8	6.2	10.0	22.7	8.5	5.3	39.3
九州・沖縄	1,357	917	67.6	11.4	11.4	9.7	10.2	32.9	7.6	10.6	23.7	8.6	4.9	32.4

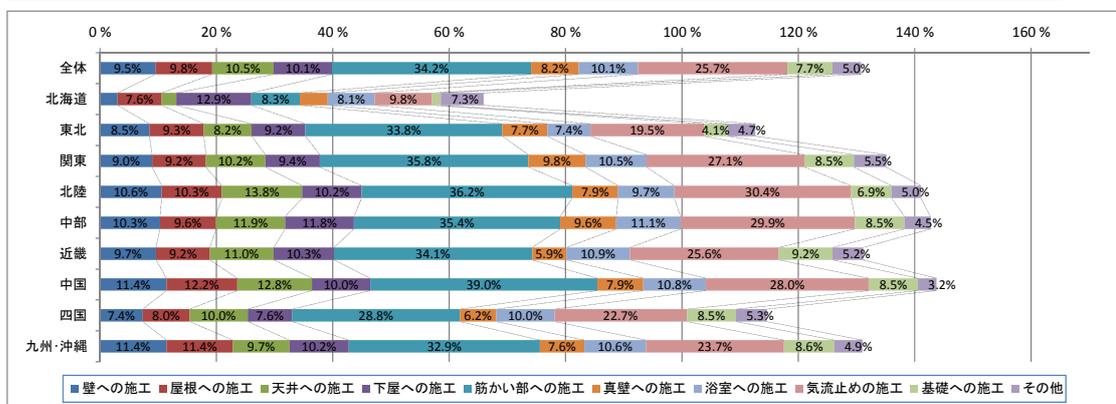


図 5-2-2b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

### 3) 講習の断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて

講習で説明のあった断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて、自由記述では以下のような記述があった。(全 28 回答を整理)

#### ●施工できていなかった(23)

- ・今まで正しくない施工をしていたことがわかって良かった。
- ・ふだんの施工で間違っただけの施工をしているところが気づけた。
- ・今までの施工法と違う部分がかかなりあった。
- ・細かな部分で今までと違うことがたくさんある。
- ・現状のグラスウール施工はDVDに比べればNGだらけ。
- ・日頃いい加減施工の部分があった。
- ・見落とししていた部分なども新にあったので参考になった。
- ・施工の部分に対して見直すところがあることに気が付いた。
- ・あいまいだったことがしっかりと理解できた。
- ・間違っていたのは施工順序。
- ・外張断熱工法の外壁に必ず透湿防水シートが必要ということを初めて知った。以前メーカーは不要と言っていた。
- ・設備に関しての断熱材の施工方法、耳からうろこ。
- ・断熱材の正しい仕方を学ぶことが出来、良かった。
- ・わかっているが現場で正しい施工がこれからしっかりと出来るかどうか。等

#### ●施工できている(5)

- ・今回の講習の内容は10年前から普通に現場で行われていた。
- ・大体の内容は仕事で行っている。
- ・基本的にすでに行っている内容ばかりだった。等

### (3) 今回の講習内容で施工する場合の手間

#### 1) 施工手間は増加か減少か

今回の講習内容で施工する場合の手間について、坪あたり人工が増加するという回答が約45%、どれくらい人工が増加するかについては平均1.4人工の増であった。

職種別では、施工の「人工増」、設計の「人工はほとんど変わらない」が全体より多くなっている。また現場管理はそのどちらも全体より多い。

地域別では北海道地域で「人工はほとんど変わらない」への回答が多く、本講習内容程度の施工は普段から行っていることが伺え、ハードルは低いと考えられる。

自由記述にもあるように、手間と工期の負担増に対してコストを確保できるか、それを建築主に理解してもらえるかが、講習内容レベルの省エネ施工の普及におけるポイントになると考えられる。

手間	回答数
ほとんど変わらない	3,770
坪あたり人工が増加する	6,050
坪あたり人工が減少する	76
無回答	3,656
全体	13,500

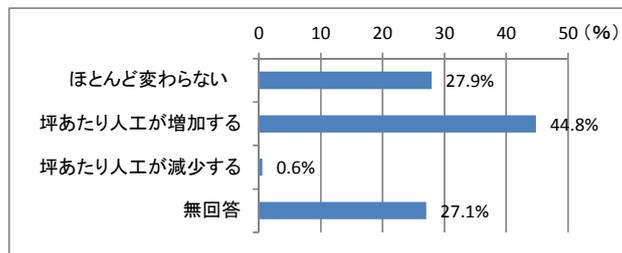


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	13,500	27.9	44.8	0.6	27.1
施工	5,122	21.9	52.6	0.8	25.3
(全体との差)		-6.1	+7.8	+0.2	-
現場管理	4,997	33.4	48.2	0.4	18.3
(全体との差)		+5.5	+3.4	-0.1	-
設計	1,582	35.5	34.8	0.4	29.6
(全体との差)		+7.5	-10.0	-0.1	-
その他	1,606	24.0	21.9	0.3	53.9
(全体との差)		-3.9	-23.0	-0.3	-

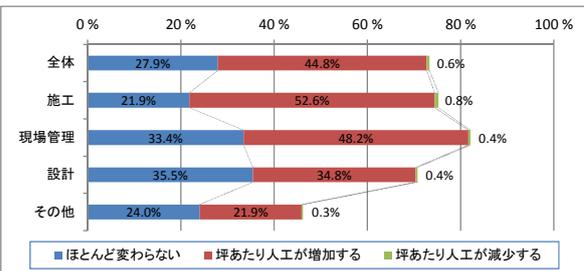


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	13,500	27.9	44.8	0.6	27.1
北海道	396	64.1	17.4	0.0	18.4
(全体との差)		+36.2	-27.4	-0.6	-
東北	1,691	34.9	38.0	0.4	27.1
(全体との差)		+7.0	-6.8	-0.1	-
関東	3,465	23.4	46.8	0.6	29.5
(全体との差)		-4.5	+2.0	+0.0	-
北陸	1,056	31.4	49.8	0.9	18.2
(全体との差)		+3.5	+5.0	+0.3	-
中部	2,168	28.4	48.2	0.5	23.8
(全体との差)		+0.4	+3.3	-0.1	-
近畿	1,430	26.2	44.2	0.5	29.4
(全体との差)		-1.7	-0.6	-0.1	-
中国	1,216	24.4	49.8	0.9	25.2
(全体との差)		-3.5	+5.0	+0.3	-
四国	721	26.1	37.7	0.7	35.9
(全体との差)		-1.9	-7.1	+0.1	-
九州・沖縄	1,357	22.7	47.0	0.4	30.1
(全体との差)		-5.2	+2.2	-0.1	-

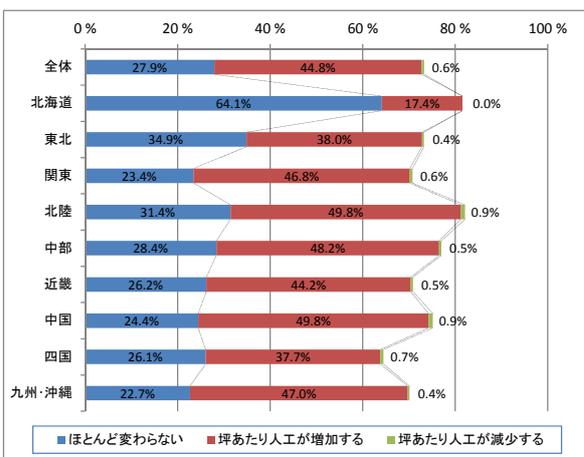


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工場合の手間

## 2) 今回の講習内容で施工する場合の手間について

今回の講習内容で施工する場合の手間について、自由記述では以下のような記述があった。(全23回答を整理)

### 【手間が掛かる、施工費が上がる】

- ・手間がかかる(手間請けの場合)。
- ・大工工事ばかりが増えて困る。
- ・建築コストがますます上がっていく。

### 【現実的ではない、実際は難しい】

- ・今の単価ではこの施工はできない。
- ・競い合いある中実際の施工コストや業界意識を変えないと正しい断熱施工は広まらない。
- ・当然正しき方法で施工すべきだとは思う。ただ住宅価格の下落、据え置き請負金額…。販売業者の意識が変わらないと。
- ・コストアップはなかなか理解されづらく工務店としては色々厳しい。
- ・今後コストアップは免れないが施工費に反映されるかは少し心配。

### 【予算、工期の確保が必要】

- ・手間や施工期間の両方の増加が必要とされる。
- ・手間請の仕事をしている。建売の会社。単価が安く、正直会社からもそこまで求められていない。一日でも早く木工事を終了することを要求され少々不満。

### 【施工費増はどこが負担するか】

- ・省エネ工法により坪単価の上った金額は誰が負担するのか。
- ・手間代の補償が一番。
- ・こんなに手間がかかってお客さんはお金を出すのか。
- ・お客の価値観しだい。それにお金が出せるかどうか。
- ・理想と現実(現場施工)に隔たりがあるように思われ、現状ではそれだけの費用の枠はみられていないのが一因。断熱材施工費は別枠登録制にしたらどうか。

### 【対応策など】

- ・この施工方法で歩掛りはいくつになるか、標準施工サイクル、タイムもあれば施工する側も参考になるのでは。
- ・これからはコストに反映できる施工方法や施工体制を作るべき。
- ・現実的には現場での施工が困難な施工方法が増えてくると思う。コスト面、施工性、効果 etc とトータルで考え資材を選定しなおす必要がある。

**【建築主へのアピール必要】**

- 最終的には建築主の意思決定が大きく左右するので彼らへのアピールが必要。
- 省エネルギー住宅にするとイニシャルコストはアップするが、ランニングコストは下がるという事を建築主にアピールしてもらいたい。このままでは施工者の負担がアップする。

#### (4) 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時のチェックに使用する図面

断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時にチェックに使用する図面は、屋根・天井、外壁、床・基礎のいずれの部位についても矩計図、仕上表、特記仕様書が主に用いられている。

床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書が全体の5%程見られた。

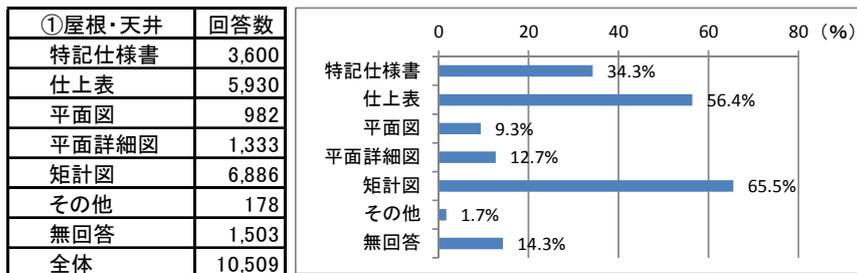


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

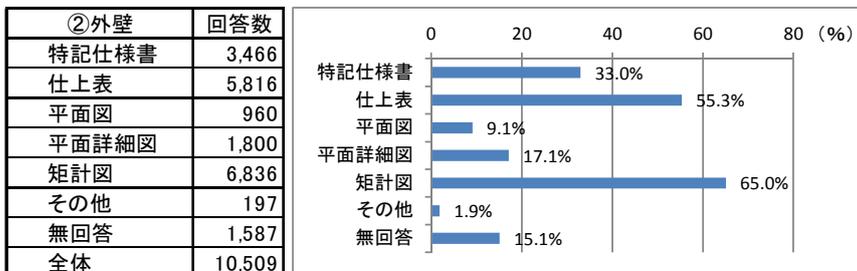


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

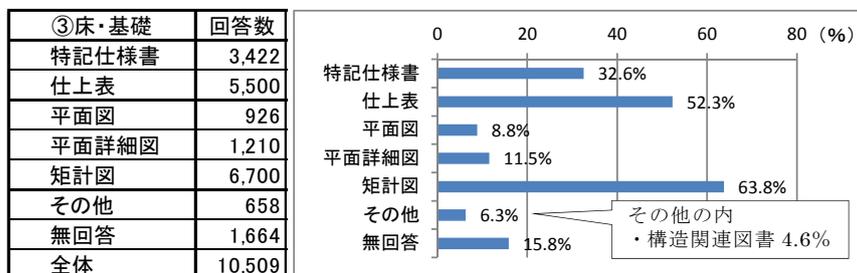


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

### (5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル

普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が約66%と最も多く、前年度の約60%から6ポイント増えている。

「平成4年基準(新基準・等級3)」は約17%、前年度約24%、「昭和55年基準(旧基準・等級2)」は約2%、前年度約6%と前年度回答から減っている。

地域別では北海道地域、東北地域、北陸地域、近畿地域で「平成11年基準以上」の割合が全体より高い結果となった。

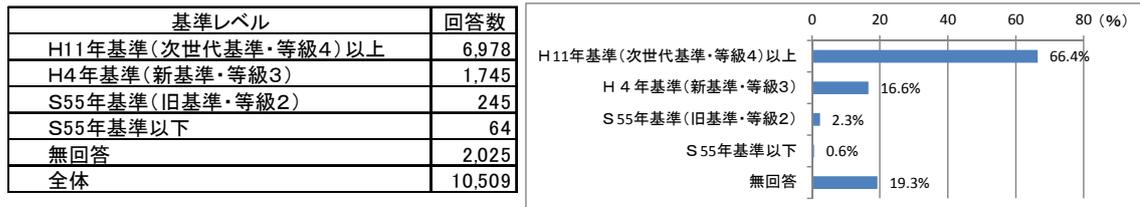


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

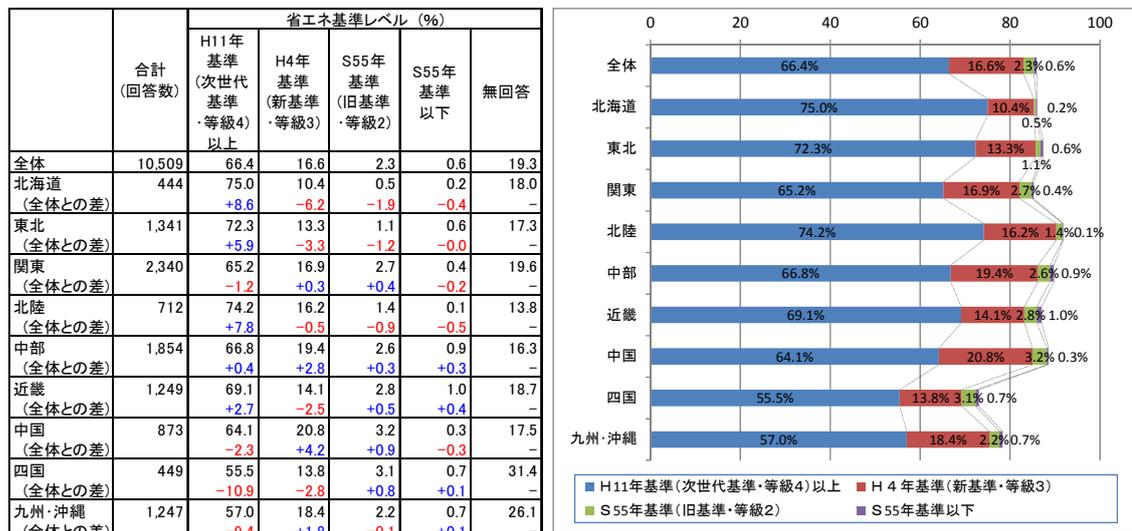


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

## (6) 計算経験のある断熱性能

計算経験のある断熱性能について、Q値(熱損失係数)は4割弱、U値(部位熱貫流率)とR値(熱抵抗値)が約2割の回答となっている。

地域別では、北海道地域と北陸地域が全ての項目について全体より高い割合であった。一方、四国地域、九州・沖縄地域では全ての項目において全体より低い割合となっている。

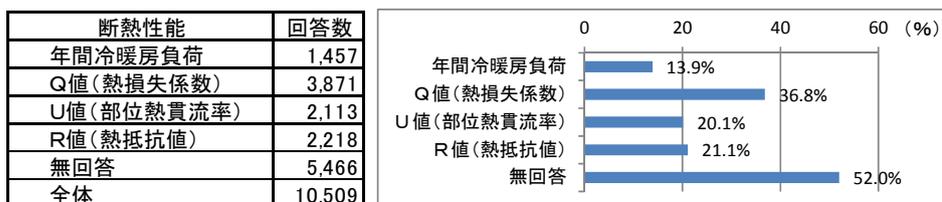


図 5-6a 計算したことのある断熱性能

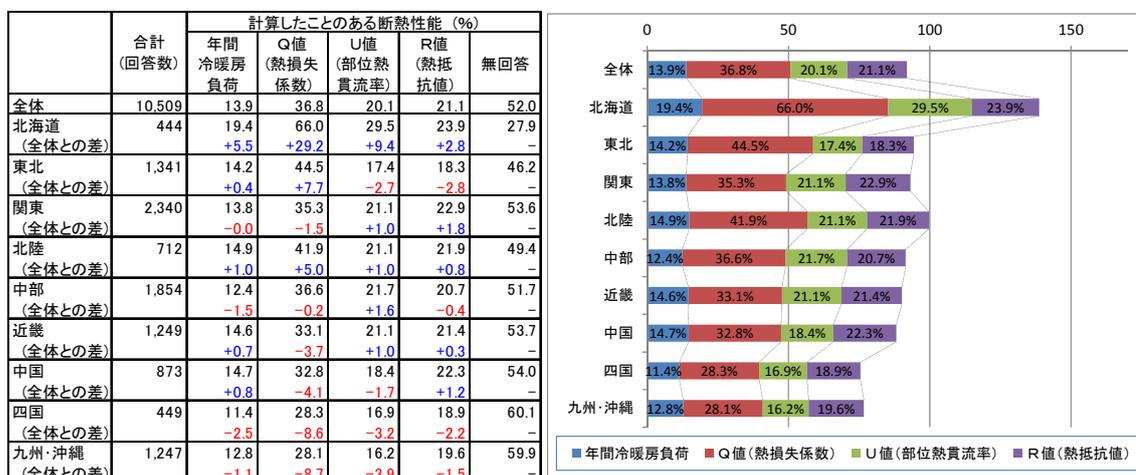


図 5-6b 地域別の計算したことのある断熱性能

## (7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、全体でも、いずれの職種でも「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多い。設計は「公的講習会・仕様書から」、「建築雑誌から」も全体より多くなっている。

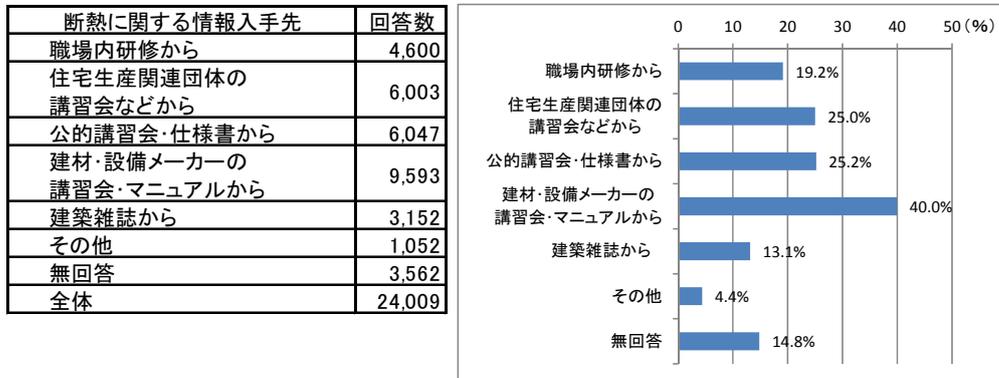


図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

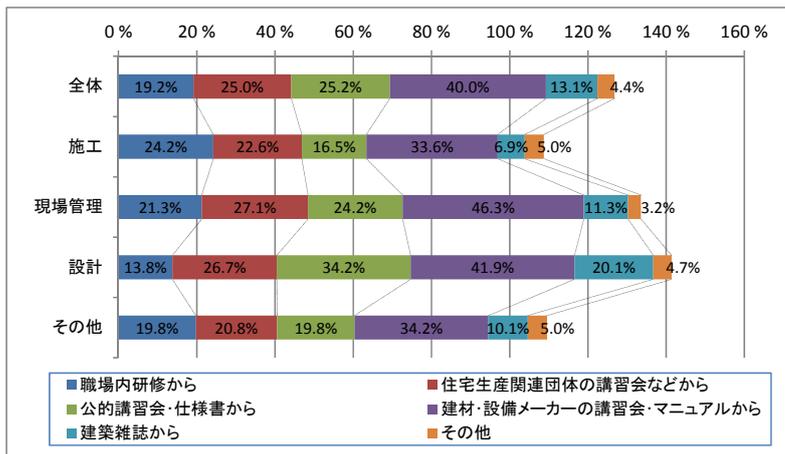


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%
職場関係	36	0.1%
建材メーカー、専門施工業者	17	0.1%
インターネット	181	0.8%
所属団体	135	0.6%
専門メディア	12	0.0%
仕様書、マニュアル	23	0.1%
人的ネットワーク	112	0.5%
その他講習会等	37	0.2%
ハウスメーカー	17	0.1%
現場	25	0.1%
海外情報	1	0.0%
自分で調べる	4	0.0%
省エネ団体	24	0.1%
未分類	29	0.1%
不明	53	0.2%
その他記入有り合計	706	2.9%
その他全体	1,052	4.4%
全体	24,009	100.0%

施工C	設計C
28	8
15	2
64	117
104	31
2	10
10	13
77	35
14	23
15	2
21	4
1	0
2	2
10	14
19	10
33	20
415	291
589	463
13,500	10,509

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

## (8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては、「現場施工者」が6割弱で最も多いが、「設計従事者」、「現場施工者」も5割前後となっている。「建築主」は約25%とであった。職種別では、いずれの職種についても自らの属する職種が全体より高い割合となっている。また設計は最も建築主と近い立場にある為か、全体より「建築主」が高い割合になっている。

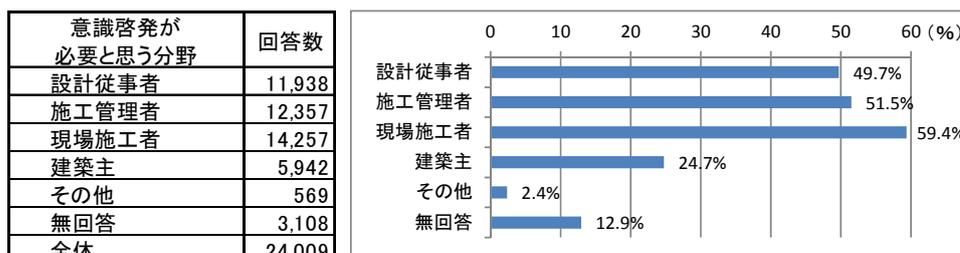


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か(複数回答)

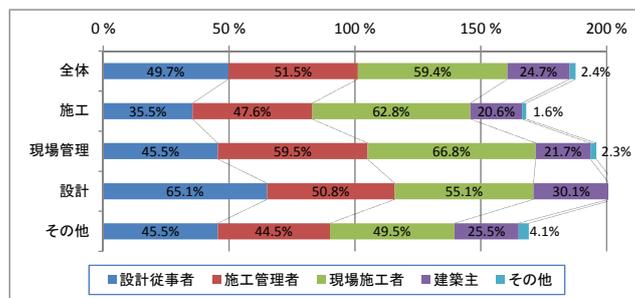


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%	施工C	設計C
設計従事者	6	0.0%	2	4
施工管理者	0	0.0%	0	0
現場施工者	32	0.1%	24	8
建築主	27	0.1%	15	12
設備施工者	16	0.1%	15	1
工務店、建設会社	21	0.1%	8	13
元請	7	0.0%	2	5
経営者	48	0.2%	21	27
営業	75	0.3%	21	54
会社全体	10	0.0%	6	4
建材メーカー	26	0.1%	11	15
建材販売	10	0.0%	4	6
ハウスメーカー	8	0.0%	5	3
不動産業者	7	0.0%	1	6
検査機関	6	0.0%	5	1
公的機関	1	0.0%	1	
行政、政治家	69	0.3%	30	39
マスコミ	10	0.0%	6	4
関係する全ての人、複数指摘	97	0.4%	50	47
国民、一般の人々	14	0.1%	8	6
その他	26	0.1%	14	12
不明	6	0.0%	3	3
その他記入有り合計	522	2.2%	252	270
その他全体	569	2.4%	275	294
全体	24,009	100.0%	13,500	10,509

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

## (9) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果のまとめ

省エネ設計・施工の実態について実態調査結果を以下に整理した。

### 1) 回答者属性

回答者の職種は現場施工者 24%、現場管理者 28%、設計者 35%、その他 12%であった。前年度と概ね同様の割合であった。

### 2) 多用される断熱工法、断熱材料

多用される断熱工法、断熱材料、組合せは以下の通り。北海道地域はその他地域との違いが顕れている。傾向は前年度と同様であった。

#### ●断熱工法

- 《屋根・天井》 ・ 天井断熱 69%が最多。
  - ・ その内 89%はグラスウール・ロックウール。
  - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で天井断熱が最多。
- 《 外 壁 》 ・ 充填断熱 74%が最多。
  - ・ その内 81%はグラスウール・ロックウール。
  - ・ 北海道地域は充填外張併用断熱 47%が最多で他地域と異なる。
- 《 床・基礎 》 ・ 根太間充填断熱 41%が最多。
  - ・ その内 81%は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)。
  - ・ 北海道地域は基礎断熱 58%が最多で他地域と異なる。

#### ●断熱材料

- 《屋根・天井》 ・ グラスウール・ロックウール 77%が最多。
  - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域でグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 外 壁 》 ・ グラスウール・ロックウール 77%が最多。
  - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域でグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 床 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 80%が最多。
  - ・ 北海道地域は床断熱のいずれの工法もグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 基 礎 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 87%が最多。
  - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最多。

● 取合い部分における断熱工法、断熱材料

《外壁×屋根・天井》断熱工法

- ・ 全体では外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最多。外壁外張断熱でも外張同士となる屋根野地上断熱との組合せより、天井断熱との組合せの方が多。
- ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱工法

- ・ 外壁充填断熱は全体では根太間充填断熱との組合せが最多。
- ・ 外壁外張断熱と外壁充填外張併用断熱は、全体では基礎断熱との組合せが最多。
- ・ 北海道地域は他の地域と異なり外壁のいずれの断熱工法との組合せについても基礎断熱が最多。
- ・ 中国地域、四国地域、九州・沖縄地域は外壁のいずれの断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多。

《外壁×屋根・天井》断熱材料

- ・ 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように、全体では同じ断熱材料同士の組合せが最多。地域別でも北海道地域を除き、同じ断熱材料同士の組合せが最多。
- ・ 北海道地域は外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱材料

- ・ 外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。
- ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で、外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。

### 3) 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。

受講後、普段の施工方法で勘違い等があったとしたもの、また受講内容で施工を行う場合の手間賃増減については以下の通りであった。北海道地域は講習内容レベルの断熱施工に慣れていることが影響していると考えられ、その他の地域とは結果が異なっている。傾向は前年度と同様であった。

#### ●正しく施工できていなかった部分(施工技術者講習内容を基準として)

- ・正しく施工できていなかった部分は、気流止め 39%、筋かい部 29%が多い。
- ・北海道地域は無回答 68%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

#### ●受講して難しい、やりにくいと感じた部分(施工技術者講習内容を基準として)

- ・難しい、やりにくいと感じた部分は、筋かい部 34%、気流止め 26%が多い。
- ・北海道地域は無回答 55%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

#### ●断熱施工の手間賃増減(施工技術者講習内容で施工を行う場合)

- ・受講内容で断熱施工を行う場合、人工増 45%が最多、ほとんど変わらない 28%、人工減 1%、無回答 27%であった。
- ・人工増の回答について、坪あたり平均 1.4 人工増であった。
- ・人工増の回答は講習内容の施工をしていないと言える。
- ・北海道地域は、ほとんど変わらない 64%が最多でその他地域と異なる。普段から講習内容程度の施工を行っていると考えられる。

### 4) 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。

- ・断熱仕様を担保するものとして、断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面に何を用いているかを把握した。
- ・矩計図 66%、仕上表 56%、特記仕様書 34%が多い。  
(屋根・天井の結果。外壁、床・基礎もほぼ同じ結果)
- ・床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書(5%)が目立つ。

### 5) 多用される省エネレベルは何か。

- ・多用される省エネレベルは次世代省エネ 66%、新省エネ 17%、旧省エネ 2%であった。
- ・次世代省エネは北海道が 75%、東北が 72%、北陸が 74%であった。

6) 性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。

- ・断熱性能値について計算経験があるのはQ値 37%、年間冷暖房負荷 14%、U値 20%、R値 21%であった。
- ・北海道地域はQ値 66%を筆頭に全ての項目について全体より高い割合となっている。北陸地域もに全項目で全体より高い割合となっている。

7) 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。

- ・断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 40%が最多。

8) 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・意識啓発が必要とされる分野は現場施工者 59%が最多、現場管理者 52%、設計者 50%、建築主 25%であった。

## 6. 講習内容・資料検討に関する調査結果

### (1) 施工技術者講習

#### ① 講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)

##### 1) 施工技術者講習テキスト

施工技術者講習では基本編及び施工編のテキストが使用されたが、9割以上の受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じており、構成・内容は適切であったと言える。

自由記述では、「分かりやすくまとまっている」、「図入りで分かりやすい」、「施工編の注意点・チェックリストは特に役立つ」、「客へ説明の際に参考にできる」という感想が見られた。一方、「チェック項目表に簡単な絵付きならよりわかりやすい」、「基本編は不要」、「現場に常備する為に購入できたら」という意見・要望があった。

職種別にみると、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。

テキスト	回答数
大変わかりやすかった	3,305
わかりやすかった	7,153
普通	2,519
わかりにくかった	162
大変わかりにくかった	29
無回答	332
全体	13,500

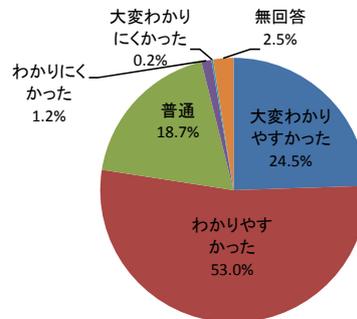
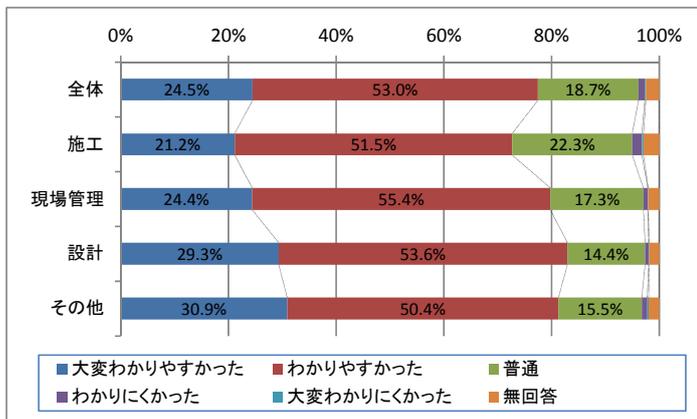


図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	24.5	53.0	18.7	1.2	0.2	2.5
施工	5,122	21.2	51.5	22.3	1.8	0.3	2.9
(全体との差)		-3.3	-1.5	+3.6	+0.6	+0.1	-
現場管理	4,997	24.4	55.4	17.3	0.8	0.1	2.0
(全体との差)		-0.1	+2.4	-1.4	-0.4	-0.1	-
設計	1,582	29.3	53.6	14.4	0.7	0.1	1.9
(全体との差)		+4.8	+0.6	-4.2	-0.5	-0.2	-
その他	1,606	30.9	50.4	15.5	1.0	0.2	2.0
(全体との差)		+6.4	-2.6	-3.2	-0.2	+0.0	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

## 2) 施工技術者講習 施工DVD

テキストと同様、DVDについても9割以上の受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。

自由記述では、「DVDが一番分かりやすかった」、「施工手順がわかりやすい」、「細かい納まり部分がわかりやすい」、「大工さん等に説明するのにかなり役立つ」、「いつでも見られる」、「DVDを見た後の施の説明でわかりやすい」という感想が見られた。一方、「設備部分の画像が不鮮明」、「DVDならば動画の方がわかりやすい」、「北海道は吹込みがほとんどなのでDVDとあわない」、「和室等の施工も見たい」といった意見・要望があった。

職種別もテキストと同様に、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。

DVD	回答数
大変わかりやすかった	3,942
わかりやすかった	6,877
普通	2,006
わかりにくかった	92
大変わかりにくかった	25
無回答	558
全体	13,500

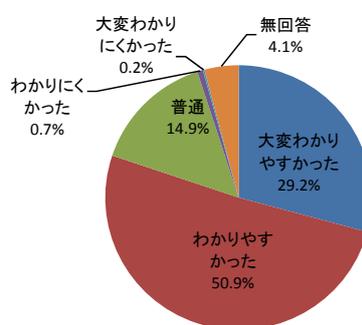
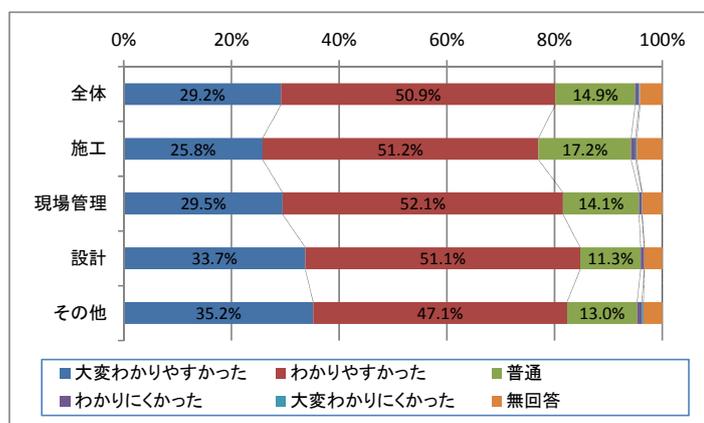


図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	29.2	50.9	14.9	0.7	0.2	4.1
施工	5,122	25.8	51.2	17.2	0.8	0.3	4.7
(全体との差)		-3.4	+0.3	+2.4	+0.1	+0.1	-
現場管理	4,997	29.5	52.1	14.1	0.5	0.1	3.7
(全体との差)		+0.3	+1.2	-0.8	-0.2	-0.1	-
設計	1,582	33.7	51.1	11.3	0.6	0.1	3.3
(全体との差)		+4.5	+0.1	-3.6	-0.0	-0.1	-
その他	1,606	35.2	47.1	13.0	0.9	0.3	3.5
(全体との差)		+6.0	-3.8	-1.8	+0.2	+0.1	-

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

### 3) 施工技術者講習用カットモデル

カットモデルは8割以上の受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

自由記述では、「模型はリニューアルした方が良い」、「精度の高く」、「カットモデルが小さくなっており説得力にかけていた」、「カットモデル説明時にメガホン、拡声機などがあると良い」、「全員が近くで見ることが出来ないので気密テープや部材に色が付いているとわかりやすい」という意見があった。

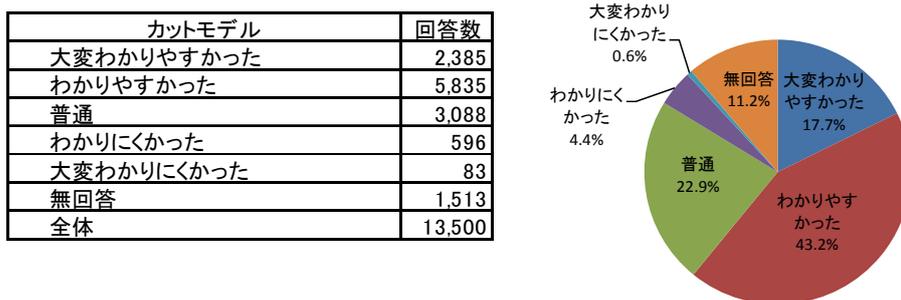
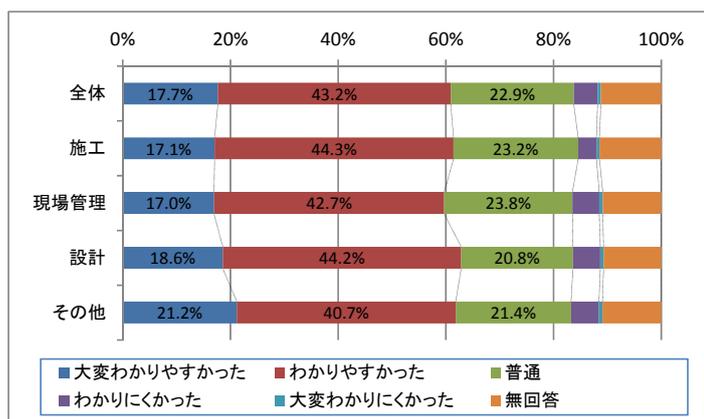


図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ



	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	17.7	43.2	22.9	4.4	0.6	11.2
施工	5,122	17.1	44.3	23.2	3.4	0.6	11.5
(全体との差)		-0.6	+1.1	+0.3	-1.0	-0.0	-
現場管理	4,997	17.0	42.7	23.8	5.0	0.7	10.8
(全体との差)		-0.7	-0.5	+0.9	+0.6	+0.0	-
設計	1,582	18.6	44.2	20.8	5.1	0.6	10.7
(全体との差)		+0.9	+1.0	-2.1	+0.6	+0.0	-
その他	1,606	21.2	40.7	21.4	5.2	0.7	10.9
(全体との差)		+3.5	-2.6	-1.5	+0.8	+0.1	-

図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

#### 4) 施工技術者講習資料への意見、要望

施工技術者講習資料について、自由記述では以下のような意見、要望があった。  
(全 79 回答を整理)

( )内は回答数

##### ●資料全般(14)

- 【好評】・テキストが色分けされているので解りやすくDVDの内容も更に解りやすく作られているので良かった。テキストは現場で施工者に説明する際に大変役立つことと思います。
- ・DVD放映やカットモデルなど実際現場での様子で説明されていたのは分かりやすかった。
  - ・DVD、模型などの説明で分かりやすかった。
  - ・テキストもDVDも大変分かりやすい資料でした。
  - ・これまで曖昧だった施工方法等をテキストやDVD、解説を通してより明確にすることが出来て良かった。
  - ・DVD、カットモデル、お話全てが分かりやすかった。
  - ・断熱法を図や映像だけでなくカットモデルで見たり直接質問できたので良かった。
  - ・テキストは写真や図などで大変わかりやすくみやすい。
  - ・テキストも大切だけでも映像や実物が何よりも参考になった。
  - ・DVD、カットモデルの仕様で、理解が深まった。
  - ・講義だけでは難しかったがテキスト・模型などがあり分かりやすかった。
- 【要望】・テキストとDVDと同じ内容でもう少しまとめるか詳しくしてほしい。

##### ●施工技術者講習テキスト(14)

- 【好評】・テキストが良い。 ・とても見やすかった。
- ・図入りで分かりやすかった。
  - ・分かりやすくまとまっているので参考になる。
  - ・テキストが分かり易く客へ説明する際にも参考にすることができる。
  - ・施工編の「注意点」「チェックリスト」は特に役に立つ。
- 【不評】・現場発泡ウレタンで壁面は施工しているがテキストにまったく記載が無いのが意外。
- 【要望】・現場に常備する為に購入できたら。
- ・断熱施工で気密と断熱の事しか考えられていなく、家の事を総合的に考えた上でテキストを作って考えてほしい。
  - ・チェック項目表はあったがそれに簡単な絵がついているとよりわかりやすかった。
  - ・テキスト基本編は不要。

●DVD (22)

【好評】・DVDは大変分かりやすかった。

- ・DVDが一番分かりやすかった。
- ・施工手順がわかりやすいのでDVDが良かった。
- ・細かい納まり部分がわかりやすくよかったです。
- ・大工さん等に説明するのにかなり役立つ。
- ・DVDはいつでも見られる。
- ・DVDを見た後での施工編の説明を受けたのでわかりやすかった。

【不評】・設備部分の画像が不鮮明でした。 ・長かった。

【要望】・北海道の断熱は吹込みがほとんどなのでDVDとあわない。

- ・施工方法はDVDならば動画の方がわかりやすい。
- ・3地域以北のDVDと模型を作った方がいい。
- ・特に在来工法による現場での施工(和室等)も見たかった。

●カットモデル(13)

【好評】・模型の説明がわかりやすくとても良かった。 ・模型は理解しやすい。

【不評】・模型がいまいちわからなかった。

【要望】・模型はリニューアルした方が良い。

- ・カットモデルをもっと精度の高いものにしてほしい、最低限テキストに載っているレベルの事ができているモデルであってほしい。
- ・カットモデルが小さくなっており説得力にかけていた、サイズアップを希望、サッシが入っている方がわかりやすい。
- ・カットモデルの説明時にメガホン、拡声機などがあると良い。
- ・全員が説明を聞きながら近くで見ることが出来ないので気密テープや部材に色が付いているとわかりやすい。
- ・見せ方(タイヤを付ける)を考えれば、もっとみんなが参加出来る。

●他の資料・説明の要望(7)

- ・基本編の第7章について施主さん向けのリーフレットがほしい。
- ・気密BOX、ウレタン断熱材…サンプルあればいい。
- ・納まりのディテール部の留意事項などイラストで。
- ・実際の施工は断熱以外に気密処理で困る部分が非常に多いため工法を簡略化できるような手法に対する支援を望む、例えば、筋かいや火打梁などを使わないで済む設計手法や気密や断熱の事例集などがあると大変助かる。
- ・セミナー内容をHP動画等で公開してはどうか。

## ②講習内容、説明方法

### 1) 基本編「第1章 これからの住まい」について

基本編「第1章 これからの住まい」について、難しいと感じている受講者は約1割となっている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、地域別では北海道地域が他地域に比べて易しいと感じた割合が高い。

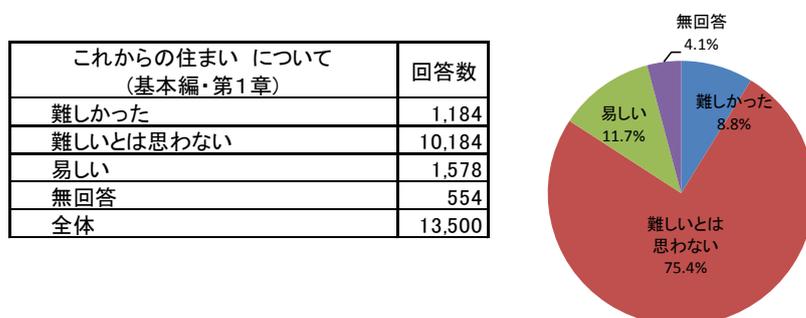


図 6-1-4a 基本編「第1章 これからの住まい」について

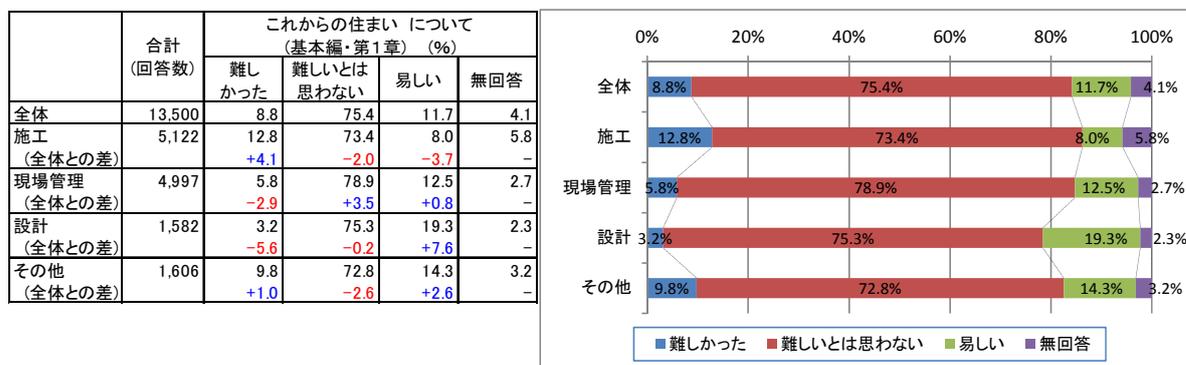


図 6-1-4b 職種別の基本編「第1章 これからの住まい」について

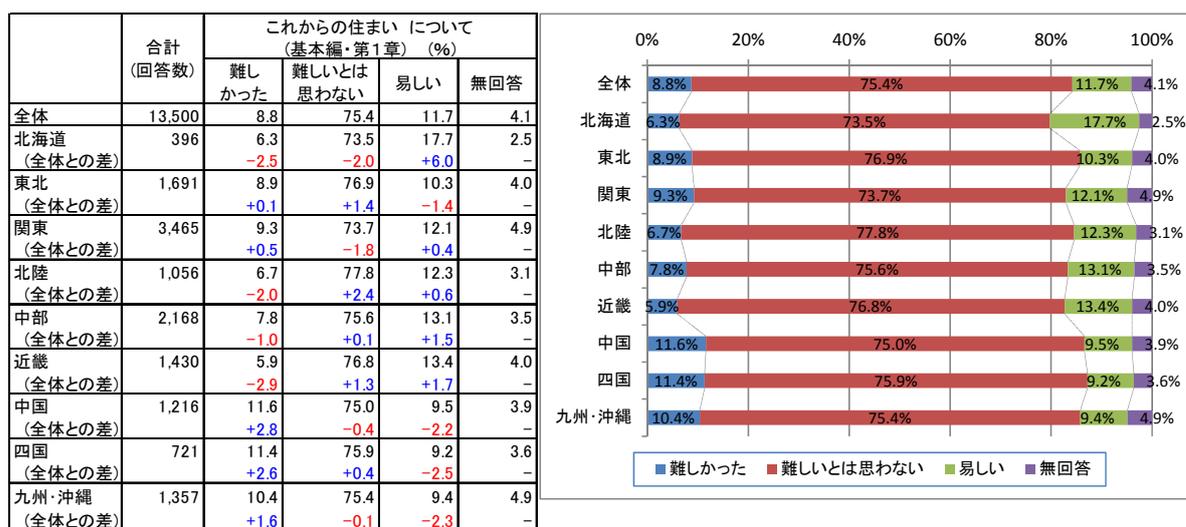


図 6-1-4c 地域別の基本編「第1章 これからの住まい」について

## 2) 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

第1章と同様、基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について難しいと感じている受講者は約1割となっている。職種別にみても難しいと感じた割合は施工が全体より高く、地域別では北海道地域が他地域に比べて易しいと感じた割合が高い。

建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)	回答数
難しかった	1,296
難しいとは思わない	10,167
易しい	1,445
無回答	592
全体	13,500

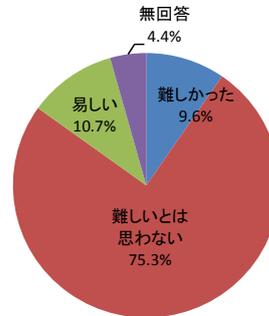


図 6-1-5a 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	9.6	75.3	10.7	4.4
施工 (全体との差)	5,122	13.3	72.9	7.5	6.3
現場管理 (全体との差)	4,997	6.9	78.8	11.4	2.8
設計 (全体との差)	1,582	3.9	75.7	18.3	2.2
その他 (全体との差)	1,606	10.9	73.6	11.9	3.6
		+3.7	-2.4	-3.2	-
		-2.7	+3.5	+0.7	-
		-5.7	+0.4	+7.6	-
		+1.3	-1.7	+1.2	-

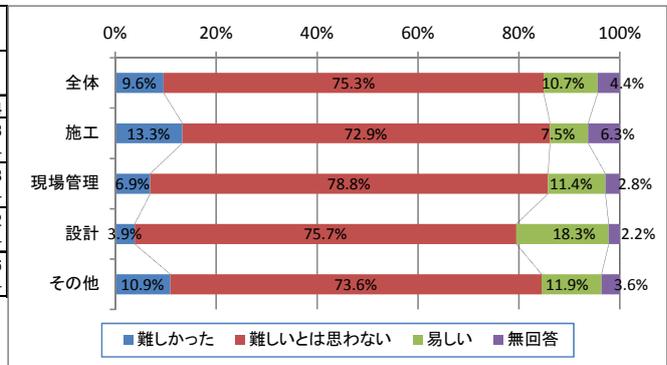


図 6-1-5b 職種別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	9.6	75.3	10.7	4.4
北海道 (全体との差)	396	6.1	75.5	15.9	2.5
東北 (全体との差)	1,691	9.6	75.9	10.0	4.5
関東 (全体との差)	3,465	9.9	74.4	10.7	5.0
北陸 (全体との差)	1,056	8.5	76.8	11.6	3.1
中部 (全体との差)	2,168	8.4	76.2	11.7	3.7
近畿 (全体との差)	1,430	6.9	76.5	12.6	4.1
中国 (全体との差)	1,216	12.2	74.6	8.7	4.5
四国 (全体との差)	721	11.7	76.3	8.2	3.9
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	12.2	73.1	8.9	5.8
		-3.5	+0.2	+5.2	-
		-0.0	+0.6	-0.7	-
		+0.3	-0.9	+0.0	-
		-1.1	+1.5	+0.8	-
		-1.2	+0.8	+1.0	-
		-2.7	+1.2	+1.9	-
		+2.6	-0.7	-2.0	-
		+2.1	+1.0	-2.5	-
		+2.6	-2.2	-1.8	-

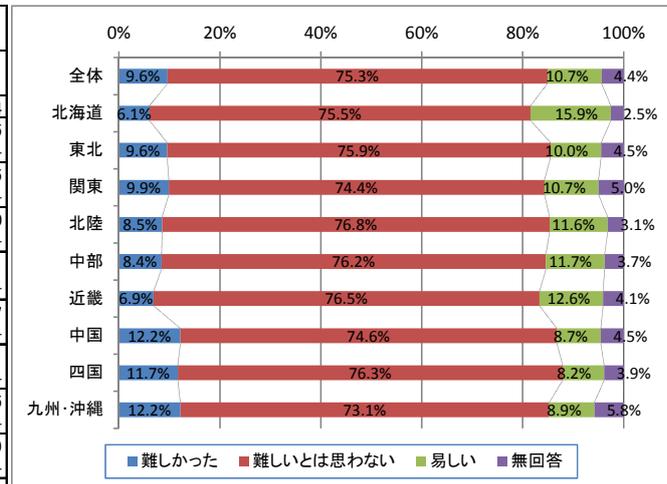


図 6-1-5c 地域別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

### 3) 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

第1章と同様、基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について難しいと感じている受講者は約1割となっている。職種別にみても難しいと感じた割合は施工が全体より高く、地域別では北海道地域が他地域に比べて易しいと感じた割合が高い。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)	回答数
難しかった	1,507
難しいとは思わない	10,003
易しい	1,356
無回答	634
全体	13,500

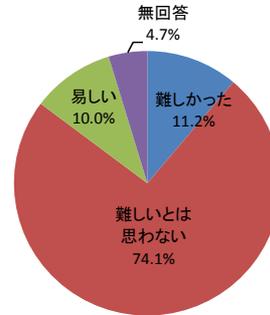


図 6-1-6a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	11.2	74.1	10.0	4.7
施工	5,122	14.0	71.6	7.5	6.9
(全体との差)		+2.8	-2.5	-2.5	-
現場管理	4,997	8.5	78.1	10.3	3.0
(全体との差)		-2.6	+4.0	+0.3	-
設計	1,582	5.5	74.9	17.3	2.3
(全体との差)		-5.7	+0.8	+7.2	-
その他	1,606	14.9	70.9	10.6	3.5
(全体との差)		+3.8	-3.2	+0.5	-

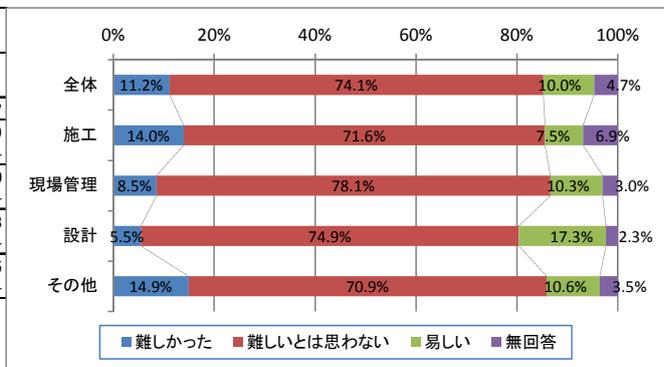


図 6-1-6b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	11.2	74.1	10.0	4.7
北海道	396	8.1	72.7	16.2	3.0
(全体との差)		-3.1	-1.4	+6.1	-
東北	1,691	10.9	74.2	9.9	5.0
(全体との差)		-0.2	+0.1	-0.2	-
関東	3,465	11.6	73.5	9.6	5.3
(全体との差)		+0.4	-0.6	-0.5	-
北陸	1,056	9.0	76.7	10.8	3.5
(全体との差)		-2.2	+2.6	+0.8	-
中部	2,168	10.7	74.5	10.9	3.9
(全体との差)		-0.5	+0.4	+0.8	-
近畿	1,430	8.2	75.8	11.8	4.2
(全体との差)		-3.0	+1.7	+1.8	-
中国	1,216	12.7	74.1	8.6	4.5
(全体との差)		+1.6	-0.0	-1.4	-
四国	721	15.3	72.3	8.2	4.3
(全体との差)		+4.1	-1.8	-1.9	-
九州・沖縄	1,357	13.3	72.3	8.1	6.3
(全体との差)		+2.1	-1.8	-1.9	-

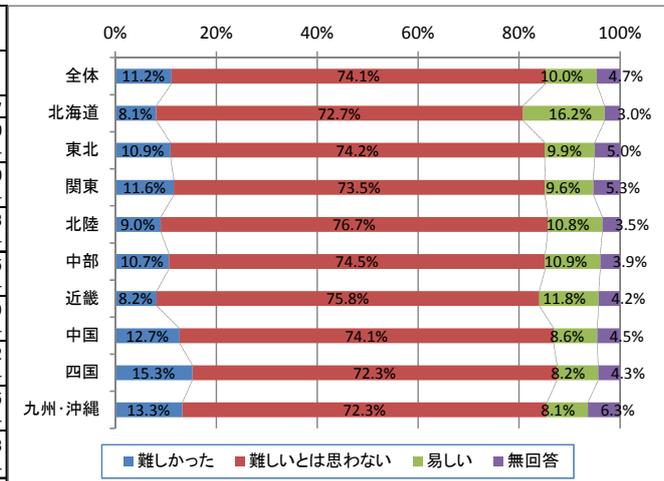


図 6-1-6c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

#### 4) 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」については2割弱の受講者が難しいと感じている。職種別にみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、地域別では北海道地域が他地域に比べて易しいと感じた割合が高い。

省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)	回答数
難しかった	2,393
難しいとは思わない	9,245
易しい	1,130
無回答	732
全体	13,500

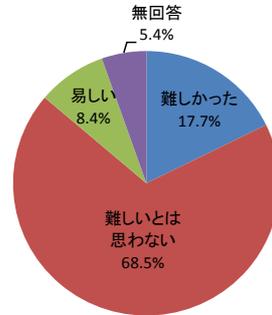


図 6-1-7a 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か つ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	17.7	68.5	8.4	5.4
施工 (全体との差)	5,122	21.0	65.1	6.3	7.7
		+3.2	-3.4	-2.1	-
現場管理 (全体との差)	4,997	16.1	71.8	8.4	3.7
		-1.7	+3.3	+0.1	-
設計 (全体との差)	1,582	10.2	72.6	14.7	2.6
		-7.5	+4.1	+6.3	-
その他 (全体との差)	1,606	19.6	66.6	9.1	4.8
		+1.8	-1.9	+0.7	-

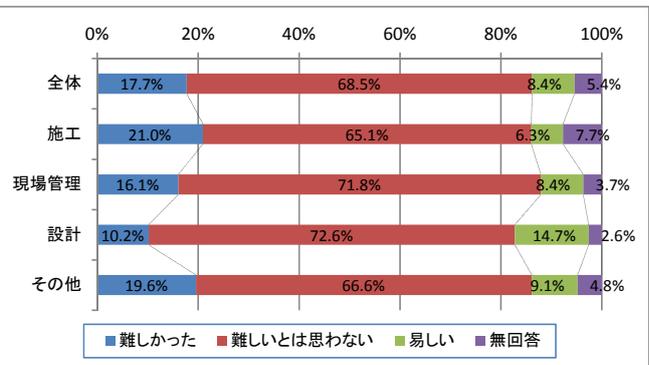


図 6-1-7b 職種別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か つ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	17.7	68.5	8.4	5.4
北海道 (全体との差)	396	11.1	71.0	14.6	3.3
		-6.6	+2.5	+6.3	-
東北 (全体との差)	1,691	16.8	69.4	8.1	5.7
		-0.9	+0.9	-0.3	-
関東 (全体との差)	3,465	19.1	66.9	7.8	6.1
		+1.4	-1.6	-0.5	-
北陸 (全体との差)	1,056	18.2	68.8	8.9	4.2
		+0.5	+0.3	+0.5	-
中部 (全体との差)	2,168	17.0	69.3	9.5	4.2
		-0.8	+0.8	+1.1	-
近畿 (全体との差)	1,430	12.2	73.6	9.5	4.8
		-5.6	+5.1	+1.1	-
中国 (全体との差)	1,216	18.7	68.8	7.2	5.3
		+0.9	+0.4	-1.1	-
四国 (全体との差)	721	22.2	66.6	6.1	5.1
		+4.5	-1.9	-2.3	-
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	20.8	64.5	7.0	7.7
		+3.1	-4.0	-1.4	-

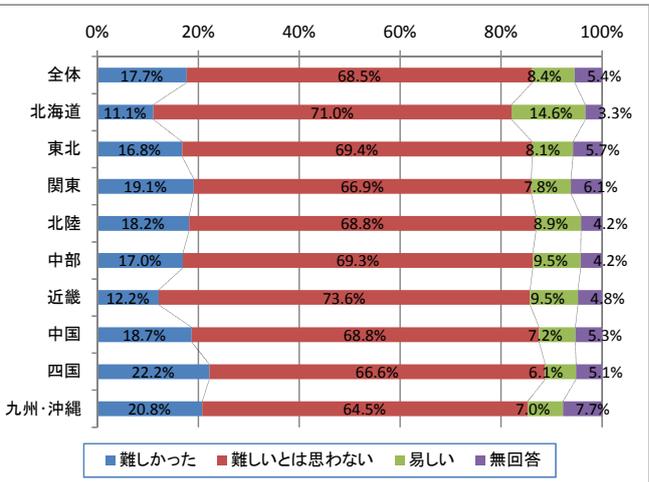


図 6-1-7c 地域別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

### 5) 施工編テキストについて

施工編テキストについては難しいと感じている受講者は約1割となっている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、地域別では北海道地域が他地域に比べて易しいと感じた割合が高い。

施工編テキストについて	回答数
難しかった	1,423
難しいとは思わない	9,642
易しい	1,238
無回答	1,197
全体	13,500

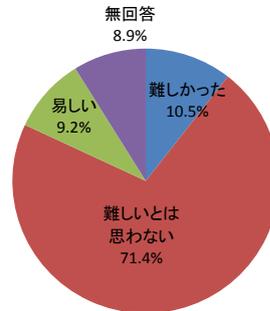


図 6-1-8a 施工編テキストについて

	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	10.5	71.4	9.2	8.9
施工 (全体との差)	5,122	+3.0	-2.8	-2.1	10.9
現場管理 (全体との差)	4,997	-2.9	+4.1	+0.4	7.3
設計 (全体との差)	1,582	-5.1	+2.7	+5.7	5.6
その他 (全体との差)	1,606	+3.7	-4.3	+0.4	9.1

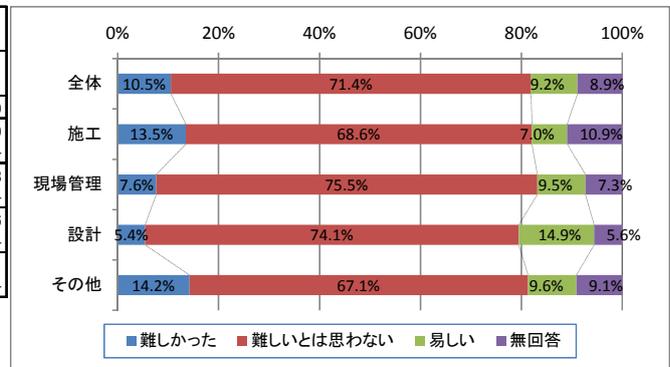


図 6-1-8b 職種別の施工編テキストについて

	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	10.5	71.4	9.2	8.9
北海道 (全体との差)	396	-4.0	-1.5	+5.7	8.6
東北 (全体との差)	1,691	+0.2	+0.4	-0.5	8.8
関東 (全体との差)	3,465	+0.4	-1.3	-0.3	10.0
北陸 (全体との差)	1,056	-1.5	+2.2	+1.0	7.3
中部 (全体との差)	2,168	-0.8	+0.8	+1.0	7.8
近畿 (全体との差)	1,430	-2.6	+3.2	+1.0	7.3
中国 (全体との差)	1,216	+1.3	+0.0	-1.4	9.0
四国 (全体との差)	721	+2.8	-1.7	-1.3	9.0
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	+2.4	-2.2	-1.9	10.5

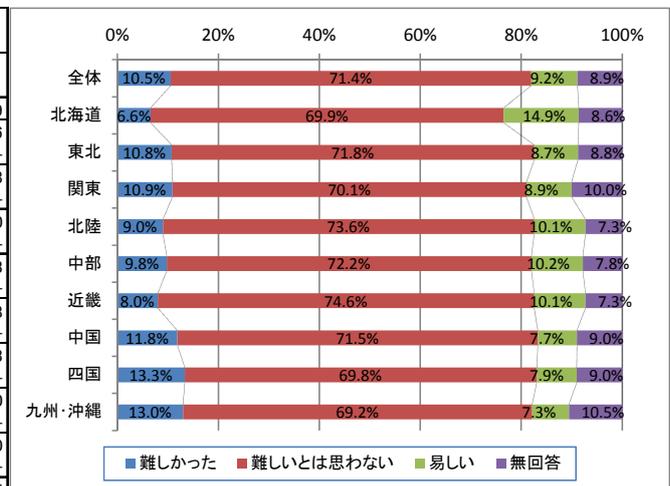


図 6-1-8c 地域別の施工編テキストについて

## 6) 講習内容、説明方法への意見、要望

施工技術者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 216 回答を整理)

( )内は回答数

### ●内容重複 不評(34)

- ・講習会内容にくり返が多い。
- ・テキストとDVDの内容は同じなのでどちらかで良い
- ・テキストだけでよい。
- ・DVDのみで良い。
- ・重複するので要点のみにし時間の短縮をすべき。
- ・時間短縮して午前か午後の半日になるように。
- ・重複するのなら少しでもいいので実演してほしい。
- ・テキストとDVDの内容が同じなので、同時に説明すると早くてわかりやすい。
- ・設計も受講したので基本編が重複した。
- ・基本編と施工編の重複がたくさんある。 等

### ●読み上げる講習 不評(31)

- ・テキストを読むだけの講義ではほとんど意味がない。
- ・DVDがあるのでテキストを全部読まなくて良いのでは。
- ・テキストを読むだけでなく…
  - ・テキスト以外の事も教えてもらえればなお良かった。
  - ・+αの説明が欲しかった。
  - ・DVD映像の補足事項をテキストで説明した方が分かり易い。
- ・テキストを読むだけなら…
  - ・各自読む事とし時間短縮してほしい。
  - ・もっとポイントをしばってくれた方がよい。
  - ・模型解説の充実や体験型講習にすれば有意義。
  - ・DVDだけで十分。
  - ・テキストさえあれば講師不要。
  - ・わざわざ聞きにくる必要はなかった。 等

### ●要望 ポイントを絞った説明(8)

- ・ポイントをしばって説明した方が分かりやすい。
- ・重要な所は特に重要だと言ってほしい。
- ・何が大事なのかをわかりやすくしてもらえると良い。
- ・講師は事前にテキスト内容を確認し説明方法を工夫してほしい。
- ・短時間だから要点を特に講義しあとは自分で読めば良い。 等

●要望 説明順序(4)

- ・DVD放映を最初にすましたらどうか。眠くてしょうがない。
- ・DVDは講義の後で。
- ・DVDを流しながら解説しては。 等

●要望 説明箇所がわかるように(1)

- ・講師の開いているテキストをスクリーンに表示しながら進めると理解しやすい。どこを開いてどの説明をしているか分かりにくかった。

●要望 DVD、パワーポイント等映像活用(12)

- ・全てDVDの講習の方が分かりやすい。
- ・施工の講義はDVDとテキストの説明を同時の方が分かり易い。
- ・パワーポイント等などを併用した方が良い。
- ・もう少し映像を取り入れてほしい。
- ・黒板やスライドを使った方がわかりやすい。 等

●要望 具体例、実例による説明(14)

- ・施工の悪い例をもっと取り上げてもらえるとわかりやすい。
- ・断熱工事の失敗例やデメリットをもっと教えた方がいい。
- ・テキストにもとづいた解説を具体的に聞きたかった。
- ・テキストより突っ込んだ施工例紹介やアドバイスがあっても良い。
- ・施工方法による具体的な施工例を紹介してほしい。
- ・在来軸組における施工実態の具体的事例が欲しい。
- ・実際の現場でやってほしい
- ・実物を使った実践的講習が良いのではないかな。 等

●要望 実習・実演のある講習(9)

- ・今回の講義に足りないと思うのは実技がない事。
- ・施工体験もしたい。
- ・現場研修してほしい。
- ・施工現場での講習会で実技などをしてみたらどうか。 等

●要望 新基準、関連制度の詳しい説明(24)

- ・25年度基準をもっと詳しく願いたい。
- ・外皮性能基準の算出法を具体的に説明希望
- ・一次エネルギーについての説明がもう少し時間を取ってほしかった。
- ・低炭素住宅について(計算含む)もっと知りたかった。
- ・法律の出来た理由の説明が欲しかった。
- ・基準の改正等についてももう少し詳しい話があっても良かった。
- ・代8章の省エネルギー基準の時間がもう少し欲しい。
- ・第9章の各法、基準と制度等についての講習の開催を希望。

- ・H27年4月以降、改めて実務についての講習を実施してほしい。
- ・25年度の申請部分などもう少し細部にわたる所を知りたかった。
- ・省エネ、リフォーム税別優遇処置の申請方法とか具体的例。
- ・省エネ施工すると補助制度があるのかなども聞きたかった。 等

●要望 質疑応答の時間確保(5)

- ・質疑応答の時間がほしい。 等

●要望 より詳しい内容の講習(7)

- ・もう少し時間を割いて細かい部分の解説の時間があればいい。
- ・フォローアップや追加(詳細)講習をぜひ実施してください。
- ・もっと詳しい講義を求めたい。断熱性能や、木材への収縮の影響等。
- ・もう少し細かい内容も勉強したかった。例えば断熱材の厚さについてのディスカッション、現在、太陽光の普及により片流れの屋根が多い為片流れの屋根の通気の内壁等 等

●要望 当該地域向け講習(2)

- ・北海道での仕様について解説をしてほしい。断熱、気密、設備。
- ・北海道の技術レベルに応じた内容とすることが望ましい。

●要望 施工者向け講習(20)

- ・現場施工者向けの講習会を開催してもらえると施工全体のレベルアップにつながる。
- ・現場施工者(大工さん)に断熱材の重要性を理解してほしい。そのような講習会を大工組合とかでできないか。
- ・今回のセミナーDVD施工を行うことが当たり前だと特に現場の協力業者と重要な大工も全く知らない。
- ・このような施工を監督に全てチェックさせるのは負担が大きい。現場作業員にもっとしらしめてほしい。
- ・現場との違いが多くあり、本当の施工技術者が少ないと思う。
- ・1人親方が受講できるような環境にして欲しい。
- ・近年の建主は断熱の知識の高い人が多く、職人側の知識が追い付いてないと思われるのでこのような講習をもっと行ってほしい。
- ・現場施工業者の受講義務化。
- ・もっと技術的な施工の講習が欲しかった。
- ・施工的な面をもっと詳しく教えて。 等

●要望 設備、建材等他業種向け講習(3)

- ・施工者だけ理解しても変わらない。設備関係者と一緒に講習を受ける事が大事。
- ・設備(給排水、電気)等の施工の講習会が必要。販売店(建材関係)の指導講習会が必要。 等

●要望 リフォーム向け講習(10)

- ・リフォームについてももう少し時間を割いて欲しかった。
- ・リフォームについては難しい部分がかかなりあると思う。施工例や、マニュアルなどの整備、講習などあれば良い。
- ・リフォーム工事における断熱材施工時の防湿層の作り方が不明。
- ・既存住宅の断熱リフォームに触れられていたが、この辺りの話しも欲しかった。
- ・リフォームなどでマニュアル通りの施工ができない場合の応用や例などがもっとあったらいいと思う。
- ・部分リフォーム(費用面でこちらの需要の方が多いと思うので)の場合の考え方などももう少し詳しい検証があれば参考になったと思う。
- ・電気、設備や改修方法(間取り変更に対する構造補強等)の講習などがあれば参加したい。等

●社内講習、社内情報共有(3)

- ・新入社員でこの講習会を会社から受けるよう言われた。全く知らなかった事も多く大変勉強になった。
- ・住宅会社ごとに個別指導などの場を設けてほしい。
- ・わかりやすかったので社員にも伝え講習に参加させたい。

●要望 講習内容以外の説明(7)

- ・耐震についての講習会、参加したい。
- ・断熱だけでなくパッシブな構造や設備面の省エネルギーの項目も大事だと思うので、講習内容にあるといいなと思った。
- ・木工事より軽量工事が多い為、そちらも知りたい。
- ・非木造の施工講習会もお願いしたい(RC造、S造、SRC造)。
- ・C値測定の講習会の実施と、測定機をセンターなどでかしたサービスを行えば、地域の技術レベルが上がると思う 等

●講習内容への批判(16)

- ・参考になったが物足りなかった。
- ・深く知るには内容が少ない。
- ・特に得るものがない講習だった。
- ・期待していた内容でなかったので残念。
- ・レベルが低すぎる。
- ・模型の解説がわかりやすくしてほしい。
- ・考査は必要ないのでは。
- ・各工法のメリット及びデメリット等の説明があると良かった。
- ・換気計画の内容が不足していると思う。
- ・施工後リフォーム等への対応等の長期にわたる管理については考慮がないと思った。

- ・主旨は解るが施工できるのか。
- ・設計・施工管理と現場施工者とは全く別内容で分けて行った方がよい。
- ・施工技術者と設計技術者の講習は1つのセットで行わないと意味がない。等

●講習会意義への疑問(3)

- ・ずっと寝てたやつもとれちゃうような資格なら何の価値もない。すごく失礼な講習会。他の人にはすすめられない。
- ・断熱業者の講習会なのか。何が言いたいのか何がやりたいのか。
- ・受講者に対して考慮されることはないのか。新しい資格に対し疑問を持たざるを得ない。

●講習会内容 その他(2)

- ・WEB等で受講できるようにすれば、現場の人間も参加しやすい。
- ・今回の講習会では今までやってきて当たり前的事ではないかと思う。

### ③修了考査

#### 1) 修了考査

施工技術者講習における修了考査について 13.0%の受講者が難しいと感じている。  
職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。

修了考査 【施工技術者講習】	回答数
難しかった	1,756
難しいとは思わない	7,934
易しい	1,697
無回答	2,113
全体	13,500

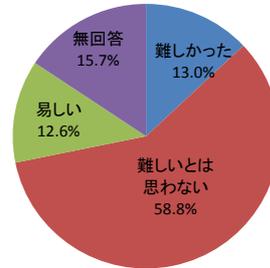


図 6-1-9a 【施工技術者講習】修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難し かった	難しいとは 思わない	易しい	無回答
全体	13,500	13.0	58.8	12.6	15.7
施工	5,122	16.8	57.2	8.7	17.3
(全体との差)		+3.8	-1.6	-3.8	-
現場管理	4,997	9.9	61.6	14.4	14.1
(全体との差)		-3.1	+2.8	+1.8	-
設計	1,582	7.0	60.7	19.8	12.5
(全体との差)		-6.1	+2.0	+7.3	-
その他	1,606	15.9	54.2	12.8	17.1
(全体との差)		+2.9	-4.5	+0.2	-

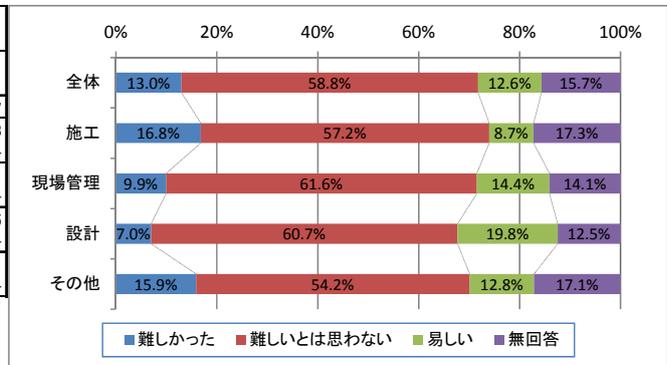


図 6-1-9b 【施工技術者講習】職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難し かった	難しいとは 思わない	易しい	無回答
全体	13,500	13.0	58.8	12.6	15.7
北海道	396	9.3	55.1	12.4	23.2
(全体との差)		-3.7	-3.7	-0.2	-
東北	1,691	12.4	57.5	12.7	17.4
(全体との差)		-0.6	-1.3	+0.1	-
関東	3,465	13.3	56.7	11.9	18.2
(全体との差)		+0.3	-2.1	-0.7	-
北陸	1,056	12.2	62.0	12.5	13.3
(全体との差)		-0.8	+3.3	-0.1	-
中部	2,168	12.2	60.9	14.2	12.8
(全体との差)		-0.8	+2.1	+1.6	-
近畿	1,430	10.6	59.8	15.8	13.8
(全体との差)		-2.4	+1.0	+3.2	-
中国	1,216	14.8	59.6	12.6	13.0
(全体との差)		+1.8	+0.9	+0.0	-
四国	721	16.2	58.8	9.2	15.8
(全体との差)		+3.2	+0.0	-3.4	-
九州・沖縄	1,357	15.3	59.1	10.2	15.5
(全体との差)		+2.2	+0.3	-2.4	-

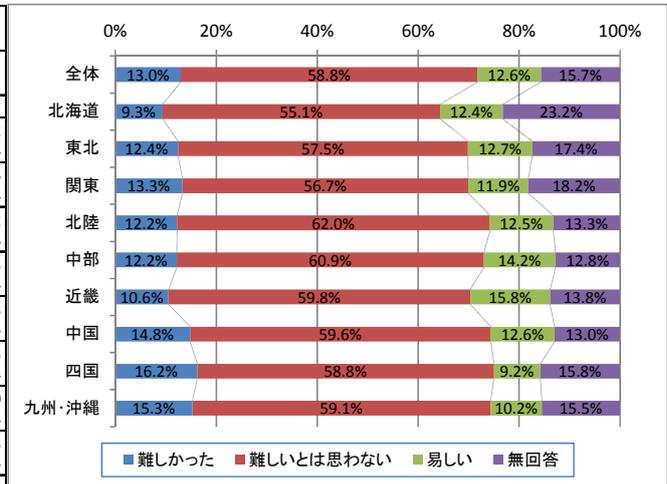


図 6-1-9c 【施工技術者講習】地域別の修了考査について

## 2) 修了考査への意見、要望

施工技術者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全5回答を整理)

### 【不評】

- ・テストが易しすぎて意味がない。
- ・修了考査の時間が短い。
- ・答え合わせは必要ない。

### 【要望】

- ・修了考査はテキストを見たりなどは無くした方がよい。
- ・考査問題解説は解答があればなくてもいい。

#### ④講師の説明

##### 1) 講師の説明

施工技術者講習における講師の説明についてわかりやすい、または普通と感じている受講者が合わせて91.4%であった。前年度の74.1%から増えている。

自由記述では、好評であった点について、イラストを描きながらで分かりやすい、ポイントのところでマークするよう指示が有り分かりやすい、DVDでは大事な所を復唱してくれたので頭に残り理解しやすい、現場経験者が話しているのが現場での状況が反映されて良い、という感想が見られた。

一方不評であった点については、講師の声の大きさ、滑舌、話すテンポ、抑揚の無さに対する指摘や、講師として勉強不足、理解不足であるといったことや、時間通りに進行できていないといった指摘があった。

講師の説明 【施工技術者講習】	回答数
大変わかりやすかった	2,068
わかりやすかった	6,076
普通	4,203
わかりにくかった	528
大変わかりにくかった	104
無回答	521
全体	13,500

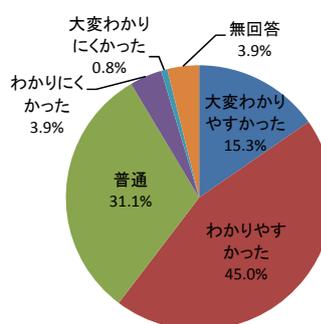


図 6-1-10 【施工技術者講習】講師の説明について

##### 2) 講師の説明への意見、要望

施工技術者講習における講師の説明について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全62回答を整理)

###### 【好評】

- ・ていねいな解説で有難かった。
- ・説明がわかりやすく、聞きやすかった。
- ・イラスト描きながらで分かりやすかった。
- ・ポイントのところでマークするよう指示が有り、分かりやすい説明だった。
- ・DVDを講師が大事な所を復唱してくれたので頭に残り、理解しやすかった。
- ・現場に出ている方が話しているのが、現場での状況が反映されて良いと思う。

###### 【話し方】

- ・説明の声を大きくしてもらいたい。
- ・大きな声で詳しくゆっくり説明してほしい。
- ・えーとか、…とかはいらない。

- ・少し早口で聞きとれない部分あり。
- ・読み方がヘタ。
- ・もうちょっとはつきり話してほしい。
- ・聞きとりにくい、何を言っているのかわからない。
- ・声が大きすぎて、もっと流暢にしゃべってもらわないと。
- ・もう少し抑揚をつけて話してほしい。
- ・もう少し滑舌よく話してくれたらいいのにと思った。

#### 【質】

- ・説明がヘタ。分かりにくかった。
- ・テキパキ説明してほしい。
- ・説明がまとまりを感じなかった。
- ・言い間違いが多くて聞きとりづらかった。
- ・漢字の読み間違いが多く気になった
- ・講師の説明が自己満足なかんじでよく分からなかった。
- ・講師ももう少し勉強が必要ではないか。
- ・講師がよくわかっていないのでは。きちんと理解して、ポイントおさえて説明して欲しい。
- ・講師の人は建築士か。知識が低いと思う。
- ・何言っているかわからない。自信がないなら意味ない。伝わらない。
- ・説明の中で「〇〇だと思う」という表現が散見されたが講師として正確な情報を伝えてもらいたい。
- ・実際やっていない方々に講習と言われてもなかなか難しい。
- ・たとえ話や例題などの話が古すぎて参考にならない。 等

#### 【進行】

- ・カリキュラム通りに進行してほしい。時間がオーバーしすぎ。
- ・時間内で終われるようにしてほしい。後半とばす様になってしまう。
- ・時間管理がイマイチ。 等

## (2) 設計者講習

### ①講習会資料（テキスト）

#### 1) 設計者講習テキスト

設計者講習では基本編及び設計編のテキストが使用されたが、9割近くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じており、構成・内容は適切であったと言える。

自由記述では、「見やすく分かりやすい」、「テキストが分かり易かったので駆け足でもよく分かった」、「テキストに沿って行くと分かりやすかった」、「テキストがまとまっており実務で活用できそう」等の感想がある一方、「項目間のつながりが分かりにくい(フローチャート)」、「テキストに索引があれば良い」、「資料編は別冊にしてテキストと分けた方が使いやすい」、「重要ポイントを抜粋したプリントがあると分かりやすい」等、全体構成や要点を把握できる資料への意見・要望が見られた。また「断熱の必要性を施主にアピールできるようなツール」、「住宅取得者にメリットになる内容を案内してほしい」といった施主向け資料への要望が見られた。

職種別にみると、わかりやすかったと感じた割合について施工、現場管理は全体より低く、設計は全体より高かった。

講習会資料 (設計者テキスト)	回答数
大変わかりやすかった	1,810
わかりやすかった	4,688
普通	2,803
わかりにくかった	693
大変わかりにくかった	86
無回答	429
全体	10,509

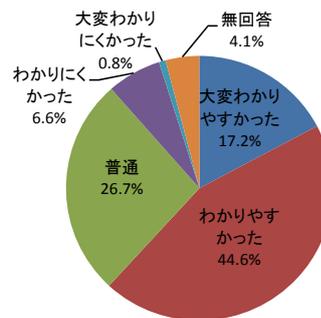
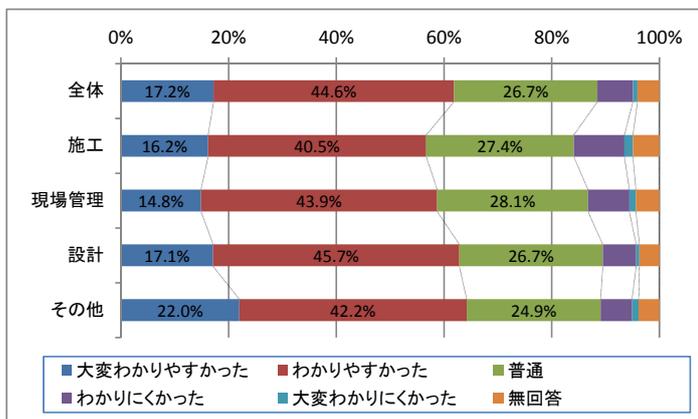


図 6-2-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	講習会資料(設計者テキスト)					
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答
全体	10,509	17.2	44.6	26.7	6.6	0.8	4.1
施工	711	16.2	40.5	27.4	9.4	1.5	4.9
(全体との差)		-1.0	-4.1	+0.8	+2.8	+0.7	-
現場管理	1,664	14.8	43.9	28.1	7.6	1.2	4.4
(全体との差)		-2.4	-0.7	+1.4	+1.0	+0.4	-
設計	6,787	17.1	45.7	26.7	6.2	0.6	3.7
(全体との差)		-0.1	+1.1	-0.0	-0.4	-0.2	-
その他	1,238	22.0	42.2	24.9	5.8	1.2	3.9
(全体との差)		+4.7	-2.4	-1.8	-0.8	+0.4	-

図 6-2-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

## 2) 設計者講習資料への意見、要望

設計者講習資料について、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(全 146 回答を整理)

- テキスト 基本編・第1章 これからの住まい(1) ※( )内は回答数
  - ・二酸化炭素による地球温暖化というのは嘘だと思う。
- テキスト 基本編・第7章 住まい方と維持管理(1)
  - ・施工技術講習テキスト第7章住まいと維持管理がとても分かりやすかった。お施主さんにもコピーして渡したいと思う。
- テキスト 設計編・第2章 外皮性能の計算(3)
  - ・基礎の熱貫流率の算出方法がよくわかりません。
  - ・基礎断熱がわかりにくい
  - ・こんな計算いきなり出来る訳ない。テキストの計算部分をもっと実用的フローに書き直して実務で使えるように再構成してもらいたい。フローに従って自動的に手計算できる手順を掲載すべき。
- テキスト 設計編・第3章 一次エネルギー消費量の計算(2)
  - ・基準一次エネルギーの算定内容についても記載がほしい。
  - ・一次エネルギー消費計算は算定プログラムを使っていたので、いざ自分で計算するとなると難しく感じた。
- テキスト 設計編・第6章 計算例(4)
  - ・地域に合った計算式であればなお良かった。
  - ・様々な場合の演習問題もしくは例などをテキストに入れてほしい。
  - ・外皮計算の算出について複雑な形状の建物も計算例に入れてほしい。
  - ・実務にも使える内容にしてほしい、例題が少ない。
- テキスト 要望(11)
  - ・項目間のつながりが分かりにくい(フローチャート)
  - ・テキストに索引があれば良かった。
  - ・項目ごと、部位ごとに別表などと色分けでリンクしてあればもっと判りやすく、引用しやすいと感じた。
  - ・レイアウトが良くない。別表等でセパレートしていた方が見やすい。
  - ・テキスト資料はまとめて表示した方が良い。
  - ・資料編は仕事でつかえるので別冊にしてほしかった。テキストと分けた方が使いやすいし取っておくとき便利。
  - ・ビジュアル的な説明をふやすともっとよい。
  - ・本を一冊にしてほしい。
  - ・HP等で訂正リストを公開してほしい。 等

●テキスト 誤植多い(9)

- ・テキストの間違が多すぎる。
- ・テキストの正誤が多すぎる。 等

●テキスト 表など探しづらい(5)

- ・各数値表が色々なページに記載されているため読みづらい。
- ・数値をひろう表が一ヶ所にまとまっていると今後も使いやすそうなテキストになると思う。
- ・フローをもう少し分かり易くしてほしい。仕様規定の時のフロー、参照すべき表の対比表など。まちがった表を見ているかもしれない。
- ・参考になる一覧表が別になっていればいいと思った。 等

●テキスト その他不評(8)

- ・値の表が次々に出てきて計算の全体がつかめず途中でとまどった。
- ・テキストの表がバラバラで実務で使いにくい。
- ・テキストの図表の文字が小さくて見えない。
- ・設計者テキストにおいてAはBですという中身が多いがその理由がわからない点が多い。Cとの理由でBですならわかる。
- ・設計者講習テキストは計算がわからない。
- ・テキストが二冊あるのはダブっている所がある。 等

●テキスト その他好評(54)

- ・テキストは非常に分かり易い。
- ・教科書はとても見やすく分かりやすいつくりになっていた。
- ・テキストが分かりやすい(カラー使用や地域別)。
- ・テキストがとても分かり易かったので駆け足でもよく分かった。
- ・独学でやってきたが今回のテキストが一番わかりやすい。
- ・テキストが以前から比べるとわかりやすくやさしい表現いなのでとても良くなった。
- ・意外にテキストに沿って行くと分かりやすかった。
- ・テキストがまとまっているので、実務で活用できそう。
- ・テキストの完成度が高く資料として最適。
- ・参考ページの記載は助かる。
- ・基本編は断熱や省エネルギーをあらためて見直す事ができ、資料、グラフ、数値データも多く、活かしていきたい。
- ・設計テキストは具体的にどのようにすれば良いかが分かった。
- ・テキストの内容は具体的な事例をあげてあり今後の参考となる。
- ・テキストが補助金等、優遇措置情報もきちんと整理されており今後の業務に大変役立つ。 等

●他の資料・説明の要望(23)

【計算プログラム・ソフト】

- ・計算ソフト(CD等)の配布などをお願いできれば。
- ・計算がめんどろ。安価で使いやすいソフトがほしい。
- ・計算ソフトの開発と利用方法を考えてほしい
- ・簡易(目安程度)に計算できる方法が必要と感じた(ソフト)。
- ・実務でも使えるテンプレート等があれば教えてほしい。 等

【手続き・申請・図書】

- ・申請に向けての書類、見本等があれば見てみたかった。
- ・実際に確認申請に添付する参考例などの参照があればよかった。
- ・建築確認申請に申請関係書類標準フォーマットを公開して、その説明も併せて行ってほしい。

【その他】

- ・Q&A集を公開してほしい
- ・重要ポイントを抜粋したプリントがあれば非常に分かりやすい。色付きで。
- ・別紙、別冊でいいので細かい注意点をまとめたものが必要。
- ・テキストではなくとりまとめた要項毎のリーフレットの方が理解が進む
- ・省エネ計算をする上で、判断の難しいポイント、テクニックについて、もう一段掘り下げた内容がほしかった。
- ・物性値、係数等の表を一覧でまとめて頂けるとありがたい。
- ・物性値係数についても資料編にまとめてほしい。
- ・モデルプランを例に計算+一時エネルギー入力までわかるビデオがあると理解が深まると思う。
- ・省エネに最も有効な部位別仕様があれば例示が欲しい。
- ・書式など使用できる用紙(講習会に使用した)などはあるか。
- ・基本編テキスト第7章を施主向けのパンフレットにしてほしい。
- ・断熱の必要性を施主にアピールできるようなツール。
- ・住宅取得者にメリットになる内容を案内してほしい。 等

## ②講習内容、説明方法

### 1) 基本編「第1章 これからの住まい」について

基本編「第1章 これからの住まい」について、難しいと感じている受講者は約1割となっている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では中国地域、四国地域、九州・沖縄地域が全体より高くなっている。



図 6-2-2a 基本編「第1章 これからの住まい」について

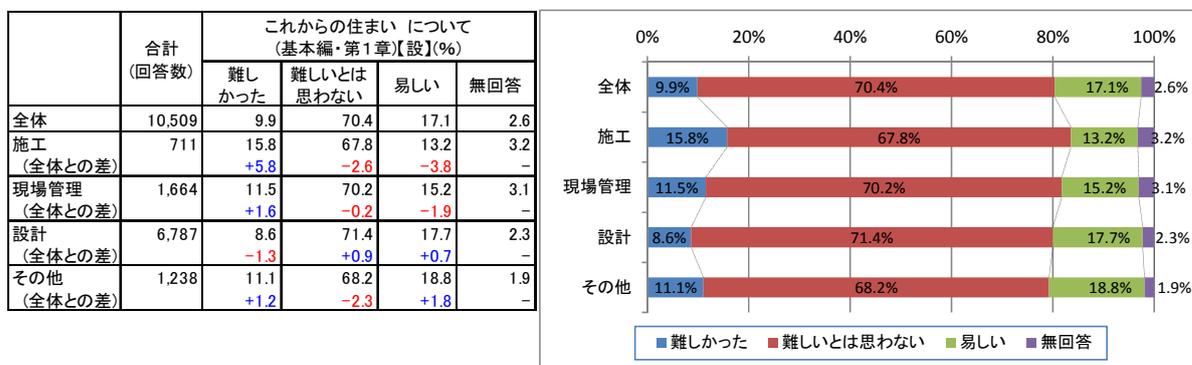


図 6-2-2b 職種別の基本編「第1章 これからの住まい」について

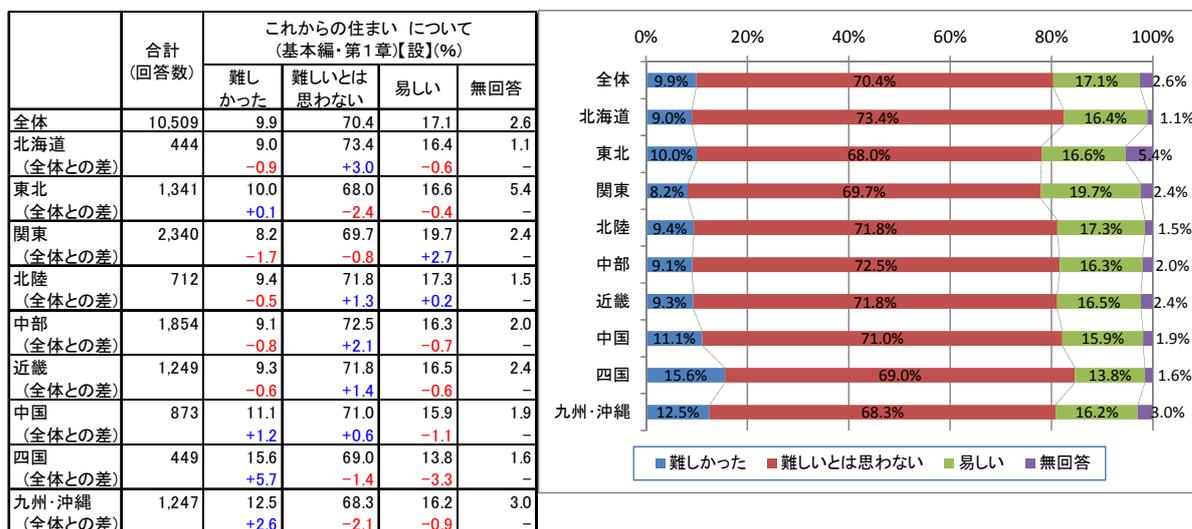


図 6-2-2c 地域別の基本編「第1章 これからの住まい」について

## 2) 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について難しいと感じている受講者は1割強となっている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では中国地域、四国地域、九州・沖縄地域が全体より高くなっている。

建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】	回答数
難しかった	1,350
難しいとは思わない	7,389
易しい	1,462
無回答	308
全体	10,509

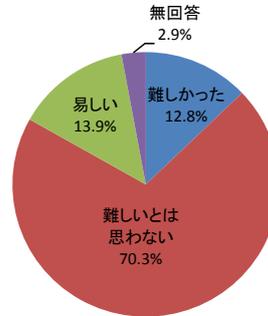


図 6-2-3a 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	12.8	70.3	13.9	2.9
施工 (全体との差)	711	21.0 +8.1	65.3 -5.1	10.0 -3.9	3.8
現場管理 (全体との差)	1,664	14.8 +1.9	69.2 -1.1	12.4 -1.5	3.5
設計 (全体との差)	6,787	11.3 -1.6	71.5 +1.2	14.6 +0.7	2.6
その他 (全体との差)	1,238	13.7 +0.9	69.1 -1.2	15.0 +1.1	2.1

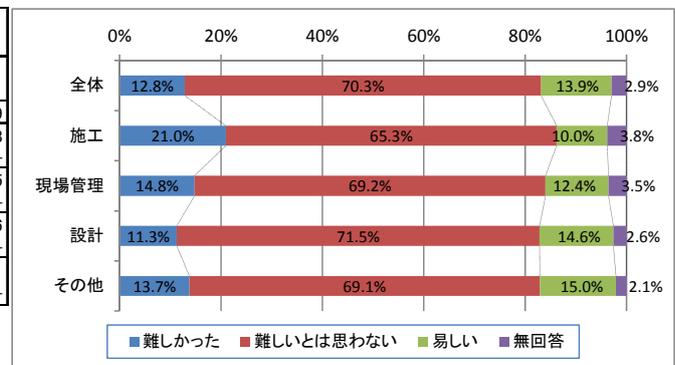


図 6-2-3b 職種別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	12.8	70.3	13.9	2.9
北海道 (全体との差)	444	12.2 -0.7	73.4 +3.1	13.1 -0.8	1.4
東北 (全体との差)	1,341	12.8 -0.0	68.1 -2.2	13.1 -0.8	6.0
関東 (全体との差)	2,340	10.7 -2.1	68.8 -1.5	17.8 +3.9	2.6
北陸 (全体との差)	712	11.5 -1.3	71.3 +1.0	15.2 +1.3	2.0
中部 (全体との差)	1,854	12.0 -0.8	72.7 +2.4	13.1 -0.8	2.2
近畿 (全体との差)	1,249	11.7 -1.2	73.3 +3.0	12.2 -1.7	2.8
中国 (全体との差)	873	14.2 +1.4	70.7 +0.4	12.3 -1.7	2.9
四国 (全体との差)	449	19.4 +6.5	67.9 -2.4	10.9 -3.0	1.8
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	16.9 +4.1	67.8 -2.5	12.2 -1.7	3.0

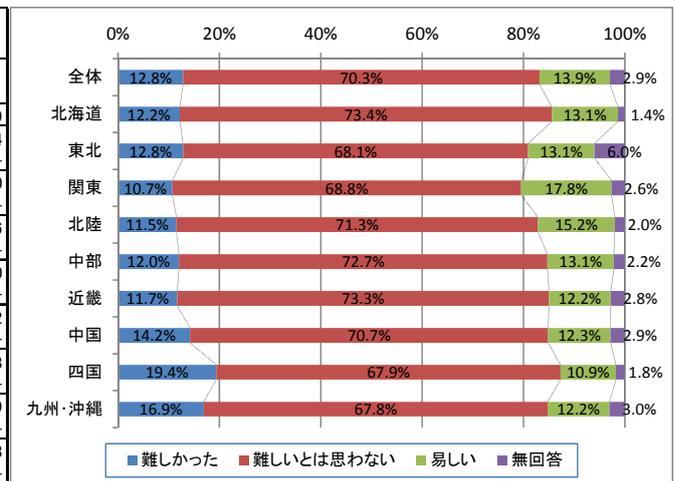


図 6-2-3c 地域別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

### 3) 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について難しいと感じている受講者は2割弱となっている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では中国地域、四国地域、九州・沖縄地域が全体より高くなっている。

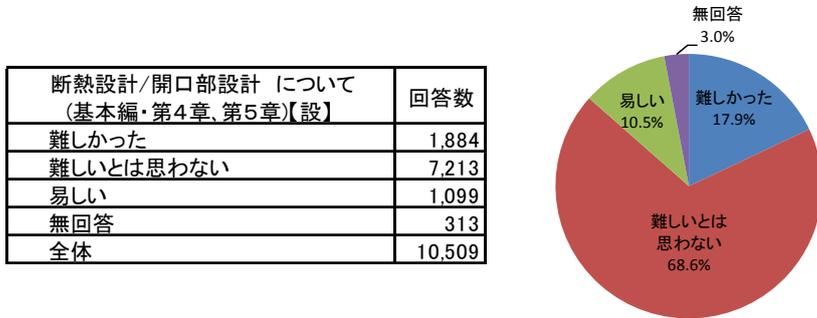


図 6-2-4a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

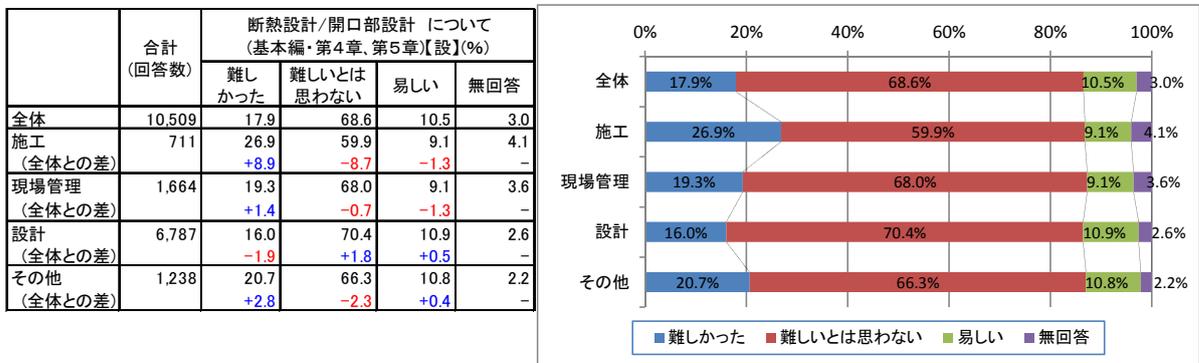


図 6-2-4b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

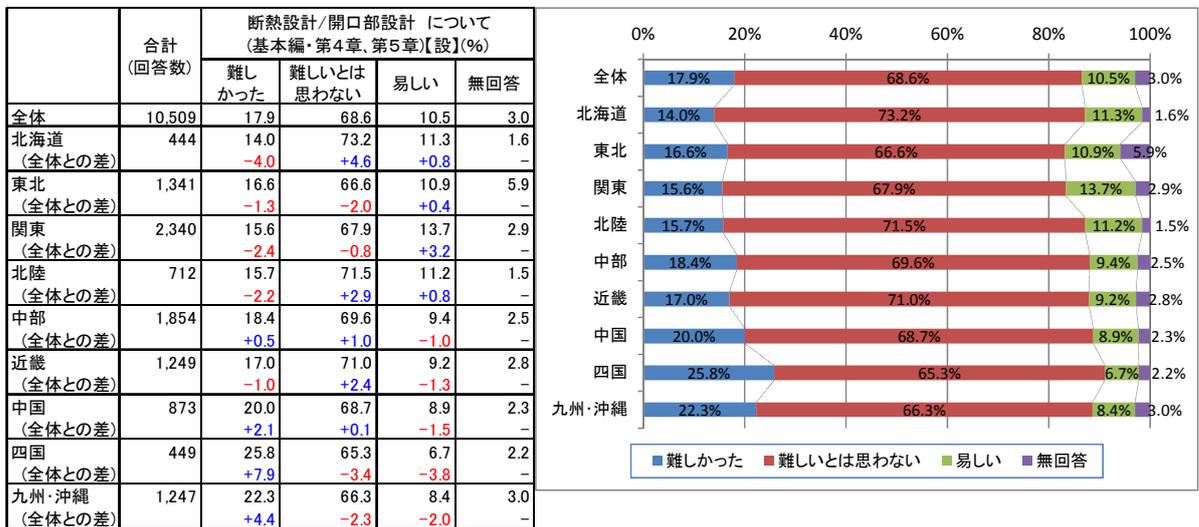


図 6-2-4c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

#### 4) 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」については2割弱の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では中国地域、四国地域、九州・沖縄地域が全体より高くなっている。



図 6-2-5a 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

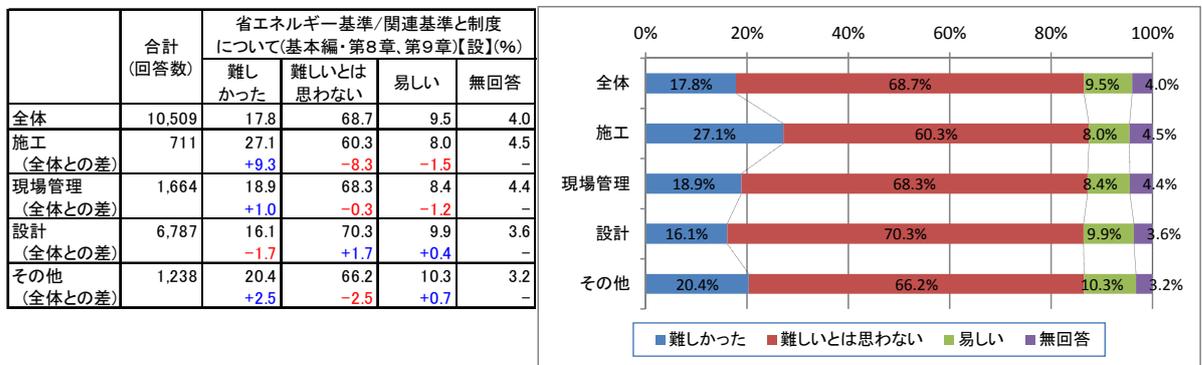


図 6-2-5b 職種別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

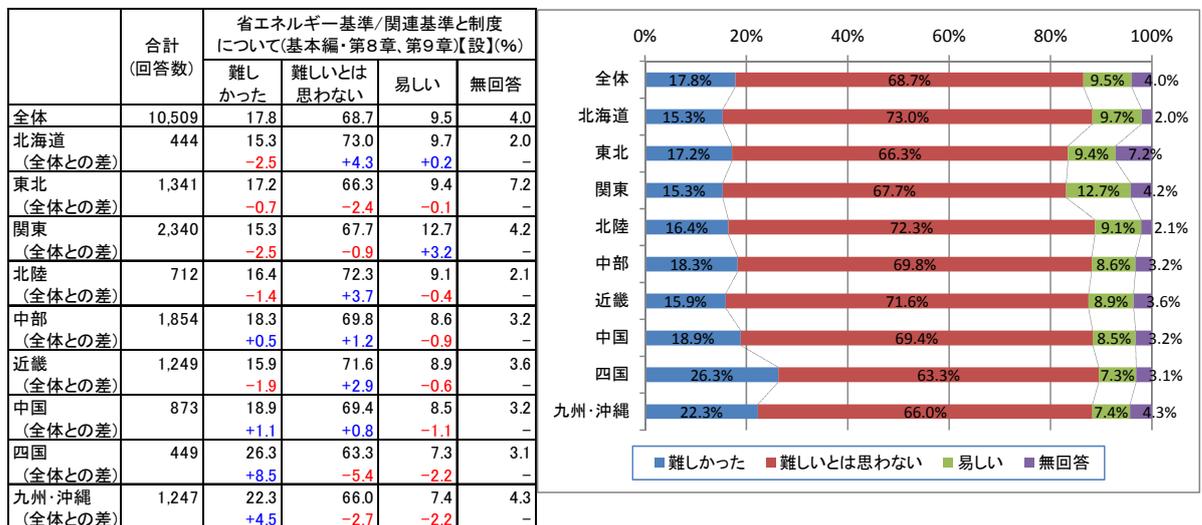


図 6-2-5c 地域別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

### 5) 設計編「第2章 外皮性能の計算」について

設計編「第2章 外皮性能の計算」については4割強の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では北陸地域、中部地域、中国地域、四国地域、九州・沖縄地域で全体より高くなっている。

計算手順の説明のため、難しいと感じる受講者が多くなったと思われる。自由記述では、前年度同様、テキストのページ間を行ったり来たりするので説明についていっただけでも大変だったという感想もあり、そういったことも難しいと感じることにつながっていると思われる。

外皮性能の計算 について (設計編・第2章)	回答数
難しかった	4,691
難しいとは思わない	5,134
易しい	388
無回答	296
全体	10,509

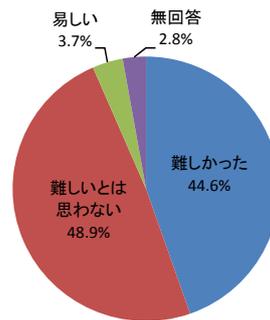


図 6-2-6a 設計編「第2章 外皮性能の計算」について

	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	44.6	48.9	3.7	2.8
施工	711	52.3	40.5	3.4	3.8
(全体との差)		+7.7	-8.3	-0.3	-
現場管理	1,664	48.1	45.6	3.4	2.9
(全体との差)		+3.5	-3.3	-0.3	-
設計	6,787	42.4	51.2	3.9	2.5
(全体との差)		-2.2	+2.3	+0.2	-
その他	1,238	47.6	46.1	3.7	2.6
(全体との差)		+2.9	-2.7	+0.0	-

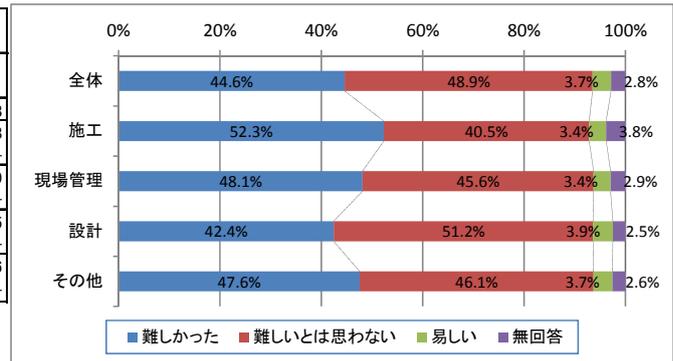


図 6-2-6b 職種別の設計編「第2章 外皮性能の計算」について

	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	44.6	48.9	3.7	2.8
北海道	444	38.5	56.1	3.8	1.6
(全体との差)		-6.1	+7.2	+0.1	-
東北	1,341	44.7	46.2	3.4	5.6
(全体との差)		+0.1	-2.6	-0.3	+2.8
関東	2,340	41.1	52.0	4.8	2.1
(全体との差)		-3.6	+3.2	+1.1	-0.7
北陸	712	48.7	46.1	3.5	1.7
(全体との差)		+4.1	-2.8	-0.2	-1.1
中部	1,854	45.8	48.3	3.2	2.6
(全体との差)		+1.2	-0.5	-0.5	-0.2
近畿	1,249	39.0	54.5	3.5	3.0
(全体との差)		-5.6	+5.7	-0.2	+0.2
中国	873	49.0	45.5	3.4	2.1
(全体との差)		+4.4	-3.4	-0.3	-0.7
四国	449	48.8	44.5	4.7	2.0
(全体との差)		+4.1	-4.3	+1.0	-0.8
九州・沖縄	1,247	50.4	43.8	2.6	3.2
(全体との差)		+5.7	-5.1	-1.0	+0.4

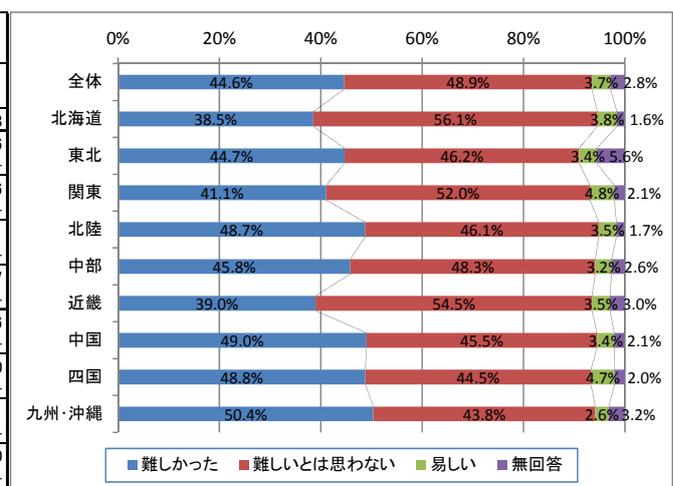


図 6-2-6c 地域別の設計編「第2章 外皮性能の計算」について

## 6) 設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」については4割強の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では東北地域、北陸地域、中国地域、四国地域、九州・沖縄地域で全体より高くなっている。

一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章)	回答数
難しかった	4,565
難しいとは思わない	5,204
易しい	415
無回答	325
全体	10,509

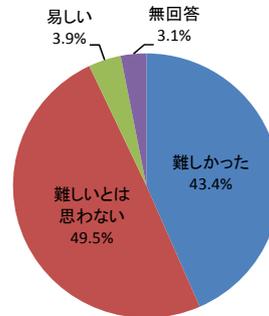


図 6-2-7a 設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	43.4	49.5	3.9	3.1
施工	711	51.9	40.9	3.4	3.8
(全体との差)		+8.5	-8.6	-0.6	-
現場管理	1,664	47.8	45.9	3.2	3.1
(全体との差)		+4.4	-3.7	-0.7	-
設計	6,787	41.0	52.0	4.2	2.8
(全体との差)		-3.6	+3.1	+0.5	-
その他	1,238	45.8	47.2	4.2	2.8
(全体との差)		+2.4	-2.3	+0.3	-

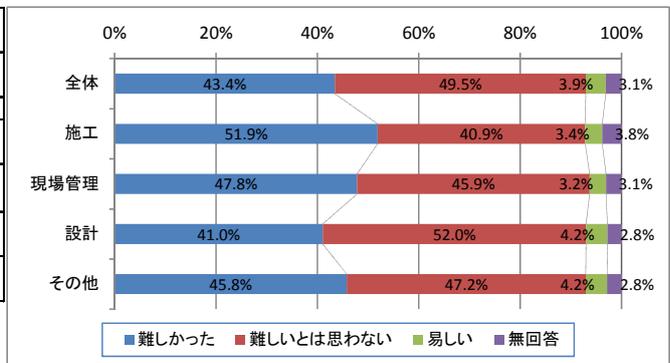


図 6-2-7b 職種別の設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	43.4	49.5	3.9	3.1
北海道	444	41.2	53.4	3.6	1.8
(全体との差)		-2.2	+3.9	-0.3	-
東北	1,341	45.9	44.7	3.7	5.7
(全体との差)		+2.5	-4.9	-0.3	+2.6
関東	2,340	39.2	53.2	5.0	2.5
(全体との差)		-4.2	+3.7	+1.1	-0.6
北陸	712	46.6	48.0	3.7	1.7
(全体との差)		+3.2	-1.5	-0.3	-1.4
中部	1,854	43.5	50.3	3.2	3.0
(全体との差)		+0.0	+0.8	-0.7	-0.1
近畿	1,249	40.0	53.1	3.9	3.0
(全体との差)		-3.5	+3.6	-0.0	-0.1
中国	873	45.5	48.2	3.9	2.4
(全体との差)		+2.0	-1.3	-0.1	-0.7
四国	449	46.8	45.9	5.1	2.2
(全体との差)		+3.3	-3.6	+1.2	-0.9
九州・沖縄	1,247	48.4	44.7	3.2	3.7
(全体との差)		+5.0	-4.9	-0.7	+0.6

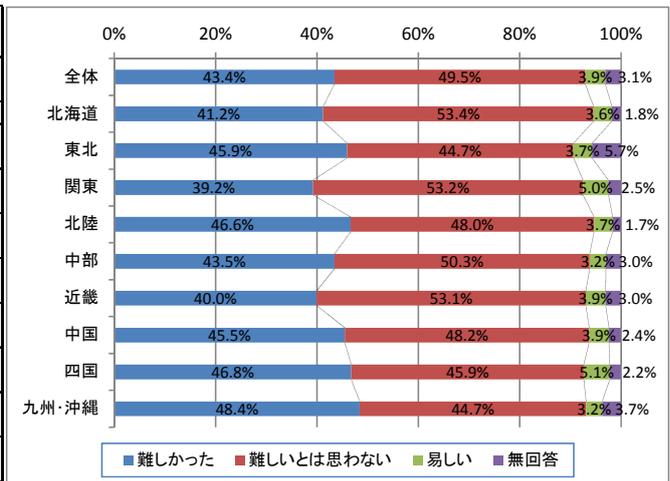


図 6-2-7c 地域別の設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

## 7) 設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」については4割弱の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では北陸地域、中国地域、四国地域、九州・沖縄地域で全体より高くなっている。

仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章)	回答数
難しかった	4,016
難しいとは思わない	5,698
易しい	430
無回答	365
全体	10,509

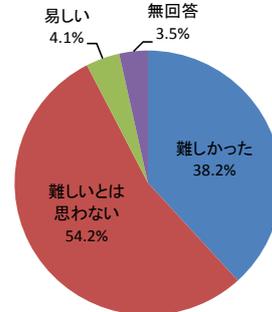


図 6-2-8a 設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	38.2	54.2	4.1	3.5
施工 (全体との差)	711	47.4 +9.2	45.1 -9.1	3.4 -0.7	4.1
現場管理 (全体との差)	1,664	41.8 +3.6	50.5 -3.7	3.9 -0.2	3.8
設計 (全体との差)	6,787	35.8 -2.5	56.9 +2.7	4.2 +0.1	3.1
その他 (全体との差)	1,238	41.8 +3.6	50.7 -3.5	4.4 +0.3	3.1

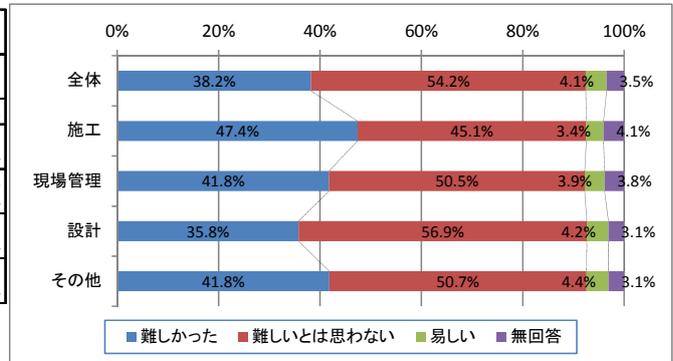


図 6-2-8b 職種別の設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	38.2	54.2	4.1	3.5
北海道 (全体との差)	444	35.1 -3.1	59.0 +4.8	4.3 +0.2	1.6
東北 (全体との差)	1,341	38.9 +0.6	50.7 -3.5	4.0 -0.1	6.4
関東 (全体との差)	2,340	35.1 -3.1	56.8 +2.6	5.3 +1.2	2.8
北陸 (全体との差)	712	41.6 +3.4	53.2 -1.0	3.7 -0.4	1.5
中部 (全体との差)	1,854	39.2 +0.9	54.4 +0.1	3.1 -1.0	3.3
近畿 (全体との差)	1,249	33.7 -4.5	58.5 +4.3	3.9 -0.2	3.8
中国 (全体との差)	873	40.3 +2.1	52.6 -1.6	4.1 +0.0	3.0
四国 (全体との差)	449	42.1 +3.9	51.0 -3.2	4.7 +0.6	2.2
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	42.8 +4.6	49.7 -4.5	3.4 -0.6	4.0

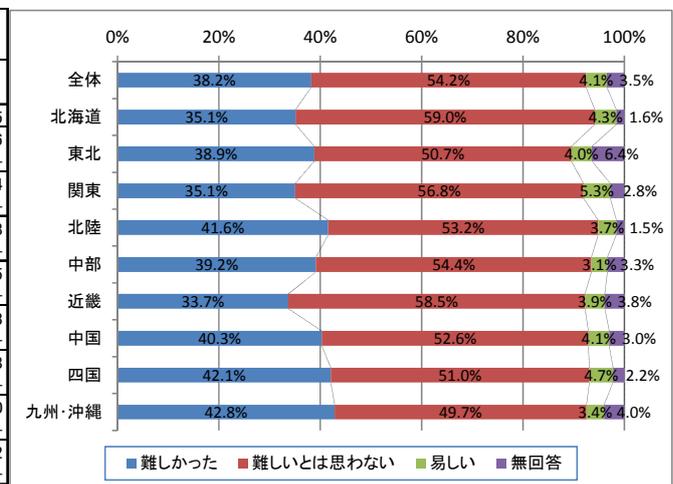


図 6-2-8c 地域別の設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

## 8) 講習内容、説明方法への意見、要望

設計者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 372 回答を整理)

- 内容重複 不評(4) ※( )内は回答数
  - ・施工・設計両方に参加。重複教材での講習部分は無しでも良い。
  - ・講義前半は施工編と被るので、一日に施工・設計にしてほしい。
  - ・重複する内容があるので基本編の時間を設計者講習に割り当てれば早足での説明にならない。
  - ・もう少し各表をまとめてほしい。P189～P192 と P194～P197 など重複。同じ計算式が何度も出てくるのももう少し減らしてもいいのでは。
- 読み上げる講習 不評(49)
  - ・テキストを読むだけなので…
    - ・不満。つまらない。時間の無駄。分かりにくい。
    - ・どこが重要な部分なのか理解できなかった。
    - ・計算は分かりにくかった。
  - ・テキストを読むだけでなく…
    - ・重要な所を的確に説明してほしい。
    - ・解説を中心にすれば理解しやすくなる。
    - ・細かい説明などもあれば良かった
    - ・分かりやすく噛み砕いた説明が欲しい。
    - ・具体的な話の方がより興味をそそられる。
    - ・省略するところがあるのではないか
    - ・メリハリをつけてほしい。
    - ・もっと応用を効かせた内容が良かった。
    - ・理由、要点を話してほしい。どうしたらエネルギーの使用が少なくてすむ住宅ができるのかなど。
    - ・聞き手をもっと参加できるようにしたらいい。参加者が読む、答えるなどの工夫。
  - ・テキストを読むだけなら…
    - ・1人で読んだ方が良い。
    - ・時間を凝縮して端的に解説をしてもらう方が良い。
    - ・講師より映像の方が良い。講師は不要。
  - ・毎回感じるがテキストを読んで流しているよう。 等
- 要望 ポイントを絞った説明(22)
  - ・最低限のポイントに絞り込みゆっくりと説明して頂きたい。
  - ・もう少しポイントを絞って行った方が分かりやすい。
  - ・限りのある時間であるため内容をもっと絞った方が良い。

- ・重要箇所を重点的に説明しもっと演習や実践的な作業をする時間を多くした方が良くと思う。
- ・テキストの内容をこなすのに精いっぱいとの印象でした。概略を伝えて、後日ゆっくり見ても構わない部分と、考え方をていねいに伝える部分と、メリハリがあってもいいように思えました。
- ・まず何が重要なのか（変わったのか）が最初にあっても良い。
- ・実務にすぐ使えるようにもっとピンポイントで講義してほしい。
- ・一次エネルギー消費量算定プログラム部分の解説が中途半端でポイントがわかりにくかった。等

●要望 説明箇所が分かるように(20)

- ・ページが飛ぶのでどこを参照すればよいか戸惑った。
- ・テキストのどこを指しているのか分かりにくい。パワーポイントなど使用してほしい。
- ・テキスト目で追いながら話をきいているので突然ページを越えて説明されると該当箇所を探すのに手間取り話に集中できない。ページ数を言ってもらえるとより分かりやすかった。
- ・テキストは行数を入れた方がいい。ページ数のみではどの部分の説明なのかわからない。
- ・テキストがとびとびになっているので分かり易いリーフレットにそって進行する様な工夫がほしかった。等

●DVD・パワーポイント等映像活用(30)

- ・パワーポイント等での解説が分かりやすいと思う。
- ・プロジェクター等も利用して説明があればもっと理解し易かった。
- ・映像なども使って講義するともっと分かりやすくなると思った。
- ・口頭だけの説明なので大変わかりにくい。
- ・ポイントになることをパワーポイントで計算などやってもらえるとより理解ができると思う。
- ・テキストをモニターなどで見ながら講義してほしい。
- ・PCの入力画面を写すなどして説明してほしい。
- ・表や図が多かったのでプロジェクターなどで指しながらの説明があればもっとわかりやすかった。
- ・似たような言葉が多いのでホワイトボードなどにポイントをメモしていくなどしてほしい。等

●要望 具体例・実例による説明(15)

- ・もう少し具体的な解説があった方が良く
- ・もっと具体的に詳しく習いたい。
- ・もう少し具体的に外皮計算など講習してもらえると分かり易かった。
- ・実務の具体的な方法が教えて頂けるとより参考になる。

- ・具体的な事例などを示して講習できればもっとわかりやすくなる。
- ・フラット 35 とかの実例中心の方が良かった。
- ・「仕様基準」を使う具体的なケースを聞きたかった。
- ・多少の事例や経験談を聞きたい。事例の写真や簡単なレジメがあったら有難かった。 等

●要望 実習・実演の講習(47)

- ・計算についてもう少し詳しい指導がほしい。
- ・初めて学ぶ事だったので詳しく実演もしてほしかった。
- ・実際の計算をもっと取り入れてほしかった。
- ・実例をもとに計算できる形も良い。
- ・もっと実践タイプの研修にした方がより飲み込みが早いと思う。
- ・一連をやりたかった。 等

【パソコン実習・実演】

- ・PC持ち込みで計算をできる講習はどうか。
- ・一次消費エネルギーのWEBプログラムについては実際のPC画面で行なった方がわかりやすい。
- ・たまたまiPadを持参していたので一次エネルギー消費量のWEBの操作を同時に行えてよかった。 等

●新基準、関連制度の詳しい説明(16)

- ・申請方法が知りたい。そういう講習会があれば受講したい。
- ・実務の上で今後、性能評価、フラット 35S、長期優良住宅で、省エネの申請でどうしていけばいいのかを知りたい。
- ・省エネ法の申請に提出する完成型一式とテキストを見比べながら、すすめるとさらに分かりやすかったと思う。最終的にどの状況にしないといけないのかが分らなかった。
- ・法改訂に関してもっときちっと説明してほしい。
- ・関連法制度との関わりをもっと詳しく知りたかった。
- ・H25年基準と低炭素認定基準の比較表等、分かりやすい資料があると良かったと思う。
- ・もう少し補助金や税制優遇等のメリット面を教えてほしかった。
- ・フラット 35 などとの関連をもっと詳しく知りたい。
- ・低炭素建築物について詳しく聞きたかった。 等

●要望 質疑応答の時間確保(12)

- ・質問時間が欲しい。
- ・質問時間を単位あたりに取ってもらいたい。
- ・他の受講者がどんな疑問を持っているかなども知りたい。
- ・個別に質問できれば良かった。
- ・質問は講習会が終わった時に受付される方が良いと思った。 等

●要望 受講者の相談窓口(8)

- ・実際の業務で行う時に分からない事を相談するのはどこか。
- ・質問できる機関等はあるのか。正直不安。
- ・施工方法や計算方法の確認のため t e l 等ができる所を知りたい。
- ・今後実際の申請に際してのQ & Aなどの場を設けてほしい。
- ・受講者には改正内容などがわかる情報提供などがあれば良い。 等

●要望 講習資料の事前配付(4)

- ・事前に資料がほしい。
- ・有料でいいのでテキストはじめにおくってほしい。
- ・先に資料配布し重要点の案内後、各自学習して再確認の講習で、レベルが上がると思うし楽である。
- ・家で事前に読んでおくところを設定し、そこは飛ばして講習は計算の  
ところだけにすべき。内容が多すぎる。

●要望 講習会の次の開催、多数開催(10)

- ・もっと講習会セミナー等してほしい。
- ・フォローアップ研修をしてほしい。
- ・実例に即した定期的な講習で不足がちな知識や最新情報を習得したいと思った。
- ・一度の講習で理解するには大変な量の情報を感じた。複数回、段階的な講習でも良いかと思った。
- ・計算編とか補助金申請とかテーマ別で半日くらいの講習があると実務に役立つと思う。 等

●要望 より詳しい内容の講習(10)

- ・更なるグレードアップ研修を希望。
- ・もう少しだけた(ふみこんだ)計算の講習会などないものか。
- ・平均日射熱取得率まで詳細説明がほしかった。
- ・もっとこの様なセミナーを行うべき。深掘した知識が欲しい。

●要望 該当地域向け講習(1)

- ・具体的な地域の特性に合った省エネ設計の講習会などあればよい。

●要望 施工者向け講習会(3)

- ・特に施工者に向けてもっとやってほしい。分からない人が多すぎる。
- ・大工組合への講習会が必要と思う。ほとんどの人が理解不足。
- ・個人営業の工務店などに講習を義務付けてほしい。

●要望 設備、建材等他業種向け講習会(1)

- ・建築メインだったので次回は設備のことを増やしてほしい。

●要望 リフォーム向け講習(3)

- ・リフォームに特化した講習会があるとありがたい。 等

●要望 講習内容以外の説明(20)

- ・RC造、S造の外皮算定も行ってほしい。
- ・集合住宅についても解説してほしい。
- ・非住宅系の省エネルギーについても学んでみたい。
- ・長期優良住宅の申請勉強会を開いてほしい。
- ・耐震構造についての講習を受けたい。
- ・省エネ基準に関わらず同様の大切な講習会があれば参加したい。
- ・賃貸住宅(古い)の高スペック化をどの様に実現するか勉強会などあれば参加したい。 等

●講習内容への批判(55)

- ・レベルに合わせた講習が選べたらよいと感じた。
- ・省エネ計算等やったことがある人にとってはもの足りず、全く関わりのなかった人にとっては内容が多く理解もしにくかったのではと感じた。スキル毎に対象を絞っての講習があればと思う。
- ・フラット 35S などの経験がある前提の講義内容になっている。未経験者には難しいのでは。
- ・両方出席する人もいるのでダブってる内容は午前か午後にして、必要な講義のみ受けられる方法はないか。
- ・計算の部分をもっと省いて施工と設計一日で終わら出ても良い。
- ・ちょっと本読めばわかる程度の内容をわざわざお金を取って講習会をするのはどうかと思う。より実務的で専門性のある内容でないと無意味。
- ・テキストを販売して試験のみで修了証が発行される方が効率が良い。
- ・基準や計算方法を学びにただ来て修了考査合否は全く関係ない。
- ・設計講習と施工講習を同時にした方が良いと思います。修了証も同様のものが重なりムダな気がします。ひとまとめにできれば良い。
- ・実務で使えるように講習、実習してほしい。テキストは実務に使えるマニュアルの様にしてほしい。
- ・わかりやすい説明を希望
- ・講習会の内容が範囲が広い為か単調だった。
- ・全くわからない状態で来たので、講習の全体像をはじめに説明してほしい。
- ・なぜ住まいの省エネが必要か、また住まい方による省エネについても講習が必要と感じた。
- ・講習を受けても何も分からない。本を読み進めて行った方がまし。もう少し分かりやすく教える気はないのか。
- ・説明は省略せずぜんぶ教えてほしい。

- ・系統だてて教えてほしい。言葉ばかりでわかりにくい。
- ・最初に講習内容が、実務上何の役にたつのか、どんな手続きに必要なのかの説明があった方がよかった。
- ・これまでQ値で対応してきたので、違いについて話を伺いたかった。
- ・基礎断熱のU値の求め方が複雑なので説明が欲しかった。
- ・設備器械の詳細（実際のを例として）を教えていただきたい。
- ・他県でも設計しているので県内に限定した話は望ましくない。
- ・設計編といいながら計算方法が中心の講義だったのは疑問だった。
- ・設計時点における留意点など総論的な内容を主にした方が良いと感じた。詳細なケースにおける計算方法などはこういうセミナーでやる内容ではない。
- ・もう少し計算の目的について説明が欲しい。数値や式、単位の意味について説明が不足していると思う。
- ・計算方法を分かった上でどのようにしたら基準を満たすかなどのアドバイスがあればと思った。
- ・演習問題の解説にストーリー性がなかった。
- ・修了考査の途中で講習の説明をするのはやめてほしい。気が散る。
- ・準備が悪かった
- ・不手際が多すぎる

等

●講習会の意義に疑問(2)

- ・急ぎ足で講習を行い、理解もとぼしいまま考査をして、合格証をうけとってても良いものかともいつも思う。

●講習内容 好評(19)

- ・実施したことのない内容を分かりやすく説明してもらった。
- ・かなりのハイペースだったが密度がありよかった。
- ・限られた時間の中、適切な内容であった。後で復習しやすい。
- ・変更点なども聞けて頭の中の整理がしやすかった。
- ・テキストの内容だけでなく実務での経験を盛り込んで進めてもらって大変良かった。
- ・演習、考査もありとてもよい講習会だった。
- ・講義の時間内で演習問題をやるのはとてもいい事だと思う。
- ・演習問題で理解深まった。
- ・計算問題など具体的に自分で解答する時間があり理解し易かった。
- ・演習で実際に手を動かした方が身に付くと思った。
- ・演習問題を実際にやってみるのが良かった。表の調べ方や数値の切り上げ切り捨てなど流れが頭に入った。

等

### ③ 演習

#### 1) 演習

設計者講習における演習について3割弱の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では東北地域、中国地域、四国地域、九州・沖縄地域で全体より高くなっている。

自由記述では「もっと演習をやってほしい」、「一通りの計算をしたい」、「穴埋めではなく全ての計算をしたい」等の意見があった。

演習 【設計者講習】	回答数
難しかった	2,948
難しいとは思わない	6,152
易しい	999
無回答	410
全体	10,509

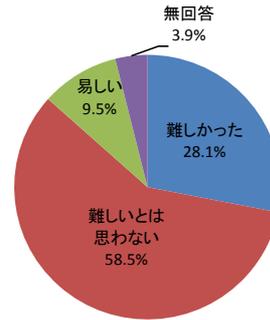


図 6-2-9a 【設計者講習】演習について

	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	28.1	58.5	9.5	3.9
施工 (全体との差)	711	39.8 +11.8	48.0 -10.6	8.0 -1.5	4.2
現場管理 (全体との差)	1,664	32.5 +4.5	56.4 -2.2	7.0 -2.5	4.1
設計 (全体との差)	6,787	25.5 -2.6	60.9 +2.3	10.1 +0.6	3.6
その他 (全体との差)	1,238	29.1 +1.0	56.1 -2.4	10.9 +1.4	3.9

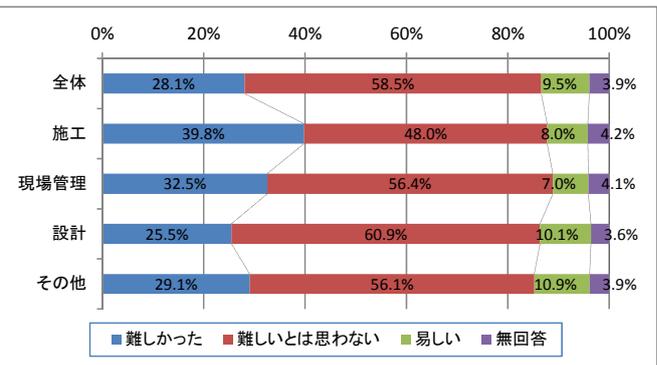


図 6-2-9b 【設計者講習】職種別の演習について

	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	28.1	58.5	9.5	3.9
北海道 (全体との差)	444	27.3 -0.8	62.4 +3.8	7.9 -1.6	2.5
東北 (全体との差)	1,341	29.2 +1.1	57.4 -1.1	6.9 -2.6	6.5
関東 (全体との差)	2,340	23.1 -5.0	60.6 +2.1	13.2 +3.7	3.1
北陸 (全体との差)	712	27.7 -0.4	57.0 -1.5	12.5 +3.0	2.8
中部 (全体との差)	1,854	28.0 -0.1	59.4 +0.8	8.7 -0.8	3.9
近畿 (全体との差)	1,249	24.4 -3.6	62.8 +4.2	8.6 -0.9	4.2
中国 (全体との差)	873	30.2 +2.2	57.7 -0.8	8.4 -1.1	3.7
四国 (全体との差)	449	33.4 +5.4	55.9 -2.6	8.5 -1.0	2.2
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	37.0 +8.9	51.4 -7.1	7.3 -2.2	4.3

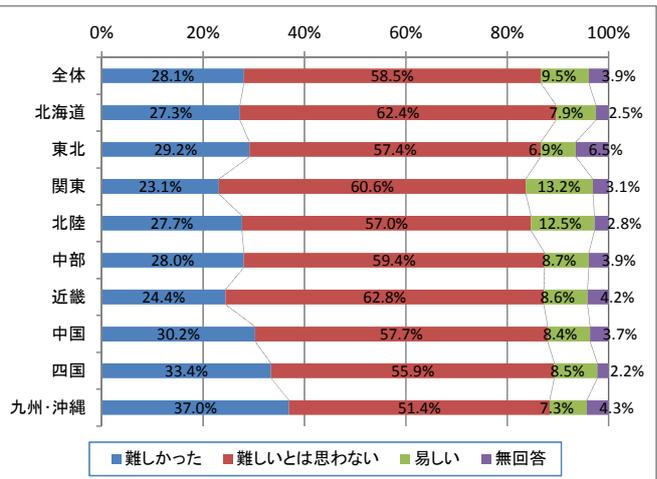


図 6-2-9c 【設計者講習】地域別の演習について

## 2) 演習への意見、要望

設計者講習における演習について自由記述では以下のような意見、要望があった。  
(全 24 回答を整理)

### ●好評(2)

- ・演習、考査問題をする事で内容、流れが理解できたような気がする。  
内容を理解するには自分でやってみる事。
- ・演習問題の様に実際に数字に関わることでより理解が深まった。

### ●要望(22)

- ・もっと演習をじっくりやってほしかった。
- ・計算の方に全時間を使ってもっとゆっくり詳しく行った方がよい。
- ・演習問題を主に講習してもらえとなお覚えやすい。
- ・一通りの計算演習をしたい。
- ・テストは穴埋めではなくすべて計算した方が良いのでは。
- ・例題の表全体を作成してみる程度をやってみたかった
- ・もう少し具体的な計算を解く内容の方が分かりやすいと思った。
- ・例題の実習をもっと多くしてほしい。
- ・演習のみの講習会を実施してもらおうと実務で使えるようになりそう。
- ・解説してもらいながら皆で一緒に解いていく方が良かった。
- ・演習は実際の物件でやってみないとなかなか理解できないのでは。
- ・実際にパソコンを使用しての演習があれば尚良かった。
- ・実際ソフトやアプリを使った演習が必要。 等

#### ④ 修了考査

##### 1) 修了考査

施工技術者講習における修了考査について2割強の受講者が難しいと感じている。難しいと感じた割合を職種別でみると施工、現場管理が全体より高く、地域別では東北地域、中部地域、四国地域、九州・沖縄地域で全体より高くなっている。

修了考査 【設計者講習】	回答数
難しかった	2,472
難しいとは思わない	6,129
易しい	984
無回答	924
全体	10,509

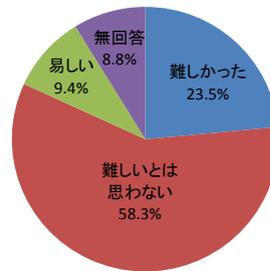


図 6-2-10a 【設計者講習】修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	23.5	58.3	9.4	8.8
施工	711	32.5	50.8	8.0	8.7
(全体との差)		+9.0	-7.5	-1.3	-
現場管理	1,664	27.9	55.2	7.3	9.5
(全体との差)		+4.4	-3.1	-2.0	-
設計	6,787	21.3	60.5	9.9	8.3
(全体との差)		-2.2	+2.1	+0.6	-
その他	1,238	24.4	56.5	9.9	9.3
(全体との差)		+0.9	-1.9	+0.5	-

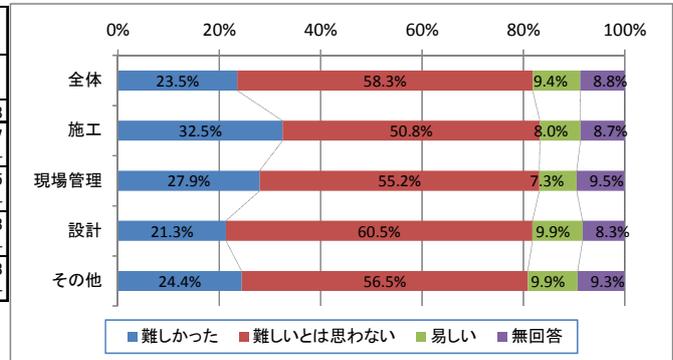


図 6-2-10b 【設計者講習】職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	23.5	58.3	9.4	8.8
北海道	444	20.3	64.6	10.6	4.5
(全体との差)		-3.3	+6.3	+1.2	-
東北	1,341	25.3	56.2	7.1	11.4
(全体との差)		+1.8	-2.1	-2.3	-
関東	2,340	19.2	60.6	12.4	7.8
(全体との差)		-4.3	+2.3	+3.0	-
北陸	712	24.2	59.0	10.3	6.6
(全体との差)		+0.6	+0.7	+0.9	-
中部	1,854	24.6	55.9	8.7	10.8
(全体との差)		+1.1	-2.4	-0.7	-
近畿	1,249	21.1	62.4	8.9	7.6
(全体との差)		-2.4	+4.0	-0.5	-
中国	873	23.7	57.0	10.1	9.2
(全体との差)		+0.2	-1.3	+0.7	-
四国	449	28.3	55.9	8.0	7.8
(全体との差)		+4.8	-2.4	-1.3	-
九州・沖縄	1,247	29.5	54.9	6.7	9.0
(全体との差)		+6.0	-3.5	-2.7	-

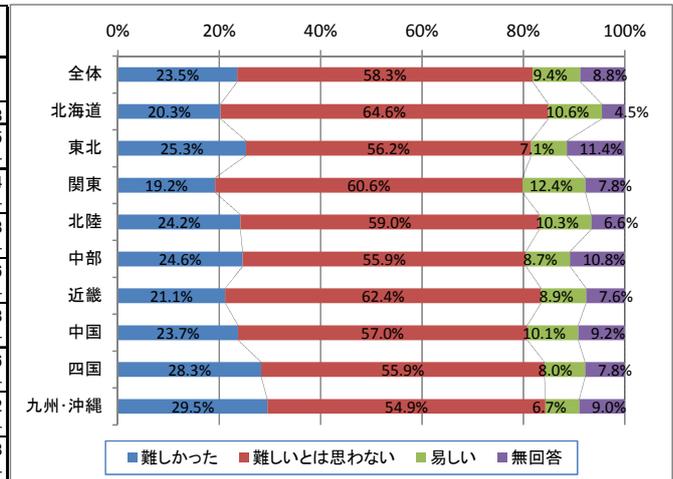


図 6-2-10c 【設計者講習】地域別の修了考査について

## 2) 修了考査への意見、要望

設計者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全14回答を整理)

### ●好評(4)

- ・テストで改めてテキストを読み直すことができた。
- ・回答資料がくわしくてよかった。
- ・考査問題が理解しやすかった。この様な進め方が良いと思う。
- ・考査を行うことで講習も真剣に受講し、理解度を確認することができるので非常によかった。

### ●不評(9)

- ・考査の時間が短い。
- ・修了考査は1問あたりの文章が長く確認に時間がかかる
- ・考査問題が難しすぎる。講師のポイントと問題が合っていない。
- ・考査問題は易しすぎる。講習で頭を使った価値が薄れる。
- ・考査中にお知らせなど言われると気が散る。
- ・問題などに間違いがあるので気を付けてほしい
- ・考査の解説は不要。等

### ●要望(1)

- ・考査問題の解答はほしい。参考として。

## ⑤講師の説明

### 1) 講師の説明

設計者講習における講師の説明についてわかりやすい、または普通と感じている受講者が合わせて84.6%であった。

自由記述では、好評であった点について、分かりやすく全体の流れと要領を理解できた、きちんと勉強している、理解してもらおうという思いが伝わってきた、という感想が見られた。

一方不評であった点については、声の大きさ、滑舌、早口、準備不足、勉強不足、理解不足や、時間通りに進行できていないといった指摘があった。また、私見を交えた説明を不快に感じている感想も見られた。

講師の説明 【設計者講習】	回答数
大変わかりやすかった	1,171
わかりやすかった	4,047
普通	3,674
わかりにくかった	1,153
大変わかりにくかった	216
無回答	248
全体	10,509

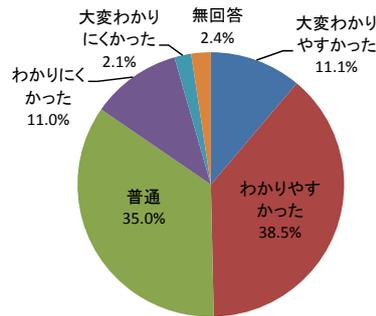


図 6-2-11 【設計者講習】講師の説明について

### 2) 講師の説明への意見、要望

設計者講習における講師の説明について、自由記述では以下のような意見、要望があった。（全116回答を整理）

#### ●好評(13)

- ・講師の説明がわかりやすい。
- ・説明がとても分かりやすく全体の流れと要領を理解できた。
- ・講師がきちんと勉強しており大変分かりやすい説明であった。
- ・講師の方の何とか理解してもらおうという熱い思いが伝わってきた。
- ・今までの講習会では一番よく分かった。眠くないという事は先生が良かったという事。

#### ●不評 話し方(43)

- ・早口でよくわからない。
- ・もっと早くしゃべってもらいたい。
- ・声が小さくて何もきこえなかった。
- ・声が小さかったり大きくて響きすぎて聞きとれないことが多かった。
- ・滑舌が悪く非常に聞きづらかった。
- ・講師の声が聞きとりにくい。もっとはっきりと言ってほしい。
- ・講師の説明が分かりにくい。
- ・語尾が聞き取りにくかった。 等

●不評 質(45)

【講師の質のばらつき】

- ・説明がヘタすぎると思う。すごくわかりにくい
- ・講師の説明があまりにひどい。
- ・講師のレベルを上げて欲しい。ムラありすぎ。
- ・自分の言葉や意見を入れながらの講師の説明はとても聞き苦しい。
- ・かなり講師の私見で説明している印象だった。面倒くさい、ふつうやしませんよね等の発言はいきすぎ。
- ・独り言多すぎ。 等

【熟練度低い】

- ・準備が足りなかったのではないか。
- ・講師は一度シュミレーションをしてから講習に臨んでほしい。ぶっつけ本番の印象を持った。
- ・もう少し自信をもって講習をしてほしい。 等

【理解不足】

- ・講師の先生の理解度が不足している。
- ・講師(説明者)は充分内容を理解している人を選定してもらいたい。
- ・講師の勉強不足を感じる。
- ・「四捨五入だったかな？」など通常ありえないようなあいまいな解説だった。
- ・もう少し分かっている方が講師の方が良い。とても曖昧だった。
- ・講師が記号の読み方を間違っていた。
- ・用語くらいはしっかり覚えてから説明してほしい。

【その他】

- ・限られた時間の講習会なので『』や()をカッコ閉じまで言わなくてもよいと思う。テキストを見ながらなので分かる。

●不評 進行(14)

- ・予定時間に終了してほしい。
- ・スケジュール通り進んでいない。時間オーバーしている。
- ・講習以外の時間延長はやめてほしい。
- ・講師の時間配分が不適切。
- ・施工で時間を取った為、設計の時間が少なくなったのが残念。
- ・内容が前後してスタートしたのがわかりづらかった。

## 7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討

---

### (1) 資料等についての検討

#### ①施工技術者講習の資料（テキスト、DVD、カットモデル）

テキスト、DVD、カットモデルのいずれについても、ほとんどの受講者がわかりやすい、または普通と回答しており、来年度以降予定されている施工技術者講習の資料として、このままの内容で特に支障は無いと考えられる。より良い資料とするため、以下について今後の検討が望まれる。

##### 1) テキスト

テキストについては、誤字脱字の修正、正誤表の項目を少なくしていくことが今後必要となる。

##### 2) DVD

DVDについてはわかりやすい、大工さんに見てもらうのに良い等の感想、意見の一方でDVDとテキストの内容の重複についての指摘も多数あった。

事務局では来年度、半日講習をメニューに加える検討をしており、併せて短縮版のDVDの検討が必要と考えられる。

##### 3) カットモデル

施工技術者講習会は今年度で3ヶ年を終え、カットモデルの劣化が目立ってきていることから、修復、リニューアルの検討が必要と考えられる。

#### ②設計者講習の資料（テキスト）

設計者講習では基本編及び設計編のテキストが使用されたが、9割近くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。自由記述では、全体構成や要点を把握できる資料への意見・要望が見られ、それへの対応として講習内容、説明方法の項で後述するような、全体構成と今どの部分の説明が行われているかを把握できる資料の検討が必要と考えられる。

#### ③新たな資料の検討

前年度、設計者講習で要望のあった外皮性能の計算ソフトについては、今年度、ホームページに公開した。

設計者講習では「断熱の必要性を施主にアピールできるようなツール」、「住宅取得者にメリットになる内容を案内してほしい」といった施主向け資料への要望が見られた。来年度に向けては、施工技術者講習、設計者講習に共通して、省エネについてエンドユーザーへの説明を念頭においた、営業で使える資料を検討している。

## (2) 講習内容、説明方法

### ①基本編について（施工技術者講習、設計者講習共通）

基本編の講習内容、説明方法については、難しいと感じる受講者が1割～2割弱と、前年度の2～3割程度から減っている。次の講師の項目に見られるような指摘はあるが、講習会全体としては前年度より、講習内容・説明方法に改善が見られるようであり、来年度は更に分かりやすくなるよう講師をサポートする資料を検討する。

### ②施工編について（施工技術者講習）

施工編の講習内容、説明方法については、難しいと感じる受講者が約1割と、基本編と同様に前年度の2割強から減っている。来年度についても基本編と同様の検討を行う。

### ③設計編について（設計者講習）

設計編について、「第2章 外皮性能の計算」、「第3章 一次エネルギー消費量の計算」、「第4章 仕様基準による基準判定方法」は約4割前後の受講者が難しいと感じており、前年度と同様の結果となった。いまだ馴染みの無い内容に加え、限られた時間の中、説明のスピードが速く、またページ間を行ったり来たりすることが要因と考えられる。

来年度における対応策として、全体構成と今どの部分の説明が行われているかを把握できる資料の検討が必要と考えられる。

## (3) 講師

施工技術者講習、設計者講習共、講師については前年度と同様、受講者からは音が小さい、ペースが速い、滑舌が悪い、単調等の「話し方」、説明が分かりにくい、講師の理解不足といった「質」に関わる部分、進行が不慣れ、時間通りに終わらないといった「進行」に関わることについて指摘があった。

毎年同様の指摘があり、講師による差をできるだけ解消する為に、シナリオの作成、テキストへの説明箇所・割愛箇所の明示、パワーポイントで作成した説明ようツール等の検討が考えられる。またアンケートの結果を元に、あまり評判の良くない講師に対しては、地域協議会からのアドバイスが必要と考えられる。

## (4) 修了考査

施工技術者講習、設計者講習共、修了考査についてはいくつか、問題の内容についてテキストと不整合があるといった指摘があり、確認の上、必要なものは是正を行う。

## (5) 演習（設計者講習のみ）

演習については3割弱の受講者が難しいと感じているが、自由記述では演習を時間を割いてほしいといった要望がいくつか見られ、計算の一連の流れを実際に経験する手段として、来年度も引き続き実施することが望ましいと考えられる。

## 8. 講習会運営に関する調査結果

### (1) 講習会開催の認知経路

講習会開催の認知経路は、所属業界団体からの情報、依頼、および会員になっている業界団体のリーフレットを見てへの回答が多く、地域協議会からは1割弱となっている。いずれの職種にも共通している。

その他の認知経路で主なものは、インターネットが1.9%、クチコミが2.5%、所属団体・会社等が2.6%であった。

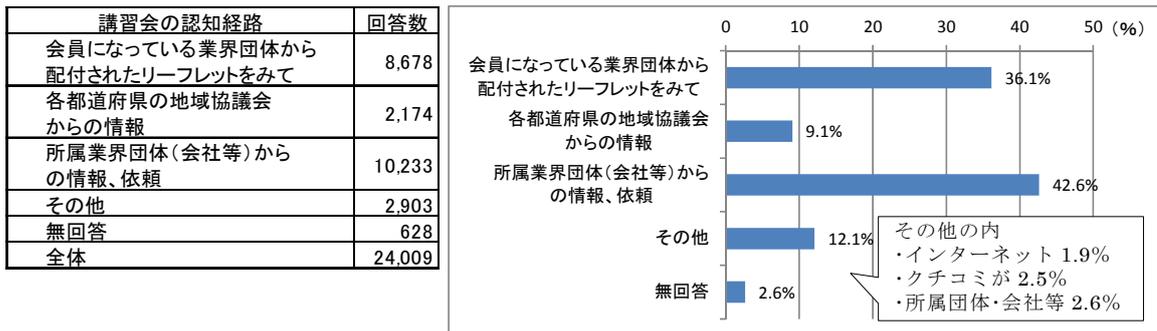


図 8-1a 講習会開催の認知経路

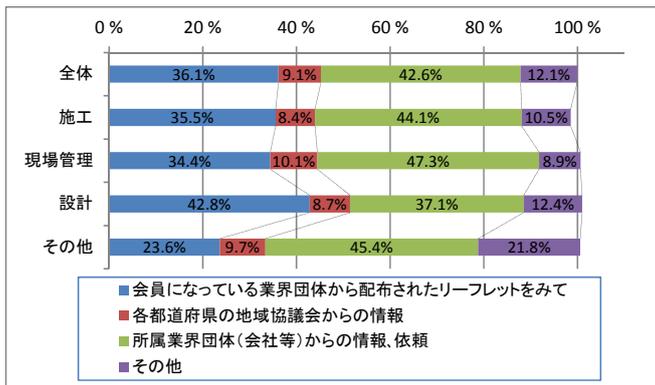


図 8-1b 職種別の講習会開催の認知経路

## (2) 講習会への参加動機

講習会への参加動機については、これからの業務に必要または参考にできると思ったからという能動的な動機が8割強、所属団体からの受講指示という受動的な動機が2割弱であった。

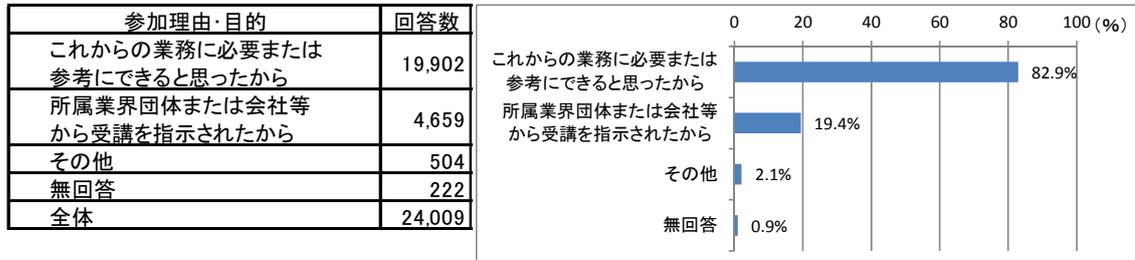


図 8-2a 講習会への参加動機

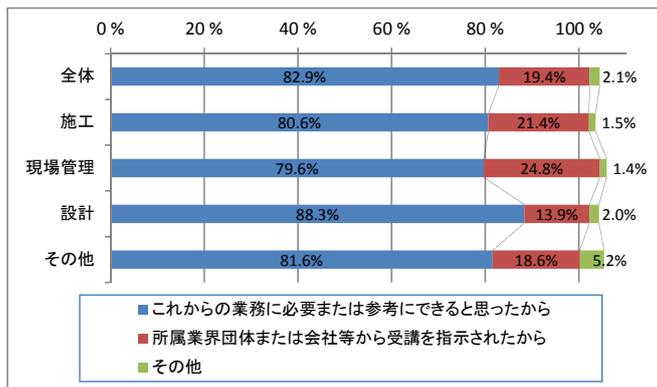


図 8-2b 職種別の参加動機

### (3) 講習時間

#### ① 講習時間

講習時間について、約半数の受講者がちょうど良いと感じている。施工技術者講習、設計者講習それぞれについても同様であった。

施工技術者講習では受講者の約4割、設計者講習では4割弱が長いと感じている。反対に短いと感じているのは、施工技術者講習では3%弱、設計者講習では1割弱となっており、以下の設計講習の自由記述で多く見られた、講習内容に対して時間が短いという意見が反映されていると思われる。

自由記述では、両講習とも時間が短い、一日では難しいといった意見と、時間が長い、半日にしてほしいという両方の意見があった。

また設計者講習では時間配分やカリキュラム不満、改善要望への意見が多く見られた。

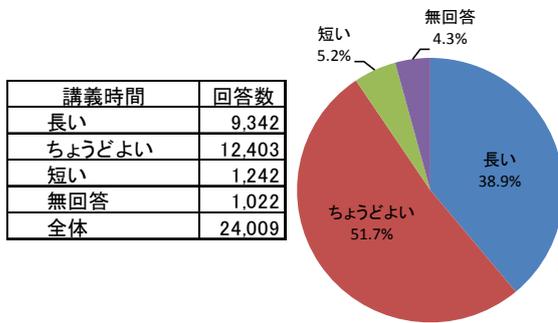


図 8-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

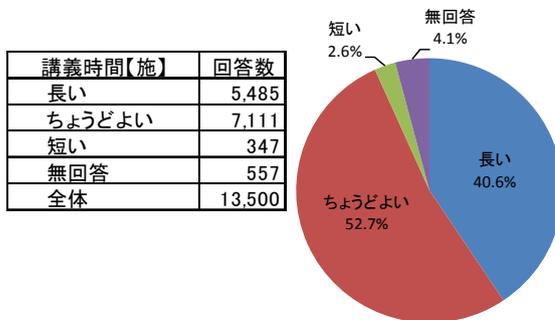


図 8-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

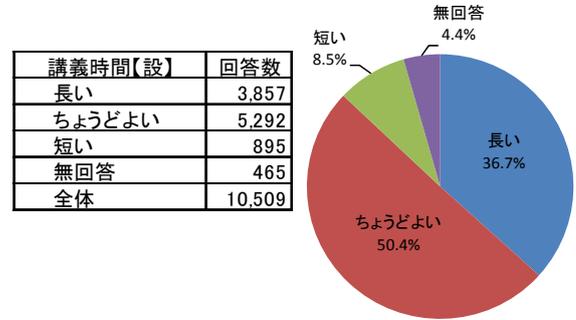


図 8-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習

## ②講習時間への意見、要望

講習時間について、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(施工C講習 87 回答、設計C講習 361 回答を整理)

### 施工C講習

#### ●講習時間が不足、説明速い(54)

- ・ 講義の時間が短い。
- ・ ボリュームに対して時間が短いように感じた。
- ・ もう少し時間をかけて教えて欲しい。
- ・ 全体に時間が短すぎるのでは。DVD は特に早すぎる。
- ・ 知りたい項目が省かれていて残念だった。
- ・ 内容的に2日間位あってもよいのではないかと思う。
- ・ 時間が限られているため話のスピードが早過ぎる。
- ・ 説明が早すぎてよく聞き取れなかった。
- ・ 説明が早すぎてついていけなかった。
- ・ 流れが早すぎて頭に入らなかった。
- ・ 講義の流れが早く理解できないまま次へ進んでしまう。
- ・ 内容飛ばし過ぎ。テキストも飛ばすくらいなら要点だけまとめたもので十分。 等

#### ●講習時間が長い(19)

- ・ 講義時間が長すぎる。
- ・ 1日は長かった。
- ・ 丸1日では仕事に差し支えるのと集中力が保てない。
- ・ ムダな時間が長い。
- ・ 一日のプログラムと時間があっていない。間延びしている。早く終了するのであればそれはそれでよい。
- ・ もっと時短して半日で完了してほしい。
- ・ DVD放映であれば半日で良いのでは。
- ・ 長かったけどわかりやすかったので良かった。 等

#### ●時間配分、カリキュラム、時間割、休憩時間(14)

- ・ 時間配分の検討が必要。
- ・ テキストにおける時間配分に工夫を。
- ・ 集中力がもたないので1コマ60分程度で構成してほしい。
- ・ 基本編テキストの後半の内容を詳しく聞きたかった。
- ・ 考査問題解説に15分使うなら基本編第6章～9章を15分増やしてもらった方が有意義。
- ・ DVDがすごくわかりやすかったので施工編のテキストでの講習は短くても問題ないと感じた。

- ・DVDを見る時間は各自、自宅で良いのでは。他の講習の時間や内容を多くした方が良いと思う。
- ・午後の100分が長かったので休憩を入れてほしい。
- ・短い時間で良いのでもう少しこまめに休憩を入れて欲しい。 等

### 設計C講習

#### ●講習時間が不足、説明速い(226)

- ・時間が少なくて分かりにくい所もあった
- ・講習テキストと講習時間が合っていない。
- ・一日でやるには時間が足りない内容。
- ・テキストの内容が多すぎて省略が多かった。
- ・2日間に分ける等して行ってほしい。
- ・予備知識がなければきびしい講習内容(一日では無理)と思った。
- ・講師の方の説明時間不足。
- ・内容とくらべて時間が少ないので講師の問題ではないと思った。
- ・もう少し時間をかけてじっくり学びたいと思った。
- ・説明が早すぎ。
- ・テンポが早かった。
- ・もっとゆっくり教えて欲しい。 等

#### ●講習時間はちょうど良い(2)

- ・ちょうど良い時間と思う。
- ・設計、施工それぞれ参加。一日ずつでボリュームはちょうどよい。

#### ●講習時間が長い(18)

- ・長かった。
- ・もう少し講習時間を短縮してほしい。
- ・長かったが、分かりやすい説明であった。
- ・もう少し簡略化した講習にしてほしい。せめて半日くらい。
- ・午前の内容のみでよい。 等

#### ●時間配分、カリキュラム、時間割、休憩時間(115)

- ・時間配分が良くなかった。
- ・時間配分もしくは説明する内容を見直した方がよいのでは。
- ・基本編の説明をもっと短くし設計の講義時間に余裕をほしい。
- ・断熱設計、開口設計にもっと時間を割くべきではないか。
- ・一次エネルギー消費量の計算はほぼWeb解説だったので、その時間を、外皮性能の計算や演習にまわしたほうが良いと思った。
- ・仕様基準より外皮計算に時間をかけてほしい。
- ・関連基準と制度など個人で読めば良い章は講義で触れなくてもよいので、実務に関する章に時間を割いてほしかった。

- ・演習問題に要する時間がもう少しあるとよい。
- ・考査の時間が長すぎる。考査後の説明は不要ではないか。
- ・第3章の講義はいらない。
- ・原理を説明する部分と実務でかんたんに出来るやり方を分けて説明してほしかった。
- ・午後の講習は時間の無駄だと思う
- ・仕様基準の説明はいろいろと無駄だと思う。
- ・休憩時間が短い。
- ・休憩時間の配分を均一にしてほしい。
- ・休憩時間は12:00~13:00にしてほしい。電話などの連絡をしたいので。
- ・一つの講義時間が長い為、集中できない
- ・休憩が多すぎるのでその分減らして早く終わってほしい。
- ・施工を受けた人は午前中いらないとかしてもらえたら。 等

#### (4) 講習会運営に関する意見

講習会の運営に関して、自由記述では以下のような意見、要望があった。  
(施工C講習 60 回答、設計C講習 79 回答を整理)

##### 施工C講習

###### ● 広報・開催案内(5)

- ・筆記用具の用意について受講票に詳しく書いてほしかった。
- ・講習会に来て欲しい人を具体的に書いて欲しかった。本来は現場で作業する大工さんに受けさせたかった。
- ・講習会を知らない大工さんはまだ多くいる。大工組合等へのお知らせ、各地区で気軽に足をはこべるようにしてほしい。大工は年寄りが多いので。
- ・この講習を知らない、来ない関係者にもっと知らせるにはどうしたら良いか。
- ・広く周知する前に案内を多く出してもらえると良いと思う。

###### ● 開催時期・曜日(4)

- ・平日の講習希望。
- ・休みに講習会なのでつらい。平日も休みにくい。
- ・全ての日程が水曜日ではなく他の曜日を設定してほしい。
- ・早く設計技術講習を修了したいので開催を早めてもらいたい。

###### ● 受講料・修了証発行手数料(2)

- ・コストパフォーマンスに優れた講習会。講習費用がとても良心的。
- ・カード発行が高い。

###### ● 講習会場(49)

###### 【開催地要望】

- ・ぜひ庄内でこの講習会をすぐにでも開催してもらいたい。
- ・開催会場が岡山市や倉敷など県南が多い。月に1回程度、もしくは5回に1回程度でもいいので津山でして欲しい。
- ・中讃地区での開催で大変便利が良かった。
- ・年2回程度同じ会場にて講習会を開いてほしい。

###### 【交通の便悪い・駐車場不備・昼食不便】

- ・会場を公共交通機関で行きやすい場所にしてほしかった。
- ・駐車場が有る会場で。
- ・昼の弁当が出ると良いと思う。

###### 【会場が狭い】

- ・席を広く。
- ・会場が狭い。

**【空調ができていない】**

- ・会場の空調が悪い。
- ・会場がとにかく寒かった。
- ・部屋が暑かった。 等

**【マイク不備、不調】**

- ・マイクは大きめの音の法がよいと思いました。
- ・マイクの調子が悪い時があり聞き取りづらい時間帯があった。
- ・マイクは使ってほしい、聞き取れない。 等

**【会場が暗い】**

- ・画像が暗くて見えにくかった。

**【会場案内図不備】**

- ・会場の地図がなくわかりずらかった。

**【その他不評】**

- ・DVDが流れた時には照明を消した方が見やすい。
- ・DVD映像画面が低く見にくい。
- ・DVD視聴は画面大きすぎ。前列、端の席では見えづらい。
- ・DVDのボリュームが小さい。
- ・DVD放映にあたり準備不足があった。
- ・模型が全く見えなかった。前の列を座らせるとか配慮が必要。
- ・模型解説時、マイクを使うと輪大きくなって全員が見えると思う。
- ・カットモデルの説明、声が聞きづらかったです
- ・カットモデルの説明が周囲の作業音の影響で聞きとれませんでした。
- ・天井の換気扇(AC吹き出し?)の風切音がうるさく困った。
- ・会場前にキッズコーナーがあり集中できなかった。
- ・持ち帰り用の袋があれば良い。 等

**設計C 講習**

● 広報・開催案内(7)

- ・講習の案内に電卓持参の指示がなく計算問題が大変だった。
- ・開始時間の案内がずさんだった。
- ・開始時間があいまい。
- ・情報を広く流してほしい。 等

● 開催時期・曜日(7)

- ・11月という忙しい月ではなく、1月、2月等に講習会を開催した方が大勢の参加があるのではないか。

- ・講習会は月末をさけてほしい。
- ・水曜日以外の会場があれば参加したい。なぜ休みの日なのか。
- ・日曜日の講習は出席したくない。
- ・設計講習会は開催日が少なく会場が限られている。 等

●受講料・修了証発行手数料(2)

- ・非常に安価で講習を受けることが出来感謝。
- ・受講料が高額。修了証が高額。

●講習会場(63)

【開催地要望】

- ・場所が遠い。
- ・地方でもしてほしい。

【昼食が不便】

- ・昼食をとる所がなくて不便だった。

【会場が狭い】

- ・会場が狭く一日の講習にはキツイ。
- ・席が狭くて集中できなかった。
- ・一日中の講習なのに3人掛けはとても不便。
- ・テーブルは2人掛けとしてほしい。電卓使う時とか困る。テキストが広げられない。 等

【空調ができていない】

- ・会場の温度管理してほしい
- ・会場が寒かった。
- ・冷房寒くて集中できませんでした
- ・空調が暑すぎて体調を崩してしまった。
- ・部屋が乾燥していると風邪をひきやすいのでどうかと思う。 等

【マイク不備、不調】

- ・音響が少々悪かったと思う。
- ・マイクの調子が悪くて聴き取りづらかった。
- ・マイクを使ってほしい。何をしゃべっているのかわからない。 等

【会場が暗い】

- ・場内を明るくしてほしい、老眼なので大変文字が見えにくかった。
- ・会場の照明が暗すぎてテキストなどが非常に見えにくい。 等

【受付の段取りが悪い】

- ・会場を9:00~借りていて9:00~受付のお知らせはおかしい。段取りをもうちょっと考えてほしい。

**【その他不評】**

- ・エアコンの風が直接あたり大変寒く不快だったが席が指定されていたので移動できず困った。
- ・女子トイレが少ない。
- ・トイレが全て女性と男性共用トイレでもものすごく困った。女性が沢山出席しているので配慮してほしい。
- ・分煙されていない会場は二度と体調面から受講したくない。
- ・喫煙スペースや喫煙時間を設けてほしい。
- ・空調の音がうるさくて講師の声がきこえにくい。

**【会場好評】**

- ・会場が素晴らしいですね。研修参加人数もちょうどいいくらい。

**【講習会運営その他】**

- ・受講受付前に講師名の事前発表が必要。
- ・カリキュラムに講師名を入れてほしい。
- ・タイムスケジュールの掲示。
- ・施工編のテキストをもらえなかったのが残念。
- ・個人情報の取り扱いがヒドイ。
- ・長時間密閉された場所に同室することになるので、咳が出る方やカゼの方などは無理をしないようHP書いてほしい。 等

## (5) 講師、スタッフ、受講者への意見

講師、スタッフ、受講者の態度やマナーの悪さについて、自由記述では以下のような意見、指摘があった。（施工C講習7回答、設計C講習7回答を整理）

### 施工C講習

#### 【講師】

- ・講師の女性の方の服装、態度がいかがなものかと思った。

#### 【スタッフ】

- ・事務局の会話が気になる。うるさい。
- ・会場内後ろでスタッフが話をしていて講習に集中できなかった。スタッフの私語を聞きに来たのではない。講習費の返金してほしい。
- ・会場にいたスタッフが講習中に話をしていて講習に集中できなかった。話があるなら会場の外ですべき。
- ・スタッフが講義中に同室で電話をとるのはいかがなものか。非常識でないか。

#### 【受講者】

- ・受講者側のマナーとして携帯電話のマナーモード、途中退出の制限を開始前に注意してほしい。
- ・考査中や問題解説時に、私語をしているオヤジは遊びに来てるのか、疑問。注意が必要。

### 設計C講習

#### 【スタッフ】

- ・後ろの方で職員同士の無駄話がうるさかった。
- ・開始から後ろの受付のひそひそ話が非常に耳障りで集中できなくて不快だった。講義中は静かにすべきでは。
- ・後ろの職員の話し声が耳障りだった。講義中は慎んでもらいたい。
- ・講習中に後ろから話し声がすると講義内容に集中できない。廊下で願いたい。
- ・考査中、主催者側が世間話をずっとしていたので集中できなかった。

#### 【受講者】

- ・受講者同士の私語が気になった。試験中の私語、2組いた。ありえない。（同じ会社の人を離してほしい）
- ・考査終了後、他に終わっていない人がいるにもかかわらず、先に終えた人が室内でしゃべっていた。それを何も注意しない運営に非常におどろきました。

## 9. 今後の講習会運営に関する検討

---

今年度の施工技術者講習(C講習)は目標受講者数 22,000 人に対し実際の受講者数は 14,352 人、目標達成率は 65.2%、設計者講習(C講習)は目標受講者数 11,000 人に対し受講者数は 11,205 人、目標達成率は 101.8%、全体では目標受講者数 33,000 人に対し受講者数は 25,557 人、目標達成率は 77.4%、施工技術者講習において目標達成には至らなかった。来年度も予定されている省エネ技術講習会において目標受講者数を達成するための方策、今後の講習会運営に関する事柄について検討する。

### (1) 広報・開催案内

#### 1) 施工に携わる受講者を増やすための検討

目標未達成の施工技術者講習で受講してもらいたい大工等現場施工者に対する広報として、これまで実施していなかった全国的なラジオCMを検討する。

#### 2) 講習で持参が必要なものを明記

設計者講習の演習においては計算機がもとに必要となるため、案内に明記する。

### (2) 会場・設備

会場選定に当たっては地域協議会事務局閲覧用ホームページにチェック項目を掲載しているが、会場の広さ、設備については不評の意見が見られた。改めて各地域協議会に対し、会場選定のチェック事項について周知すると共に、特に設計者講習の演習ではスペースが必要となるため、3人掛け用の長机を2名で使用するよう配慮するよう要請する。

### (3) 講習時間

3年間の講習会の蓄積による資料の向上を踏まえ、これまでも多数の要望があった半日講習の開催・カリキュラムを検討する。既存の一日講習に加える形で半日講習のメニューを用意し、地域協議会による講習会の選択肢を増やし、開催のしやすさ、開催地の増、目標受講者数の達成に寄与することを目的とする。

### (4) 受講者のマナー違反对策

考査中の受講者の私語については3件ではあるが指摘があった。来年度も引き続き、マナー違反の無いよう会場での注意喚起を実施していく。

### (5) 講師、会場スタッフのマナー

今年度も注意を促す側の会場スタッフ・講師に対するマナー違反への指摘が施工5件、設計5件と少なからずあった。殆どが会場スタッフの私語についての指摘で、改善の徹底が求められる。

注意事項については平成25年度の全国事務局連絡会議において説明後、地域協議会事務局閲覧用ホームページに掲載していたが、来年度の講習内容に整合するよう内容を改訂し、改めて平成27年度の全国事務局連絡会議で周知、注意事項の徹底を図っていく必要がある。

1. 講習会の開催趣旨について

昨年の講習会アンケートでは、講習会の開催内容について誤解したまま受講した方が、おられました。講習会の開催前に、「省エネルギー施工技術講習会」の趣旨を説明して下さい。

- 本講習会は、断熱材施工技術の基本的な方法を学ぶための講習会です。
- したがって、全ての断熱材料についての施工法を講習するものではなく代表的なグラスウールによる充填工法と発泡プラスチック系断熱材による外張り工法を講習するものです。
- 断熱設計は、施工者が知っておくべき基本的な内容のみを扱っていますが、断熱設計そのものの講習会ではありません。また、断熱工法ごとの施工性、価格、性能等におけるメリット、デメリットなどについては、講習の対象とはなっていません。

2. 講習会会場の注意点

講習会会場で真面目に受講している方にとっては、会場内での会話等は非常に気になるものです。下記の内容を、講習会開催前にアナウンスすると共に、貼紙等を講習会場に掲示して下さい。

- 携帯電話は、電源を切るかマナーモードとして会場内での会話は厳禁。
- 講習中の私語や修了考査中の私語は厳禁。
- 修了考査時の受講者同士の相談等については途中で退席させる。

講習開催時の会場における事務局への注意事項(地域協議会事務局閲覧用ホームページに掲載)

講習会場の確認

- 駐車場の確保や公共交通機関にてアクセス可能な会場か？
- マイク・スピーカーの設備が使用可能か？
- 適切な大きさのモニタまたはスクリーンとDVDを再生できる設備が、使用可能か？
- 受講人数に対し冷暖房設備は適切か？  
冷暖房設備がやかましく講師の声が聞きづらいなどの意見もあった。
- カットモデルは屋内外を問わず屋根の下に設置可能か？
- カットモデルを屋外設置する会場は案内にその旨を記載し、受講者の暑さや寒さ対策の必要性を事前に知らせること。
- 男女別トイレが備えられているか？
- 近くにコンビニや昼食ができる飲食店はあるか？
- 事前にマイクやスクリーン等機器取扱を確認したか？誰が操作するか？

会場選定、講習運営に関する事務局への注意事項(地域協議会事務局閲覧用ホームページに掲載)

## 講師に関する注意事項

### ① 講習時間

講習時間が長い、一方で短いと感じる人も居たが、下記に注意する。

- 講習時間が長いとする意見では、説明内容の重複に注意
- 講習時間が短いとする意見では、説明が速くて理解できないに注意
- 施工（テキスト第3章部分）について丁寧に説明が必要
- 休憩時間は時間割表の通りに。

### ② 講師のマナー

- 座って講習を行う場合は、座って講習を行う旨断りを入れる。
- 見下したような言葉づかいは慎む
- ポケットに手を入れながらの講習は慎む
- 講義中には、控え講師は私語を慎む

### ③ 講習の仕方

話し方で、音量小さい、ペース速い、滑舌悪いなどの意見や話す内容についての説明が分かりにくい、進行が不慣れ、時間通りに終わらないなどの意見があった。またテキストをただ読み上げているだけで講習になっていないという意見も見られた。

- カットモデル講習は、講師二人で協力し2班に分け、人数を少なくし2度行うなど、全員が模型を見られる工夫を行う。
- テキストを読むだけでなく注意点、具体例などを取り混ぜ話す。
- 読むだけの講習とならないように、メリハリをつける。
- 同じことの繰り返しになる部分については、重要だからとか、言い回しを変えるなどの工夫を行う。

講師2名が、相手の講義を聞いていないことによる、講義内容のダブリやDVDを見ていないことによるダブリもあるため、内容の確認必要！

- DVDで説明される施工手順と重複する部分は省略するといったことを検討する。DVDで説明される項目は全てテキストに記述し、必ずテキストとDVDが対応するようにする。
- DVDではルーフバルコニー地下側の通気について解説があるが、テキストにその項目の記載は無いため、工夫をする。
- 断熱材の一般名称が分かりにくいと感じている大工等が多いため、材料名を述べながらの講習等が必要
- 説明時の表現については現場で普段使う用語や商品名による説明が施工者にとってわかりやすいという意見があり、説明の際にテキストの内容を言い換えた言葉で説明する工夫をする。
- 「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」の取合い部分は断熱材の連続性や気密層の連続性について施工上注意を要する部分なので、実態調査結果をもとに多用されている断熱材料の組合せの取合い部分の説明などを工夫する。
- 断熱リフォームの説明の仕方、多様な手法があるため、講習会では原理原則のみを述べることを説明。
- カットモデルの説明では、基礎部分や天井通気部分が分かりにくい、熱的境界ラインを明示してほしい等に配慮して説明を行う。

講師に関する事務局への注意事項(地域協議会事務局閲覧用ホームページに掲載)

《資料編》

---

- ・平成 26 年度講習会アンケート調査結果



## 概要

---

- ・ 調査対象  
：主に現場施工者、現場管理者、設計者。
  
- ・ 調査期間  
：2014 年 8 月～2015 年 2 月
  
- ・ 調査場所  
：全国 47 都道府県で開催の平成 26 年度住宅省エネルギー技術  
施工技術者講習会及び設計者講習会会場。延べ 732 会場。
  
- ・ アンケート票配布及び回収方法  
：講習会場にて教材と共に配布。  
終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。
  
- ・ アンケート票回収数  
：全国で 24,009 票。

地域	回答数	施工C	設計C
北海道	840	396	444
東北	3,032	1,691	1,341
関東	5,805	3,465	2,340
北陸	1,768	1,056	712
中部	4,022	2,168	1,854
近畿	2,679	1,430	1,249
中国	2,089	1,216	873
四国	1,170	721	449
九州・沖縄	2,604	1,357	1,247
全体	24,009	13,500	10,509

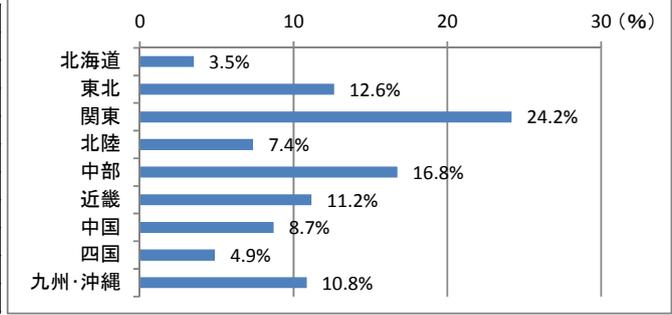


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数	施工C	設計C
北海道	北海道	840	396	444
東北	青森県	578	277	301
	岩手県	465	319	146
	宮城県	714	425	289
	秋田県	235	130	105
	山形県	419	210	209
	福島県	621	330	291
	茨城県	646	411	235
関東	栃木県	552	307	245
	群馬県	513	306	207
	埼玉県	674	314	360
	千葉県	588	393	195
	東京都	1,429	832	597
	神奈川県	1,109	706	403
	山梨県	294	196	98
北陸	新潟県	835	499	336
	富山県	367	215	152
	石川県	389	230	159
	福井県	177	112	65
中部	長野県	759	292	467
	岐阜県	796	546	250
	静岡県	1,019	521	498
	愛知県	1,094	557	537
	三重県	354	252	102
近畿	滋賀県	309	173	136
	京都府	366	192	174
	大阪府	1,017	506	511
	兵庫県	621	335	286
	奈良県	112	89	23
中国	和歌山県	254	135	119
	鳥取県	216	101	115
	島根県	396	275	121
	岡山県	575	294	281
	広島県	652	377	275
四国	山口県	250	169	81
	徳島県	213	145	68
	香川県	334	193	141
	愛媛県	443	282	161
	高知県	180	101	79
九州・沖縄	福岡県	628	263	365
	佐賀県	227	125	102
	長崎県	420	258	162
	熊本県	343	215	128
	大分県	198	92	106
	宮崎県	209	145	64
	鹿児島県	391	200	191
沖縄県	188	59	129	
全体		24,009	13,500	10,509

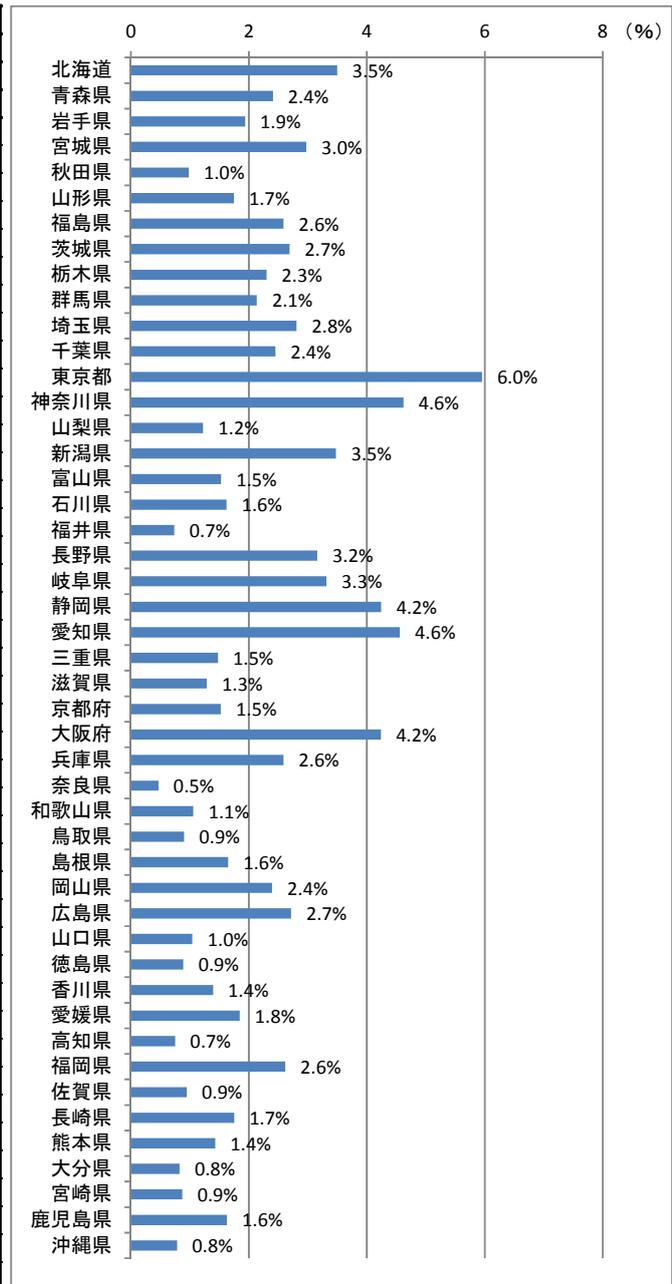


図 4-1-2b 都道府県別回答数

アンケート調査票

①施工者講習アンケート調査票

「省エネ講習会(施工技術者講習会)」に関するアンケート

**施工 C**

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局  
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日:平成 年 月 日( ) 会場: \_\_\_\_\_ 会場(都道府県名でお書きください)

回答者属性  講習会運営に関する情報収集  講習内容・資料検討に関する情報収集	質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他( )
	質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他( )
	質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上
	質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他( )
	質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他( )
	質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い
	質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○) 7-1. テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった 7-2. DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった 7-3. カットモデル 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった
	質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○) 8-1. 基本編テキストについて 1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 8-2. 施工編テキストについて [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]
	質問9. 修了考査について (ひとつに○) 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい
	質問10. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

※ 裏面に続きます

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱 (野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱 (垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床 (根太間断熱) 2. 床 (大引き間断熱) 3. 床 (根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) 3. その他 ( )
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) 3. その他 ( )
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) 3. その他 ( )

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいなと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他 ( )
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他 ( )

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他 ( )

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。(複数選択可)

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり ( ) 人工程度増加する
3. 坪あたり ( ) 人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他 ( )			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。


講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。  
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者講習アンケート調査票

「省エネ講習会(設計者講習会)」に関するアンケート

設計 C

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局  
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。  
つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日:平成 年 月 日( ) 会場: \_\_\_\_\_ 会場(都道府県名でお書きください)

回答者属性	質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)
	1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他( )
	質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)
1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他( )	
講習会運営に関する情報収集	質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)
	1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上
	質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)
1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて	
2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報	
3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼	
4: その他( )	
講習内容・資料検討に関する情報収集	質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)
	1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから
	2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから
3: その他( )	
質問6. 今回の講義時間についてお聞きします。(ひとつに○)	
1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い	
質問7. テキストについてお聞きします。(ひとつに○)	
1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった	
質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)	
8-1. 基本編テキストについて	
1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
8-2. 設計編テキスト・省エネ基準編について	
1)第2章 外皮性能の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
2)第3章 一次エネルギー消費量の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
3)第4章 仕様基準による基準判定方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]	
質問9. 演習についてお聞きします。(ひとつに○)	
1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
質問10. 修了審査についてお聞きします。(ひとつに○)	
1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
質問11. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)	
1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった	

※裏面に続きます

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他( )

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他( )

12-4. 普段、目指している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。(複数選択可)

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

12-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他( )

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要とご思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他( )			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。


講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。  
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

## 平成 26 年度住宅省エネルギー技術講習会標準カリキュラム

平成26年度 標準カリキュラム 施工技術者講習

時間割	講義科目
9:00～ 9:30 (30分)	受付
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認
9:40～10:40 (60分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計
10:40～10:50 (10分)	【休憩】
10:50～12:05 (75分)	DVD放映 断熱施工(42分)、設備配管(30分)
12:05～13:00 (55分)	【昼休憩】
13:00～14:40 (100分)	『施工技術者講習テキスト-施工編』
14:40～14:55 (15分)	【休憩】
14:55～15:15 (20分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度
15:15～16:00 (45分)	模型解説
16:00～16:10 (10分)	修了考査問題配布、説明
16:10～16:40 (30分)	修了考査
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入
17:00	閉会

平成26年度 標準カリキュラム 設計者講習

時間割	講義科目
9:00～ 9:30 (30分)	受付
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認
9:40～10:40 (60分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計
10:40～10:50 (10分)	【休憩】
10:50～12:15 (85分)	『設計者講習テキスト』 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算
12:15～13:15 (60分)	【昼休憩】
13:15～15:15 (120分) ※小休憩10分含む	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様基準による基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例 演習問題
15:15～15:30 (15分)	【休憩】
15:30～15:50 (20分)	『施工技術者講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度
15:50～16:00 (10分)	修了考査問題配布、説明
16:00～16:40 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入
17:00	閉会

## 質問1 業種をお聞かせ下さい。

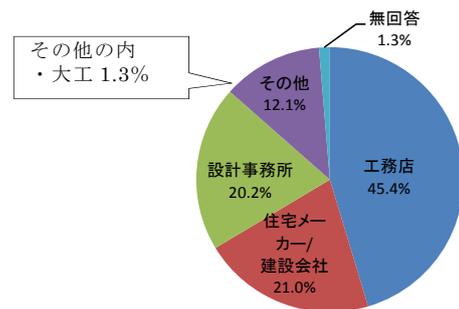
- 「工務店」が45.4%(前年度比+0.8ポイント)で最も多く、「設計事務所」が20.2%(同-2.6ポイント)、「住宅メーカー/建設会社」が21.0%(同+0.6ポイント)の回答であった。「その他」は12.1%(同+1.1ポイント)でその内、「大工」1.5%、「建材販売」1.9%であった。
- 昨年度と比較した参加の割合は、「工務店」「住宅メーカー/建設会社」が増加し、「設計事務所」が減少している。

### 《職種別》

- 「施工」の所属先は、「工務店」が75.1%で最も多く、「住宅メーカー/建設会社」が9.6%、「設計事務所」が2.3%の回答があった。
- 「現場管理」の所属先は、「工務店」が54.7%で最も多く、「住宅メーカー/建設会社」が33.2%、「設計事務所」は6.0%であった。
- 「設計」の所属先は、「設計事務所」が48.6%で最も多く、「工務店」が25.7%、「住宅メーカー/建設会社」が20.5%であった。

### 《地域別》

- 「工務店」は、北陸(49.5%)、中部(48.1%)、近畿(49.1%)、中国(53.3%)、四国(51.8%)が50%前後、北海道(38.1%)、東北(42.1%)、関東(44.7%)、九州・沖縄(35.0%)が40%前後であった。
- 「住宅メーカー/建設会社」は、北海道(36.8%)、東北(26.8%)、北陸(28.6%)、九州・沖縄(26.8%)が20%を超える。他の地域は13.7%(四国近畿)~18.9%(関東)の範囲であった。



業種	回答数	内訳	
		施工C	設計C
工務店	10,893	7,688	3,205
住宅メーカー/建設会社	5,039	2,910	2,129
設計事務所	4,851	852	3,999
その他	2,914	1,839	1,075
無回答	312	211	101
全体	24,009	13,500	10,509

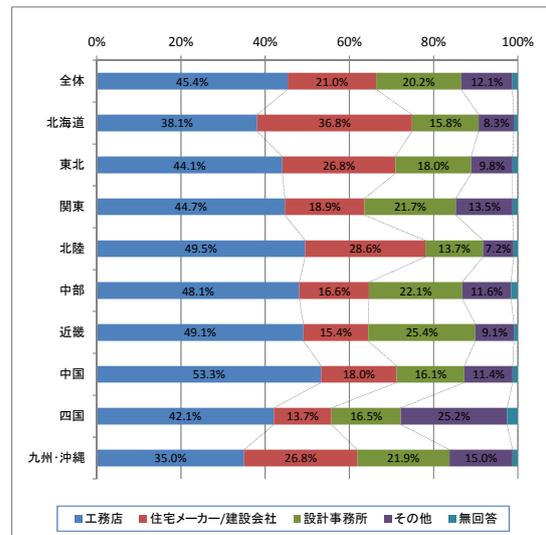


図 4-1-3a 業種

地域別の所属業種

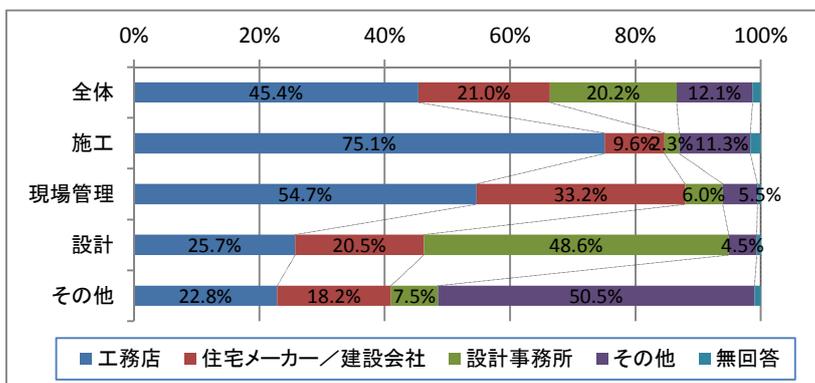


図 4-1-3c 職種別の所属業種



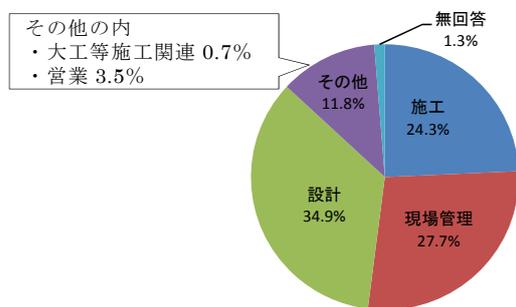
## 質問2 職種をお聞かせ下さい。

- 「設計」が34.9%(前年度比-1.7ポイント)で最も多く、次いで「現場管理」が27.7%(同+2.5ポイント)、「施工」が24.3%(同-2.6ポイント)であった。「その他」は11.8%(同+1.6ポイント)で、主な内訳は「営業」が3.5%、「大工」が0.7%であった。

- 昨年度と比較した参加の割合は、「現場管理」が増加し、「設計」「施工」が減少している。

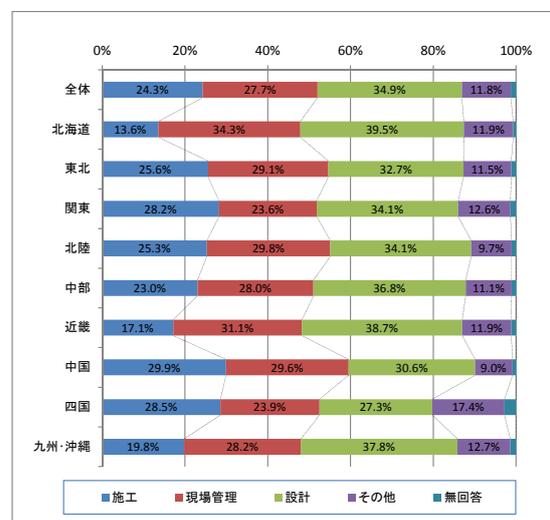
### 《地域別》

- 「施工」は関東(28.2%)、中国(29.9%)、四国(28.5%)が30%弱、東北(25.6%)、北陸(25.3%)、中部(23.0%)が25%前後、近畿(17.1%)、九州・沖縄(19.8%)が20%弱であった。北海道は13.6%で他地域と比較して割合が低い。
- 「現場管理」は北海道が34.3%、関東が23.6%、四国が23.9%の他は30%前後であった。
- 「設計」は四国が27.3%となっている以外は30%を超えている。
- 北海道の受講者は他地域と比べ「施工」の割合が低い。



職種	回答数	内訳	
		施工C	設計C
施工	5,833	5,122	711
現場管理	6,661	4,997	1,664
設計	8,369	1,582	6,787
その他	2,844	1,606	1,238
無回答	302	193	109
全体	24,009	13,500	10,509

図 4-1-3b 職種



地域別の受講者職種

職種「その他」	回答数			%
	施工C	設計C	総計	
大工等施工関連	147	12	159	0.7%
現場管理	3	12	15	0.1%
設計	38	36	74	0.3%
設計系	27	70	97	0.4%
営業	484	352	836	3.5%
事業主等	78	55	133	0.6%
建材販売	73	38	111	0.5%
検査機関	20	67	87	0.4%
工務店	2	0	2	0.0%
行政	13	37	50	0.2%
施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	86	75	161	0.7%
未分類	222	126	348	1.4%
その他記入有り合計	1,193	880	2,073	8.6%
その他全体	1,606	1,238	2,844	11.8%
全体	13,500	10,509	24,009	100.0%

職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数
大工等施工関連	159	(設計系 つづき)		(建材販売 つづき)		(施工、現場管理、設計、営業等兼ねる つづき)	
ワレケン関連	1	コンサルト	5	木材流通	1	施工、設計関係	1
ガス設備	1	プランナー	1	管理	2	施工以外全般	1
かわらぶき職	1	プランニング	1	流通業	2	現場検査	2
サッシ工	1	プレカットCAD	2	検査機関	87	事務、営業	2
タイル工	2	プレカットCADオペレーター	2	アフターメンテ、検査	1	事務、施工	1
メンテナンス、リフォーム	1	モデル住宅相談業務	1	確認 審査 検査	1	住宅性能関係、設計	1
メンテナンス・改修	1	企画	21	確認 図説検査他	13	商品企画、現場管理	1
リフォーム	6	既存住宅現況検査	1	確認検査機関	1	客先、リフォーム相談	1
屋根職	1	計算、長期優良住宅申請	1	確認検査機関	1	建築・設備、造園施工	1
解体工	1	住宅アドバイザー	1	建築確認、保険検査他	1	積算、営業	2
棟員、家具	1	住宅システム開発・住宅性能設計	1	検査	10	設計 監理 営業全般	1
棟員兼	1	省エネ計算	3	検査 アフター他	1	設計 施工	1
建設工	1	省エネ提案	1	検査 審査	2	設計 建材販売	1
建築	4	申請サポート	3	検査 審査業務	1	設計、管理	3
建築工事	1	申請代行	3	検査員	1	指導員	1
建築大工	8	申請代行業務	1	検査業務	2	設計、現場管理	1
元請	1	性能評価の申請	1	指定確認検査機関	2	設計、現場管理	5
現場	1	性能評価申請	1	住宅検査	1	設計、現場管理、施工	1
工事	1	性能評価申請サポート	1	住宅性能評価員	2	設計、工	7
仕上金物工	1	性能評価申請代行	2	住宅確認検査	1	設計、施工、管理	1
手元	1	相談(住宅)対応	1	省エネ審査	1	設計、施工、管理全て	2
営業	2	代領業務	2	省エネ審査	1	設計、施工、現場管理	3
職人	2	図章、積算設計	1	審査	30	設計、施工管理	1
水道工事	1	長期優良設計性能評価サポート	1	審査 検査	1	設計、施工管理	1
優良	1	福祉住環境コーディネーター	1	審査補助	1	設計管理	1
設備	1	営業	836	性能評価員、F33事業者	1	設計施工	4
設備施工店	1	ショールームユーザー営業	1	性能評価員	4	設計施工、現場管理	1
総合建設業	1	営業	812	設計業務、現場検査	1	全て	1
総合商社	1	営業サポート	3	設計 検査	1	全て	24
造園	1	営業開発	1	適合判定士	1	全般	11
大工	88	営業企画	7	評価員	3	大工営業業	1
大工見習い	1	営業事務	3	工務店	2	販売施工	1
経営建設	1	営業推進	1	工務店ならではの	1	木材材機店 工務店 設計事務所	1
電気工事	2	経営開発営業	1	工務店事務	1	未分類	348
電気工事 設備工事	1	建材営業	1	行政	50	IC	1
電気工事士	1	建築営業	1	建築行政	2	IC 設計	1
電気主任技術者	1	提案営業	1	建築指導	2	NS	1
電気保守	1	販売営業	1	建築指導 審査	1	SE	2
電工	2	物販営業	1	取組(建築)	1	アフターサポート	5
塗装	1	木材・プレカット営業	1	公務員	2	エンジニアリング	1
塗装工	1	流通業営業職	1	公務員	3	工務店事務	1
内装	1	事業主等	133	行政	35	IC	1
納品と施工	4	会社代表者	1	行政(営業、審査)	1	スタッフ	1
配管工	1	会社役員	4	市役所	2	ハウジングカーメーカ	1
配管工事、35年位前は	1	管理 役員	1	町職員	1	パネル製作	2
建築現場管理、設計再度勉強中	1	経営者	32	施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	161	マーケティング	1
給食工	1	経営者	12	いらいら、なんでも	1	みならい	2
防水屋	1	事業主	3	プレカット打ち合わせ、材木販売	1	モデル住宅	1
木工	1	社長	3	リフォーム(給・浴・管)	1	運搬	1
木製建具製作、取付	1	取締役	1	リフォームの設計、現場監理	1	営業、管理	1
現場管理	15	代表者	26	営業 エンジン	1	営業、管理職	1
監督	2	代表者	2	営業 会社経営	1	営業アシスタント	1
監督員業務	1	代表者、管理	1	営業 企画	1	営業マネージャー	1
管理	8	代表取締役	14	営業 企画 積算 現場管理	1	営業管理	4
現場監督	1	代表取締役社長	20	営業 経営補助他	1	業績	2
現場施工管理	1	役員	20	営業 経営	1	会社員	1
工事管理、技術指導	1	役員 総務	2	営業&施工	1	会社役員	1
全体監理	1	建材販売	111	営業 企画	1	開発	10
設計	74	プレカット	3	営業 経営	1	開発企画	1
総理	7	卸売業	3	営業、経営、現場管理	1	学生	38
管理建築士	1	卸売業	1	営業、現場管理	1	管理	2
企画、設計	2	建材	1	営業、工事	1	管理業務	1
建築積算	1	建材・構造材販売	1	営業、購買	1	管理者	2
見積	2	建材卸売業	2	営業、施工管理	2	管理職(役員)	7
構造設計	1	建材配送	1	営業、事務	1	電気部	1
施工図作成	1	建材販売	8	営業、設計	8	経理	1
積算	15	建材問屋	1	営業、プランナー	1	建築課	1
積算業務	24	建材流通	1	営業その他	2	技師	2
積算他	1	建築資材販売	1	営業表現場管理	1	技術	5
設計 提案	1	建築資材販売業	2	営業施工	1	技術(施工管理サポート)	1
設計、デザイン	2	見積、販売	1	営業設計	3	技術サービス業	1
設計、監理	2	材木店	1	管理、施工	2	技術開発	1
設計、事務	1	材木店	1	企画、販売、設計	1	技術開発	1
設計、積算	3	材木販売店	1	企画、営業	2	技術関連	1
設計サポート	5	材料卸	1	業務全般	1	技術指導	3
設計図書作成業務	1	材料販売	2	経営、営業系	1	技術職	1
設計積算	1	資材	1	経営者、施工、現場管理、営業	1	教育	3
設備設計	1	資材調達	1	経営者、施工、現場管理、営業	1	教育、研究	3
設備設計、提案	1	資材販売	10	建設業、プレカット部営業	1	役員	2
総合監理	1	住宅資材販売	2	現場営業	1	業務	1
設計系	97	商社	5	現場管理、設計	1	訓練校役	5
CAD、CAMオペレーター	1	小売	2	工事発注、販理	1	訓練指導員	1
CADオペ	1	小売、アドバイザー	1	管理、施工	2	工務店開発営業	2
CADオペレーター	13	製材、卸、プレカット	1	左記3全て	1	左記3全て	1
アシスタント	2	製材品、製造販売	1	施工、現場管理、設計すべて	1	施工、現場管理、設計	1
アドバイザー	1	製造販売	1	施工 資材販売	1	経理	2
インテリアコーディネーター	8	納材	1	施工、設計	3	経理	1
エンジニア計算	1	納材業者	1	施工&現場管理	1	経理	3
コーディネーター	9	納材店	1	施工、現場管理	3	経理	1
コーディネーター	1	販売	36	施工、現場管理、設計	1	研究	1
コンサルト	1	販売店	10	施工、現場管理、設計、営業	1	研究開発	2

図 I -2c 職種「その他」記述

### 質問3 年齢層をお聞かせ下さい。

- 「30代」26.0%(前年度比+1.1ポイント)、「40代」26.8%(同+2.7ポイント)、「50代」21.8%(同-1.7ポイント)、「60代以上」14.3%(同-3.6ポイント)であった。「10代」「20代」は合わせて10.5%(同+1.7ポイント)であった。

- 昨年度と比較した参加の割合は、「40代」が増加し、「60代以上」が減少している。

#### 《職種別》

- 「施工」、「設計」は全体平均と比較して「60代以上」の割合が高い。
- 「現場管理」は30代～50代の年齢層が多い。

#### 《地域別》

- 「10代」の割合は四国が1.9%(前年度比+1.4ポイント)と他地域と比較して割合が高い。
- 「30代」～「50代」は各地域共、概ね20～30%の割合であった。
- 「60代以上」は北海道が12.1%(同-0.2ポイント)で昨年とほぼ同じ割合であるが、その他の地域で割合が減少している。

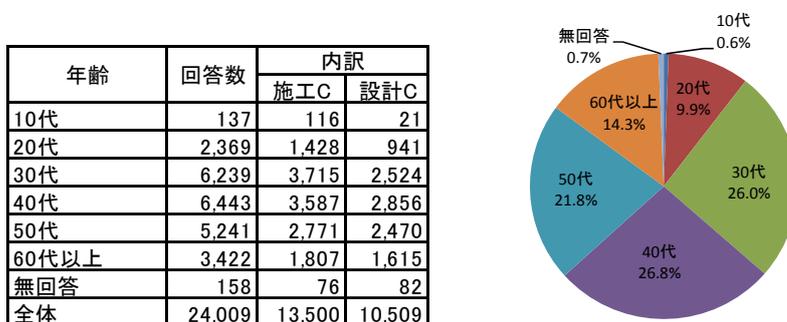


図 4-1-4a 年齢層

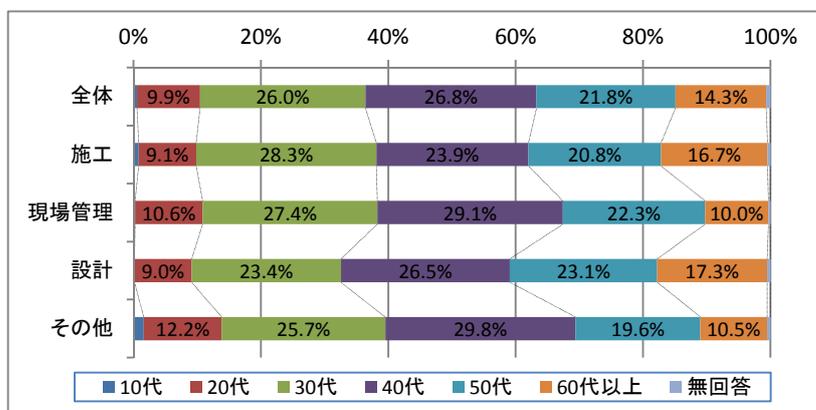
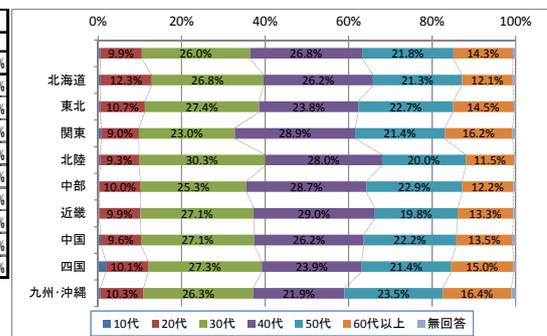


図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

	回答数	年齢層							
		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	24,009	0.6%	9.9%	26.0%	26.8%	21.8%	14.3%	0.7%	
地域	北海道	840	0.6%	12.3%	26.8%	26.2%	21.3%	12.1%	0.7%
	東北	3,032	0.5%	10.7%	27.4%	23.8%	22.7%	14.5%	0.4%
	関東	5,805	0.8%	9.0%	23.0%	28.9%	21.4%	16.2%	0.8%
	北陸	1,768	0.5%	9.3%	30.3%	28.0%	20.0%	11.5%	0.4%
	中部	4,022	0.2%	10.0%	25.3%	28.7%	22.9%	12.2%	0.6%
	近畿	2,679	0.2%	9.9%	27.1%	29.0%	19.8%	13.3%	0.6%
	中国	2,089	0.7%	9.6%	27.1%	26.2%	22.2%	13.5%	0.7%
	四国	1,170	1.9%	10.1%	27.3%	23.9%	21.4%	15.0%	0.5%
	九州・沖縄	2,604	0.5%	10.3%	26.3%	21.9%	23.5%	16.4%	1.0%



地域別の受講者年齢層

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法は「天井断熱」が最も多く 69.3%、「垂木間充填断熱」が 24.3%、「屋根野地上断熱」が 16.3%であった。
- 天井断熱が多い点は、前年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域についても「天井断熱」が他の工法より際立って多い。
- 「屋根野地上断熱」と「垂木間充填断熱」は、北海道では前者が多く、その他の地域は後者が多い。

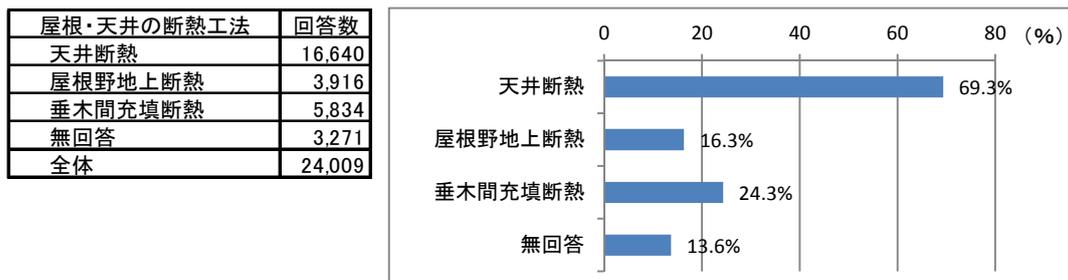
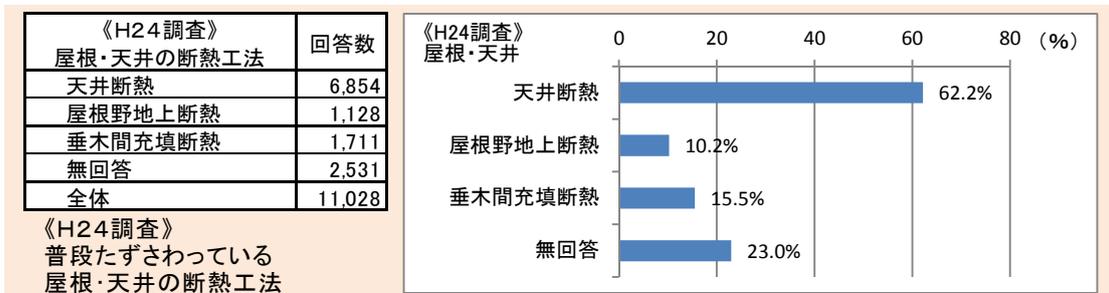
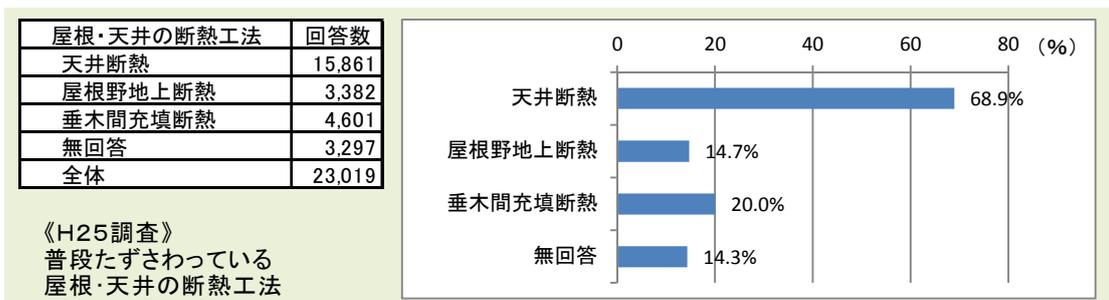


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	24,009	69.3	16.3	24.3	13.6
北海道	840	78.2	18.3	16.0	11.2
(全体との差)		+8.9	+2.0	-8.3	-
東北	3,032	73.9	14.4	20.3	12.9
(全体との差)		+4.6	-1.9	-4.0	-
関東	5,805	66.8	17.7	25.9	15.5
(全体との差)		-2.5	+1.4	+1.6	-
北陸	1,768	73.9	12.7	23.5	8.5
(全体との差)		+4.6	-3.6	-0.8	-
中部	4,022	69.6	15.8	28.8	11.2
(全体との差)		+0.3	-0.5	+4.5	-
近畿	2,679	64.7	20.8	27.8	13.1
(全体との差)		-4.7	+4.4	+3.5	-
中国	2,089	75.4	15.1	23.1	9.9
(全体との差)		+6.1	-1.2	-1.2	-
四国	1,170	63.9	13.4	19.7	24.2
(全体との差)		-5.4	-2.9	-4.6	-
九州・沖縄	2,604	65.3	15.7	21.1	17.1
(全体との差)		-4.0	-0.6	-3.2	-

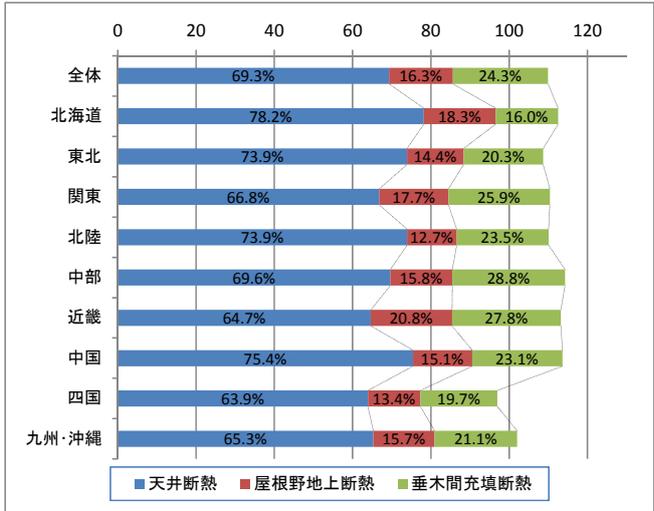
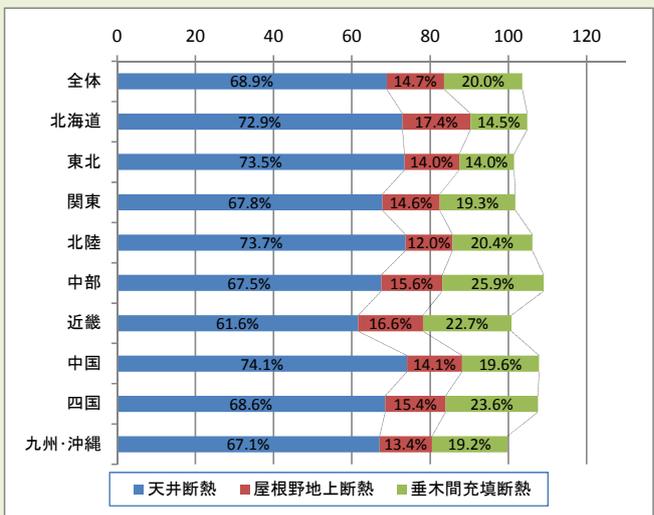


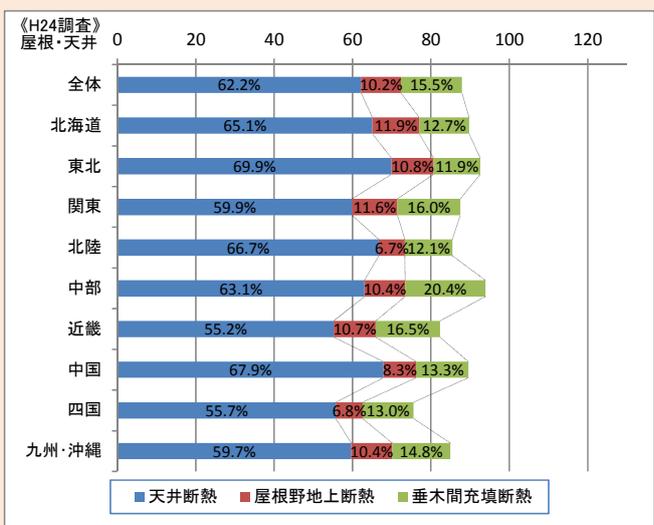
図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	23,019	68.9	14.7	20.0	14.3
北海道	828	72.9	17.4	14.5	17.9
(全体との差)		+4.0	+2.7	-5.5	-
東北	3,259	73.5	14.0	14.0	14.7
(全体との差)		+4.6	-0.7	-6.0	-
関東	6,105	67.8	14.6	19.3	14.9
(全体との差)		-1.1	-0.0	-0.7	-
北陸	1,409	73.7	12.0	20.4	10.4
(全体との差)		+4.8	-2.7	+0.4	-
近畿	2,626	61.6	16.6	22.7	18.4
(全体との差)		-7.3	+1.9	+2.7	-
中国	1,941	74.1	14.1	19.6	11.8
(全体との差)		+5.2	-0.6	-0.4	-
四国	1,043	68.6	15.4	23.6	12.9
(全体との差)		-0.4	+0.7	+3.6	-
九州・沖縄	2,524	67.1	13.4	19.2	15.5
(全体との差)		-1.8	-1.3	-0.8	-



《H25調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	11,028	62.2	10.2	15.5	23.0
北海道	361	65.1	11.9	12.7	18.8
(全体との差)		+2.9	+1.7	-2.8	-
東北	1,197	69.9	10.8	11.9	16.9
(全体との差)		+7.8	+0.5	-3.7	-
関東	2,880	59.9	11.6	16.0	24.7
(全体との差)		-2.3	+1.3	+0.5	1.7
北陸	841	66.7	6.7	12.1	20.5
(全体との差)		+4.6	-3.6	-3.4	-
中部	1,927	63.1	10.4	20.4	20.0
(全体との差)		+0.9	+0.2	+4.9	-
近畿	1,173	55.2	10.7	16.5	28.5
(全体との差)		-6.9	+0.4	+0.9	5.5
中国	854	67.9	8.3	13.3	19.0
(全体との差)		+5.8	-1.9	-2.2	-0.5
四国	454	55.7	6.8	13.0	35.0
(全体との差)		-6.4	-3.4	-2.5	12.0
九州・沖縄	1,341	59.7	10.4	14.8	25.1
(全体との差)		-2.5	+0.2	-0.7	2.1



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法は「充填断熱」が最も多く 73.7%、「外張断熱」が 11.9%、「充填外張併用断熱」が 7.3%であった。
- 充填断熱が多い点は、前年度調査と同様であった。

《地域別》

- 北海道は「充填断熱」が 46.0%、「充填外張併用断熱」が 47.3%と同程度に多く、「外張断熱」が 14.8%であった。他地域と傾向が異なる。
- 北海道以外の地域においては「充填断熱」がいずれも 60%を超え最多、「外張断熱」は 10.2% (中国他)～16.7% (東北)、「充填外張併用断熱」は東北が 11.2%の他はいずれも 7%以下であった。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	17,702
外張断熱	2,850
充填外張併用断熱	1,761
無回答	3,783
全体	24,009

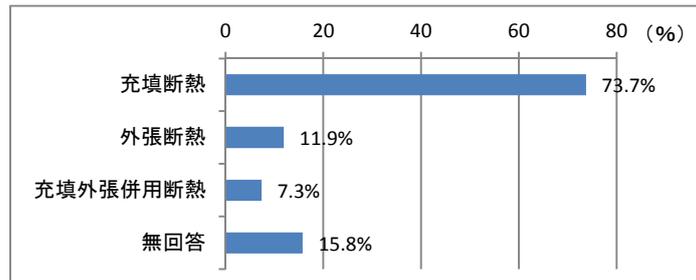
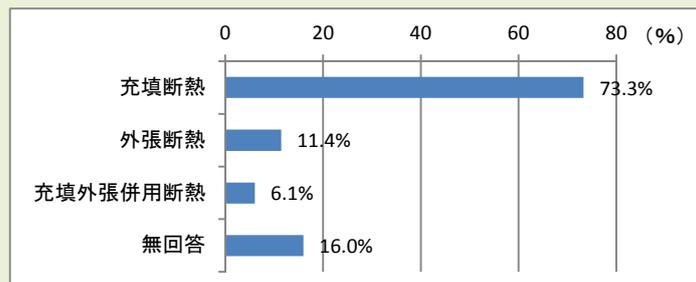


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法

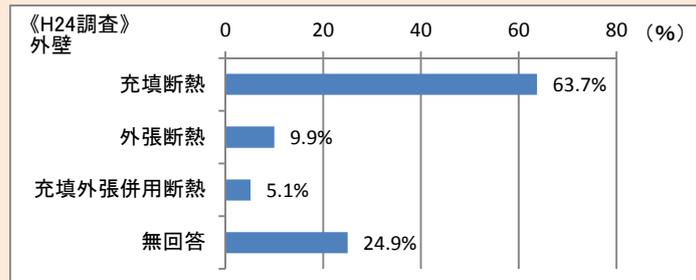
外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	16,874
外張断熱	2,631
充填外張併用断熱	1,393
無回答	3,677
全体	23,019

《H25調査》  
普段たずさわっている  
外壁の断熱工法



《H24調査》 外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	7,029
外張断熱	1,097
充填外張併用断熱	562
無回答	2,751
全体	11,028

《H24調査》  
普段たずさわっている  
外壁の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	24,009	73.7	11.9	7.3	15.8
北海道	840	46.0	14.8	47.3	11.1
(全体との差)		-27.8	+2.9	+39.9	-
東北	3,032	71.6	16.7	11.2	13.8
(全体との差)		-2.1	+4.9	+3.9	-
関東	5,805	74.0	11.1	5.2	17.6
(全体との差)		+0.2	-0.8	-2.1	-
北陸	1,768	80.9	13.1	6.1	9.5
(全体との差)		+7.2	+1.2	-1.2	-
中部	4,022	78.8	10.6	6.1	12.9
(全体との差)		+5.1	-1.2	-1.3	-
近畿	2,679	77.3	11.8	4.4	14.5
(全体との差)		+3.5	-0.1	-3.0	-
中国	2,089	78.9	10.2	4.6	12.9
(全体との差)		+5.2	-1.6	-2.7	-
四国	1,170	64.0	10.4	5.2	27.1
(全体との差)		-9.7	-1.4	-2.1	-
九州・沖縄	2,604	68.4	10.2	3.6	22.5
(全体との差)		-5.3	-1.7	-3.8	-

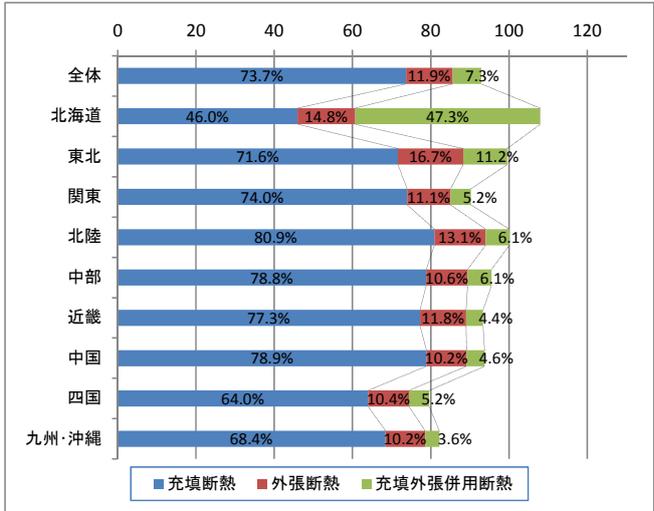
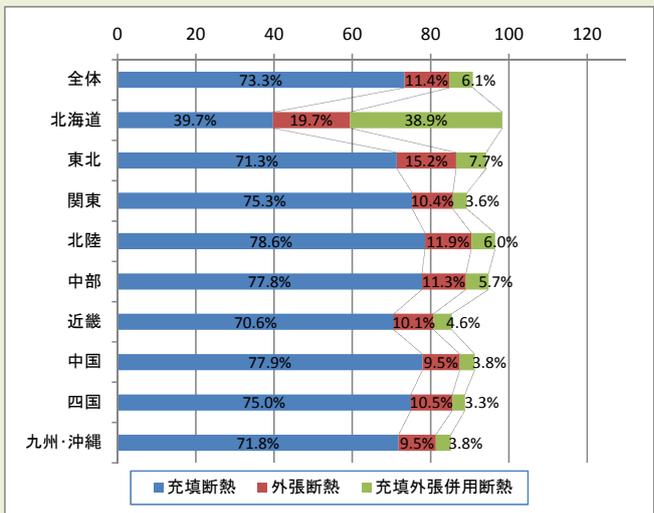


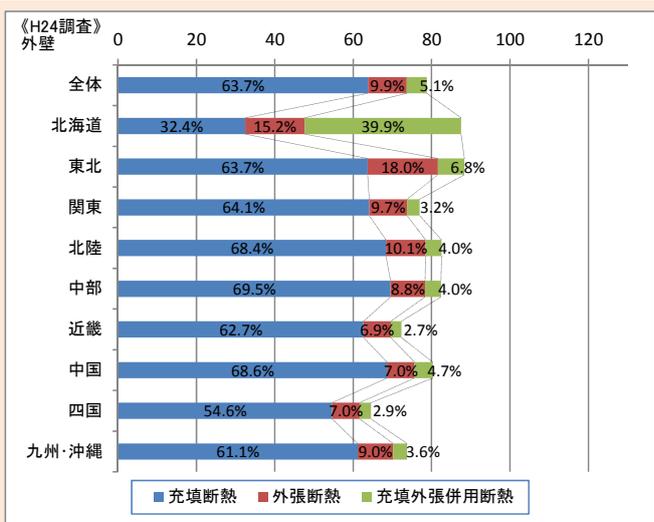
図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	23,019	73.3	11.4	6.1	16.0
北海道	828	39.7	19.7	38.9	18.4
(全体との差)		-33.6	+8.3	+32.8	-
東北	3,259	71.3	15.2	7.7	15.5
(全体との差)		-2.0	+3.8	+1.7	-
関東	6,105	75.3	10.4	3.6	16.5
(全体との差)		+2.0	-1.0	-2.4	-
北陸	1,409	78.6	11.9	6.0	10.9
(全体との差)		+5.3	+0.4	-0.0	-
中部	3,284	77.8	11.3	5.7	12.4
(全体との差)		+4.5	-0.1	-0.3	-
近畿	2,626	70.6	10.1	4.6	19.9
(全体との差)		-2.7	-1.3	-1.4	-
中国	1,941	77.9	9.5	3.8	14.4
(全体との差)		+4.6	-2.0	-2.2	-
四国	1,043	75.0	10.5	3.3	15.8
(全体との差)		+1.7	-0.9	-2.8	-
九州・沖縄	2,524	71.8	9.5	3.8	19.2
(全体との差)		-1.5	-1.9	-2.2	-



《H25調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	11,028	63.7	9.9	5.1	24.9
北海道	361	32.4	15.2	39.9	17.5
(全体との差)		-31.3	+5.3	+34.8	-
東北	1,197	63.7	18.0	6.8	18.4
(全体との差)		-0.1	+8.0	+1.7	-
関東	2,880	64.1	9.7	3.2	26.7
(全体との差)		+0.4	-0.3	-1.9	-
北陸	841	68.4	10.1	4.0	21.9
(全体との差)		+4.6	+0.2	-1.1	-
中部	1,927	69.5	8.8	4.0	21.6
(全体との差)		+5.8	-1.1	-1.0	-
近畿	1,173	62.7	6.9	2.7	30.1
(全体との差)		-1.1	-3.0	-2.4	-
中国	854	68.6	7.0	4.7	22.7
(全体との差)		+4.9	-2.9	-0.4	-
四国	454	54.6	7.0	2.9	37.4
(全体との差)		-9.1	-2.9	-2.2	-
九州・沖縄	1,341	61.1	9.0	3.6	28.6
(全体との差)		-2.6	-0.9	-1.5	-



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法は「根太間充填断熱」が最も多く40.6%、「大引間充填断熱」が34.8%、「根太+大引間充填断熱」が7.7%、「基礎断熱」が21.0%であった。
- 根太間充填断熱が多い点は、前年度調査と同様であった。
- 大引間充填断熱は前年度から5.8ポイントの増となり、根太間充填断熱との差が小さくなっている。

《地域別》

- 北海道は「基礎断熱」が最も多く57.9%であった。他地域とは床暖熱と基礎断熱の割合が逆転し、異なる傾向であった。
- 東北は「根太間充填断熱」が33.7%、「大引間充填断熱」が37.6%、「基礎断熱」が29.4%で概ね三分され、他地域と異なる傾向であった。
- 上記2地域以外では、「根太間充填断熱」が近畿34.3%～北陸47.9%、「大引間充填断熱」が九州・沖縄22.4%～近畿44.8%、「基礎断熱」は九州・沖縄15.2%～関東20.2%であった。中部を除き、前年度調査より基礎断熱の割合が高くなっている。

床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	9,743
床断熱 (大引間充填)	8,366
床断熱(根太 +大引間充填)	1,850
基礎断熱	5,039
無回答	3,800
全体	24,009

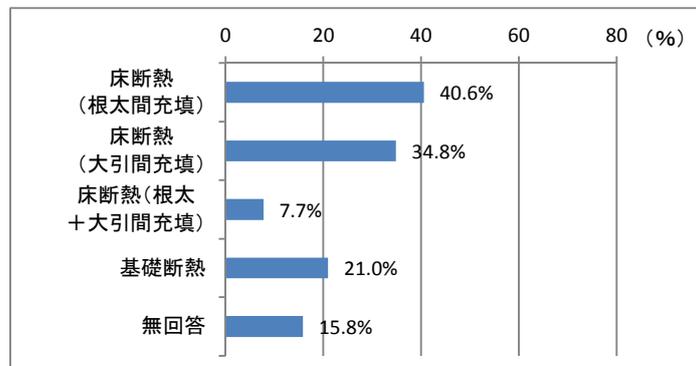
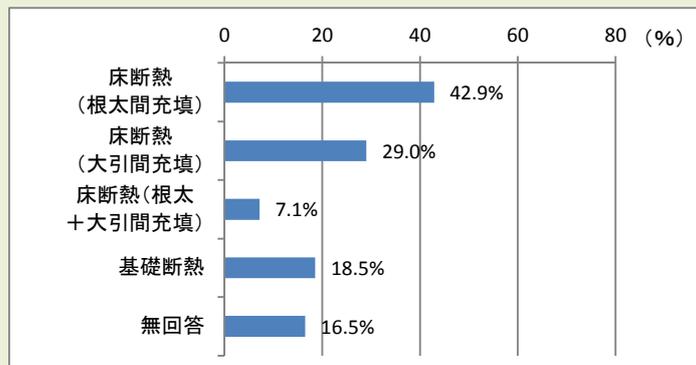


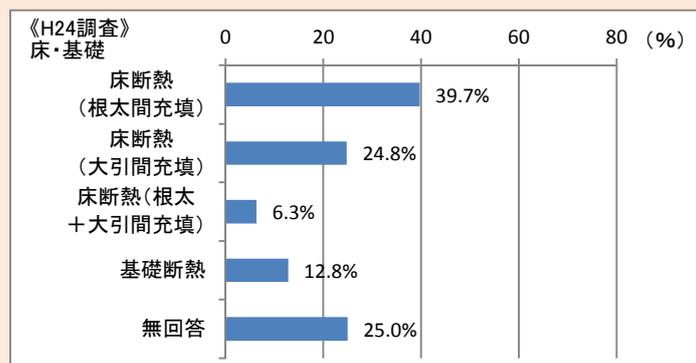
図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	9,864
床断熱 (大引間充填)	6,680
床断熱(根太 +大引間充填)	1,637
基礎断熱	4,263
無回答	3,788
全体	23,019



《H25調査》  
普段たずさわっている  
床・基礎の断熱工法

《H24調査》 床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	4,381
床断熱 (大引間充填)	2,735
床断熱(根太 +大引間充填)	696
基礎断熱	1,411
無回答	2,752
全体	11,028



《H24調査》  
普段たずさわっている  
床・基礎の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	24,009	40.6	34.8	7.7	21.0	15.8
北海道 (全体との差)	840	17.3 -23.3	18.0 -16.9	13.8 +6.1	57.9 +36.9	12.9
東北 (全体との差)	3,032	33.7 -6.9	37.6 +2.8	9.0 +1.3	29.4 +8.4	14.3
関東 (全体との差)	5,805	41.8 +1.3	33.4 -1.4	8.3 +0.6	20.2 -0.8	17.3
北陸 (全体との差)	1,768	47.9 +7.3	35.5 +0.6	5.9 -1.8	18.3 -2.7	10.3
中部 (全体との差)	4,022	41.9 +1.3	40.0 +5.2	7.7 -0.0	18.6 -2.4	12.4
近畿 (全体との差)	2,679	34.3 -6.3	44.8 +9.9	7.0 -0.7	17.8 -3.2	15.4
中国 (全体との差)	2,089	46.8 +6.2	37.2 +2.3	7.9 +0.2	17.6 -3.4	11.7
四国 (全体との差)	1,170	43.9 +3.4	29.0 -5.9	5.6 -2.1	15.6 -5.4	25.7
九州・沖縄 (全体との差)	2,604	46.4 +5.8	22.4 -12.5	5.6 -2.1	15.2 -5.8	23.6

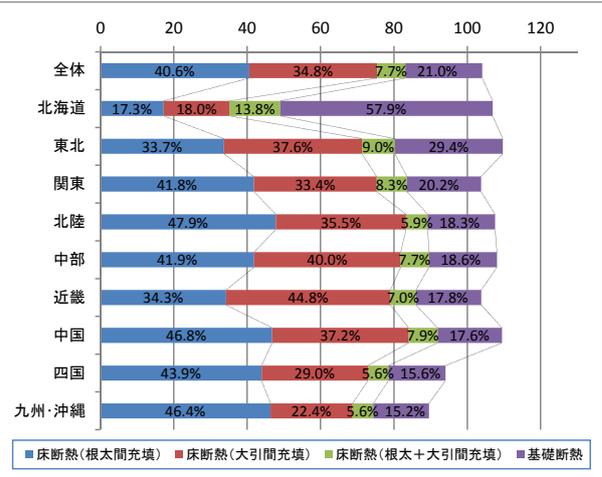
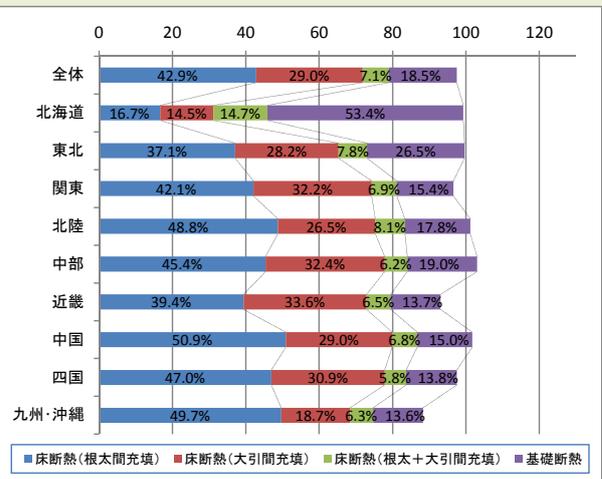


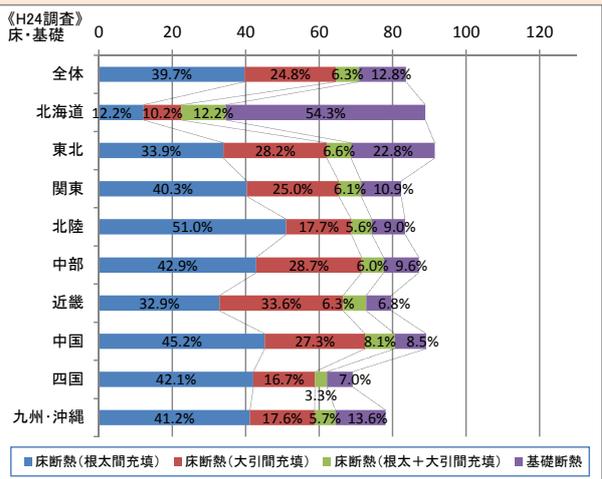
図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	23,019	42.9	29.0	7.1	18.5	16.5
北海道 (全体との差)	828	16.7 -26.2	14.5 -14.5	14.7 +7.6	53.4 +34.9	19.2
東北 (全体との差)	3,259	37.1 -5.7	28.2 -0.9	7.8 +0.7	26.5 +8.0	16.3
関東 (全体との差)	6,105	42.1 -0.7	32.2 +3.2	6.9 -0.2	15.4 -3.1	16.8
北陸 (全体との差)	1,409	48.8 +5.9	26.5 -2.5	8.1 +1.0	17.8 -0.7	11.3
中部 (全体との差)	3,284	45.4 +2.6	32.4 +3.4	6.2 -0.9	19.0 +0.5	12.6
近畿 (全体との差)	2,626	39.4 -3.5	33.6 +4.6	6.5 -0.6	13.7 -4.8	20.7
中国 (全体との差)	1,941	50.9 +8.1	29.0 -0.0	6.8 -0.3	15.0 -3.5	14.2
四国 (全体との差)	1,043	47.0 +4.1	30.9 +1.9	5.8 -1.3	13.8 -4.7	14.4
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	49.7 +6.8	18.7 -10.3	6.3 -0.8	13.6 -4.9	21.0



《H25調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	11,028	39.7	24.8	6.3	12.8	25.0
北海道 (全体との差)	361	12.2 -27.5	10.2 -14.6	12.2 +5.9	54.3 +41.5	18.3
東北 (全体との差)	1,197	33.9 -5.8	28.2 +3.4	6.6 +0.3	22.8 +10.0	19.2
関東 (全体との差)	2,880	40.3 +0.6	25.0 +0.2	6.1 -0.2	10.9 -1.9	25.9
北陸 (全体との差)	841	51.0 +11.3	17.7 -7.1	5.6 -0.7	9.0 -3.8	22.0
中部 (全体との差)	1,927	42.9 +3.1	28.7 +3.9	6.0 -0.3	9.6 -3.2	22.0
近畿 (全体との差)	1,173	32.9 -6.8	33.6 +8.8	6.3 -0.0	6.8 -6.0	30.0
中国 (全体との差)	854	45.2 +5.5	27.3 +2.5	8.1 +1.8	8.5 -4.2	21.0
四国 (全体との差)	454	42.1 +2.3	16.7 -8.1	3.3 -3.0	7.0 -5.7	36.8
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	41.2 +1.4	17.6 -7.2	5.7 -0.6	13.6 +0.9	30.1



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.3%、「屋根野地上断熱」が 15.9%、「垂木間充填断熱」が 28.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 66.6%、「屋根野地上断熱」も 53.5%、「垂木間充填断熱」は 32.9%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 79.1%、「屋根野地上断熱」が 32.9%、「垂木間充填断熱」が 40.4%であった。
- 外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
全体	24,009	69.3	16.3	24.3	13.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	17,702	82.3	15.9	28.6	1.1
	外張断熱	2,850	66.6	53.5	32.9	2.6
	充填外張 併用断熱	1,761	79.1	32.9	40.4	2.2

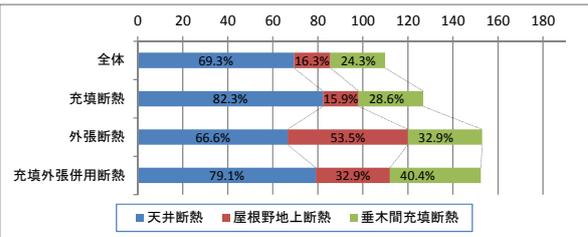


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 91.5%、「屋根野地上断熱」が 18.1%、「垂木間充填断熱」が 19.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.6%、「屋根野地上断熱」が 41.9%、「垂木間充填断熱」が 16.9%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 89.4%、「屋根野地上断熱」が 22.2%、「垂木間充填断熱」が 21.2%であった。
- 北海道は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
北海道全体	840	78.2	18.3	16.0	11.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	386	91.5	18.1	19.9	1.3
	外張断熱	124	76.6	41.9	16.9	1.6
	充填外張 併用断熱	397	89.4	22.2	21.2	1.3

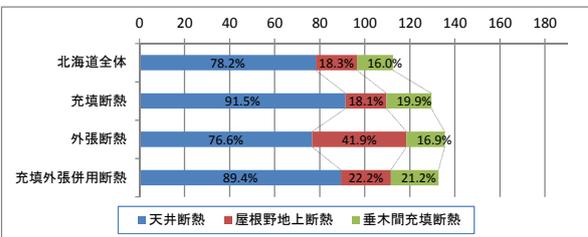


図 5-1-4b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 88.6%、「屋根野地上断熱」が 12.7%、「垂木間充填断熱」が 22.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.8%、「屋根野地上断熱」が 48.3%、「垂木間充填断熱」が 29.4%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 78.3%、「屋根野地上断熱」が 27.9%、「垂木間充填断熱」が 41.1%であった。
- 東北は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
東北全体	3,032	73.9	14.4	20.3	12.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,171	88.6	12.7	22.7	1.3
	外張断熱	507	70.8	48.3	29.4	2.8
	充填外張 併用断熱	341	78.3	27.9	41.1	3.2

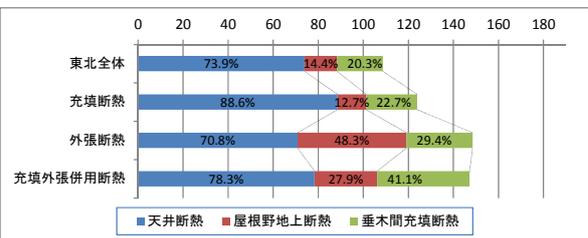


図 5-1-4c 同 東北地域

**〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ**

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 81.8%、「屋根野地上断熱」が 17.0%、「垂木間充填断熱」が 30.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 60.7%、「屋根野地上断熱」が 64.9%で同程度の割合であった。「垂木間充填断熱」が 35.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 71.1%、「屋根野地上断熱」が 48.8%、「垂木間充填断熱」が 57.2%であった。
- 関東は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
関東全体	5,805	66.8	17.7	25.9	15.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	4,294	81.8	17.0	30.7	1.0
	外張断熱	644	60.7	64.9	35.7	2.6
	充填外張 併用断熱	304	71.1	43.8	57.2	1.0

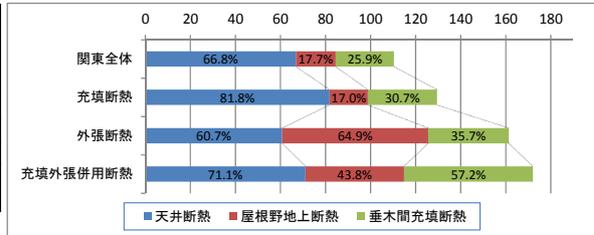


図 5-1-4d 同 関東地域

**〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ**

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.1%、「屋根野地上断熱」が 11.5%、「垂木間充填断熱」が 25.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 69.3%、「屋根野地上断熱」が 41.1%、「垂木間充填断熱」が 30.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.9%、「屋根野地上断熱」が 28.7%、「垂木間充填断熱」が 38.9%であった。
- 北陸は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
北陸全体	1,768	73.9	12.7	23.5	8.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,431	82.1	11.5	25.7	1.5
	外張断熱	231	69.3	41.1	30.7	2.6
	充填外張 併用断熱	108	76.9	28.7	38.9	1.9

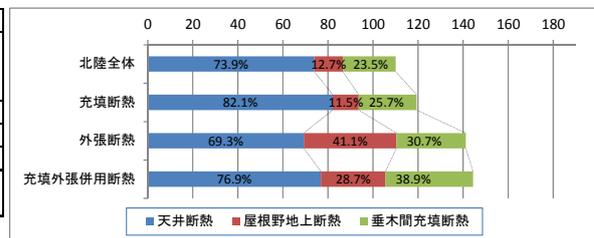


図 5-1-4e 同 北陸地域

**〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ**

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 79.9%、「屋根野地上断熱」が 16.0%、「垂木間充填断熱」が 32.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 66.6%、「屋根野地上断熱」も 50.9%、「垂木間充填断熱」が 38.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 78.7%、「屋根野地上断熱」が 34.8%、「垂木間充填断熱」が 50.4%であった。
- 中部は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
中部全体	4,022	69.6	15.8	28.8	11.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	3,170	79.9	16.0	32.7	0.8
	外張断熱	428	66.6	50.9	38.3	2.1
	充填外張 併用断熱	244	78.7	34.8	50.4	1.6

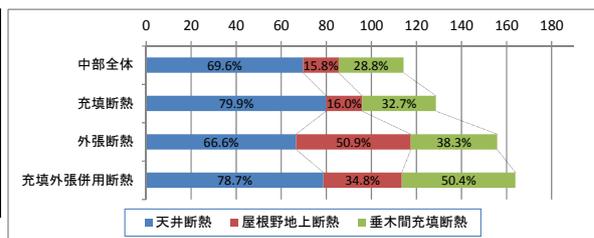


図 5-1-4f 同 中部地域

### [近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.2%、「屋根野地上断熱」が 21.1%、「垂木間充填断熱」が 32.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が最も多く 63.5%、「天井断熱」が 61.6%、「垂木間充填断熱」が 34.9%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 75.2%であった。「屋根野地上断熱」が 47.0%、「垂木間充填断熱」が 42.7%と同程度の割合であった。
- 近畿は、外壁充填断熱と外壁充填外張併用断熱とは天井断熱、外壁外張断熱とは屋根野地上断熱との組合せが最も多くなっている。

断熱工法 外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井断熱	屋根野地上断熱	垂木間充填断熱	無回答	
H26						
近畿全体		2,679	64.7	20.8	27.8	13.1
充填断熱	2,070	76.2	21.1	32.8	1.0	
外張断熱	315	61.6	63.5	34.9	3.5	
充填外張併用断熱	117	75.2	47.0	42.7	1.7	

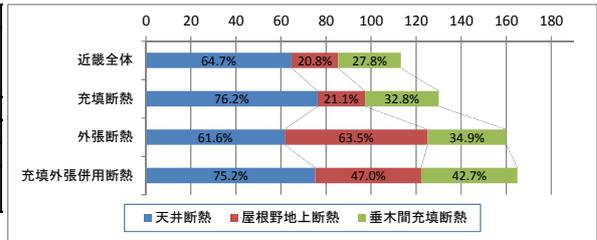


図 5-1-4g 同 近畿地域

### [中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.8%、「屋根野地上断熱」が 15.0%、「垂木間充填断熱」が 26.0%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.8%、「屋根野地上断熱」が 48.6%、「垂木間充填断熱」が 35.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 79.2%であった。「屋根野地上断熱」が 39.6%、「垂木間充填断熱」が 41.7%と同程度の割合であった。
- 中国は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

断熱工法 外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井断熱	屋根野地上断熱	垂木間充填断熱	無回答	
H26						
中国全体		2,089	75.4	15.1	23.1	9.9
充填断熱	1,649	84.8	15.0	26.0	0.9	
外張断熱	214	73.8	48.6	35.5	1.9	
充填外張併用断熱	96	79.2	39.6	41.7	4.2	

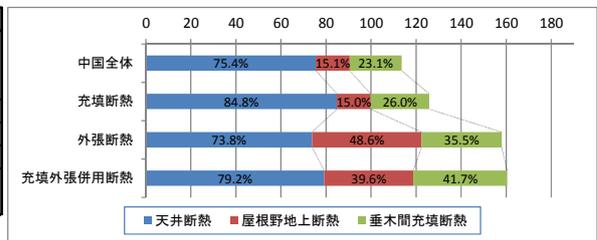


図 5-1-4h 同 中国地域

### [四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 85.4%、「屋根野地上断熱」が 15.6%、「垂木間充填断熱」が 25.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.5%、「屋根野地上断熱」が 49.2%、「垂木間充填断熱」も 40.2%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が 83.6%、「垂木間充填断熱」が 34.4%、「屋根野地上断熱」が 42.6%であった。
- 四国は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

断熱工法 外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井断熱	屋根野地上断熱	垂木間充填断熱	無回答	
H26						
四国全体		1,170	63.9	13.4	19.7	24.2
充填断熱	749	85.4	15.6	25.6	1.9	
外張断熱	122	70.5	49.2	40.2	0.8	
充填外張併用断熱	61	83.6	34.4	42.6	1.6	

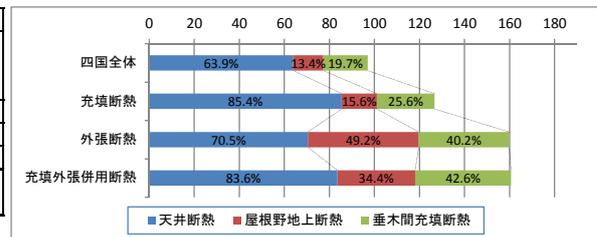


図 5-1-4i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 81.6%、「屋根野地上断熱」が 14.6%、「垂木間充填断熱」が 26.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 63.8%、「屋根野地上断熱」が 49.8%、「垂木間充填断熱」が 25.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 69.9%であった。「屋根野地上断熱」が 35.5%、「垂木間充填断熱」が 34.4%と同程度の割合であった。
- 九州・沖縄は、外壁のいずれの工法との組合せについても天井断熱が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H26						
九州・沖縄全体	2,604	65.3	15.7	21.1	17.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,782	81.6	14.6	26.8	1.3
	外張断熱	265	63.8	49.8	25.7	3.4
	充填外張 併用断熱	93	69.9	35.5	34.4	7.5

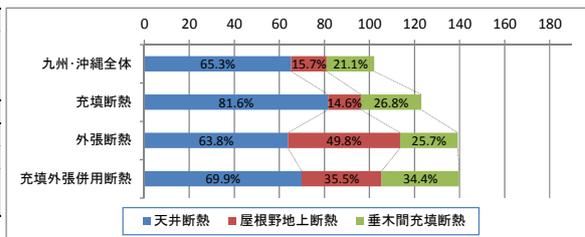


図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「根太間充填断熱」が49.0%、「大引間充填断熱」が43.2%、「根太+大引間充填断熱」が8.6%、「基礎断熱」が20.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く56.0%、「根太間充填断熱」が42.9%、「大引間充填断熱」が36.7%、「根太+大引間充填断熱」が12.9%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く56.2%、「根太間充填断熱」が35.6%、「大引間充填断熱」が39.4%、「根太+大引間充填断熱」が18.1%であった。
- 外壁の外張工法と併用工法について、床の工法との組合せは似通った傾向で、「基礎断熱」との組合せが多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
全体	24,009	40.6	34.8	7.7	21.0	15.8	
断熱 工法	充填断熱	17,702	49.0	43.2	8.6	20.9	2.7
	外張断熱	2,850	42.9	36.7	12.9	56.0	3.7
外壁	充填外張 併用断熱	1,761	35.6	39.4	18.1	56.2	2.8

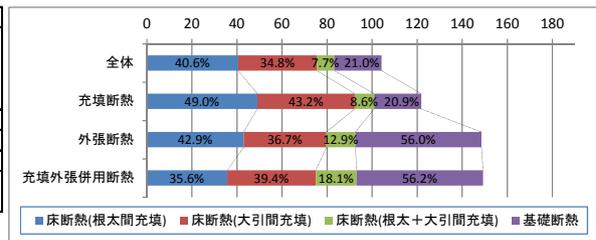


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が51.8%、「根太間充填断熱」が29.0%、「大引間充填断熱」が25.6%、「根太+大引間充填断熱」が19.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が86.3%、「根太間充填断熱」が16.1%、「大引間充填断熱」が17.7%、「根太+大引間充填断熱」が21.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が73.8%、「根太間充填断熱」が15.4%、「大引間充填断熱」が20.2%、「根太+大引間充填断熱」が18.1%であった。
- 北海道は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても基礎断熱が最多であった。特に外張、併用の場合は基礎断熱の割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北海道全体	840	17.3	18.0	13.8	57.9	12.9	
断熱 工法	充填断熱	386	29.0	25.6	19.7	51.8	3.6
	外張断熱	124	16.1	17.7	21.0	86.3	3.2
外壁	充填外張 併用断熱	397	15.4	20.2	18.1	73.8	2.0

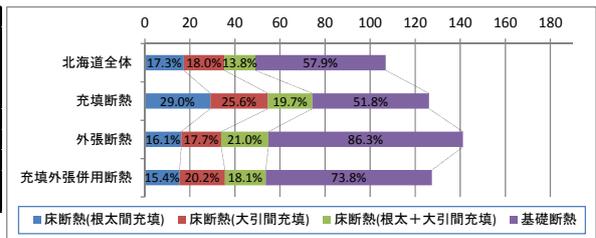


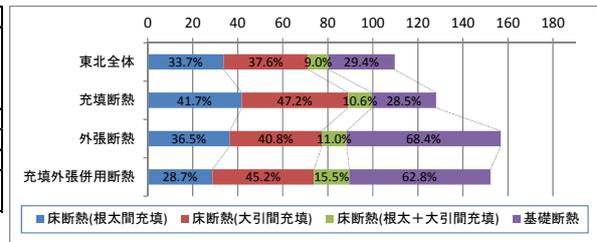
図 5-1-5b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が28.5%、「根太間充填断熱」が41.7%、「大引間充填断熱」が47.2%、「根太+大引間充填断熱」が10.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が68.4%、「根太間充填断熱」が36.5%、「大引間充填断熱」が40.8%、「根太+大引間充填断熱」が11.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が62.8%、「根太間充填断熱」が28.7%、「大引間充填断熱」が45.2%、「根太+大引間充填断熱」が15.5%であった。
- 東北は、外壁充填断熱は根太間、大引間の床断熱との組合せの割合が高くなる。外壁外張りとは併用断熱は基礎断熱との組合せの割合が最も高いが、大引間床断熱も共に40%を超える。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
東北全体	3,032	33.7	37.6	9.0	29.4	14.3
断熱 工法						
充填断熱	2,171	41.7	47.2	10.6	28.5	2.3
外張断熱	507	36.5	40.8	11.0	68.4	3.6
外壁						
充填外張 併用断熱	341	28.7	45.2	15.5	62.8	3.8

図 5-1-5c 同 東北地域

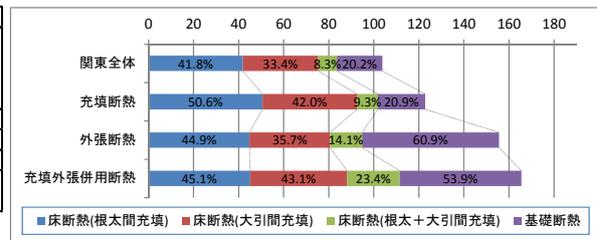


〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 20.9%、「根太間充填断熱」が 50.6%、「大引間充填断熱」が 42.0%、「根太+大引間充填断熱」が 9.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 60.9%、「根太間充填断熱」が 44.9%、「大引間充填断熱」が 35.7%、「根太+大引間充填断熱」が 14.1%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 53.9%、「根太間充填断熱」が 45.1%、「大引間充填断熱」が 43.1%、「根太+大引間充填断熱」が 23.4%であった。
- 関東は外壁充填断熱は根太間、大引間の床断熱との組合せが高くなる。外壁外張りとは併用断熱は基礎断熱との組合せの割合が最も高いが、根太間床断熱も共に 40%を超える。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
関東全体	5,805	41.8	33.4	8.3	20.2	17.3
断熱 工法						
充填断熱	4,294	50.6	42.0	9.3	20.9	2.6
外張断熱	644	44.9	35.7	14.1	60.9	4.2
外壁						
充填外張 併用断熱	304	45.1	43.1	23.4	53.9	3.0

図 5-1-5d 同 関東地域

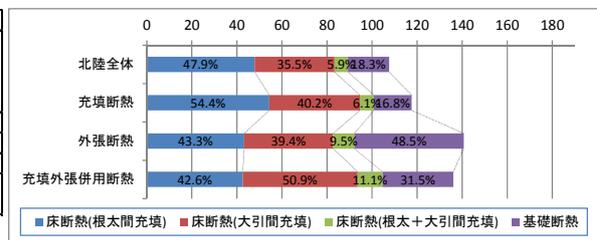


〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 16.8%、「根太間充填断熱」が 54.4%、「大引間充填断熱」が 40.2%、「根太+大引間充填断熱」が 6.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 48.5%、「根太間充填断熱」が 43.3%、「大引間充填断熱」が 39.4%、「根太+大引間充填断熱」が 9.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 31.5%、「根太間充填断熱」が 42.6%、「大引間充填断熱」が 50.9%、「根太+大引間充填断熱」が 11.1%であった。
- 北陸は、外壁充填断熱と根太間充填断熱、外壁外張断熱と基礎断熱、外壁併用断熱と大引間充填断熱との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H26						
北陸全体	1,768	47.9	35.5	5.9	18.3	10.3
断熱 工法						
充填断熱	1,431	54.4	40.2	6.1	16.8	3.1
外張断熱	231	43.3	39.4	9.5	48.5	3.5
外壁						
充填外張 併用断熱	108	42.6	50.9	11.1	31.5	4.6

図 5-1-5e 同 北陸地域



### [中部地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 18.7%、「根太間充填断熱」が 48.5%、「大引間充填断熱」が 46.8%、「根太+大引間充填断熱」が 8.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 52.1%、「根太間充填断熱」が 46.7%、「大引間充填断熱」が 40.4%、「根太+大引間充填断熱」が 12.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 47.5%、「根太間充填断熱」が 42.2%、「大引間充填断熱」が 48.8%、「根太+大引間充填断熱」が 20.1%であった。
- 中部は、外壁充填断熱と根太間または大引間充填断熱、外壁外張断熱と基礎断熱または根太間充填断熱、外壁併用断熱と基礎断熱または大引間充填断熱との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中部全体	4,022	41.9	40.0	7.7	18.6	12.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	3,170	48.5	46.8	8.5	18.7	1.8
	外張断熱	428	46.7	40.4	12.6	52.1	1.9
	充填外張 併用断熱	244	42.2	48.8	20.1	47.5	2.5

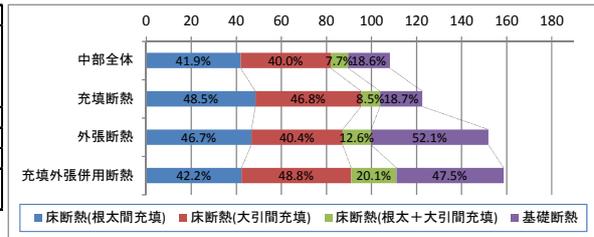


図 5-1-5f 同 中部地域

### [近畿地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 18.6%、「根太間充填断熱」が 39.5%、「大引間充填断熱」が 54.2%、「根太+大引間充填断熱」が 7.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 54.6%、「根太間充填断熱」が 39.4%、「大引間充填断熱」が 37.5%、「根太+大引間充填断熱」が 13.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 44.4%、「根太間充填断熱」が 41.0%、「大引間充填断熱」が 49.6%、「根太+大引間充填断熱」が 19.7%であった。
- 近畿は外壁充填と大引間充填、外壁外張と基礎断熱、外壁併用は大引間充填断熱との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
近畿全体	2,679	34.3	44.8	7.0	17.8	15.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,070	39.5	54.2	7.5	18.6	3.0
	外張断熱	315	39.4	37.5	13.0	54.6	3.5
	充填外張 併用断熱	117	41.0	49.6	19.7	44.4	3.4

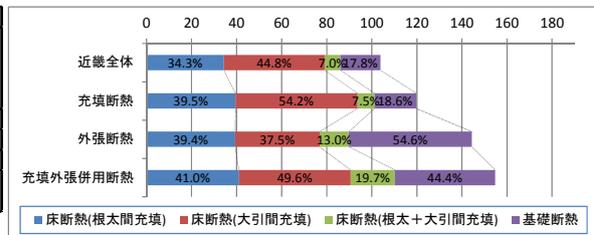


図 5-1-5g 同 近畿地域

### [中国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.9%、「根太間充填断熱」が 51.5%、「大引間充填断熱」が 44.1%、「根太+大引間充填断熱」が 8.2%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 43.0%、「根太間充填断熱」が 51.9%、「大引間充填断熱」が 39.3%、「根太+大引間充填断熱」が 15.4%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 52.1%、「根太間充填断熱」が 55.2%、「大引間充填断熱」が 39.6%、「根太+大引間充填断熱」が 17.7%であった。
- 中国は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多であったが、外壁併用断熱では基礎断熱が同程度の割合となっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H26							
中国全体	2,089	46.8	37.2	7.9	17.6	11.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,649	51.5	44.1	8.2	17.9	2.4
	外張断熱	214	51.9	39.3	15.4	43.0	2.8
	充填外張 併用断熱	96	55.2	39.6	17.7	52.1	1.0

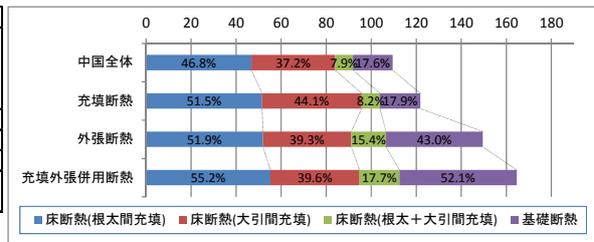


図 5-1-5h 同 中国地域

#### [四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 21.0%、「根太間充填断熱」が 58.3%、「大引間充填断熱」が 39.8%、「根太+大引間充填断熱」が 6.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 34.4%、「根太間充填断熱」が 58.2%、「大引間充填断熱」が 41.8%、「根太+大引間充填断熱」が 9.8%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 41.0%、「根太間充填断熱」が 55.7%、「大引間充填断熱」が 49.2%、「根太+大引間充填断熱」が 11.5%であった。
- 四国は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H26							
四国全体	1,170	43.9	29.0	5.6	15.6	25.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	749	58.3	39.8	6.9	21.0	2.4
	外張断熱	122	58.2	41.8	9.8	34.4	2.5
	充填外張 併用断熱	61	55.7	49.2	11.5	41.0	1.6

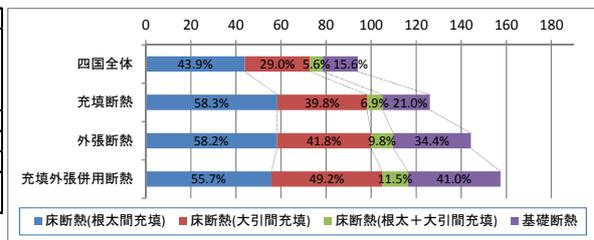


図 5-1-5i 同 四国地域

#### [九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.8%、「根太間充填断熱」が 60.1%、「大引間充填断熱」が 29.0%、「根太+大引間充填断熱」が 6.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 40.8%、「根太間充填断熱」が 46.8%、「大引間充填断熱」が 26.4%、「根太+大引間充填断熱」が 12.1%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 44.1%、「根太間充填断熱」が 50.5%、「大引間充填断熱」が 31.2%、「根太+大引間充填断熱」が 15.1%であった。
- 九州・沖縄は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H26							
九州・沖縄全体	2,604	46.4	22.4	5.6	15.2	23.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,782	60.1	29.0	6.6	17.8	4.4
	外張断熱	265	46.8	26.4	12.1	40.8	7.9
	充填外張 併用断熱	93	50.5	31.2	15.1	44.1	3.2

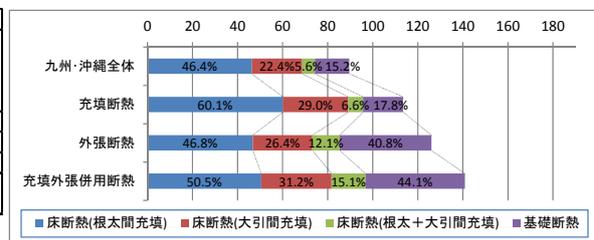


図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.2%、「発泡プラスチック系断熱材」が 27.5%、「その他」が 16.3%であった。
- グラスウール・ロックウールが多い点は、前年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が北陸 69.1%～中国 82.5%で最多、「発泡プラスチック系断熱材」は北海道 22.5%～四国 29.4%となっている。
- いずれの地域も前年度調査と同様の傾向となっている。

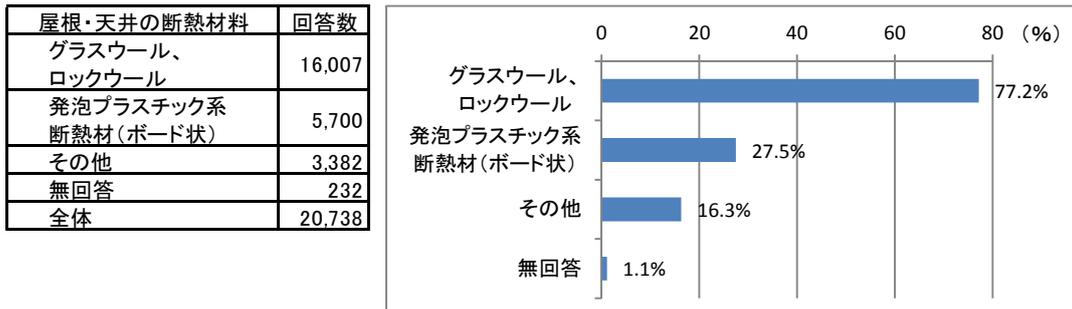
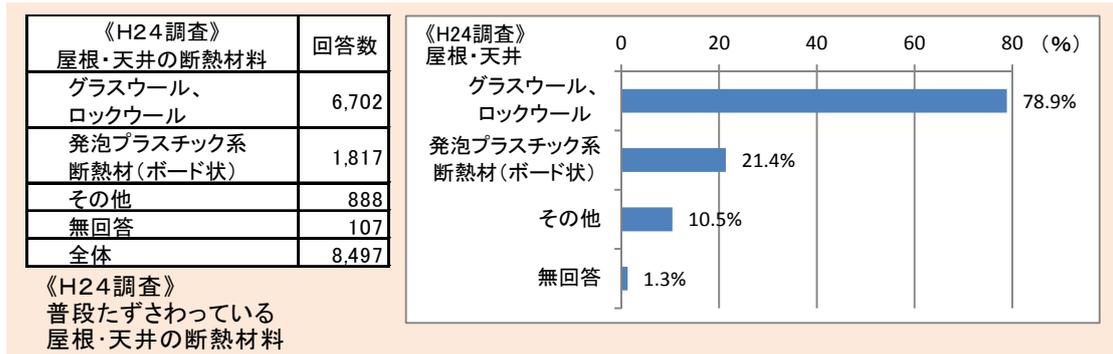
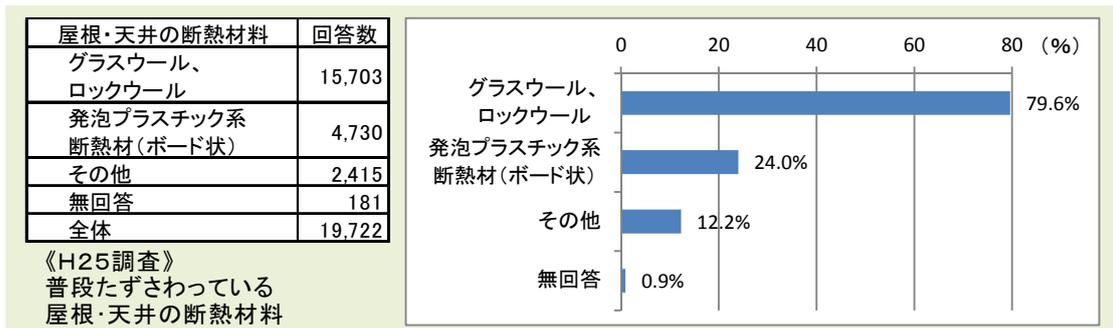


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,738	77.2	27.5	16.3	1.1
北海道	746	79.5	22.5	14.5	1.7
(全体との差)		+2.3	-5.0	-1.8	-
東北	2,642	78.3	26.9	13.9	1.1
(全体との差)		+1.1	-0.6	-2.5	-
関東	4,906	79.4	28.6	15.1	0.9
(全体との差)		+2.2	+1.1	-1.2	-
北陸	1,618	69.1	29.0	21.4	0.7
(全体との差)		-8.1	+1.6	+5.1	-
中部	3,572	75.3	27.0	20.0	1.2
(全体との差)		-1.9	-0.4	+3.7	-
近畿	2,327	75.5	28.9	18.0	1.1
(全体との差)		-1.7	+1.4	+1.7	-
中国	1,882	82.5	26.1	11.9	1.2
(全体との差)		+5.3	-1.3	-4.4	-
四国	887	79.4	29.4	13.5	1.0
(全体との差)		+2.2	+1.9	-2.8	-
九州・沖縄	2,158	75.5	25.8	15.8	1.4
(全体との差)		-1.7	-1.7	-0.5	-

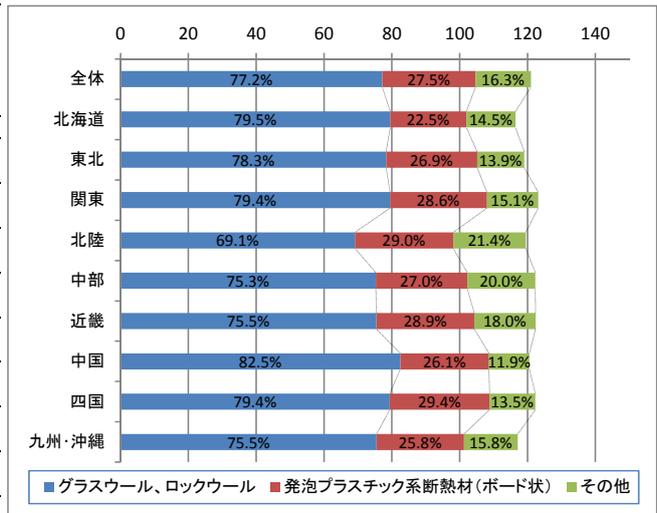
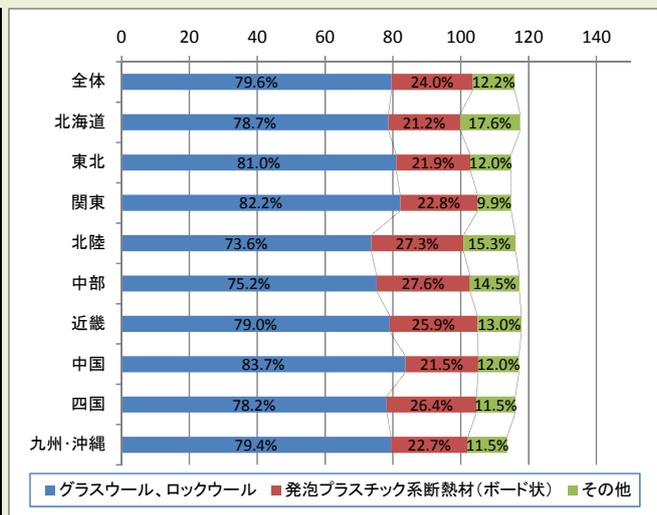


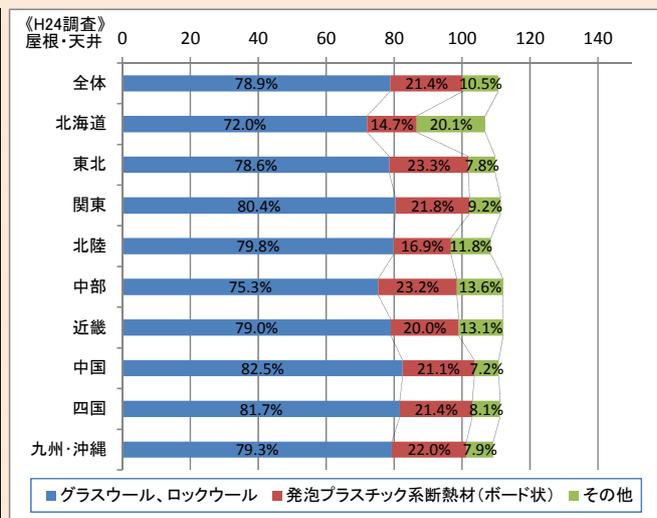
図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9
北海道	680	78.7	21.2	17.6	0.7
(全体との差)		-0.9	-2.8	+5.4	-
東北	2,781	81.0	21.9	12.0	0.8
(全体との差)		+1.4	-2.1	-0.2	-
関東	5,195	82.2	22.8	9.9	0.8
(全体との差)		+2.6	-1.2	-2.4	-
北陸	1,262	73.6	27.3	15.3	1.0
(全体との差)		-6.0	+3.3	+3.0	-
中部	2,908	75.2	27.6	14.5	1.1
(全体との差)		-4.4	+3.6	+2.3	-
近畿	2,143	79.0	25.9	13.0	1.0
(全体との差)		-0.6	+1.9	+0.7	-
中国	1,712	83.7	21.5	12.0	1.1
(全体との差)		+4.1	-2.5	-0.3	-
四国	908	78.2	26.4	11.5	1.2
(全体との差)		-1.4	+2.4	-0.8	-
九州・沖縄	2,133	79.4	22.7	11.5	0.8
(全体との差)		-0.2	-1.2	-0.8	-



《H25調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,497	78.9	21.4	10.5	1.3
北海道	293	72.0	14.7	20.1	2.4
(全体との差)		-6.9	-6.7	+9.7	-
東北	995	78.6	23.3	7.8	0.9
(全体との差)		-0.3	+1.9	-2.6	-
関東	2,169	80.4	21.8	9.2	1.6
(全体との差)		+1.5	+0.4	-1.3	-
北陸	669	79.8	16.9	11.8	0.9
(全体との差)		+0.9	-4.5	+1.4	-
中部	1,541	75.3	23.2	13.6	1.2
(全体との差)		-3.6	+1.8	+3.2	-
近畿	839	79.0	20.0	13.1	0.6
(全体との差)		+0.1	-1.4	+2.7	-
中国	692	82.5	21.1	7.2	1.3
(全体との差)		+3.6	-0.3	-3.2	-
四国	295	81.7	21.4	8.1	0.7
(全体との差)		+2.8	-0.0	-2.3	-
九州・沖縄	1,004	79.3	22.0	7.9	1.7
(全体との差)		+0.4	+0.6	-2.6	-



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	739	3.6%
吹込グラスウール,ロックウール	18	0.1%
吹込その他	56	0.3%
現場発泡ウレタン(a)	952	4.6%
発泡プラスチック系(ホート状)(b)	99	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	361	1.7%
ポリエステル	52	0.3%
木質系	34	0.2%
羊毛	124	0.6%
コルク	2	0.0%
未分類	465	2.2%
2種類以上の記載のあるもの	104	0.5%
その他記入有り合計	3,006	14.5%
その他全体	3,382	16.3%
全体	20,738	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.0%、「発泡プラスチック系断熱材」が 26.6%、「その他」が 16.7%であった。
- グラスウール・ロックウールが多い点は、前年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が北陸 66.7%～中国 83.1%で最多であった。
- 「発泡プラスチック系断熱材」では北海道が 52.3%で他地域と比較して割合が高いのは前年度調査と同様であった。

外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	15,566
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	5,378
その他	3,375
無回答	192
全体	20,226

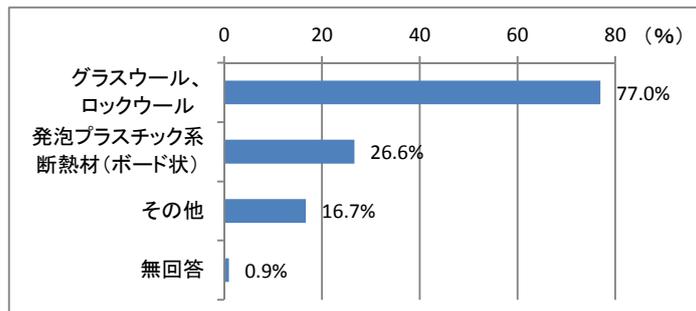
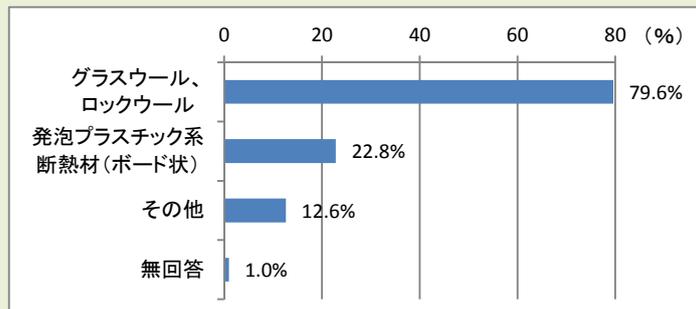


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料

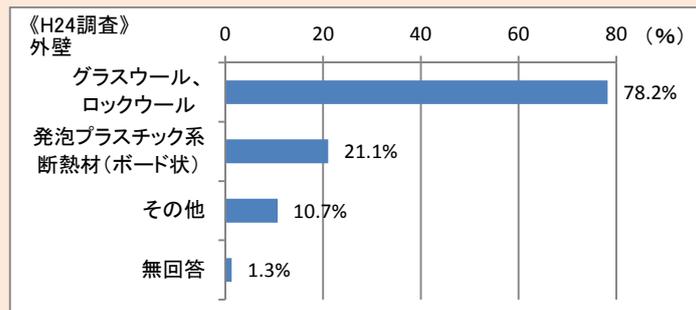
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	15,391
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,416
その他	2,432
無回答	185
全体	19,342

《H25調査》  
普段たずさわっている  
外壁の断熱材料



《H24調査》 外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	6,475
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	1,743
その他	883
無回答	107
全体	8,277

《H24調査》  
普段たずさわっている  
外壁の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,226	77.0	26.6	16.7	0.9
北海道 (全体との差)	747	78.4 +1.5	52.3 +25.8	7.5 -9.2	1.2 -
東北 (全体との差)	2,613	74.8 -2.1	32.0 +5.4	12.6 -4.1	1.1 -
関東 (全体との差)	4,783	80.1 +3.1	24.2 -2.4	15.7 -1.0	1.1 -
北陸 (全体との差)	1,600	66.7 -10.3	31.9 +5.3	20.6 +3.9	1.1 -
中部 (全体との差)	3,504	74.2 -2.8	26.4 -0.2	21.4 +4.7	0.8 -
近畿 (全体との差)	2,290	75.8 -1.2	24.1 -2.5	20.4 +3.8	0.8 -
中国 (全体との差)	1,819	83.1 +6.1	23.4 -3.2	11.8 -4.9	0.8 -
四国 (全体との差)	853	81.4 +4.4	21.5 -5.1	15.5 -1.2	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,017	78.7 +1.7	19.9 -6.7	17.0 +0.3	0.9 -

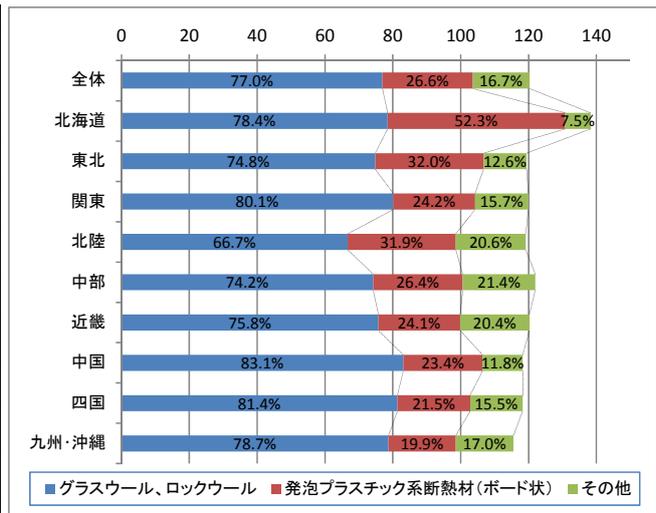
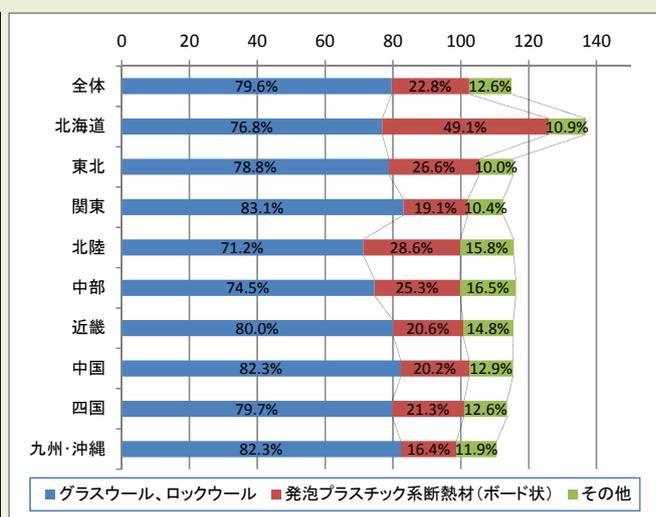


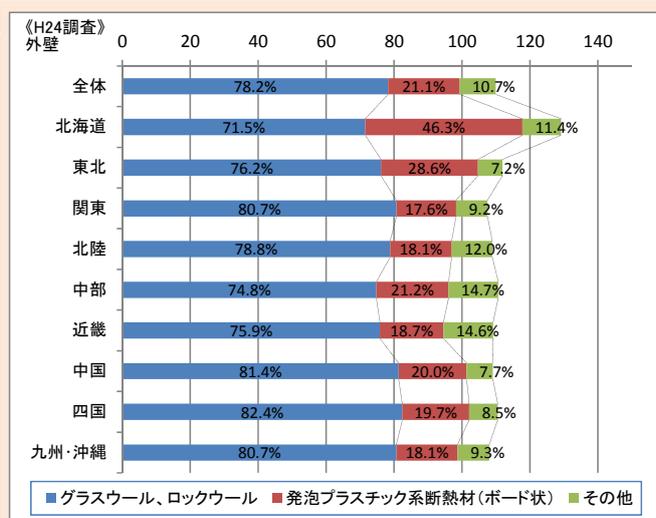
図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,342	79.6	22.8	12.6	1.0
北海道 (全体との差)	676	76.8 -2.8	49.1 +26.3	10.9 -1.6	1.0 -
東北 (全体との差)	2,755	78.8 -0.8	26.6 +3.8	10.0 -2.6	0.7 -
関東 (全体との差)	5,098	83.1 +3.5	19.1 -3.7	10.4 -2.2	1.1 -
北陸 (全体との差)	1,255	71.2 -8.3	28.6 +5.8	15.8 +3.2	0.7 -
中部 (全体との差)	2,877	74.5 -5.1	25.3 +2.4	16.5 +3.9	1.1 -
近畿 (全体との差)	2,103	80.0 +0.5	20.6 -2.2	14.8 +2.3	1.0 -
中国 (全体との差)	1,661	82.3 +2.7	20.2 -2.6	12.9 +0.3	1.1 -
四国 (全体との差)	878	79.7 +0.2	21.3 -1.5	12.6 +0.1	0.9 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,039	82.3 +2.8	16.4 -6.5	11.9 -0.7	0.8 -



《H25調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,277	78.2	21.1	10.7	1.3
北海道 (全体との差)	298	71.5 -6.8	46.3 +25.3	11.4 +0.7	2.3 -
東北 (全体との差)	977	76.2 -2.1	28.6 +7.5	7.2 -3.5	0.7 -
関東 (全体との差)	2,112	80.7 +2.5	17.6 -3.4	9.2 -1.5	1.8 -
北陸 (全体との差)	657	78.8 +0.6	18.1 -2.9	12.0 +1.4	1.2 -
中部 (全体との差)	1,511	74.8 -3.4	21.2 +0.2	14.7 +4.0	1.1 -
近畿 (全体との差)	820	75.9 -2.4	18.7 -2.4	14.6 +4.0	1.1 -
中国 (全体との差)	660	81.4 +3.1	20.0 -1.1	7.7 -2.9	1.1 -
四国 (全体との差)	284	82.4 +4.2	19.7 -1.3	8.5 -2.2	0.4 -
九州・沖縄 (全体との差)	958	80.7 +2.5	18.1 -3.0	9.3 -1.4	1.6 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	654	3.2%
吹込グラスウール,ロックウール	1	0.0%
吹込その他	8	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	980	4.8%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	115	0.6%
ウレタン(aかbか不明)	379	1.9%
ポリエステル	60	0.3%
木質系	28	0.1%
羊毛	150	0.7%
コルク	4	0.0%
未分類	510	2.5%
2種類以上の記載のあるもの	98	0.5%
その他記入有り合計	2,987	14.8%
その他全体	3,375	16.7%
全体	20,226	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱材は「発泡プラスチック系断熱材」が最も多く 80.9%、「グラスウール・ロックウール」が 23.3%、「その他」が 6.6%であった。
- 発泡プラスチック系断熱材が多い点は、前年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「発泡プラスチック系断熱材」が北海道 73.1%～中国 86.0%で最多であった。
- 「グラスウール・ロックウール」は北海道が 41.1%で他地域と比較して割合が高い。その他の地域は中国 16.4%～関東 27.1%となっている。

床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	4,710
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	16,356
その他	1,328
無回答	330
全体	20,209

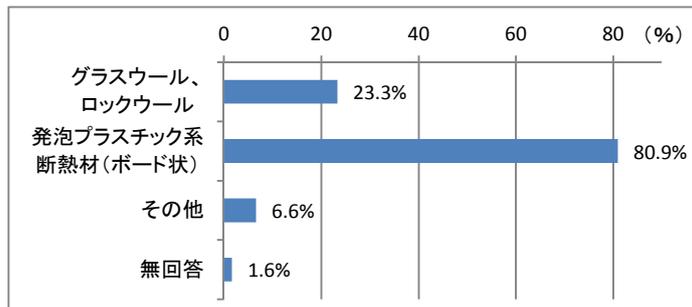
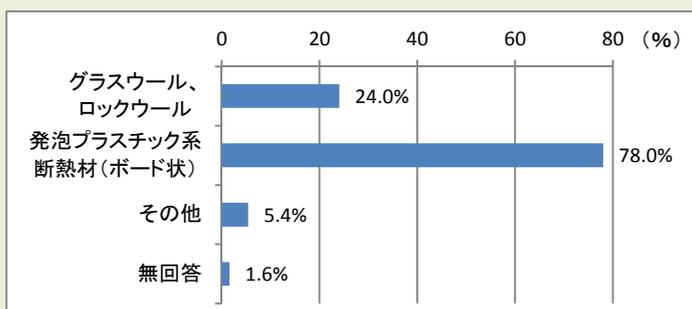


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

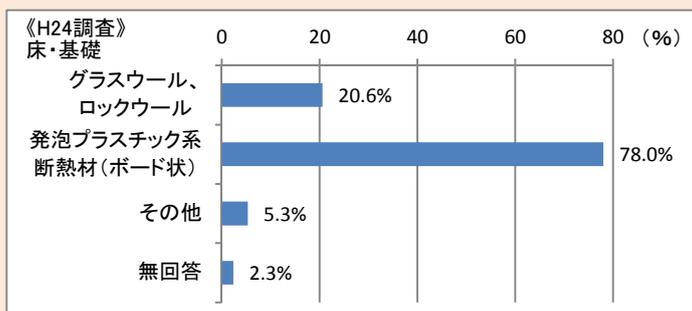
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	4,625
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	15,000
その他	1,033
無回答	302
全体	19,231

《H25調査》  
普段たずさわっている  
床・基礎の断熱材料



《H24調査》 床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	1,702
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	6,459
その他	438
無回答	194
全体	8,276

《H24調査》  
普段たずさわっている  
床・基礎の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	20,209	23.3	80.9	6.6	1.6
北海道 (全体との差)	732	41.1 +17.8	73.1 -7.8	5.1 -1.5	1.6
東北 (全体との差)	2,597	22.3 -1.0	82.5 +1.6	6.4 -0.1	1.7
関東 (全体との差)	4,803	27.1 +3.8	79.1 -1.8	6.7 +0.2	1.6
北陸 (全体との差)	1,586	16.6 -6.7	84.4 +3.5	9.0 +2.4	1.2
中部 (全体との差)	3,522	24.3 +1.0	80.6 -0.4	6.4 -0.1	1.6
近畿 (全体との差)	2,267	21.1 -2.2	81.7 +0.8	6.9 +0.4	1.6
中国 (全体との差)	1,844	16.4 -6.9	86.0 +5.1	4.4 -2.1	1.6
四国 (全体との差)	869	17.4 -5.9	83.3 +2.4	6.6 -0.0	1.5
九州・沖縄 (全体との差)	1,989	23.8 +0.5	77.3 -3.6	6.7 +0.2	2.0

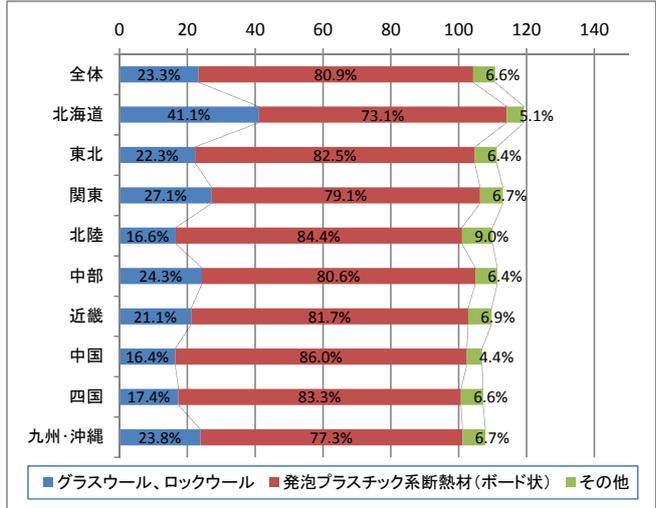
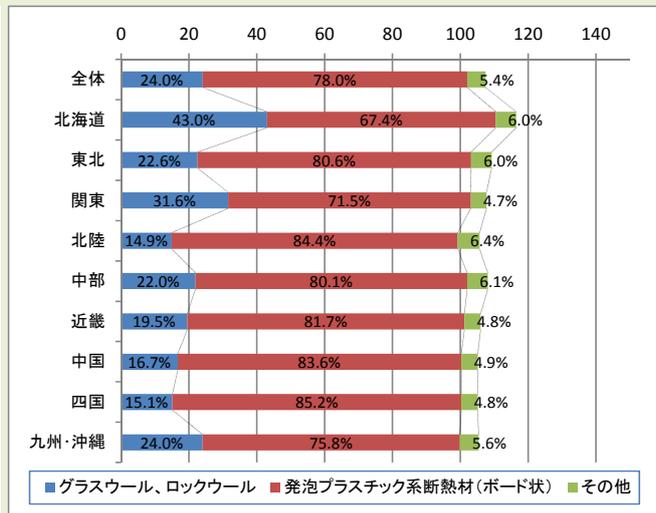


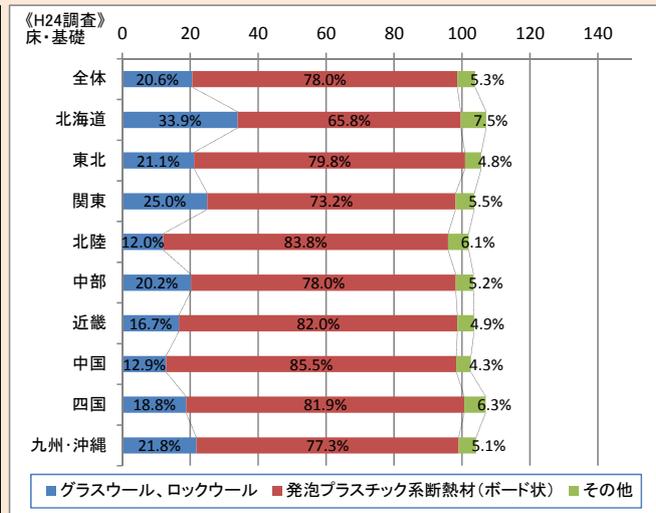
図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	19,231	24.0	78.0	5.4	1.6
北海道 (全体との差)	669	43.0 +19.0	67.4 -10.6	6.0 +0.6	1.2
東北 (全体との差)	2,729	22.6 -1.5	80.6 +2.6	6.0 +0.7	1.1
関東 (全体との差)	5,080	31.6 +7.6	71.5 -6.5	4.7 -0.7	1.6
北陸 (全体との差)	1,250	14.9 -9.2	84.4 +6.4	6.4 +1.0	1.5
中部 (全体との差)	2,869	22.0 -2.1	80.1 +2.1	6.1 +0.8	1.6
近畿 (全体との差)	2,083	19.5 -4.5	81.7 +3.7	4.8 -0.6	1.8
中国 (全体との差)	1,665	16.7 -7.4	83.6 +5.6	4.9 -0.5	1.9
四国 (全体との差)	893	15.1 -8.9	85.2 +7.2	4.8 -0.6	1.5
九州・沖縄 (全体との差)	1,993	24.0 -0.0	75.8 -2.2	5.6 +0.2	1.8



《H25調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	8,276	20.6	78.0	5.3	2.3
北海道 (全体との差)	295	33.9 +13.3	65.8 -12.3	7.5 +2.2	3.1
東北 (全体との差)	967	21.1 +0.5	79.8 +1.8	4.8 -0.5	1.2
関東 (全体との差)	2,135	25.0 +4.4	73.2 -4.9	5.5 +0.2	3.4
北陸 (全体との差)	656	12.0 -8.5	83.8 +5.8	6.1 +0.8	1.7
中部 (全体との差)	1,503	20.2 -0.3	78.0 -0.1	5.2 -0.1	2.5
近畿 (全体との差)	821	16.7 -3.9	82.0 +3.9	4.9 -0.4	1.8
中国 (全体との差)	675	12.9 -7.7	85.5 +7.4	4.3 -1.0	1.9
四国 (全体との差)	287	18.8 -1.8	81.9 +3.8	6.3 +1.0	0.7
九州・沖縄 (全体との差)	937	21.8 +1.2	77.3 -0.8	5.1 -0.2	2.3



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	197	1.0%
吹込グラスウール,ロックウール	1	0.0%
吹込その他	5	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	286	1.4%
発泡プラスチック系(ホト状)(b)	205	1.0%
ウレタン(aかbか不明)	137	0.7%
ポリエステル	30	0.1%
木質系	11	0.1%
羊毛	50	0.2%
コルク	3	0.0%
未分類	149	0.7%
2種類以上の記載のあるもの	22	0.1%
その他記入有り合計	1,096	5.4%
その他全体	1,328	6.6%
全体	20,209	100.0%

図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が94.9%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が23.7%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が74.8%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が64.1%であった。外壁にグラスウール等を使用する場合程の差は見られない。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が87.8%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が37.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」と「屋根・天井にその他の断熱材」の組合せは、その内の約6割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば屋根・天井、外壁共にセルローズファイバーである組合せ)

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26 全体	20,738	77.2	27.5	16.3	1.1
断熱材料					
グラスウール、 ロックウール	15,448	94.9	23.7	8.0	0.5
外壁					
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	5,278	64.1	74.8	10.4	0.5
その他	3,288	37.0	17.3	87.8	0.3

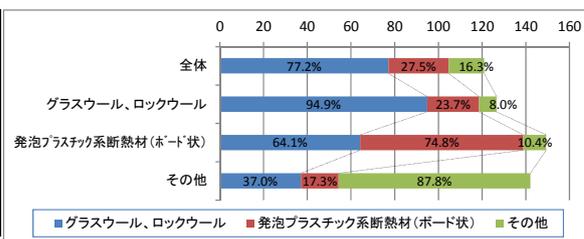


図 5-1-9a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

H26 断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	535	18.5%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	1	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	3	0.1%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	768	26.6%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	59	2.0%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	290	10.0%
ポリエステル × ポリエステル	44	1.5%
木質系 × 木質系	19	0.7%
羊毛 × 羊毛	95	3.3%
コルク × コルク	1	0.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	1,815	62.9%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	1,072	37.1%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	2,887	100.0%

図 5-1-9a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が88.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が19.6%、「屋根・天井にその他の断熱材」が12.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が77.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が39.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が12.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が59.3%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が50.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が13.0%であった。
- 北海道は、外壁がグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材のいずれについても、屋根・天井はグラスウール・ロックウールとの組合せが最多であった。

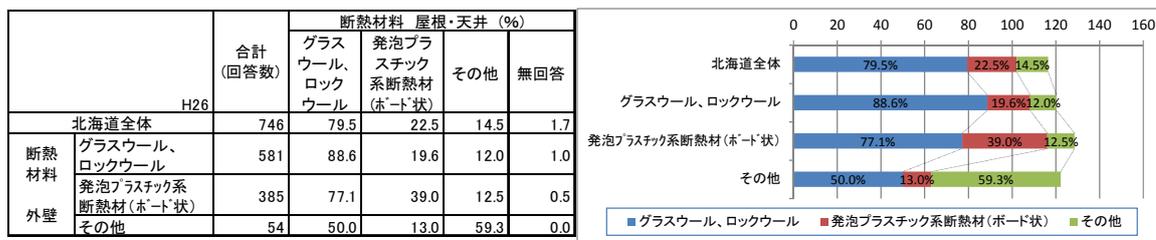


図 5-1-9b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 21.3%であった。「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 62.9%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 70.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 9.8%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 86.1%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 42.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 12.3%であった。
- 東北は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

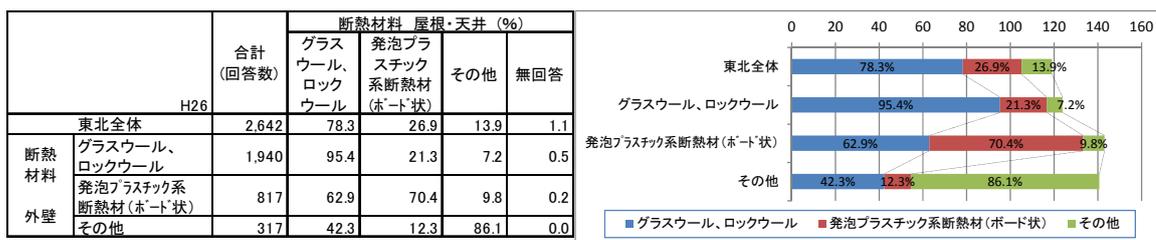


図 5-1-9c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 24.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.7%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 63.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 82.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 11.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 89.5%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 39.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 21.2%であった。
- 関東は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

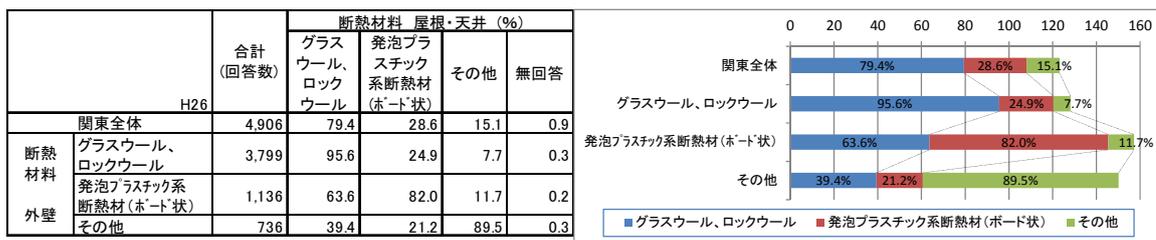


図 5-1-9d 同 関東地域

### 〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 23.3%で、「屋根・天井にその他の断熱材」が 8.7%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 55.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 75.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 90.9%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 25.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 11.0%であった。
- 北陸は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

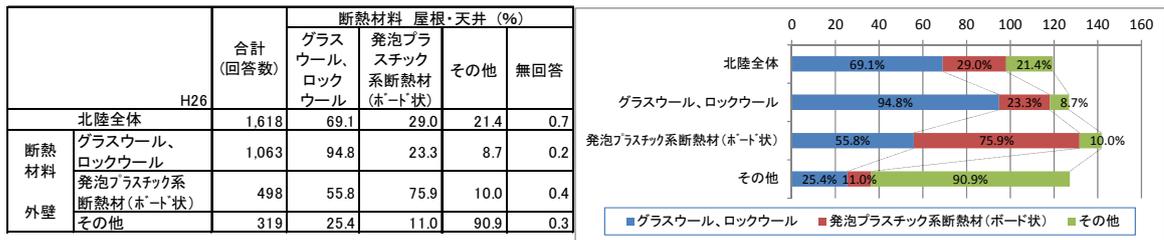


図 5-1-9e 同 北陸地域

### 〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.2%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 24.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 9.1%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 67.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 75.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 88.7%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 34.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 17.7%であった。
- 中部は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

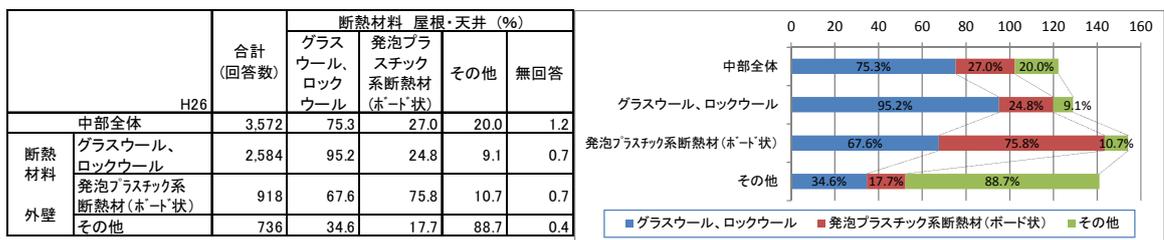


図 5-1-9f 同 中部地域

### 〔近畿地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 25.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 8.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 61.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 81.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.6%であった。

- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「屋根・天井にその他の断熱材」が 84.2%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 36.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 20.7%であった。
- 近畿は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

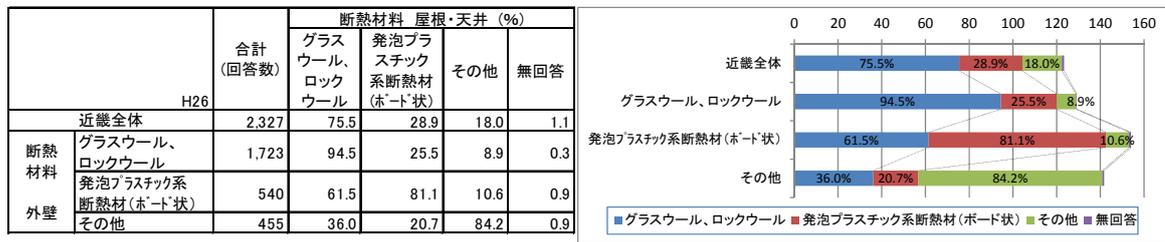


図 5-1-9g 同 近畿地域

### 〔中国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 23.6%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 69.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 76.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.9%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 90.4%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 41.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.3%であった。
- 中国は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

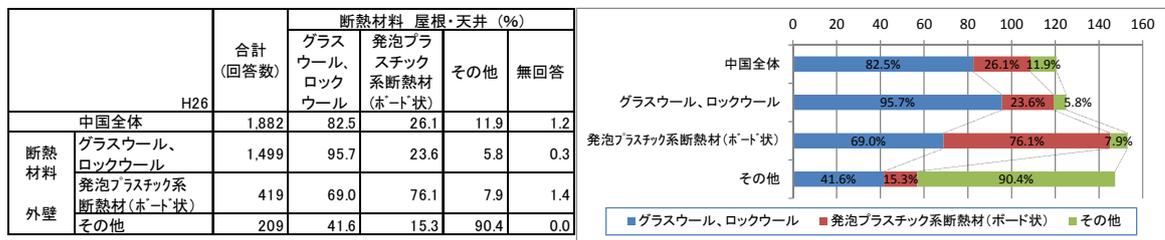


図 5-1-9h 同 中国地域

### 〔四国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 26.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 56.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 85.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 8.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 86.7%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 47.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 20.3%であった。
- 四国は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

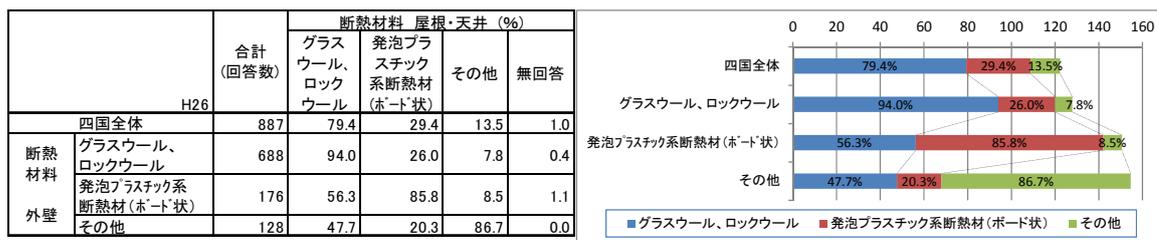


図 5-1-9i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 20.6%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.5%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 59.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 79.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 9.3%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 88.9%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 35.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.0%であった。
- 九州・沖縄は、外壁断熱材料と屋根・天井断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材同士、その他同士がそれぞれ最も多くなっている。

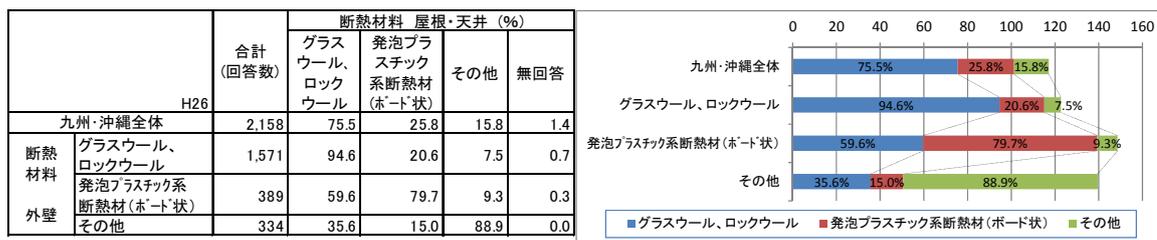


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が82.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が28.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が92.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が27.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が72.2%、「床・基礎にその他の断熱材」が33.8%であった。
- 外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。
- 「外壁にその他の断熱材」と「床・基礎にその他の断熱材」の組合せは、その内の6.5割超が両方に同じ断熱材を使用した組合せとなっている。(例えば外壁、床・基礎共に現場発泡ウレタンである組合せ)

断熱材料	外壁	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ホード状)	その他	無回答
全体		H26 20,209	23.3	80.9	6.6	1.6
グラスウール、 ロックウール		15,161	28.6	82.7	3.2	0.8
発泡プラスチック系 断熱材(ホード状)		5,231	27.5	92.8	4.3	1.2
その他		3,279	12.6	72.2	33.8	1.3

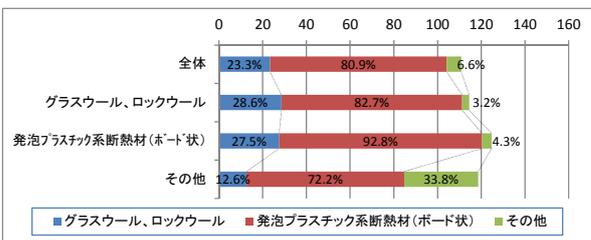


図 5-1-10a1 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

H26 断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	179	16.1%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	0	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	1	0.1%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	223	20.1%
発泡プラスチック系(ホード状)(b) × 発泡プラスチック系(ホード状)(b)	150	13.5%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	110	9.9%
ポリエステル × ポリエステル	26	2.3%
木質系 × 木質系	8	0.7%
羊毛 × 羊毛	34	3.1%
コルク × コルク	2	0.2%
同じ断熱材料の組合せ 合計	733	66.1%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	376	33.9%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	1,109	100.0%

図 5-1-10a2 外壁と床・基礎の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が71.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が50.1%、「床・基礎にその他の断熱材」が3.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が89.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が38.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が3.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が46.3%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が53.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が22.2%であった。
- 北海道は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

断熱材料	外壁	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ホード状)	その他	無回答
北海道全体		H26 732	41.1	73.1	5.1	1.6
グラスウール、 ロックウール		569	50.1	71.9	3.2	0.7
発泡プラスチック系 断熱材(ホード状)		382	38.7	89.3	3.4	0.3
その他		54	22.2	53.7	46.3	1.9

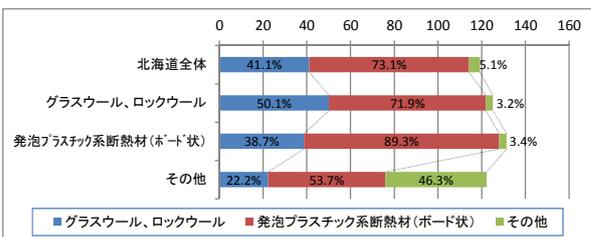


図 5-1-10b 同 北海道地域

### 〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が84.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が27.9%、「床・基礎にその他の断熱材」が2.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が94.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が25.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が3.3%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が41.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が66.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が11.5%であった。
- 東北は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

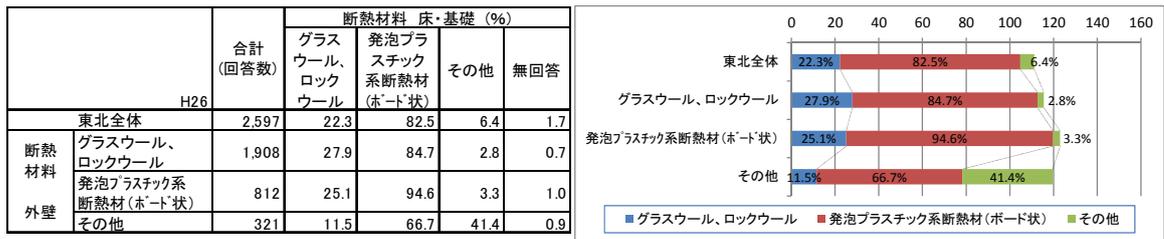


図 5-1-10c 同 東北地域

### 〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が81.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が31.9%、「床・基礎にその他の断熱材」が3.5%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が91.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が31.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が5.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が39.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が70.2%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が17.7%であった。
- 関東は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

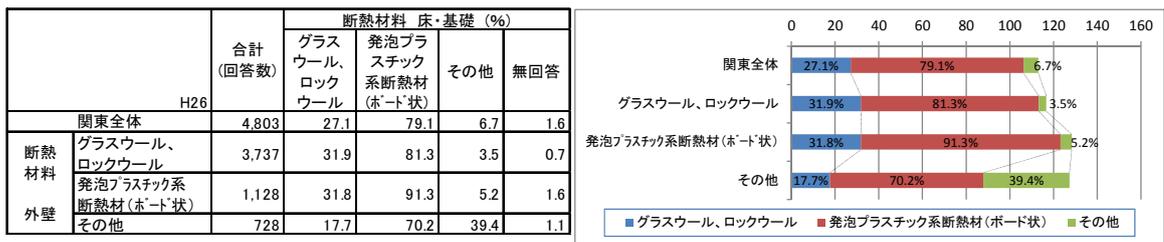


図 5-1-10d 同 関東地域

### 〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が87.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が23.2%、「床・基礎にその他の断熱材」が3.7%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が95.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が19.3%、「屋根・天井にその他の断熱材」が3.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が38.7%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が68.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が6.6%であった。

- 北陸は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
北陸全体	1,586	16.6	84.4	9.0	1.2	
断熱材料 外壁	グラスウール、ロックウール	23.2	87.7	3.7	0.1	
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	486	19.3	95.1	3.7	0.6
	その他	318	6.6	68.9	38.7	1.3

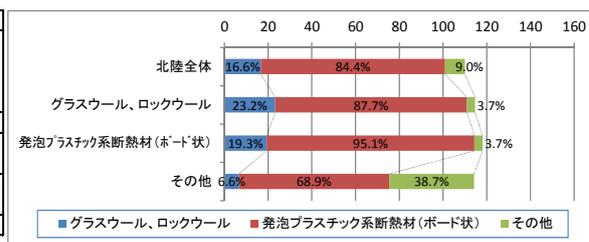


図 5-1-10e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 82.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 30.6%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 93.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 29.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 26.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 75.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 12.9%であった。
- 中部は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
中部全体	3,522	24.3	80.6	6.4	1.6	
断熱材料 外壁	グラスウール、ロックウール	2,552	30.6	82.0	2.9	0.8
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	911	29.4	93.3	3.7	1.3
	その他	736	12.9	75.5	26.4	1.8

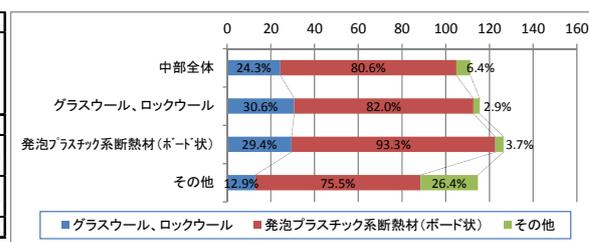


図 5-1-10f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 83.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 26.1%、「床・基礎にその他の断熱材」が 3.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 92.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 26.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.9%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 29.3%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 76.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 11.2%であった。
- 近畿は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
近畿全体	2,267	21.1	81.7	6.9	1.6	
断熱材料 外壁	グラスウール、ロックウール	1,681	26.1	83.5	3.6	0.9
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	534	26.4	92.7	4.9	1.5
	その他	454	11.2	76.7	29.3	1.1

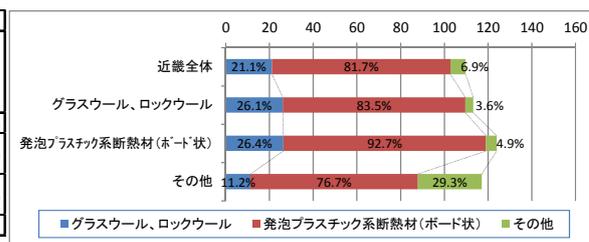


図 5-1-10g 同 近畿地域

### [中国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 87.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 18.7%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 93.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 22.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 2.9%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 31.1%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 74.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 6.2%であった。
- 中国は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

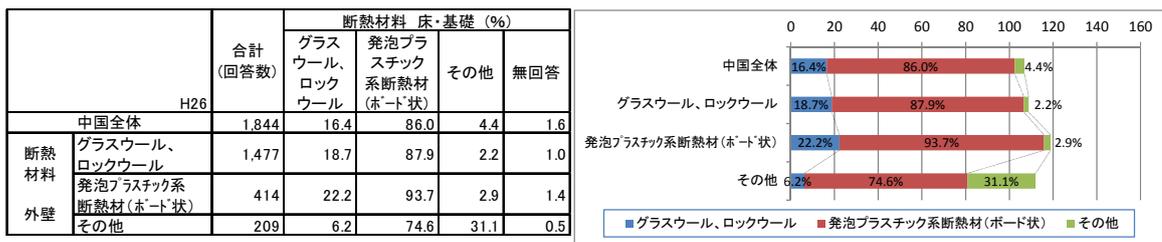


図 5-1-10h 同 中国地域

### [四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 83.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 21.2%、「床・基礎にその他の断熱材」が 5.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 93.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 20.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 33.6%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 76.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.2%であった。
- 四国は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

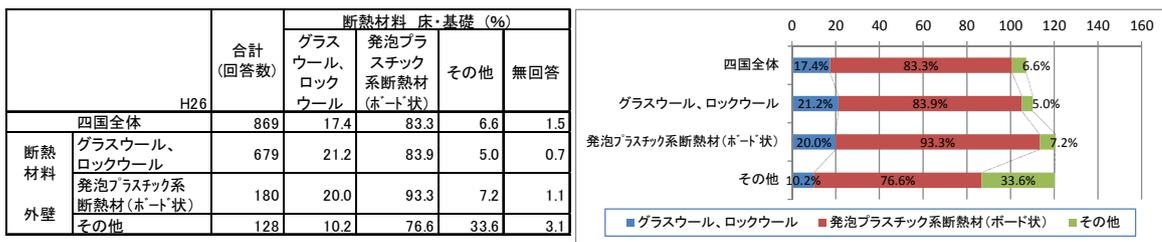


図 5-1-10i 同 四国地域

### [九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 78.4%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 29.3%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 92.2%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 25.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.3%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 32.0%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 71.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 12.4%であった。

- 九州・沖縄は、外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H26						
九州・沖縄全体	1,989	23.8	77.3	6.7	2.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,516	29.3	78.4	2.6	1.5
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	384	25.5	92.2	6.3	1.3
外壁	その他	331	12.4	71.3	32.0	1.5

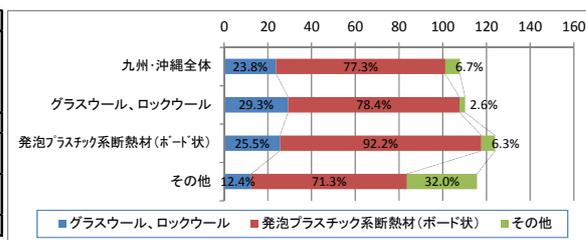


図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域

## 質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

### ①「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔全体〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 88.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.4%、「その他」が 11.8%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.4%、「その他」が 17.3%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 62.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.0%、「その他」が 34.6%であった。
- 屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,738	77.2	27.5	16.3	1.1
断熱工法					
天井断熱	16,640	88.5	23.4	11.8	0.9
屋根野地上断熱	3,916	64.5	61.4	17.3	1.5
屋根・天井					
垂木間充填断熱	5,834	62.7	45.0	34.6	1.1

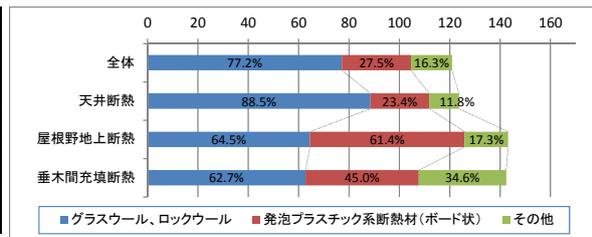


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔北海道地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.8%、「その他」が 13.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 73.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 63.6%、「その他」が 11.7%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 37.3%、「その他」が 23.9%であった。
- 北海道は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北海道全体	746	79.5	22.5	14.5	1.7
断熱工法					
天井断熱	657	83.6	19.8	13.7	1.8
屋根野地上断熱	154	73.4	63.6	11.7	1.3
屋根・天井					
垂木間充填断熱	134	79.9	37.3	23.9	1.5

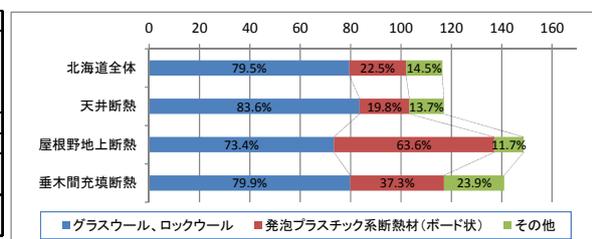


図 5-1-11b 同 北海道地域

#### 〔東北地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.8%、「その他」が 11.4%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.4%、「グラスウール・ロックウール」が 63.7%、「その他」が 13.7%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 44.3%、「その他」が 29.5%であった。
- 東北は、天井断熱・垂木間充填断熱でグラスウール・ロックウール、屋根野地上断熱で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
東北全体	2,642	78.3	26.9	13.9	1.1	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	2,241	86.9	22.8	11.4	0.9
	屋根野地 上断熱	438	63.7	66.4	13.7	1.1
	垂木間 充填断熱	616	65.6	44.3	29.5	1.3

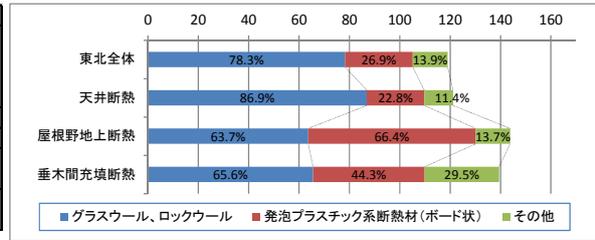


図 5-1-11c 同 東北地域

〔関東地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.1%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 24.3%、「その他」が 10.5%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.1%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 62.9%、「その他」が 17.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 67.3%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 44.8%、「その他」が 33.7%であった。
- 関東は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
関東全体	4,906	79.4	28.6	15.1	0.9	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	3,878	91.1	24.3	10.5	0.7
	屋根野地 上断熱	1,027	65.1	62.9	17.5	1.1
	垂木間 充填断熱	1,503	67.3	44.8	33.7	0.9

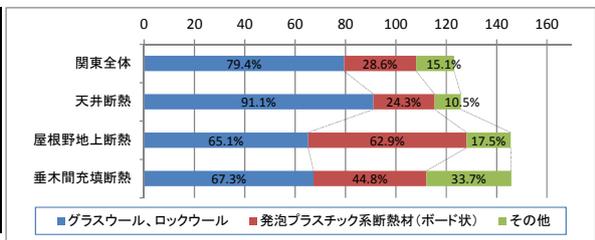


図 5-1-11d 同 関東地域

〔北陸地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.6%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 26.1%、「その他」が 15.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が最も多く 67.4%、「グラスウール・ロックウール」が 53.6%、「その他」が 25.0%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 51.1%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 44.3%、「その他」が 42.4%であった。
- 北陸は、天井断熱・垂木間充填断熱でグラスウール・ロックウール、屋根野地上断熱で発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
北陸全体	1,618	69.1	29.0	21.4	0.7	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,307	81.6	26.1	15.2	0.2
	屋根野地 上断熱	224	53.6	67.4	25.0	2.2
	垂木間 充填断熱	415	51.1	44.3	42.4	1.2

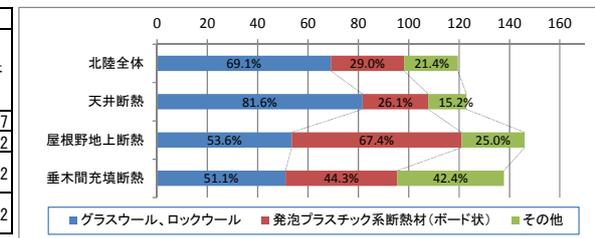


図 5-1-11e 同 北陸地域

〔中部地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.7%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 23.3%、「その他」が 14.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 66.9%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 60.3%、「その他」が 19.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 59.8%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 44.7%、「その他」が 37.1%であった。

- 中部は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26					
中部全体	3,572	75.3	27.0	20.0	1.2
断熱 工法					
天井断熱	2,801	87.7	23.3	14.9	1.1
屋根野地上断熱	637	66.9	60.3	19.5	1.6
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	1,158	59.8	44.7	37.1	0.8

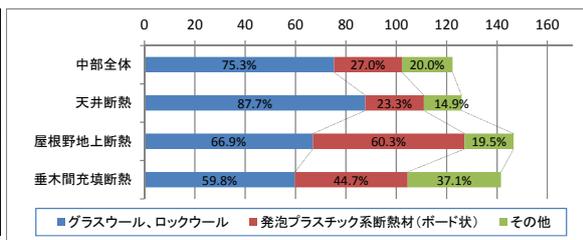


図 5-1-11f 同 中部地域

### 〔近畿地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.9%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 23.3%、「その他」が 12.6%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 63.7%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 58.3%、「その他」が 21.4%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 60.9%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 44.5%、「その他」が 34.6%であった。
- 近畿は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26					
近畿全体	2,327	75.5	28.9	18.0	1.1
断熱 工法					
天井断熱	1,732	89.9	23.3	12.6	0.9
屋根野地上断熱	556	63.7	58.3	21.4	1.3
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	746	60.9	44.5	34.6	1.2

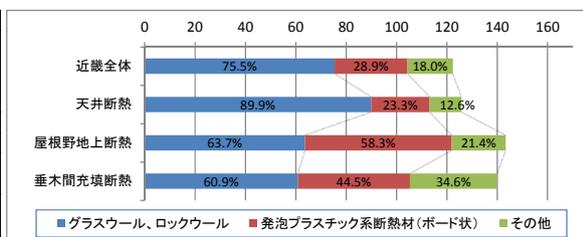


図 5-1-11g 同 近畿地域

### 〔中国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 92.3%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 23.3%、「その他」が 7.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.5%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 60.0%、「その他」が 12.4%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.1%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 50.4%、「その他」が 31.1%であった。
- 中国は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26					
中国全体	1,882	82.5	26.1	11.9	1.2
断熱 工法					
天井断熱	1,576	92.3	23.3	7.2	1.0
屋根野地上断熱	315	70.5	60.0	12.4	1.6
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	482	64.1	50.4	31.1	1.5

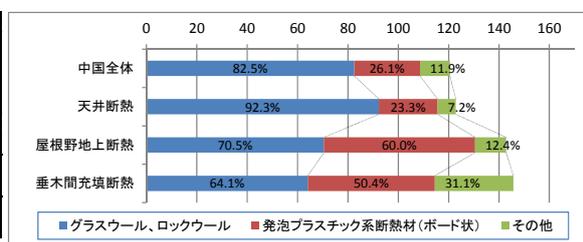


図 5-1-11h 同 中国地域

### 〔四国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.8%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 24.5%、「その他」が 11.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」と「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が共に最も多く 63.7%、「その他」が 14.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 68.3%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 53.9%、「その他」が 28.3%であった。

- 四国は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっているが、屋根野地上断熱については発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も最多となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26					
四国全体	887	79.4	29.4	13.5	1.0
断熱 工法					
天井断熱	748	89.8	24.5	11.2	0.8
屋根野地 上断熱	157	63.7	63.7	14.6	1.9
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	230	68.3	53.9	28.3	1.7

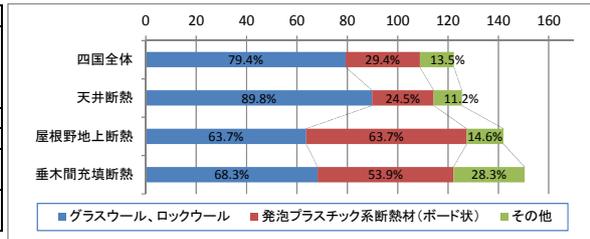


図 5-1-11i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 88.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20.9%、「その他」が 10.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 59.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 53.9%、「その他」が 14.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 56.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 41.8%、「その他」が 40.4%であった。
- 九州・沖縄は、屋根・天井のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多い。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H26					
九州・沖縄全体	2,158	75.5	25.8	15.8	1.4
断熱 工法					
天井断熱	1,700	88.0	20.9	10.2	1.2
屋根野地 上断熱	408	59.8	53.9	14.2	2.5
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	550	56.7	41.8	40.4	0.7

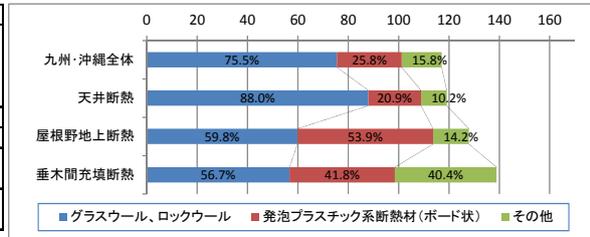


図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域

①屋根・天井 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラ スチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリイ ステル	木質 系	羊毛	コルク	未 分類	2種類 以上 記載	小 計	地域 合計	回 答 数 合 計	
	木質 繊維系 セルローズ ファイバー	無機 繊維系 GW RW	ど ち ら か 不 明													
北海道	天井	28	11	22	4	0	8	0	0	4	0	5	3	85	4,133	
	野地上	8	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	1	16		
	垂木間	9	2	4	3	0	5	0	0	2	0	3	2	30		
東北	天井	79	1	23	51	9	37	1	1	2	0	17	12	233		
	野地上	10	0	3	18	4	8	0	1	2	0	3	3	52		
	垂木間	20	0	4	75	5	33	2	1	3	0	9	7	159		
関東	天井	111	2	2	84	8	33	1	5	16	1	74	21	358		
	野地上	31	0	2	28	14	11	0	6	7	1	31	13	144		
	垂木間	102	1	3	147	13	56	2	11	22	1	80	16	454		
北陸	天井	62	1	0	44	5	23	6	2	8	0	15	7	173		
	野地上	6	0	0	20	1	6	1	0	1	0	10	2	47		
	垂木間	11	0	1	83	1	23	1	2	6	0	23	4	155		
中部	天井	100	2	0	107	5	30	6	23	0	57	17	373			
	野地上	23	0	0	30	4	10	9	2	2	0	20	6	106		
	垂木間	71	0	0	148	10	59	7	3	5	0	83	13	399		
近畿	天井	48	1	0	56	10	16	5	1	12	1	33	6	189		
	野地上	14	0	0	22	18	14	2	2	7	0	16	6	101		
	垂木間	47	0	0	81	13	19	4	0	5	1	47	9	226		
中国	天井	37	0	1	31	4	13	0	0	6	0	9	2	103		
	野地上	5	0	0	10	2	2	0	1	2	0	8	0	30		
	垂木間	27	0	1	63	4	16	0	0	2	0	16	5	134		
四国	天井	35	0	0	23	1	8	2	0	1	0	8	2	80		
	野地上	3	0	0	8	2	2	0	0	0	0	5	0	20		
	垂木間	19	0	0	26	0	5	0	0	1	0	6	1	58		
九州・ 沖縄	天井	51	0	1	38	5	14	3	1	14	0	20	5	152		
	野地上	16	0	0	14	3	5	1	0	3	0	10	1	53		
	垂木間	48	0	0	83	3	23	0	1	11	0	28	6	203		
小計	天井	551	18	49	438	47	182	44	16	86	2	238	75	1,746		
	野地上	116		6	151	50	59	13	12	25	1	104	32	569		
	垂木間	354	3	13	709	49	239	16	18	57	2	295	63	1,818		
材料合計		1021	21	68		1298	146	480	73	46	168	5	637	170		
回答数合計			1110												4,133	H26

図 5-1-11k 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

## 質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

### ②「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔全体〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 80.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.9%、「その他」が 17.6%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 72.5%、「グラスウール・ロックウール」が 61.1%、「その他」が 12.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.1%、「その他」が 18.7%であった。
- 充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
全体	20,226	77.0	26.6	16.7	0.9	
断熱工法 外壁	充填断熱	17,702	80.9	21.9	17.6	0.8
	外張断熱	2,850	61.1	72.5	12.2	1.3
	充填外張併用断熱	1,761	76.5	61.1	18.7	0.7

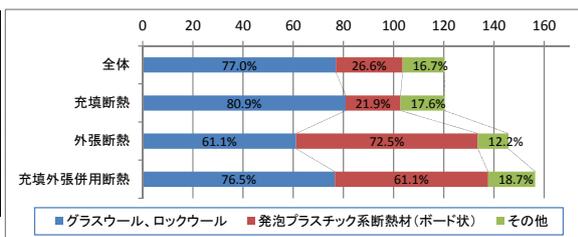


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔北海道地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 36.5%、「その他」が 8.0%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.7%、「グラスウール・ロックウール」が 49.2%、「その他」が 7.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 68.0%、「その他」が 8.1%であった。
- 北海道は、充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
北海道全体	747	78.4	52.3	7.5	1.2	
断熱工法 外壁	充填断熱	386	82.9	36.5	8.0	1.6
	外張断熱	124	49.2	84.7	7.3	2.4
	充填外張併用断熱	397	87.9	68.0	8.1	0.5

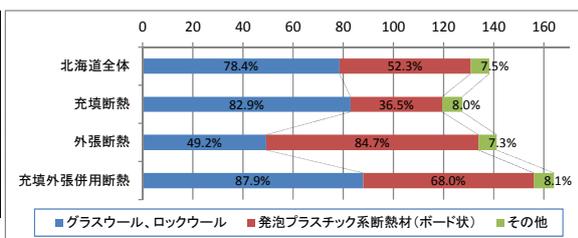


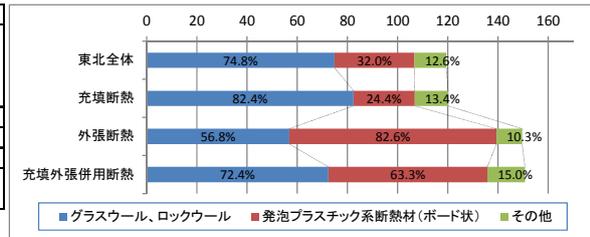
図 5-1-12b 同 北海道地域

#### 〔東北地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 24.4%、「その他」が 13.4%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.6%、「グラスウール・ロックウール」が 56.8%、「その他」が 10.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 63.3%、「その他」が 15.0%であった。
- 東北は、充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
東北全体	2,613	74.8	32.0	12.6	1.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,171	82.4	24.4	13.4	1.1
	外張断熱	507	56.8	82.6	10.3	1.0
	充填外張 併用断熱	341	72.4	63.3	15.0	0.6

図 5-1-12c 同 東北地域

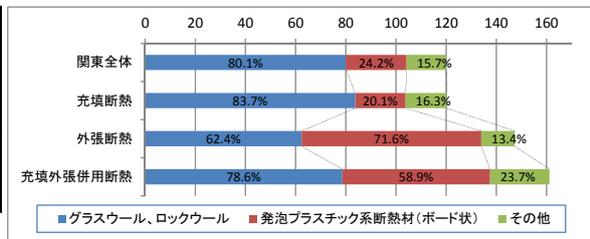


〔関東地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.7%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 20.1%、「その他」が 16.3%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が最も多く 71.6%、「グラスウール・ロックウール」が 62.4%、「その他」が 13.4%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.6%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 58.9%、「その他」が 23.7%であった。
- 関東は、充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
関東全体	4,783	80.1	24.2	15.7	1.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	4,294	83.7	20.1	16.3	0.9
	外張断熱	644	62.4	71.6	13.4	1.9
	充填外張 併用断熱	304	78.6	58.9	23.7	1.0

図 5-1-12d 同 関東地域

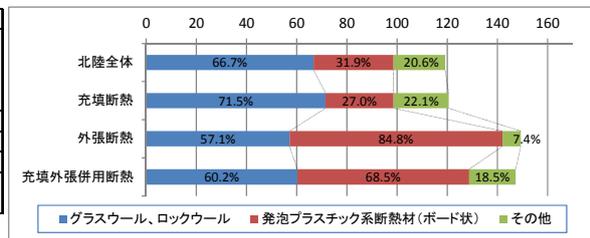


〔北陸地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.5%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 27.0%、「その他」が 22.1%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が最も多く 84.8%、「グラスウール・ロックウール」が 57.1%、「その他」が 7.4%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が最も多く 68.5%、「グラスウール・ロックウール」が 60.2%、「その他」が 18.5%であった。
- 北陸は、充填断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱と併用断熱では発泡プラスチック系断熱材 (ボード状) が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
北陸全体	1,600	66.7	31.9	20.6	1.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,431	71.5	27.0	22.1	0.8
	外張断熱	231	57.1	84.8	7.4	1.7
	充填外張 併用断熱	108	60.2	68.5	18.5	0.9

図 5-1-12e 同 北陸地域



〔中部地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.4%、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が 22.8%、「その他」が 22.4%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)」が最も多く 74.3%、「グラスウール・ロックウール」が 61.0%、「その他」が 14.5%であった。

- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.5%、「その他」が 26.6%であった。
- 中部は、充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中部全体	3,504	74.2	26.4	21.4	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	77.4	22.8	22.4	0.7	
	外張断熱	428	61.0	74.3	14.5	1.2
	充填外張 併用断熱	244	70.1	61.5	26.6	1.2

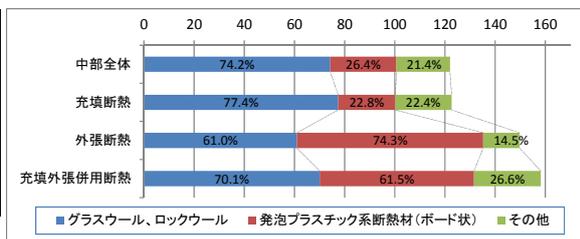


図 5-1-12f 同 中部地域

### 〔近畿地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.1%、「その他」が 20.8%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.0%、「グラスウール・ロックウール」が 62.5%、「その他」が 19.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 52.1%、「その他」が 27.4%であった。
- 近畿は、充填断熱と併用断熱ではグラスウール・ロックウール、外張断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
近畿全体	2,290	75.8	24.1	20.4	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,070	79.0	21.1	20.8	0.8
	外張断熱	315	62.5	66.0	19.0	0.0
	充填外張 併用断熱	117	70.1	52.1	27.4	0.9

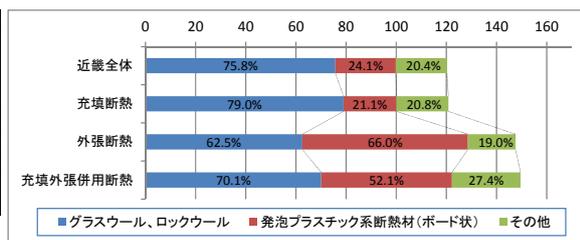


図 5-1-12g 同 近畿地域

### 〔中国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.8%、「その他」が 11.9%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 59.8%、「その他」が 8.9%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 51.0%、「その他」が 18.8%であった。
- 中国は、外壁のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
中国全体	1,819	83.1	23.4	11.8	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,649	85.4	21.8	11.9	0.7
	外張断熱	214	72.9	59.8	8.9	1.9
	充填外張 併用断熱	96	76.0	51.0	18.8	0.0

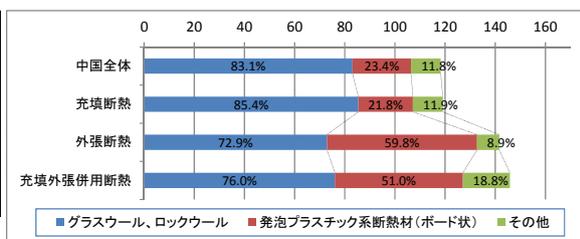


図 5-1-12h 同 中国地域

### [四国地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.6%、「その他」が 16.4%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 65.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.5%で同程度、「その他」が 12.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.5%、「その他」が 29.5%であった。
- 四国は、外壁のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
四国全体	853	81.4	21.5	15.5	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	749	84.8	18.6	16.4	0.5
	外張断熱	122	65.6	61.5	12.3	1.6
	充填外張併用断熱	61	86.9	47.5	29.5	0.0

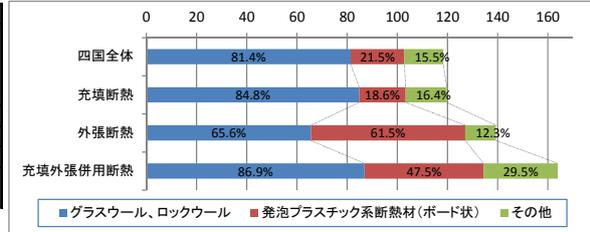


図 5-1-12i 同 四国地域

### [九州・沖縄地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.2%、「その他」が 18.0%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 62.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 58.9%、「その他」が 10.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 74.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 51.6%、「その他」が 23.7%であった。
- 九州・沖縄は、外壁のどの工法についてもグラスウール・ロックウールが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
H26						
九州・沖縄全体	2,017	78.7	19.9	17.0	0.9	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,782	81.8	16.2	18.0	0.8
	外張断熱	265	62.3	58.9	10.2	1.1
	充填外張併用断熱	93	74.2	51.6	23.7	1.1

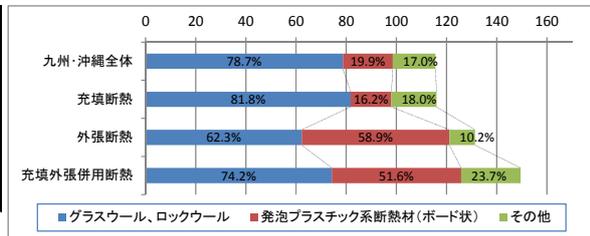


図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域

②外壁 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラ スチック系 (ホード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリエ ステル	木 質系	羊毛	コルク	未 分 類	2種類 以上 記載	小 計	地 域 合 計	回 答 数 合 計			
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明															
	セルローズ ファイバー	GW RW																
北海道	充填	4	0	0	3	3	13	0	1	1	0	1	1	27	64	3,352		
	外張	2	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	1	9				
	併用	2	0	0	8	6	6	0	0	0	0	3	3	28				
東北	充填	47	0	3	105	10	52	2	1	11	2	25	4	262	351			
	外張	6	0	0	15	9	4	1	0	2	0	8	1	46				
	併用	7	0	0	15	2	4	1	1	2	0	6	5	43				
関東	充填	163	1	2	172	17	64	3	11	43	0	121	20	617	753			
	外張	8	0	0	19	10	7	0	3	6	0	17	5	75				
	併用	22	0	0	4	3	9	0	3	3	0	11	6	61				
北陸	充填	37	0	0	124	12	46	4	0	11	0	39	5	278	307			
	外張	2	0	0	7	2	1	0	0	0	0	1	1	14				
	併用	1	0	0	5	2	4	0	0	0	0	1	2	15				
中部	充填	117	0	1	220	5	79	35	7	30	0	122	23	639	753			
	外張	13	0	0	16	3	8	1	1	1	0	12	2	57				
	併用	20	0	0	13	3	5	2	0	0	0	5	9	57				
近畿	充填	79	0	0	124	6	31	13	2	23	2	78	11	369	451			
	外張	8	0	0	12	8	5	0	0	3	0	10	5	51				
	併用	9	0	0	9	2	2	0	0	0	0	7	2	31				
中国	充填	34	0	1	71	10	24	0	0	6	0	24	4	174	207			
	外張	6	0	0	4	1	4	0	0	0	0	2	0	17				
	併用	4	0	1	2	0	0	0	1	0	0	5	3	16				
四国	充填	43	0	1	28	4	9	0	0	4	0	20	2	111	136			
	外張	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	3	2	12				
	併用	6	0	0	4	1	0	0	0	0	0	2	0	13				
九州・ 沖縄	充填	92	0	0	91	5	34	3	2	19	0	38	6	290	330			
	外張	7	0	0	5	4	0	1	0	1	0	3	1	22				
	併用	5	0	0	4	1	1	0	0	1	0	3	3	18				
小 計	充填	616	1	8	938	72	352	60	24	148	4	468	76	2,767				
	外張	55			82	41	31	3	4	13		56	18	303				
	併用	76		1	64	20	31	3	5	6		43	33	282				
材料合計		747	1	9	1084	133	414	66	33	167	4	567	127					
回答数合計		757				3,352												H26

図 5-1-12k 外壁の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

## 質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

### ③「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔全体〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.9%、「グラスウール・ロックウール」が 28.8%、「その他」が 4.6%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.7%、「グラスウール・ロックウール」が 24.7%、「その他」が 7.3%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.0%、「グラスウール・ロックウール」が 40.0%、「その他」が 10.2%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.0%、「グラスウール・ロックウール」が 21.1%、「その他」が 11.6%であった。
- 床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体		20,209	23.3	80.9	6.6	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	9,743	28.8	80.9	4.6	1.7
	床断熱(大引間充填)	8,366	24.7	82.7	7.3	1.5
	床断熱(根太+大引間充填)	1,850	40.0	76.0	10.2	2.2
床・基礎	床断熱	17,617	25.8	80.4	5.8	1.6
	基礎断熱	5,039	21.1	87.0	11.6	1.4

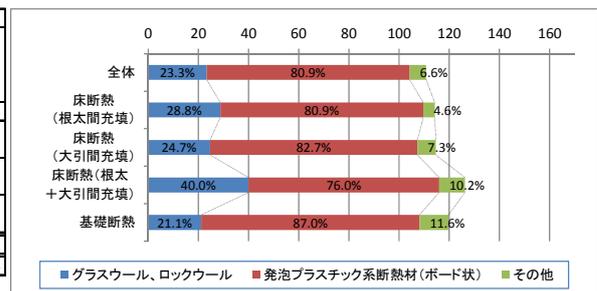


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

#### 〔北海道地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.6%、「その他」が 6.9%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 60.3%、「その他」が 7.9%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 68.1%、「その他」が 4.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 90.5%、「グラスウール・ロックウール」が 25.1%、「その他」が 4.3%であった。
- 北海道は、床断熱ではグラスウール・ロックウール、基礎断熱では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北海道全体		732	41.1	73.1	5.1	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	145	78.6	47.6	6.9	2.1
	床断熱(大引間充填)	151	64.2	60.3	7.9	0.7
	床断熱(根太+大引間充填)	116	83.6	68.1	4.3	0.9
床・基礎	基礎断熱	486	25.1	90.5	4.3	1.6

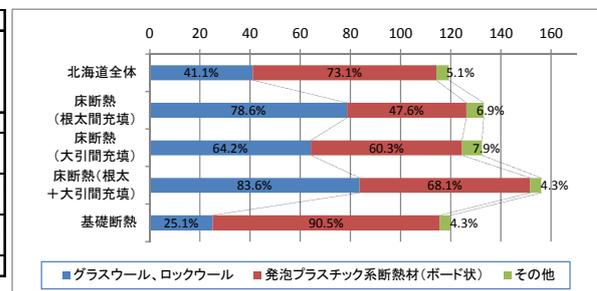


図 5-1-13b 同 北海道地域

#### 〔東北地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.9%、「グラスウール・ロックウール」が 31.4%、「その他」が 3.5%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.9%、「グラスウール・ロックウール」が 23.2%、「その他」が 6.0%であった。

- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く74.4%、「グラスウール・ロックウール」が38.8%、「その他」が10.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く90.1%、「グラスウール・ロックウール」が20.2%、「その他」が9.7%であった。
- 東北は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
東北全体	2,597	22.3	82.5	6.4	1.7	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	1,021	31.4	80.9	3.5	1.9
	床断熱 (大引間充填)	1,141	23.2	85.9	6.0	1.7
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	273	38.8	74.4	10.3	3.3
	基礎断熱	890	20.2	90.1	9.7	0.7

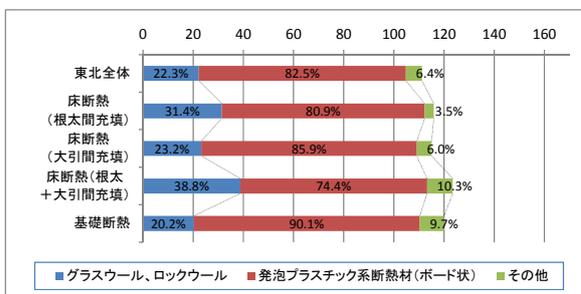


図 5-1-13c 同 東北地域

### 〔関東地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く79.0%、「グラスウール・ロックウール」が31.7%、「その他」が5.6%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く79.8%、「グラスウール・ロックウール」が31.8%、「その他」が7.2%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く74.9%、「グラスウール・ロックウール」が42.2%、「その他」が12.2%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く86.9%、「グラスウール・ロックウール」が23.1%、「その他」が11.8%であった。
- 関東は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
関東全体	4,803	27.1	79.1	6.7	1.6	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	2,429	31.7	79.0	5.6	1.9
	床断熱 (大引間充填)	1,941	31.8	79.8	7.2	1.8
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	483	42.2	74.9	12.2	1.7
	基礎断熱	1,170	23.1	86.9	11.8	1.3

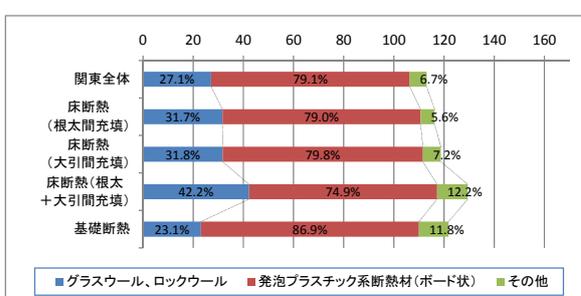


図 5-1-13d 同 関東地域

### 〔北陸地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く86.4%、「グラスウール・ロックウール」が22.3%、「その他」が5.7%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く86.3%、「グラスウール・ロックウール」が15.8%、「その他」が9.6%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く85.7%、「グラスウール・ロックウール」が26.7%、「その他」が9.5%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く81.5%、「グラスウール・ロックウール」が19.1%、「その他」が19.1%であった。
- 北陸は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26 北陸全体		1,586	16.6	84.4	9.0	1.2
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	846	22.3	86.4	5.7	0.8
	床断熱 (大引間充填)	627	15.8	86.3	9.6	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	105	26.7	85.7	9.5	1.0
	基礎断熱	324	19.1	81.5	19.1	1.9

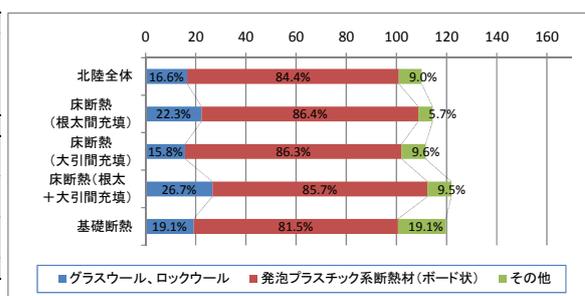


図 5-1-13e 同 北陸地域

〔中部地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.0%、「グラスウール・ロックウール」が 31.1%、「その他」が 5.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.7%、「グラスウール・ロックウール」が 24.3%、「その他」が 7.1%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.2%、「グラスウール・ロックウール」が 36.7%、「その他」が 8.8%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.0%、「グラスウール・ロックウール」が 20.6%、「その他」が 11.4%であった。
- 中部は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26 中部全体		3,522	24.3	80.6	6.4	1.6
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	1,684	31.1	80.0	5.2	1.5
	床断熱 (大引間充填)	1,609	24.3	82.7	7.1	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	308	36.7	79.2	8.8	2.3
	基礎断熱	747	20.6	88.0	11.4	2.1

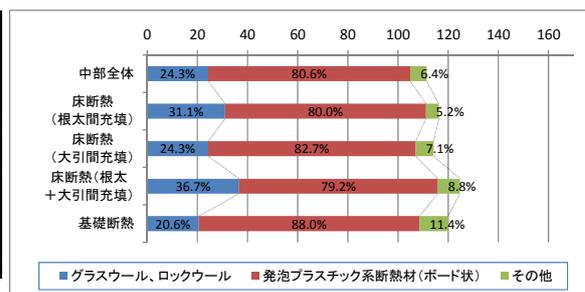


図 5-1-13f 同 中部地域

〔近畿地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.5%、「グラスウール・ロックウール」が 26.8%、「その他」が 4.4%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.4%、「グラスウール・ロックウール」が 21.7%、「その他」が 7.6%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.1%、「グラスウール・ロックウール」が 31.6%、「その他」が 12.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.7%、「グラスウール・ロックウール」が 22.0%、「その他」が 12.8%であった。
- 近畿は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26 近畿全体		2,267	21.1	81.7	6.9	1.6
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	919	26.8	82.5	4.4	1.6
	床断熱 (大引間充填)	1,199	21.7	83.4	7.6	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	187	31.6	79.1	12.3	1.6
	基礎断熱	477	22.0	84.7	12.8	1.9

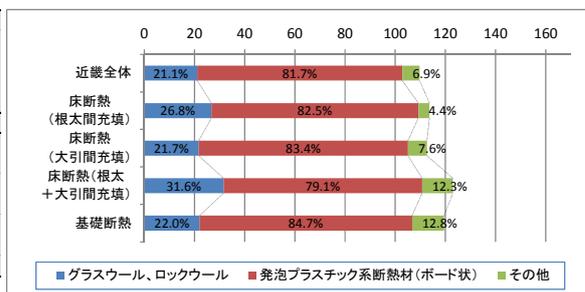


図 5-1-13g 同 近畿地域

### 〔中国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.1%、「グラスウール・ロックウール」が 20.1%、「その他」が 2.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.6%、「グラスウール・ロックウール」が 17.1%、「その他」が 5.5%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.4%、「グラスウール・ロックウール」が 32.7%、「その他」が 5.5%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.4%、「グラスウール・ロックウール」が 17.7%、「その他」が 11.4%であった。
- 中国は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
中国全体		H26 1,844	16.4	86.0	4.4	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	978	20.1	87.1	2.2	1.7
	床断熱(大引間充填)	777	17.1	86.6	5.5	1.4
	床断熱(根太+大引間充填)	165	32.7	82.4	5.5	2.4
床・基礎						
基礎断熱		367	17.7	86.4	11.4	1.4

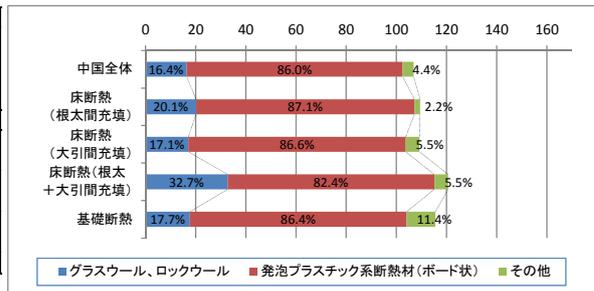


図 5-1-13h 同 中国地域

### 〔四国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.9%、「グラスウール・ロックウール」が 21.4%、「その他」が 5.3%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.1%、「グラスウール・ロックウール」が 17.1%、「その他」が 8.8%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.3%、「グラスウール・ロックウール」が 28.8%、「その他」が 15.2%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.7%、「グラスウール・ロックウール」が 18.7%、「その他」が 14.3%であった。
- 四国は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
四国全体		H26 869	17.4	83.3	6.6	1.5
断熱工法	床断熱(根太間充填)	514	21.4	82.9	5.3	1.9
	床断熱(大引間充填)	339	17.1	86.1	8.8	0.6
	床断熱(根太+大引間充填)	66	28.8	77.3	15.2	1.5
床・基礎						
基礎断熱		182	18.7	85.7	14.3	2.7

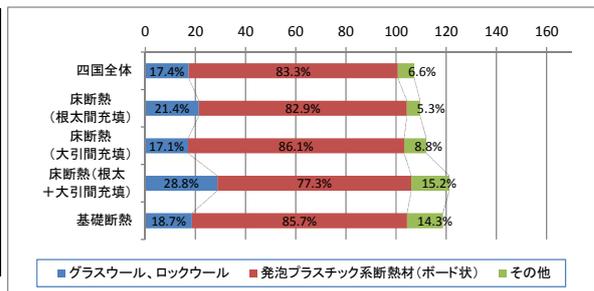


図 5-1-13i 同 四国地域

### 〔九州・沖縄地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.8%、「グラスウール・ロックウール」が 27.6%、「その他」が 3.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.9%、「グラスウール・ロックウール」が 25.1%、「その他」が 9.3%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 63.3%、「グラスウール・ロックウール」が 40.8%、「その他」が 12.2%であった。

- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.8%、「グラスウール・ロックウール」が 18.4%、「その他」が 15.9%であった。
- 九州・沖縄は、床・基礎のどの工法についても発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H26						
九州・沖縄全体	1,989	23.8	77.3	6.7	2.0	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	1,207	27.6	78.8	3.2	2.2
	床断熱 (大引間充填)	582	25.1	78.9	9.3	2.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	147	40.8	63.3	12.2	4.1
	基礎断熱	396	18.4	82.8	15.9	0.8

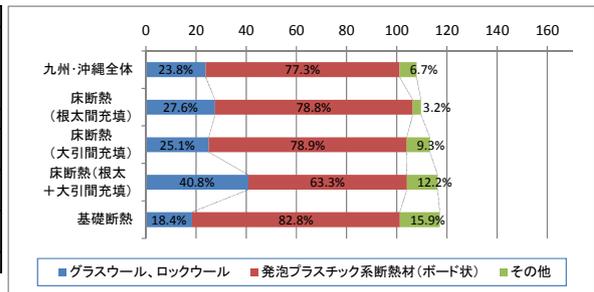


図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域

③床・基礎 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分 類	2種類 以上 記載	小 計	地域 合計	回答 数合 計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	どち らか 不明													
	セルローズ ファイバー	GW RW														
北海道	根太間	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	6	40	1,520
	大引間	1	1	1	2	1	2	0	0	1	0	1	0	10		
	根+大	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5		
	基礎	0	0	1	5	3	7	0	0	0	0	3	0	19		
東北	根太間	2	0	1	6	3	8	1	0	0	2	6	0	29	180	
	大引間	7	0	0	22	11	8	0	0	0	1	8	2	59		
	根+大	3	0	1	13	5	1	0	0	0	0	1	0	24		
	基礎	5	0	0	31	9	11	0	0	1	0	10	1	68		
関東	根太間	31	0	0	17	9	6	1	4	21	0	18	7	114	393	
	大引間	34	0	0	21	15	9	3	3	3	0	19	6	113		
	根+大	28	0	0	6	3	0	0	1	2	0	8	1	49		
	基礎	13	0	0	43	16	19	0	0	2	0	24	0	117		
北陸	根太間	1	0	0	10	12	10	0	0	2	0	7	0	42	152	
	大引間	7	0	0	7	17	7	0	0	2	0	5	2	47		
	根+大	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	1	0	8		
	基礎	1	0	0	23	6	16	0	0	0	0	8	1	55		
中部	根太間	18	0	0	15	8	8	14	0	3	0	7	2	75	271	
	大引間	19	0	1	18	20	13	5	2	7	0	8	2	95		
	根+大	8	0	0	9	2	2	3	0	0	0	0	0	24		
	基礎	8	0	0	33	8	8	2	0	1	0	14	3	77		
近畿	根太間	2	0	1	6	6	1	4	1	3	1	4	2	31	171	
	大引間	17	0	0	20	13	8	0	1	1	1	12	2	75		
	根+大	3	0	0	5	3	2	1	0	0	0	2	1	17		
	基礎	4	0	0	13	13	7	0	0	1	0	7	3	48		
中国	根太間	3	0	0	3	4	4	0	0	0	0	3	0	17	91	
	大引間	9	0	0	3	11	6	0	0	2	0	5	0	36		
	根+大	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	6		
	基礎	2	0	0	15	6	4	0	0	0	0	5	0	32		
四国	根太間	5	0	1	1	10	2	1	0	0	0	1	0	21	78	
	大引間	8	0	0	2	14	1	1	1	0	0	1	0	28		
	根+大	2	0	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	9		
	基礎	5	0	0	5	8	1	0	0	0	0	1	0	20		
九州・ 沖縄	根太間	8	0	0	7	5	4	1	0	2	0	5	0	32	144	
	大引間	14	0	0	12	11	3	0	0	0	0	5	0	45		
	根+大	6	0	0	3	1	2	0	0	0	0	1	0	13		
	基礎	4	0	0	30	9	8	0	0	0	0	3	0	54		
小計	根太間	70		3	67	57	45	22	5	33	3	51	11	367		
	大引間	116	1	2	107	113	57	9	7	16	2	64	14	508		
	根+大	53		1	42	21	15	4	1	2		14	2	155		
	基礎	42		1	198	78	81	2		5		75	8	490		
材料合計	281	1	7		414	269	198	37	13	56	5	204	35			
回答数合計	289														1,520	H26

図 5-1-13k 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

①「今まで正しく施工していなかったところ」

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、「気流止めの施工」が38.9%、「筋かい部への施工」が28.8%、「浴室への施行」が19.1%、「壁への施工」が16.2%であった。

《地域別》

- 北海道地域は、「気流止めの施工」が8.6%で最多、他の項目は0.8%(天井への施工)~5.6%(筋かい部への施工)、無回答が68.2%であった。「今まで正しく施工していなかったところ」への回答率は他地域と比較して大幅に少ない。
- その他の地域では、いずれの地域についても「気流止めの施工」が最多で34.8%(四国)~43.3%(北陸)、次いで「筋かい部への施工」が24.4%(四国)~33.3%(中国)であった。

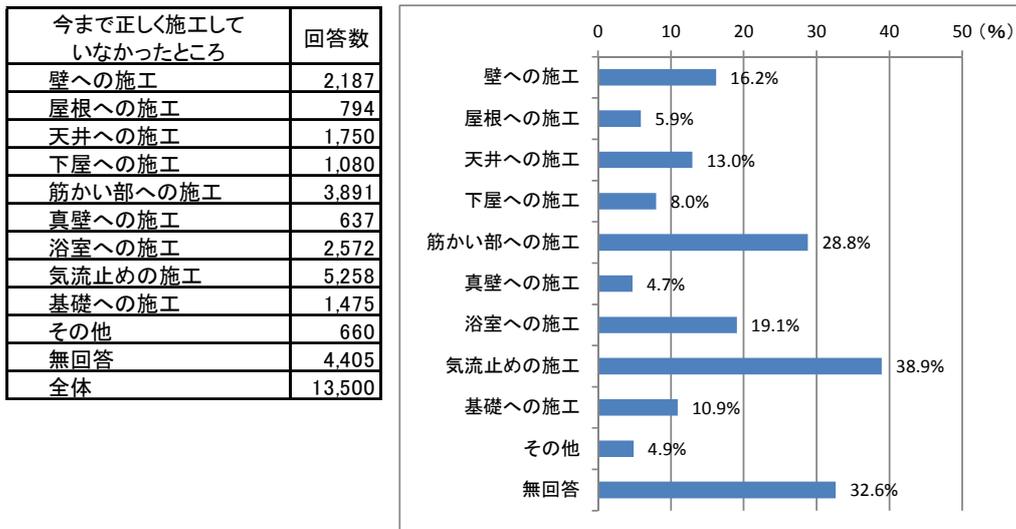


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %											
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答	
全体	13,500	9,095	67.4	16.2	5.9	13.0	8.0	28.8	4.7	19.1	38.9	10.9	4.9	32.6	
北海道	396	126	31.8	3.3	2.3	0.8	4.3	5.6	2.0	4.0	8.6	1.3	8.8	68.2	
東北	1,691	1,077	63.7	15.7	5.0	11.4	6.7	27.7	4.7	14.4	34.9	7.0	4.7	36.3	
関東	3,465	2,333	67.3	15.9	5.8	13.0	8.5	29.4	5.4	21.9	40.3	11.8	4.7	32.7	
北陸	1,056	780	73.9	17.0	5.5	15.5	7.6	30.9	4.1	18.8	43.3	9.4	6.3	26.1	
中部	2,168	1,546	71.3	17.2	6.1	13.4	8.0	30.5	5.3	18.3	43.1	10.9	4.8	28.7	
近畿	1,430	966	67.6	14.8	5.7	14.3	8.9	28.0	3.6	20.0	38.1	11.5	5.9	32.4	
中国	1,216	908	74.7	19.8	6.7	17.2	9.1	33.3	5.8	21.4	42.6	13.3	3.5	25.3	
四国	721	436	60.5	12.1	5.3	10.5	6.4	24.4	2.5	17.5	34.8	10.8	5.1	39.5	
九州・沖縄	1,357	923	68.0	19.7	7.9	11.9	8.7	30.4	4.9	21.0	39.0	14.8	3.5	32.0	

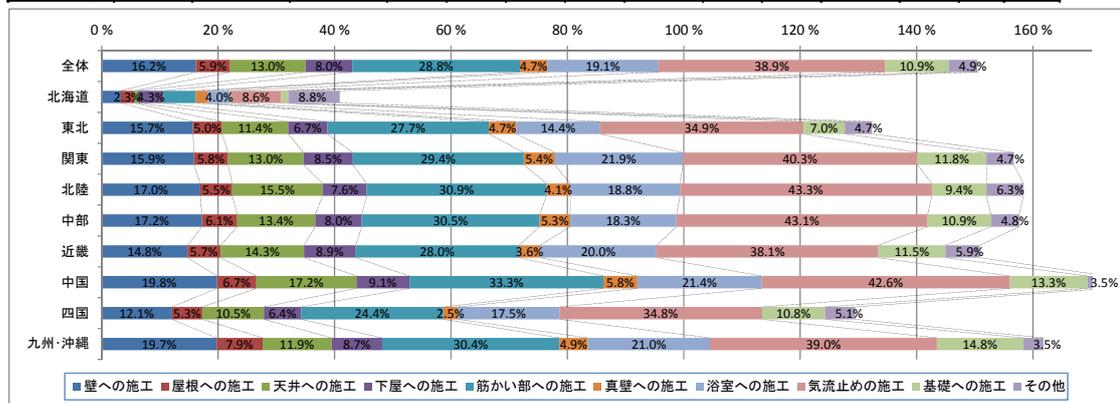


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

今まで正しく施工していなかったところ「その他」	H26 テキスト	回答数	%
施工できている	—	333	2.5%
殆どできていない	—	26	0.2%
気密・防湿施工	基4章2.3-4	25	0.2%
通気層	基4章2.6	5	0.0%
気流止め	基4章2.7	3	0.0%
基礎	施1.1	2	0.0%
特殊な部分の基礎断熱	施1.2	18	0.1%
床	施2.1	6	0.0%
床と壁の取合い部	施2.2	1	0.0%
外気に接する床	施2.3	1	0.0%
外壁	施3	0	0.0%
開口部まわり	施4	16	0.1%
天井	施5.1	2	0.0%
壁と天井の取合い部	施5.2	1	0.0%
屋根	施6	1	0.0%
下屋	施7	0	0.0%
配線配管まわり他	施8	119	0.9%
リフォーム	基6章	0	0.0%
取合い	—	6	0.0%
DVD パルコニー	—	2	0.0%
未分類	—	19	0.1%
不明	—	1	0.0%
その他記入有り合計		587	4.3%
その他全体		660	4.9%
全体		13,500	100.0%

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
施工できている	333
いつも通りなので。又ガラスウールは使用しません	1
すべき時はしていた	1
だいたいOKです	1
やってみず	1
既に養生済み	1
気密断熱パネル使用の為ほぼできています。	1
現状でクリアできている。問題なし。	1
正しく施工	1
大丈夫です	1
特になし	324
殆どできていない	26
ほとんど	1
ほとんど全て	2
色々ほとんど	1
正しいという観点で見れば全て	1
全てに関して一部違う	1
全体	1
全体的に干渉する部分の細かい施工が出来ていない!	1
全部	18
気密・防湿施工	25
下屋根の気密化	1
開口部、気密テープ	1
気密シート	1
気密シートの施工	1
気密シール	1
気密テープ ポリエチレンフィルム	1
気密テープの貼る位置	1
気密施工	1
気密層(気密処理)、点検口	1
現状気密シートは施工していないので、今後どうするか検討したい。	1
耳出し施工	1
充填断熱に変更になった場合の気密及び通気止め	1
床に気密シートを伸ばす	1
壁一床部分の防湿フィルムの扱い	1
別張りフィルム	1
防湿シート	1
防湿シートの端部処理	1
防湿シートを一度はがして施工	1
防湿シート施工	1
防湿フィルム	2
防湿フィルムの考え方	1
防湿工法が徹底できていなかった	1
防湿層、柱、間柱への構止め	1
防湿層の連続施工、開口部まわり	1
通気層	5
ビルインガレージの通気	1
階下に部屋のあるバルコニーの通気の防湿	1
外に通気胴線を打つ。今は金具	1
外壁通気	1
通気層にハツカネズミが入った	1
気流止め	3
間仕切り部への施工	1
気流止め	1
気流止めを通し、中へ間柱を取付けると効率良いと思う	1
基礎	2
気密バックキ	1
人通りと基礎内側、現工務店	1
特殊な部分の基礎断熱	18
・UBの基礎バックキ	1
UBの一部	1
玄関	5
玄関まわり	2
玄関周りの断熱施工	1
玄関土間	4
玄関部	2
土間	1
枠組工法なので、玄関のバックキの入れ方	1
床	6
床	1
床への施工	4
床下	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
床と壁の取合い部	1
壁と床との30mmの返し	1
外気に接する床	1
外気に接する床	1
開口部まわり	16
サッシ、スパーサー部の断熱材施工	1
サッシテープ止め方法	1
サッシと開口部のすき間への充填	1
サッシまわり	2
開口サッシ調整隙間	1
開口した部分	1
開口部	2
開口部(一部)	1
開口部廻りの施工	2
開口部施工	1
設備及び開口部	1
窓まわり	2
天井	2
小屋裏の換気	1
天井先行	1
壁と天井の取合い部	1
天壁のとり合い部	1
屋根	1
幹天	1
配線配管まわり他	119
コンセント	1
コンセント、スイッチの防湿施工	1
コンセント、配管	1
コンセント、配管まわり	1
コンセントBOX	3
コンセントBOXへの施工(外部に面する部分)	1
コンセントプレートや換気用貫通口	1
コンセントへの施工	1
コンセントまわり	2
コンセント他	1
コンセント等	1
コンセント配管廻り	1
コンセント部分	1
コンセント部分の施工	1
スイッチBOX	1
スイッチBOX廻り	1
スイッチBOX廻り、配管部	1
防湿シートの施工(桁下)	1
スリーブやコンセントまわりの気密措置、基礎内側断熱の立上り折り返し	1
スリーブ配管の処理	1
ダクト、コンセント	1
ダクト、コンセント部等点検口	1
ダクトの断熱	1
ダクトまわりなど設備部分	1
ダクト等貫通部	1
パイプ、配管	1
羽子板ボルト等への充填	1
外壁を貫通する換気ダクト	1
換気ダクト廻りのテープ処理	1
貫通処理	2
貫通部	3
貫通部分	1
気密テープの使用、配管部への施工	1
金物	1
金物の発泡	1
取合部(設備など)	1
水道 水道まわり	1
設備	3
設備、金物廻り	1
設備、電気	1
設備、電気配管、配線部分	1
設備、電気配管まわり	1
設備ダクトまわりの断熱	1
設備との取合部分	3
設備の処理	1
設備まわり	4
設備や電気配線	1
設備貫通廻り	1
設備貫通部	1
設備関連	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他つづき)	
設備全般	1
設備配管	3
設備配管、配線	1
設備配管コンセント等の断熱欠損	1
設備配管そのものへの断熱施工	1
設備配管の断熱	1
設備配管への施工	1
設備配管まわり	2
設備配管貫通部の発泡断熱材の充填	1
設備配管関係	1
設備配管部	1
設備部分	1
天井点検口、床下点検口	2
天井点検口の施工	1
天井点検口の断熱施工	1
点検口	1
点検口まわり	1
点検口や配管部	1
電気、開口部廻り	1
電気、水道等開口部	1
電気、配管まわり	1
電気BOXへの気密	1
電気コンセントまわり	1
電気やパイプ貫通部	1
電気設備への取合	1
電気配線、配管の気密テープはり	1
電気配線部	1
配管	1
配管、スイッチ、コンセント廻り	1
配管、ダクト等取合	1
配管、配線まわり	2
配管、配線まわりの気密	1
配管、配線部	1
配管まわり	6
配管まわり気密工事	1
配管まわり等	1
配管貫通部	1
配管貫通部の処理	1
配管貫通部分、コンセント、スイッチ部の気密	1
配管気密テープ貼り	1
配管取合	1
配管配線etc	1
配管部、気密、断熱処置	1
配線配管廻りの施工	1
付加断熱時のコンセント	1
防水工事、コンセント、ダクトなどの気密テープ	1
取合い	6
カベ、天井床などの取合い部	1
かべ隅	1
取合部	2
床、壁、天井、屋根の各接続部分	1
床と壁、壁と天井のとりあい部	1
DVD パルコニー	2
パルコニー下(室内)フィルム施工	1
ペランダ	1
未分類	19
2×4なのでなんともいえない	1
2FUBの場合	1
階段最下段	1
外張り断熱	1
外壁と2F床の所	1
気密層と断熱層の区分	1
現場ごとに異なる	1
現場による	1
現場の間でないので回答致しかねます	1
現場を見ていない	1
工事内容次第での施工なので	1
なんともいえない	1
施工をしていない	1
省エネ等級4は厳しく監理した	1
精度の問題有	1
土台先貼り	1
分かりません	3
未経験につき不明	1
不明	1
初めての受講で施工資格なし	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

②「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、「筋かい部への施工」が34.2%、「気流止めの施工」が25.7%であった。

《地域別》

- 北海道地域は、「下屋への施工」が12.9%で最多、「気流止めの施工」が9.8%、無回答が54.8%であった。「難しい・やりにくいと感じたところ」も「今まで正しく施工していなかったところ」と同様、回答率は他地域と比較して大幅に少ない。
- その他の地域では、いずれの地域についても、「筋かい部への施工」が最多で28.8%(四国)～39.0%(中国)、次いで「気流止めの施工」が19.5%(東北)～30.4%(北陸)となっている。

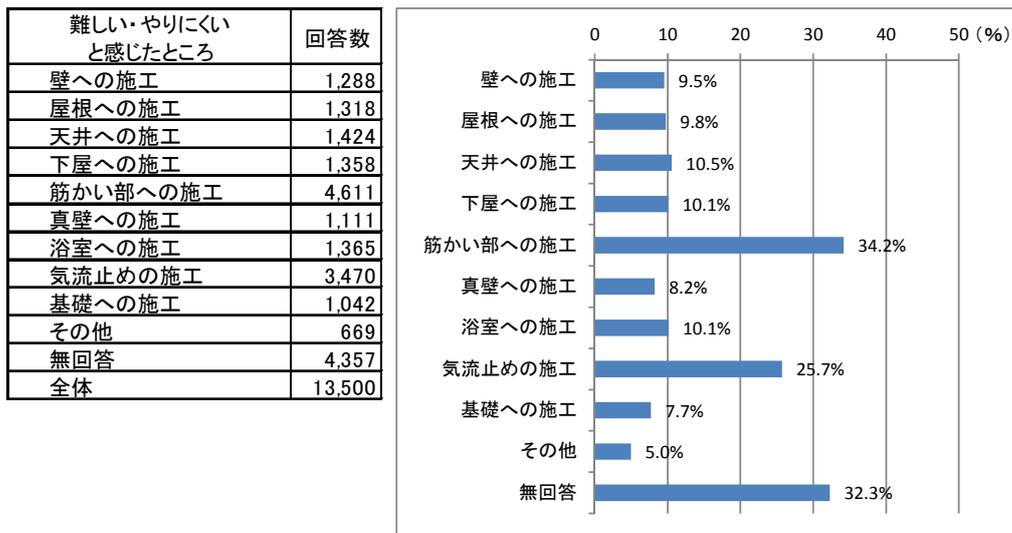


図 5-2-2a 難しい・やりにくいと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,500	9,143	67.7	9.5	9.8	10.5	10.1	34.2	8.2	10.1	25.7	7.7	5.0	32.3
北海道	396	179	45.2	3.0	7.6	2.5	12.9	8.3	4.8	8.1	9.8	1.5	7.3	54.8
東北	1,691	1,101	65.1	8.5	9.3	8.2	9.2	33.8	7.7	7.4	19.5	4.1	4.7	34.9
関東	3,465	2,331	67.3	9.0	9.2	10.2	9.4	35.8	9.8	10.5	27.1	8.5	5.5	32.7
北陸	1,056	778	73.7	10.6	10.3	13.8	10.2	36.2	7.9	9.7	30.4	6.9	5.0	26.3
中部	2,168	1,539	71.0	10.3	9.6	11.9	11.8	35.4	9.6	11.1	29.9	8.5	4.5	29.0
近畿	1,430	974	68.1	9.7	9.2	11.0	10.3	34.1	5.9	10.9	25.6	9.2	5.2	31.9
中国	1,216	886	72.9	11.4	12.2	12.8	10.0	39.0	7.9	10.8	28.0	8.5	3.2	27.1
四国	721	438	60.7	7.4	8.0	10.0	7.6	28.8	6.2	10.0	22.7	8.5	5.3	39.3
九州・沖縄	1,357	917	67.6	11.4	11.4	9.7	10.2	32.9	7.6	10.6	23.7	8.6	4.9	32.4

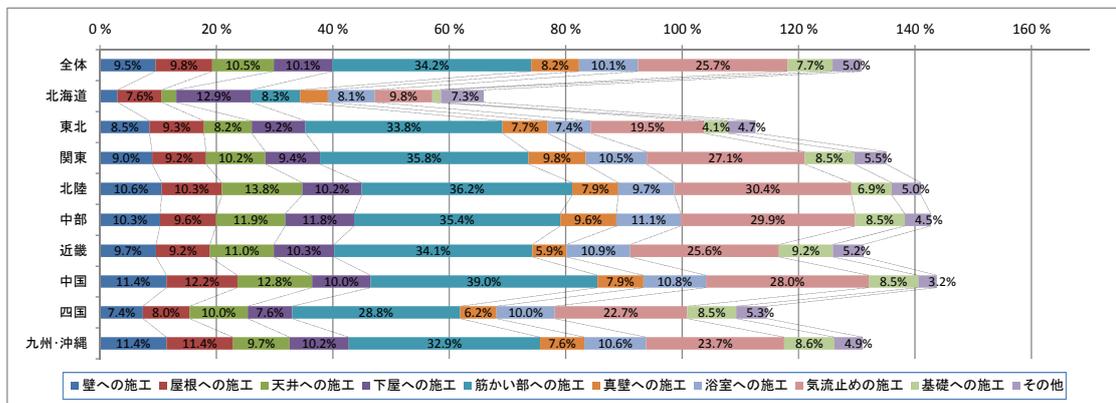


図 5-2-2b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

今まで正しく施工して いなかったところ「その他」	H26 テキスト	回答数	%
感じない	—	250	1.9%
殆ど	—	30	0.2%
気密・防湿施工	基4章2.3-4	25	0.2%
通気層	基4章2.6	2	0.0%
気流止め	基4章2.7	4	0.0%
基礎	施1.1	0	0.0%
特殊な部分の基礎断熱	施1.2	10	0.1%
床	施2.1	3	0.0%
床と壁の取合い部	施2.2	0	0.0%
外気に接する床	施2.3	4	0.0%
外壁	施3	13	0.1%
開口部まわり	施4	16	0.1%
天井	施5.1	3	0.0%
壁と天井の取合い部	施5.2	5	0.0%
屋根	施6	3	0.0%
下屋	施7	1	0.0%
配線配管まわり他	施8	200	1.5%
リフォーム	基6章	2	0.0%
取合い	—	8	0.1%
DVD バルコニー	—	3	0.0%
未分類	—	23	0.2%
不明	—	9	0.1%
その他記入有り合計		614	4.5%
その他全体		669	5.0%
全体		13,500	100.0%

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
感じない	250
いつも通りなので、又ガラスウール は使用しません	1
正しく施工	1
断熱施工は基本中の基本	1
特になし	244
特に普通の施工と考えます	1
別にもありません	1
別になし	1
殆ど	30
すべて難しいがお客の為に しっかり断熱したい	1
ほぼ全部	1
全てにおいて難しい	1
全体的に干渉する部分の細かな 施工が出来ていない!	1
全部	26
気密・防湿施工	25
ポリフィルムの先張工法が めんどくさいです。	1
横綱線がある場合、断熱材の防湿 フィルムをはがさなくてはならない所	1
屋根の棟木、母屋の気密、 火打梁の気密	1
気密シート施工	2
気密シート施工時のシート ジョイント部縦貫が面倒	1
気密シール	1
気密テープ施工	3
気密と結露の矛盾	1
気密の取り方、C値0.2	1
気密関係	1
気密工事	1
結露の認識	1
天井の別張り防湿シート	1
防湿	1
防湿フィルム	1
防湿フィルムのお考え、設備の施工	1
防湿フィルムへの取付	2
防湿施工	1
防湿層の連続施工、開口部まわり	1
防湿層の連続性	1
通気層	2
外壁通気	1
通気と断熱	1
気流止め	4
間仕切り	1
間仕切り壁内の通気止めに 手間がかかる	1
気流止め	1
気流止め、手間い	1
特殊な部分の基礎断熱	10
UB周囲	1
玄関、土間廻り、設備関係	1
玄関の室内側、基礎立上り までの断熱	1
玄関の扉部分と基礎断熱材の取合い	1
玄関まわり	2
玄関周りの断熱施工	1
玄関土間	1
玄関部	1
玄関部、電気設備廻り	1
床	3
根太が直交している所	1
床への施工	1
床板への施工	1
外気に接する床	4
外気に接する床	3
外部の床等(天井の納)	1
外壁	13
GWの筋い部	1
構脚ぶちのときの施工	1
構脚の施工	1
下地補強を設ける壁部分	1
筋い部	3
大屋根～外壁、下屋～外壁の 取合い部	1

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
(外壁つづき)	
外壁	1
荒かきを付ける時 外壁モルタルの時	1
土壁を残して、壁面への施工 が難しい。	1
胴縁への施工	1
胴縁	1
開口部まわり	16
サッシまわりのすき間	1
サッシ廻り バルコニー下	1
開口周辺、筋かい	1
開口部	3
開口部(一部)	1
開口部施工	5
開口部周辺	3
開口部処理	1
天井	3
勾配天井施工	2
吊木回りの施工	1
壁と天井の取合い部	5
天井と壁の納まり	1
天井下地先行の場合の壁への施工	1
天井のとり合い部	1
壁と天井の取合部分	2
屋根	3
小屋で合板が必要な時のケタ付近	1
棟への通気層のとりかた、 片流れの場合	1
母屋上と野地板の間の断熱施工	1
下屋	1
外壁から下屋、下屋から2F外壁の 通気層防水納まり	1
配線配管まわり他	200
AC冷暖房が防湿部を通る部分	1
キグ取付時の施工	1
コンセント	2
コンセント スイッチ 配管	1
コンセント ダクトまわり	1
コンセント 電気設備	1
コンセント、カンキセン	1
コンセント、スイッチ廻り	1
コンセント、スリーブ止め	1
コンセント、配管	1
コンセント、配管廻り	1
コンセントダクト等の処理	1
コンセントBOX	2
コンセントまわり	7
コンセントやスリーブの気密テープ処理	1
コンセントやダクト廻りの施工	1
コンセント取合	2
コンセント他	1
コンセント部分	2
スイッチ、コンセントBOX廻り等の施工	1
スイッチコンセント部	1
スリーブ、デンキBOX	1
スリーブとかコンセント	1
スリーブや配線、コンセント	1
ダクトなどのテープ貼り	1
ダクトまわりなど設備部分	1
ダクト類	2
外壁設備部分	1
各設備配管への施工	1
貫通処理	2
貫通部、コンセント、SW部断熱処理	3
器具廻り	1
空気をボックス等 埋め込み部材等	1
床断熱工法における点検口の断熱	1
床等の配管配線の部	1
設備	4
設備 配管廻り	1
設備(コンセント等)回り	1
設備(電気、給排水の施工)	2
設備、金物廻り	1
設備、電気	1
設備、電気配管、線の気密のとり方	1
設備、電気配管、配線部分	1
設備、電気配管まわり	2

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他つづき)	
設備、電気配線等の外回りのからみ	1
設備スリーブ、換気扇ダクト	1
設備との取合部分	5
設備の貫通部処理	1
設備の取合部の施工	1
設備の断熱	1
設備まわり	8
設備まわりの気密処理	1
設備や電気配線	1
設備開口部	1
設備貫通部	3
設備関係	4
設備関係の施工	1
設備関係の取合	1
設備関連の処理	1
設備空調開口部の内部側気密	1
テープの処理	1
設備系のまわりの断熱	1
設備系統	1
設備工事の断熱施工	2
設備周囲	1
設備全般	1
設備等の処理	2
設備配管	4
設備配管、配線廻り	1
設備配管の断熱	1
設備配管への施工	1
設備配管まわり	5
設備配管等の細かい充填	1
設備配管等の断熱気密	1
設備配管等の断熱材、 気密材貫通部処理(施工)	1
設備配管部の処置	1
設備部分	4
設備類	1
電気、水道まわり	1
電気、開口部廻り	1
電気、水道等設備の断熱施工	1
電気、設備	1
電気、設備取合	1
電気、設備配管まわり	1
電気、配管まわり	1
電気BOX スリーブ	1
電気BOX、ダクト廻り	1
電気スイッチ	1
電気のFS設備	1
電気の仕込みのからみ	1
電気の配線	1
電気ボックスなどがらむ部分の気密	1
電気ボックス類	1
電気やパイプ貫通部	1
電気設備のスイッチボックス	1
コンセント廻りの納め	1
電気等	1
電気配線	1
電気配線 配管 その他設備配管	1
電気配線、配管関係	1
電気配線処理	1
配管	2
配管 配線部	1
配管(CD管の施工)	1
配管、コンセント取合い	1
配管、ダクト取合い	1
配管、ダクト等取合	1
配管、配線まわり	2
配管、配線部分	3
配管、配線部分の施工	1
配管まわり	7
配管まわり気密工事	1
配管廻り	4
配管廻りの充填	1
配管廻り等の施工	1
配管貫通部への施工	1
配管気密施工	1
配管取合	1
配管周囲等の施工	1
配管等の回りの断熱	1

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他つづき)	
配管等の気密層、防湿層の処理	1
配管配線etc	1
配管配線まわりの施工	1
配管部	1
配管部、気密、断熱処理	1
配管部の気密	1
配管部等	1
配管類、スリーブ類の取合仕舞	1
配線、配管まわりの断熱、気密	1
配線、配管まわり	3
配線、配管まわりその他	1
配線、配管まわりの施工	1
配線コンセント	1
配線配管からみ	1
配線配管まわりの施工	1
配線配管廻りの施工	1
配線配管廻りの断熱	1
付加断熱時の貫通部	1
壁、床貫通部の処理	1
壁、天井貫通部	1
防水工事、コンセント、ダクト などの気密テープ	1
リフォーム	2
リフォームの部分改修に伴う断熱施工	1
改修時の気流止め	1
取合い	8
かべ、天井床などの取合い部	1
タイル取合	1
取合い部	2
取合部	2
床、壁など各取合部分	1
複雑な取合いが出た場合の施工	1
DVD バルコニー	3
ベランダ 下屋	1
ルーフバルコニー	1
階下に室のあるバルコニーの 通気・防湿	1
(吹付断熱・床合板が標準のため)	
未分類	23
①で訂正しなければいけないところ	1
2FUBの場合	1
FA壁と基礎部分、既設との取合	1
あらゆる部位のジョイント部	1
外壁断熱全般	1
各部きめ細やかな部分の 施工に対して	1
基礎～土合、副差・桁から構架材	1
現場の間ではないので 回答致しかねます	1
工程、工期	1
施工を予定がない 時間とお金がかかると思う	1
充填はめんどろすね	1
充填断熱を完璧に施工するのは ムリがあるような...	1
職人の手間、予算の説明	1
真壁	1
真壁時はグラスウール商品選択必要	1
繊維系断熱材の施工	1
大工手間が心配	1
注意しないとケームになりそうな 納まりも施工例として出ている	1
天井を最初に作ればよいのでは?	1
難しきより手間の多さ	1
壁、真壁はいつもやりにくい	1
壁、土台、引張ボルト部	1
不明	9
マイド	1
住宅性能協会	1
初めての受講で施工資格なし	1
設計者	1
金銭にめんどろすね 他設備関係	1
組合	1
同上	2
未経験につき不明	1

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述

**質問7 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。**

- 今回の講習内容で施工する場合の手間については「坪あたり人工が増加する」が最も多く 44.8%、「ほとんど変わらない」が 27.9%、「坪あたり人工が減少する」が 0.6%であった。

- 増加の平均は 1.4 人工。

《職種別》

- 「坪あたり人工が増加する」は全体と比較して、「施工」が 52.6%、「現場管理」が 48.2%と高く、「設計」は 34.8%と低い。

- 「ほとんど変わらない」は全体と比較して、「施工」は 21.9%と低く、「現場管理」が 33.4%、「設計」が 35.5%と高い。

《地域別》

- 「ほとんど変わらない」は、北海道の 64.1%、東北の 34.9%、北陸の 31.4%が全体より高い。

- 「坪あたり人工が増加する」は、北海道の 17.4%、東北の 38.0%、四国の 37.7%が全体と比較して低い。

- 「坪あたり人工が減少する」はいずれの地域も 0.0% (北海道)～0.9% (北陸他)と低い。

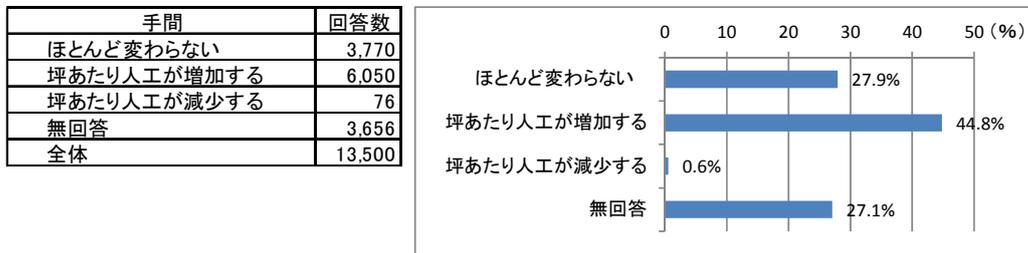


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の手間

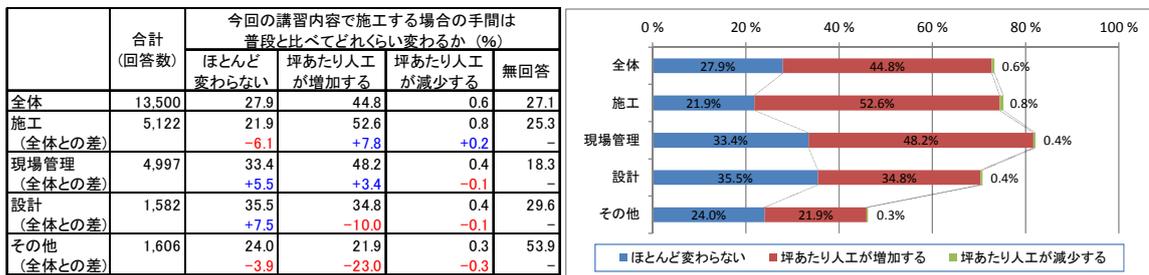


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

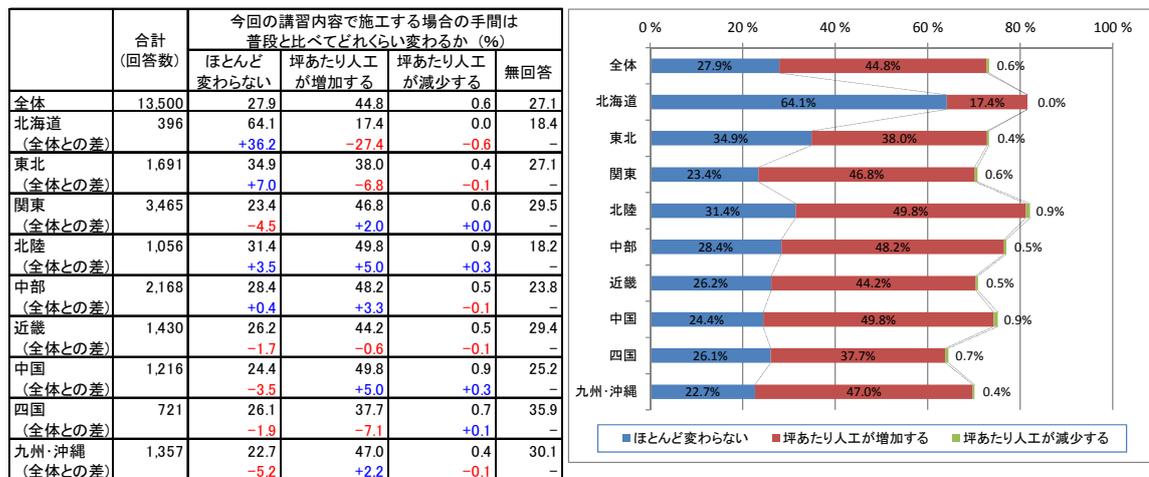


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の手間

質問8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

①屋根・天井

- 「屋根・天井」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の65.5%、「仕上表」の56.4%が多く、「特記仕様書」が34.3%、「平面図」が9.3%、「平面詳細図」が12.7%であった。

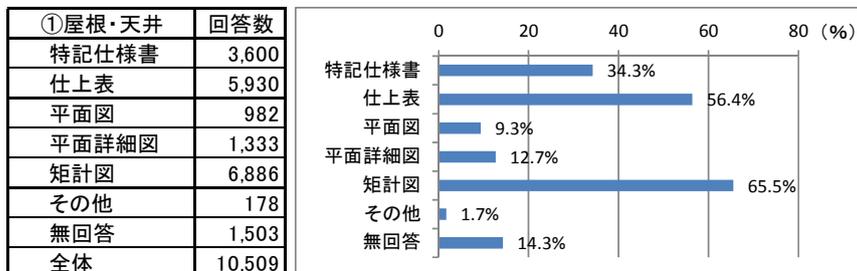


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」	回答数	%
その他意匠図	66	0.6%
仕様関連図書	3	0.0%
構造関連図書	23	0.2%
設備関連図書	0	0.0%
断熱関連図書	6	0.1%
施工関連図書	4	0.0%
各種申請図書	2	0.0%
設計書	1	0.0%
見積書	9	0.1%
未分類	18	0.2%
その他記入有り合計	132	1.3%
その他全体	178	1.7%
全体	10,509	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
その他意匠図	66
屋根伏図	3
屋根伏図、床輪せず	1
外部仕様表	1
外部詳細図	1
詳細図	13
詳細図等	1
断面図	7
天井伏図	3
配置図	2
標準設計図集	1
部分詳細図	13
凡例記入	1
立面図	18
立面図 屋根伏図	1
仕様関連図書	3
会社内仕様書	1
仕様書	2
構造関連図書	23
フレカット図	1

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
(構造関連図書つづき)	
基礎伏図	1
構造計算書	1
構造図	1
小屋伏	1
伏図	17
伏図(小屋)	1
断熱関連図書	6
Q値等計算書	1
外皮算定資料	1
断熱ハル割付図 Q値、C値計算書	1
断熱仕様の図面作成	1
断熱図	2
施工関連図書	4
施工図	2
断熱材施工位置図	1
標準施工要領	1
各種申請図書	2
性能評価図書	1
長期申請書	1

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
設計書	
積算表	1
見積書	9
見積書	9
未分類	18
チェックシート	1
マニュアル	5
概要書	1
型式	1
見積書兼仕上詳細内訳+平・立面図	1
現場にて指示	1
仕組詳細図	1
施工打合せによる	1
伝達する(現場の方に)	1
特になし	3
分らない	1
別途	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井 「その他」記述

質問8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

②外壁

- 「外壁」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の65.0%、「仕上表」の55.3%が多く、「特記仕様書」が33.0%、「平面図」が9.1%、「平面詳細図」が17.1%であった。

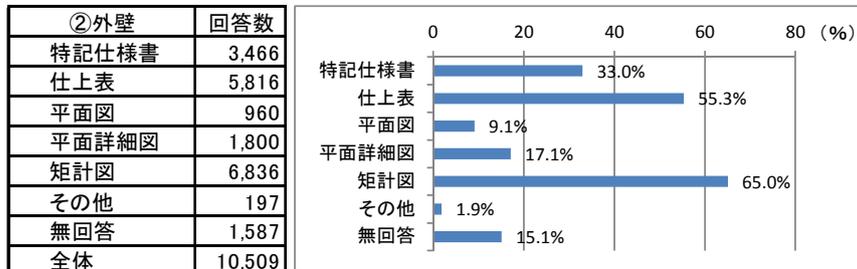


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」	回答数	%
その他意匠図	95	0.9%
仕様関連図書	3	0.0%
構造関連図書	12	0.1%
設備関連図書	0	0.0%
断熱関連図書	9	0.1%
施工関連図書	4	0.0%
各種申請図書	1	0.0%
設計書	1	0.0%
見積書	9	0.1%
未分類	17	0.2%
その他記入有り合計	151	1.4%
その他全体	197	1.9%
全体	10,509	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
その他意匠図	95
開口部詳細図	1
外部仕様表	1
詳細図	14
断面図	6
標準設計図集	1
付加断熱の場合平面詳細	1
部細図	1
部分詳細図	18
凡例記入	1
立面図	50
立面図 屋根伏図	1
仕様関連図書	3
会社内仕様書	1
仕様書	2
構造関連図書	12
構造計算書	1
構造伏図	1

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
(構造関連図書つづき)	
伏図	10
断熱関連図書	9
Q値等計算書	1
外皮算定資料	1
換気、断熱図	1
断熱ハネ割付図 Q値、C値計算書	1
断熱仕様の図面作成	1
断熱図	2
断熱配置図	1
付加断熱要領図	1
施工関連図書	4
施工図	2
断熱材施工位置図	1
標準施工要領	1
各種申請図書	1
長期申請書	1

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
設計書	1
積算表	1
見積書	9
見積書	9
未分類	17
チェックシート	1
マニュアル	5
概要書	1
型式	1
見積書兼仕上詳細内訳+平・立面図	1
現場にて指示	1
現場の方に伝達する	1
施工打合せによる	1
特になし	3
分らない	1
別途	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁 「その他」記述

質問8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

③床・基礎

- 「床・基礎」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の63.8%、「仕上表」の52.3%が多く、「特記仕様書」が32.6%、「平面図」が8.8%、「平面詳細図」が11.5%であった。
- その他の内、主に基礎に関する図面を中心とした構造関連図書が、全体の4.6%であった。

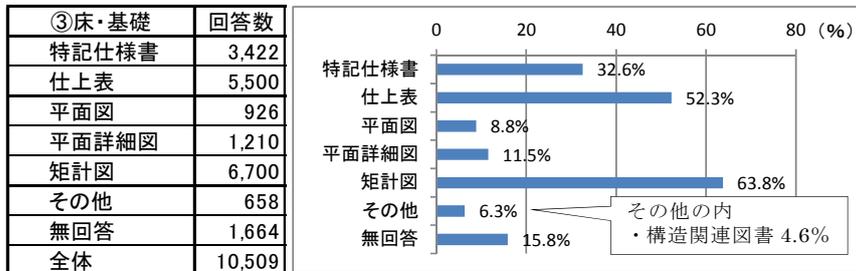


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」	回答数	%
その他意匠図	54	0.5%
仕様関連図書	3	0.0%
構造関連図書	487	4.6%
設備関連図書		0.0%
断熱関連図書	7	0.1%
施工関連図書	4	0.0%
各種申請図書	1	0.0%
設計書		0.0%
見積書	9	0.1%
未分類	14	0.1%
その他記入有り合計	579	5.5%
その他全体	658	6.3%
全体	10,509	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
その他意匠図	54
外部仕様表	1
詳細図	14
断面詳細図	2
断面図	6
標準設計図集	1
部分詳細図	16
凡例記入	1
立面図	13
仕様関連図書	
会社内仕様書	1
仕様書	2
構造関連図書	487
基礎詳細図	15
基礎図	44
基礎図 部分詳細図	1
基礎断熱の場合基礎伏図	1
基礎断面詳細図	1
基礎断面図	10
基礎断面図 基礎伏図	1
基礎断面部分詳細図	1
基礎伏図	297
基礎伏図 基礎詳細図	3
基礎伏図 基礎断熱の場合	1
基礎伏図 基礎断面図	3
基礎伏図 基礎要領図	1
基礎伏図 構造図	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
(構造関連図書につき)	
基礎伏図 断面図	1
基礎伏図 土台伏図	1
基礎伏図(基礎断熱の場合)	1
基礎伏図、基礎詳細図	3
基礎伏図、基礎断面図	3
基礎伏図、構造図	1
基礎伏図、床伏図	2
基礎伏図、詳細図	4
基礎伏図、断面詳細図	1
基礎伏図、断面図	1
基礎伏図等	1
基礎伏図断面	2
構図(基礎詳細)	1
構造計算書	1
構造図	6
構造図(基礎伏図)	1
構造伏図	2
床下断熱の場合のみ基礎伏図	1
床伏図	3
床伏図、基礎伏図	5
土台伏図	1
伏図	62
伏図(床・基礎)	1
伏図、積算表	1
伏図、断面図	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
断熱関連図書	7
Q値等計算書	1
外皮算定資料	1
断熱ハネル割付図 Q値、C値計算書	1
断熱仕様の図面作成	1
断熱図	2
断熱配置図	1
施工関連図書	4
施工図	2
断熱材施工位置図	1
標準施工要領	1
各種申請図書	1
長期申請書	1
見積書	9
見積書	9
未分類	14
チェックシート	1
マニュアル	4
型式	1
見積書兼仕上詳細内訳+平・立面図	1
現場の方に伝達する	1
施工打合せによる	1
特になし	3
分らない	1
別途	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎 「その他」記述

**質問9 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入下さい。(複数回答)**

- 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が最も多く66.4%、「平成4年基準(新基準・等級3)」が16.6%、「昭和55年基準(旧基準・等級2)」が2.3%、「昭和55年基準以下」は0.6%であった。

《地域別》

- 「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」は全体と比較して、北海道が8.6ポイント、東北が5.9ポイント、北陸が7.8ポイント、近畿が2.7ポイント高い。

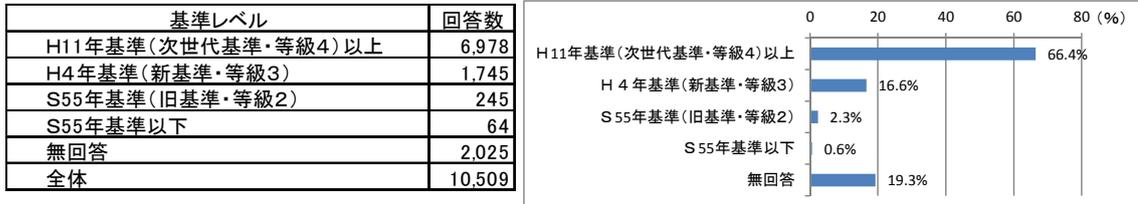


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

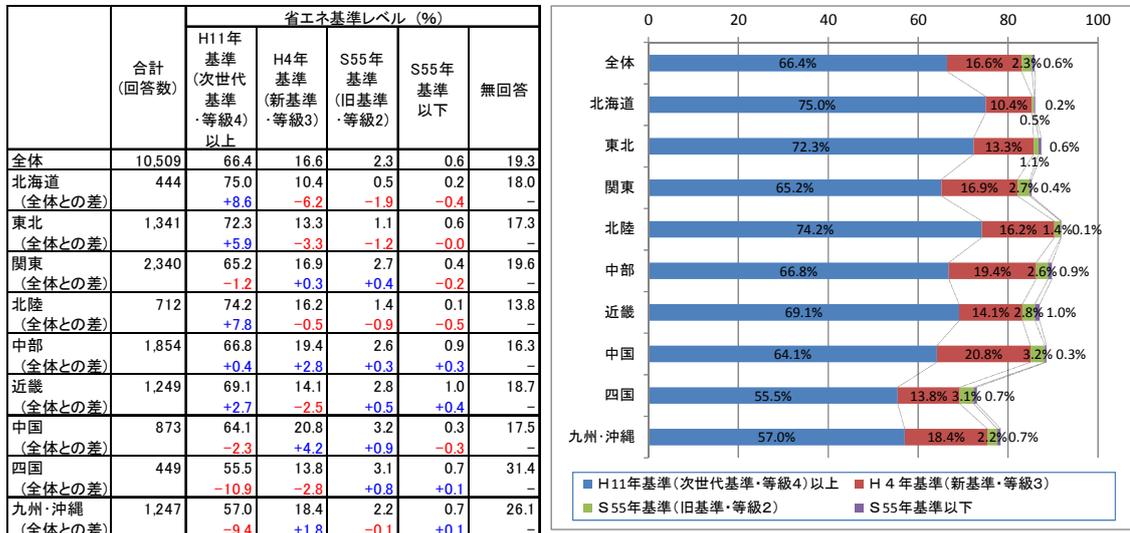


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

**質問10 計算したことのあるものについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)**

- 計算したことのあるものについては、「Q値(熱損失係数)」が最も多く36.8%、「年間冷暖房負荷」が13.9%、「U値(部位熱貫流率)」が20.1%、「R値(熱抵抗値)」が21.1%であった。

《地域別》

- 北海道は、「年間冷暖房負荷」の5.5ポイント、「Q値」の29.2ポイント、「U値」の9.4ポイント、「R値」の2.8ポイントと全ての項目で全体より高い。特に「Q値」は際立っている。
- 北陸も全ての項目で全体より高い。
- 四国、九州・沖縄は全項目で全体より低い。

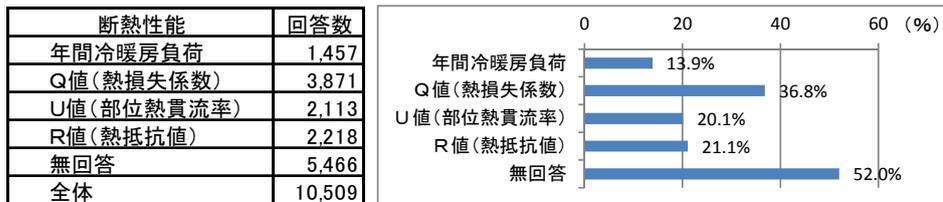


図 5-6a 計算したことのある断熱性能

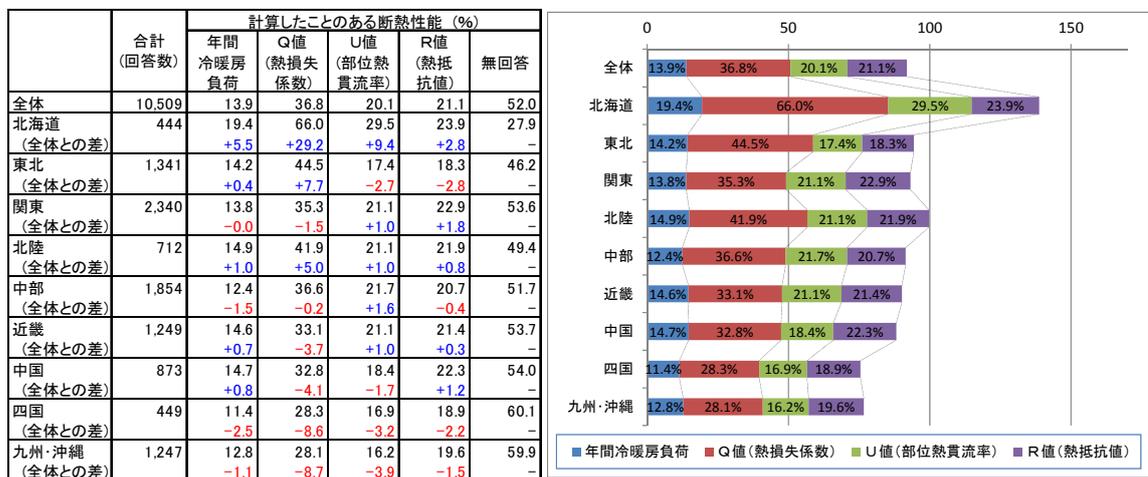


図 5-6b 地域別の計算したことのある断熱性能

## 質問 1 1 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答)

- 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 40.0%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 25.0%、「公的講習会・仕様書から」が 25.2%であった。

### 《職種別》

- 「施工」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 33.6%で最も多い。「職場内研修から」が 24.2%で他の職種と比較して割合が高い。
- 「現場管理」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多く 46.3%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 27.1%、「公的講習会・仕様書から」が 24.2%であった。
- 「設計」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 41.9%で最も多い。「公的講習会・仕様書から」は 34.2%、「建築雑誌から」が 20.1%で他の職種と比較して割合が高い。

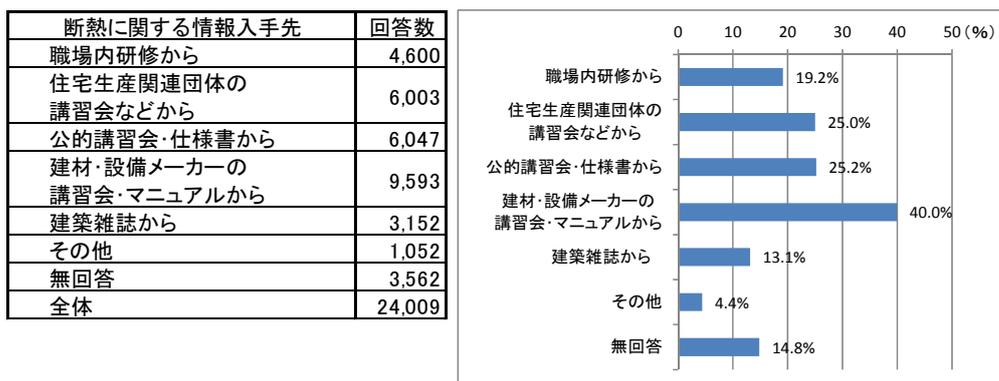


図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

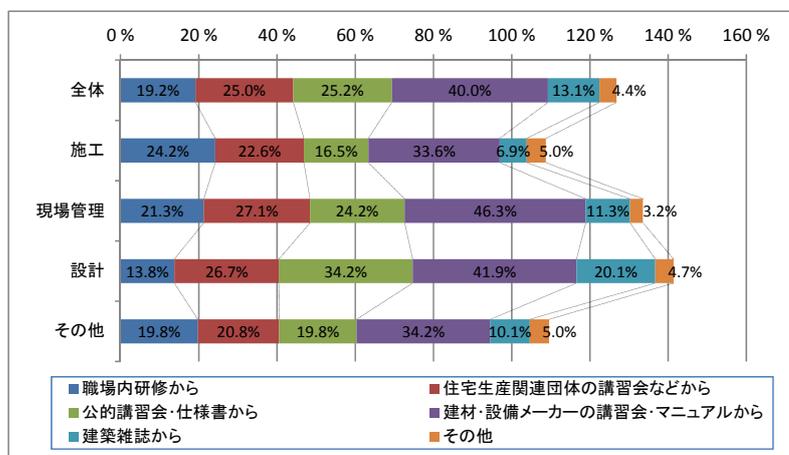


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%	施工C	設計C
職場関係	36	0.1%	28	8
建材メーカー、専門施工業者	17	0.1%	15	2
インターネット	181	0.8%	64	117
所属団体	135	0.6%	104	31
専門メディア	12	0.0%	2	10
仕様書、マニュアル	23	0.1%	10	13
人的ネットワーク	112	0.5%	77	35
その他講習会等	37	0.2%	14	23
ハウスメーカー	17	0.1%	15	2
現場	25	0.1%	21	4
海外情報	1	0.0%	1	0
自分で調べる	4	0.0%	2	2
省エネ団体	24	0.1%	10	14
未分類	29	0.1%	19	10
不明	53	0.2%	33	20
その他記入有り合計	706	2.9%	415	291
その他全体	1,052	4.4%	589	463
全体	24,009	100.0%	13,500	10,509

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数
職場関係	36	(所属団体につき)		(人的ネットワークにつき)		(省エネ団体につき)	
グループ会社	1	建築士会、事務所協会	1	他工務店からなど	1	PHJ	1
なんとなく	1	建築士会会報	1	他社建築会社	1	自立研など	1
会社	16	建築組合	10	大工間の打合せ ネット等	1	新住協	12
会社から	1	建築	6	大工仲間	2	新住協の研究成果から	1
会社の社長	2	場主 土建	1	知人	16	新住協会員	1
施工部から	1	参加団体：自立循環型住宅	1	仲間	6	新住協 PHJ	1
自社グループ	1	研究会、(社)住宅医協会	1	仲間から	2	新木造住宅推進協議会	1
自社開発	1	事務所協会	1	同業者	6	北総研	1
社員、大工	1	所属会	2	同業者から	5	未分類	29
社内から	1	所属団体	5	同業仲間との研究開発	1	JIO	1
上司	3	神奈川土建	1	独自の建築グループ	1	あちこち	1
上司、職人さん	1	千葉土建	3	友人	10	なし	6
上司から	2	川崎建設労働組合	1	鈴木大隆にすずめられて	1	プレカットメーカー	1
親方	1	全建設連	2	その他講習会等	37	ホームセンター	1
親方、社員から	1	組合	26	BIS	2	ラジオ	2
他の社員	1	大工組合	2	CADメーカーの講習会	1	一社法人環境マテリアル協会	1
父から	1	団体	4	FC講習会	2	健康、省エネ住宅を推進する	1
建材メーカー、専門施工業者	17	断熱系の団体	1	NPO団体講習会	1	国民会議で取り組んでいる	1
LIXIL	1	土建	5	OPEX(計：QPEX?)	1	建設新聞	1
TOYKOS住宅システム	1	東京土建	1	WEBから知った講習会など	1	研究機関	1
ジョイコム系団体から	1	連合会より	1	グループ勉強会	2	住まいの構造改革推進協会	1
メーカー	5	専門メディア	12	セロースファイバーの研修会	1	住宅医	1
造船施工会社の人から	1	一般専門書	1	ポリテクセンター	1	住宅金融機構	1
専門施工店	1	改正通知文書	1	メーカーによる講習	1	性能評価協会	1
断熱メーカー、施工会社から	1	書籍	3	学校	3	専門団体	1
断熱材メーカー	5	設計者著作物	1	訓練校	1	他社現物等参考	1
断熱施工専門業者から	1	専門書	1	建設事務所同士で勉強会	1	探していませんでした	1
インターネット	181	独学、専門雑誌	1	研修会	1	地域型住宅ブランド化事業	1
HP	23	本	3	私的勉強	1	特になし	4
HP、ブログ	1	本 役所に相談など	1	私的勉強	1	様々	1
HP等で	1	仕様書、マニュアル	23	私的勉強	1	不明	53
web	18	カタログ	1	私的勉強	1	(株)マツナガ	2
WWW	1	カタログ メーカー営業	1	私的勉強	1	7年前東京で紹介を受けました	1
インターネット	108	カタログ、仕様書	1	私的勉強	1	DM	1
インターネット、HP	2	カタログなど	1	私的勉強	1	DM、メルマガ	1
インターネット、父	1	フラット35	4	私的勉強	1	FAX	1
インターネットカタログ	1	フラット35のマニュアル本	1	私的勉強	1	ITN	1
インターネット他	1	マニュアル	1	私的勉強	1	PC	1
スマホ	1	メーカーのブログで等級をチェック	1	私的勉強	1	エコポイント	1
センターHP	1	加盟しているハウスメーカーマニュアル	1	私的勉強	1	クライアント	1
ネット	13	過去勤務社会マニュアル	1	私的勉強	1	すべて	1
ネット、ロコミ	1	現場マニュアル	1	私的勉強	1	ハウスマスター	1
メーカー、団体などのHP	1	公庫	1	私的勉強	1	ハウスマスターのCM	1
メーカーHP	2	社内基準	2	私的勉強	1	はがき 講習会案内	1
営業の人、インターネット	1	社内資料	1	私的勉強	1	ホームリサーチ	1
現場、インターネット	1	住宅メーカーマニュアル	1	私的勉強	1	まちづくりセンター	3
国交省のHP	1	住宅支援機構マニュアル	1	私的勉強	1	メール	3
書籍、インターネット	1	性能表示マニュアル	1	私的勉強	1	メールマガジン	1
図書、HP等	1	大手住宅メーカーのマニュアル	1	私的勉強	1	わからない	1
所属団体	135	断熱メーカーマニュアル	1	私的勉強	1	以前より	1
FC本部からの情報	1	人的ネットワーク	112	私的勉強	1	確認検査機関	1
FPの家	2	ゼネコン等	1	私的勉強	1	宮城県建築士事務所協会	1
JBN	1	営業	1	私的勉強	1	からのFAX	1
JCA	3	協力会社か設計事務所	1	私的勉強	1	建築センター	1
PVソーラーハウス協会	1	業者	1	私的勉強	1	建築士会よりハガキが届いた	1
PVソーラーハウス協会 新住協	1	業者営業	1	私的勉強	1	建築新聞	1
S.C	1	建材業者	2	私的勉強	1	公共	1
エコハウス研究会	1	建材仕入先から	1	私的勉強	1	公的機関	1
グループ(イノス)内の会員から	1	建設会社から	1	私的勉強	1	工建設さんからの紹介	1
グループ内	1	建設会社から	1	私的勉強	1	今回初めて	1
フランチャイズ	3	現場や仕事仲間	1	私的勉強	1	札幌市で仕事していた。(29年間)	1
フランチャイズ、高層住宅	1	先請先	4	私的勉強	1	三車の本	1
フランチャイズ本部	2	現場や仕事仲間	1	私的勉強	1	参加団体からの案内	1
加入組合	1	ロコミ	1	私的勉強	1	施工中	1
加盟団体	2	工務店	4	私的勉強	1	住宅センターから	2
各社関係者から	1	工務店から	2	私的勉強	1	従来の方法	1
宮事協	1	材木店	3	私的勉強	1	初めての受講で施工資格なし	1
業界団体	1	仕事仲間から	1	私的勉強	1	紹介	1
群県連	1	仕入先	1	私的勉強	1	紹介	1
建設センター	1	施工仲間	1	私的勉強	1	新造住宅センター	1
建設組合	8	取引業者	1	私的勉強	1	新開	1
建設組合 中小建築協会	1	取引先	3	私的勉強	1	大阪府庁	1
建設組合(全建)	1	海外	1	私的勉強	1	第三者審査機関	1
建設組合、団体etc	1	職人仲間	1	私的勉強	1	地域ブランド化、要件	1
建設組合講習会	1	申請業務会社、設計事務所	1	私的勉強	1	通りすがりの人	1
建設組合団体	1	設計監理者よりの指導	1	私的勉強	1	二級建築士	1
建設組合講習	1	設計士	13	私的勉強	1	必要にせまられ	1
建築業協会から	1	設計事務所	7	私的勉強	1	防護フィルムの施工	1
建築士会	17	設備設計会社から	1	私的勉強	1	北海道住宅新聞、取引先	1
建築士会 建築設計事務所協会	1	先輩技術者から	1	私的勉強	1	からの情報	1
		早田さん	1	私的勉強	1	北海道新聞	1
		他の工務店から	1	私的勉強	1		
		他の職人から	1	私的勉強	1		

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述内容

**質問 1 2 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。**

- 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては「現場施工者」が最も多く 59.4%、「設計従事者」が 49.7%、「施工管理者」が 51.5%、「建築主」が 24.7%であった。

《職種別》

- 「施工」と「現場管理」は、それぞれ 62.8%、66.8%で「現場施工者」が最多であった。「設計」は、「設計従事者」が最も多く 65.1%であった。

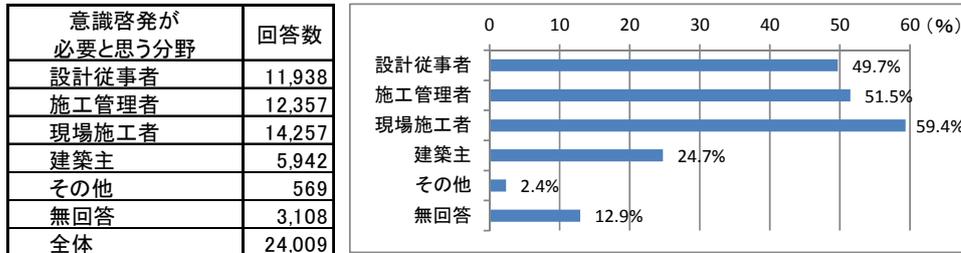


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

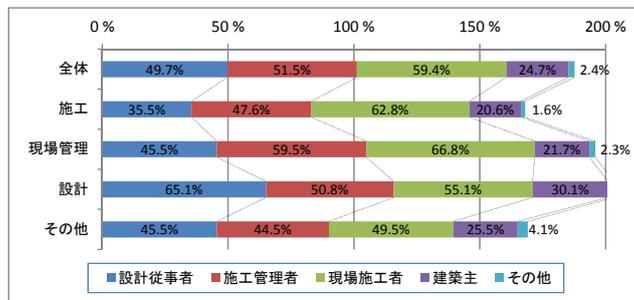


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%	施工C	設計C
設計従事者	6	0.0%	2	4
施工管理者	0	0.0%	0	0
現場施工者	32	0.1%	24	8
建築主	27	0.1%	15	12
設備施工者	16	0.1%	15	1
工務店、建設会社	21	0.1%	8	13
元請	7	0.0%	2	5
経営者	48	0.2%	21	27
営業	75	0.3%	21	54
会社全体	10	0.0%	6	4
建材メーカー	26	0.1%	11	15
建材販売	10	0.0%	4	6
ハウスメーカー	8	0.0%	5	3
不動産業者	7	0.0%	1	6
検査機関	6	0.0%	5	1
公的機関	1	0.0%	1	
行政、政治家	69	0.3%	30	39
マスコミ	10	0.0%	6	4
関係する全ての人、複数指摘	97	0.4%	50	47
国民、一般の人々	14	0.1%	8	6
その他	26	0.1%	14	12
不明	6	0.0%	3	3
その他記入有り合計	522	2.2%	252	270
その他全体	569	2.4%	275	294
全体	24,009	100.0%	13,500	10,509

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数	どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数	どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数
設計従事者	6	(経営者つづき)		関係する全ての人、複数指摘	97
リフォームコーディネーター	1	社長など会社の幹部	1	コストも含まれるので、家にかかわるすべての人々	1
(旧基準一新基準、手順、ガイドランス)	1	住宅会社オーナー	1	セールス、国、行政、全員	1
現場監理が重要と考えます。	1	営業	75	みんな	1
仕様は十分していると思います。	1	HM、HBの営業	1	メーカー 行政	1
工事監理者	1	営業	59	メディア 公共	1
設計監理者	1	建材営業	2	メディア、エンドユーザーの目	1
設計事務所	1	建築営業	2	メディア、物件使用者	1
特に設計者	1	施工への窓口営業	1	ユーザー、サブユーザー、業者など関係者全て	1
現場施工者	32	施工主様の意識向上のための営業	1	医療分野の方 都市計画関係の方 行政 小中学校	1
家の工事者全員	1	住宅営業	3	メーカー メディア関係の方 建材間屋	1
解体屋	1	住宅営業等、建築主に情報を与える人	1	営業、経営者	1
各工事従事者	1	住宅会社営業マン	1	営業と施工	1
協力業者	1	住宅建築の営業	1	営業担当 積算担当	1
現場で仕事をされる職人に周知させる	1	住宅仕様決定者 営業	1	各々(自分自身)	1
工事関係者	1	住宅販売等の営業担当者	1	各業者	1
作業員全員	1	普及に関しては、営業職の意識が必要	1	学生 行政 民間審査機関	1
私の会社では施工する人間に行う人が多い、時代が変わっているのに気づいていない施工者が多いため。	1	会社全体	10	関わる全ての業者	1
職人	4	会社	8	関係者全員	2
職人及び専門職	1	会社組織	1	業界・団体すべて！！	1
水道、空調、換気、電気工事業者さん、大工さん	1	事業所全体	1	経営者、営業マン	2
全ての職人に知ってもらう	1	建材メーカー	26	建材メーカー 建築業界全体	1
大工	12	サッシ	1	建材メーカーや間屋、検査機関、下職	1
大工、設備工事者	1	メーカー	4	建築業界全体の断熱知識の向上	1
大工等現場の職人	2	メーカー(外壁、断熱材等住宅関連)	1	建築従事者全てと建築主にも必要だと思う。	1
地場工務店さん、大工さん	1	メーカーの取り組み	1	また社会的にもPRが必要かと思う。	1
特に大工	1	メーカーは旧基準のものはならない事	1	現場に関わる人全て	2
建築主	27	メーカー担当社、材料店営業	1	現場施工に関わる業者 納入業者 メーカー	1
エンドユーザー	1	関連メーカー	1	工務店、設備業者、電気工事店	1
お客様	2	建材・設備メーカー	1	工務店クラスの社長、設計者	1
これから家を計画されている方	1	建材メーカー	3	行政 メーカー エネルギー会社	1
一般EU	1	建材メーカー 住宅営業	1	国、メーカー	1
既存住宅へ住まわれている居住者への啓発	1	建材メーカー等	2	国から一国民まで	1
空・広告 それが普通だと思えばそうなるので	1	建材、断熱メーカー	1	国家官庁、大手メーカー	1
居住者	1	材料メーカー	1	国全体 建築業界全体	1
建築主	2	材料メーカーの担当(コスト削減)	1	施工にかかわるすべての方	1
建築主のインシヤルコスト増加の理解	1	借入を命に伴う義務化する(フラットの様な)	1	手間がかかる事をみんなで分かってほしい	1
元請、建築主	1	断熱メーカー	1	住宅メーカー 工務店など経営者	1
施工	8	断熱材メーカー 建築工事	1	設計、施工店	1
施工主、予算次第	1	断熱材製造メーカー	1	全て	37
住まい手	1	断熱材製造メーカー、情報メディア	1	全て(国も国土交通省も含む)	1
住まい手となる一般消費者	1	断熱材料生産者	1	全員	14
住宅施工費増加に伴う施工主の理解	1	建材販売	10	大工 工務店	1
中古住宅購入者	1	建材屋	2	誰にでも簡単に取り入れることが出来る内容を設計、	1
発注者	1	建材商社	1	建築主が情報を知ることが出来る事	1
設備施工者	16	建材店	1	特に1と4	1
関連設備職種	1	建築資材代理店	1	販売者不動産及びパワービルダー	1
水道工 電気工	1	納材業者	1	保険会社 地方公共団体 金融機関	1
設備、電気業者	1	販売店	3	役人・メーカー	1
設備や電気などの下職	1	販売店&メーカーがもう少し施工方法をきちんと指導すべきだと思う。又は、責任施工。	1	国民、一般の人々	14
設備屋 水道・電気・エアコン	1	ハウスメーカー	8	「一般の方」への告知に力を入れないと意味がない	1
設備業者	2	ハウスメーカー等ビルダー	3	一般の方にも	1
設備施工者	1	ハウスメーカー	3	学校	1
電気、水道、設備業者	1	ハウスメーカー等ビルダー	1	学生・大学	1
電気、水道屋さん(断熱にかかわる他の業者)	1	建築住宅販売会社	1	公共広告等で一般への周知	1
電気、設備業者	2	住宅会社(経営サイド)	1	国をあげて行うべき、ドイツに研修に	1
電気、設備施工業者	2	住宅販売社	1	行った事があるが日本はお粗末	1
電気屋、水道屋	1	大手HMやパワービルダーも、もっと性能を重視すべき	1	国全体(世界)がこの方向に向く事	1
電気、設備業者	1	不動産業者	7	社会	1
電気、設備施工業者	2	金融機関、不動産屋	1	社会全体、どの分野も意識啓発が必要、	1
電気屋、エアコン屋などの設備屋	1	住宅販売会社(不動産)	1	部が意識啓発しても効果が少ないと思う。	1
電気工事、設備工事施工者にも必要	1	不動産営業	2	社会認知	1
工務店 建設会社	21	不動産会社 住宅販売会社	1	小、中、高生に段階的に建築業に興味を持ってもらう	1
ビルダー会社全体	1	不動産会社	1	小学校 中学校	1
建てた会社や工務店	1	不動産中古流通事業者、固定資産税課など	1	世の中一般	1
建設会社	1	検査機関	6	世間一般(断熱、気密など環境を良くすることが	1
建設会社(元請負)	1	検査、測定(第三者)	1	消費エネルギー減と健康につながる事を教える)	1
建設会社	1	検査機関(強制力を持つ所)	1	その他	26
建設会社、工務店	1	行政検査体制	1	テレビロババー	1
建設会社のありかた次第	1	申請時の公的機関(チェックリスト等)	1	家電店へのPRとお客向けPR設置ブース	1
工務店	3	申請審査機関及び現場審査機関	1	外人	1
工務店レベルの意識が低い	1	第三者検査機関	1	金融機関	2
施工会社	2	公的機関	1	建築系学科の学生	1
施工会社自体の意識	1	公的機関の人々	1	検査機関でしっかり断熱施工の検査を義務化した方がよい	1
施工業者	2	行政、政治家	69	研究機関、研究者	1
施工業者一教育が最大必要	1	ネット体制、国土交通省	1	研究会等と平行して	1
施工主、事業主	1	各自治体の周知、PR必要	1	職者	1
地域の工務店(年間1棟、2棟建て)	1	監督官庁	1	国の仕様基準指針と経済の活性化による所得の向上	1
中小大工工務店に意識啓発が最も必要	1	建築行政	1	国の資格制度による業者の格付け	1
特に工務店様の意識啓発が必要 講習会等	1	庶務省	2	施工にともなう手算を出してくれること	1
元請	7	行政	21	業間は意識が低いのが現状である	1
元請	1	行政(管理、検査が大切)	1	手間が少ない発泡断熱が安くなるという	1
元請業者	2	行政(法整備)	1	手間によるコストUPの認識	1
工事金額を決定する者	1	行政の助成、特に税(固定資産税)軽減	1	省エネにすることは環境に良い事だとは理解できるが、	1
請負業者	3	行政の法施行(義務化)	1	施工費用の負担が大きくなると、あきらめることになる	1
経営者	46	国	21	場合もある	1
会社のトップの意識	1	国、市町村役所	1	積算担当者	1
会社の役員	2	国(材料の費用も考えてくれれば)	1	第三者の管理と記録	1
会社経営	1	国、県	2	断熱材施工費の別格、別費用にする	1
会社経営者、役員	1	国、行政	2	断熱専門の人がやるべきと	1
会社責任者	1	国、地方公共団体から国民への周知	1	借入業者	1
会社代表	2	国の基準	1	特になし	2
会社役員、上司	1	国家 行政	1	必要ない	1
開設者	1	国及び行政団体	1	本当に省エネにつながるのか？	1
経営者	17	国交省などがもっと情報を発信して欲しい	1	不明	8
経営者 管理業者 営業	1	国土交通省	1	だれか一人	1
経営者 専理業者	1	発注者(公共)の内、組織のトップ(市長や管理職)	1	営業スタイル	1
建設会社社長、トップが手間がかかる事の把握のため	1	法整備関係者	1	施工するユーザー	1
建設業経営者	2	法律による強制力、中間検査の実施	1	地方性	1
建設業経営者	2	法令 基準の底上げ	1	当然国法制化確認必須項目とすべき(2020にはなるのか)	1
工務店、住宅会社の経営責任者	3	役所	1	費用	1
工務店経営者	3	マスコミ	10		
事業主	4	TVや報道等	1		
事業主、経営者	1	マスコミ	6		
事業主等	1	マスコミ 新聞等	1		
社長	2	メディア	1		
社長 経営者	1	メディアの活用、CM、専門誌等	1		

最適断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述内容

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ① 施工技術者講習のテキスト

- 施工技術者講習のテキストは、「大変わかりやすかった」が 24.5%、「わかりやすかった」が 53.0%、合計で 77.5%、「普通」の 18.7%も含めると 96.2%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 1.4%であった。

《職種別》

- 「施工」は全体と比較して、「大変わかりやすかった」が 3.3 ポイント、「わかりやすかった」が 1.5 ポイント、合わせて 4.8 ポイント低かった。

テキスト	回答数
大変わかりやすかった	3,305
わかりやすかった	7,153
普通	2,519
わかりにくかった	162
大変わかりにくかった	29
無回答	332
全体	13,500

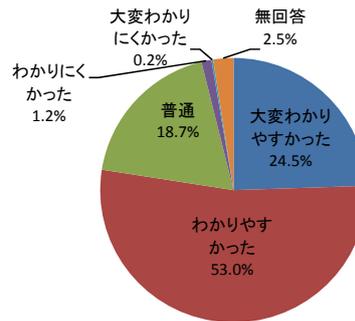
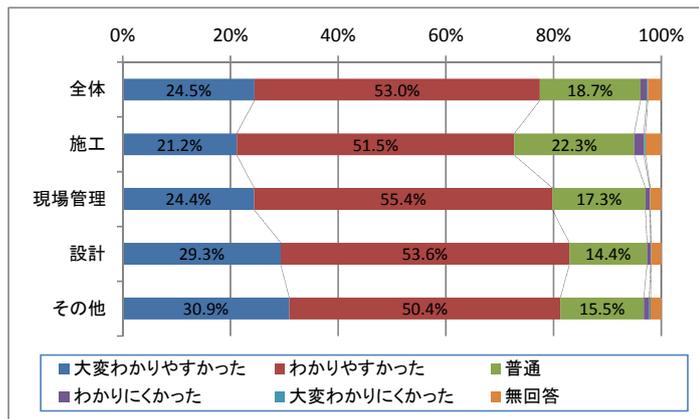


図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	24.5	53.0	18.7	1.2	0.2	2.5
施工	5,122	21.2	51.5	22.3	1.8	0.3	2.9
(全体との差)		-3.3	-1.5	+3.6	+0.6	+0.1	-
現場管理	4,997	24.4	55.4	17.3	0.8	0.1	2.0
(全体との差)		-0.1	+2.4	-1.4	-0.4	-0.1	-
設計	1,582	29.3	53.6	14.4	0.7	0.1	1.9
(全体との差)		+4.8	+0.6	-4.2	-0.5	-0.2	-
その他	1,606	30.9	50.4	15.5	1.0	0.2	2.0
(全体との差)		+6.4	-2.6	-3.2	-0.2	+0.0	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ② 施工技術者講習のDVD

- 施工技術者講習のDVDは、「大変わかりやすかった」が 29.2%、「わかりやすかった」が 50.9%、合計で 80.1%、「普通」の 14.9%も含めると 95.0%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」と感じた割合は合わせて 0.9%であった。

《職種別》

- 「施工」は全体と比較して、「大変わかりやすかった」が 3.4 ポイント低かった。

DVD	回答数
大変わかりやすかった	3,942
わかりやすかった	6,877
普通	2,006
わかりにくかった	92
大変わかりにくかった	25
無回答	558
全体	13,500

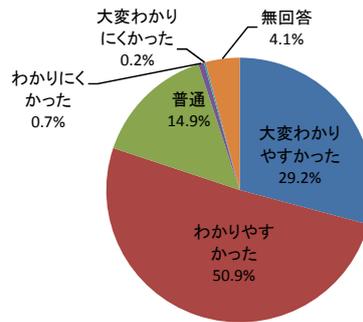
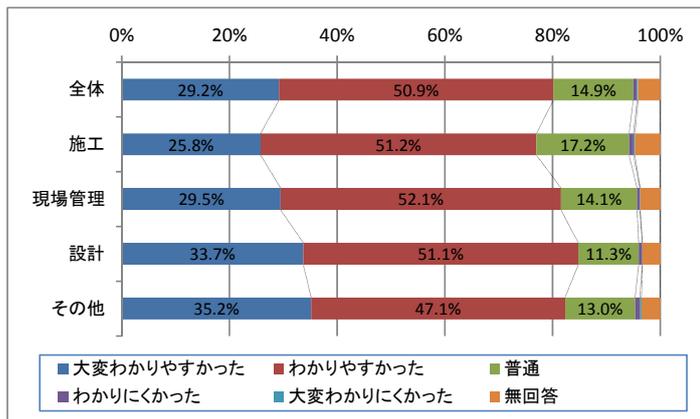


図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	29.2	50.9	14.9	0.7	0.2	4.1
施工	5,122	25.8	51.2	17.2	0.8	0.3	4.7
(全体との差)		-3.4	+0.3	+2.4	+0.1	+0.1	-
現場管理	4,997	29.5	52.1	14.1	0.5	0.1	3.7
(全体との差)		+0.3	+1.2	-0.8	-0.2	-0.1	-
設計	1,582	33.7	51.1	11.3	0.6	0.1	3.3
(全体との差)		+4.5	+0.1	-3.6	-0.0	-0.1	-
その他	1,606	35.2	47.1	13.0	0.9	0.3	3.5
(全体との差)		+6.0	-3.8	-1.8	+0.2	+0.1	-

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ③ 施工技術者講習のカットモデル

- 施工技術者講習のカットモデルは、「大変わかりやすかった」が 17.7%、「わかりやすかった」43.2%、合計で 60.9%、「普通」の 22.9%も含めると 83.8%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 5.0%であった。
- 尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

《職種別》

- 「現場管理」は全体と比較して、「大変わかりやすかった」が 0.7 ポイント、「わかりやすかった」が 0.5 ポイント、合わせて 1.2 ポイント低かった。

カットモデル	回答数
大変わかりやすかった	2,385
わかりやすかった	5,835
普通	3,088
わかりにくかった	596
大変わかりにくかった	83
無回答	1,513
全体	13,500

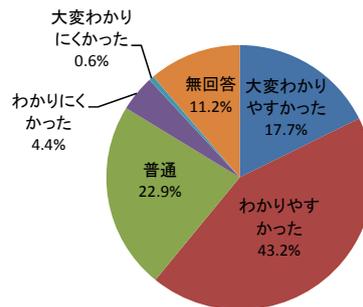
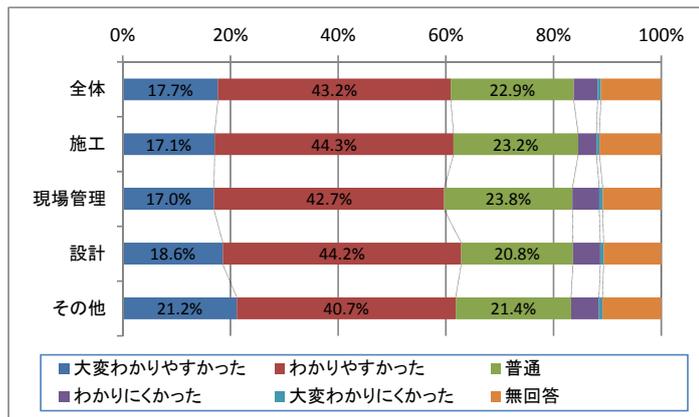


図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ



	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,500	17.7	43.2	22.9	4.4	0.6	11.2
施工	5,122	17.1	44.3	23.2	3.4	0.6	11.5
(全体との差)		-0.6	+1.1	+0.3	-1.0	-0.0	-
現場管理	4,997	17.0	42.7	23.8	5.0	0.7	10.8
(全体との差)		-0.7	-0.5	+0.9	+0.6	+0.0	-
設計	1,582	18.6	44.2	20.8	5.1	0.6	10.7
(全体との差)		+0.9	+1.0	-2.1	+0.6	+0.0	-
その他	1,606	21.2	40.7	21.4	5.2	0.7	10.9
(全体との差)		+3.5	-2.6	-1.5	+0.8	+0.1	-

図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 1) 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 1 章 これからの住まい」の講義は、「難しいとは思わない」が 75.4%、「易しい」が 11.7%、合わせて 87.1%であった。「難しかった」は 8.8%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 4.1 ポイント、「現場管理」は「難しいとは思わない」が 3.5 ポイント、「設計」は「易しい」が 7.6 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は、「易しい」が全体より 6.0 ポイント高かった。

これからの住まい について (基本編・第1章)	回答数
難しかった	1,184
難しいとは思わない	10,184
易しい	1,578
無回答	554
全体	13,500

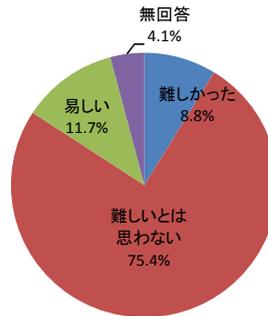


図 6-1-4a 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	8.8	75.4	11.7	4.1
施工 (全体との差)	5,122	12.8 +4.1	73.4 -2.0	8.0 -3.7	5.8
現場管理 (全体との差)	4,997	5.8 -2.9	78.9 +3.5	12.5 +0.8	2.7
設計 (全体との差)	1,582	3.2 -5.6	75.3 -0.2	19.3 +7.6	2.3
その他 (全体との差)	1,606	9.8 +1.0	72.8 -2.6	14.3 +2.6	3.2

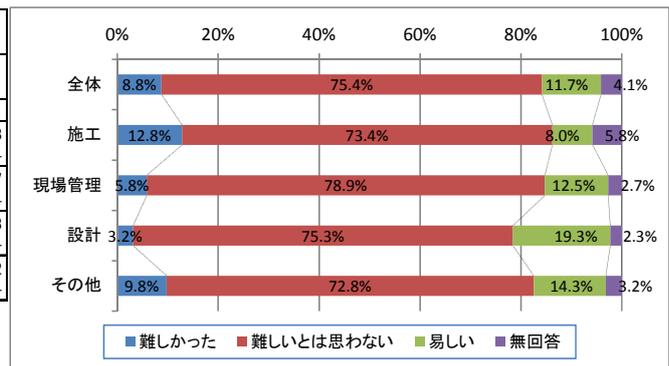


図 6-1-4b 職種別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	8.8	75.4	11.7	4.1
北海道 (全体との差)	396	6.3 -2.5	73.5 -2.0	17.7 +6.0	2.5
東北 (全体との差)	1,691	8.9 +0.1	76.9 +1.4	10.3 -1.4	4.0
関東 (全体との差)	3,465	9.3 +0.5	73.7 -1.8	12.1 +0.4	4.9
北陸 (全体との差)	1,056	6.7 -2.0	77.8 +2.4	12.3 +0.6	3.1
中部 (全体との差)	2,168	7.8 -1.0	75.6 +0.1	13.1 +1.5	3.5
近畿 (全体との差)	1,430	5.9 -2.9	76.8 +1.3	13.4 +1.7	4.0
中国 (全体との差)	1,216	11.6 +2.8	75.0 -0.4	9.5 -2.2	3.9
四国 (全体との差)	721	11.4 +2.6	75.9 +0.4	9.2 -2.5	3.6
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	10.4 +1.6	75.4 -0.1	9.4 -2.3	4.9

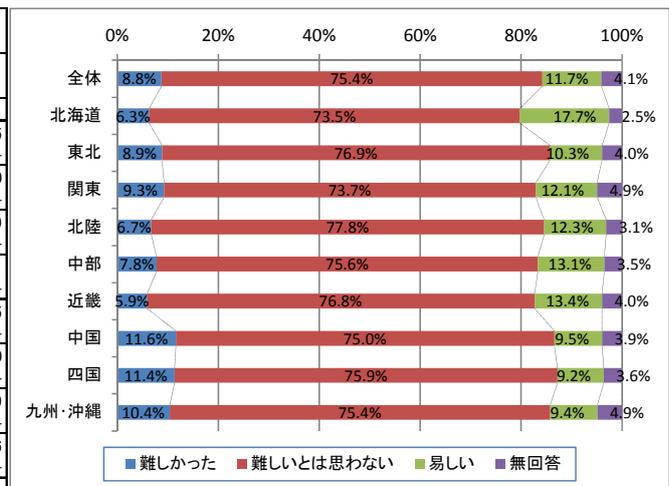


図 6-1-4c 地域別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 2) 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 2 章 建築による省エネ化」、「第 3 章 設備による省エネ化」の講義は、「難しいとは思わない」が 75.3%、「易しい」が 10.7%、合わせて 86.0%であった。「難しかった」は 9.6%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 3.7 ポイント、「現場管理」は「難しいとは思わない」が 3.5 ポイント、「設計」は「易しい」が 7.6 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は、「易しい」が全体より 5.2 ポイント高かった。

建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)	回答数
難しかった	1,296
難しいとは思わない	10,167
易しい	1,445
無回答	592
全体	13,500

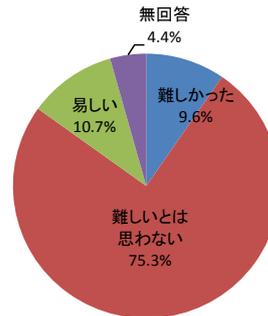


図 6-1-5a 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	9.6	75.3	10.7	4.4
施工	5,122	13.3	72.9	7.5	6.3
(全体との差)		+3.7	-2.4	-3.2	-
現場管理	4,997	6.9	78.8	11.4	2.8
(全体との差)		-2.7	+3.5	+0.7	-
設計	1,582	3.9	75.7	18.3	2.2
(全体との差)		-5.7	+0.4	+7.6	-
その他	1,606	10.9	73.6	11.9	3.6
(全体との差)		+1.3	-1.7	+1.2	-

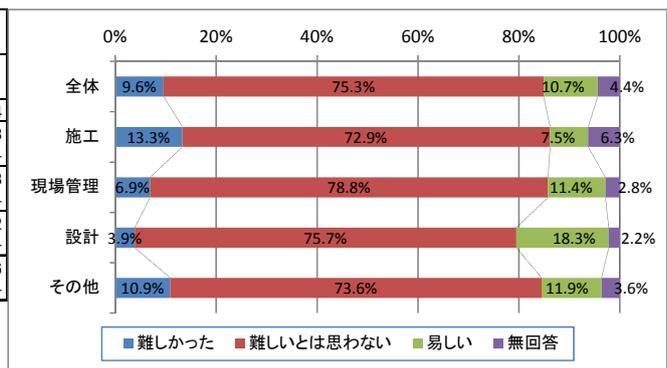


図 6-1-5b 職種別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	9.6	75.3	10.7	4.4
北海道	396	6.1	75.5	15.9	2.5
(全体との差)		-3.5	+0.2	+5.2	-
東北	1,691	9.6	75.9	10.0	4.5
(全体との差)		-0.0	+0.6	-0.7	-
関東	3,465	9.9	74.4	10.7	5.0
(全体との差)		+0.3	-0.9	+0.0	-
北陸	1,056	8.5	76.8	11.6	3.1
(全体との差)		-1.1	+1.5	+0.8	-
中部	2,168	8.4	76.2	11.7	3.7
(全体との差)		-1.2	+0.8	+1.0	-
近畿	1,430	6.9	76.5	12.6	4.1
(全体との差)		-2.7	+1.2	+1.9	-
中国	1,216	12.2	74.6	8.7	4.5
(全体との差)		+2.6	-0.7	-2.0	-
四国	721	11.7	76.3	8.2	3.9
(全体との差)		+2.1	+1.0	-2.5	-
九州・沖縄	1,357	12.2	73.1	8.9	5.8
(全体との差)		+2.6	-2.2	-1.8	-

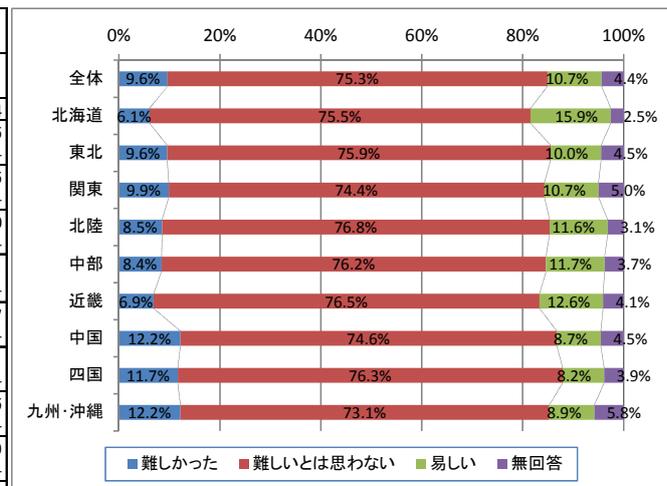


図 6-1-5c 地域別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 3) 基本編「第 4 章 断熱設計」「第 5 章 開口部設計」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 4 章 断熱設計」、「第 5 章 開口部設計」の講義は、「難しいとは思わない」が 74.1%、「易しい」が 10.0%、合わせて 84.1%であった。「難しかった」は 11.2%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 2.8 ポイント、「現場管理」は「難しいとは思わない」が 4.0 ポイント、「設計」は「易しい」が 7.2 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は、「易しい」が全体より 6.1 ポイント高かった。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)	回答数
難しかった	1,507
難しいとは思わない	10,003
易しい	1,356
無回答	634
全体	13,500

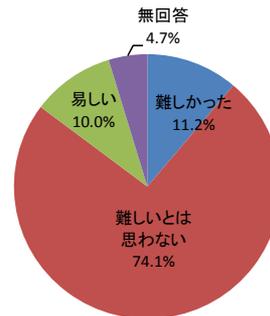


図 6-1-6a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	11.2	74.1	10.0	4.7
施工	5,122	14.0	71.6	7.5	6.9
(全体との差)		+2.8	-2.5	-2.5	-
現場管理	4,997	8.5	78.1	10.3	3.0
(全体との差)		-2.6	+4.0	+0.3	-
設計	1,582	5.5	74.9	17.3	2.3
(全体との差)		-5.7	+0.8	+7.2	-
その他	1,606	14.9	70.9	10.6	3.5
(全体との差)		+3.8	-3.2	+0.5	-

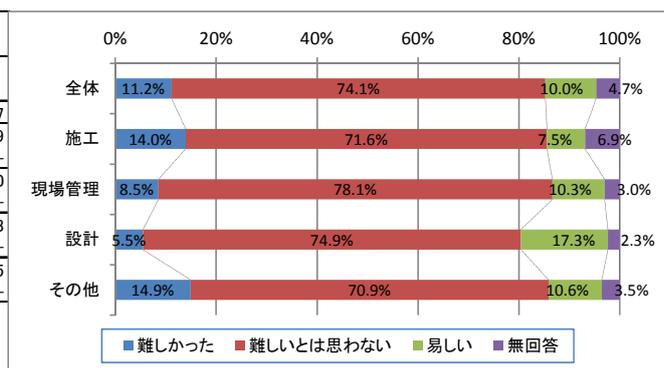


図 6-1-6b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	11.2	74.1	10.0	4.7
北海道	396	8.1	72.7	16.2	3.0
(全体との差)		-3.1	-1.4	+6.1	-
東北	1,691	10.9	74.2	9.9	5.0
(全体との差)		-0.2	+0.1	-0.2	-
関東	3,465	11.6	73.5	9.6	5.3
(全体との差)		+0.4	-0.6	-0.5	-
北陸	1,056	9.0	76.7	10.8	3.5
(全体との差)		-2.2	+2.6	+0.8	-
中部	2,168	10.7	74.5	10.9	3.9
(全体との差)		-0.5	+0.4	+0.8	-
近畿	1,430	8.2	75.8	11.8	4.2
(全体との差)		-3.0	+1.7	+1.8	-
中国	1,216	12.7	74.1	8.6	4.5
(全体との差)		+1.6	-0.0	-1.4	-
四国	721	15.3	72.3	8.2	4.3
(全体との差)		+4.1	-1.8	-1.9	-
九州・沖縄	1,357	13.3	72.3	8.1	6.3
(全体との差)		+2.1	-1.8	-1.9	-

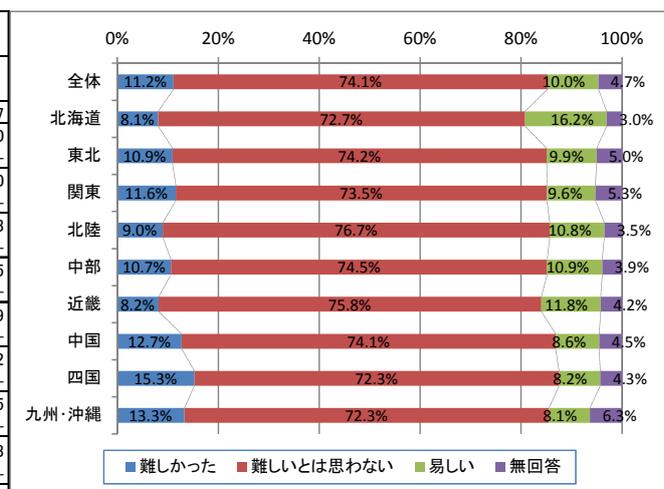


図 6-1-6c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 4) 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 8 章 省エネルギー基準」、「第 9 章 関連基準と制度」の講義は、「難しいとは思わない」が 68.5%、「易しい」が 8.4%、合わせて 76.9%であった。「難しかった」は 17.7%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 3.2 ポイント、「現場管理」は「難しいとは思わない」が 3.3 ポイント、「設計」は「難しいとは思わない」が 4.1 ポイント、「易しい」が 6.3 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「易しい」が 6.3 ポイント、近畿は「難しいとは思わない」が 5.1 ポイント、全体より高かった。

省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)	回答数
難しかった	2,393
難しいとは思わない	9,245
易しい	1,130
無回答	732
全体	13,500

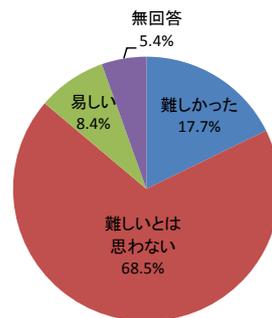


図 6-1-7a 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	17.7	68.5	8.4	5.4
施工 (全体との差)	5,122	21.0 +3.2	65.1 -3.4	6.3 -2.1	7.7
現場管理 (全体との差)	4,997	16.1 -1.7	71.8 +3.3	8.4 +0.1	3.7
設計 (全体との差)	1,582	10.2 -7.5	72.6 +4.1	14.7 +6.3	2.6
その他 (全体との差)	1,606	19.6 +1.8	66.6 -1.9	9.1 +0.7	4.8

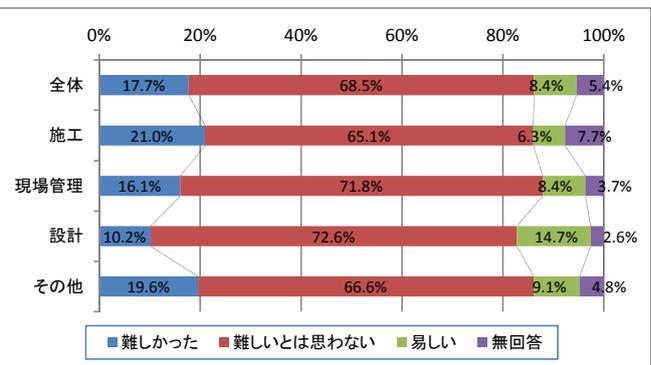


図 6-1-7b 職種別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	17.7	68.5	8.4	5.4
北海道 (全体との差)	396	11.1 -6.6	71.0 +2.5	14.6 +6.3	3.3
東北 (全体との差)	1,691	16.8 -0.9	69.4 +0.9	8.1 -0.3	5.7
関東 (全体との差)	3,465	19.1 +1.4	66.9 -1.6	7.8 -0.5	6.1
北陸 (全体との差)	1,056	18.2 +0.5	68.8 +0.3	8.9 +0.5	4.2
中部 (全体との差)	2,168	17.0 -0.8	69.3 +0.8	9.5 +1.1	4.2
近畿 (全体との差)	1,430	12.2 -5.6	73.6 +5.1	9.5 +1.1	4.8
中国 (全体との差)	1,216	18.7 +0.9	68.8 +0.4	7.2 -1.1	5.3
四国 (全体との差)	721	22.2 +4.5	66.6 -1.9	6.1 -2.3	5.1
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	20.8 +3.1	64.5 -4.0	7.0 -1.4	7.7

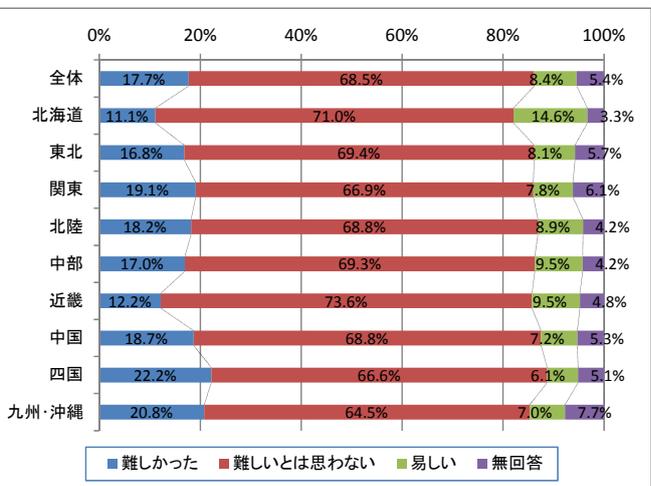


図 6-1-7c 地域別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ② 施工編テキストについて

- 施工技術者講習における施工編テキストの講義は、「難しいとは思わない」が 71.4%、「易しい」が 9.2%、合わせて 80.6%であった。「難しかった」は 10.5%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 3.0 ポイント、「現場管理」は「難しいとは思わない」が 4.1 ポイント、「設計」は「易しい」が 5.7 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「易しい」が 5.7 ポイント、近畿は「難しいとは思わない」が 3.2 ポイント、全体より高かった。

施工編テキストについて	回答数
難しかった	1,423
難しいとは思わない	9,642
易しい	1,238
無回答	1,197
全体	13,500

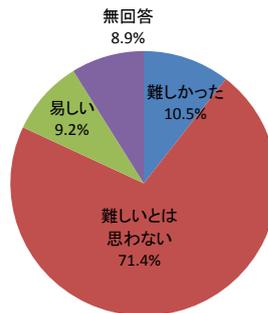


図 6-1-8a 施工編テキストについて

	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	10.5	71.4	9.2	8.9
施工 (全体との差)	5,122	13.5 +3.0	68.6 -2.8	7.0 -2.1	10.9
現場管理 (全体との差)	4,997	7.6 -2.9	75.5 +4.1	9.5 +0.4	7.3
設計 (全体との差)	1,582	5.4 -5.1	74.1 +2.7	14.9 +5.7	5.6
その他 (全体との差)	1,606	14.2 +3.7	67.1 -4.3	9.6 +0.4	9.1

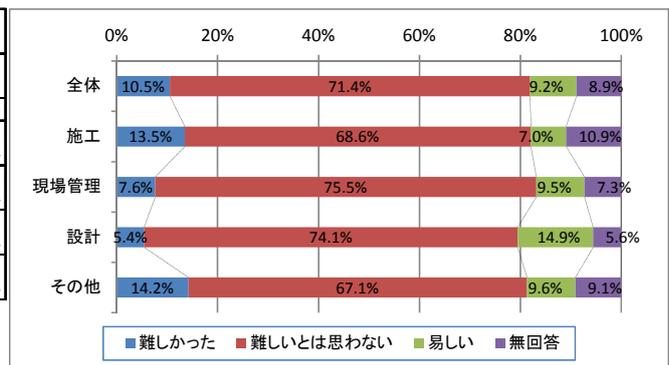


図 6-1-8b 職種別の施工編テキストについて

	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,500	10.5	71.4	9.2	8.9
北海道 (全体との差)	396	6.6 -4.0	69.9 -1.5	14.9 +5.7	8.6
東北 (全体との差)	1,691	10.8 +0.2	71.8 +0.4	8.7 -0.5	8.8
関東 (全体との差)	3,465	10.9 +0.4	70.1 -1.3	8.9 -0.3	10.0
北陸 (全体との差)	1,056	9.0 -1.5	73.6 +2.2	10.1 +1.0	7.3
中部 (全体との差)	2,168	9.8 -0.8	72.2 +0.8	10.2 +1.0	7.8
近畿 (全体との差)	1,430	8.0 -2.6	74.6 +3.2	10.1 +1.0	7.3
中国 (全体との差)	1,216	11.8 +1.3	71.5 +0.0	7.7 -1.4	9.0
四国 (全体との差)	721	13.3 +2.8	69.8 -1.7	7.9 -1.3	9.0
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	13.0 +2.4	69.2 -2.2	7.3 -1.9	10.5

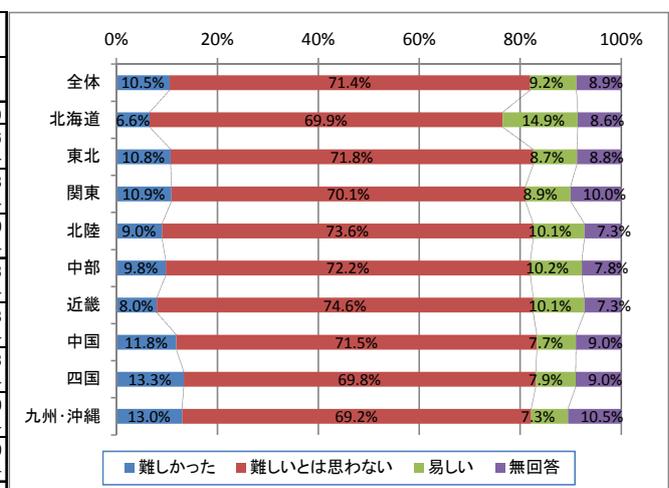


図 6-1-8c 地域別の施工編テキストについて

## 質問 15 【設計者講習】テキストについてお伺いします。

- 設計者講習のテキストは、「大変わかりやすかった」が 17.2%、「わかりやすかった」44.6%、合計で 61.8%、「普通」の 26.7%も含めると 88.5%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 7.4%であった。

### 《職種別》

- 「施工」は全体と比較して、「大変わかりやすかった」が 1.0 ポイント、「わかりやすかった」が 4.1 ポイント、合わせて 5.1 ポイント低かった。
- 「現場管理」は全体と比較して、「大変わかりやすかった」が 2.4 ポイント、「わかりやすかった」が 0.7 ポイント、合わせて 3.1 ポイント低かった。

講習会資料 (設計者テキスト)	回答数
大変わかりやすかった	1,810
わかりやすかった	4,688
普通	2,803
わかりにくかった	693
大変わかりにくかった	86
無回答	429
全体	10,509

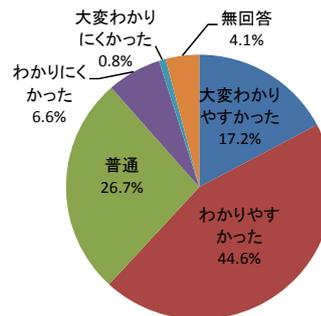
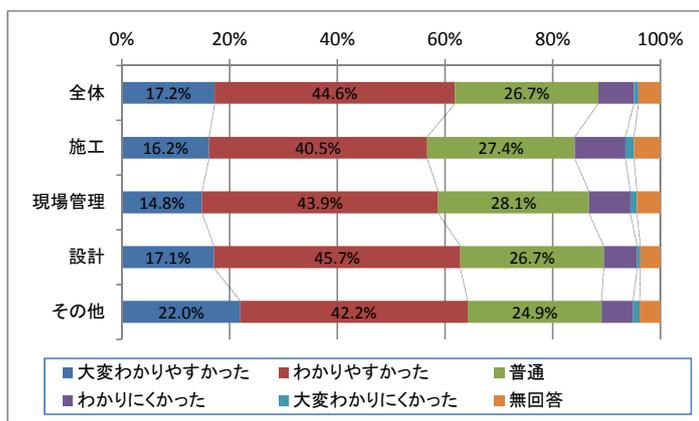


図 6-2-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	講習会資料(設計者テキスト)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	10,509	17.2	44.6	26.7	6.6	0.8	4.1
施工 (全体との差)	711	16.2 -1.0	40.5 -4.1	27.4 +0.8	9.4 +2.8	1.5 +0.7	4.9 -
現場管理 (全体との差)	1,664	14.8 -2.4	43.9 -0.7	28.1 +1.4	7.6 +1.0	1.2 +0.4	4.4 -
設計 (全体との差)	6,787	17.1 -0.1	45.7 +1.1	26.7 -0.0	6.2 -0.4	0.6 -0.2	3.7 -
その他 (全体との差)	1,238	22.0 +4.7	42.2 -2.4	24.9 -1.8	5.8 -0.8	1.2 +0.4	3.9 -

図 6-2-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。  
 質問 1 6 ① 1) 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

●設計者講習における基本編テキスト「第 1 章 これからの住まい」の講義は、「難しいとは思わない」が 70.4%、「易しい」が 17.1%、合わせて 87.5%であった。「難しかった」は 9.9%であった。

《職種別》

●「施工」は「難しかった」が 5.8 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

●北海道は「難しいとは思わない」が 3.0 ポイント、四国は「難しかった」が 5.7 ポイント、全体より高かった。

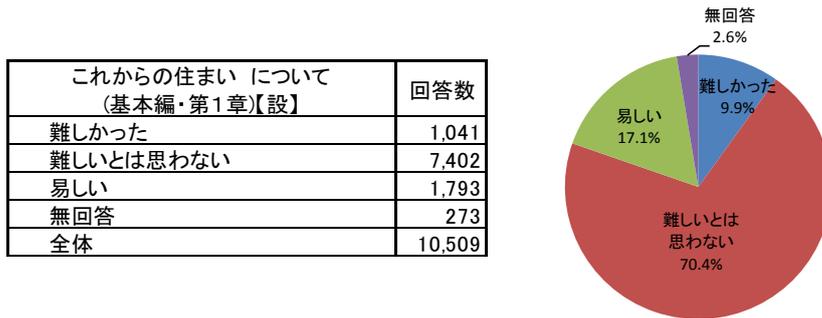


図 6-2-2a 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第 1 章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	10,509	9.9	70.4	17.1	2.6
施工 (全体との差)	711	15.8 +5.8	67.8 -2.6	13.2 -3.8	3.2
現場管理 (全体との差)	1,664	11.5 +1.6	70.2 -0.2	15.2 -1.9	3.1
設計 (全体との差)	6,787	8.6 -1.3	71.4 +0.9	17.7 +0.7	2.3
その他 (全体との差)	1,238	11.1 +1.2	68.2 -2.3	18.8 +1.8	1.9

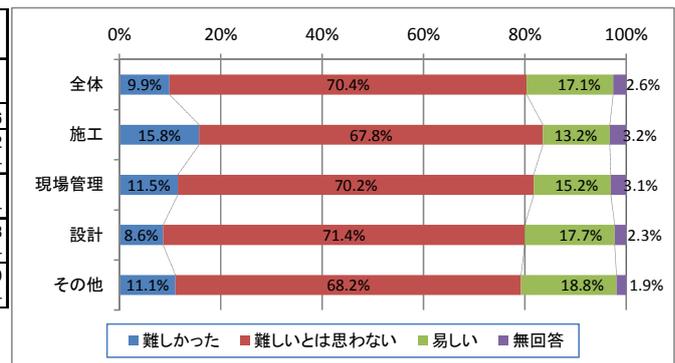


図 6-2-2b 職種別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第 1 章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	10,509	9.9	70.4	17.1	2.6
北海道 (全体との差)	444	9.0 -0.9	73.4 +3.0	16.4 -0.6	1.1
東北 (全体との差)	1,341	10.0 +0.1	68.0 -2.4	16.6 -0.4	5.4
関東 (全体との差)	2,340	8.2 -1.7	69.7 -0.8	19.7 +2.7	2.4
北陸 (全体との差)	712	9.4 -0.5	71.8 +1.3	17.3 +0.2	1.5
中部 (全体との差)	1,854	9.1 -0.8	72.5 +2.1	16.3 -0.7	2.0
近畿 (全体との差)	1,249	9.3 -0.6	71.8 +1.4	16.5 -0.6	2.4
中国 (全体との差)	873	11.1 +1.2	71.0 +0.6	15.9 -1.1	1.9
四国 (全体との差)	449	15.6 +5.7	69.0 -1.4	13.8 -3.3	1.6
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	12.5 +2.6	68.3 -2.1	16.2 -0.9	3.0

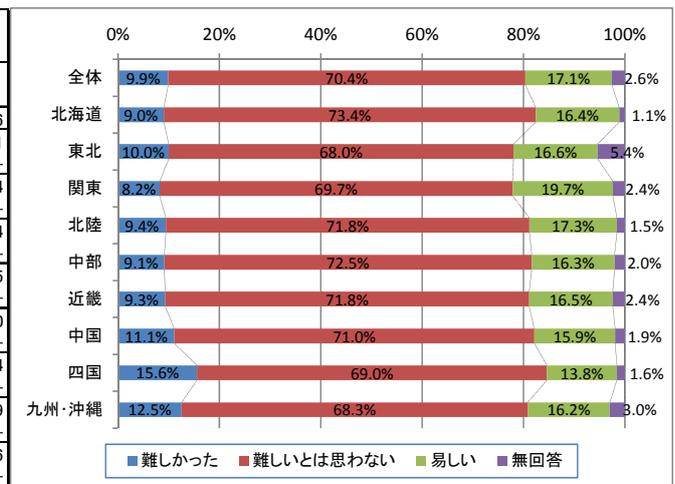


図 6-2-2c 地域別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ① 2) 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第 2 章建築による省エネ化」、「第 3 章設備による省エネ化」の講義は、「難しいとは思わない」が 70.3%、「易しい」が 13.9%、合わせて 84.2%であった。「難しかった」は 12.8%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 8.1 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「難しいとは思わない」が 3.1 ポイント、関東は「易しい」が 3.9 ポイント、四国が「難しかった」が 6.5 ポイント、九州・沖縄も同 4.1 ポイント、全体より高かった。

建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】	回答数
難しかった	1,350
難しいとは思わない	7,389
易しい	1,462
無回答	308
全体	10,509

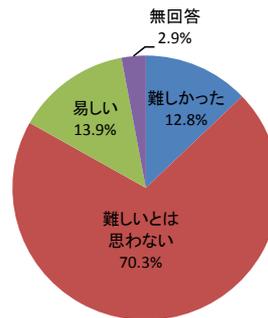


図 6-2-3a 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	12.8	70.3	13.9	2.9
施工 (全体との差)	711	21.0 +8.1	65.3 -5.1	10.0 -3.9	3.8
現場管理 (全体との差)	1,664	14.8 +1.9	69.2 -1.1	12.4 -1.5	3.5
設計 (全体との差)	6,787	11.3 -1.6	71.5 +1.2	14.6 +0.7	2.6
その他 (全体との差)	1,238	13.7 +0.9	69.1 -1.2	15.0 +1.1	2.1

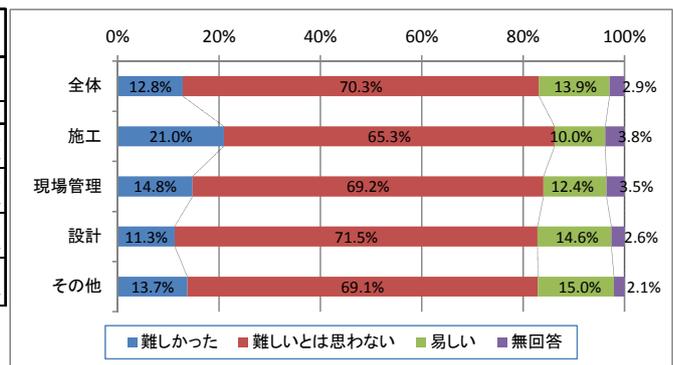


図 6-2-3b 職種別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	12.8	70.3	13.9	2.9
北海道 (全体との差)	444	12.2 -0.7	73.4 +3.1	13.1 -0.8	1.4
東北 (全体との差)	1,341	12.8 -0.0	68.1 -2.2	13.1 -0.8	6.0
関東 (全体との差)	2,340	10.7 -2.1	68.8 -1.5	17.8 +3.9	2.6
北陸 (全体との差)	712	11.5 -1.3	71.3 +1.0	15.2 +1.3	2.0
中部 (全体との差)	1,854	12.0 -0.8	72.7 +2.4	13.1 -0.8	2.2
近畿 (全体との差)	1,249	11.7 -1.2	73.3 +3.0	12.2 -1.7	2.8
中国 (全体との差)	873	14.2 +1.4	70.7 +0.4	12.3 -1.7	2.9
四国 (全体との差)	449	19.4 +6.5	67.9 -2.4	10.9 -3.0	1.8
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	16.9 +4.1	67.8 -2.5	12.2 -1.7	3.0

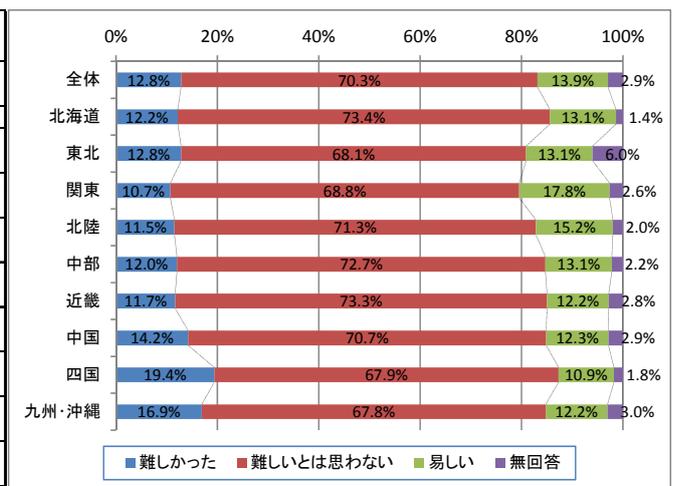


図 6-2-3c 地域別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

質問 16 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 16①3) 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第4章 断熱設計」、「第5章 開口部設計」の講義は、「難しいとは思わない」が 68.6%、「易しい」が 10.5%、合わせて 79.1%であった。「難しかった」は 17.9%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 8.9 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「難しいとは思わない」が 4.6 ポイント、関東は「易しい」が 3.2 ポイント、四国が「難しかった」が 7.9 ポイント、九州・沖縄も同 4.4 ポイント、全体より高かった。

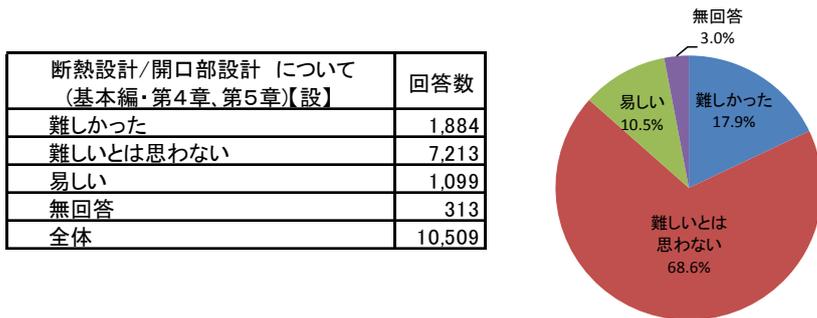


図 6-2-4a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

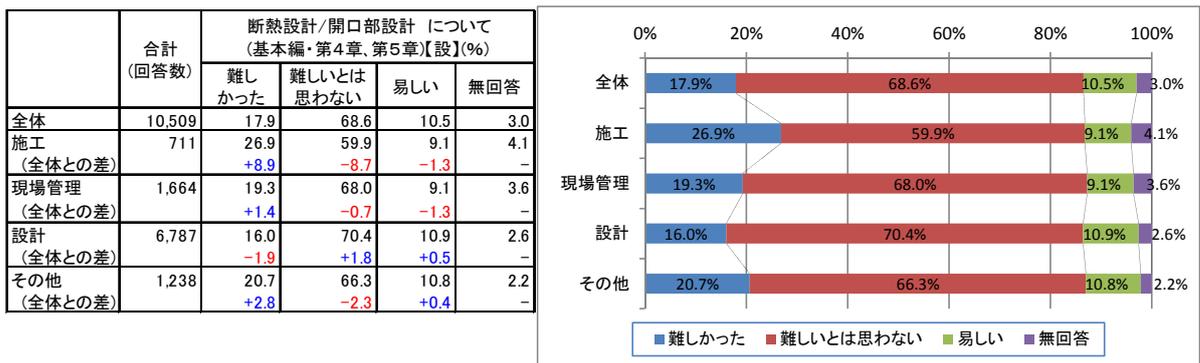


図 6-2-4b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

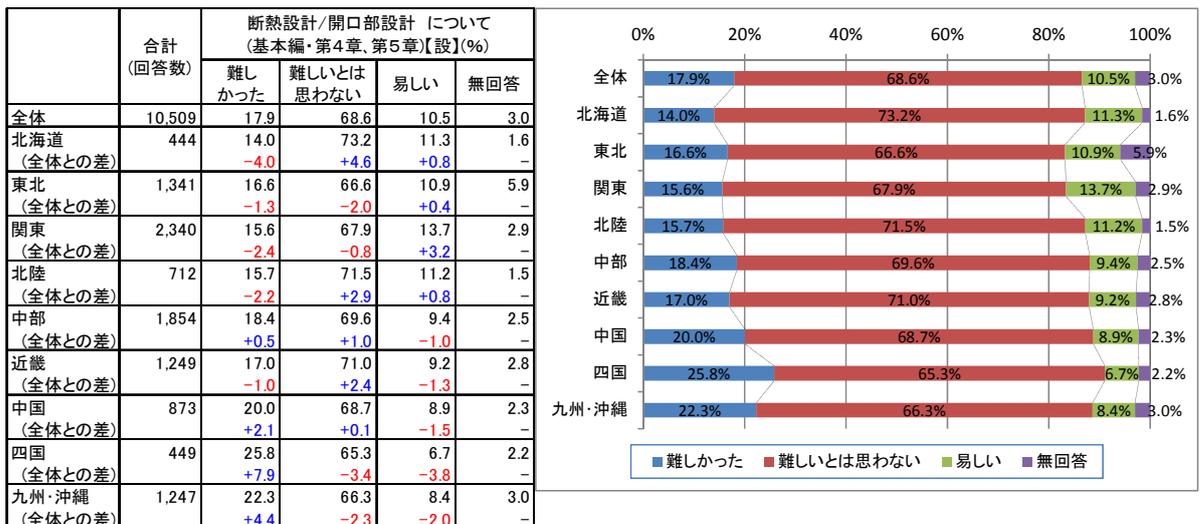


図 6-2-4c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

質問 16 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 16 ① 4) 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第 8 章 省エネルギー基準」、「第 9 章 関連基準と制度」の講義は、「難しいとは思わない」が 68.7%、「易しい」が 9.5%、合わせて 78.2%であった。「難しかった」は 17.8%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 9.3 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「難しいとは思わない」が 4.3 ポイント、北陸も同 3.7 ポイント、関東は「易しい」が 3.2 ポイント、四国が「難しかった」が 8.5 ポイント、九州・沖縄も同 4.5 ポイント、全体より高かった。

省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】	回答数
難しかった	1,873
難しいとは思わない	7,215
易しい	1,002
無回答	419
全体	10,509

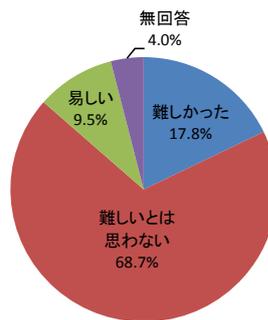


図 6-2-5a 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	10,509	17.8	68.7	9.5	4.0
施工 (全体との差)	711	27.1 +9.3	60.3 -8.3	8.0 -1.5	4.5
現場管理 (全体との差)	1,664	18.9 +1.0	68.3 -0.3	8.4 -1.2	4.4
設計 (全体との差)	6,787	16.1 -1.7	70.3 +1.7	9.9 +0.4	3.6
その他 (全体との差)	1,238	20.4 +2.5	66.2 -2.5	10.3 +0.7	3.2

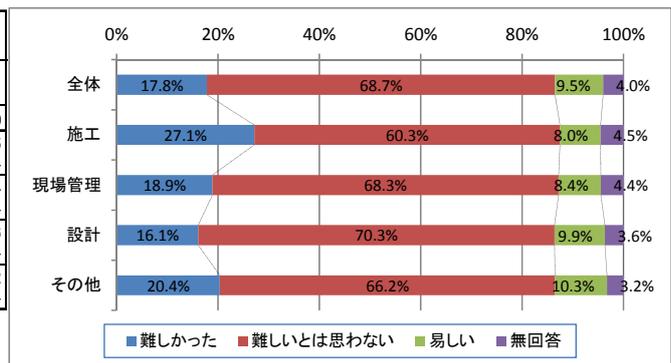


図 6-2-5b 職種別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	10,509	17.8	68.7	9.5	4.0
北海道 (全体との差)	444	15.3 -2.5	73.0 +4.3	9.7 +0.2	2.0
東北 (全体との差)	1,341	17.2 -0.7	66.3 -2.4	9.4 -0.1	7.2
関東 (全体との差)	2,340	15.3 -2.5	67.7 -0.9	12.7 +3.2	4.2
北陸 (全体との差)	712	16.4 -1.4	72.3 +3.7	9.1 -0.4	2.1
中部 (全体との差)	1,854	18.3 +0.5	69.8 +1.2	8.6 -0.9	3.2
近畿 (全体との差)	1,249	15.9 -1.9	71.6 +2.9	8.9 -0.6	3.6
中国 (全体との差)	873	18.9 +1.1	69.4 +0.8	8.5 -1.1	3.2
四国 (全体との差)	449	26.3 +8.5	63.3 -5.4	7.3 -2.2	3.1
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	22.3 +4.5	66.0 -2.7	7.4 -2.2	4.3

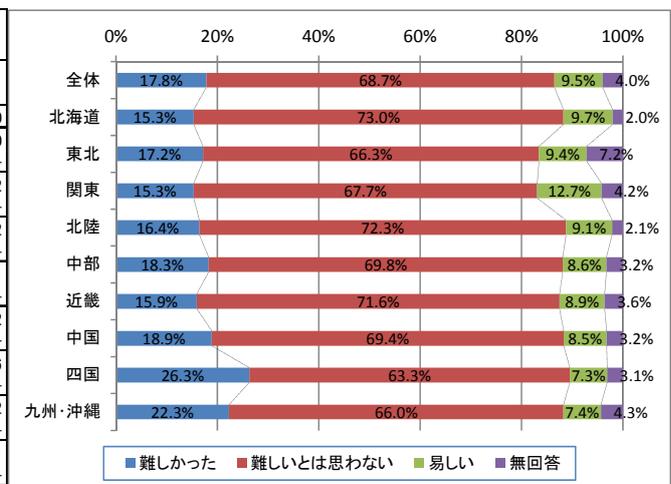


図 6-2-5c 地域別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 1) 設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 2 章 外皮性能の計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 48.9%、「易しい」が 3.7%、合わせて 52.6%であった。「難しかった」は 44.6%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 7.7 ポイント、「現場管理」も同 3.5 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、北海道が 7.2 ポイント、関東が 3.2 ポイント、近畿が 5.7 ポイント、全体より高かった。
- 「難しかった」は、北陸が 4.1 ポイント、中国が 4.4 ポイント、四国が 4.1 ポイント、九州・沖縄が 5.7 ポイント、全体より高かった。

外皮性能の計算 について (設計編・第2章)	回答数
難しかった	4,691
難しいとは思わない	5,134
易しい	388
無回答	296
全体	10,509

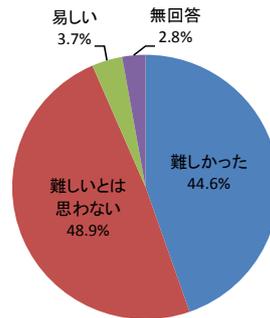


図 6-2-6a 設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	44.6	48.9	3.7	2.8
施工 (全体との差)	711	52.3 +7.7	40.5 -8.3	3.4 -0.3	3.8 -
現場管理 (全体との差)	1,664	48.1 +3.5	45.6 -3.3	3.4 -0.3	2.9 -
設計 (全体との差)	6,787	42.4 -2.2	51.2 +2.3	3.9 +0.2	2.5 -
その他 (全体との差)	1,238	47.6 +2.9	46.1 -2.7	3.7 +0.0	2.6 -

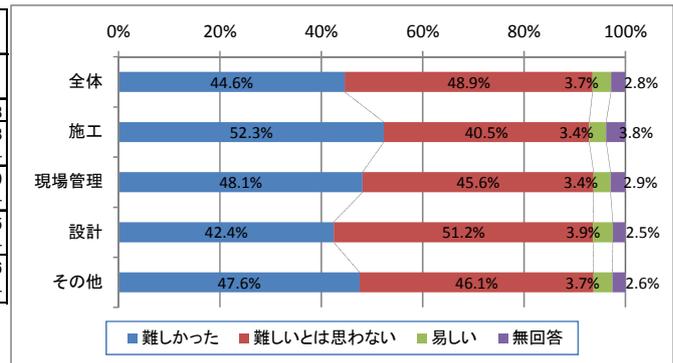


図 6-2-6b 職種別の設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	44.6	48.9	3.7	2.8
北海道 (全体との差)	444	38.5 -6.1	56.1 +7.2	3.8 +0.1	1.6 -
東北 (全体との差)	1,341	44.7 +0.1	46.2 -2.6	3.4 -0.3	5.6 -
関東 (全体との差)	2,340	41.1 -3.6	52.0 +3.2	4.8 +1.1	2.1 -
北陸 (全体との差)	712	48.7 +4.1	46.1 -2.8	3.5 -0.2	1.7 -
中部 (全体との差)	1,854	45.8 +1.2	48.3 -0.5	3.2 -0.5	2.6 -
近畿 (全体との差)	1,249	39.0 -5.6	54.5 +5.7	3.5 -0.2	3.0 -
中国 (全体との差)	873	49.0 +4.4	45.5 -3.4	3.4 -0.3	2.1 -
四国 (全体との差)	449	48.8 +4.1	44.5 -4.3	4.7 +1.0	2.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	50.4 +5.7	43.8 -5.1	2.6 -1.0	3.2 -

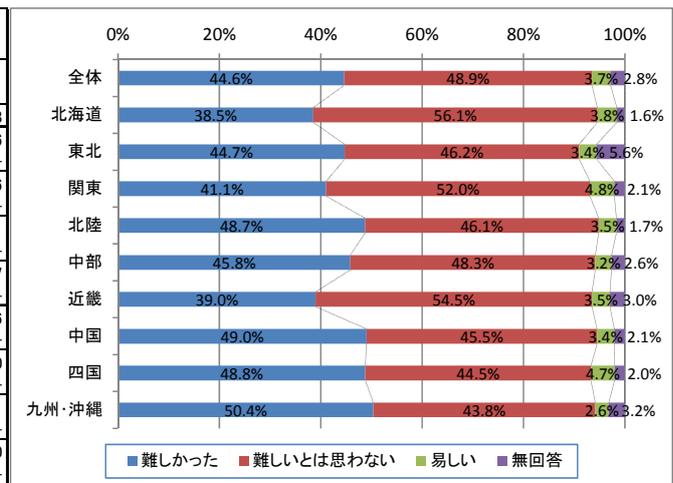


図 6-2-6c 地域別の設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 2) 設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 49.5%、「易しい」が 3.9%、合わせて 53.4%であった。「難しかった」は 43.4%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 8.5 ポイント、「現場管理」も同 4.4 ポイント、「設計」は「難しいとは思わない」が 3.1 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、北海道が 3.9 ポイント、関東が 3.7 ポイント、近畿が 3.6 ポイント、全体より高かった。
- 「難しかった」は、北陸が 3.2 ポイント、四国が 3.3 ポイント、九州・沖縄が 5.0 ポイント、全体より高かった。

一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章)	回答数
難しかった	4,565
難しいとは思わない	5,204
易しい	415
無回答	325
全体	10,509

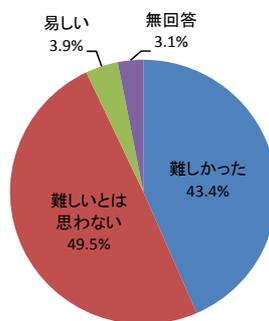


図 6-2-7a 設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	43.4	49.5	3.9	3.1
施工 (全体との差)	711	51.9 +8.5	40.9 -8.6	3.4 -0.6	3.8
現場管理 (全体との差)	1,664	47.8 +4.4	45.9 -3.7	3.2 -0.7	3.1
設計 (全体との差)	6,787	41.0 -3.6	52.0 +3.1	4.2 +0.5	2.8
その他 (全体との差)	1,238	45.8 +2.4	47.2 -2.3	4.2 +0.3	2.8

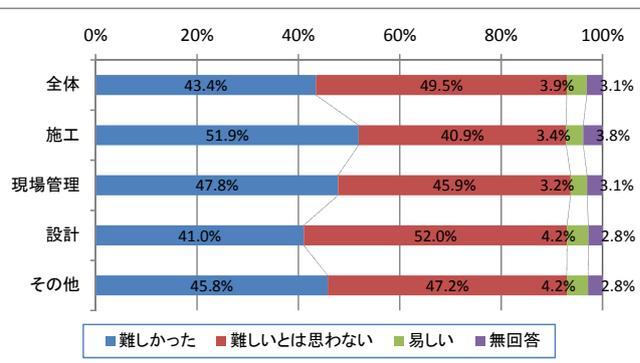


図 6-2-7b 職種別の設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	43.4	49.5	3.9	3.1
北海道 (全体との差)	444	41.2 -2.2	53.4 +3.9	3.6 -0.3	1.8
東北 (全体との差)	1,341	45.9 +2.5	44.7 -4.9	3.7 -0.3	5.7
関東 (全体との差)	2,340	39.2 -4.2	53.2 +3.7	5.0 +1.1	2.5
北陸 (全体との差)	712	46.6 +3.2	48.0 -1.5	3.7 -0.3	1.7
中部 (全体との差)	1,854	43.5 +0.0	50.3 +0.8	3.2 -0.7	3.0
近畿 (全体との差)	1,249	40.0 -3.5	53.1 +3.6	3.9 -0.0	3.0
中国 (全体との差)	873	45.5 +2.0	48.2 -1.3	3.9 -0.1	2.4
四国 (全体との差)	449	46.8 +3.3	45.9 -3.6	5.1 +1.2	2.2
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	48.4 +5.0	44.7 -4.9	3.2 -0.7	3.7

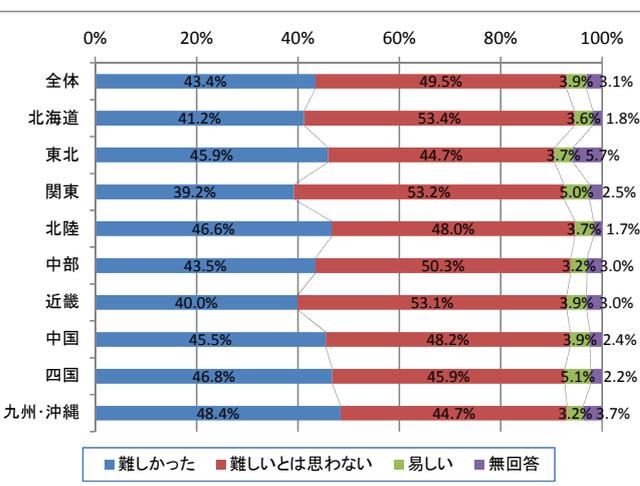


図 6-2-7c 地域別の設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 3) 設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」の講義は、「難しいとは思わない」が 54.2%、「易しい」が 4.1%、合わせて 58.3%であった。「難しかった」は 38.2%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 9.2 ポイント、「現場管理」も同 3.6 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、北海道が 4.8 ポイント、近畿が 4.3 ポイント、全体より高かった。
- 「難しかった」は、北陸が 3.4 ポイント、四国が 3.9 ポイント、九州・沖縄が 4.6 ポイント、全体より高かった。

仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章)	回答数
難しかった	4,016
難しいとは思わない	5,698
易しい	430
無回答	365
全体	10,509

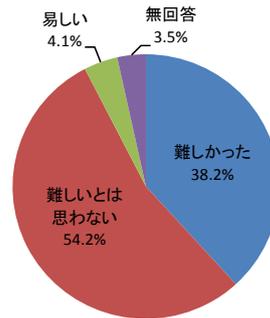


図 6-2-8a 設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	38.2	54.2	4.1	3.5
施工 (全体との差)	711	47.4	45.1	3.4	4.1
		+9.2	-9.1	-0.7	-
現場管理 (全体との差)	1,664	41.8	50.5	3.9	3.8
		+3.6	-3.7	-0.2	-
設計 (全体との差)	6,787	35.8	56.9	4.2	3.1
		-2.5	+2.7	+0.1	-
その他 (全体との差)	1,238	41.8	50.7	4.4	3.1
		+3.6	-3.5	+0.3	-

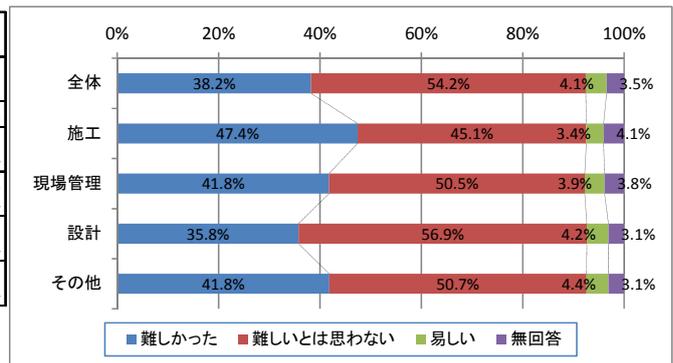


図 6-2-8b 職種別の設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	38.2	54.2	4.1	3.5
北海道 (全体との差)	444	35.1	59.0	4.3	1.6
		-3.1	+4.8	+0.2	-
東北 (全体との差)	1,341	38.9	50.7	4.0	6.4
		+0.6	-3.5	-0.1	-
関東 (全体との差)	2,340	35.1	56.8	5.3	2.8
		-3.1	+2.6	+1.2	-
北陸 (全体との差)	712	41.6	53.2	3.7	1.5
		+3.4	-1.0	-0.4	-
中部 (全体との差)	1,854	39.2	54.4	3.1	3.3
		+0.9	+0.1	-1.0	-
近畿 (全体との差)	1,249	33.7	58.5	3.9	3.8
		-4.5	+4.3	-0.2	-
中国 (全体との差)	873	40.3	52.6	4.1	3.0
		+2.1	-1.6	+0.0	-
四国 (全体との差)	449	42.1	51.0	4.7	2.2
		+3.9	-3.2	+0.6	-
九州・沖縄 (全体との差)	1,247	42.8	49.7	3.4	4.0
		+4.6	-4.5	-0.6	-

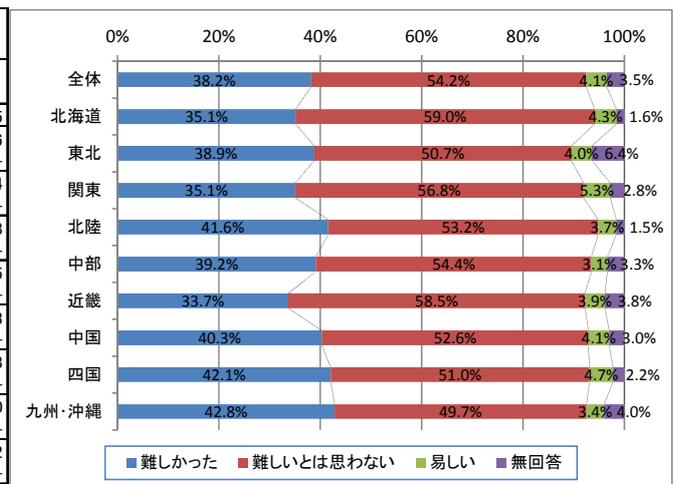


図 6-2-8c 地域別の設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

## 質問 17 【設計者講習】演習について

- 設計者講習における演習は、「難しいとは思わない」が 58.5%、「易しい」が 9.5%、合わせて 68.0%であった。「難しかった」は 28.1%であった。

### 《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 11.8 ポイント、「現場管理」も同 4.5 ポイント、全体より高かった。

### 《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、北海道が 3.8 ポイント、近畿が 4.2 ポイント、全体より高かった。
- 「易しい」は、関東が 3.7 ポイント、北陸が 3.0 ポイント、全体より高かった。
- 「難しかった」は、四国が 5.4 ポイント、九州・沖縄が 8.9 ポイント、全体より高かった。

演習 【設計者講習】	回答数
難しかった	2,948
難しいとは思わない	6,152
易しい	999
無回答	410
全体	10,509

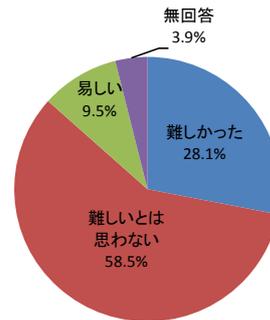


図 6-2-9a 【設計者講習】演習について

	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	28.1	58.5	9.5	3.9
施工	711	39.8	48.0	8.0	4.2
(全体との差)		+11.8	-10.6	-1.5	-
現場管理	1,664	32.5	56.4	7.0	4.1
(全体との差)		+4.5	-2.2	-2.5	-
設計	6,787	25.5	60.9	10.1	3.6
(全体との差)		-2.6	+2.3	+0.6	-
その他	1,238	29.1	56.1	10.9	3.9
(全体との差)		+1.0	-2.4	+1.4	-

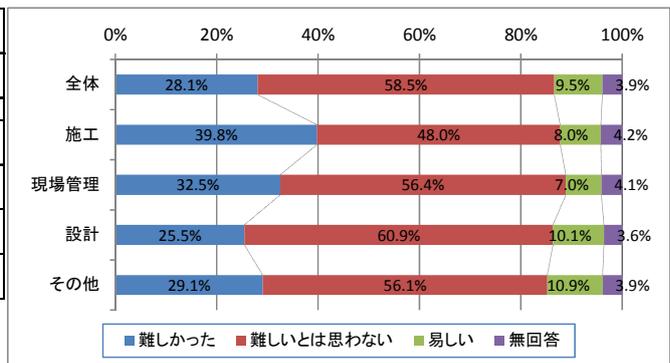


図 6-2-9b 【設計者講習】職種別の演習について

	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	28.1	58.5	9.5	3.9
北海道	444	27.3	62.4	7.9	2.5
(全体との差)		-0.8	+3.8	-1.6	-
東北	1,341	29.2	57.4	6.9	6.5
(全体との差)		+1.1	-1.1	-2.6	-
関東	2,340	23.1	60.6	13.2	3.1
(全体との差)		-5.0	+2.1	+3.7	-
北陸	712	27.7	57.0	12.5	2.8
(全体との差)		-0.4	-1.5	+3.0	-
中部	1,854	28.0	59.4	8.7	3.9
(全体との差)		-0.1	+0.8	-0.8	-
近畿	1,249	24.4	62.8	8.6	4.2
(全体との差)		-3.6	+4.2	-0.9	-
中国	873	30.2	57.7	8.4	3.7
(全体との差)		+2.2	-0.8	-1.1	-
四国	449	33.4	55.9	8.5	2.2
(全体との差)		+5.4	-2.6	-1.0	-
九州・沖縄	1,247	37.0	51.4	7.3	4.3
(全体との差)		+8.9	-7.1	-2.2	-

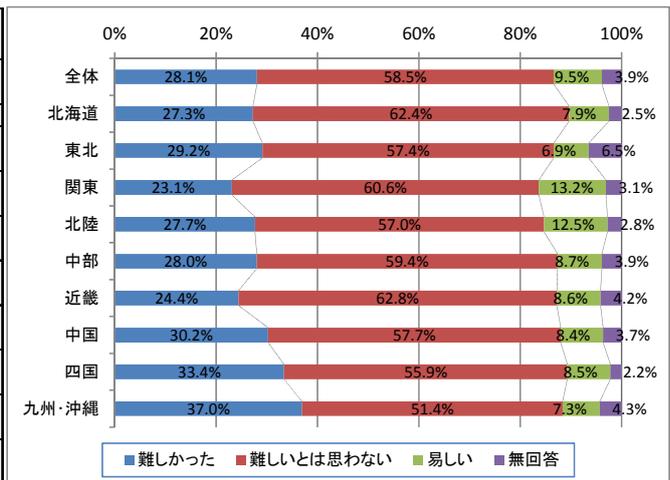


図 6-2-9c 【設計者講習】地域別の演習について

質問 18 ① 【施工技術者講習】修了考査についてお聞きします。

- 施工技術者講習の修了考査は、「難しいとは思わない」が 58.8%、「易しい」が 12.6%、合わせて 71.4%であった。「難しかった」は 13.0%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 3.8 ポイント、「設計」は「易しい」が 7.3 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北陸は「難しいとは思わない」が 3.3 ポイント、近畿は「易しい」が 3.2 ポイント、四国は「難しかった」が 3.2 ポイント、全体より高かった。

修了考査 【施工技術者講習】	回答数
難しかった	1,756
難しいとは思わない	7,934
易しい	1,697
無回答	2,113
全体	13,500

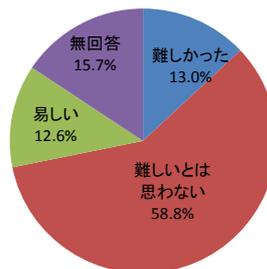


図 6-1-9a 【施工技術者講習】修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	13.0	58.8	12.6	15.7
施工 (全体との差)	5,122	16.8 +3.8	57.2 -1.6	8.7 -3.8	17.3
現場管理 (全体との差)	4,997	9.9 -3.1	61.6 +2.8	14.4 +1.8	14.1
設計 (全体との差)	1,582	7.0 -6.1	60.7 +2.0	19.8 +7.3	12.5
その他 (全体との差)	1,606	15.9 +2.9	54.2 -4.5	12.8 +0.2	17.1

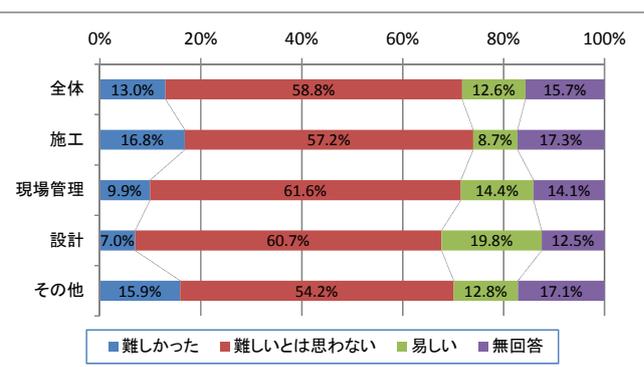


図 6-1-9b 【施工技術者講習】職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	13,500	13.0	58.8	12.6	15.7
北海道 (全体との差)	396	9.3 -3.7	55.1 -3.7	12.4 -0.2	23.2
東北 (全体との差)	1,691	12.4 -0.6	57.5 -1.3	12.7 +0.1	17.4
関東 (全体との差)	3,465	13.3 +0.3	56.7 -2.1	11.9 -0.7	18.2
北陸 (全体との差)	1,056	12.2 -0.8	62.0 +3.3	12.5 -0.1	13.3
中部 (全体との差)	2,168	12.2 -0.8	60.9 +2.1	14.2 +1.6	12.8
近畿 (全体との差)	1,430	10.6 -2.4	59.8 +1.0	15.8 +3.2	13.8
中国 (全体との差)	1,216	14.8 +1.8	59.6 +0.9	12.6 +0.0	13.0
四国 (全体との差)	721	16.2 +3.2	58.8 +0.0	9.2 -3.4	15.8
九州・沖縄 (全体との差)	1,357	15.3 +2.2	59.1 +0.3	10.2 -2.4	15.5

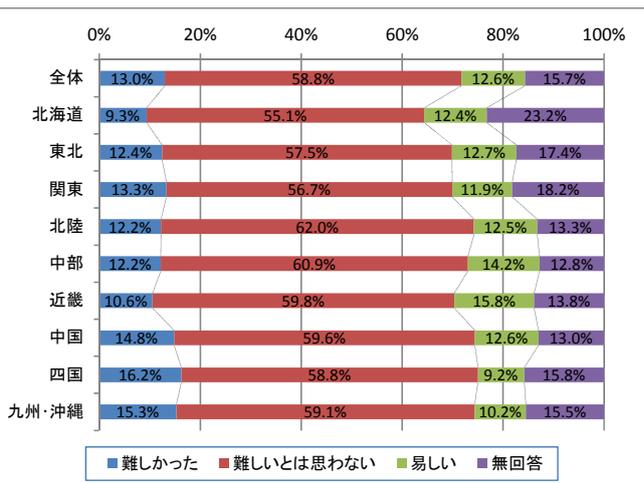


図 6-1-9c 【施工技術者講習】地域別の修了考査について

質問 18 ② 【設計者講習】修了考査についてお聞きします。

- 設計者講習の修了考査は、「難しいとは思わない」が 58.3%、「易しい」が 9.4%、合わせて 67.7%であった。「難しかった」は 23.5%であった。

《職種別》

- 「施工」は「難しかった」が 9.0 ポイント、「現場管理」は同 4.4 ポイント、全体より高かった。

《地域別》

- 北海道は「難しいとは思わない」が 6.3 ポイント、近畿は同 4.0 ポイント、関東は「易しい」が 3.0 ポイント、四国は「難しかった」が 4.8 ポイント、九州・沖縄が同 6.0 ポイント、全体より高かった。

修了考査 【設計者講習】		回答数
難しかった		2,472
難しいとは思わない		6,129
易しい		984
無回答		924
全体		10,509

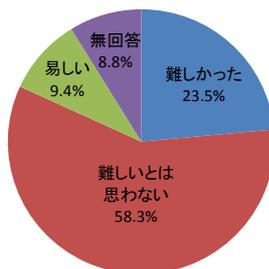


図 6-2-10a 【設計者講習】修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	23.5	58.3	9.4	8.8
施工	711	32.5	50.8	8.0	8.7
(全体との差)		+9.0	-7.5	-1.3	-
現場管理	1,664	27.9	55.2	7.3	9.5
(全体との差)		+4.4	-3.1	-2.0	-
設計	6,787	21.3	60.5	9.9	8.3
(全体との差)		-2.2	+2.1	+0.6	-
その他	1,238	24.4	56.5	9.9	9.3
(全体との差)		+0.9	-1.9	+0.5	-

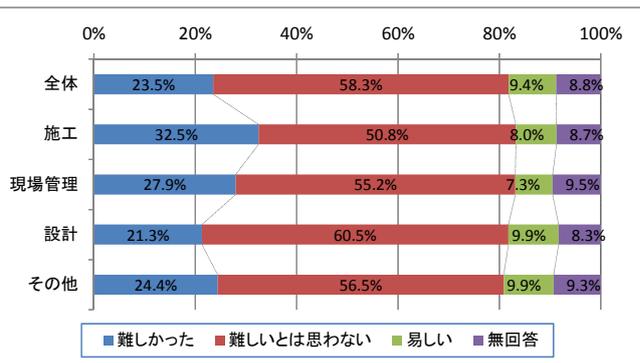


図 6-2-10b 【設計者講習】職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	10,509	23.5	58.3	9.4	8.8
北海道	444	20.3	64.6	10.6	4.5
(全体との差)		-3.3	+6.3	+1.2	-
東北	1,341	25.3	56.2	7.1	11.4
(全体との差)		+1.8	-2.1	-2.3	-
関東	2,340	19.2	60.6	12.4	7.8
(全体との差)		-4.3	+2.3	+3.0	-
北陸	712	24.2	59.0	10.3	6.6
(全体との差)		+0.6	+0.7	+0.9	-
中部	1,854	24.6	55.9	8.7	10.8
(全体との差)		+1.1	-2.4	-0.7	-
近畿	1,249	21.1	62.4	8.9	7.6
(全体との差)		-2.4	+4.0	-0.5	-
中国	873	23.7	57.0	10.1	9.2
(全体との差)		+0.2	-1.3	+0.7	-
四国	449	28.3	55.9	8.0	7.8
(全体との差)		+4.8	-2.4	-1.3	-
九州・沖縄	1,247	29.5	54.9	6.7	9.0
(全体との差)		+6.0	-3.5	-2.7	-

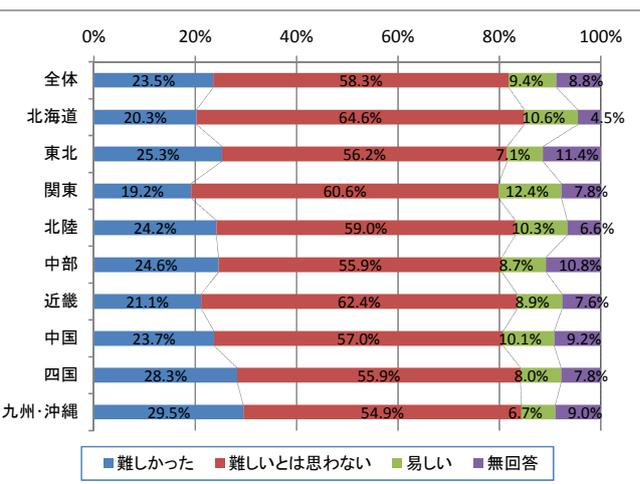


図 6-2-10c 【設計者講習】地域別の修了考査について

## 質問 19 講師の説明についてお聞きします。

### 《施工技術者講習》

- 施工技術者講習の講師の説明は、「大変わかりやすかった」が 15.3%、「わかりやすかった」が 45.0%、合計で 60.3%、「普通」の 31.1%も含めると 91.4%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 4.7%であった。

### 《設計者講習》

- 設計者講習の講師の説明は、「大変わかりやすかった」が 11.1%、「わかりやすかった」が 38.5%、合計で 49.6%、「普通」の 35.0%も含めると 84.6%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 13.1%であった。

講師の説明 【施工技術者講習】	回答数
大変わかりやすかった	2,068
わかりやすかった	6,076
普通	4,203
わかりにくかった	528
大変わかりにくかった	104
無回答	521
全体	13,500

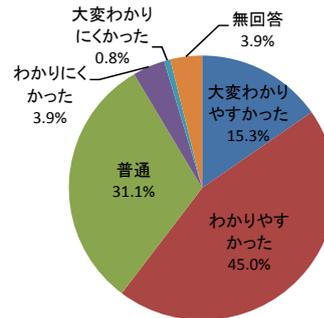


図 6-1-10 【施工技術者講習】講師の説明について

講師の説明 【設計者講習】	回答数
大変わかりやすかった	1,171
わかりやすかった	4,047
普通	3,674
わかりにくかった	1,153
大変わかりにくかった	216
無回答	248
全体	10,509

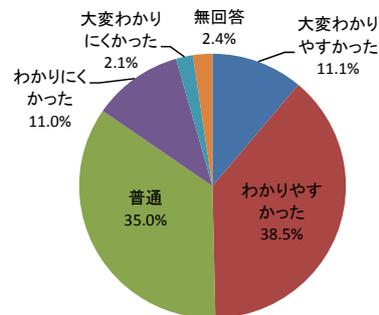


図 6-2-11 【設計者講習】講師の説明について

## 質問 20 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

- 「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」が 36.1%、「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」が 42.6%、「その他」が 12.1%であった。
- 「各都道府県の地域協議会からの情報」は 9.1%であった。
- 「その他」の内容で主なものは、「インターネットから」が 1.9%、「クチコミ」が 2.5%、「行政関係から」が 0.1%、「公共・公益」が 0.5%、「所属団体から」が 2.6%、「新聞、業界紙等から」が 0.2%であった。
- 「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」については「その他」の中で回答されたものを加えると 45.2%であった。

### 《職種別》

- 職種別では、「施工」、「現場管理」は、「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」からの認知経路が最も多く、「設計」は、「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」からの認知経路が最も多かった。

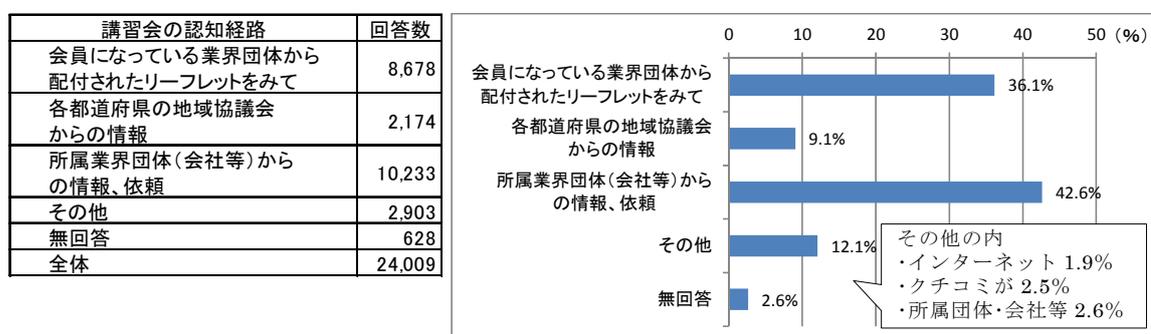


図 8-1a 講習会開催の認知経路

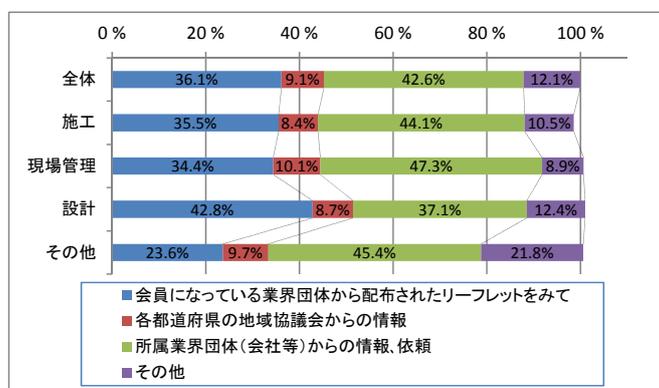


図 8-1b 職種別の講習会開催の認知経路

講習会の認知経路「その他」	回答数			%
	施工C	設計C	総計	
インターネット	147	298	445	1.9%
クチコミ	395	211	606	2.5%
行政関係	13	22	35	0.1%
公共、公益	32	78	110	0.5%
所属団体、会社等	390	228	618	2.6%
新聞、業界紙等	22	29	51	0.2%
他所イベント	13	23	36	0.1%
施工又は設計の省エネ講習にて	4	7	11	0.0%
未分類	129	93	222	0.9%
その他記入有り合計	1,145	989	2,134	8.9%
その他全体	1,564	1,339	2,903	12.1%
全体	13,500	10,509	24,009	100.0%

認知経路「その他」記述

講習会の認知経路「その他」記述内容	数
インターネット	445
BELCAHP	1
HP	142
HP	6
HP 建築士会	1
HP(建設検査機関)	1
HP(施工は取得済なので)	1
IBECのHP	1
協会のホームページ	1
NPOのインターネット	1
NPO法人のHP	1
SMS	1
WEB	24
インターネット	195
サステナブルHP	1
センターHP	1
ネット	14
ブランド化事業HP	1
認知建築住宅センターホームページ	1
茨城県建築士会HP	1
沖縄建築士会HP	2
技術講習会ホームページ	1
協会のホームページ	1
建築会社ホームページ	1
建築関係のサイトより	1
建築工事事務所協会ホームページ	1
建築士会HP	18
建築士事務所協会HP	1
建築士事務所協会HPより	1
建築住宅センターのHP	1
国交省HP	3
住宅エネルギー技術講習会ホームページ	1
住宅センターHP	2
住宅センターのHP	1
住宅省エネルギーHP	3
住宅性能評価協会のHP	1
省エネルギー技術者講習HP	2
省エネ団体のHP	1
新築ハウジングのHP	1
総務省HP	1
右川原HPよりたどりついた	1
大阪で受講しそこのでインターネットで検索	1
断熱設計施工に興味があり、インターネットを見ていたらあった	1
日本サステナブル建築協会HP	1
兵庫県委託建築総合センターのHP	1
兵庫県住宅建築総合センターHP	1
木活協のホームページ	1
クチコミ	606
(株)富達より	1
「家・街プロジェクト」運営会社からの案内	1
LANの会から	3
Pana	1
REGACOより	1
TKの営業から	1
ウッドリンク	1
お客様から	1
かんでん	1
サンショウ	1
サンヨー	1
ジツダヤからの紹介	1
ジャパニビル	1
スガ	1
メジシビル清水さん	1
ナカネ	1
ネグブラン	1
ハウスプラスに置いていた	1
ハウスメーカー技術から	1
パナソニックより	1
ヒゴモクから	1
マルダイ様より	1
メーカー	5
メーカー(ソフト)から	1
メーカーから	4
ヤマダや産業さんから	1
ヤマダセンター	1
伊藤忠建材より	1
委託会社からの案内	1
岡崎製材	1
卸業者より	1
下請	2
会員からの紹介	1
会員の方から	1
みえ	2
協力業者	14
協力業者	3
教師から	1
業者の他人より	1
業者から	7
業者からのOFAX	1
山形住宅をつくる会で直接	1
鈴木大隆先生から聞いた	1
建材メーカー	6
建材屋	14
建材卸	1
建材会社	5
建材業者から	20
建材取引業者より	1
建材商社	2
建材代理店	1
建材店	12
建材店からの情報(断熱材供給)	1
建設会社	1
建設会社	3
後藤木材	2
後藤木材(株)	1
ロコミ	2
工建設さんからの紹介	1
工務店	18

講習会の認知経路「その他」記述内容	数
(クチコミにつき)	1
工務店から	5
講師から	3
講師からの紹介	5
講習会受講者から	2
今井産業さんからの案内	1
材木屋さんからの紹介	1
(毎月木材さん)	1
材木業者の営業マンより	1
材木店	32
材木店から	3
材材店	4
三和より	1
山手さんからのFAX	1
山手さんより	1
山木さんの紹介	3
山木商社の案内	2
仕事仲間	4
仕事仲間より	1
仕入先	6
指導員の紹介	1
施工会社より	1
施工工務店	4
事務所から言われて	1
取引業者	11
取引先	19
取引先業者から	9
取引先材木店	1
受講者からの紹介	5
受講者から	4
住宅資材メーカー	2
商社からの紹介	1
小森商事様の御案内	1
小売店	2
紹介	13
人に聞いた	5
赤石材木店より	2
設計士からのさそい	1
設計士から	1
設計士からの紹介	10
設計事務所から	7
先人の紹介	5
想建築工房の紹介	1
足立さんからの紹介	1
他の建築士からの情報	1
他の工務店からの紹介	1
他の設計事務所	1
他事務所	1
他設計士からの情報	1
代理店様より	1
木工	3
谷口さんから勝手に申し込まれた	1
断熱メーカー	1
断熱材メーカーからの情報	1
知人から	75
友人から	65
知人からHPから	1
知人の紹介、岡庭建設、池田さん	1
※本講習会運営委員	1
知人の紹介、岡庭建設、池田さん	1
(本講習会の運営委員)	1
地域製材プラント委員会	1
地元建材屋からの通知	1
中村木材より	1
仲間	5
通りすがりの人が話かけてきて	1
田島先生から	1
東濃地域木材流通センター	1
同業者	7
同業者から	5
日建 知人	1
販売店	4
販店(ソフト)から	1
北総館からの紹介	1
本田	2
本田材木店	2
本材マルダイ	1
木材店	3
開業	4
矢野林業さんから	3
友人	29
友人から	26
流通関係より	1
鈴木大隆会長から直接聞いて	1
行政関係	35
京都市役所	1
農家	5
農家からのメール	1
農土整備部住宅政策課	1
行政から	2
国交省	2
市役所	3
市役所からのFAX	1
市役所のパンフレット	1
市役所窓口	1
自治体(町)	2
振興局から	1
地方公共団体	1
地方事務所内のポスターを	1
見てPCで検索	1
地方自治体の建築指導課より	1
町から	1
町役所	2
町役場の建設課	1
町からの情報提供	1
東京都からの情報	1
徳之島町役場建設課	1
日田市役所建築指導課	1

講習会の認知経路「その他」記述内容	数
(行政関係につき)	1
福島県の住宅ネットワークからのメール	1
名古屋市内のリフレット	1
役場(新郷村)から	1
公共、公益	110
(財)鳥取県建築住宅センターへの情報センター	3
かながわ住まいづくり協会	1
建設で	2
(財)住宅住宅センター	2
ひょうご木材利用促進推進協議会	1
ふくま住宅情報ネットワーク	1
ポリテクセンター	8
ポリテクセンターでの耐震講習で	1
ポリテクセンター高知	2
ポリテクの従業員にて	3
まちなみクラブ	5
まちづくりセンターからのメール	1
まちづくりセンター	5
認知関係住宅センター	2
建設検査機関	4
学校から	2
学校の担任	1
技術センターのチラシ	1
訓練校	7
訓練校での講習	1
建築センターからの情報	1
建築住宅センター	3
建築住宅まちづくりセンター	1
公共団体の窓口のパンフ	1
公社	1
高崎産業技術専門学校から	1
産業技術訓練校	1
指定建設検査機関	1
滋賀県建築住宅センターからの案内	1
滋賀県建築住宅センターに	1
リフレットが置いてあった	1
滋賀県建築住宅センターより	1
滋賀県建築住宅センターのチラシ	1
住宅センター	7
住宅センター(滋賀)パンフレット	1
職業訓練校	2
職業訓練校で	1
審査機関(静岡県まじつくりセンター)からのメール	1
静岡県建築住宅まちづくりセンター	1
千葉県建築住宅センター	1
茨まじつくりセンター	1
大阪住宅センター	5
大阪府産業活用チーム事務局	1
森●協より	1
都府協	1
東京都防災建築まちづくりセンター	1
当事務局からの通知	12
高山県建築住宅センター	2
兵庫建設検査機関	1
北海道建築指導センターの配布冊	1
民間建設検査機関	4
所属団体、会社等	618
(株)県民共済住宅からの話	1
IBCによる案内	1
FEY	1
JBN	1
LIXIL	2
ぬいけんの冊子	1
フレック	3
むりや	1
茨城県建築士会からFAX	1
当業所の所長からの案内	1
根元建設一般労働組合	1
会員になっていない建築士会	1
会社	135
会社から	49
会社から指示	7
会社にリフレットが来た	1
会社の一括講習	2
会社の申込み	1
会社研修	2
久留米建築設計協会	1
宮城建築士事務所協会	1
宮城県建築士事務所協会	2
宮城県地域型優良住宅推進協会	1
京都府建築士事務所協会から	1
のFAXをみて	1
協会一建築士会	1
業界団体からのメール	1
業界団体からの部送リフレット	1
建設団長	1
建設山口からの封書	1
行政から	12
建設長崎協会	3
建設労働組合	7
建設OPD 北海道建築士会	1
建築士会	53
建築士会からのDM	3
建築士のチラシ	1
建築士のはがき	2
建築士会メール	2
建築士会余額請求案内書	1
建築士事務所協会から	4
建築組合	2
建築労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会からのDM	3
建設士のチラシ	1
建設士のはがき	2
建設士会メール	2
建設士会余額請求案内書	1
建設士事務所協会から	4
建設組合	2
建設労働組合	11
建設労働組合	1
建設長崎協会	3
建設労働組合	2
建設OPD 北海道建築士会	1
建設士会	53
建設士会	

## 質問 2 1 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数回答)

- 「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が最も多く 82.9%、「所属業界団体または会社等から受講を指示されたから」が 19.4%であった。

《職種別》

- 「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が、「設計」のみ全体より高い割合であった。

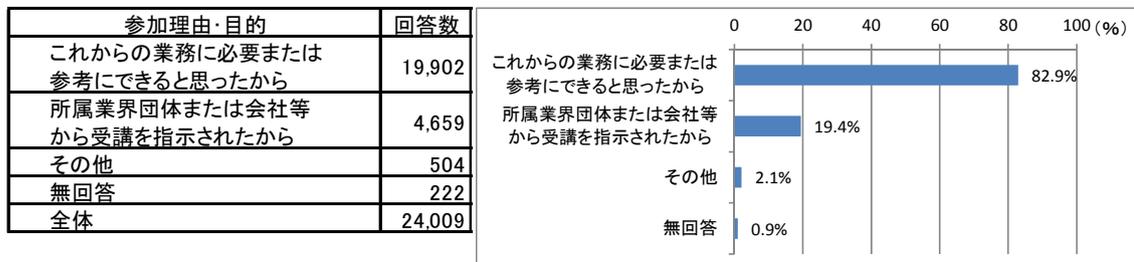


図 8-2a 講習会への参加動機

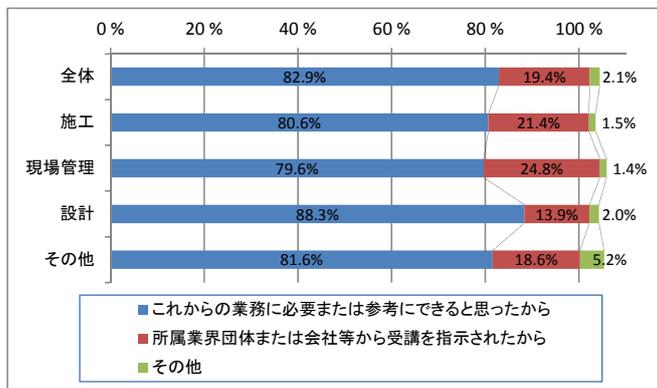


図 8-2b 職種別の参加動機

講習会受講動機「その他」	回答数			%
	施工C	設計C	総計	
必要	90	80	170	0.7%
指示	4	5	9	0.0%
環境志向	0	0	0	0.0%
興味あり	1	5	6	0.0%
時代に対応	1	9	10	0.0%
指導のため	6	2	8	0.0%
紹介	1	2	3	0.0%
資格のため	21	12	33	0.1%
勉強、再確認、参考のため	25	26	51	0.2%
スキルアップ	9	8	17	0.1%
未分類	52	20	72	0.3%
その他記入有り合計	210	169	379	1.6%
その他全体	287	217	504	2.1%
全体	13,500	10,509	24,009	100.0%

参加動機「その他」記述

講習会参加動機「その他」記述内容	数
必要	170
REGACOの義務講習として	1
グリーン化事業の事務局を立ち上げる為	1
建築士の知識として必要と思ったから	2
今後のため	6
住構協ポイント2が必要	1
住宅リフォームパートナー REGACOに必要	1
助成申請のため	1
申請に必要	1
地域型住宅ブランド化事業に必要だから	63
地域型住宅ブランド化事業必須項目の為	63
地域型住宅ブランド化事業補助金利用の為	16
長期優良住宅認定の為	7
都、委託業務の要件にあったから	1
東京なのに北海道仕様にしてくれという 施主からの要望があったため	1
二級建築士として研究が必要だから	1
必要なため	2
本年度、低炭素省エネ住宅建設予定がある為	1
木材利用ポイントの業務運営のため	1
指示	9
業務命令	3
元語からの指示	1
行けと言われた	1
社長指示	2
上司より指示があった	1
本社からの指示	1
興味あり	6
おもしろそう	1
気になったので	1
興味	1
興味があったから	2
耐震、リフォーム、省エネに興味があったから	1
時代に対応	10
2020年への義務化	1
これから国がどうしていくのか	1
義務化対応のため	5
今後のため	1
生き残るため	2
指導のため	8
該当社員に受講させるため	1
学生指導のため	1
工務店指導	1
行政の指導	1
講習会を企画しているため	1
社員教育	1
所属団体での普及のための事前学習	1
組合員の引率が主目的	1
紹介	3
NPO団体から依頼	1
何らかの通知があったので	1
就職先の会社のすすめ	1
資格のため	33
2級建築士免許	1
CPD	7
CPDユニット	1

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(資格のため つづき)	
CPD取得	10
CPD単位取得	7
エコ住宅アドバイザー更新講習として	1
資格取得	4
受講者証交付	2
勉強、再確認、参考のため	51
H25改正内容の理解	1
お客様に適切な情報を伝えたい	2
これまでの申請の確認	1
テキストの取得	4
どういうものか知りたかった。	1
以前から講習に行っているが、時間が 経ったので復習のため	1
何か役に立つと思ったから	1
開発に役立つため	1
確認	1
確認のため	1
基本的に再度確認したかったので	1
計算の再確認	1
現在、II地区仕様の高気密、高断熱の 住宅を施工しているので参考に	1
現在滞っている住宅が正しいか確認	1
再確認の為	3
再度勉強中	1
参考のため	1
施工知識の確認	1
資料入手他	1
自己啓発	4
自宅の断熱リフォームにも役立つ	1
自宅等の改修に役立つと考えた。	1
社内省エネPJメンバーとして	1
省エネ、断熱関係の社内研修の参考にしたい	1
省エネ設計が今ひとつ分からなかった	1
常に新しい情報の	1
申請者が受けると思われるため内容を確認したかった	1
正しい知識が知りたかったから	1
設計者講習会からの継続的な学習のため	1
設計者省エネ受講済、実際の施工が わからない為参加しました	1
断熱材の施工方法を知らなかった為	1
断熱材の勉強	1
変更点の確認と知識集積	1
勉強のため	4
勉強の為	4
勉強又は業務で知りたから	1
スキルアップ	17
技術力向上のため	1
訓練で	1
建築研究及びスキルUP	1
腰痛により転職できるか？	1
施工する上でばらつきをなくすため	1
自身のスキルアップ	5
質の良い住宅を造る為	1
就職に有利になるから	1
就職に有利になると思い	2

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(スキルアップ つづき)	
就職後の業務で役に立つ内容だと思ったから	1
知識の向上	1
独立する時のため	1
未分類	72
HP	1
HP 住宅省エネルギー講習会案内	1
コストが安いため	1
どちらかといえば音のことを知りたいので	1
ボリテク	1
リフォームパートナー協議会講習	1
以前施工講習を受けたので	1
一番苦手としているところす 何となく	1
何もする事がなかったから	1
暇だから	1
会社	13
会社から	2
学校	4
基準の改正	1
技能者組合	1
近かったから	1
結露の点数に導入される	1
建設業に	1
建築業協会のHP	1
建築雑誌の広告記事	1
建築士会	2
現在施行中により	1
広島県木造住宅生産体制強化推進協議会案内	1
講義の一環	1
講義の一貫で	1
高崎産業技術専門校から	1
施工例の意識調査	1
自分への社会勉強、谷口さんの他力本願	1
実地へ施工中	1
社会の現状	1
受けざるを得ない	1
授業	1
住宅省エネルギー断熱工法	1
省エネに関して一般ユーザーが大変関心を 持たれた。	1
省エネは経歴の電気工事とも関連有り	1
設計業務	1
千葉土建	1
前講習で	1
全建総連岐阜	1
大工組合	1
断熱材普及	1
知人	1
長期優良住宅	5
特になし	1
付き合い	1
部分的には	1
別になし	1
法対応	1

参加動機「その他」記述

**質問 2 2 今回の講習時間についてお聞きします。**

- 「ちょうどよい」が最も多く 51.7%、「長い」が 38.9%、「短い」が 5.2%であった。

《講習別》

- 施工技術者講習では、「ちょうどよい」が最も多く 52.7%、「長い」が 40.6%、「短い」が 2.6%であった。
- 設計者講習では、「ちょうどよい」が最も多く 50.4%、「長い」が 36.7%、「短い」が 8.5%であった。

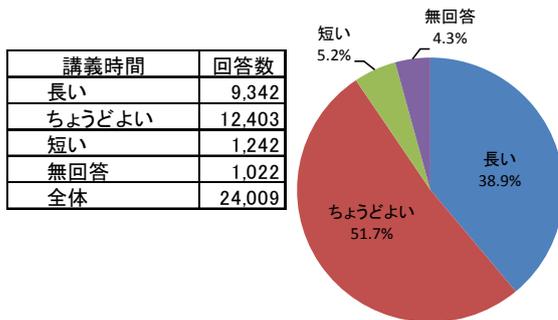


図 8-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

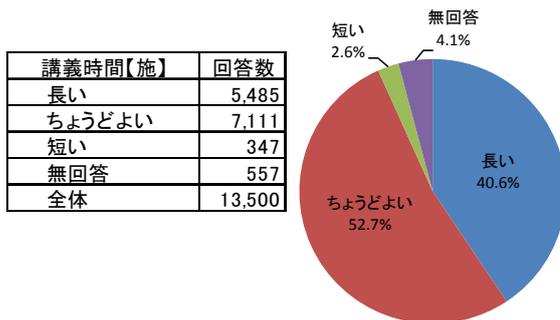


図 8-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

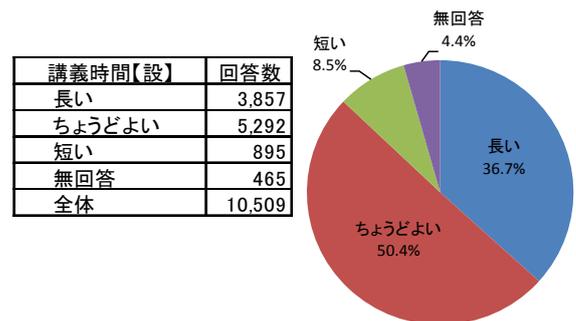


図 8-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習

質問 2 1 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

①施工技術者講習（施工C講習）

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

施工技術者講習(施工C講習) 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	自由記述 有り %	回答 全体 %	(つづき)			
質疑・指摘	127	9.6%	0.9%	●講習会運営に関することについて	60	4.5%	0.4%
○テキストの該当ページが分かるもの	14			○広報・開催案内	5		
○DVD・模型	11			○開催時期・曜日	4		
○修了考査	15			○受講料・修了証発行手数料	2		
○防湿・気密	20			○講習会場 開催地要望	4		
○外壁通気	3			○講習会場 交通の便悪い	1		
○気流止め	1			○講習会場 駐車場不備	1		
○基礎断熱・床断熱	4			○講習会場 屋食不便	1		
○床下換気	5			○講習会場 狭い	3		
○壁・開口部まわり	3			○講習会場 空調できてない	10		
○天井断熱・屋根断熱	9			○講習会場 マイク無し、不調	4		
○その他	42			○講習会場 暗い	1		
施工手間増・コスト増について	23	1.7%	0.2%	○講習会場 案内図不備	1		
これまでの施工方法について	28	2.1%	0.2%	○講習会場 模型見づらい	3		
○施工できていなかった	23			○講習会場 その他不評	20		
○施工できている	5			●講師について	62	4.7%	0.5%
要望・意見など	625	47.3%	4.6%	○講師の話し方 不評	20		
●教材、修了考査、アンケート	79	6.0%	0.6%	○講師としての質 不評	26		
○資料全般	14			○講師の進行 不評	4		
○テキスト	14			○講師 好評	12		
○DVD	22			●受講中の態度・マナーについて	7	0.5%	0.1%
○模型	13			○態度・マナー 講師	1		
○修了考査	5			○態度・マナー スタッフ	4		
○他の資料・説明の要望	7			○態度・マナー 受講者	2		
○アンケート	4			●省エネ施工への理解を求めたい対象について	28	2.1%	0.2%
●講習の内容、形態について	216	16.3%	1.6%	○全ての人	9		
○内容重複 不評	34			○大工・職人	5		
○読み上げ講習 不評	31			○設備工、下職	1		
○要望 ポイントを絞った説明	8			○設計者、管理者	1		
○要望 説明順序	4			○建主	12		
○要望 説明箇所が分かるように	1			●要制度、特定の工法・材料について	86	6.5%	0.6%
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	12			○省エネ施策への批判的意見	16		
○要望 具体例・実例による説明	14			○高気密・高断熱	2		
○要望 実習・実演のある講習	9			○断熱施工	3		
○要望 新基準、関連制度の詳しい説明	24			○伝統工法	1		
○要望 質疑応答の時間確保	5			○特定の工法・材料	57		
○要望 講習会の次の開催、多数開催	1			○リフォーム	4		
○要望 より詳しい内容の講習	7			○設備	3		
○要望 該当地域向け講習	2			受講後の感想など	388	29.3%	2.9%
○要望 施工者向け講習	20			○(再)確認ができた	30		
○要望 設備、建材等他業種向け講習会	3			○今後が心配	2		
○要望 リフォーム向け講習	10			○参考・勉強・為になった、役立つ、良かった	145		
○社内教育、情報共有	3			○継続的に学ぶ、また参加したい	18		
○要望 講習内容以外の説明	7			○難しかった、わかりにくかった	5		
○講習内容への批判	16			○わかりやすかった	57		
○講習会意義への疑問	3			○感謝	48		
○講習内容 その他	2			○その他	83		
●講習時間、時間割について	87	6.6%	0.6%	特になし	121	9.2%	0.9%
○講習時間が不足、説明速い	54			不明	10	0.8%	0.1%
○講習時間が長い	19			自由記述有り 全体	1,322	100.0%	9.8%
○時間配分、時間割、休憩時間	14			回答全体	13,500	—	100.0%

講習会の内容等についての意見、質問 施工C講習

質疑・指摘—テキストの該当ページが分かるもの 14

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	施工	質疑・指摘 テキスト 基p013	テキスト基本編のP13のグラフでは動力、照明、暖房が増加しているので、講習会のタイトルを断熱施工の方が良いと思う。夏型の内部結露の事も考えたら良い。	14	質疑・指摘 テキストの 該当ページ が分かる もの
北海道	設計	質疑・指摘 テキスト 基p053	テキストがわかりやすい。DVDもとても良いが、ネオマフォームに気密テープを貼ってるところは、053ページの(2)の1)で北海道は×のところですか？DVDで北海道が×の所があるのでしょうか？		
北陸	現場管理	質疑・指摘 テキスト 基p060、施p030	基本編P60には筋かいを外側に、施工編P30には筋かいを内側にとあります。理論上と施工性で矛盾が出るのでしょうか。どちらかにすべきと思う。		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト 基p060	基本編P60に「筋かいを外気側に取り付ける」とありますが、施工編のビデオの施工例では、筋かいが部屋内側にあり断熱材を筋かいの裏側へ充填するものでありましたが、外気側に筋かいが施工されている場合、断熱材の充填は、厚み90mm等場合は、筋かい部は押し潰されたままの施工で良いのでしょうか？		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト 施p005	「施工編」P5内最下段のシロアリ生息地域は具体的にどこですか？(どこか閲覧している所はありますか？)		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト 施p009	施工編P9 2の右側説明文の意味を教えてください		
中国	設計	質疑・指摘 テキスト 施p009	天井のフィル別張り…天井を二重張りとした場合省略できますか。(PB9.5下地吸音板施工等)。外壁コンセントスイッチ部(図)→可能ですか？UB断熱下図でも良いですか。※玄関部は下図でもよいことになっている。施工編009ページ。点検口は断熱材でフタをする。		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト 施p028,044	施工編28Pの2は端から端までですか。すきまは全てでしょうか。(おさえられない場所)施工編44Pなぜ4地域以南でなければ繊維系断熱材が使用できないのでしょうか。		
北陸	設計	質疑・指摘 テキスト 施p037-039	内壁貫下地がない場合の設計ばかりだったので、貫がある場合の注意点があげたい。モルタル外壁の場合についても通気層の取り方等教えてほしい。開口部廻りの気密は、テキストでは内側防湿フィルムと外側の気密テープの縁が切れているが、それで良いのですか？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 テキスト 施p037	施工のP37開口部まわりの施工はどう考えても無理だと思います。枠先？外シート、内シート？手順は？難しい。		
北陸	設計	質疑・指摘 テキスト 施p038	施工編、P38開口部まわりの気密施工で、室内側の防湿フィルムを気密フィルムと兼用している場合、サッシのフィンに気密テープを貼ることで気密が確保できますか？		
関東	現場管理	質疑・指摘 テキスト 施p040	施工編P40 5.1(1)1)コメント欄 防火構造とみなされない可能性があるのはなぜ？模型で1、2F間、間仕切り壁(最上階ではない)の上部に気流止めはしないのは？(適切なものを教えてほしい)過剰はなるべく控えたい。		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト 施p050	不明了。桁止断熱についてテキストの施工編右側に小文字で繊維系断熱材を用いる場合、防湿層を設けるとあるが、どこにどう施工すれば具体案ありますか？		
関東	その他	質疑・指摘 テキスト 施p061	施工編P61気密(防水)テープ貼りの②右上部のイラスト不備、気密(防水)テープをつつの出しにしない事。手順、下→横→上		

質疑・指摘—DVDについて 11

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	設計	質疑・指摘—DVD	DVDの施工内容はかなりやんちゃで危険な箇所も多数あった。細かな部分の内容の再検討が必要に思う。北海道の寒冷地向きではない。私ならば、このような指導は絶対に行いません。	11	質疑・指摘 DVD、 模型
東北	現場管理	質疑・指摘—DVD	(充填グラスウールについて)壁の胴縁などを標準にとらえているようなDVDだが、いわゆる役所の仕様書でも、石こうボードメーカ仕様でも、せめて耐力壁には入れるのが標準、袋入のグラスウールそのもの使用がどうかと思うが？結果現場ではきちんとした施工はほぼ一般的に期待できない。わかるやつにはわかるのかな？		
東北	現場管理	質疑・指摘—DVD	DVDでヘルメットかぶっていないシーンが気になった。コンセントまわりの処理が表面だけでなくBOX内の施工も具体的に示して欲しかった。		
東北	設計	質疑・指摘—DVD	天井点検口施工業者はヘルメットをかぶっていない。だぶん脚立の使用も不適切では？このDVDはずまい。2×4についてはどうなのかもっと知りたかった。同じような内容の繰り返しはある。		
関東	施工	質疑・指摘—DVD	理想的な施工内容ですが…大変勉強になりました。DVDの中で1つ、今回省エネのことで断熱…ですが、基礎貫通した排水配管の内側処理で終わりますが、外側からのシロアリの件をDVD内でも一言入れた方がよいのでは？(講習目的とは違いますが、大事なことと思います。)		
関東	現場管理	質疑・指摘—DVD	DVDのデンキ施工について電線が胴差を貫通して配線していた。構造物に穴を開けるのはどうかと思った。		
北陸	現場管理	質疑・指摘—DVD	構造物を欠損させているところをDVDで出しているのはどうかと思う		
北陸	設計	質疑・指摘—DVD	配布のDVDに出ている作業員に保安帽をかぶっていない者が見られる。建設作業員としてはいかがかと。		
近畿	現場管理	質疑・指摘—DVD	建設工事の安全については、全然配慮されていない。こんな内容で日本中で講習しているとは信じられない。・屋根作業…親つな、安全帯、ヘルメット、不完全な外部足場・室内作業…安全帯、ヘルメット、半そで作業・映像全体…モデル作業の割に仕事が雑		
中国	現場管理	質疑・指摘—DVD	講習タイトルは立派だが、断熱材の話だけだったので残念でした。DVDの施工シーンでは作業員にヘルメットを着用させた方がよいと思いました。		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘—DVD	DVDの施工者の安全面ができていない。ヘルメット、作業者etc。(手本なのに…残念)外断熱基礎工間の断熱の入れ方が実用的な納まりでないと思う。(土台まで断熱を施行しないといけないのか？)土間下地までしか施工できないのではないのか？		

質疑・指摘—修了考査について 15

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	設計	質疑・指摘 修了考査	スケジュールが押し気味で、後半の説明が分かりにくかった。テキスト、DVDじゃ分かりやすく、I-III地域版が用意されているところも良かったです。Q17は疑問！結論障害が起きます！	15	質疑・指摘 修了考査
北海道	その他	質疑・指摘 修了考査	試験問題に抽象的表現がある。※外壁にどこもつける 躯体になのか、外装材になのかわからない。床合板→厚合板と薄合板では違う。		
東北	現場管理	質疑・指摘 修了考査	終了考査、⑬はバツだと思います		
東北	現場管理	質疑・指摘 修了考査	修了考査の13問目、テキスト施工編のP30の③の記述が二つの断熱施工法の前の中になかった(筋交い同面となる様盛り上げる)ので、惑わされて間違ってしまった。		
関東	現場管理	質疑・指摘 修了考査	テストの13問目おかしいよね？1つ目の施工例では不十分じゃないの。私は×だと思う。		
関東	設計	質疑・指摘 修了考査	問題④P69 壁下部→正解 P68 上下に設置する？		
関東	その他	質疑・指摘 修了考査	営業職なので実施工においてはわからないことが多いです。修了考査の⑫の問題は適切でないと思います。「筋かいのところで断熱材に切り込みを入れ、押し込まれている断熱材を筋かいと同面になるように盛り上げる」という表記がないと、完全に○とは言えないと思います。「切り込みを入れず盛り上げなくてもよい」という事になります。		
北陸	施工	質疑・指摘 修了考査	試験問題13問で前半部分フィルムを一旦はがく…かぶせ直す方法で断熱材をすぐの上面まで上げない場合不適切ではないかとまよった		
北陸	現場管理	質疑・指摘 修了考査	問題①で断熱するのは外壁ではなく壁ではないでしょうか？		
中部	施工	質疑・指摘 修了考査	考査の12問目はテキストではフィルムをはがした後、筋交に沿って切り、盛り上げると書いてあるのに、問題ではその文章が無い。×ではないのでしょうか？ややこしい。		
中部	現場管理	質疑・指摘 修了考査	修了考査⑫間について「防湿フィルムをいったんはがして、断熱材のみを筋かい裏に施工し、その後はがした防湿フィルムを筋交にかぶせ直す」というのは間違えてはいませんか？テキストP30 1)③部分		
中部	現場管理	質疑・指摘 修了考査	⑫の問題、文章の説明が足りないと思う。2番目の方法には「筋かいにそって切り込み、断熱材を面まで盛り上げる」とあるが、1番目の方法も同じではないのか？少なくともテキストにはそう書いてある！問題文だと「筋かいへ盛り上げる」部は必要ないとも読み取れるのでは？		
中部	設計	質疑・指摘 修了考査	⑬の設問があいまいでした。スジカいのうしろに押し込んでスジカいにそってカットせずシートをかぶせたと読めました。		
近畿	現場管理	質疑・指摘 修了考査	非木造、非住宅省エネ講習会開催を希望致します。修了考査問題④は床の断熱なので押さえ材ではなく、受け材ではないのでしょうか。		
近畿	現場管理	質疑・指摘 修了考査	講師の方のお話は必要ない様です。すべてテキストをこなしているだけなので…わからない所などの質問を受け付けたいと思います。考査⑫もし○にするならば筋かい裏に施工し、切り込みを入れ「断熱材を盛り上げ」←この文章を入れた方がいいですよ。		

質疑・指摘—テキスト・講習内容について 87

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	施工	質疑・指摘 防湿・気密	壁に下地を入れる場合(1尺5寸ピッチ)天井の別張り防湿フィルムの施工の様にすればいいのですか？	20	質疑・指摘 防湿・気密
関東	施工	質疑・指摘 防湿・気密	断熱材と気密シートとの関係が天井面と床面で施工写真に齟齬がある。		

関東	設計	質疑・指摘 防湿・気密	セルロースファイバー充填断熱(壁)の場合、吹き込み場合気密シートが先張りしていると吹き込みない為、気密シートは胴縁より室内側に施行してもよろしいのでしょうか？		
北陸	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	①セルロースファイバー断熱において、防湿フィルムを施工する事により、機能となる、湿気の吸収、放出に問題はないか？ ②真壁の工法のテキストがあれば良い。		
中部	施工	質疑・指摘 防湿・気密	静岡県内では別張り防湿フィルムはいらないのでは？		
中部	施工	質疑・指摘 防湿・気密	外断熱の場合、気密テープの必要性は壁内結露防止ではなく、建物の気密性を良くするためでしょうか？その場合外部、通気層は必要ないのでしょうか？		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	気密を取るならGW使わないでボード系の断熱材でOKなのは？		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	吹付断熱の場合、吹付後の別貼りのフィルムは必要か知りたいです。吹付場合の施工法を詳しく知りたいです。		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	気密性、断熱性が高くなった場合、夏の熱気や湿気をどのようにぬくのですか？ (夜、窓を開けておくのは防犯上ムリでは？)		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	面材耐力壁(外部に構造合板仕様)の場合、外部への透湿(湿った空気を逃す事)は問題なく行われているのでしょうか？壁全体結露をおこしてしまいませんか？		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	①充填断熱工法で現場硬質ウレタン吹付材を使用する場合後貼り防湿フィルムは必要ですか。必要な場合どんな材料がベストですか。②外壁下地合板で下地の無い所のジョイントに防水テープ必要ですか。		
中部	設計	質疑・指摘 防湿・気密	かつて地中からの湿気を防ぐために用いた防湿フィルムが全く耐用年数が建物の耐用年数に及ばないと思いましたが、室内気密はどのくらいの年数保たれるのでしょうか。		
近畿	施工	質疑・指摘 防湿・気密	断熱材の防湿フィルムで、過去に受けた講習では、フィルムをはがす事は絶対しないようにと習いました。今回は気持ちよくながし、グラスウールをちぎりつめ、呼吸する木材のツラに防水テープなどで止めると言っています。おかしくないですか？		
近畿	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	硬質ウレタンフォームA種3現状基本仕様採用している。採用時から防湿シート不要とのメーカー指示があった。内容がいつ変更になったのか知りた。又、メーカーからは問題なしと確認している。統一してほしい。		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	鉄骨造の場合、壁、天井に防湿シートを設置していないが…。exサイディング+通気口+防水シート+PB+断熱材+軽鉄下地+PB+クロス(天井+断熱材+軽鉄下地+天井+上材)内側の防湿シートは必要ですか？		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	壁の防湿フィルムは、グラスウール(防湿フィルム付)を使用した場合、別に防湿フィルムを上から施工する必要はないのか？(天井、外気に接する床は防湿フィルムを施していいと思いますか)		
近畿	その他	質疑・指摘 防湿・気密	床断熱でPSを設けた場合の気密のとり方はどうすれば？		
中国	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	気密テープはガムテープでよいですか？		
中国	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	除湿層設置不要認定を受けている断熱材は、2020年までにどのような施工方法の変更が考えられますか？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	吹付断熱を行った場合(壁への吹付厚み75)室内側、プラスターボードと、吹付断熱との間30mm空間ができるが、フィルムを間に張った方がよいのでしょうか？		
北海道	施工	質疑・指摘 外壁通気	・断熱・気密についての設計・施工上注意点は軸組工法と枠組壁工法では異なります。テキストは軸組の資料がほとんどで偏りを感じます。広範囲の観点から資料の見直しが必要と思います。・DVDに出ている施工者(大工)がヘルメットを使用していない場面が多く、違和感を感じました。早急に映像直しをお願いします。(国の監修が無いのか)・外壁通気層について「北海道は18mm必要」と説明ですが、基準はどこにあるか？説明(又はテキスト)が無く不安が残りました。(テキストでは18mm程度が目安とあり、基準とは思えない表現です)	3	質疑・指摘 外壁通気
東北	現場管理	質疑・指摘 外壁通気	通気層の話ですが、下屋と2階外壁の取合いはどのようなのでしょうか？(ヤネの通気とカベの通気)		
関東	施工	質疑・指摘 外壁通気	通気工法のとれない中貫張りモルタル塗りの場合はどうするのか？		
近畿	設計	質疑・指摘 気流止め	※気流止めについて 根太レス工法の場合、1F床下の外気が上がってこないとして、壁(間仕切、外壁共)の上部は気流止めは必要ないのではないかと。また、最上階の壁は外気に接する小屋裏からの外気が入ってくるので、下部が根太レス工法でも、壁上部の気流止めは必要とするのですか？	1	質疑・指摘 気流止め
東北	設計	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	DVD放映で使用していた床断熱を抑えるための専用金具は、金物ですので熱橋になると思います。小さなことでも結露に結びつく要素だと思いますので、正しい施工方法で放映していただきたいです。	4	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱
関東	設計	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	大引き間断熱の場合、根太工法(大引き上に施工する場合)だと有効な断熱工法と言えないのですか？		
中部	現場管理	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	土間コンクリート下の断熱は有効なのでしょうか。		
近畿	設計	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	充填断熱の床断熱の場合、床下収納内庫の断熱はどのように行えば良いのでしょうか？		
東北	現場管理	質疑・指摘 床下換気	床下換気口は東北地方に必要なのでしょうか？今日の施工は大体防湿コンクリートを施工しているので、冬場にただ寒いだけです。	5	質疑・指摘 床下換気
関東	現場管理	質疑・指摘 床下換気	床下の換気はどうするの？コストUPの対応策はあるのか？		
関東	現場管理	質疑・指摘 床下換気	基礎内側断熱で気密パッキンを使用すると、床下換気ができなくなると思われますが、省エネ住宅では床下換気は不要と考えてよいのでしょうか？特例等の法令があれば教えてください。		
中部	現場管理	質疑・指摘 床下換気	基礎内断熱を行った場合、床下換気はどのように考えれば良いのか。床下換気の必要性。		
中国	施工	質疑・指摘 床下換気	床下の空気が気密する事によって空気が動かなくなり、土台、大引などがいたむような気がするのですが？人が住まなくなった家は、すぐにいたむと言いますが、床下で換気をなくしてしまうと同じ様な事にならないのでしょうか？		
関東	現場管理	質疑・指摘 壁・開口部まわり	気密層の確保について、充填断熱工法の場合、外部構造用合板のジョイント部を気密テープ処理をすることにより、気密層の確保を考えると可能でしょうか？	3	質疑・指摘 壁・開口部まわり
近畿	施工	質疑・指摘 壁・開口部まわり	土壁で真壁納めの場合の断熱材の使用及び取扱いについて。室内側は左官仕上げとする。結露や屋内の湿気対策は古来より有効なものであるため、省エネ住宅の観点から見ての位置付けはどのようになるのか教えてください。		
近畿	現場管理	質疑・指摘 壁・開口部まわり	外壁の胴縁施工の場合の断熱施工方法が手間がかわりそう。気密テープで抑える方法で十分だと思う。		
関東	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	下屋で外壁の取合い部分で断熱と気密そして雨じまいのやり方が難しいので、何かすいしう部材があれば紹介してほしい	9	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱
関東	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	基礎内側断熱と床下通気の関係について疑問がある。床下のカビや腐朽との関係が無責任だと思う。		
関東	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	ベランダが部屋内に入っている場合、軒からベランダ下地の間が空いている場合、断熱材で止める事が必要か。それとも合板などで気流を止めるだけで良いのか？空っぽなしてベランダ下の断熱、部屋天井の断熱材のみで事が足りるのか？		
関東	その他	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	外張断熱の屋根をやると、屋根が重たくなり耐震性はどのような？		
関東	その他	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	外張り断熱工法(屋根)の切妻の場合、軒の出(ケラバ側)の納まりを講義に取り入れた方が好ましい(ケンティエダルクの施工)		
中部	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	1Fの2Fに乗っている天井に(グラスウール)断熱材施工の場合、防湿フィルムが必要ありますか？内部の壁面で断熱充填すると効果がありますか？		
中部	設計	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	二重垂木にして間に断熱材を施工した場合、垂木のあおり止め金物の設置は下ですか？上ですか？両方ですか？ダブルで筋違を入れた場合の断熱材の施工は、どうすれば良いのでしょうか？不可能なら設計時に外壁の筋違をWで入れないようにはしないといけませんか。		
中部	設計	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	充填断熱工法で壁にグラスウールを使用する場合、横胴縁を柱面に設置する場合は、天井同様グラスウールに付属する防湿シート(耳付)により施工するのではなく、別の防湿シートにて施工するものの方がよろしいのでしょうか？		
中部	設計	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	・4地域の場合、天井はPBだけで防湿フィルムを省略が可能であれば壁も同様に防湿フィルムの省略が可能とされないか。・H32年までは努力義務でありあくまでも必ず施工を必要としないのか。		
東北	施工	質疑・指摘 その他	4〜7地域ってどこを言っているのかわからない。一部地域って何に書いてあるのでしょうか？最後の講義で説明がありましたので分かりました。	42	質疑・指摘 その他
東北	施工	質疑・指摘 その他	断熱材の合わせ目を気密テープで処理してはいけませんか？ボードや押え木の他の方法がありませんか？		
東北	現場管理	質疑・指摘 その他	軸組みのボルト、羽子板の座棚り部孔は外部にならない場合もあると思います。(勾配天井の場合とかでボルト、羽子板露出の場合)熱橋対策必要だと思います。片流れ屋根の場合は小屋裏換気不要では？		
東北	設計	質疑・指摘 その他	天井、居空間は通気 床下は気密でOKか		
東北	設計	質疑・指摘 その他	充填胴縁部の防湿フィルム後張り(二重張り)は筋違同様可能でしょうか？		
東北	設計	質疑・指摘 その他	木造軸組で根太使用工法は皆無に等しいと思われるので、ネグレスメインで説明しても良いと思います。UB壁気密で、浴室側と洗面脱衣室側の境の壁の防湿気密シートの張る面は、浴室側に張るか洗面脱衣室側に張るかどちらが正しいのでしょうか？		
東北	その他	質疑・指摘 その他	午前中の講師の方の説明する時間が予定よりも20分近くオーバーしてましたので、時間内で説明して欲しい。		
東北	その他	質疑・指摘 その他	断熱区画のとりについて説明を充分する必要がある。断熱性能を十分に発揮させる→動かない空気をつくる→気密層・防風層・気流止めの必要性がもつとわかるのではないかと。		
関東	施工	質疑・指摘 その他	グラスウール等の断熱材をやむなくカットして施工する際にその換うを吸い込まない様にマスクやメガネなどを着用すべき等、施工者の健康保全の啓発などが考慮されていないと思うのですがいいかかかぬものではないか？吸い込んで人体に影響はないのでしょうか？施行中、のどがいたくなったり肌にささってチクチクしたりします。本当に大丈夫ですか？アスベストの二の舞にならないですか？とても心配です。		
関東	施工	質疑・指摘 その他	グラスウール、ロックウールを押しつぶして入れるとどうなる？		



九州・沖縄	現場管理	施工手間増・コスト増	現実的に考え、現場での施工が困難な施工方法が増えてくると思います。コスト面、施工性、効果etcとトータルで考え、資材を選定しなおす必要があります。品質向上の為の良い機会になりました。ありがとうございました。		
-------	------	------------	---	--	--

これまでの施工方法について

28

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	施工できていなかった	今までの施工方法、正しかったもの、間違っていたものあり参考出来て良かった。間違っていたのは施工順序の様である。	23	施工できていなかった
東北	施工	施工できていなかった	わかっているが、現場で正しい施工がこれからはしっかりと出来るかどうか。		
東北	現場管理	施工できていなかった	いつも施工している際気にとめていなかった部分など、改めて確認できて大変良かった		
東北	設計	施工できていなかった	断熱、気密について大まかな内容はわかりましたが、細かな部分で今までと違うことがたくさんあるので、今後気をつけたいと思います。省エネ住宅の住まい方で思ってもいなかった注意事項があって興味深かった。		
関東	施工	施工できていなかった	こんなに徹底した断熱、気密をすることは思わなかった。大げさとも思ったけど、確かに必要だと思った。		
関東	施工	施工できていなかった	日頃、省エネ、断熱に次いで気密性正確性を重視しないで、いい加減施工の部分が受けて正確性の大切さを改めて認識しました。大変勉強になりました。		
関東	現場管理	施工できていなかった	断熱施工について、確認・修正するいい機会になりました。ありがとうございました。		
関東	現場管理	施工できていなかった	出席して良かったと思う。間違っていた点に気が付いた。		
関東	現場管理	施工できていなかった	内断熱について良くわかりました。正しい施工方法。		
関東	現場管理	施工できていなかった	今回の講習会で断熱の重要性が非常によくわかりました。しかし、このような施工を行うのは大変だと思いますが、今後は努力していきたいと思えます。		
関東	現場管理	施工できていなかった	現状のグラスウール施工は、DVDに比べればNGだらけです。お施主様からのクレーム対象になりますか？将来結口した際に工務店の責任(グラスウール施工不良)となりますか？		
関東	その他	施工できていなかった	外張断熱工法の外壁、必ず透湿防水シートが必要ということを知りました。(以前、ダウ・カナカは不必要と言っていました)充填断熱工法で使用する防湿フィルムの厚みや種類を知りたい。		
北陸	現場管理	施工できていなかった	あいまいだったことがしっかりと理解できたので為になりました。		
中部	施工	施工できていなかった	今まで正しくない施工をしていたことがわかって良かったと思う。		
中部	現場管理	施工できていなかった	断熱施工をもう一度見直していきたい。(正しく施工できていない部分)		
中部	設計	施工できていなかった	設備に関しての断熱材の施工方法、耳がらうろこでした。		
中部	その他	施工できていなかった	施工の部分に対して見直すところがあることに気が付いた。ありがとうございました。		
近畿	施工	施工できていなかった	今日はどうもありがとうございました。断熱材充填に関する、まちがった施工をしてた。今日初めてマニュアルを知ったので、来たことが本当によかった。		
近畿	施工	施工できていなかった	今までの施工と違う部分がありかったので、非常に参考になりました。		
近畿	現場管理	施工できていなかった	見落としていた部分なども新にあったので参考になった。		
中国	現場管理	施工できていなかった	ふだんの施工で間違った施工をしているところが気づけた		
中国	その他	施工できていなかった	省エネについて再認識できてとても良かった。断熱材の施工の細部が現場で施工していることと違っていた箇所があった。改める必要を感じた。参加となった。		
九州・沖縄	現場管理	施工できていなかった	断熱材の正しい仕方を学ぶことが出来、良かったです。		
東北	現場管理	施工できている	今回の講習を受けて、断熱の内容は10年前から普通に現場で行われてました	5	施工できている
関東	施工	施工できている	大体的内容は仕事で行っている。これからはもっと仕事内容が細かく大変になっていく。天井の防湿フィルムはこれから行うか検討中です。		
北陸	現場管理	施工できている	基本的にすでにしている内容ばかりだったので総復習として非常に勉強になった。		
中部	現場管理	施工できている	すでに取り組んでいるので易しかった		
近畿	施工	施工できている	断熱の施工についてほぼ出来ているのですが、細部についてはテキストを見て今後参考になると思います。ありがとうございました。		

要望・意見などー資料全般について

14

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
近畿	その他	資料全般 要望	テキストとDVDと同じ内容でもう少しまとめるか、詳しくしてほしいです	1	資料全般 要望
東北	設計	資料全般 好評	テキストの部材が色分けされているので解りやすかったですし、DVDの内容も更に解りやすく作られているので良かったです。現場施工者向けの講習会が繰り返し詳しく実施させることにより、省エネ設計する側の意図するところが理解されやすくなると思います。現場の意識改革が更に進んでいく施工された本当の省エネ住宅が増えることを願っています。このテキストは現場で施工者に説明する際に大変役立つことと思います。	13	資料全般 好評
関東	施工	資料全般 好評	DVD放映やカットモデルなど実際現場の様子で説明されていたのは分かりやすかった。少し手間のかかる部分があるが、断熱の必要性をあらためて感じた。		
関東	設計	資料全般 好評	DVD、模型などの説明で分かりやすかった。		
中部	現場管理	資料全般 好評	DVD、テキストがとても分かりやすかったです。新しいテキスト、又は他の講習用テキストがあれば欲しいと思いました。		
中部	設計	資料全般 好評	DVDや模型などがあって、分かりやすかったです。		
中部	設計	資料全般 好評	テキストもDVDも大変分かりやすい資料でした。		
中部	その他	資料全般 好評	これまで、曖昧だった施工方法等をテキストやDVD、解説を通してより明確にすることが出来て良かったです。		
近畿	その他	資料全般 好評	DVD、カットモデル、お話し全てが分かりやすかった。ありがとうございました。		
四国	施工	資料全般 好評	断熱法を図や映像だけでなく、カットモデルで見たり、直接質問できたので良かった。		
四国	設計	資料全般 好評	テキストは写真や図などで大変わかりやすくていいです。DVDも内容がわかりやすく、講義自体勉強になりました。今回断熱の施工方法がよくわかり、ためになりました。		
九州・沖縄	現場管理	資料全般 好評	施工者全般に関わる方すべての人が参加し共有することが大切だと思います。テキストも大切だけれども映像や実物が何よりも参考になりました。		
九州・沖縄	現場管理	資料全般 好評	大変わかりやすい講習でした。DVD、カットモデルの仕様で、理解が深まりました。		
九州・沖縄	現場管理	資料全般 好評	講義だけでは難しかったが、テキスト、模型などが分かりやすかった。		

要望・意見などーテキストについて

14

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	施工	テキスト 要望	テキスト(基本、施工編)を現場に常備する為に購入できたらと思います。	5	テキスト 要望
中部	現場管理	テキスト 要望	断熱施工で気密と断熱の事しか考えられていない、家の事を総合的に考えた上でテキストを作って考えてほしい。たぶん施工者と設計者との意見をあまり聞かずに講習をしていると思う。		
中部	現場管理	テキスト 要望	VTRをまじえわかりやすかった。チェック項目表はあったが、それに簡単な絵がついているとよりわかりやすかった。		
中部	設計	テキスト 要望	・テキストをもう1部欲しいのですが、受講しないともえないのでしょうか。		
近畿	施工	テキスト 要望	テキスト基本編は不要		
北陸	現場管理	テキスト 不評	近年、現場発泡ウレタンで壁面は施工していますが、テキストにまったく記載が無いのが意外でした。	1	テキスト 不評
東北	設計	テキスト 好評	マニュアルはとも良いと考えています。		
東北	その他	テキスト 好評	テキストがわかりやすく、お客様へ説明する際にも参考にすることができると思った。	8	テキスト 好評
関東	現場管理	テキスト 好評	住宅省エネルギーテキストが良い		
関東	設計	テキスト 好評	施工編の「注意点」「チェックリスト」は特に役に立つ。		
関東	その他	テキスト 好評	大変わかりやすく説明していただきました。ありがとうございました。テキストもとても見やすかったです。		
中部	現場管理	テキスト 好評	テキストも図入りで分かりやすかったと思います		
四国	設計	テキスト 好評	テキストが分かりやすくてまとまっているので参考になります。突っ込み、軒の出のないデザインの小屋根裏換気がとりにくいので施工方法検討している。(新築、建築主の要望にそえないことがある)		
四国	その他	テキスト 好評	図が分かりやすく良かったです。すごく勉強になりました。ありがとうございました。		

要望・意見などーDVDについて

22

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	DVD 要望	北海道の断熱については吹込みがほとんどなのでDVDとあわない。テキストの中で説明の図が重複箇所が多すぎる。	4	DVD 要望
東北	施工	DVD 要望	施工方法はDVDなら動画の方がわかりやすいと思った。		
東北	現場管理	DVD 要望	III地域以南のものになっているので、参考にはあまりならなかった。		
東北	現場管理	DVD 要望	3地域以北のDVDと模型を作った方がいいと思います。		
関東	施工	DVD 要望	特にDVD説明に当たり在来工法による現場での施工(和室等)も見たかった。		
東北	現場管理	DVD 不評	DVDで、設備部分の画像が不鮮明でした	2	DVD 不評
近畿	その他	DVD 不評	DVDが長かった		
北海道	現場管理	DVD 好評	施工者にDVDを見せてあげたい	16	DVD 好評
東北	施工	DVD 好評	施工手順がわかりやすいので、DVDが良かった		
東北	施工	DVD 好評	DVDが一番分かりやすかった。		

関東	施工	DVD 好評	断熱メーカーのDVDですこしならいまだけど断熱の入れ方で壁を腐食するケースもあることがわかりました。切断するとチクチクしてとてもいやだったけど親身になって行きたいと思います。
関東	現場管理	DVD 好評	年配の大工さんに正しい断熱施工や、気密することの意味を説明し、理解を得る事が難しかった経験がある。DVDが分かりやすかったので、工事前にでももらってから施工に入ってもらおうと今後はしていきたいと思う。
関東	その他	DVD 好評	講師の方のご説明、DVDともわかりやすく勉強になりました。普段、施工に関していかに勉強不足かが分かりました。大変いい機会になりました。
北陸	現場管理	DVD 好評	DVDを見た後での施工編の説明を受けたのでわかりやすかった。今後実行していこうと思います。
北陸	設計	DVD 好評	DVDが分かりやすかった。
中部	その他	DVD 好評	普段施工の現場には出ないので、DVDでの解説はともわかりやすかった。考査がテキスト持ち込みでよかったです。
近畿	その他	DVD 好評	細かい納まり部分がわかりやすかったです。ほかの大工さん等に断熱材の納め方を説明するのにこのDVDはかなり役立ちます。ありがとうございました。
中国	施工	DVD 好評	たいへんDVDがわかりやすかった。
中国	施工	DVD 好評	DVDの施工方法はわかりやすかった。
中国	現場管理	DVD 好評	画像、動画による説明はともわかりやすかった。
四国	その他	DVD 好評	解りやすくDVDがあるのでいつでも見れて勉強になりました。
四国	その他	DVD 好評	DVDとても分かりやすかったです。帰って他の大工さんに見せられるのもいいです。テキストのアンダーラインの所と同じ所を読み上げるだけなのはどうかかなぁと思いました。taのことも知りたい。
九州・沖縄	設計	DVD 好評	DVDは大変分かりやすかった。

要望・意見などー模型について

13

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	模型 要望	模型について、大人数での講習の場合、全員が説明を聞きながら近くで見ることが出来ないで、気密テープや部材に色が付いているとわかりやすいのかなと思いました。	8	模型 要望
関東	現場管理	模型 要望	スキルアップの為に来ましたが、普段はあまり目にする仕事ではありませんが、今日来てみて良かったです。最後、駐車場の造作の見せ方を(造作物にタイヤを付ける)考えれば、もっとみんなが参加出来ると思いました。		
北陸	設計	模型 要望	テキスト、講義内容大変わかりやすく勉強になりました。(模型が更新されるとなおいいですよね！)本日はありがとうございました。		
北陸	その他	模型 要望	模型はリニューアルした方がよいと思います。		
中部	現場管理	模型 要望	カットモデルをもっと精度の高いものにしてほしい。換気部材等様々あり、仕様はケースバイケースかもしれないが、通気層が塗切れていたり、最低限テキストに載っているレベルの事ができているモデルであってほしい。実務者特に施工者に参加させ、実際に断熱、気密工事の作業してもらってほしいと思う。		
近畿	現場管理	模型 要望	模型を見てみたのですが、唯一それが残念です。それ以外はテキスト、説明とも大変勉強になりました。		
近畿	設計	模型 要望	カットモデルの説明時に、メガホン、拡声機などがあると良いと思う。せっかくすばらしいものを用意されているのに、もったいない。しかし、テキストに図解が豊富でDVDも見ていたので、特別模型があることの感動はなかった。それくらいいいね		
四国	設計	模型 要望	これまでも受講してきたが、カットモデルが小さくなっており、説得力にかけていた気がする。会場の選定が限られると聞いたが、分解できるカットモデルのサイズアップを希望します。サッが入っている方がわかりやすい。		
近畿	施工	模型 不評	模型がいまいちわからなかった。	1	模型 不評
関東	現場管理	模型 好評	模型の説明がわかりやすくて良かったです。	4	模型 好評
北陸	設計	模型 好評	模型が素敵でした		
中部	現場管理	模型 好評	模型は理解しやすい		
九州・沖縄	その他	模型 好評	大変勉強になりました。特に模型は分かりやすかったです。ありがとうございました。		

要望・意見などー修了考査について

5

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	修了考査 要望	修了考査はテキストを見たりなどは無くした方がよい。	2	修了考査 要望
東北	現場管理	修了考査 要望	考査問題解説は解答があればなくてもいい。		
中国	その他	修了考査 不評	テストが易しすぎて意味がない、ビデオを貸してほしい、下請け作業員にも見せたい。	3	修了考査 不評
四国	その他	修了考査 不評	修了考査の時間が短い。		
九州・沖縄	設計	修了考査 不評	答え合わせは必要ないと思います		

要望・意見などー他の資料・説明の要望、アンケート

11

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	その他	他の資料・説明の要望	基本編の第7章について、施工主さん向けのリーフレットがほしいです！ぜひつくって配布してください。	7	他の資料・説明の要望
東北	現場管理	他の資料・説明の要望	気密BOX、ウレタン断熱材…サンプルあればいいと思います。		
関東	施工	他の資料・説明の要望	できれば納まりのディテール部の留意事項などを教えてもらいたい。社員、イラストで。		
関東	設計	他の資料・説明の要望	一般の建築主がこの断熱工法で工事をする、どの程度効果があるか、具体的に数値が、または表などがあると効果があると思う。(省エネルギー)に対して。		
中部	施工	他の資料・説明の要望	流行のメーカー系の住宅ばかりの事例、映像だけで、和風建築に本当に適するのかが疑問であった。特に屋根の断熱施工について納まるのか？実際にモデルハウスでも建てて証明していただきたいと思った。(スマートに納まるのかということ)気密にはものすごく手間がかかると思った。それと、施工者の健康を害しないか心配になった。あとはゴミの問題も。端材の行く末は？講演内容が早過ぎるし、一日で終わらせるような内容ではないはず。質疑応答の時間をとってもう少ししっかりやるべきだと思います。		
中部	その他	他の資料・説明の要望	実際の施工となると、断熱以外に気密処理で困る部分が非常に多く生じる。そのため工法を簡略化できるような手法に対する支援を望む。例えば、筋かいや火打梁などを使わないで済む設計手法や気密や断熱の事例集などがあると大変助かると思う。		
近畿	設計	他の資料・説明の要望	セミナー内容をHP動画等で公開してはどうですか		
東北	現場管理	アンケート	アンケートの結果を県別で公表してほしい。	4	アンケート
中部	施工	アンケート	アンケート多すぎる。		
中国	その他	アンケート	アンケート調査がとても興味深かったです		
九州・沖縄	現場管理	アンケート	11-6最後の質問はいいと思う。		

要望・意見などー講習の内容、形態について

216

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	内容重複 不評	大切なのは分かるが同じ内容を何度もやる必要はないと思います。テキストの講習の後にDVD講習をした方が、まとめの様な感じで、いいと思う。午後からの講習が特にDVDで見た物と同じ事を言っていただけ。	34	内容重複 不評
東北	現場管理	内容重複 不評	DVDの内容とテキストが同じ内容なので、どちらか一つとした方がよいと思います。		
関東	施工	内容重複 不評	施工編テキストの説明はDVDで十分理解できる為不要だと思います。この時間の代わりに基本編第9章の説明が不足な為、時間をさいて欲しいです。		
関東	施工	内容重複 不評	講習会内容にくり返しが多い…		
関東	施工	内容重複 不評	重複している部分が何か所かあったので同じことを何度も聞いている気がした。		
関東	現場管理	内容重複 不評	長い、同じことくり返し過ぎ。施工講習などをやればよいと思う。		
関東	現場管理	内容重複 不評	DVDと講義の内容が異なっていて、意味が無い(時間のムダ)。木造の防火仕様の講習をやってほしい。		
関東	現場管理	内容重複 不評	DVDのみで良かった気がします。断熱施工について何故そこまでやるのか、実施しない場合の事例があれば、もっと分かりやすくなると思います。		
関東	現場管理	内容重複 不評	DVDと講習で重複部分が多かった		
関東	現場管理	内容重複 不評	わかりやすい内容だったが、DVDの内容が反復練習のような部分がありました		
関東	設計	内容重複 不評	ビデオと講習の内容が重複していて、重要な点がわかりやすかった。		
関東	設計	内容重複 不評	断熱材の施工の仕方がDVDとテキストで違っていているので、もう少し短くできるのでは？と思いました。先生の説明はともわかりやすかったです。		
関東	設計	内容重複 不評	今回の講習内容をふまえて設計に反映していきたい。大変わかりやすかったです。但し、重複部分が多かった。		
関東	その他	内容重複 不評	施工方法の説明が重複していた。重複するのなら少しでもいいので実演してほしいです。		
北陸	施工	内容重複 不評	同じことを何度も何度も話して予定時間を過ぎる講習はやめたほうが良いと思う。時間がもったいない、スケジュール通り進行できる講師を連れてきてほしい。		
北陸	施工	内容重複 不評	DVDの内容と行為の説明が重複するので、ムダな様な気がする。要点のみにし、時間の短縮をすべきだと思う。		
北陸	現場管理	内容重複 不評	昼からの講習は午前中のDVDだけでいいのではないかと思います。		
北陸	現場管理	内容重複 不評	同じ内容が多々あり、講習時間が長く感じました。内容的にもう少し範囲を広げると、講習時間を短くするかの検討をして欲しいです。		
北陸	現場管理	内容重複 不評	テキストとDVD重複部を見直して、時間短縮していただきたい。できれば午前か午後の半日になるように！！		
中部	施工	内容重複 不評	設計も受講したので、基本編が重複した。		
中部	現場管理	内容重複 不評	講義とDVDの内容がわかるので、もう少し考えてもらったら、時間を短縮できるのではないのでしょうか		

中部	現場管理	内容重複	不評	基礎編と施工編の重複がたくさんある		
近畿	設計	内容重複	不評	重複した内容の説明とDVDが多いです(基本⇔DVD⇔施工)逆に複雑に感じます		
近畿	その他	内容重複	不評	DVDの内容と講師の説明がまったく同じで必要が無いと思えた。施工についてはDVDのみでいいのでは？		
近畿	その他	内容重複	不評	DVD放映と「施工技術者講習テキスト施工編」住宅の断熱施工の内容がダブっているので、DVD放映を省くことができると思いました。		
中国	施工	内容重複	不評	テキストだけでよい		
中国	現場管理	内容重複	不評	テキスト(施工編)とDVDは内容が重複しているが、テキスト(基礎編)の説明の時間がかなり少なかった。		
中国	現場管理	内容重複	不評	講師の話とDVDの内容が一緒、時間のムダ		
中国	現場管理	内容重複	不評	DVDとテキストの同じ内容での講義が長く、他、基礎などの話が長く聞けなかった。		
四国	施工	内容重複	不評	テキストとDVDで内容が重複する。DVD内でも同じ内容が出てくる。同じことだと集中力が切れるので時短のためにも改善した方がよい。		
四国	施工	内容重複	不評	テキストとDVDの内容が同じようなところがあるので、同時に説明すると早くわかりやすい。		
四国	現場管理	内容重複	不評	内容はわかりやすくて良かった。施工編の講義はDVDと重複しているのでも、どちらか省略した方がよい。		
九州・沖縄	現場管理	内容重複	不評	講習中、重複しての説明が多いように思われました。		
九州・沖縄	設計	内容重複	不評	テキストとDVDの内容は同じなのでどちらからでもよい		
東北	施工	読み上げ講習	不評	テキストの棒読みで全く中身がない話でかつ良かった。		
東北	施工	読み上げ講習	不評	テキストを読むだけの講義ではほとんど意味がない。		
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	DVDと重複している部分がある		
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	配布したテキストをそのまま読んでいたような講習であるなら、各自読む事とし、時間短縮してほしい。		
東北	設計	読み上げ講習	不評	文章を読んでいるだけでは意味がないのでは？(基本編)朗読会のような、もっとポイントしぼってくださった方がよい。		
東北	その他	読み上げ講習	不評	テキストを読みながら座学はあまり意味がないのでは。模型解説の充実や体験型講習にすれば有意義になるのではないのでしょうか。		
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	今回は断熱材の施工方法のみの講習だったので他の講習会にも参加したいと思えます。DVDでの内容が分かりやすく、勉強になりましたが、講師がテキストを <b>読むだけだったのが残念でした。</b>		
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	もう少しじっくりとテキスト以外の事も教えていただければなお良かったと思います。		
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストを使用した講習は、講師がテキストを読み上げるだけ。DVD映像の補足事項をテキストで説明した方がわかりやすいと思います。		
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	説明者(講師)の説明の仕方をもう少し何とかしてほしい。マイクの音量が低い。説明者がもう少しテキパキとした方がよいと思う。テキストを読んでいるだけで時間のムダ。DVDだけで十分(以上基本編の方)皆さんは大切な時間をさいてきているのだから、効率の良い講習にしたい。		
関東	その他	読み上げ講習	不評	テキストを読み上げる講習スタイルはあまり意味をなさないと思う。+αの説明が欲しかった。		
関東	その他	読み上げ講習	不評	講義はテキストを読んでいるだけの時間が長く、午後は眠くなってしまいました。カットモデルを使った説明はわかりやすかったです。テキスト、DVDは良く出来ていて有難いです。社内で共有させて頂きます。		
北陸	現場管理	読み上げ講習	不評	読めばわかるテキストを、そのまま朗読するような講義だったので、時間をムダにしている気がした。もっと他にうまい方法があると思う。		
北陸	現場管理	読み上げ講習	不評	単にテキストを読み上げているだけなので、面白くない。進展が早い、アンダーライン記入中に次の項目に進んでいる。		
北陸	設計	読み上げ講習	不評	DVDがあるのでテキストを全部読まなくて良いのでは。		
中部	施工	読み上げ講習	不評	・膜型の所での解説いらぬです。講義の内容と同じなので、休憩時間に見る程度で良いかと思います。・試験の解説いらぬです。テキストのページ指定まで頂いているので十分だと思います。		
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストとDVDで十分解ります。		
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	初めて講習会に参加させて頂きましたが、テキストを棒読みしているだけなので、正直テキストさえあれば講師の必要性を感じない。有料である以上、もっとクオリティを上げてほしい。時間配分も良くなかった。テキストは分かり易くて良かった。質問タイムがあると良い。		
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	本を読み上げているだけの講師であれば集まっている人全員で本を唱和しても同じことですね。講師の方のお話はあまり意味が無い気がします。		
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	棒読みでわかりにくかった。		
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストを読み上げるだけであれば、ビデオ等で十分では？		
中部	設計	読み上げ講習	不評	テキストの棒読みでは物足りない。(時間的に仕方ないのかも)		
中部	その他	読み上げ講習	不評	テキストも見やすく、分かりやすかったが、この <b>テキストを読み上げるだけの説明だと、少し物足りなさを感じました。</b> 模型での断熱材の施工説明はともわかりやすくて良いと思った。		
近畿	現場管理	読み上げ講習	不評	講師の説明がカリキュラムなどの制限でテキスト通りなので、すべてDVDでも良いのではなかった。		
近畿	その他	読み上げ講習	不評	もう少し講習会の回数があると参加しやすい。同じ日に設計と施工が同時にとれば嬉しい。		
近畿	その他	読み上げ講習	不評	テキストは現場に沿った内容だったと思いますが、講師の方はただそれを読んでいるだけだったので、せつかくの時間なのだから、もう少し内容を濃くした方がよいのでは…?		
中国	施工	読み上げ講習	不評	テキスト等の読み上げが多かった事を今後改善してもらいたい。施工すべきところ、図を多用、多く説明を心がけてほしい		
中国	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストを読んでいるだけだった。テンポが悪かった。		
四国	施工	読み上げ講習	不評	内容は良かったが、テキストの棒読みはつらい。		
九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	一番目の方はテキストを読み上げていただけたのでそれならわざわざ聞きにくる必要はなかったのではないかと思います。		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習	不評	ただテキストを読み上げるだけでなく、もう少し工夫してお話された方がよいと思いました。		
北海道	現場管理	要望 ポイントを絞った説明		午後からのようにポイントを絞った説明は理解しやすかった	8	要望 ポイントを絞った説明
北海道	現場管理	要望 ポイントを絞った説明		講習会の講師は事前にテキスト内容を確認し、もっと説明方法を工夫してほしい		
東北	その他	要望 ポイントを絞った説明		テキストの流し読みでは、講習会とは言えないのでは？重要な部分などはスライドを使用するなど、何が大事なかをわかりやすくしてもらえると良い。		
関東	その他	要望 ポイントを絞った説明		もう少しポイントを重点的にメリハリをつけてほしい		
北陸	設計	要望 ポイントを絞った説明		短時間でテキストを終わらせなければいけないのだから、要点を特に講義し、自分で読めば良い。声がはっきりしなくて聞きにくい人がいた。		
北陸	設計	要望 ポイントを絞った説明		テキストを読み上げるより、ポイントをしぼって説明した方が分かりやすいと思った。(正しい納まりと間違った納まりの比較など)		
北陸	その他	要望 ポイントを絞った説明		テキストを読み上げるだけでなく、ポイントを「大」にしてほしい。		
近畿	現場管理	要望 ポイントを絞った説明		重要な所は特に重要だと言ってほしい。		
関東	現場管理	要望 説明順序		施工DVDを見て講義を受けるのは、余り良いと思えない。DVDを流しながら解説しては？	4	要望 説明順序
中部	現場管理	要望 説明順序		DVDは講義の後で。		
中国	現場管理	要望 説明順序		昼あけてのDVDが長かった		
九州・沖縄	施工	要望 説明順序		講義スケジュールでDVD放映を最初にするならどうだろうか？眠くしょうがない。		
四国	その他	要望 説明箇所が分かるように		短時間で多数の項目を学習するので、非常に理解することが難しかった。講師の先生の開いている <b>テキストをスクリーンに表示しながら、話を進めたいと理解しやすいと思う。(どこを開いてどの説明をしているのかが分かりやすかった)</b>	1	要望 説明箇所が分かるように
東北	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		DVDの講習の方が分かりやすい。	12	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
東北	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		講師必要？DVDで良いのでは？		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		施工のテキスト講義はDVDとテキストの説明を同時にやった方がわかりやすいと思いました。勉強になりました。(特に施工の納まり)		
中部	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		すべてDVD講習でも可能ではないでしょうか		
中部	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		DVDはともわかりやすかったです。特に <b>施工技術者講習テキストページに沿ったDVDがあると講師の説明がなくても良いのではと思います。</b>		
中国	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		DVDだけで充分だと思ふ。同じ事を何度も説明している。拘束時間が長い。		
四国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		全てビデオで良いと思う		
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		DVDのみでまとめて、説明してもらった方がよいと思う		
東北	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		テキストをただ読むだけでなく、パワーポイント等などを併用した方がよいと思う。もっと解説を交えて話してもらおうとわかりやすい。テキストを省略しすぎ。		
東北	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		パワーポイント+支持棒(又はレーザーポインタ)の方がよいと思います。(特に施工は)		
関東	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		もう少し映像を取り入れてほしいです。考査はテキストなしだと意外と難しかったです。		
関東	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		座学がテキストを読むだけでは無駄な時間だと感じた。DVDはとも役に立つので活用したい。 <b>黒板やスライドを使った方がわかりやすい。</b> 模型を使っての解説はともわかりやすくて良かった。		
東北	施工	要望 具体例・事例による説明		在来軸組における施工実態の具体的事例が欲しい。	14	要望 具体例・事例による説明
東北	施工	要望 具体例・事例による説明		失敗事例とかあれば更に良かった。		

東北	現場管理	要望 具体例・実例による説明	DVD講義でも良いのでは？講師からテキストよりも突っ込んだ施工例の紹介やアドバイスがあっても良いと思う。外断熱はキライです。充填断熱で十分かと。要はお客様のために永く快適に住んでもらうために少々の手間など惜しまず家造りすることが大切。		
東北	設計	要望 具体例・実例による説明	施工の様子を映像で見て、不適切な施工を指摘するような内容が必要かと思いました。		
関東	施工	要望 具体例・実例による説明	もっと詳しく説明をしていただきたいかった。(具体例をあげて) テキストを読むだけなので。		
北陸	現場管理	要望 具体例・実例による説明	実際の現場でやってほしい		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	防湿層と気密層の考え方がよく分からなかった。もっと施工方法による具体的な施行例を紹介してほしい。		
中部	その他	要望 具体例・実例による説明	断熱工事の失敗例やデメリットをもっと教えてほしいと思う。失敗例やデメリットを知ることによって正しい仕事をもっと考えたいと思う。頭ごなしに正しい内容と言われる内容より、工程ぬげがわかりやすい。		
中部	その他	要望 具体例・実例による説明	施工の悪い例をもっと取り上げてもらうとわかりやすい。施工の悪い例を公開し、建築主が知ることで現場施工者の意識も向上すると思う。		
中国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	テキスト、DVDを使うのは良いが、もっと実物を使った実践的講習が良いのではないかなと思った		
四国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	もう少し具体的な説明がないと難しいと思われる。		
九州・沖縄	施工	要望 具体例・実例による説明	各種の補助金制度や優遇税制等が解り易く説明してほしい。又、実際の申請の様式、窓口等の説明もないと、なかなかお施主様にも説明しづらいし、利用できない。(施主、工務店とも、損失が出る)		
九州・沖縄	その他	要望 具体例・実例による説明	せつかくの長時間での講習会なので、テキストにもとづいた解説を具体的に聞きたかった。質疑等が言いたくにくい雰囲気だった。内容は充実していると思うが、表面だけの説明で物足りない。		
九州・沖縄	その他	要望 具体例・実例による説明	今回の様な技術系講習会には、往々にしてわかりやすいか否か、伝わっているかには重きはなく、資料を読むだけというものが多く、要は発信側ではなく受け手側にて全てゆだねられている。せつかくわかりやすい資料を準備し、スクリーンまで用意されているのだから、読むだけではなく、具体的な例などをおりまぜながらの方が、わかりやすいし興味もてるのではないかな。		
東北	施工	要望 実習・実演のある講習	断熱協会の断熱講習を受けてまして、今回の講義に足りないと思うのは、実技がない事。又、これから徹底していくには検査が必要かと思われます。(ほとんどの大工さんがしていません)	9	要望 実習・実演のある講習
東北	現場管理	要望 実習・実演のある講習	施工工法の見学会をしてほしい		
関東	施工	要望 実習・実演のある講習	施工体験もしたい。		
関東	現場管理	要望 実習・実演のある講習	最後にポイントのおさらいしてほしい。実務例をもう少し聞きたい。		
北陸	現場管理	要望 実習・実演のある講習	実際に施工している現場での施工講習があっても良いと思いました。		
近畿	その他	要望 実習・実演のある講習	さらに詳しい講習会があるといい。例えば施工現場での講習会。		
中国	施工	要望 実習・実演のある講習	実技などをしてもらおうと思う		
中国	現場管理	要望 実習・実演のある講習	会場に缶詰めは不要だと思います。現場での個別指導をしていただく正確な施工方法を実際に目にする事ができるので良いと思います。		
九州・沖縄	施工	要望 実習・実演のある講習	現場研修してほしい		
北海道	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	外皮計算ほしかった	24	要望 新基準、関連制度の詳しい説明
北海道	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	外皮性能基準の算出法を具体的に説明希望		
東北	施工	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	低炭素住宅について(計算含む)もっと知りたかった。		
東北	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	法律の由来理由の説明が欲しかったです。		
東北	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	「施工」ということなので内容に現場サイドのものが多かったが、基準の改正等について、もう少し詳しい話があっても良かったのではないかなと思います。		
関東	施工	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	低炭素住宅において実際どのようなものをどれだけ使うか、熱貫流、外皮の計算などについて知りたかった。これだと現場の人は施工方法のことだけしかわからない。ある程度一貫して知らないといけないと思う(運発なんかはとくに良くない)。管理されてないことが多い。ちゃんと試験にちゃんと理解した人でないと意味が無いと思う。ちゃんとした建物にはならない。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	第9章にあります、各法、基準と制度等についての講習の開催を希望します。本日はありがとうございます。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	一次エネルギーについての説明がもう少し時間を取ってほしかった。今後低炭素の講義があれば参加したいと思えます。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	25年度基準をもっと詳しく聞きたい。		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネ、リフォーム税別優遇処置の申請方法とか具体的例。		
関東	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネ制度、関連基準等の説明時間を多くして欲しいです。断熱の説明が重複しすぎています。その分法規等の説明に割いてほしかったと思います。		
関東	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	平成25年省エネ基準について、もっと時間を取り、詳しく具体的な講習会が良いのでは？例えば、足利及びこの地域では、地域区分が「5地域」で、例として、グラスウールだと〇〇k 壁、天井、基礎は〇〇、板ジョウだと〇〇n/m以上、サッシとの組み合わせで〇〇になるとか、開口部比率うんぬんなど！		
北陸	施工	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネ施工すると補助制度があるのかなども聞きたかった		
北陸	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	エネルギー計算のノウハウなどもあったら有難いです		
北陸	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	認定低炭素住宅について、補助金の有無。		
中部	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	新省エネ基準についての詳しい説明会を開催して下さい。		
中部	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	もう少し細部にわたる所を知りたかった。25年度の申請部分など。		
中部	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	平成25年度省エネルギー基準対応を地域別に仕様規定で示して欲しい。できているのであれば資料が欲しい。		
中部	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H27年4月以降、改めて実務についての講習を実施してほしい。		
中部	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	ミニモデルがわかりやすかった。理解が深まった。 <b>窓、壁などからの熱消失の計算例があると、よりわかりやすかった。</b>		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	低炭素、一次エネルギー研修の充実。新築減の中、既築で低炭素をどうするのか？外皮、一次エネルギーを更に充実した研修、普及必要。(補助金、既築含む)		
四国	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	テキストをそのまま読んでいるのでよく眠った。6とDVDとテキストを組み合わせる指して説明するなどの工夫が必要だと思います。 <b>新しくなった制度の説明もほとんどなく不安に思いました。</b>		
九州・沖縄	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネルギー基準、関連制度の全体的な(大枠)講習内容が聞きたかったです		
九州・沖縄	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	8章 省エネルギー基準の時間がもう少し欲しい。具体的などの住宅(全て?)にどういう計算をしているのか例を挙げてやってほしい(設計者講習?)。		
関東	その他	要望 質疑応答の時間確保	質疑応答の時間が少しほしかったです	5	要望 質疑応答の時間確保
関東	その他	要望 質疑応答の時間確保	質疑がなく講習も流して終わったと感じる		
中部	施工	要望 質疑応答の時間確保	講師先生との質問時間を作って欲しい		
中部	設計	要望 質疑応答の時間確保	質疑応答時間があれば良いと思う		
中国	施工	要望 質疑応答の時間確保	ただテキストを読み上げるだけで疑問などを聞かしていただく時間がなかったのがお願いしたいところです。		
中部	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	ありません。今後してください。	1	要望 講習会の次の開催、多数開催
関東	設計	要望 より詳しい内容の講習	もう1日増やしてゆつくり講義を受けたい(2日間制)今回講義を受け、おおまかなテーマを勉強したが、もう少し細かい内容も勉強したかった。(例えば断熱材の厚さについてのディスカッション、現在、太陽光の普及により片流れの屋根が多いが片流れの屋根の通気の内壁等…この質問の欄も足りないので増やしたい)施工講義があれば良かった。(こちら側も実際施工体験する等)	7	要望 より詳しい内容の講習
関東	その他	要望 より詳しい内容の講習	大変勉強になりました。フォローアップや追加(詳細)講習をぜひ実施してください。		
関東	その他	要望 より詳しい内容の講習	ほとんど施工していないようだったのであまりためにならなかった。もっと詳しい講義を求めたい。断熱性能や、木材への収縮の影響等。今後またこういう取り組みがあれば参加したい。施工編のP30基本のP60で筋違いの矛盾がありますよ。		

北陸	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	基本ではありませんが、もう少し専門的か新しい技術に対応して欲しいです。		
近畿	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	有意義な内容でしたが、大まかなテーマについてのお話が主でしたので、もう少し時間を割いて細かい部分の解説の時間があればいいなと思いました。		
近畿	設計	要望 より詳しい内容の講習	もう少し詳しい内容をしてほしかった。講習時間が短い。		
近畿	設計	要望 より詳しい内容の講習	もう少し内容的に深く説明してほしい		
北海道	現場管理	要望 該当地域向け講習	北海道での仕様についての解説を色々してほしい。断熱、気密、設備	2	要望 該当地域向け講習
北海道	その他	要望 該当地域向け講習	北海道の技術レベルに応じた内容とすることが望ましい。		
北海道	現場管理	要望 施工者向け講習	現場施工者をもっと講習会を出すこと。	20	要望 施工者向け講習
北海道	現場管理	要望 施工者向け講習	施工的な面をもっと詳しく教えて。		
東北	施工	要望 施工者向け講習	現場人として、講習会が少ないと思います。現場との違いが多くあり、本当の施工技術者が少ないと思います。		
東北	設計	要望 施工者向け講習	大工の研修も必要だと思います。		
関東	現場管理	要望 施工者向け講習	現場施工者の受講義務化		
北陸	施工	要望 施工者向け講習	木造住宅は大工が主となるため、時に1人親方で仕事をしている大工が受講できるような環境にして欲しい。(ハウスメーカー等、長期優良住宅等を出入している大工はわかっている)		
北陸	現場管理	要望 施工者向け講習	大工職におしえてほしい。		
北陸	現場管理	要望 施工者向け講習	現場施工者(大工さん)と同じ講習会に参加して頂き、断熱材の重要性を理解してほしい。(管理する側だけでは無理が多いため)その様な講習会を大工組合とかでできませんか？		
中部	現場管理	要望 施工者向け講習	元請は必要な講習だが、毎日確認する事ができないので、施工する立場の大工、下請業者の勉強会が必要なので地域ごとに細かく指導してほしいです。		
中部	現場管理	要望 施工者向け講習	もっと技術的な施工の講習が欲しかったです。		
中部	現場管理	要望 施工者向け講習	大変良い内容でした。現場施工者向けの講習会を開催していただけると、施工全体のレベルアップにつながるのではないかと思います。		
中部	設計	要望 施工者向け講習	現場施工者に(大工)講習が必要と思いました		
近畿	現場管理	要望 施工者向け講習	現場加工のことも考えた説明で分かりやすかった。監督はもちろんだが現場作業員や棟梁などに義務付けてほしい。金物の付け方ですらまだまだ現場作業員は理解していないのが現状の中、このような施工を監督に全てチェックさせるのは負担が大きい。現場作業員にもっとしらせてほしい。		
中国	施工	要望 施工者向け講習	近年の建主は断熱に関して知識の高い人が多くなっているため、職人側に知識が追いついていないと思われるので、このような講習をもっと行っていただきたい。		
四国	施工	要望 施工者向け講習	何度か又、施工者への講習が必要		
四国	施工	要望 施工者向け講習	主に職人、監督に受けてもらいたい！		
四国	現場管理	要望 施工者向け講習	グラスウール断熱をしていますが、今回のセミナーDVD施工を行うことが当たり前だと特に現場の協力業者と重要な大工も、全く知らない。現在施行している現場は大きく間違っで協力業者は工事している。大変なことです。建築にたずさわる木造関連業者全ての方に知らしめなければならぬ。どのように知らしめるかが問題である。早く行動しないと日本全国で大きな社会問題になる。現在出回るとてもこわいDVDになるであろう。		
四国	設計	要望 施工者向け講習	もっと現場の職人さんに来てもらって講習を聞いてほしい。大工、設備、電気 気密の意味を知る事が大切。失敗によって木部が腐った写真(カビとか)とかみせると良いと思う。		
四国	その他	要望 施工者向け講習	大工さんに広げてほしい。		
九州・沖縄	施工	要望 施工者向け講習	施工技術の講習なのでもっと現場中心の内容が良いと思います。		
東北	施工	要望 設備、建材等他業種向け講習会	設備関係者の講習会も実施させていないと施工者だけ理解しても変わらないのでは？むしろ設備関係も一緒に講習を受ける事が大事になってくると思います。	3	要望 設備、建材等他業種向け講習会
関東	施工	要望 設備、建材等他業種向け講習会	来て良かった。施工してみて、あれこれどうするのか？と思う所いっぱい解決できる様です。断熱工事が重視されていく方向になるといいです。設備、電気職の方も受講される事を望みます。地球が熱くならない、少しでも熱が下がる事、自分なりに出来る力出したい。		
関東	現場管理	要望 設備、建材等他業種向け講習会	設備(給排水、電気)等の施工の講習会が必要。販売店(建材関係)の指導講習会が必要。		
東北	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームについては、難しい部分が多いかと思っています。施工例や、マニュアルなどの整備、講習などあれば良いと思います。	10	要望 リフォーム向け講習
東北	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォーム工事における断熱材施工時の防湿層の作り方が不明。		
関東	施工	要望 リフォーム向け講習	この基準を満たす新築住宅を10年後にリフォームする場合の工事費が気になった。確実に手間が増え、客への負担になる。既存住宅の断熱リフォームに触れられていたが、この辺りの話しも欲しかった。		
関東	施工	要望 リフォーム向け講習	リフォームなどでマニュアル通りの施工ができない場合の応用や例などがもっとあったらいいと思います		
関東	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームについてももう少し時間を割いて欲しかった。		
関東	その他	要望 リフォーム向け講習	テキスト、DVDともに施工の様子が詳しく見る事ができ、非常に分かりやすかった。しかし、リフォームにおいて、部分リフォーム(費用面でこちらの需要の方が多いと思うので)の場合の考え方などももう少し詳しい検証があれば参考になったと思う。		
北陸	現場管理	要望 リフォーム向け講習	電気、設備や改修方法(間取り変更に対する構造補強等)の講習などがあれば参加したいです。資金計画		
中国	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームの場合のときも詳しく聞ければよかった。		
四国	現場管理	要望 リフォーム向け講習	既存住宅をリフォームする場合の施工方法等について知りたかった。		
四国	設計	要望 リフォーム向け講習	リフォーム会社なので、法令のこととか、計算のしかたなど、もう少し例を挙げて具体的に教えてほしかったです		
関東	設計	社内教育、情報共有	新入社員でこの講習会を会社から受けるよう言われました。全く知らなかった事も多く大変勉強になりました。11-11~11-5までしっかりと把握できていません。すみません。	3	社内教育、情報共有
関東	その他	社内教育、情報共有	住宅会社ごとに個別指導などの場を設けて頂けたらと思います。平成25年省エネ基準を正しく施工したのに、結露が発生しやすい場所などを教えて頂けたらと思います。		
四国	現場管理	社内教育、情報共有	わかりやすかったので社員にも伝え講習に参加させたいです。ありがとうございました。		
関東	施工	要望 講習内容以外の説明	今回のとは違いますが、アスベスト対応(おさざりになっている)等、完全に普及するようにならなければならぬ。省エネルギー対策は全世界的にとらえても良い講習だと思います。ためになりました。ありがとうございました。	7	要望 講習内容以外の説明
関東	設計	要望 講習内容以外の説明	耐震についての講習会、参加したいです		
中部	施工	要望 講習内容以外の説明	断熱だけでなく、バッシブな構造や設備面の省エネルギーの項目も大事だと思うので、講習内容にあるといいなと思いました。本日は有意義な講習会をありがとうございました。		
中部	施工	要望 講習内容以外の説明	木工事より軽量工事が多い為、そちらも知りたい。		
近畿	その他	要望 講習内容以外の説明	非木造の施工講習会もお願いします。(RC造、S造、SRC造)		
九州・沖縄	施工	要望 講習内容以外の説明	RC造の断熱工法も具体的な施例知りた		
九州・沖縄	設計	要望 講習内容以外の説明	C値測定の講習会の実施と、測定機をセンターなどでかしたサービスを行えば、地域の技術レベルが上がると思う		
東北	現場管理	講習内容への批判	深く知るには内容が足りない。	16	講習内容への批判
東北	その他	講習内容への批判	正直レベルが低すぎる。これが国交省の補助事業なのか丸一日かけてがっかりである。税金の無駄遣いでは！		
東北	その他	講習内容への批判	換気についての説明ももう少し必要ではないでしょうか？		
東北	その他	講習内容への批判	模型の解説がわかりやすくしてほしかった。		
関東	施工	講習内容への批判	講習内容は分かりやすく説明されていたが、施工後リフォーム等への対応等の長期にわたる管理については考慮がないと思った。		
関東	現場管理	講習内容への批判	換気計画の内容が不足していると思う。		
北陸	施工	講習内容への批判	主旨は解りますが、施工できますか？100%この通り施工して、他の法にふれませんか？現場で間違いなく使え、誰もが間違わず安心して活用できる総合テキストが欲しい。(g10とかも含め、薄いテキストが)		
中部	その他	講習内容への批判	現場での説明の参考になったが物足りなかった		
中部	その他	講習内容への批判	各工法(例、充填断熱と外断熱...)の概要等は良くわかりました。メリット及びデメリット等の説明があると良かったです。設計、施工管理と現場施工者とは全く別内容で分けて行った方がよい。		
近畿	現場管理	講習内容への批判	特に得るものない講習でした。		
中国	施工	講習内容への批判	住宅省エネルギー施工技術者と設計技術者の講習は1つのセットでおこなわないと意味がない。		
四国	施工	講習内容への批判	期待していた内容でなかったため残念でした。今後はもう少し役にたつものにしてください。		

九州・沖縄	現場管理	講習内容への批判	わかりづらかった(基本)		
九州・沖縄	現場管理	講習内容への批判	※意見、私を含め受講目的は、平成25年省エネルギー基準に適合するために最低何をすれば良いのか?というのが、ほとんどではないかと思う。その辺の説明が欲しかった。高レベルの断熱の話はいいが、		
九州・沖縄	その他	講習内容への批判	質問もできるのに、時間を短くし、後目ゆっくりに勉強したい! 審査は必要ないのでは!		
関東	施工	講習会の意義に疑問	ずっとねてたやつもこれちゃうようなしなくならんのかしらもない、すぐ失礼な講習会。ほかの人にはずすめられない。	3	講習会意義への疑問
近畿	現場管理	講習会の意義に疑問	断熱業者の講習会ですか?何が言いたいのかかやりのか?		
中国	現場管理	講習会の意義に疑問	今度受けている断熱講習者に対して、考慮されることはないのか?新しい資格に対し疑問を持たざるを得ない。自動車の普通に、中型自動車二輪又大型がついている。		
中部	その他	講習内容 その他	web等で受講できるようにすれば、現場の人間も参加しやすい	2	講習内容その他
九州・沖縄	施工	講習内容 その他	今回の講習会では今までやってきて当たり前でいいかと思いますが、次世代の省エネは今回の内容ではとてもではないが対応できないですね。グラスウールの入れ方など、して当たり前でその後どうなるか、それで大丈夫なのかという所が大事ではないでしょうか?今日の内容では内部結露してグラスウールがダメになると思うのですが?あと、テキストを讀んでもらう時間が長いです。他のやり方があると思います。讀むだけなら自分でもできます。		

要望・意見など一講習時間、時間割について

87

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ボリュームに対して時間が短いように感じました。※講師の説明が早すぎて、たまについていけないかったです。	54	講習時間が不足、説明速い
東北	施工	講習時間が不足、説明速い	講義の時間が短い		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけて教えて欲しい。		
東北	無回答	講習時間が不足、説明速い	短い時間での説明無理かと思えます。重要事項トッピングして、説明(具体的に)したら、良かったと思います。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	話しが聞きとりづらかった。流れが早すぎて頭に入らなかった。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短すぎてよく解らなかった。もつと時間があれば、ゆっくりに長く聞きたかった。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	時間的にタイトである。読めば良い所は省いて重要項目に重点を置いた方が良いのでは。カットモデルは人数が多かったのでもよく見ることが出来なかった。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容のボリュームが多すぎてだけに解説が駆け足で分かりにくい、テキストが非常に分かりやすく作られているので、読み返しての復習がやりやすい。施工DVDも分かりやすく編集されていた。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	基本的な技術が解っていたので超スピードの説明でもある程度理解できたと思う		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	分かり易い部分とそうでない部分があった。後半早すぎる。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講義の流れが早く理解できないまま次へ進んでしまう		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	全体に時間が短すぎるのでは。DVDは特に早すぎる。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容の密度に対して講義時間が短いため、知りたい項目が省かれていて残念だった。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	大変になる講習でしたが、全体的に時間が足りないように感じました。内容的に2日間位あってもよいのではないかと思います。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早口でどんどん進んでいったのでついていけなくて一杯でした。DVD講義があったから理解しやすかったのですが、テキスト見ながらの説明のみだと聞きおとしがたくさんあったかもしれません。ありがとうございました。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間の関係で内容を詰め込みすぎているのか、一つ一つが大急ぎで進めている感があった。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	少し時間がなく復習が出来なかったような気がします。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	時間の関係上仕方ない事だとは思いますが、講師の説明がテキスト。内容飛ばし過ぎ。テキストも飛ばすくらいなら要点だけまとめたもので十分。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	内容の割に時間が短く急ぎ足。施工の理解に時間がゆとりそう。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎてよく聞き取れなかった。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少し詳しく解説してほしいかったです。講義の時間が短いように思いました。		
北陸	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が限られているため話のスピードが早過ぎる		
北陸	施工	講習時間が不足、説明速い	内容に対して時間が短い。せめて8:50開始~17:30終了ぐらいでも良いと思います。		
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	急ぎすぎ。		
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりに教えていただきたいです。		
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	ほとんど講習内容を理解している人が再認識のための講習会の印象です。私のような分野の異なる者にとっては初めて知ることが多いので、1日の講習で理解することはできない。3日~5日の(内容)講習期間でないとう理解は困難です。講師の方の発音が聞きとりにくい。早口で音声が分かりにくい。		
中部	施工	講習時間が不足、説明速い	全体的に説明時間が短い		
中部	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が無い為が早い(説明)		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講義ベースが速いと思えます。		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキストの説明が早く理解するのが大変。テキストを先に渡す、時間をもっととるなどしてほしい。		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間で仕方ないものの、サクッと流し過ぎる感じがします		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講師の方の説明が早過ぎる。講義が長いので休憩をもっと考えるべき(DVDも同じ)。二日間に分けても良いのでは?		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早過ぎてテキストを見るのがついていけない		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキスト内容(ページ数)が多く、駆け足だった。		
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	断熱リフォームがかなりハイペースでわかりにくかった。		
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりに話をしていただくと良いと思えました。(時間的なものがあるので、しかたないですが)		
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	この盛り沢山の内容を一日の講習で終わるのは難しいと思えます。		
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間の関係もあるとは思いますがあまりにも早く進め過ぎではないでしょうか		
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	進み方が早すぎてついていけない部分があった。		
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し多く時間を取り、じっくり解説聞きたかったです。		
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	説明の時間短かったです。速くてききにくかったです。		
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないので、もう少しゆっくりに説明して頂ければと思います。		
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間内におさまようとしてされているのはよくわかりましたが、早口すぎるなあと思えました。		
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	二倍の時間を割いた講習にしていた方がいいです		
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間が必要に思えます。		
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないためであるが、説明が早く考える時間がない。ほんの少し間をとって進めていただくとありがたい。ついていくのがせいっぱい。聞きもらずとテキストのどこを言っているのかかわからない時があった。		
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短い。2日間での講習が良いと思う。		
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が足りない、もう少しわかり易く。		
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりに講習会を行ってほしい。		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	早足だったので、もっとゆっくりに聞きたかった。		
四国	施工	講習時間が不足、説明速い	すごく大事なテキスト基本編の74ページをスルーしてましたね		
四国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキスト全項目をもっと詳しくゆっくりに講習を受けたい。そして2020年の義務化のためだけではなく、実際に住む人が住みやすい家造りに取り組みたい。		

九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	長いと言われる方がいるかもしれませんが、私自身、もう少し講習時間が長くてもいいと思いました。今から先、とても大切な課題となっている内容なのでじっくり学んでみたいと思いました。本当にありがとうございました。川内で設計のほうの講習する時は受けさせていただきます。		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	DVDを配布し、かつ視聴する意味が分からない。時間が多く取り過ぎる。講師がテキストを読むだけで内容が入らない。	19	講習時間が長い
東北	設計	講習時間が長い	DVDと講義を同時進行させて時短を！		
関東	施工	講習時間が長い	ムダな時間が長い。		
関東	現場管理	講習時間が長い	1日は長かったです。お疲れ様でした。		
関東	設計	講習時間が長い	講義時間が長すぎる。		
北陸	施工	講習時間が長い	もう少し短い時間で。		
北陸	施工	講習時間が長い	長すぎる		
北陸	設計	講習時間が長い	丸1日では仕事に差し支えるのと集中力が保てない。何日かに分けてはどうかと思う。DVDと施工編がほとんど変わらないので、DVDは家で見るなど省略したらどうかと思う。下屋の部分の雨水と通気の共存がよくわからなかった。		
中部	施工	講習時間が長い	少し長いかな。		
中部	現場管理	講習時間が長い	この講義方法、DVD放映であれば半日で良いのでは？外皮熱性能に「遮熱」は考慮されない？		
中部	現場管理	講習時間が長い	一日のプログラムと、時間があてない。間延びしている。早く終了するのであれば、それはそれでよい。内容は分かり易く、為になった。		
中部	現場管理	講習時間が長い	屋からさ、もう少し短くしてもらわないと集中力がもたせません		
近畿	施工	講習時間が長い	内容は大変わかりやすいですが、時間が長くたれる。1日必要かな？と思います。資格制にして受験させた方が		
近畿	現場管理	講習時間が長い	良いのでは？		
近畿	現場管理	講習時間が長い	もっと時短して半日で完了して下さい。		
近畿	現場管理	講習時間が長い	長かったです。		
近畿	その他	講習時間が長い	時間の短縮を望むところです。資料をもらい内容確認、一発テストではダメなんでしょうか？受講される方は増えると思われませんが。		
中国	現場管理	講習時間が長い	少し長く感じましたが内容は有意義であったと思います。		
四国	施工	講習時間が長い	電気や設備の必要な所は少なかった。半日で十分でした。		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が長い	長い		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が長い	良かったけどわかりやすかったのが良かった。来年から仕事で使いたいと思います。		
東北	現場管理	時間配分等	参考問題解説で答案用紙をただ読むだけなら、やらなくてもいい。解説に15分使ったら基本編第6章～9章を15分増やしてもらった方が有意義。	14	時間配分、時間割、休憩時間
関東	現場管理	時間配分等	もう少しテキストの内容を掘り下げて講演してほしい。施工の方の講師は、話にまとまりがなく聞きとりづらかった。		
関東	設計	時間配分等	講義が長いと集中力がもたないで1コマ60分程度で構成してほしい		
関東	設計	時間配分等	DVDがすぐわかりやすかったので施工編のテキストでの講習は短くても問題ないと感じました。気流止めetc正しく施工していなかった所がわかって良かったです。筋かい部、コンセント、配管まわり、完璧にするのが理想ですが、実際にコスト、手間を考えると…		
関東	設計	時間配分等	午後の100分が長く途中眠くなった。休憩を入れてほしい。		
関東	その他	時間配分等	基本編テキストの後半の内容を詳しく聞きたかった		
関東	その他	時間配分等	午後の公衆13:00～14:40は時間が長いので間に休憩をとった方がよいのではないのでしょうか？集中力が落ちます。ポイントだけ説明しても少し短く講習になった方が助かります。		
北陸	設計	時間配分等	短い時間で良いので、もう少しこまめに休憩を入れて欲しい。		
北陸	その他	時間配分等	テキストにおける時間配分に工夫を。		
中部	現場管理	時間配分等	時間配分を考えられては？		
近畿	現場管理	時間配分等	時間配分の検討が必要かと…。		
九州・沖縄	現場管理	時間配分等	テキスト講習をもっとつめて一つ一つをくわしく説明してもらいたかったです。		
九州・沖縄	現場管理	時間配分等	カリキュラム2の時間に問題あり。(長くしてほしい+30分)		
九州・沖縄	その他	時間配分等	DVDを見る時間は各自、自宅が良いのでは？他の講習の時間や内容を多くした方がよいと思いました。		

要望・意見など一講習会運営に関する事について

60

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	現場管理	広報・開催案内	講習会に来て欲しい人を具体的に書いて欲しい。本来は現場で作業する大工さんに受けさせたかった。	5	広報・開催案内
中部	施工	広報・開催案内	講習会を知らない大工さんはまだ多くいます。大工組合等へのお知らせ、各地区での気軽な足をはこべる様にして下さい。大工は年寄りが多いので。		
中部	施工	広報・開催案内	講師もDVDも会場もとても良い人、環境でした。この講習を知らない、来ない関係者にもっと知らしめるにはどうしたら良いでしょうか？		
中部	現場管理	広報・開催案内	広く周知される前に案内を多く出して頂けると良いと思います		
中国	設計	広報・開催案内	筆記用具の用意について、受講票に詳しく書いてほしい	4	開催時期・曜日
東北	設計	開催時期・曜日	早く設計技術講習を修了したいので、開催を早めて頂きたい		
近畿	現場管理	開催時期・曜日	平日の講習希望します。		
中国	施工	開催時期・曜日	休日に講習会なのでつらい。平日も休みにくい、新規の講習会が増えて困る。		
九州・沖縄	現場管理	開催時期・曜日	全ての日程が水曜日ではなく、他の曜日も設定してほしい。DVDとだぶり説明は全て飛ばしても良いのでは…。		
関東	現場管理	受講料・修了証発行手数料	コストパフォーマンスに優れた講習会でした。講習費用がとても良心的です。	2	受講料・修了証発行手数料
中部	施工	受講料・修了証発行手数料	カード発行が高い。		
東北	現場管理	講習会場開催地要望	ぜひ庄内での講習会をすぐにも開催してもらいたい。どんどん開催すべきです。	4	講習会場開催地要望
中国	その他	講習会場開催地要望	内容については満足しています。ありがとうございました。ただ、開催会場の件ですが、岡山市や倉敷など県南が多い。月に1回程度、もしくは5回に1回程度でもいいので、津山でして欲しい。宜しくお願いします。(遠いので大変だと思いますが)		
四国	施工	講習会場開催地要望	中讃地区での開催で大変便利が良かったです。		
四国	施工	講習会場開催地要望	年2回程度同じ会場にて講習会を開いてほしい。多くの中間が仕事ができるようにしたい。		
関東	設計	講習会場交通の便悪い	会場を公共交通機関で行きやすい場所にしてほしい。	1	講習会場交通の便悪い
北海道	施工	講習会場駐車場不備	駐車場が有る会場	1	講習会場駐車場不備
関東	施工	講習会場昼食不便	昼の弁当が出ると思う	1	講習会場昼食不便
東北	現場管理	講習会場狭い	席を広く	3	講習会場狭い
中部	現場管理	講習会場狭い	会場が狭すぎる		
中国	現場管理	講習会場狭い	会場が狭い。		
関東	設計	講習会場空調できてない	会場の空調が悪い。	10	講習会場空調できてない
関東	その他	講習会場空調できてない	今まで間違った施工をしていたところがあり、とても参考になりました。気流止めの必要性がわかり、とても良い講習でした。ただ、教室が寒くコートを着ていました。もう少し暖かくして欲しい。		
北陸	施工	講習会場空調できてない	室内温度が寒かったです。		
北陸	現場管理	講習会場空調できてない	クーラーがとても寒く体調が悪くなった。我慢して乗り切った。気温に適した使用をお願いしたい。		
中部	施工	講習会場空調できてない	部屋の温度が低かった。先生の声が聞き取りにくい所があった。		
中部	現場管理	講習会場空調できてない	室温が高いです。		
近畿	現場管理	講習会場空調できてない	研修開始時、寒すぎて困った。		
近畿	その他	講習会場空調できてない	すごく勉強になりました。今後の工事に活かしていきます。内容とは別ですが、会場がとにかく寒かったです。朝からの一日なので、最後は体調が悪くなってきました。改善が無ければ冬の参加は見送ります。		
九州・沖縄	現場管理	講習会場空調できてない	省エネの為に、部屋が暑かった。		
九州・沖縄	設計	講習会場空調できてない	クーラーがきいてなくて汗が出た		
北海道	現場管理	講習会場マイク無し、不調	マイクは大きめの音の法が良いと思いました。早口でも聞き取りやすい声とそうでない声があるようです。会場設営等すべてよかったと思います。ありがとうございました。	4	講習会場マイク無し、不調
関東	その他	講習会場マイク無し、不調	マイクの調子が悪い時があり聞き取りづらい時間帯があった。施設側へ連絡して対処してもらってください。		
関東	その他	講習会場マイク無し、不調	マイクは使っていない、聞き取れない。		
中部	現場管理	講習会場マイク無し、不調	声が聞き取りにくかった。カットモデルが外で寒くゆくり見れなかったのが残念。		
関東	設計	講習会場暗い	画像が暗くて見えにくかった。	1	講習会場暗い

関東	現場管理	講習会場 案内図不備	会場の地図がわかりやすかったです。内容はとても分かりやすかったです。	1	講習会場 案内図不備
東北	現場管理	講習会場 模型見づらい	カットサンプルは周囲に立つと反対側が見えにくい。廻っても人影により見えにくかった。	3	講習会場 模型見づらい
中部	設計	講習会場 模型見づらい	カットモデルの見学が薄暗く、寒い駐車場だったので、ゆつくり見れませんでした。細かい所まで見たかったので、屋内に置いて欲しかったです。		
中部	その他	講習会場 模型見づらい	カットモデルの内部が暗くて分かりにくかったので照明があれば良かったです		
北海道	設計	講習会場 その他不評	聞きとりにくい講習があった。(午前中)	20	講習会場 その他不評
北海道	設計	講習会場 その他不評	DVD映像画面が低く見にくい。DVD配布は役立ちます。		
東北	施工	講習会場 その他不評	模型解説の時、高い所によってマイクで説明して下さい。輪が小さくなって後ろは見えないし、聞こえない。マイクを使うと輪が大きくなって全員が見えると思います。質疑応答のことも聞いてみたかったです。		
東北	現場管理	講習会場 その他不評	DVDを見る際部屋が明るく見づらかった		
東北	設計	講習会場 その他不評	DVD視聴は画面大きすぎ。前列、端の席では見づらい。模型説明は大人数が説明受ける為、模型が全く見えなかった。前の列を座らせるとか配慮が必要なのではないか。		
関東	施工	講習会場 その他不評	DVDのボリュームが小さい。		
関東	施工	講習会場 その他不評	事務局の説明が聞き取りづらかった。講師と同様にマイクを使った方がよかったですのではないかと思います。		
関東	現場管理	講習会場 その他不評	DVD上映の際、一部見えにくいところがあった。室内の照明を全ておしてもよかったですと思う。		
関東	現場管理	講習会場 その他不評	<b>施工のDVDが流れた時には照明を消した方が見やすいと思います。</b> 模型があったのはわかりやすくてよかったです。		
関東	その他	講習会場 その他不評	DVD放映にあたり準備不足があった。		
北陸	施工	講習会場 その他不評	教材を主に読んだだけだったので、あまり頭に入らなかった。 <b>会場が寒いし暗い。</b>		
中部	施工	講習会場 その他不評	講義者のマイクが聞きとりにくかった(はく息の音が大きい)		
近畿	施工	講習会場 その他不評	ビデオが明るくて見えない時が多かったです。暗く(室内を)した方が良いと思います。		
近畿	設計	講習会場 その他不評	天井の換気扇(AC吹き出し?)の風切音がうるさく困りました。カメラの音も消しておくべきでは。大変気が散る。		
近畿	その他	講習会場 その他不評	カットモデルの説明、声が聞きづらかったです		
中国	現場管理	講習会場 その他不評	カットモデルの説明が周囲の作業音の影響で聞きとれませんでした。		
中国	現場管理	講習会場 その他不評	持ち帰り用の袋があれば良いと思います		
中国	無回答	講習会場 その他不評	会場に午前中、暖房が入っておらず寒すぎた。 <b>会場前にキッズコーナーがあり、集中できなかった。</b>		
九州・沖縄	施工	講習会場 その他不評	DVD時、明るく見にくいのでブラインドが反対にしまっていた。DVD時、準備を早くしてほしい		
九州・沖縄	現場管理	講習会場 その他不評	DVDみえない。明るすぎる。		

要望・意見などー講師について

62

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	設計	講師の話し方 不評	とても詳細までわかりやすいと思います。 <b>説明の声を大きくしてもらいたい、要点だけを話すごとだけで良い、えーとか、…とかはいらぬ。</b> テキストに書いてのことだけ説明で良いと思います。	20	講師の話し方 不評
東北	施工	講師の話し方 不評	施工編が聞きとりづらかった。		
東北	現場管理	講師の話し方 不評	又お願いします(定期的に)※ <b>氏、少し早口で聞きとれない部分あり</b>		
東北	現場管理	講師の話し方 不評	会場内の温度が寒かった(暖房必要) <b>赤坂先生、読み方がへた。</b> カットモデル説明内容をもう少し施工レベル向上を。		
関東	施工	講師の話し方 不評	午後の講師は聞きとりにくい!何を言っているかわからない。		
関東	施工	講師の話し方 不評	もう少しはっきり話して欲しい!聞きとりやすかった!基本編の先生が!(先生)		
関東	施工	講師の話し方 不評	もっと大きい声をお願いします		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	施工編の先生の説明がわかりやすかった。声も大きすぎて、もっと流暢にしゃべってもらわないと、イライラする。本当に先生?基本編の先生は、流暢でわかりやすかった。		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	大きな声で詳しくゆつくり説明してほしい。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師の話し方をもう少し抑揚をつけて話してほしい。入ってこない。		
関東	その他	講師の話し方 不評	DVDとテキストがわかりやすかったので良かったので、講師の説明はあまり必要ないように感じました。 <b>特に100分の講義を担当された方はもう少し滑舌よく話してくれたらいいのにと思いました。</b>		
北陸	施工	講師の話し方 不評	午前中の講習が早口でわかりづらかった。		
北陸	現場管理	講師の話し方 不評	施主の負担金額が増加するので強制は不可(現在のところ) 氏の説明へたすぎる。		
北陸	設計	講師の話し方 不評	施工編の講習、模型解説はわかりやすかった。 <b>基本編の講習は少し聞きとり難かった。</b>		
北陸	設計	講師の話し方 不評	先生の声が聞きとりづらかったので、マイクを近づけて欲しい。		
中部	施工	講師の話し方 不評	有償で開催するものであるからもっと上手い講師にお願いしてやるべきだ。分かりにくくて聞きとりにくいので、全体の取得率が低く貴重な時間を省いた意味が無い。		
中部	設計	講師の話し方 不評	時間配分を守る。 <b>施工編、解説聞きとれ難かった。はっきりお話し下さい。</b> 模型が小さい。		
近畿	その他	講師の話し方 不評	午後の講師かつぜつ悪すぎ		
九州・沖縄	現場管理	講師の話し方 不評	施工編の講師の方声がききとりやすかった		
九州・沖縄	その他	講師の話し方 不評	講習の先生の声が小さい		
北海道	現場管理	講師としての質 不評	午前中の講師は何言っているかわからない。自信がないなら意味ない。伝わらない。語尾わからない。	26	講師としての質 不評
東北	現場管理	講師としての質 不評	基本の方の説明がまとまりを感じなかった。		
東北	現場管理	講師としての質 不評	設計講習の時もそうでしたが、講師の方も、もう少し勉強が必要ではないかと思う。ただテキストを読んでいるだけ、時間配分等ができてない。もう少し考えてほしい。		
関東	施工	講師としての質 不評	講師の評価について「普通」と回答しましたが具体的には、講師は5 講師は1です		
関東	施工	講師としての質 不評	話しが面白い人が講師でないと眠くなる。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	<b>施工編の講師、勉強して出直してください。</b> 査も講義内容以外から出題されている。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	基礎編の講師は教材を読んでいるだけ、施工編の講師はたとえ話や例題などの話が古すぎて参考にならない。講師のレベルが低いとただの時間のムダ。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	実際やっていない方に講習と言われても、なかなか難しいですね。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	午後、(施工編)説明がへた。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	声が小さい!!資料の棒読み最低!!PDF等の活用がない!講師の氏名、力量不明。マイクが役に立たない!		
関東	設計	講師としての質 不評	講師がもう少し深く理解して欲しいと、時間がもったいない(基本編)		
関東	設計	講師としての質 不評	基本編の説明が分かりにくかった		
関東	その他	講師としての質 不評	テキストとDVDは分かりやすかったが、講師の説明が自己満足な感じによく分らなかった		
関東	その他	講師としての質 不評	講師の方がよくわかっていないのでは?と思われる説明でした。本質をきちんと理解して、ポイントおさえて説明してほしいです。		
関東	その他	講師としての質 不評	・言葉が聞き取りづらかった。・説明の中で「○○○だと思っ」という表現が散見されたが講師として正確な情報を伝えていただきたい。		
北陸	現場管理	講師としての質 不評	講師はもっとわかりやすく説明するようにしてほしい。非常にわかりづらい。		
北陸	設計	講師としての質 不評	基本編を説明された講師の方の説明がへた。時間も守ってください。施工編を説明された講師の方の説明は分かり易く、時間もびつたりで良かった。		
北陸	その他	講師としての質 不評	施工の講師は大変分かりやすかったが、基本編の講師はいまいち残念である。		
北陸	その他	講師としての質 不評	説明の話し方がわからない先生でした		
中部	現場管理	講師としての質 不評	施工の講師の人はわかりにくかった		
近畿	現場管理	講師としての質 不評	期待していたより面白くなかった。講義内容の詰め込み過ぎによる講義の内容が薄過ぎる事。講師の人は誰ですか? <b>建築士さんですか?彼の知識が低いと思われる。今後の受講者の為に改善をお願いします。</b>		
近畿	現場管理	講師としての質 不評	言い間違いが多くて聞きとりづらかった。		
近畿	設計	講師としての質 不評	基本編の説明はもっとテキパキ説明してほしい		
近畿	その他	講師としての質 不評	講師を考えた方がへた		
近畿	その他	講師としての質 不評	基本編の講師がへた。内容もさることながら、時間配分が出来なさすぎ。施工編の講師の時間配分はGOOD		
九州・沖縄	施工	講師としての質 不評	午前中の講師の漢字の読み間違いが多く気になった		
東北	施工	講師の進行 不評	カリキュラム通りに進行してほしい。時間がオーバーしすぎ	4	講師の進行 不評
関東	施工	講師の進行 不評	<b>基本:時間内で終わるようにしてほしい。後半とばす様になってしまっ。施工:</b> ページ内以外の事を説明されると後で見直しても思い出さない(ページ内に記載してほしい)		
関東	設計	講師の進行 不評	時間管理がイマイチ		
関東	その他	講師の進行 不評	時間の使い方が上手とは言えなかった。もっと端的にわかりやすく説明して頂きたかったです。あと、模型ももっと全員が見える位置に配置して下さい。全然見えなかったです。		

北海道	施工	講師 好評	ていねいな解説で有難かったです	12	講師 好評
東北	現場管理	講師 好評	講師の先生方に大変分かりやすく説明いただきありがとうございました。		
東北	その他	講師 好評	特に講師の先生方の説明わかりやすく、聞きやすかった。時間的にも丁度良いと思います。関係各位の皆様、ご苦労様でした。		
関東	設計	講師 好評	午後の施工編の講義、イラスト描きながら分かりやすかった。できれば、設備との取合い、屋根面に関する所も最後までできたかったと思いました。		
関東	その他	講師 好評	先生の説明が分かりやすかった。		
北陸	現場管理	講師 好評	比較的スピーディーに説明されて、ポイントのところでマークする様指示が有り分かりやすい説明でした。		
中部	施工	講師 好評	DVDを講師が大事な所を復唱してくれたので頭に残り、理解とかもしやすかったです。		
中部	施工	講師 好評	講師の説明がとてもよかったです。		
中部	その他	講師 好評	非常に分かりやすく説明して頂いたことで理解できた。		
近畿	施工	講師 好評	現場に出られていた方が話されているので、現状での状況を反映されていると思う		
近畿	現場管理	講師 好評	講演内容も大変わかりやすく説明していただきました		
四国	施工	講師 好評	講師の説明、大変わかりやすかった。時間配分もよかったですと思います。(寝るひまなかった)		

要望・意見などー受講中の態度・マナーについて

7

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
近畿	現場管理	態度・マナー 講師	講師の女性の方の服装、態度がいかがなものかと思った。	1	態度・マナー 講師
関東	現場管理	態度・マナー スタッフ	staffが講義中に同室で電話をとるのはいかがなものか。非常識でないですか？	4	態度・マナー スタッフ
北陸	現場管理	態度・マナー スタッフ	会場内後ろでスタッフが話をしていて講習に集中できなかった。スタッフの私語を聞きに来たのではない。講習費の返金をお願いします。	2	態度・マナー 受講者
北陸	現場管理	態度・マナー スタッフ	事務局の会話が気になる。うるさい！！		
北陸	設計	態度・マナー スタッフ	会場にいたスタッフが講習中に話をしていて講習に集中できなかった。話があるなら会場の外でするべきだと思います。	2	態度・マナー 受講者
関東	施工	態度・マナー 受講者	講習会の内容に直接関係ないが、受講者側のマナーとして携帯電話のマナーモード、途中退出の制限を開始前に注意してほしい。こちらのレベルが低いのが第一だがあまり自由だと講習会の品位も落ちる。		
関東	施工	態度・マナー 受講者	※考査中や、問題解説時に、私語をしているオヤジは遊びに来てるのか？疑問です。(注意が必要)です。(講習会の内容は良かったです。)		

要望・意見などー省エネ施工についての理解を求めたい対象について

28

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	全ての人	施工主から設計、管理、施工者全体で理解して、住宅を造らなければならないと思う	9	全ての人
東北	現場管理	全ての人	建築主から現場施工者まで省エネルギー住宅の事を理解する事が重要であると感じた。電気、設備業者との理解の差が生まれにくい様、現場の管理をし、よい住宅を提供したいと思ふ。また、模型に合わせて実際に施工の体験をすると、大変さが分かるかと思いました。		
関東	施工	全ての人	現場施工者と建築主の両面が理解していれば、より良い住宅が出来ると思われます。		
関東	現場管理	全ての人	現場をつくるすべての方の意識づけがすべてだと思っております		
関東	現場管理	全ての人	建築に関する費用については、表向きな性能を評価する事は多いが、いざ自身の費用出費になると、性能ダウンになるケースが多い。施工主へ施工者に至るまで、高性能省エネ等を十分に必要事項である事をしらしめる必要がある。		
関東	設計	全ての人	間11-6の1~4に向けての講習会を多く行って意識を啓発して頂きたい		
北陸	設計	全ての人	普段設計業務をおこなっているため、施工側の対応がわかりとても勉強になりました。いずれにしろ各分野の意識啓発が必要かと思った。		
中部	現場管理	全ての人	工務店だけでなく業者全体がこの25年基準に向けた対応をやっていくべきだと思います		
中国	現場管理	全ての人	業界人全員が受講した方がよいと思ふ。現状でインセンションできる人がいどれくらいいるのでしょうか？		
北陸	施工	大工、職人	50代以上の大工の意識は低いので、どうにかしてほしい。何度言っても駄目なんです...		
北陸	現場管理	大工、職人	テキスト、DVDは非常に分かりやすくて良かったです。大工さんの講習が必要だと感じました。		
北陸	現場管理	大工、職人	現場での管理者と施工者が同程度の断熱・気密の知識を持っていることが原則となる。施工者は一般的に断熱・気密の知識が低いことが多いので、それが問題点だと感じている。		
中部	その他	大工、職人	以前から他県でのこのような講習が始まった事を伺っていましたが、やっと受講でき、自分の知識に対する再確認と今後の課題も見つける事ができました。もっともっと職人さんの参加が積極的であると良いと思ふ。		
四国	その他	大工、職人	施工者への啓発が広まるように尽力いただきたい。		
中国	現場管理	設備工、下職	給排水設備業者や、電気工事業者が理解をしないとなかなか難しいと思う。断熱の施工はこれまでより慎重に施工をしないと気密を測定した場合に気密の数値が出ないと思うので、施工者が知識の理解と本日も習った施工方法の徹底が必要だと思ふ。	1	設備工、下職
関東	施工	設計者、管理者	正しく施工したいとは思っているのですが、工期、賃金の関係で大工はそこまでしないとと思うので、施工管理者の指導が必要になってくると思ふ	1	設計者、管理者
北海道	その他	建主	まだまだ御苦労があると思ふ。時間も掛けて説明されないと、高断熱高気密施工はユーザー様の受入が金額に振替てくるという事がわかっていません。	12	建主
東北	現場管理	建主	暑い！暑すぎました。講習を受けて施工する事の重要性を施工側からユーザーに説明して理解を促すのでは力不足に思う。もっと公的機関から一般ユーザーにPRしてゆくべきだと思ふ。特に東北は工事費の増加は厳しいのが現状と思われる。		
東北	現場管理	建主	建築主向けに講習会を行ったほうが良いと思ふ。		
東北	その他	建主	こういった実務者向けの講習も必要だと思いますが、建築主・県民の方にも周知徹底していくことが重要だと思います。		
関東	施工	建主	施工者が正しい作業を行うことがもちろん一番大切であるが、発注側も正しい作業が行えるような適切な工期設定と賃金の見直しを考慮してもらえようように働きかけていきたい。		
関東	現場管理	建主	普及させるには、減税措置等のメリットを建築主に認知させること、分かりやすい施工者向け(大工・設備)のマニュアルと勉強会、断熱検査を徹底する覚悟を建設会社を持つ事が必須。		
北陸	その他	建主	建築主に対して断熱住宅の必要性をもっと伝えたい。外張断熱と充填断熱の付加加熱の施工方法の講習をお願いします。		
中部	現場管理	建主	大工手間の増加を施工主に理解してもらい、対価を施工主及び大工に感じてもらえる様、省エネ基準が認知されれば良い。		
中部	設計	建主	お金を支払う施工主が理解(又は勉強)しなければ、業者の売込みととらえられてしまうケースもある		
近畿	施工	建主	基本的には普段施工している断熱施工と大差はないが、壁や屋根に通気を設けるのは初めて知った。この構法だと予算もかなり違ってくるので、施工主への説明が必要である。		
九州・沖縄	現場管理	建主	工法は、進化していくところを講習等で補っていく必要があり各所(設計～施工)と施工主までの知識を補充する必要があり、良い講習であるので施工主などにPR出来るものとして考えられる！！(同様な講習で2回目であった)		
九州・沖縄	現場管理	建主	定められている予算、工期がある中で、今日の事を全てやるとなると合わないのが現状だと思ふ。見えない所に予算を使うには、施工主の理解が必要であると考える。		

要望・意見などー制度、特定の工法・材料について

85

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	省エネ施策	2020年より省エネ改正が向かふので、検査側も断熱、気密の検査項目導入が、品質向上、CO2削減につながるのではないかと思ふ。	16	省エネ施策への批判的意見
関東	施工	省エネ施策	人工乾燥材や集成材を使用した住宅には、いいのかもしれないが、天然乾燥にこだわった建物には不向きな工法なので(通気が必要)義務化には反対です。		
関東	施工	省エネ施策	気密断熱仕様程度は希望者により変わっていい。住宅全体に求めるのは逆に国家的損失となる。開いていてあほらしくなる。24時間窓を閉めて暮らしているわけではない。補助金行政は役所計り増えて税金の無駄。断熱屋になる種類の職人が現れる。		
関東	現場管理	省エネ施策	省エネの考え方が、これ一本として基準化されていいのかわかりませんが、本当にこれで家が長持ちできるのだろうか気になりました		
関東	設計	省エネ施策	外壁面材の通気性能が重要。屋内環境の悪化、ビニールでつまれた室内がいいとは思えない。		
北陸	施工	省エネ施策	断熱性能の向上はとていいことだと思いますが、施工者にもそれに見合ったもの(準備を上げる等)がないとむずかしい所があるので。		
北陸	現場管理	省エネ施策	断熱住宅が正しい道なのか疑問		
中部	施工	省エネ施策	ここまでの断熱とお客様の予算にあわふない。(元請の場合)大手メーカーがこれをやれば大工の人口が合わない。(手間請の場合)。今でさえ手間を下げられるのが現実！！これからの子どもの体が弱くなる！！すぐカゼをひくようになる。めんえきが弱い。		
中部	施工	省エネ施策	今後省エネ住宅でなければならぬ中、コスト面で断熱設備にどれだけお金をかけるかが問題である。はたしてお客様の価値が上がるのでしょうか？もう少し行政のフォローがあつても良いのではないかと考えます。レベルアップしただけの職人の価値が上がりません。		

中部	施工	省エネ施策	木を囲うと「困る」という字になる。木を囲って断熱を進めれば進める程、弱い所にひずみがおきる。それをおこさないための施工方法なのだけれど、そこまでは木でなくても良いのではないかと…と思いました。人間と自然を切り離して住まう気密住宅には私には好感を持ってません。		
中部	現場管理	省エネ施策	伝統構法や真カベがやりづらくなる(やれなくなる)ので、強制はしないでほしいと思いました。		
中部	設計	省エネ施策	断熱に関して考えられた講習などと思いました。建築とはたくさんの方の協力のもと、成立するものだと思うので、かたよった考えで義務化するのには間違っているのではないかと。けど、伝えたい事は理解できた。難しい問題やと思います。		
近畿	施工	省エネ施策	結露の対策が心配。京町家、古民家にはあてはまらないでほしい。それを住まい手が望んでない事も多いと思うので、住まい手の判断で考えてもらえるようにしてほしい。ラップにつつまれた家の中は息苦しそう。家というよりハウスに なってしまった。		
近畿	設計	省エネ施策	地域温暖化防止、環境資源等を考えると、断熱材料の地産地消が必要だと思う。2020年に向けた義務化に対して、国全体として、縦割りの行政の考え方ではなく、横割りの連携した取り組みが必要だと思う。		
中国	施工	省エネ施策	すべてが都会のルールや建て方にあてはめてよいものか、田舎の気候風土に合った昔ながらの建て方はもうダメなのか？		
中国	現場管理	省エネ施策	なぜ省エネ住宅が必要なのか、エネルギー削減のみでなく、健康、快適など幅広く説明する必要がある	2	高気密・高断熱
関東	その他	高気密・高断熱	高断熱、高気密住宅は今までの日本家屋には無かったもの。それが住環境にどんな影響を与えるのか？注視していきたい。		
中部	設計	高気密・高断熱	ビニールで囲って気密を良くしすぎた家には、はたして人は健康に住む事ができるのか？		
中部	現場管理	断熱施工	夏耐えがたく暑く、冬暖かい(特に静岡では)断熱はほどほどでよい。それより除湿、換気、通風の方を重視すべき！過断熱による酸素事故の方がよほど心配だ。	3	断熱施工
近畿	現場管理	断熱施工	システムバスではなく、在来工法の浴室断熱施工も知りたい		
九州・沖縄	現場管理	断熱施工	断熱方法が何種類も存在するのは意味があるのか？という疑問が付いてまいります。講習会の内容もより単純化すると思うのですが、		
九州・沖縄	現場管理	伝統工法	高気密高断熱の住宅ではなく、木製建具、土壁等日本の古い使用の方がよりエコだと思いますが、	1	伝統工法
関東	現場管理	特定の工法・材料	真壁が多いので、その場合どういった施工方法になるのかをもう少し詳しく聞きたかった。	56	特定の工法・材料
中部	施工	特定の工法・材料	真壁の納まりはどうなのか？長期優良住宅で床下がかびた事がある。		
中部	施工	特定の工法・材料	真壁工法の講習を行ってほしい。		
中部	施工	特定の工法・材料	(外)真壁・(内)真壁の場合の断熱指針が不明です。		
中国	設計	特定の工法・材料	内外真壁の場合や、土壁の場合の施工は、どのようにしたら良いか。		
中部	施工	特定の工法・材料	断熱工事に対する講習なので仕方ないかもしれませんが、建築現場の他の施工に対する基本的な事などへの考慮が少なく感じました。あと土壁への施工方法等や、その他もろもろ不明点がありますので義務化するまでにかかり考えてもらわないと義務化は出来ないと。土壁まで必要ありますので。		
中部	施工	特定の工法・材料	土壁工法との併用など色々なパターンの講習があってもいいのではないかと。		
中部	施工	特定の工法・材料	良い勉強になりました。土壁で断熱性能を確保するのは難しいと思いました。		
中部	施工	特定の工法・材料	いまだに外壁を荒壁塗にする住宅もありますけどどの程度断熱(壁に関して)をしたらよいか？		
近畿	施工	特定の工法・材料	土壁施工の場合は省エネ住宅は不可能なのか？		
東北	現場管理	特定の工法・材料	6年前より試行錯誤しながら外張り断熱に取り組んできました。他の外張り断熱の事例を多く知りたかったです。こういう企画を作ってください。		
四国	現場管理	特定の工法・材料	外張り断熱の場合、通気ルートが必要なので、今後瓦屋根は減少するのでは？		
九州・沖縄	その他	特定の工法・材料	外断熱はだめだと思います		
東北	現場管理	特定の工法・材料	自分が現在勤務している職場では、枠組み壁工法を主流としているため、そちらの工法についても解説があればよかったです。		
中部	現場管理	特定の工法・材料	2×4での解説をもっと詳しくしてもらいたい。基礎断熱の種類や施工方法、注意点を詳しく知りたい。		
東北	その他	特定の工法・材料	断熱材の種類、性能などを詳しく教えてほしい。		
東北	その他	特定の工法・材料	住宅の性能だけを求めるハウジングコーナーはすごいと思いますが、木質等在来工法で100年は持つ家を建てる大工さんが育つことが大切。100年持つ資産としての家を指す研修会だと思います。できれば地域の素材を用いる認定住宅や認定素材を豊富にしてほしい。		
東北	その他	特定の工法・材料	グラスウールの家より吹きこみのデコスライの方がこれからの低炭素住宅に適しているのではないかと。と思いました。		
関東	施工	特定の工法・材料	袋に入っていないグラスウールの施工方法も加えた方がよいと思う。		
関東	施工	特定の工法・材料	今はウレタン吹付の現場が多い		
関東	施工	特定の工法・材料	断熱のしかたで、セルロースの場合も見かけた		
関東	施工	特定の工法・材料	断熱材の種類、組み合わせなど具体的な使用方法を知りたい。		
関東	施工	特定の工法・材料	施工の前提が、ベーズ、建材使用となっています。少数ではあっても、ムク材、左官壁を採用する業者、手刻み加工の業者もいます。さらに伝統構法はどうなっているのか、日本も木造建築文化の危機を感じます。		
関東	施工	特定の工法・材料	断熱、通気に対して良く分かりました。断熱材を充填させているので、火災の時の心配です。30年後の解体費とリフォームの費用が上がることが懸念されます。		
関東	施工	特定の工法・材料	施工図の断熱のあつみが分かれば良かったです。		
関東	現場管理	特定の工法・材料	テキストの読み上げは正確に行って欲しい。具体的な施工事例もふまえて講習していただきたい。 <b>グラスウール施工が主体内容すぎると思う。</b> (実際の現場ではグラスウール施工主体がどれほど多いのか?)		
関東	その他	特定の工法・材料	<b>現場発泡断熱の説明も欲しい。</b> DVD、講義共もう少しゆつくり話して欲しい。		
北陸	施工	特定の工法・材料	吹付け施工の通気工法の説明もほしい。C値など説明もほしい。		
北陸	施工	特定の工法・材料	グラスウール、ロックウールでの断熱施工はこれから減少すると思う		
北陸	現場管理	特定の工法・材料	現在、現場にてグラスウール等施工されておられる所はあるのでしょうか？現実的な講習をしていただければ幸いです。		
北陸	現場管理	特定の工法・材料	吹付け断熱工法に関する標準施工講習も開催して欲しい。		
北陸	現場管理	特定の工法・材料	断熱材の種類、特性についてももう少し詳しくやってもいいかと思った		
北陸	設計	特定の工法・材料	吹き込み系断熱材についても具体的な施工方法を聞きたかった		
北陸	その他	特定の工法・材料	中越地域から参加させて頂きましたが、湿度が高かったり、施工性が難しいのでグラスウール+防湿フィルム施工は致しません。基本的な考えた方の説明です。中越地区では95%がパネル工法です。		
中部	施工	特定の工法・材料	私的意見ですが、基礎断熱については、床下通気が遮られるため耐久性の観点から反対である。床断熱の施工をしっかりやった方がよいと思う。		
中部	現場管理	特定の工法・材料	施工について細かいところこだわらずでは？充填断熱工法ですぐにすぎ間ができそうです。		
中部	現場管理	特定の工法・材料	現場発泡硬質ウレタンフォームの内容が充実すると良い。		
中部	現場管理	特定の工法・材料	当社は充填断熱工法(ネオマフォーム)であるため、当社使用に該当しない部分が多くあった為、実際の現場では多くの工夫が必要と感じた。		
近畿	施工	特定の工法・材料	グラスウール等で断熱性能が10年後にあると思われませんが、		
近畿	施工	特定の工法・材料	ウッドファイバーID十津川の材料が自然にも難燃材料だし今後使用したいなと思いました。		
近畿	施工	特定の工法・材料	発泡ウレタンにした方がコストが下がるのでは？グラスウールを入れるのは、けっこう大変だと思います。機能的に違った物になってしまふのかな？		
近畿	現場管理	特定の工法・材料	基礎の外熱で内側に外断熱と同じものを使い基礎の外に発泡モルタルを壁二重に断熱したらどうか？		
近畿	現場管理	特定の工法・材料	グラスウール、発泡系がメインだったのでもう少し違うパターンが欲しかった		
中国	施工	特定の工法・材料	グラスウール等は肌がチクチクするので健康上の不安があります。もう少し作業しやすい断熱材を作ってほしいです。		
中国	施工	特定の工法・材料	内容のほとんどがメーカーハウスを基本にしている在来工法なら必要ない工程が数多くあるように感じました。		
中国	現場管理	特定の工法・材料	吹き込み断熱工法についての説明をもう少し詳しく書いてほしい。		
四国	現場管理	特定の工法・材料	現在セルロースファイバーの施工がメインです。グラスウールでの断熱はCO2削減にもならないし、ワランク上の高気密、高断熱にはならない。		
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	具体的にメーカー名等おすすめの良い材料があるはずですが、例もなくガッカリでした。		
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	グラスウール以外の断熱も勉強したい！！		
九州・沖縄	現場管理	特定の工法・材料	意見:ここまでの気密を求めるならば、グラスウールなどの施工は非常に厳しい。木造住宅には、木材による障害、突起物が多く存在する為非常に厳しい。単価も上げなければ、講習を受けてやはりウレタン吹付が気密的には一番木造での施工性が富んでいると思う。		
東北	施工	特定の工法・材料	基礎換気が心配になります。自然換気併用が良いと思います。		
関東	現場管理	特定の工法・材料	屋上付住宅を建てているが、小屋裏部分に換気がとれないので、断熱の施工方法をどうしたら良いのか日々考えているので、その様な住宅の断熱材の施工の仕方も教えてほしい。		
関東	設計	特定の工法・材料	ログハウスを主に建築のため、ログの厚み不足で2020年にログに断熱材を+αする必要があるればコストUPで施行が事実上難しくなりそうだが、今後のログハウスの展開を知りたい。		
中部	現場管理	特定の工法・材料	壁断熱材のフロアへの耳出し(巻き込み)はフロアが浮いてしまい床鳴りになりそうだという意見が大工から非常に多い。そのあたりの指導を頂ければと思います。		
中部	その他	特定の工法・材料	施工方法の学習会として勉強になりました。DVDの内容を仲間にも伝えていきたい。しかし、住宅の省エネ化が進むことは高気密高断熱の住宅宅した建築する事ができなくなり、住まいの多様性から考えると規制が多すぎる様に思います。違う方法も考えていくべきだと思います。		
中国	現場管理	特定の工法・材料	外張り断熱では湿式の外壁の施工が難しいと思うが(土、珪藻土等)そんな外張り工法が普及していく事がさみしく感じた。		
中国	設計	特定の工法・材料	外壁合板、基礎断熱、屋根断熱を利用した、もっと合理的な断熱、気密工法がある。内側で気密をとろうとするから、むずかしくなる。内側でとるなら、土棟時に先張り、気密シートが必要。		
北海道	現場管理	リフォーム	大変参考になりました。リフォーム等の施工にも活かせる部分もありました。		
関東	現場管理	リフォーム	小型リフォームの場合は、なかなか断熱気密までの要望も少なく、補助金の充実が必要か？		
中部	施工	リフォーム	施工編においてリフォームについての留意点などがあれば良いと思う		
九州・沖縄	現場管理	リフォーム	断熱の重要性は理解できたが、新築物件施工後の改築、リフォームの際、費用等がさみそうだった。	4	リフォーム

東北	施工	設備	断熱に関する内容に連動して換気設備(器具等)や空調設備(エアコン、ヒーター等)のマッチングについての具体的な事例なども聞いてみたいと思います。マッチングについてはサッシとの関係も知ってみたいです。	3	設備
中部	設計	設備	エアコンの取り付けなど、後施工で配管工事をして壁に穴をあけてしまう場合、どうしても防湿層や気密層を破いてしまい、せっかく丁寧に施工しても、あっという間に住宅性能を損なってしまいます。事前にエアコン位置を決める(穴をあける)事以外の対策があれば教えていただきたい。		
近畿	設計	設備	引き渡し後、エアコン等のスリーブ空けをする時の仕舞い等がきちんとされるべきだと思います。		

受講後の感想など

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	(再)確認ができた	住宅について知識を高めることができたので、施工面を考慮しながら設計したいと思います	30	(再)確認ができた
東北	設計	(再)確認ができた	現場での断熱材施工のやり方を指導及びチェックポイント箇所がわかって、現場で活かせる		
東北	その他	(再)確認ができた	同製品を使っても、施工方法を誤っていると性能が出ない事を改めて教えて頂いた。		
関東	施工	(再)確認ができた	省エネに対して今後の建築へ、極力断熱等を考え、施主にも理解して頂く為への勉強になりました。今回参加して良かったと思います。		
関東	施工	(再)確認ができた	断熱材の入れ方や気密層の取り方大変勉強になりました。面倒な所が多いですが施工をきちんとやっていきたいと思っています。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	断熱に対する意識が非常に高まりました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	新たに見つめ直すことができました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	わかっていた事が結構ありましたが、適切な施工をそこまでする必要はないと思っていましたが、勉強になりました。		
関東	設計	(再)確認ができた	時間の関係で詳しい内容は再度確認、勉強が必要ですが概要を知る、必要性を再認識するのに良い機会になりました。		
関東	その他	(再)確認ができた	屋上、断熱を抜いただけ(屋上、バルコニー、シート防水)何となく新築の現場でタイミングが合えば見る程度、勉強になりました。		
北陸	現場管理	(再)確認ができた	木軸在来でGWの施工性の悪さの再認識。		
北陸	現場管理	(再)確認ができた	断熱ラインのきっちりとした施工方法が聞けて良かった。今後の現場監理に活用(チェックシート)していきます。		
北陸	現場管理	(再)確認ができた	断熱材の施工方法をあらためて理論から学ぶ事より、普段の現場での管理面に役に立つので良かったです。		
北陸	設計	(再)確認ができた	断熱の気流止めなど細かな所の施工部分がよく分かりました。断熱層と防湿層、気密層を連続される重要性がよく分かりました。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	色々と断熱施工に関して再確認できました。ありがとうございます。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	断熱材の細かな施工方法等を知ることができて勉強になりました。このような知識を取り入れ、より快適な住宅づくりを目指します。ありがとうございます。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	赤埴断熱の場合、室内側の気密層をしっかり考えて施工しなければいけない事がよく分かりました。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	住宅に対する省エネ(断熱性能)の意識を高めることが出来よかったです。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	意義のある講習でした。改めて注意しないといけない所を見つけました。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	・気づかされる事たくさんありい講習であった。		
中部	その他	(再)確認ができた	普段は関わりが少ない業種なので理解しにくいと思ったが、説明を受けて理解できた。施工することは少ないと思うが、知識を広げるには有意義だった。		
近畿	現場管理	(再)確認ができた	断熱工事の意識がかわりました。ありがとうございます。		
近畿	現場管理	(再)確認ができた	構造上、防水との取り合いで初めに良く考えないといけない(計企)事が良く解りました。		
近畿	現場管理	(再)確認ができた	基本的な事が再度確認が出来て良かった。		
中国	施工	(再)確認ができた	把握している事が多かったんですけど、あらためて確認することができて良かったです		
中国	現場管理	(再)確認ができた	断熱に関してあらためて基本に戻って学ぶことができました。ありがとうございます。		
中国	設計	(再)確認ができた	住まう人の気持ちを施工者とがよく話し、十分に説明しないといけないと感じました。その手法も学ばないといけないと感じました。		
四国	設計	(再)確認ができた	現場に行ったら施工した後だったり、細かい箇所が見えなかったり、施工の仕方もきちんと把握できていなかった内容もあったので、分かりやすく説明していただき、良く分かり勉強になりました。		
四国	その他	(再)確認ができた	気密、断熱の重要性を再認識しました。		
九州・沖縄	設計	(再)確認ができた	施工難しいけど、建築士の計画の勉強のプラスになった。設計の段階で施工のことも考えないといいかなーと思いました。勉強になりました。		
関東	現場管理	今後が心配	H27/4/1に充分対応できるように認識しました。大変役に立ちました！耐震と合わせた、リフォームの金額が多少高くなってしまいそうな気がします。補助金などが心配です。	2	今後が心配
中国	現場管理	今後が心配	大変わかりやすく理解できました。2020年への対応が不安、リフォームが増加に伴い申請等の簡便化希望。		
北海道	施工	その他	省エネ施策は2020では遅いと思います。自社は低炭素住宅を目指して色々と検討していますよ。	83	その他
北海道	現場管理	その他	各法律による第三者評価を、建築士事務所等で評価する様にすると、普及が早まると思われる。(まず自主評価による競争原理が必要)		
北海道	現場管理	その他	本講習の内容を、設計者、管理者、施工者が実行しようとする意識の向上が必要であり、講習を聞いた者が、会社にもどって断熱、気密工事の徹底した施工を行うよう、努めなければならぬと、強く感じた		
北海道	現場管理	その他	工法に進歩がないのは、20数年前〜30年前ころにすべてやりつくしているためでしょうか？		
北海道	設計	その他	カットモデル見たかたです		
東北	施工	その他	設計の段階より考え計画したい(基本的な所)		
東北	施工	その他	実際の住宅は外部面に対して手摺金具等の下地材があり、断熱材を入れるのは、かなり手間取る。		
東北	現場管理	その他	今回の講習会を受けて、改めて断熱材や気密を正しく施工しなくてはならない事の大切さを知ることができました		
東北	設計	その他	このような講習会は継続が必要だと思。受けていない人のために。		
東北	設計	その他	金山町で北方建築建研の鈴木大隆先生に直接すめられて、受けることにした。それまでは、省エネルギー講習をあることを知らなかった。設計は受講が多いが、施工ももっと受講生が増えることを期待する。出題するところをあまり述べていないので点数が悪い。		
関東	施工	その他	省エネ機構で行っている講習会でも同じだと思う。いくつもの講習会を行うのであれば統一した方がよいと思う。		
関東	施工	その他	このような講習を受けた人が施工出来、受けていない人は施工禁止しないと、又バツキが出来、施工不良になってしまうと思う。資格を持った人が現場で施工するように早くなって欲しい。		
関東	施工	その他	意義ある講演会のため、知人や仕事仲間知らせて、受講してもらえるように努力し、今後の工事に対処していきたいと思っています		
関東	施工	その他	建築士会からハガキが届いたので参加したのですが建築板金工ではあまり参考にはならなかった。		
関東	施工	その他	この講習会に来てよかったと思う目が来ればいいと思います。		
関東	施工	その他	今日の説明後のことが一番大事だと思います。施工上換気について連動するものだから？		
関東	現場管理	その他	質問11-1・2はビルダー使用による。質問11-3 当社は2×4工法のみ		
関東	現場管理	その他	グラスウールを水の中に入れて乾かないと言っておりましたが、最も乾燥が早いのがグラスウールです。実験すべきです。合板で気密層をとる工夫は間違い(危険)だと思います。(外気に接する面)		
関東	現場管理	その他	分かりやすく説明していただきました。ありがとうございます。もっと断熱研修会の必要性をマスコミ等使いアピールするべきだと思います。特にリフォームにおける断熱改修の必要性を強くアピールした方がよいと思いますが…		
関東	現場管理	その他	一度のみでなく何度か受けた方がよいのでは？		
関東	設計	その他	設計よりわかりやすかった。オレンジ本は最少にして、緑本をもっとじっくり行った方がよいと思う。大工さんには全て見てもらうのを業務にすると良いのに…。空気を動かさない家は年寄や弱い人には良いが、人間として弱くならない。塗り壁や自然素材の家なら良いけど、結局湿度が足らず加湿器いっばい使ってカビ等発生するのではないかな？こんなに多くの家が電気を使うと原価が必要になりそう…。もう少し自然な家が良いと思う。		
関東	設計	その他	家がだんだん重装備になってゆく。時代の流れ？		
関東	設計	その他	気密層、防湿層、防風層が図に書いてあると、さらに理解しやすいと思います。		
関東	その他	その他	耐震等級2〜3での施工方法に則した場合、例が古すぎる。		
関東	その他	その他	地場ビルダーが2020年以降の対応を早急に考えて、実行してくれないと、大手メーカーに市場をうばわれてしまい、我々販売店も衰退してしまう。もっともっと住宅のゼロエネ化を真剣に取り組んでいく必要があると思います！		
関東	その他	その他	設計、施工関係の資格はないですが、自己啓発として省エネには興味がありました。		
関東	その他	その他	・内部結露したら、一気に建物が弱くなりそうと感じました。(もしくは雨も)。基本、ミスしたり、楽をしたりのものなので、どうやって、どこまで、コミュニケーションを取っていくか、もしくはセーフガードを用意できるかを考えさせられました。		
関東	その他	その他	設計技術者の時にも書いたが、この講習を修了するとA4の立派な証書がもらえる(しかも有料で不要な人は費用がかわからない)事は、第三者への信頼度のアピール、社内での他のメンバーへの告知、自己のモチベーションUP、の点において素晴らしいシステム。県の二級建築士の登録してもカードのみというシステムは全くの論外！この講習の爪の垢を飲むべき！		
北陸	施工	その他	細かい部分の断熱の対応が大変です。		
北陸	施工	その他	テープで逃げれる範囲		
北陸	現場管理	その他	今後法改正等がありましたら講習会を開いて下さい。		
北陸	現場管理	その他	住宅省エネルギー施工方法がインターネットを見た人は標準だと言うと各建築屋さんは施主ともめるとしますので、ネットへの乗せ方を考えて欲しい。		
北陸	その他	その他	全国の断熱材の種類の使用割合など知りたい。		
北陸	その他	その他	完全な断熱は施工順により不可能な気がします。教本通りの手順で行うと仕上げ材が限定されると思います。年中一定の温度の家は、子孫繁栄に影響すると思います。配線、配管まわりの断熱処理は誰が施工する？		

中部	施工	その他	断熱材の利点をいかす為に、設計、工法の時点から逆算すべきで、あべこべでは施工も大変。精度も落ちる為、3者が健全に検討できる環境が必要だと思う。
中部	施工	その他	また法律が変わったりしたら、このような講習会を開いてほしい
中部	施工	その他	今回の講習会は大変良かったと思います。工法もたくさんあり、まよってしまう所はありますが…当社、又、その時の施主様の考え等があるが、どの工法が2020年に向けて良いのか、よく考えたいと思います。建芳もある程度は方針を示して頂けると助かります。
中部	施工	その他	電気屋にはあまり役に立たなかった
中部	施工	その他	人が住みやすい住宅(自分勝手にわがまま)では自然を共有する事はできない。自然と共に人がある事を大切に地球にやさしい住宅を目指しているよい講習会でした。
中部	施工	その他	まだまだ改良していく所があると思いました。
中部	現場管理	その他	住宅の省エネ化は必要な事で、多くの方が取り入れてくれる事を希望しています。
中部	現場管理	その他	これからの事だと思いますが、●立と推奨がはっきりしていないような気がします。各社の規定に基づくだろうが、工夫と手抜きが混同する予感がします。各社で研究が必要になりそう。
中部	現場管理	その他	今後ダウンライトの使用についての考え方が、皆さまどの様なのか気になります。
中部	現場管理	その他	資格者ではない現場管理者の現場での責任が大きすぎるようになると思います。現場管理者の有資格化をしてほしい。
中部	現場管理	その他	スムーズに開けました。違う職人にも聞かせたいです。
中部	現場管理	その他	これからの物件に反映していけるよう現場関係者にしっかりと伝えておきたい。
中部	現場管理	その他	現実的には難しい。グラスウールのフィルムも上下が重なる様になってないし、切断すると余りがない。
中部	現場管理	その他	通気工法についての見解はあるでしょうか
中部	現場管理	その他	正しく施工するには管理者がチェックすること、悪い所は指摘する事。
中部	その他	その他	きれいな防湿、気密という考え方が、昔からの職人さんには伝わりにくいので、TV等でそれが当たり前というくらいになるように大きく宣伝して欲しいと思う。
中部	無回答	その他	現場レベルに落とし込まないと、しっかりした会社以外では難しく感じる。
近畿	施工	その他	構造の観点から考えると筋かいは外に取り付けするべきです。グラスウールであったり、天井にシートを張ると、ボード張る時に下地にボンドを塗れない。胴付を流す時、壁の通り直せない。
近畿	現場管理	その他	いつも当たり前のように施工している単純な施工こそ学ぶべきではないかと
近畿	現場管理	その他	電気配線工事にある程度考慮した施工(除外)を考えて欲しい。ex)コンセント移動、etcに対応できるように。
近畿	現場管理	その他	この先、30年後の結果この方法が正しいかどうか知りたい。
近畿	現場管理	その他	近い将来に日本の住宅性能及び仕様が大きくアップするにともない、現場施工側としても新たな技術や知識を身に付けていかないとダメだと危機感を感じました
近畿	現場管理	その他	・職方の人には少し難しいと思います。特に、基本編の理論的な部分はおっと分かりやすい説明の方が良いと思います。
近畿	設計	その他	施工と設計セット受講で、良く理解できました。現場のミス防止に役立ちました。
近畿	その他	その他	住まい方にまで指導している事が非常に感動した。5地域以降では湿度に関連した勉強も必要だと思った。
中国	施工	その他	色々な講習会をしてください。木のぬくもり、美作の木を使用しよう。
中国	施工	その他	お客様に良い製品を提供できるための知恵を私達が求めていかねばならないと思っていますので、新しい情報はどしどし発信していただければ幸いです。
中国	現場管理	その他	知識として勉強するのはいいが、それだけで終わってしまう。これから省エネ住宅が一般的になるなら、定期的に意見交換等を行い、周知を徹底すべきだと思う。
中国	現場管理	その他	設計講習と施工講習で重複する基本編は免除してほしい。(どちらか)
中国	その他	その他	全員が断熱材の意味を理解すべき
四国	施工	その他	今回のような講習会があれば、自分の思い込みで作業することがなくなり、自信を持って作業に取り組みます。
四国	施工	その他	家以外でも応用できそうなので、いろいろ考えてみようと思った。
四国	現場管理	その他	今回の講習内容(グラスウールの施工)については理想であって、現実施工が難しい部分がある。配管廻りなどはだれができるか等設備業者と大工とでだれができるか等分かりにくい。グラスウールは気密防湿工事に於いて施工が難しい。専門業者によるウレタン吹付の方が性能が確保されやすいと思う。
四国	その他	その他	終了証が有難い。
九州・沖縄	施工	その他	あまりすき間が無い、気密すぎて木材が生きてできなくてやけてしまうのではないかとかんじた
九州・沖縄	施工	その他	現場で100%やっていくには、知識力、経済力、理解力となかなか難しい。
九州・沖縄	施工	その他	今後の建築施工に役立てたい。事業所の他の施工者にも共有してもらい施工していきたいと思いました。
九州・沖縄	施工	その他	設備配管、配線等の後工事が難しくなるので工程、打合せが重要だと思いました。施工管理者さんは注意が必要だと説明をつけていただくと良いと思います。
九州・沖縄	現場管理	その他	基本的な施工の納まりをわかりやすく教えて頂き、よく理解できました。次回から仕事でいかにできるように今回学んだ事を忘れずに大事にしていきたいです。最後にこのような講習会を開いていただきありがとうございます。
九州・沖縄	現場管理	その他	今から建築する(必要とされる)住宅等の断熱基準が解り、それ以上の物を作る断熱材のリストを作る事ができました。ありがとうございます。
九州・沖縄	現場管理	その他	断熱の事は十分に理解できました。現在、下屋の通気が課題で納めています。今後講習があれば嬉しいです。
九州・沖縄	現場管理	その他	後付けのエアコン取付に対する防湿・気密の確保の方法？
九州・沖縄	現場管理	その他	沖縄の風土、特徴を生かした家づくりに楽しみと期待を持た。家を造る職人さんとも、一致団結していい家づくりを極めて行きたいと感じた。
九州・沖縄	現場管理	その他	現場発泡ウレタンがA種-3に固定しているが、現実にはB種A種-1を吹く場合もありますが、熱伝導率が良く薄くすることが出来るメリットがあり、デメリットはCO2の発生が大きい。
九州・沖縄	現場管理	その他	まだまだ海外にくらべれば低レベル。基準・施工・材料ともに日本は後進国。
九州・沖縄	設計	その他	省エネ施工は平成36年度からということですが平成28年度と早くならないのですか
九州・沖縄	その他	その他	断熱施工に関して正確な知識がないと断熱欠損が生じるので、知識を高める為にもこういう講習会は必要だと思う。
九州・沖縄	その他	その他	災害、台風、洪水などで室内に水が入ってきた場合、基礎から水がぬげるところがないのではないかとと思う
九州・沖縄	その他	その他	今までグラスウールは長くつかわれてきているのに、今このような貼り方を学習することに不安があります。現場では正しく施工されていないのかなと、当社は元請けで、現場の担当業者さんとは勉強会ひらいていますが、実状は厳しいのかなと不安になりました。

質問 2 1 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

②設計者講習（設計C講習）

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

設計者講習(設計C講習)	回答数	自由記述有り%	回答全体%	(つづき)			
講習会の内容等についての意見、質問				●講習会運営に関することについて	79	4.4%	0.8%
質疑・指摘	82	4.6%	0.8%	○広報・開催案内	7		
○テキスト(該当ページが分かるもの)	20			○開催時期・曜日	7		
○修了考査	10			○受講料・修了証発行手数料	2		
○演習	3			○講習会場開催地要望	2		
○外皮性能基準	18			○講習会場 昼食不便	1		
○一次エネルギー消費量基準	4			○講習会場 狭い	11		
○申請、図書など	6			○講習会場 空調できてない	12		
○その他	21			○講習会場 マイク無し、不調	14		
要望・意見など	1,150	64.7%	10.9%	○講習会場 暗い	5		
●教材、演習、修了考査、アンケート	167	9.4%	1.6%	○講習会場 受付段取り悪い	1		
○テキスト	98			○講習会場 その他不評	9		
○DVD	1			○講習会場 好評	1		
○修了考査	14			○講習会運営その他	7		
○演習	24			●講師について	116	6.5%	1.1%
○他の資料・説明の要望	23			○講師の話し方 不評	43		
○アンケート	7			○講師としての質 不評	45		
●講習の内容、形態について	351	19.7%	3.3%	○講師の進行 不評	14		
○内容重複 不評	4			○講師 好評	13		
○読み上げ講習 不評	49			○講師 その他	1		
○要望 ポイントを絞った説明	22			●受講中の態度・マナーについて	7	0.4%	0.1%
○要望 説明順序	0			○態度・マナー 講師	0		
○要望 説明箇所が分かるように	20			○態度・マナー スタッフ	5		
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	30			○態度・マナー 受講者	2		
○要望 具体例・実例による説明	15			●省エネ施工への理解を求めたい対象について	12	0.7%	0.1%
○要望 実習・実演のある講習	47			○全ての人	4		
○要望 新基準、関連制度の詳しい説明	16			○大工、職人	4		
○要望 質疑応答の時間確保	12			○設計者、管理者	1		
○要望 受講者の相談窓口	8			○建主	3		
○要望 講習資料の事前配布	4			●制度、特定の工法・材料について	57	3.2%	0.5%
○要望 講習会の次の開催、多数開催	10			○省エネ施策への批判的意見	42		
○要望 より詳しい内容の講習	10			○地域性	1		
○要望 該当地域向け講習	1			○伝統工法	7		
○要望 施工者向け講習	3			○特定の工法・材料	7		
○要望 設備、建材等他業種向け講習会	1			受講後の感想など	436	24.5%	4.1%
○要望 リフォーム向け講習	3			○設計できている	1		
○要望 講習内容以外の説明	20			○(再)確認ができた	13		
○講習内容への批判	55			○今後が心配	6		
○講習会の意義に疑問	2			○参考・勉強・為になった、役立つ、良かった	149		
○講習内容 好評	19			○継続的に学ぶ、また参加したい	35		
●講習時間、時間割について	361	20.3%	3.4%	○難しかった、わかりにくかった	29		
○講習時間が不足、説明速い	226			○わかりやすかった	45		
○講習時間がちょうど良い	2			○感謝	84		
○講習時間が長い	18			○その他	74		
○時間配分、時間割、休憩時間	115			特になし	94	5.3%	0.9%
				不明	16	0.9%	0.2%
				自由記述有り 全体	1,778	100.0%	16.9%
				回答全体	10,509	-	100.0%

講習会の内容等についての意見、質問 設計C講習

質疑・指摘—テキストの該当ページが分かるもの				20	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 基p045	施工技術者テキストP45の断面構成の「充填断熱繊維表断熱材」の図ですが、断熱層の外気側に「面材」があり(構造用合板等?)この層が通気(湿気の排出)をさまたげるのではないかと疑問に感じました。	20	質疑・指摘 テキストの 該当ページ が分かる もの
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 基p046	基本編>046ページ:③気流止め/冷気の通気道の説明の前段階の説明として、冷気が勝手に動くような表現に受け止めてしまいましたので、暖気が上昇することで、それにつれて空気の移動が行われ、その結果冷気が移動して「冷気の通り道」になるものと思います。		
関東	その他	質疑・指摘 テキスト 基p068	9:30~16:00間で全てを解説するのは無理がある。要点のみで良いのでは。基本的にはテキストを読めば分かると思う。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 設p047	基本P068の図は正確な図に変える必要有。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 設p047	住宅省エネルギー技術設計者講習テキストP47(5)熱貫流率Uの計算例で密閉空気層とあるが、石膏ボードを梁まで張り上げない状態でも密閉ととらえてよいのか。		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト 設p047,055	内容が多くページを追うのでいっぱいいっぱいでしたが判りやすい(復習しやすい)テキストで良かった。P55基礎の深さ、とはどこからどこまでの寸法をいうのか。開口部の面積算定は開口部のどこをおさえるのか(内側の木枠の外外?内内?)。P47 気流止めをしてもPBを梁まで張り上げていなければPBは算入できないのか。		
中部	施工	質疑・指摘 テキスト 設p054	P54簡略計算方法はU=1/ΣR+Ur or U=1/Rz+Urでも良いという事ですか		
関東	その他	質疑・指摘 テキスト 設p064	設計者P64、ドアの日射取得について、熱貫流率に0.034を乗ずるとありますが、勝手ロアや玄関引戸など、過半がガラスとなるドアもそのように考えてよいのでしょうか。それとも、窓と同じと考えなければならぬでしょうか。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 設p095	青テキスト、P95、リベリングの一部が吹付の場合は平均CHどう計算しますか?システムバス下の気密バックキンは基礎の1部配管接続用に開口する様にカタログに書いてありますが、どのようにしてのくがベストなのだろうか。		
東北	設計	質疑・指摘 テキスト 設p113	設計者講習テキストP113設備が設計段階で決定していないとき、一般的な性能のルームエアコンに想定して計算されるようですが、後日蓄暖や床暖になった場合、どの時点で変更届を出せばよいのでしょうか? 変更することで基準が取れない場合、着工してから変更する場合はどうすればよいのですか? 逆に変更してはいけないのでしょうか。		
中部	無回答	質疑・指摘 テキスト 設p121,191	P191のガラスの仕様で内法10mの場合、単板ガラス二枚で見ればよいのか、複層ガラスで見ればよいのかわかりにくい。演習問題をやっていて、どちらを選べばよいのかわからなかった(数値は同じでした)。設計編P121③補正温度交換効率の説明文で、×環気→○換気だと思います。正誤表には10行目のことか書いていなかったの。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 設p146	もう少しゆつくり話していただけたらありがたい。全部説明するのではなく、絞るべきでは、テキストの説明はパワーポイントを併用した方がよいと思います。設計者講習テキストP146開口部比率の計算式の分母に開口部が二つある。まちがいでいい?		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト 設p146	ポリウムのある内容をいかに簡潔に時間内に伝えるかのご苦労がうかがえます。お疲れさまでした。質問)仕様基準の分母に「外皮等の面積の合計」に開口部が2回出てくるのはなぜでしょうか?		
関東	その他	質疑・指摘 テキスト 設p148	・青テキスト4章仕様基準について(P148)、床断熱工法の場合、玄関、浴室等は基礎立上り断熱施工以外は、すべてNGでしょうか? 玄関等の4m緩和は無しですか? テキストはすばらしいと思います。講習は詰め込み過ぎて内容がうすく残念です。外皮計算については、サステナブル協会の無料講習会の方がわかりやすい、何回かに分けて内容を絞った方がよいのでは?		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト 設p148	設計テキストP148より6行目、「充填断熱工法」の基準値以下であることとありますが…基準値以上が正ではないでしょうか?		
関東	その他	質疑・指摘 テキスト 設p154	分かりやすい説明でした。気流止め、設計編P154 左は悪い例だと思われませんが防湿層の断熱材が貼ってあれば、ベスト(乾燥木材)ではないにしてもベターです。悪い例は断熱材のすき間があること、また一番弱点といわれているのは間仕切り壁部です(施工基本編は正しい記述)、御参考に。		
北陸	設計	質疑・指摘 テキスト 設p169	「設計者講習テキスト」のP169の表内の日射熱取得量に式を入れた方がわかりやすい		
北陸	無回答	質疑・指摘 テキスト 設p194	「付表1」開口部について、木製玄関戸、玄関ドア(木枠)の場合、インナーガラージのシャッターのあつかいはどうなるのでしょうか?		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 テキスト 設p015 沖p029,p061	赤P29 表内誤字有「ダクト系」→「ダクト径」 P61室内の「空気」を上げる→室内の「温度」を上げる。青P15「凡例」×対応「付加」→「不可」		
関東	設計	テキスト 正誤表	テキストP37最下部の「正誤」内容、P64「2行目を降削」と口頭で説明がありましたが、印刷物にはその正誤が出ていませんでしたので、改めて公表して下さい。特にP37 U <sub>a</sub> , q, Aの端数処理について正誤があるのであれば公表お願いしま		
近畿	設計	テキスト 正誤表	正誤表P64 直接日射が当たらない床は対象外です。→床は対象外です。なのででしょうか。		

質疑・指摘—修了審査について				10	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 修了審査	審査の問題がいまいち。間違いが2 3と5	10	質疑・指摘 修了審査
関東	現場管理	質疑・指摘 修了審査	講習課題・修了審査の計算例の仕様で、開口部が普通のアルミサッシにLowEガラス程度でも外皮平均熱電流率をクリアできるとは理解できましたが、結露が残る仕様をすすめる様にも受け取ることが出来てしまわないか、「?」でした。		
中部	現場管理	質疑・指摘 修了審査	修了審査のQ3についてですが、H25年省エネ基準は、問題の通り変更されていますが変更とともに新たに設備の基準が導入されているのだから、答的には×ではないでしょうか。○ではないと思われませんが。		
中部	設計	質疑・指摘 修了審査	修了審査問題が1,2がどちらが1か2か、わかりにくかった		
中部	設計	質疑・指摘 修了審査	修了審査C-V5(ラムダ)は熱伝導率ではないですか? 問題文が違いますか?		
中部	設計	質疑・指摘 修了審査	実際に2020義務化になった時、どれだけの人(実務者)机上の理論と実際の引き渡しをした家の整合性があるのか?(0%~100%)? 温度、湿度のデータがあるわけではないので? ! 解答8で補正係数とあるが補正係数が正解(足と正は意味が違うではないか!)		
中部	設計	質疑・指摘 修了審査	審査の3問目は設備の基準も導入されたかと思いが、書いてないので×にしました。紛らわしいです。		
近畿	設計	質疑・指摘 修了審査	審査文章問題8の答えは×であったがテキストP064Step1の中で対象外となっている。対象外であるが算入するので×ということですか?		
近畿	設計	質疑・指摘 修了審査	修了審査の文章問題⑧の補正説明が必要と思います。本のみを確認するとどっちにもとれる内容となっている。別に配られた資料に書いていたがそこの説明が筆漏。		
近畿	その他	質疑・指摘 修了審査	審査の2番 夏は断熱化の項目はP24にないですが○になりますか? 冷房効率のためには必要かと思いますが、そうでない場合は必ずしも必要でないのではないのでしょうか。		

質疑・指摘—演習について				3	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 演習	練習問題のΣAは小数点第2位ではないでしょうか	3	質疑・指摘 演習
関東	その他	質疑・指摘 演習	前半の解説が駆け足過ぎて重要なポイントが分かりにくい。演習問題のUA算出のための計算表の面積Aは小数点2桁で記載すべきでは。		
中部	設計	質疑・指摘 演習	テキスト演習問題で、洗面所の面積が土間床に含まれる根拠がよくわからなかった(内部基礎断熱の位置なのか?)。同上図面では洗面所と廊下の間が仕切られているのかもわからなかった。		

質疑・指摘—外皮性能基準について				18	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	空気層の熱抵抗と表面熱抵抗の空気層のことでわからない	18	質疑・指摘 外皮性能 基準
東北	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	入(ラムダ)の記入数字は小数点以下何桁まで正しいのですか?		
関東	現場管理	質疑・指摘 外皮性能基準	UA欄の基礎、小平投影面積の算定方法は?		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	取得日射量補正係数の求め方が何通りあります。その時に当然最終の取得量が変わると思いますが、どの数字が正しいのでしょうか(別表を使いたくない)		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	H11基準の仕様で土間床4m以下は土間床断熱でOKでしたが、H25基準でも全体の計算でクリアできれば今迄通りの施工方法でもよいのでしょうか? もしくは土間立上り断熱施工は、必要になるのですか?		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	開口部の熱貫流率について: 玄関ドアを木製で建具屋さんで作ってもらうことがあります。この場合は断熱ドアとはみなされず、省エネ基準をみたせないということになりますか? 仕様はブラッシュ構造ですが、枠は木製で金属製ではないです。		
関東	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	LowEガラスは埼玉県の一般地域で日当たりのいい所では使った方がいいのでしょうか? 使うとしたら日射取得型、遮熱型どちらがいいのでしょうか?		
関東	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	気流の発生しないウレタン、発泡プラスチックでは、気流止めが不要と考えて良いのか?		
北陸	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	今の省エネ4等級にはトレードオフ制度がありますが、外皮になるとトレードオフはなくなっていくのか? それと共に、省エネ4等級のトレードオフも使えなくなるのでしょうか? 外皮面積を出すとき、GLは地面の高さ、基礎土間の高さでしょうか。敷地に高低差がある場合は、どこを基準にするのでしょうか。		

中部	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	小屋裏は床下と同じ様な条件下と思いますが、なぜ温度差係数がH=1.0なのでしょう？今まで壁のU値の計算で、熱橋部(柱)の厚みを断熱材と同じにせず、本来の寸法を入れていましたが、その計算は間違いになりますか？		
中部	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	浴室、洗面一体の基礎断熱は耐久性に問題はないのでしょうか。土間部のM2、4,00迄断熱材カンワは存続するのでしょうか。		
中部	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	木製扉 枠:木製の場合の熱貫流率と日射熱取得率はいくつ？木製引戸ガラスなしの倍の熱貫流率と日射熱取得率はいくつ？なぜ外壁の木材部分が断熱材の厚さより大きい場合、断熱材と同じ厚さの木材と密閉空気層となるのか？		
近畿	現場管理	質疑・指摘 外皮性能基準	外皮平均熱貫流率の計算にて各面積算定に対してキノのみ、貫流熱損失の式にてL・U・Hなぜ周長としたのか？単位おかしくなる。もしくは総体論としているのか？		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	基礎断熱の詳細計算法で(U1.8-1.36)定数ですか？		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	基礎断熱の場合、壁の気流止めの施工は必要なのか		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	基礎土間周長(床下)ですが、第6章計算例では「浴室」「洗面所」部分を周長として計算してあります。「洗面所」～「トイレ」or「洗面所」～「廊下」に人通孔を設けた場合どうなりますか？人通孔を設けず基礎断熱部とそれをエリア分けてそれぞれ床下点検口が必要になりますか？		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	床は仕上面が複数ある場合について、住宅省エネ技術設計講習テキストP38玄関ドマ部分の、外面積算定により、キリ天よりなっています。玄関部分土間は建物の面積より極力であるため、基礎高が400mmをこえても床仕上面より上から外面積を算定してもよろしいのでしょうか。		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	普段当社で施工している基礎はコンクリートでおおってしまう為、断熱材を入れてません(コンクリート施工のうえ、フローリングボンダ貼施工)。そういった場合、U値は1.8(w/m.k)にしかならないのでしょうか？		

**質疑・指摘—一次エネルギー消費量基準について 4**

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準	住宅、戸別の省エネルギー性能の判定プログラム内の暖冷房で言っている「蓄熱の利用」とはどのようなものなのか、全く理解できませんでした	4	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準
関東	設計	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準	①一次エネルギー消費量計算における主たる居室面積について。LDKにドアがなく廊下と一体となっており、かつ階下又は階上の廊下(階段をとおして)ともつながっている場合、どこまでを居室面積とするのか？		
中部	設計	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準	ベレットストーブ、煙突付ストーブ、マキ燃焼型の風呂釜などの暖房機、給湯器の扱いがよくわからない		
近畿	設計	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準	採光を確保するために申請上納戸等になった場合には非居室あつかいになるのでしょうか？		

**質疑・指摘—申請、図書について 6**

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 申請、図書など	住宅性能評価機関への提出書類はどこまでの資料が必要なのでしょう？又、どうやって審査されるのでしょうか？(H25省エネ基準の場合)	6	質疑・指摘 申請、図書など
北陸	設計	質疑・指摘 申請、図書など	法律の実施時期や申請に対する内容等がはっきりしない。(どのような申請方法になるのか？検査項目は？完了検査に添付写真は？)		
北陸	設計	質疑・指摘 申請、図書など	設計完了から工事着工～完成までの間で、仕様変更が発生した場合どうするの？		
北陸	設計	質疑・指摘 申請、図書など	改正省エネの確認申請との兼ね合いがよくわからない		
中部	設計	質疑・指摘 申請、図書など	H27.4.1からの建築確保申請はどう変わりますか		
中国	設計	質疑・指摘 申請、図書など	新築住宅確認書類に講習を受け合格した場合に確認書類に登録番号記入になっていくのでしょうか？		

**質疑・指摘—その他 21**

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	質疑・指摘 その他	住宅の設計をするにあたり疑問だったところが理解できたので大変勉強になりました。最後に紹介のあった補助金について併用可能、不可能と言う事は、HPなどで分かるのでしょうか？	21	質疑・指摘 その他
東北	設計	質疑・指摘 その他	外皮性能と一時エネルギーの相互関係について？		
関東	設計	質疑・指摘 その他	外皮平均熱貫流率及び、平均日射熱取得率の計算についても一次エネルギー消費量計算プログラムのような、無料の支援ツール等はあるのでしょうか。今講習会の内容は、一戸建て以外の共同住宅などにもあてはまる基準と考えてよろしいのでしょうか。		
関東	設計	質疑・指摘 その他	湿度についての考慮のしかたが知りたい(セルロースを使用している)		
関東	設計	質疑・指摘 その他	熱交換器のダクト部分の圧力損出について		
関東	設計	質疑・指摘 その他	剛床(大引間に断熱を入れている場合)熱橋の防止、対処をもっと詳しく知りたい。トレードオフは完全になくなりますか？		
関東	設計	質疑・指摘 その他	住宅の断熱リフォームに力を入れて行うとありますが、圧縮GWの詰め込みによる気流止めは確実に行うとしても、内・外壁とも解体せず、内装仕上げも傷つけない場合、防湿(気密)層をどのように作れば良いか、頭を悩ませております。表面結露で目に見えていたものが、壁体内で結露し、建主の知らない所で構造体を痛める様な事になっては“劣化リフォーム”になりかねず、良い知恵がありましたらお貸しください。(株)スピカ 西嶋 潤 jun@spica.cc		
関東	設計	質疑・指摘 その他	受講した者とそうでない者との差別化はありますか？		
関東	設計	質疑・指摘 その他	基準値を策定した際の、設定条件がわかる資料が知りたい、公開されているのか？		
関東	その他	質疑・指摘 その他	①一つの面で天井高の違う部分(部屋)がある場合の外壁面積算定高は一律に最高高とするのか、部屋ごとの高さで算出するのか。 ②建設時に冷暖房機を導入せず、施主が入居後取り付けの場合、判定プログラムでは“設置しない”を選択してよいのか		
中部	設計	質疑・指摘 その他	不都合だった場合、具体的にどこを回避するのがよいかもご指導いただきたいです		
中部	その他	質疑・指摘 その他	簡略法はいつまで認められますか。将来的には詳細計算に一本化でしょうか。		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	集合住宅も同様に算定するのでしょうか？		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	左記の図のようにテキストに書かれていましたが、夏だと防湿シートの外壁側に結露が発生してしまうのではと思います。透湿シートにすれば解消されるようにも思われるのですが、何か実験などの資料などあれば教えて頂けないでしょうか。何卒よろしくお願致します。		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	在来伝統木造工法(土壁)の住宅などは、今後カンワは行われる可能性はありますか。伝統木造工法は日本人の生活習慣の根幹である。		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	数値の結果の程度を示す方法はないでしょうか。(感覚的な表現、スキマ風がなくなる程度の説明しかできないでさけないです)テキストの目次をもう少し詳しく項目を。		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	UAについて①熱的境界となる部分を評価することなので、1F床断熱が前面にわり計画されていけば、基礎は評価しないでもいいか。②屋根面断熱と天井断熱を計画する場合はどう評価するのか。η AIについて①外壁の評価に関しては、落葉樹、庇等の効果を評価できないのか。②パッシブな省エネ計画については評価できないのか(ナイトバーズ)。一次エネルギーについて、冷房機、暖房機を全く使わない計画となるよう計画している場合、対象外とすることは可能か。		
近畿	設計	質疑・指摘 その他	2重断熱した場合の評価の方法は？		
中国	設計	質疑・指摘 その他	いつから一般住宅レベルで義務化になるのでしょうか		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 その他	仕様基準が当面の間と書かれていましたが、今後廃止になることもありえますか？		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 その他	性能評示協会のエクセルは使えますか？		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 その他	今回の講習で、どの基準まで対応できるのか知りたい。断熱等性能等級4ということで良いでしょうか？		

**要望・意見など—テキスト各章について 11**

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	設計	基本編・第1章 これからの住まい	二酸化炭素による地球温暖化というのは、嘘だと思います	1	基本編 第1章 これからの 住まい
近畿	設計	基本編・第7章 住まい方と維持管理	施工技術講習テキスト第7章住まいと維持管理がとても分かりやすかったです。お施主さんにもコピーして渡したいと思えます。今日はありがとうございました。	1	基本編 第7章 住まい方と 維持管理

北陸	施工	設計編・第2章 外皮性能の計算	設計テキストP165の基礎の熱貫流率の算出方法がよくわかりませんでした	3	設計編 第2章 外皮性能 の計算
中国	その他	設計編・第2章 外皮性能の計算	基礎断熱がわかりにくい		
九州・沖縄	設計	設計編・第2章 外皮性能の計算	こんな計算いきなり出来る訳ないだろーテキストの計算部分をもっと実用的フローに書き直して実務で使えるように再構成してもらいたい。フローに従って自動的に手計算できる手順を掲載すべきだ。		
関東	現場管理	設計編・第3章 一次 エネルギー消費量の計算	基準一時エネルギーの算定内容についても記載がほしかった(テキスト)	2	設計編 第3章 一次エネルギー 消費量の 計算
中国	設計	設計編・第3章 一次 エネルギー消費量の計算	一次エネルギー消費計算は算定プログラムを使っていたので、いざ自分で計算すると難しく感じました		
東北	設計	設計編・第6章 計算例	地域に合った計算式であればなお良かった。	4	設計編 第6章 計算例
関東	設計	設計編・第6章 計算例	様々な場合の演習問題もしくは例などをテキストに入れてくれると助かります		
関東	設計	設計編・第6章 計算例	外皮計算の算出について複雑な形状の建物も計算例としてあげていただくとありがたいです		
九州・沖縄	設計	設計編・第6章 計算例	実務にも使える内容にしていただきたい(例題が少ない)		

要望・意見などーテキストについてその他

87

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	テキスト 要望	テキストに索引があれば良かったと思います	11	テキスト 要望
関東	設計	テキスト 要望	本がよく出来ているなら…本当に知りたい計算や例を多くして、他読んでくださいます方が良かった。難しい基礎の計算とか、本部と断熱材との計算方法等を聞きかたかったです。資料編は仕事でつかえるので別冊にしてほしかった。テキストと分けた方が使いやすいと取っておくとき便利です。		
関東	設計	テキスト 要望	テキストはとでも良くできています。ビジュアル的な説明をふやすとよと思います。数字、計算のプロセスより、Aバウトな事での割り切りを伝えてもらうと良いかと。		
北陸	設計	テキスト 要望	小数点第何位までの解答を項目別表にしたら良い。※テキスト項目別にバラバラで出ている		
中部	現場管理	テキスト 要望	本を一冊にしてください		
中部	設計	テキスト 要望	この講習会のテキストは分かりやすく良くできていると思います		
近畿	設計	テキスト 要望	訂正内容が全て転記できなかったため、HP等で訂正リストを公開してほしい		
近畿	設計	テキスト 要望	テキスト資料はまとめて表示した方がよいと思います		
近畿	その他	テキスト 要望	テキストのレイアウトが良くない。別表等でセパレートしていたほうが見やすい。		
九州・沖縄	設計	テキスト 要望	テキストがカラーなので、項目ごと、部位ごとに別表などと色分けでリンクしてあれば、もっと判りやすく、引用しやすいと感じました		
九州・沖縄	設計	テキスト 要望	項目間のつながりが分かりにくい(フローチャート)		
東北	設計	テキスト 不評	講師は設計事務所の代表なんだから言葉で説明するのではなく、筋違の納め方を図面で示してほしい。設計者テキストにおいて、AはBですと言う中身が多いが、その理由がわからない点が多い。Cとの理由でBですすならわかる。正誤表が白黒で何がまちがいのかわからない。テキストを読み上げるだけの講師ならDVDで良い。	8	テキスト 不評
関東	施工	テキスト 不評	値の表が次々に出てくるのでとまどいました。計算の全体がつかめていないので途中でとまどいました。		
関東	設計	テキスト 不評	テキストの資料のまとめ方がとても分かりづらかったです。もう少し一か所に集中して編集されている方が使いやすいかったのではと思います。		
近畿	現場管理	テキスト 不評	テキストの図表の文字が小さくて見えない		
近畿	設計	テキスト 不評	テキストが二冊あるのはダブっている所があり、一冊にしてほしい。RC、鉄骨造もいっしょにしてほしい。戸建住宅はこれ一冊で。		
中国	設計	テキスト 不評	テキストの表がバラバラで実務で使いにくいです		
中国	設計	テキスト 不評	設計者講習テキスト、計算わからない。一回の講習では無理ではないか!		
四国	設計	テキスト 不評	資料の文字が小さすぎて読みづらい!		
東北	現場管理	テキスト 誤植多い	テキストのまちがいが多すぎる	9	テキスト 誤植多い
東北	設計	テキスト 誤植多い	テキストに誤りが多い。		
東北	設計	テキスト 誤植多い	テキストの間違いが多すぎる		
東北	その他	テキスト 誤植多い	テキスト間違い多すぎ!		
関東	設計	テキスト 誤植多い	ちょっと聞きづらい点もあった。テキストの誤記が多いです(大事なマニュアルのはずなのに)		
関東	設計	テキスト 誤植多い	テキストに誤りが多い。		
関東	その他	テキスト 誤植多い	テキストに誤字が多いので、分かりにくかった部分がある。講師の方はポイントを分かりやすく伝えてくれたので良かったが、時間が短い。		
中部	現場管理	テキスト 誤植多い	テキストの正誤が多すぎると思います		
九州・沖縄	設計	テキスト 誤植多い	テキストページが間違っていないか		
関東	施工	テキスト 表など探しづらい	マニュアルの各数値表が色々なページに記載されているため、読みづらい	5	テキスト 表など 探しづらい
関東	設計	テキスト 表など探しづらい	予備知識があまり無い状態で受講したので、理解するのに難しかった。何度か実務や演習をしながら理解が難しいので、又、講習があれば受講したいと思う。数値をひろく表が一か所にまとまっていると今後も使いやすいと思う。テキストになると思う。		
中部	設計	テキスト 表など探しづらい	基準値が書かれた表を見るのにページをバラバラめくっているうちに話についていけなくなってしまうので、参考になる一覧表が別になってほしいと思います		
近畿	その他	テキスト 表など探しづらい	計算の時表はまとめてある方が使いやすい(計算時)あちこちページがとぶので大変		
中国	設計	テキスト 表など探しづらい	フローがもう少しわかりやすくしてほしい。仕様規定の時のフロー、参照すべき表の対比表など。まちがった表を見ているかもしれない…サッシは解りにくい…どうにかしてほしい。仕様基準と性能基準の言葉の違いがわからない。最後の問題(考査)言葉あそびみたいでおかしい。		
東北	現場管理	テキスト 好評	テキストが以前から比べるとわかりやすくやさしい表現になっているので、とても良かったと思います	54	テキスト 好評
東北	現場管理	テキスト 好評	12-1,2の回答はメーカーの為かわってないので無回答とさせていただきます。テキストは非常に分かり易いです。		
東北	設計	テキスト 好評	難しく考えていたが、テキストも理解しやすく記載されているので、大変勉強になりました。得た知識を今後仕事に役立てたいと思います。		
東北	設計	テキスト 好評	テキストがわかりやすく、これからの業務に活かしていきたいと思いました。		
東北	設計	テキスト 好評	基本編は断熱や省エネルギーをあらためて見直す事ができ、資料、グラフ、数値データも多く、活かしていきたいです。設計テキスト具体的にどのようになれば良いかが分かり、安心しました。		
関東	現場管理	テキスト 好評	テキストの完成度が高く、資料として最適です。本日はありがとうございました。		
関東	現場管理	テキスト 好評	とても分かりやすい説明で勉強になりました。又、教科書もとても見やすく分かりやすい作りになっていて今後使っていくと思います。講師の先生も説明上手で、良かったです。ありがとうございました。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがとてもわかりやすかったです。過去に外皮計算をしていて不明点がよく理解出来て、参加したかひがあった。多くの設計者に受講してもらいたい。		
関東	設計	テキスト 好評	今回のテキストにある地域区分等の資料は、業務中とても役立ちます。一日、ありがとうございました。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがまとまっているので、実務で活用できそうです		
関東	設計	テキスト 好評	仕事内容は非住宅のみですが自己啓発のために参加しましたが、とてもよくテキストがまとめられていた		
関東	設計	テキスト 好評	時間が短いためじっくり学ぶ事は出来なかったけれど、テキストが分かりやすく今後活用していきたいので助かります		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがよくできている。講師の説明も分かりやすい。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストは見出しも含め、本当に使いやすいと思いました。今後、重宝します!今まで勘違いしていたことも分かり、とても分かり易くするためにになりました。ありがとうございました。		
関東	設計	テキスト 好評	分かりやすいテキストで今後活用しやすいと思いました。断熱や熱環境設計に対する考え方の意見交換ができるとよいなと思いました。		
関東	その他	テキスト 好評	テキストが大変分かりやすいです。ありがとうございました。		
関東	その他	テキスト 好評	テキストがわかりやすく、講師の説明も大変わかりやすいので施工も是非参加したいと思いました。通風については省かれたのが少し残念です。		
関東	その他	テキスト 好評	当社は設計、施工でないので裏面省略いたします。講習内容やテキストなどわかりやすく参考になります。		
関東	その他	テキスト 好評	テキストがわかりやすくよくできている。講習会ありがとうございました。		
関東	その他	テキスト 好評	独学でやってきましたが、今回の頂いたテキストが一番わかりやすいです		
北陸	設計	テキスト 好評	大変分かりやすい資料で勉強になりました。今後このテキストを基に業務にあたっていきたいと思います。		
北陸	設計	テキスト 好評	とても分かりやすい講習内容でした。テキストも今後使用できる内容だと思います。断熱施工の講習も参加しましたが、他の講習(耐震など)に比べてとてもためになる講習でした。		
北陸	その他	テキスト 好評	テキストが大変わかりやすいもので素晴らしいと思います。補助金等、優遇措置情報もきちんと整理されており今後の業務に大変役立ちます。本日は誠にありがとうございました。		
中部	現場管理	テキスト 好評	テキストは分かりやすかったです。		
中部	現場管理	テキスト 好評	テキストはしっかりまとめてくれていて助かる。しっかり読んでいきたい。		
中部	設計	テキスト 好評	テキストが分かりやすかったです。		
中部	設計	テキスト 好評	とても良い内容で理解しやすかったです。テキストも今後の実務でも使えそうです。ありがとうございました。		
中部	設計	テキスト 好評	大変良いテキストで分かりやすかったです。		

中部	設計	テキスト	好評	資料が分かりやすくて良かった
中部	設計	テキスト	好評	テキストが大変分かりやすい様に工夫されていると思います。今後の計算に活用できそうです。
中部	設計	テキスト	好評	
中部	設計	テキスト	好評	参考ページの記載は助かる！
中部	その他	テキスト	好評	普段、断熱性能の計算をする機会がなかったものの、理解出来ました。テキストもわかりやすいので、ありがたいです。
近畿	設計	テキスト	好評	設計者講習テキストは分かりやすくできています
近畿	設計	テキスト	好評	テキストもわかりやすかったですし、意外とあっという間に終わったという感じでした
近畿	設計	テキスト	好評	テキストがわかりやすくて見やすいと思いました。審査もあったので理解できました。
中国	設計	テキスト	好評	テキストが分かりやすくて、これからも役に立ちそうで良かったです。
中国	その他	テキスト	好評	テキストがわかりやすくて良かったです。今後も使っていきたいと思います。
中国	その他	テキスト	好評	大変テキストが勉強(参考)になります。1日ありがとうございました。
四国	現場管理	テキスト	好評	テキストがとても分かりやすく実務に使えるので良いです。テキストが欲しくて毎年講習会に参加しています。設計者講習なのか、施工者講習なのかがちょっとわかりづらいです。
四国	現場管理	テキスト	好評	・テキストが分かりやすくてまとめてあり、講師の話し方も聞きやすく大変参加して良かったです。ありがとうございました。・業務に活かしてより良い住宅をつくっていききたいと思います。設計よりも施工が重要だと思います。
四国	設計	テキスト	好評	テキストが大変分かりやすく、今後も役立つようにまとめられているのが良かったと思います。
九州・沖縄	現場管理	テキスト	好評	見やすいテキストだと思います。活用しやすい。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストがとても分かりやすかったので、駆け足でもよく分かりました。計算式や値、数値などはまだまだ復習を重ねて、理解していけるようがんばろうと思います。本日はありがとうございました。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストに参考ページがたくさん記載されていたので分かりやすかったです。戸建1棟最初から最後まで回答したかったです。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストが分かりやすい(カラー使用や地域別)と思いました
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	意外にテキストに沿って行くと分かりやすかったです。実践が大事だと思います。ソフトを使ってやってみたいと思います。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストがわかりやすく編集されていてよかった
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	講義テキストも大変分かりやすかったです。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	わかりやすいテキストで良かったです。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	これまでマニュアルに沿って対応していましたが、体系的に説明を受け納得できる部分が多く、大変なになりました。テキストも大変よくまとまっており、今後の業務に大いに役立つと考えています。
九州・沖縄	その他	テキスト	好評	テキストが非常にわかりやすい、説明も聞きやすかった。リフォーム現場においても、断熱を意識して設計・施工するのが大切。そのためには大工さんの教育も不可欠だと思う。(まともになるとなるとかなり手間がかかるので)
九州・沖縄	その他	テキスト	好評	わかりやすいテキストで有効であった。
九州・沖縄	その他	テキスト	好評	実例に基づいた説明は非常に理解できた。またテキストの内容も具体的な事例をあげてあり、今後の参考となるものであった。

要望・意見などーDVD					1	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
中部	設計	DVD	好評	DVDは役に立つと思います。現場施工者に口で言ってもわからない。絵で見るのが一番早いので。	1	DVD 好評

要望・意見などー修了考査					14	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
北海道	現場管理	修了考査	要望	考査問題、解答は頂きたいです(参考として)	1	修了考査 要望
東北	設計	修了考査	不評	考査の時間が短い。考査中にお知らせなど言われると気が散る。	9	修了考査 不評
東北	設計	修了考査	不評	問題などに間違いがあるので気を付けてほしい		
関東	設計	修了考査	不評	わかりやすい講習でした。考査の解説は不要と思います。		
中部	設計	修了考査	不評	CPDの説明をお願いしたい。この講習を受ける事に意味があるのであって、考査問題が難しすぎる。講師のポイントと問題が合っていない(設計者テキスト)。会場と条件が異なります。実務で行わねばいのでテキストにすべきでないと思います。		
中部	無回答	修了考査	不評	考査が難しすぎる(文章問題)。講師の説明が分かりにくい。		
近畿	設計	修了考査	不評	考査計算問題は易しすぎるのではないかと。講習で頭を使った価値が薄れる。		
近畿	設計	修了考査	不評	短時間講習での考査はきびしい		
近畿	設計	修了考査	不評	考査の時間が短く感じた		
四国	その他	修了考査	不評	修了考査は1問あたりの文章が長く確認に時間がかかる		
北陸	設計	修了考査	好評	テストで改めて、テキストを読み直すことができた。	4	修了考査 好評
中部	設計	修了考査	好評	回答資料がくわしくよかった		
中部	設計	修了考査	好評	考査問題が理解しやすかった。この様な進め方が良いと思う。		
九州・沖縄	その他	修了考査	好評	考査を行うことで、講習も真剣に受講し、理解度を確認することができるので非常によかった。		

要望・意見などー演習					24	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
東北	現場管理	演習	要望	実際にパソコンを使用している演習があれば、尚良かったと思います。一つの会場でせめて二回講習会を開催していた計算のやり方を事例を基に説明してもらいたい(ゆくりと実際に計算しながら)	22	演習 要望
東北	設計	演習	要望	基本的な事項を理解したことを前提にした上での解説だったと思いますが、説明が駆け足でついていけなかったです。演習問題、考査を解いてやると内容が少し分かったもので、もう少し具体的な計算を解く内容の方が分かりやすいと思いました。(個人的に)テキストの内容はじっくり読めばとも分かりやすい内容だと思います。		
東北	設計	演習	要望	施工管理において、重要なポイントを具体的に教えてほしい。もっと演習をじっくりやってほしい。穴埋めではなく、全部の計算をやりたい。		
関東	施工	演習	要望	実際にPCを利用してWebプログラムによる演習などを行う機会があれば良いと思う		
関東	現場管理	演習	要望	演習は実際の物件でやってみないとなかなか理解できないのではないかと。1次エネルギーの計算もプログラムにこんな目に入力してどう実務的なところもあつた方が良かったのかなと思います。		
関東	設計	演習	要望	もう少し演習時間を取り、例題の表全体を作成してみる程度をやってみてほしい		
関東	設計	演習	要望	テキストを読むだけの講習ではなく、演習問題の解説を聞くだけでなく、実際に自ら計算したり調べたりしたかった		
関東	設計	演習	要望	計算の方に全時間を使ってもっとゆくり詳しく行った方がよいと思う		
関東	設計	演習	要望	演習問題を主に講習してもらえるとなお覚えやすいと思います。計算表(エクセルデータ)ができることなので、PCを持参しての講習会があれば更に良いと思います。		
関東	設計	演習	要望	実際ソフトやアプリを使った演習が必要かと思ひます。実務中に演習するのが難しいです。		
関東	その他	演習	要望	テストは穴埋めではなく、すべて計算した方がよいのでは？		
関東	その他	演習	要望	二通りの計算演習をしたい		
関東	その他	演習	要望	実際にWebプログラムを使用して演習した方がわかりやすいと思う		
北陸	設計	演習	要望	計算問題が穴埋め方式では、計算を理解できるのが不安。どうせならすべての計算をしてみたかった。		
中部	設計	演習	要望	演習のみの講習会を実施してもらって実務で使えるようになりそうです		
近畿	現場管理	演習	要望	例題の実習をもっと多くしてほしい		
中国	設計	演習	要望	外皮平均熱貫流率と平均日射熱取得率の計算プログラムがあれば利用したい。演習問題の他、いろんなパターンの計算をみたり、実際にやってみてほしい。		
四国	その他	演習	要望	たくさん事を右から左に流すだけの講習会だったと思います。もう少し計算の時間だったら解説してもらいながらみんなと一緒に解いていくような感じの方が良かったです。		
四国	その他	演習	要望	次のステップとしては、PC持ち込みで一連の流れを演習してみてもどうだろうか(Webプログラム)		
九州・沖縄	現場管理	演習	要望	どうでもテキストの内容を読むだけになってしまつたので演習等を増やした方が理解力が高まると思ひました		
九州・沖縄	設計	演習	要望	資料を説明しているだけでは、良く分からない。時間が無いのか、何かバタバタした感じで終わった。演習問題を実際にやろうとして進めた方が分かりやすいのでは？パソコンを使って実際にやると良いのでは？	2	演習 好評
北陸	現場管理	演習	好評	演習、考査問題をやる事で内容、流れが理解できたような気がします。内容を理解するには、自分でやってみる事ですね。時間が少ないような、考える暇も少ないです。		
九州・沖縄	施工	演習	好評	演習問題の様に実際に数字に関わることで、より理解が深まった。手計算でなく、実際はプログラムに計算が主流になると思うので、PCを使用した講習があればより実務に近いと思ひました。		

要望・意見などー他の資料・説明の要望、アンケート					30	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
東北	設計	計算プログラム・ソフト		計算ソフト(CD等)の配布などをお願いできれば幸いです	7	計算 プログラム ソフト
関東	その他	計算プログラム・ソフト		計算がめんどろ。安価で使いやすいソフトがほしい。		

北陸	施工	計算プログラム ソフト	計算ソフトの開発と利用方法を考えてほしい		
中国	設計	計算プログラム ソフト	簡略計算方法の計算ソフト(エクセル?)があれば教えてほしい		
中国	その他	計算プログラム ソフト	良いソフト出る事に期待		
九州・沖縄	現場管理	計算プログラム ソフト	住宅は多種多様であるが、簡易(目安程度)に計算できる方法が必要と感じた(ソフト)		
九州・沖縄	設計	計算プログラム ソフト	計算問題は実例を交えてやれたので理解できた。実務でも使えるテンプレート等があれば教えて頂けると助かります。本日はありがとうございました。	3	手続き・申請・図書
関東	設計	手続き・申請・図書	申請に向けての書類、見本等があれば見てみたかった		
北陸	設計	手続き・申請・図書	実際に確認申請に添付する参考例などの参照があればよかったです		
中部	設計	手続き・申請・図書	建築確認申請に申請関係書類標準フォーマットを公開して、その説明も合わせて行ってほしい…要望。説明時間が足りなかった		
東北	設計	その他	別紙、別冊でいいので細かい注意点をまとめたものが必要かも。暖房でも冷房能力で計算するとか、布キノだけど土間敷きこみがあるからベタで計算するとか等。	13	その他
関東	現場管理	その他	省エネに最も有効な部位別仕様があれば例示が欲しい。		
関東	設計	その他	モデルプランを例に計算+1時エネルギー入力までわかるビデオがあると理解が深まるように思います		
関東	設計	その他	省エネ計算をする上で、判断の難しいポイント、テクニックについて、もう一段掘り下げた内容が良かった。RC、S造における講習会があれば是非参加したいです。Q&A集を公開してほしい。今まで見た中で一番分かりやすい、よくてきたテキストだと思います。ありがとうございます。		
関東	設計	その他	リフォーム時和風住宅の1Fの下屋と2Fの外壁の交差部の断熱にいつも苦労する、どうするのが良いかのマニュアルがあると嬉しい。		
関東	設計	その他	住宅取得者にミットになる内容を案内してほしい		
北陸	設計	その他	物性値係数についても資料編にまとめてほしい。		
中部	施工	その他	計算は難しくはないのですが、とてもめんどくさいですね。コツコツやります。基本編テキスト第7章を施主向けのパンフレットにして配布できるようにしていただけたら、大変ありがたいです。いくら言っても聞く耳もたずの施主がたまに居ます。		
中部	その他	その他	物性値、係数等の表を一覧でまとめて頂けるとありがたいです		
近畿	設計	その他	テキストではなくよりまとめた要項毎のリーフレットの方が理解が進む		
近畿	設計	その他	断熱の必要性を施主にアピールできるようなツール		
中国	設計	その他	書きなど使用できる用紙(講習会に使用した)などがありますか。自分で作成しなければなりません。		
九州・沖縄	現場管理	その他	重要ポイントを抜粋したプリントがあれば非常に分かりやすいです。色付けをお願いします。		
東北	その他	アンケート	質問12-1~12-3は窓メーカーですので回答できません	7	アンケート
関東	設計	アンケート	構造が専門の為、質問12-1~12-5の回答はありません。周辺知識として受講しました。		
関東	設計	アンケート	難しいとは思わない、と易しい、の違いがよくわかりませんでした…		
関東	設計	アンケート	質問時間を設けていただきたいです		
関東	その他	アンケート	設計、施工をしていないため、質問12お答えできません。		
中部	設計	アンケート	アンケートが一番めんどくさい!		
中部	その他	アンケート	質問12については記入できないため解答していません。		

**要望・意見などー講習の内容、形態について** 351

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	設計	内容重複 不評	施工・設計両方に参加しました。設計の講習で重複教材での講習部分はなしでも良いと思います。	4	内容重複 不評
近畿	施工	内容重複 不評	講義前半は施工編と被るので、二日に分けての講習ではなく一日に講習施工・設計が終了する様にしてほしい		
近畿	設計	内容重複 不評	難しいですがもう少し各表をまとめてください。P189~P192とP194~P197などの重複は、まとめられるのでは、また同じ計算式が何度も出てくるのももう少し減らしてもいいのではないのでしょうか。方位係数や日射補係数など各係数も巻末にまとめてくださると助かると思います。		
九州・沖縄	設計	内容重複 不評	重複する内容がありましたのでできれば基本編からの分の時間を設計者講習に割り当てていただければ早足での説明にならないのではと思われまます。講習内容は分かりやすく為になりました。ありがとうございます。	49	読み上げ 講習 不評
東北	設計	読み上げ講習 不評	テキストを棒読みだけでは最後まで計算できないと思います。webやエクセルの利用の説明が良かった。図書(一次エネルギー)の書き方の説明が良かった。基本8、9章から始めた方が良かったのでは?		
東北	設計	読み上げ講習 不評	毎回感じのですが講習会でテキストを読んで流して行くのは計算などの演習問題をしたので良かったです		
東北	設計	読み上げ講習 不評	長時間のご説明ありがとうございました。欲を言えば、ただ本の中を朗読するのではなく、具体的なお話の方がより興味をそえられるような気がします。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	講師の方がテキストを読むだけでなくメリハリをつけてほしい		
東北	設計	読み上げ講習 不評	講師の方がテキストを読み上げるだけだったので、不満		
東北	設計	読み上げ講習 不評	本を読むだけの講習はつまらない。静かな場所で1人で読んだ方が良い!!		
東北	設計	読み上げ講習 不評	テキストの読みが多かったため細かい説明などもあれば良かったと思います		
東北	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習会はつまらない		
東北	設計	読み上げ講習 不評	講師がテキストを読んでいるだけで分かりにくい。噛み砕いた説明が欲しい。		
東北	その他	読み上げ講習 不評	テキストの音読ではなく、さらに詳しく説明するの、省略するところがあるのではないかと感じました		
東北	その他	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げるだけの講習で各項目でどこが重要な部分なのか理解できなかった		
関東	施工	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけなので、ガッカリしました		
関東	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストの読み上げではなく、解説を中心に講習していただけたらと理解しやすくなると思います		
関東	設計	読み上げ講習 不評	施工と設計の両方の講習を受けた時に講習内容が重複する部分があるので、二度同じ内容を聴くのはつらい		
関東	設計	読み上げ講習 不評	講義はほぼテキストを読み流していただけてあまりミットを感じられなかった。それであれば時間を凝縮して、端的に解説をしてもらう方が良いと思う。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習は時間の無駄!!その道のエキスパートが重要な所を的確に説明してほしいかった。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけの講義であれば講師より映像の方が良いと思う		
関東	設計	読み上げ講習 不評	ほぼテキスト棒読み		
関東	設計	読み上げ講習 不評	・テキストを読むだけではあれば講師は不要、お互いの金と時間の無駄だと思います。・計算は細かい。自動に算出するソフトがあると良いと思いました。CAD(面積の算出など)・テキストは多少とも勉強に便利と思いました。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	講習が口頭のみで若干わかりづらかった		
関東	設計	読み上げ講習 不評	講義流し過ぎ、読んでいるだけ。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	読み合わせでは学校と変わらないと思います。映像やパワーポイントなどでの、講習でなくては、もしくは重要な部分を上げたうえでの説明でなくてはいけないと思います。単にテキストを読み上げるのであれば、テキストを買えばいいと成りかねないのでは?		
関東	設計	読み上げ講習 不評	講習内容はテキストを読むだけであまり分かりにくい所もあった。もっと分かりやすく、付け加えてもいいので説明してほしいかった。		
北陸	現場管理	読み上げ講習 不評	とりまとめてわかりやすい講演をしていただきたい、よむだけでは?		
北陸	設計	読み上げ講習 不評	メリハリがほしいです。読み上げるだけはちょっと…		
中部	設計	読み上げ講習 不評	基本編はテキストを読み合わせしているだけで講師の方が行う意味が無い。ビデオもつと聞き取りやすい方が行ったほうが良い。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	時間が足らず、講師もただテキストを読むだけ(細かい計算方法の記述なく、自分で調べてくださいというのもあった)もう少し詳しく説明(参加している人の知識レベルに合わせて)がほしいです。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	どこに何が書いてあるかの説明なら最初からテキストを全て読んでくださいで済む内容で講習会の意味が無い。これではただの読み合わせ会。もっと具体的にどうして省エネ住宅にしなきゃいけないのか、どうしたらエネルギーの使用が少なくて済む住宅ができるのか、その辺の説明が必要だと思う。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むのではなく、分かりやすく噛み砕いた解説があれば良いと思う。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	短い時間の中で沢山の内容を詰め込んで頂き、ありがとうございます。演習があると理解度が大幅に上がるので良いと思います。ただ、流し読み感が大きいのは否めません。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	講習自体は良かったと感じましたが、今後の必要性を考えると、もっとやっても良かったかなと思いました。ただ、内容にテキストを読むだけでなくもっと応用を効かせた内容が良かったです。		
中部	その他	読み上げ講習 不評	テキストの読み上げだけではなく、理由、要点を話して頂きたい		
近畿	現場管理	読み上げ講習 不評	読んでいるだけなので眠くなるね		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	ただテキストを読むだけの講習でした。もう少し噛み砕いて説明してほしい。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	教科書を読むだけの説明はやめてほしい。わかりにくいしそれなら個人でも充分にできるから!		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	口での説明だけだったので、計算は分かりにくかった		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけではどうでしょうか?テキストおわりで終了にしてほしい(時間がムダ)		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	この設計者講習の場合、やはり実務で常に計算業務をしていないとかなり難しいものと思います。それと単にテキストを読んでいるだけの講習は無意味だと思いますが、		
中国	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習では理解がしにくい		
四国	施工	読み上げ講習 不評	講習説明はただ読むだけでは聞き手をもっと参加できるようにしたらもっと記憶に定着すると思います		
四国	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げるだけだったので、計算問題等よくわかりませんでした。もう少し重要点などを教えてほしいかったです。		
四国	設計	読み上げ講習 不評	ただテキスト内容を言っているだけだったのでつまらなかった		
四国	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの説明ならいいない!		

九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	主にテキスト読み上げの為あまり頭に入ってこない。ノートやタブレットを使った実用性のあるセミナーを次回希望したい。		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習	不評	講習内容が時間的都合にもあるかと思いますが素読的であり、その場の短時間内には理解が伴わない		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習	不評	講師の方が逆の人の説明がよかった。片方の人はボソボソと何を言っているのか、さっぱりわからなかった。これで、考査を合格しろと言うのは無理があると思う		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習	不評	基本編を行った人はただ読み上げしているだけ		
九州・沖縄	その他	読み上げ講習	不評	・解説ではなく、テキストを読むだけなので理解が乏しい。・こうすればU値、7値の値が良くなるといったアドバイスも欲しい。		
九州・沖縄	その他	読み上げ講習	不評	教科書をたんと読む時間が30分近く続く、やはり集中力が散ってしまいがち…せつかくの時間がもったいないので、OHPなどの画像を使う、又は、参加者の参加型(参加者が読む、答える)などの工夫を交えてほしいと感じました。ありがとうございました。		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明		ポイントをもっとしぼった講習でもよいと思います。演習中心みたいなの(テキストがしっかりあるので)	22	要望 ポイントを絞った説明
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明		基本の考え方から実践まで、短い時間の中で要点をお伝えして頂きありがとうございました。考査問題の穴埋めが目的ではなく、性能基準の計算方法と内容を理解して、実践していくのが大切だと思った。		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明		重要箇所を重点的に説明し、もっと演習や実践的な作業をする時間を多くした方がよいと思う。「後で読んでおいてください」という部分が多く、中途半端にふれるくらいであれば、重点を絞って講習した方がよいと感じた。一次エネルギー計算のレクチャーは、スライドで実際のソフトを動かしながらやってはどうか。ひたすらテキストを読むだけの講習は記憶に残りにくいと思う。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		限りのある時間であるため、内容をもっと絞った方がよい		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		これだけの内容を一日でもうらするのには大変で、説明もだいたい割愛が多かった様です。どうせなら、もっと省く所は省いて、重要な所をもう少し重点的に説明会でも良かったが、とっかかりという位置づけですね。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		最低限のポイントに絞り込み、ゆっくりと説明して頂きたい。テキスト、演習問題及び解答はわかりやすくて良いと思います。講師は別の方をお願いしたい(PMより)。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		もう少しポイントを絞って行った方が分かりやすいと思います。勉強にはなりました。HP見てみます。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		テキスト全部をやることをしないで、ポイントだけを詳しく解説してくれた方が分かりやすい		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明		ポイントを絞って、ゆっくり深くお話ししていただきかった。(時間に追っかけられた。セカセカした気持ちでした。)		
関東	その他	要望 ポイントを絞った説明		テキストについて説明をどばところを作ってもよいと思う。1ページ目から全て説明はいい。大切な所を急ぎ足で説明になるのもつたいないと感じた。底だけではなく軸壁も計算に考慮されるようになりませんか。		
北陸	現場管理	要望 ポイントを絞った説明		どこがポイントなのか重要な部分を支持してもらえずわかりにくかった		
北陸	設計	要望 ポイントを絞った説明		要点をテンポよく説明していただいて、テキストの全体的な内容はザックリですが理解できたのではないかと思います。あとは数をこなせば何とかなるのではないかと…。		
北陸	その他	要望 ポイントを絞った説明		もう少し内容しぼってやった方がよい		
北陸	その他	要望 ポイントを絞った説明		要点をもう少しまとめて話して頂きたかった(実務と考査に必要な部分など)		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明		テキストの内容をこなすのに精いっぱいという印象でした。概略を伝えて、後日ゆっくり見ても構わない部分と、考え方をていねいに伝える部分と、メリハリがあってもいいように思えました。		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明		一次エネルギー消費量算定プログラムの解説が中途半端で、ポイントがわかりにくかった。始めにプログラムの概略を説明した上で、重要ポイントを説明してほしい。		
近畿	設計	要望 ポイントを絞った説明		何ページのどのあたりを読んでいるかを適宜示してほしい。実務として重要なのか、試験として重要なのか、又重要度の違いを明確に述べてほしい。まず何が重要なのか(変わったのか)が最初にあっても良い。パワーボ使うべき。		
中国	施工	要望 ポイントを絞った説明		ポイントをもう少し分かり易く説明してほしい		
中国	設計	要望 ポイントを絞った説明		急いで流している感じがわかりにくかった。ポイントでアクセントを入れたり、もう少し工夫して頂ければわかりやすくなると思います。		
四国	現場管理	要望 ポイントを絞った説明		私は施工管理をする立場の人間ですが、講習内容のポイントがつかみにくい。何が重要であるのかをもっと明確に説明して頂きたい。		
四国	その他	要望 ポイントを絞った説明		内容が専門的で難しいので、時間的な制約もあるがより重要な点をまとめて教えて欲しい。		
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明		実務にすぐ使えるようにもってピンポイントで講義していただくと、混乱せずにわかりやすくなるのではないのでしょうか	20	要望 説明箇所が分かるように
東北	設計	要望 説明箇所が分かるように		途中から参加された方にも何のテキストをその時解説しているか分かるよう、映像にテキスト名がのっているといいかなと思います		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように		演習問題はテキストのどこを参照したらいいかわからず、全くできなかった。講師の説明がわかりにくいとは思わなかったが、実際に計算することで初めて内容がわかるような気がした。		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように		ページが飛ぶのでどこを参照すればいいか戸惑いました。基礎のU値の出し方を「簡易法」で教えて欲しい。演習で略されていてよくわからない。		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように		テキストのどこを指しているのか分かりにくいところがあるので、パワーボなど使用して頂けると助かります		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように		テキストは行数を入れた方がよい。時間と内容的にかけあしになるのはしょうがないのですが、ページ数のみではどの部分の説明なのか全然わからない。		
関東	その他	要望 説明箇所が分かるように		テキスト目で見ながら話をきいているので、突然ページを越えて説明されると、該当箇所を探すのに手間取り、話に集中できないので、上から順序良く進めない時は、ページ数を言ってもらえるとより分かりやすかったと思います。ほとんどの講師の方がいらっていたのですが、		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように		<b>大事なのだらうと言う部分が、何ページのどの部分なのか分からなくなってしまうことが多々ありました。</b> 大事な部分はもう少しゆっくり話して頂けるとよかったです(早口だと聞き取れないこともあります)		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように		説明が前後ばかりするのでわかりにくい		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように		何ページを説明しているのかたまにわからない時があり、ページが変わった時は言って頂きたい		
中部	その他	要望 説明箇所が分かるように		説明部分や参照ページがわかりにくい場合があった		
近畿	施工	要望 説明箇所が分かるように		設計のテキストの例題の図面などは所見の受講者にはわかりにくく、最初に説明があれば良かったのでは?テキストのページが行ったり来たりで理解しにくいと思う。		
近畿	現場管理	要望 説明箇所が分かるように		計算の説明時、テキストがとびとびになっているので事前にまとめて分かり易いリーフレットを作成し、それにそって進行する様な工夫がほしい。分かりにくい。		
近畿	設計	要望 説明箇所が分かるように		講師の方には、自分が今どこを説明しているかわかりやすく伝えて頂いた方がよい。自分は段取りがわかっているから相手もわかっているという流れでは、受講者はついていけません!その上、何を言っているか聞き取りにくいと最悪です。		
近畿	設計	要望 説明箇所が分かるように		講師の方が読んでいる所が分かり難い時があるので、テキストを写したモニタースライド等があれば分かりやすくなると思う		
中国	施工	要望 説明箇所が分かるように		テキストをいったりきたりではなくページを示しておいて前ではプロジェクターを使って示しながらの方がよかったですかなと思いました		
中国	設計	要望 説明箇所が分かるように		ビジュアルに説明してもらえともっと分かりやすかったかな。進行が速くよく理解できなかった。		
中国	設計	要望 説明箇所が分かるように		講師の説明が少し分かりにくい。ページを行ったり来たりして分からなくなる。		
九州・沖縄	設計	要望 説明箇所が分かるように		講義の中で説明する時にページ番号を詳しく案内してほしい		
九州・沖縄	設計	要望 説明箇所が分かるように		テキストを読みながら下を向いて聞くことになるので、途中どこを読んでいるかわからなくなった。プロジェクターなどで前面にテキストを表示して、前を向いて受講できると分かりやすい。		
九州・沖縄	設計	要望 説明箇所が分かるように		テキストの講習も良いと思いますが演習問題をたくさんやって、回答してといった実践的なものも望みます(今後あればです)		
北海道	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		テキストの内容を読んでいく形だったので、スライドやパワーポイントなどを使用してもう少し講習内容をわかりやすくして頂きたかったです	30	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
北海道	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		パワーポイント等スライドでの解説が分かりやすいと思う		
東北	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		プレゼンにパワーポイントが何かあれば良い…と思う。		
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		パワーポイント等を用いた講習は無理なのですか?口頭だけの説明なので大変わかりにくい。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		ポイントになる所をパワーポイントで計算などやって頂けるとより理解ができると思いました。ありがとうございました。		
関東	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		テキストの内容が盛りだくさんだったので、講義中ページ数を負うのが大変だった。パワーポイントなどで実演しながら説明して頂けたらもう少し分かりやすかったかなと思います。		
関東	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		午前中の流れが早過ぎてわかりにくかったです。パワーポイントを使用して頂けたら良かったと思います。演習の解答がとても見やすく理解しやすかったです。		
北陸	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		テキスト指し示す(パワーポイント等)ような機材の工夫が欲しかった		
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		パワーポイントなどによる映写による講義だより良いと思われた		
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用		パワーポイントなどのプレゼンがあるともう少し分かりやすくなると思う		

九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイント等を使いプロジェクターでの説明を行われた方がより理解しやすいと感じました。説明資料の作成等、大変な手間になるとは思いますが…。		
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等も利用して説明があればもっと理解しやすかったと思います。		
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	外皮計算等をやっているところを、スライド等で見たかった		
東北	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターなどを多用した方がよい。実務に合った講習をお願いしたい。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スライド等があった方が分かりやすい		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スライド等も使ってほしい		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スライドの併用をされては！実計算を2〜3するようにしては！！(正式な計算書式を例として)低炭素との位置付け感性与今後の方向について！		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	映像なども使って講義をすると、もっと分かりやすくなるかなと思いました。		
北陸	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストをモニターなどで見ながら講義してほしい		
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストに付け加えたり記入しないといけないのであれば、スライド等利用して、口頭だけでなく記入の仕方を教えてほしい。聞きとれない部分もあった。		
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	設計の講義がテキストの読み合わせだけで分かりにくい。PCの入力画面を写すなどして説明してほしい。テキストの読み合わせだけのために細かい数字は不要。もっと実務的な講習でないと時間のムダ。		
中国	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使ってもう少しわかりやすくてできないでしょうか？		
中国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	短時間でテキストを読むだけで非常にわかりにくい、せめてプロジェクターなどを利用してほしい。テキストは前もって手元にないと理解しにくい内容だと思います。		
九州・沖縄	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	表や図が多かったので、プロジェクターなどで指しながらのせつめいがあればもっとわかりやすかったと思う。		
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストを読むだけでなく、プロジェクターなど画像で説明があれば理解できたと思います。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スクリーンなどを使った説明も必要ではないか		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	似たような言葉が多いのでホワイトボードなどにポイントをメモしていくなどしてほしい。参考書を行ったり来たりでの講習スタイルに無理があるのでは。特に画面をみたりしないのであれば演習を一緒にやってみるなど手を動かす内容にしてほしい。		
北陸	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	ホワイトボードがあるなら、もっと活用し、わかりやすい講習をして頂きたいと思いました。ですが、講師の方お疲れ様でした。		
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	<b>講義についてはテキスト内容を解説されるだけでなく、ホワイトボード映像を取り入れてわかりやすくしてほしいところですが、演習についても、もう少し時間をかけてゆっくりしてほしいです。</b>		
四国	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	ホワイトボードを使用してほしい。書いてもらうとその事をメモしながら覚える事も出来たのでは。		
東北	現場管理	要望 具体例・実例による説明	住宅の省エネルギー基準完全義務化を本当に必要とするならば、一回で全てを行う講習ではなく、より具体的な講習を数回行う事も必要なのではないでしょうか。	15	要望 具体例・実例による説明
東北	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的に詳細な講習を。		
東北	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な計算を説明してほしい		
東北	設計	要望 具体例・実例による説明	分かり易い講習会でした。どの様な場合に「仕様基準」を使うのか、具体的なケースを聞きたかった。現行の等級4ではどの程度のし値、一時エネルギー消費量になるか、例があると参考になると思いました。		
関東	施工	要望 具体例・実例による説明	時間の問題とは思いますが、読み飛ばしが多く、もう少し具体的な解説があった方がよいと思います		
関東	現場管理	要望 具体例・実例による説明	もっと具体的に詳しく習いたい。		
関東	設計	要望 具体例・実例による説明	ほぼテキストを読み上げているだけであり、講師も熟知している様には感じなかった。ウェブプログラムの説明よりは、 <b>事例を交えて施工方法、注意点、性能数値的な比較など、掘り下げた話の方が良いかと思う。</b>		
北陸	設計	要望 具体例・実例による説明	具体例をまじえた講義など。その他雑学。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	実務の具体的な方法が教えて頂けると参考になります		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	もう少し具体的に外皮計算など講習して頂けると分かりやすかったと思う		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	80名近くの設計士が貴重な時間を割いて参加している講習会です。ただテキストに沿って解説するだけの講習でなく、もう少し具体的な事例を用いた実務的かつ普段の省エネの設計業務に参考となる講習会ではできないものか、建築士定期講習のように終了審査を目的にしたような講習会では参加した意義があまり感じられない。		
近畿	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な事例などを示して講習できればもっとわかりやすくなるかも		
中国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	テキストをダラダラ読むのは眠くなるので、やめてほしいです。多少の事例や経験談を、出来たら聞きたい所もあります。事例の写真や簡単なレジュメがあったら有難かったです(参考色々)。でも色々こういうのも必要です。ありがとうございました。		
九州・沖縄	設計	要望 具体例・実例による説明	テキストの読み合わせみたいで、少しわかりづらい。スライド等により具体例がもう少し欲しかった。		
九州・沖縄	設計	要望 具体例・実例による説明	もっと実例中心の方が良かった。プリント35とかの。		
北海道	設計	要望 実習・実演のある講習	午後の前半の講義はあまり意味がないように感じた。是非、具体的な物件(そこそ複雑な)で入力の方法を説明する機会があればと思いました	47	要望 実習・実演のある講習
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	テキストを読み上げるだけではなく、もっと実践タイプの講習というよりは研修にした方が、より飲み込みが早いと思う。		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	計算についてももう少し詳しい指導がほしい		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	実際の建築現場で出張講習会などあるといいと思います		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	実際の計算をもっと取り入れてほしい		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	詳細計算法の講習などをやる予定はありますか！？		
北陸	設計	要望 実習・実演のある講習	前半の講義は良かったですが、設計者講習テキストの内容説明が非常に分かりづらく、計算方法が全くわからなかったです。初めて学ぶ事だったので、もっと分かりやすく、さらに詳しく実演してほしいです。		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	外皮計算の講習会開催を期待します		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	一物件の計算などをしながらの説明の方が良いのでは？		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	テキストを読むだけの講習ではなんだかさっぱりわからず実際の計算をやってみることの方が大切だと思った		
中国	設計	要望 実習・実演のある講習	ひとつの簡単な住宅の計算を全部やってみよう		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	具体的に実例をもとに計算できるような形も良いのではと思います。		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	長々とテキストを読まれるよりも、実際にwebプログラムを使いながらの講習であれば、半日で終わる内容だと思います。話だけではわかりにくい。		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	一次消費エネルギーのWebプログラムの解説は、実際のプログラム画面を自分で操作しないと分かりづらと思います		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	Webプログラムについては実際のPC画面で行なった方がわかりやすいと思います。質問の時間もあればよかったです。時間内でできなければ質問表などで後日メール等で回答する等。		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	タブレット活用した方が今回講習の内容に適切にいたと思え、時間的に厳しいのかもしれないが、		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー計算の講習の際、実際にPCを操作し、画面をプロジェクターで映しながら解説してほしい。		
東北	その他	要望 実習・実演のある講習	特にウェブブラウザを使用している説明があれば、よりよくなると思います		
関東	現場管理	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー消費量算定プログラムの説明では、実際パソコンでWebについて、プロジェクターで実演しながらの説明があれば、より分かりやすいと思いました		
関東	現場管理	要望 実習・実演のある講習	webプログラムを使用して実際の画面を見ながら説明してくれた方が分かり易いと思った。最後の審査に出るところのチェックだけ気になり始めてやる人にはチンプンカンプンでは。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー消費量の計算の説明にパソコンを用意して頂きたかった。講習はとも分かりやすかったです。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	一次消費エネルギーのWebプログラムのお話は実際のWebをプロジェクターなどで見せてもらった方がより分かりやすかったのでは？		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー消費量の計算は実際に操作する様子をモニターやプロジェクターなどで映してくれるともっとわかりやすいのではないかと感じた。施工者の為のテキストがほしいが受講する時間がなかなかとれないので、設計者にも入しやすいよう、講習会で販売するなどしてほしい。		

関東	設計	要望 実習・実演のある講習	パソコンを使用した方がよい。エクセル・webプログラムを使うので		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	外皮計算の時間がもう少し長い方がよい。一次はパソコンでプロジェクターにての説明が必要では？		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	web部分の説明が駆け足で分かりにくい。プロジェクター等で見せながらやってもらった方が理解しやすいと思います。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	webのページは実際にプロジェクタなどで見た方が分かりやすいと思った。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	密度濃く無駄なく講義していただけたと思いますが、ノートパソコンなど用意頂いて、webプログラム部分などもその場で実践した方がより良かったと思います。外皮のほか、一次エネルギー基準も算出して、最後適合という二連をやりたかったです。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	PCを使って算定プログラムをおこなうことができないのか？		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	今回の講習を基礎と捉えて受講しました。次のステップとして実際のモデルを基にした計算に対する講座もしくは、分かりづらいことやまちがいがやすいことに重点をおいた講座も受けてみたいです。		
関東	その他	要望 実習・実演のある講習	省エネ設計の内容に特化した講習があってもいいかと思ひます。考え方の基本は理解できるが、実際にそれぞれの住宅の省エネ計算では違う所が出てくる気がします。事例を増やし、演習を増やして、できれば一時エネはWebプログラムを使用した実習などあれば良い気がしました。		
関東	その他	要望 実習・実演のある講習	たまたまipadを持参していたので一次エネルギー消費量のwebの操作を授業を同時に行なってよかった。前もってipadなどタブレットがあるとわかりやすい、などの告知があっても良かったかも。ありがとうございました。		
関東	その他	要望 実習・実演のある講習	どういふことを計算すればいいかというところはわかったのですが、やはりハンズオンですね。PC持ち込みで計算できる講習はいいかでしょうか？ありがとうございました。		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	PCを使用して具体的にデモンストレーションを実施していただくと解りやすいのではないかと思います。※過去にデモに参加しましたが基礎的な知識がなかったので、外注に発注しています。(省エネ計算)		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	実務レベルの操作(パソコンによる計画又は、デモ操作)があってもいいのでは		
近畿	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギープログラムを実際に入力してほしかった		
近畿	設計	要望 実習・実演のある講習	計算の算出方法をもっと教えてほしかった。エクセルを使ったり、ソフトを使った実演もあればもっと良いと思う。		
近畿	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー消費量の講義はパソコンの画面を使った方が良かったのではないのでしょうか。		
中国	設計	要望 実習・実演のある講習	パソコンを使用した実際の入力の講習会もあれば浸透しやすい、考査の時早く終われば途中退席したい。		
中国	設計	要望 実習・実演のある講習	講習内容をDVD化するとともに、現場でソフトを動かすなどのインタラクティブでの実演の方がわかりやすいのではないかと		
中国	設計	要望 実習・実演のある講習	判定プログラムの部分は、webで実演してもらった方が良かった。		
四国	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギー消費量の計算はテキストを読むだけではなく、ネットで実際に使用して説明した方がわかりやすいと思います。ずっとテキストを読んで行っているだけで、また声が小さい方がいらつしやり聞き取りにくかったです。		
四国	設計	要望 実習・実演のある講習	ソフトを使用しながらの説明であれば、もっと分かりやすかったと思います		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	<b>パソコン、iPad等を使用して、実際にやってみないとわかりません。wifiを入れてもらったら、PC、iPad持ち込みで良いので、実際に入力する講習会ならまた受講したい。</b> あと2、3回に分けて良いボリュームだと思う。あと、エコキュートは原価も含めて、算出すべき、ガスを使用した方がはるかに省エネ。太陽光発電も製品をつくる時のエネルギーも算出してほしい。		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	計算等はわかりにくかった。ソフトなどで順次説明して頂いた方がいいと思う。実践などがいいと思う。		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	判定プログラムはせめてPC、タブレット等を利用しながらでないとうわりづらと思います。実際、ピンとこなかったです。		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	かなり早いスピードでの説明会でしたが、テキスト内容に重複する部分も多かった。で、参照ではぶける部分はあるだけにはぶき、実務的な部分をじっくりと説明して欲しい。 <b>プログラムの活用仕方等、実際にPC画面で入力しながらの説明やどこまでの計算が詳細に出てくるのかなど機能が見えたかったです。</b>		
東北	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	スピードが速くて内容を理解できませんでした。住宅性能評価の申請に関係するところとリンクして説明して頂けたらもう少しわかりやすかったと思います。	16	要望 新基準、関連制度の詳しい説明
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	法とのからみ、補助金についての内容をもう少し聞きたくった		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	関連基準と制度について、詳細の説明があれば！より良いのではないのでしょうか		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H27、4月からの省エネ法の確認申請の提出について知りたい。		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	・計算式まで必要でしょうか？・法改訂に関してもつきちつと説明していただければと思います。		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H25年基準と低炭素認定基準の比較表等、分かりやすい資料があると良かったと思います。		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	もう少し補助金や税制優遇等のメリット面を教えてください。打合せの時に話すので。		
北陸	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	少しずつ状況が変わっているため、度々講習会開催希望します。実際の申請について知りたい。		
中部	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	テキストがわかりやすかったが、フラット35などとの関連をもっと詳しく知りたい		
近畿	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	提出時の説明が良かった		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	実務の上で今後どのように申請をしていくことになるのかを知りたい。性能評価、フラット35S、長期優良住宅で、省エネの申請でどうしていけばいいのを知りたい。件数が多いので、簡単な方法はないのか？		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	関連法制度との関わりをもっと詳しく知りたかった		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	申請方法が知りたい。そうい講習会があれば受講したい。		
中国	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	ただ基準の説明からそれを長期優良や性能評価レベルの話にもついでいってあげれば、来年から評価や長期のエコポイント制度が一般業者向けに改定されるので、税制優遇等営業的メリットも一緒に覚えてもらえて制度が広まりやすいと思う。小さい業者さんはそいう制度の活用にくくてもつけないと思う。講習は技術的にはわかりやすくてよかった。		
九州・沖縄	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネ法の申請に提出する完成型一式、書類を含め、一式と、テキストを見比べながら、すすめるのとさらに分かりやすかったのかと思う。最終的に、どの状況にしないといけないのかが、分らなかつた。		
九州・沖縄	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	低炭素建築物について詳しく聞きたくった		
関東	設計	要望 質疑応答の時間確保	・説明が早すぎる ・質問時間を単位あたりに取ってもらいたい	12	要望 質疑応答の時間確保
関東	設計	要望 質疑応答の時間確保	計算の実技がもう少し多く時間が取れば良いと思います。質問時間が欲しいです。		
関東	その他	要望 質疑応答の時間確保	小屋裏収納がある場合や、深みりの場合など実際によくあるパターンのもう少しつっこんだ話を聞きたい。質疑応答時間を作って、他の受講者がどんな疑問を持っているかなども知りたい。		
北陸	その他	要望 質疑応答の時間確保	個別に質問できれば良かった		
中部	設計	要望 質疑応答の時間確保	テキストを読んでいるだけだったので分かりにくかった。質問の時間がほしい。		
中部	無回答	要望 質疑応答の時間確保	質問ができる時間がほしかったです		
近畿	設計	要望 質疑応答の時間確保	長時間にわたりありがとうございました。質問は講習会が終わった時に受付される方が良いと思いました。		
近畿	設計	要望 質疑応答の時間確保	講義内容についての質問が出来る場を設けて頂けるとありがたいです		
近畿	設計	要望 質疑応答の時間確保	質問の時間がほしい。マイクが悪く聞き取りにくい。		
四国	施工	要望 質疑応答の時間確保	質問できる機会(質問時間)がほしい		
九州・沖縄	施工	要望 質疑応答の時間確保	速すぎて、難しかった。質問が出来たら良かった。		
九州・沖縄	設計	要望 質疑応答の時間確保	質問の時間がもう少し欲しかった。時間が長過ぎに感じました。		
関東	現場管理	要望 受講者の相談窓口	施工方法や計算方法の確認のためtel等ができる所を知りたい。	8	要望 受講者の相談窓口
北陸	設計	要望 受講者の相談窓口	テキストは非常に参考となるものでした。今後、実際の申請に際してのQ&Aなどの場を設けて頂けると、より細やかな部分も把握できるので助かります。		
近畿	設計	要望 受講者の相談窓口	実際計算してみると悩むところがあると思う。その時に気軽に質問して答えて頂けるといい。実際にどこに質問したら最適なのか？		
近畿	設計	要望 受講者の相談窓口	実際に帰ってから計算した際に質問がある場合の質問先があればいい		
中国	設計	要望 受講者の相談窓口	スライド等映像説明でない分、集中して聞くことができた。テキスト正誤については、休憩中に訂正する様に指示や案内があってもいいと思う。説明中に正誤の件を話されると重要なことがわからなくなるような気がした。説明は、要点がよくわかったので、とてもよい講習会だったと思う。 <b>ただ、実際の業務で行う時に分からない事を相談するのは、どこにすればいいだろうか？</b>		



北海道	設計	講習内容への批判	テキストに書かれてあることを読み上げるだけでは意味が無い。書かれている内容を理解できる説明がほしかった。実際に時間をかけて計算しそこにいたるまでの説明をぐわしくしてほしい。まったくムダだったわけではないが、中身の薄い講習会。結局知っている人だけ、理解している人だけがおさまりの勉強会。テキストは良くできているが理解させようとする講習ではなかった。分らない人は分らないまま、明日には忘れてしまう。一昔前のパソコンの製造側が作った説明と同じ。理解してもらった内容ではなく、製造側が満足するだけの内容、結局読まない、使わない。		
北海道	その他	講習内容への批判	テキストを販売して試験のみで修了証が発行される方が効率が良いと思います		
東北	現場管理	講習内容への批判	修了審査の途中で講習の説明をするのはやめてほしい。気が散るので。		
東北	設計	講習内容への批判	演習問題などの時間をもっととり、わかってほしい。講習の話は、アンダーライン部分を読むばかりで講習も、ポイントをもっとしぼりこんで、時間短縮してほしい。実務につながる講習の方が良い。		
東北	設計	講習内容への批判	演習問題を解答計算する際、受講者同士(近くの席5~6人)で集まり、グループ学習的な形式をとればより頭に入りやすいのではないかと思います！		
東北	設計	講習内容への批判	計算方法を分かった上でどのようにしたら基準を満たすかなどのアドバイスがあればと思いました。2~4地域あたりの審査問題だとおよかったと思います。		
東北	設計	講習内容への批判	もう少しポイントを整理して講習してほしい(講義②と③)。パワーポイント等も活用してほしい。他県でも設計しているので、宮城県内に限定したような話は望ましくないと思います。		
関東	現場管理	講習内容への批判	夕方より会議があり、出席しなければならなくなり、一次エネルギー消費量まで出席しました。前回の施工向けにも出ています。できれば両方出席する人のいるのでダブってる内容は午前か午後にして、必要な講義のみ受けられる方法はありますか？		
関東	現場管理	講習内容への批判	断熱をちゃんと考えている人には易しすぎて、わかっていない人には説明不足だと思います。		
関東	現場管理	講習内容への批判	省エネ計算等、普段(過去に数回)自分でやったことがある人にとってはもの足りず、全く関わりのなかった人にとっては、内容が多く理解しにくかったのでは？と感じました。スキル毎に対象を絞っての講習があればより分かり易く役立つ情報もあったのでは、と思います。		
関東	設計	講習内容への批判	一日だけの講習ではなかなか身に付かないと思います。2回目が大変でしたら2~3課題を用意してもらいおさらいするというのはかでしょうか？		
関東	設計	講習内容への批判	ちょっと本読めばわかる程度の内容をわざわざお金を取って講習会をするのはどうかと思う。より実務的で専門性のある内容でないと無意味です。		
関東	設計	講習内容への批判	16:00くらいに終わらせて頂ければありがたいです。修了審査をしなくてはいけませんか？最後まで席を立てない様にするのであれば、修了証の発行だけでもいいのでは？		
関東	設計	講習内容への批判	講演に面白さがなくて退屈、要工夫。		
関東	設計	講習内容への批判	テキストは今までに見た省エネ関係の資料の中で最も見やすかった。計算が多くどうしても嫌になったが、もっと断熱材厚みとか具体的なことに突っ込むかと思つた。計算の部分をもっと省いて、施工と設計一日で終わら出ても良い。		
関東	設計	講習内容への批判	今後とも講習会などよろしく願います。よくある質問はFAQでHP上で公開していただくとありがたいです。(kenkenもとても役に立っていますので)		
関東	設計	講習内容への批判	演習問題は穴埋めではなく、実務に沿った形式で行った方がためになる		
関東	設計	講習内容への批判	もう少し計算の目的について説明が欲しい。数値や、式、単位の意味について説明が不足していると思う。		
関東	設計	講習内容への批判	・テキストに書いていない情報(もう少し踏み込んだ内容)もお聞きしたかったです。・断熱(基礎)に折り返しがある場合など、実務で悩むようなケースについてももう少しかいたかったです。		
関東	設計	講習内容への批判	資格がある講習ではないのに、修了審査がある意味が分からない。私は、基準や計算方法を学びに来ただけなので、修了審査の可否は全く関係ありません。		
関東	設計	講習内容への批判	施工も受講したいが重複する内容であるのであれば午後のみとの選択もあると良い。今後(何年後か)リフォームに特化した講習もあって良いと思います。		
関東	設計	講習内容への批判	省エネ性能を高める為のコストについても話題にしていただいてもよいと思います(売り手にとってもセールスポイントなども)。		
関東	設計	講習内容への批判	時間が短くて、内容を飛ばし過ぎだった。もう少し細かく切って丁寧に説明した方がよい。修了審査の為に講習を受けているようだった。		
関東	その他	講習内容への批判	プラント35Sなどの経験がある前提の講義内容になっている。未経験者には難しいのでは？		
関東	その他	講習内容への批判	部位毎の講習をしてもらいたいのと思いました。計算演習の実例で学びたい。		
関東	その他	講習内容への批判	これまでQ値で対応してきたので、違いについて話を伺いたかった。蓄熱による対応など、どういった形なのか等。		
関東	その他	講習内容への批判	設備器械の詳細(実際のものを例として)を教えてください。		
関東	その他	講習内容への批判	時間の関係で仕方ないのですが、早すぎて予備知識がない、わかりにくい？もう少し深い所で解説等をして欲しい		
関東	その他	講習内容への批判	基礎断熱のU値の求め方が複雑なので説明が欲しかった		
関東	無回答	講習内容への批判	理解しているだろうという体でテキストを読み上げているだけに感じる部分があったので実務におとした説明があると理解が深まったように思う		
北陸	設計	講習内容への批判	演習問題の解説にストーリー性がなかった		
中部	施工	講習内容への批判	解説は答えだけでもらうかテキストページ数、解答だけ言ってもらえれば充分です。長時間なので早めに切り上げてもらえれば。		
中部	施工	講習内容への批判	外皮計算の基礎部分の土間床が分かりにくいので詳細に説明してほしい		
中部	現場管理	講習内容への批判	不手際が多すぎる		
中部	設計	講習内容への批判	全くわからない状態で来たので、講習の全体像をはじめに説明してほしい。時間が限られているので仕方ないと思いますが、実際の実務にそくて、説明してもらえるとよかったです。講義で習っていない所を審査に出すのはどうかと思う。審査に出る所はしっかり説明してほしい。		
中部	設計	講習内容への批判	先生がおっしゃる通り入力をプレゼンしてほしい。実際入力すると出てくる項目がいっぱいあります。テキストだけではなかなか判断しにくいし、分らない所(理解できない所)を教えてください。		
中部	設計	講習内容への批判	わかりやすい説明を希望		
中部	設計	講習内容への批判	準備が悪かった		
近畿	施工	講習内容への批判	本日の内容を一日で理解するのは難しいと思う。自分の会社はゼロエネ住宅に取り組んでいるので聞きなれているが、初めての方は難しいのでは？		
近畿	設計	講習内容への批判	実務で使えるように講習、実習してほしい。テキストは実務に使えるマニュアルの様にしてほしい。		
近畿	設計	講習内容への批判	設計講習と施工講習を同時にした方がよいと思います。修了証も同様のものが重なりムダな気がします。ひとまとめにできれば良いのですが…。		
近畿	設計	講習内容への批判	内容はよく分かったので、実際計算していく上で基準値を上回ってしまった時の効率の良い数値の下げ方等を教えていただきたい		
近畿	設計	講習内容への批判	設計一次エネルギーと設備一時エネルギーの関連性についてわかりやすく説明があるとよかったです		
近畿	設計	講習内容への批判	講習会の内容が範囲が広い為か単調だった		
近畿	その他	講習内容への批判	設計編といながら、計算方法が中心の講義だったのは疑問だった。効果的な省エネに向け、どういう設計するのが良いのかを中心にした方がよいと思う(設計例の解説など)。計算はどこを言っているのか分からないので、プロジェクト、OHPなどで図示してほしい。		
中国	施工	講習内容への批判	演習の充実、動画の活用も		
中国	現場管理	講習内容への批判	系統だけで教えてほしい。言葉ばかりでわかりにくい。		
中国	現場管理	講習内容への批判	テキストの順番、テキストのままではなくてもいいのでもう少し分かりやすくして欲しい。		
中国	その他	講習内容への批判	設計時点における留意点など総論的な内容を主にした方がよいと感じた。詳細なケースにおける計算方法などは、こういうセミナーでやる内容ではない。		
四国	設計	講習内容への批判	講習を受けても何も分からない。本を読み進めて行った方がまし。もう少し分かりやすく、教える気はないのでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	講習内容への批判	説明は省略せずぜんぶ教えてほしい		
九州・沖縄	設計	講習内容への批判	最初に講習内容(で、出した数値)が、実務上何の役にたつのかどんな手続きに必要なのか、(9章で書かれている事)の説明があった方がよかったです。		
九州・沖縄	その他	講習内容への批判	熱と湿気の移動、熱交換換気装置の話も聞きたかった		
北陸	設計	講習会の意義に疑問	急ぎ足で講習を行い、理解もどほいまま審査をして、仮に合格したとして果た合格証をうけても良いものか？という思う。もっと余裕をもった講義にしてほしい。	2	講習会の意義に疑問
四国	設計	講習会の意義に疑問	正誤表で訂正する箇所が多く驚いた。講習中にも、指摘以外のページでもミスがあった。Uの計算の回答質問に関しては、まじらわしいのでテキストに計算途中と基準書にのせる場合を別にして記載してほしいと思います。		
北海道	設計	講習内容 好評	講義の時間内で演習問題をやるにはとてもいい事だと思います		
関東	現場管理	講習内容 好評	計算問題など具体的に自分で解答する時間があり、理解しやすかった		
関東	現場管理	講習内容 好評	演習もあってとてもよかったです。ありがとうございました。		
関東	設計	講習内容 好評	変更点なども聞けて頭の中に整理がやすかった。キチンと活用できるようにしなければと思った。		
関東	設計	講習内容 好評	演習問題で理解深まりました。講義の途中に取り入れた方が理解が深まると思います。		
関東	設計	講習内容 好評	演習問題を講習時に行ってもらってとても良かった。そのおかげで理解できました(説明だけの理解は難しかったと思います)		
関東	設計	講習内容 好評	かなりのハイペースでしたが密度があり良かったです		
関東	設計	講習内容 好評	まだ、実施したことのない内容を分かりやすく説明いただいた。講師の方の経験に基づいたご指摘もあり、大変有意義と思いました。		
関東	設計	講習内容 好評	ていねいな説明で大変分かりやすく勉強させていただきました		
関東	設計	講習内容 好評	限られた時間の中、適切な内容であったと思います。後で復習しやすい(しないといわなくなりますがね。)		
関東	その他	講習内容 好評	非常に参考になりました。改正の概要も説明して頂いたので細かい計算方法の他にもとても勉強になりました。演習、審査もありとてもよい講習会でした。先生方、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。		
北陸	設計	講習内容 好評	演習で実際に入力できたのは、理解をより正確に深める事が出来て良かったです		
中部	設計	講習内容 好評	テキストを解説するのみでは分かりにくいと思いましたが、演習で計算していくうちに、理解できるようになりました。やはり実際に手を動かした方が身に付くと思います。		

近畿	設計	講習内容 好評	説明を聞くだけでなく、演習問題を実際にやってみるのが良かった。表の調べ方や数値の切り上げ切り捨てなど流れが頭に入った。
中国	設計	講習内容 好評	演習の講座があると助かります
中国	設計	講習内容 好評	テキストの内容だけでなく実務での経験を盛り込んで進めてもらって、大変良かったです
中国	設計	講習内容 好評	ありがとうございました。クリアな説明で助かりました。実際に設計に適用するとすると、問題を生じるかわかりませんが、慣れも必要でしょうね。
中国	その他	講習内容 好評	分かりにくい内容をわかりやすく説明してもらった
九州・沖縄	設計	講習内容 好評	演習問題を解いたことで内容を理解することができました。説明を受けるだけでなく、穴埋めですが問題を解いたことで、どの項目に注目して計算をしていくべきであるのかがわかりました。

**要望・意見などー講習時間、時間割について** 380

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	施工	講習時間が不足、説明速い	テンポが早かった	226	講習時間が不足、説明速い
北海道	施工	講習時間が不足、説明速い	計算問題はゆっくりしてほしい		
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が少なすぎて分かりにくい所もあった		
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講師の方の説明時間不足		
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	一日でやるには時間が足りない内容だと思います。また、一日でやるなら専門の講師が必要だと思います。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	時間に対して抗議内容が多すぎて理解できない部分が多い		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	講義時間全体としては長い、内容を全て理解するには、少し時間が不足、全てが早足のため中途半端な気がした。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	あまりに早い流れであっさりした解説の為本のチェックできない所などあった。本来もっと込み入った内容でやればいい。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	講習時間を二日に分けてほしいとダメ		
北海道	無回答	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎ		
東北	施工	講習時間が不足、説明速い	もっと時間をかけてやった方が良くと思う		
東北	施工	講習時間が不足、説明速い	内容が多いため講習日を多くしてほしい		
東北	施工	講習時間が不足、説明速い	講習のスピードが早くついていけない部分があった		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習テキストと講習時間が合っていない		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間がなく、内容が多いので複数日で開催した方がいい		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もっとゆっくり教えて欲しい		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容に対して時間が短い。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	資料の割に講習時間が短いと思う		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間がなくわかりづらかった		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	少し短かった気がします(急いでいた感じがありました)		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	短い時間なので、説明が少なかったので、説明(テキスト)が欲しい		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	説明の時間が少ないと思います		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が忙しかった		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の問題で内容説明が早かった		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	この類の講習については一日半が適当だと思う。講師の方の読み上げ講義はあまり意味が無いのでは。少し進め方をスローダウンしていかないとなかなか頭に入らないし、復習すら難しいと思います。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	わかりやすいテキストでした。ただやはり時間的には不足しているようなので早足でしたので帰ってからもじっくり勉強したいと思います。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	1日では短いと思います		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	講習会説明が早くてわかりにくかった。考査は初歩的なミスで、3問無駄でした。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が早すぎて頭に入ってこない。読み上げるだけならば省略してほしい。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	午前中の説明が早すぎませんか？午後、部屋が暗い。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	非常に盛りだくさんで理解はこれからになりそうです		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し詳しく講習を受けたいと感じましたので、2日間に分ける等して行って頂けるといいと思います		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が不足している為か、早い店舗での講習でしたので何回かに分けてでも詳しく進めて行く方が省エネに対してより理解をするのではないかと思います。		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	説明早過ぎて計算など理解するのに苦労した。一度聞きのがすと解らないまま進んでいく。理解するのにギリギリでした。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	加藤講師にお願い、もう少しゆっくり説明願います。内容多ければ半分でもよろしい。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	一日で講習するには難しい内容		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が限られているので、仕方ないと思いますが、時折少し説明が早く感じました。講義自体は非常に良かったと思います。ありがとうございました。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	講習の時間の割に内容が多すぎて、理解できる前に次に進んでしまう感がある		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりとしたものの方がわかりやすいです		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	計算方法を全てマスターするには時間が少なすぎる		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	少し早すぎる説明であった		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容が多いので二日間にしても良いと思いました。講師の方も急いで説明しないといけないという感じになっていたため、ゆっくりできると良いと思います。(二日間仕事を休むというのは難しい人もいるかもしれませんが)		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	説明が早いので内容を理解するのが難しい		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	最初の演習は早かった		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキストのボリュームの割に、ポイントを説明していただいで大変分かりやすかったと思います。計算公式の根拠など、もう少し詳細も知りたいとは思いましたが、この内容だと2日くらい時間を取らないと、無理かもしれませんね・・・		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	限られた時間のため、説明のテンポが早く、講義を理解することは私には難しかったのですが、テキストを読み返し理解を深めようと思います。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	プラス1〜2時間あれば良かった		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講義のスピードが少し速く感じました		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	基本編の説明がざっくり過ぎて、内容が全く頭に入ってこない。もう少し時間をとってでも、基本からしっかり講習してもらいたい。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容を考えると短い様に思います。テキストを良く読みます。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	午前中の講義の計算について、早すぎてわかりづらかった。後半は大分分かりやすかった。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習の時間が内容に対して少なすぎる		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネラベリング、トップランナー等、計算などの経験があった為、比較的すんなりと頭に入ったが、予備知識がなければきびしい講習内容(一日では無理)と思いました。実務レベルでの講習プログラムがあるといいです。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早過ぎてわかりにくかった		

関東	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容が多すぎて省略が多かった
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	ベースがかなり早かったように感じました。二日くらいに分けていただくとゆっくり学ぶ事が出来ると感じました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	駆け足で進行していき、質疑もないのでイレギュラーについてはわからない
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	短時間で終わってしまったので、もう少し時間に余裕を持って計画して頂ければ。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	数回に分けて講義して頂いた方がもっと分かると思います。量が多く、時間が短かったと思います。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	早過ぎて聞きがしが多い
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が多いがスピードが速すぎる
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容はとても勉強になりました。講習の時間の関係もあるかと思いますが、スピードが速い部分があり、少し分かりにくい部分もありました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネルギー技術講習などに出る事がはじめてのため、スピードの早さについていけなかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が多く早口のためわかりにくかった
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	各時間が短いため、早い
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	進むのが早すぎて…ついていくのが大変でした。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	設計編は特にスピードが速く理解する時間が無かった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が足りない
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容を1日で理解するには時間が無い。具体的な数値はリスト化されたものをいつでも確認できるので手法等を総括的に教えてもらいたい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	途中で進むスピードが速くなり、わからなくなった部分もあったが、ある程度は理解できた。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	1回で理解するのは難しいと思いました。2回目、3回目もやってほしいと思います。又、様々な実例をあげて欲しいです。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	1日ではさすがに習得できないが、導入として講習会を行っていただく事は必要だと思いました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	カバーする内容に対して時間が短いと思う。(ex 2日に分けるとか…)早足でさらっと…よりじっくり解説していただいた方が結局は身につく気がします。時間を気にしながらの講師の方が気のどく感じました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	一日では辛い。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	もっと講習時間をとてほしい。初心者なので一日だとなかなか難しい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い様です。講師の方が非常にあわただしかったしこちら側も大変だった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	うめ込み過ぎのような気がする
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習のペースが早過ぎてついていくのが大変。説明するポイントをしばってゆっくり説明してほしい
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	一日の講習では内容が広範囲のため時間が足りないように思えます
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	少々時間が少ないですね
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	初めての省エネ講習で、今日の短時間であだけの計算ができるとは思えない。各係数の表の場所さえわからず大変だった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容の多い割には時間が少ないように思います。1日では厳しい気がします。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	はじめての場合、計算の内容を短時間で理解するのはやや難しい。1度でも実際に行っていれば「確認」の意義はあるが…。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	早くついていくのに必死でしたが、わかりやすかったです。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	内容とくらべて時間が少ないので、テキストを自分で読むのとそれほどちがいないと思います。講師の問題ではないと思いました。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストがとても分かりやすかった。説明が早過ぎるので二日に分けての開催もあつたらいいなと思いました。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短すぎます。講師の方が読んでおいてくださいという部分が多すぎます。このテキストの内容であれば2日～3日くらいの講習としてほしい。一日にこだわる必要はないと思います。また今後RC造やS造の講習会も行ってほしい。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	午前中が進むのが早くて分かりにくかった
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	流れが早くてついていくのが大変でした
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	ペースが早くついていくので精一杯でした。改めてゆっくり復習したいです。ありがとうございました。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が足りないようですので、1日の講習ではなく、じっくりと話を伺いたかったです。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	講習のスピードが速すぎるように感じました。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が長すぎても大変だが、時間が短かいのでわかりにくいところもあり時間をかけたい。内容が豊富すぎるのか。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	難しい内容の部分が駆け足で進められていたのが分かりづらかったです。
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	施工技術者講習テキスト基本編第6～9章の講義が早過ぎて聞きとりやすかった
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	基本編では時間が足りない。絞って説明するか、時間を増やす方がいいのでは。
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容に対して進行の仕方が早いので、わかりづらい内容でした。計算をしたことがない、Webプログラムもやったことがないのでに対して内容が濃すぎて分かりづらい講習でした(特に計算の箇所)※設計担当ではないので。
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間がとれてほしいのでは？
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	二日間でもいいのでもう少しゆっくりと説明してほしい
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	計算については早くてついていけなかった
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	一日の講習としては内容量が多すぎる為、二日間程度に渡って講習した方が、頭に入りやすいと思われます
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の割りにやるボリュームが大きい感じがする
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	少々時間が短いので、説明の仕方について工夫をされると良いと思います
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容に対する時間が短いと思います
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	講師の話すスピードが速く、テキストの参照、理解が間に合わない
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早過ぎてよくわからなかった。ゆっくりやれば、もっと理解は深まると思う。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	一日で講習を行う事は少し時間が足りないと思います。前期、後期を分けた方が良いと思います。(時間を短くして)難しいでしょうけど、その方が省エネ断熱を正しく普及させることができると思います。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	全体的に時間があまりないためか、テキストの説明になり、あまり参加した意味が感じなかった。この内容ならテキストをもらうだけで十分な気がする感じでした。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	短い時間でよくわからなかった
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	計算講習の時に時間がなく、はしょった感有り
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	全体的に急なペース(早い)でテキストの文字を追うのに必死でした
中部	施工	講習時間が不足、説明速い	時間都合かもしれないが説明が早過ぎてわかりにくかった
中部	施工	講習時間が不足、説明速い	時間(講習の)が短いですね。講師の方の大変さは充分理解できますが、もう少し明瞭にゆっくりと話していただけたらありがたいです。
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早すぎです
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容が濃かった為時間的に厳しい感じがした。もう少し時間をかけて話を聞きたい。
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間を掛けて説明がほしい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	短い時間内での講義でしたので、充分な理解が出来ませんでした

中部	設計	講習時間が不足、説明速い	計算の説明が早すぎる
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間を長くお願いしたい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に反して時間がまったり足りないと感じました。木の家ネットの方も都合して参加したいと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	講習説明ベースが経験者前提のスピードに感じた。初心者にもよりわかりやすい様に！
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	つめ込み過ぎだと思います。大枠ではなく計算方法と理論に特化した講習の方が良いと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	一日でつめ込むのではなく、2回に分けてもう少し時間を掛けていただきたいです
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	短い時間の中で講習でしたので、テキストを読んでいただけでわかりにくかった。実際計算しなければわからないと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	講師の説明が早く聞きにくかった
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	2日間かけても良いので、もう少しじっくり教えてほしい。テキストをはしよって読んでいるだけでは…
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容からすると、時間が少ないと感じましたが、日常業務からさける時間からすれば仕方ないかと。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけてじっくり学びたいと思いました
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間を短く、何日かに分けて細かくわかりやすく説明してほしい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の問題があると思いますが説明が早い。休憩回数が少ない。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に対して短い
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	一次エネルギー消費量の計算の説明スピードが速く、少し分かりにくかった。スピーチの一連性がなく、いろいろな所の解説がとぶので計算過程が分かりにくい。頭の中で話をつなげるのが大変でした。その他の解説は分かりやすかったです。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	二日くらいに分けてほしいと思います。ゆっくりしっかりと覚えたいです。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	計算方法の説明部分は別表にとぶことも多く確認しながら受けていたが、説明する方は自分が分かっているからか、早過ぎて(スピードが)ついていけなくなる部分もありました。また、一部つまづく点と追いつくのが大変でした。全体的にまいていたが、そういう所はぜひいじってほしいです。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が濃い分早口になりがちになっており、マーカーや書き込みをしている間にどんどん進んでしまっていたのが残念です。参加費1000円でテキストもいただけたので良かったです。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	流れが早すぎてついていけない。事前に知識がないとわからないのではと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	71才の私としては、ついていくのに必死です。もう少しゆっくりお願いしたい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	一番重要な計算についての説明が早くわからなかったが演習問題でわかってきた
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	時間とテキストの内容量との差がある
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	全体の時間は長かったですが、一つ一つの時間は短かったので、もう少し丁寧に説明してほしいです
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	時間の関係で講義の内容が早くわかりにくかったです。もう少しゆっくりやって頂けると助かります。
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	講義内容を早くすすめる、理解しながらすすめるのが難がある
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	時間的余裕がほしい。講習について。
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	講習のペースが速かった
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	誰でも受講できるという割に進行早過ぎてよくわからないところが多かった
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	内容が多いのに講習時間が足りないのか要点のみになってしまい省略が多すぎてついていけない。非常に消化不良の感じます。審査の為の講習になってしまう。審査は不要かもしれません。
中部	無回答	講習時間が不足、説明速い	進行が速くてわかりにくい
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	諸般の事情で難しいかもしれませんが日程をもう少し長くもう少しじっくり取り組めることができればと思います
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	量が多くて時間が短いため、講師の方も大変だ。しかし、テストに出る所はもう少しゆっくりひとつひとつ確認して進めてほしい。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	大変深い内容でした。もう少し時間に余裕があるほうがうれしい。一日おつかれさまでした。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	全般に時間が短いかと思います。講師の方もテキストをまよめきいていない感じがします。全体を手計算でするには無理があるのでは？そこら辺を説明し、概論、手計算の部分、パソコンでの部分を説明されれば、時間的余裕ができるのとは思います。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習時間が少ないのでハッキリ理解しにくい。時間を増やして実務に活用しやすい、マニュアル的なものがあればより良いと思います。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	短い時間であったので計算の方法が分りにくかった。もう少し講座が欲しい。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短くスピードが早い。一度実施しないとわからないがテキストで行けそうです。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎです。難しかった。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の都合もあると思いますが走りすぎ
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	各数値の四捨五入のルールがよくわかりませんでした。全体的に早かったと思います。ありがとうございました。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりしてほしい
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	計算問題の説明がページの移動が多いのに早くわかりにくかった
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	演習の計算のあたりはスピードが速くてついていくのが大変だったが、一日の講習でざっとどのようなものかが分かったのでよかった。計算を実際に使うことになるかどうかは分からないが、設計や監理の際のポイント、気を付けるべき箇所が少し分かったので、役に立つと思う。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が速い。もっと時間が欲しいです。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	少しペースが早く、ついていくのがやっとだったが、内容はすごく良かった。これからの仕事に役立てられると思います。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	講義が早口で理解出来ない。かといって二日間ばかりきびしい。先日某住宅メーカーで同様の講習を受けたが半日でマスターした。UA値、η値の算定にしばって要点解説のみにされたい。各種材料個別数値があるにとどめての方が理解が早いのではないのでしょうか。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	早口と駆け足でついていくのでやっとなりました。もう少し余裕のある時間配分をしてほしいです。声がかもって聞いて聞きとりにくかったです。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短いためわかりにくかった
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	詳細にしてほしいので二日間をわけてもよいのでは？
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	基本的な事ですが各種の用語が、知っている人と知らない人での差が大きく、できれば二日に分けて、事前にテキストなどを送って頂ければ予習できます。テキストを読むだけでなく、時々演習などあれば理解しやすいと思います。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	1回ではわかりません。数回必要だと思います。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	大事な所が早口のようにでした。
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	ある程度の事前知識があったので理解できたが、初めて聞く方には無理があるボリュームとスピード感だったと思う。また、最も期待していた演習時間がものすごく短かったので非常に残念でした。
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	早過ぎて分りにくかった
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	1日は長いと思いますが、内容的には、時間が足りないと感じました。演習をすることで、聞いているだけより、理解が深まり良かった。ありがとうございました。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習のスピードが少々早いように思えました。もう少し大事な所をわかりやすく、そうでない所は軽くてもよかったかなと思います。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ふだんから設計にたずさわっているならよかったが、現場管理なので今回の講義の進行は早かったと思う。演習問題は半分しかとけなかった。修了審査までには理解出来満点だったのでよかった。会社に帰ってテキストをもう一度読み直したいです。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	講習会は長いと思うが、内容を全部聞いたらこれくらい時間は必要だと思った(足りない位)
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	後半があまりにも早く感じた(基礎編6章～9章)リフォームの際の設計、施工方法等、基準や指標があれば紹介してほしい

中国	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早過ぎてよく理解できなかった。又ボリボリしゃべってよく聞きとれなかった。		
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容に対して講習時間が充分でなく理解しづらい部分もありました。		
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	少しペースが早かったと思います。		
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	もっとしっかり時間を取って2~3回の講習にした方がよい！！		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	時間と内容のバランスが悪い。違うページを参照しての説明はわかりにくい場合がある。		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	大変勉強になりましたが、スピードが早くて大変でした。こんごの設計に活かしたいと思います。		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	内容が急ぎで分かりにくい		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少し理解できる時間があれば良かった。(講習時間)		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	限られた時間内で多くを学び即考査という事で有り、設問の読み取りが浅くなり解答にあせりを感じた。講師の方の説明は解りやすい解説だったと思う。		
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が短いと思います		
四国	施工	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけて教えてほしい		
四国	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短い。大まかに理解できるが、使いこなせるまで深く教えてもらえるセミナーがあっても良いのではないだろうか。		
四国	その他	講習時間が不足、説明速い	一回で理解するのは難しいため、数回にわけて講習していただければと思います		
四国	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をとってゆっくりと問題をときながらやってほしい		
四国	その他	講習時間が不足、説明速い	1回で終わるのでなく複数回してほしい。		
四国	その他	講習時間が不足、説明速い	もっと話を聞きたかった。講習は大変勉強になりました。		
四国	その他	講習時間が不足、説明速い	ちょっと説明が早過ぎて理解できませんでした		
四国	無回答	講習時間が不足、説明速い	聞きなれない言葉が多く、理解するのにもう少し時間がほしかった		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	終了考査の5番の解説がおかしかった		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	速すぎて解らない。		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	とても重要な講習だと感じています。もっと時間をかけて理解したいのでまた講習をお願いしたいです。		
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講義の時間が短くて理解するのに難しかった		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	少々ペースが早すぎた		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	計算が多くて時間が足りないと思う		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	外皮計算の講義においては、かなり早い進行でした。単位の内容、意味が理解出来ていなければ話を理解しようがありません。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	再度講習を受けたいですが、早くて(スピード)良く理解できていないと思う		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間をかけてゆっくり説明して頂くとありがたい		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講習の時間が短い		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	かなり早すぎ！！		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短かった		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講義の進め方が早くてついていけなかった		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短いのでもう少し長くしてもらいたい		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	理解するのが追いつかない。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	設計者テキストによる説明が早すぎる。時間が短いと思う。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し詳しい説明が欲しかったです。1日で無理があれば、複数日の設定の講習があってもいいかなと思いました。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講習スピードが速かった。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早くて分からない所もあったが、時間に限りがあるので仕方ないと思います		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い。説明時間共。		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講義内容のボリューム的に、この時間内での説明は厳しいのではないかとと思う		
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	限られた時間しか無いが、講師の方が早口過ぎて分かりづらかった		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	あまりにも多くの事を早足で進められる為、全然追いつけない		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	外皮性能計算など具体的内容の説明に関しては講義時間が短いように思います		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	これだけの内容を一日では厳しいと思います		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	講習内容の割には説明時間が短い。講師スピードも速すぎる。		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	1日でテキストすべての説明を受けるには時間が足りなかった。		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容量に比べ、講習時間が短いように思えた。		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	計算の講習内容に対して時間が不足していると思う。		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりだと有難かったです		
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	本の読み方が早い、又どこを説明しているのかわからない。ページ、行とかこの箇所かを言いながら話してもらいたい。		
東北	その他	講習時間はちょうど良い	ちょうど良い時間と思います。あまり長くてもだめですが、良かったです。	2	講習時間はちょうど良い
関東	施工	講習時間はちょうど良い	設計、施工それぞれに参加。一日ずつでボリュームはちょうどよい。計算は初めてなので理解がおいついていないが、しくは単純化してあるので基本は理解していると思う。今回講習受けたので。		
北海道	その他	講習時間が長い	もう少し講習時間を短縮してほしいです	18	講習時間が長い
東北	現場管理	講習時間が長い	もう少し短時間で。		
東北	現場管理	講習時間が長い	長いです		
関東	施工	講習時間が長い	長かった。		
関東	設計	講習時間が長い	長い		
関東	設計	講習時間が長い	長かったが、分かりやすい説明であった。		
関東	設計	講習時間が長い	時間に関しては長すぎるように思います。計算方法は演習を通して教えてもらった方が良いのでは。テキストを前から読まれるだけでは時間を浪費しているようです。半日のカリキュラムでよいのでは。		
北陸	設計	講習時間が長い	長いです。午前の内容のみでよい。		
中部	設計	講習時間が長い	長い		
中部	設計	講習時間が長い	一日講習は長すぎる		
中部	その他	講習時間が長い	長い割には説明が駆け足だった		
中部	その他	講習時間が長い	時間が長く、内容も難しいので大変でした		
近畿	設計	講習時間が長い	やや長く感じました		
中国	現場管理	講習時間が長い	長い		
中国	現場管理	講習時間が長い	長い		
中国	設計	講習時間が長い	もう少し短くできませんか？		
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	もう少し簡略化した講習にしてほしい(せめて半日くらい)		
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	長くて疲れました		
北海道	設計	時間配分等	休憩時間が短い	114	時間配分、時間割、休憩時間
東北	現場管理	時間配分等	大変意義のある講習会でした。演習の実演する時間が、もう少しあれば良かったと思いました。		
東北	設計	時間配分等	演習問題に要する時間がもう少し少るとよい		

東北	設計	時間配分等	簡単なところは簡潔に、難しいところはもっとゆくりやってほしい
東北	設計	時間配分等	もっと計算問題をやってほしい。
東北	設計	時間配分等	演習の時間をもう少し多めにしてもらえれば計算に慣れてくるのでは、と思いました。テキストに関しては今後も活用していただける内容で、よく理解していきたいと思えます。
東北	設計	時間配分等	もっと演習問題があってもいいと思えました
東北	設計	時間配分等	第3章の講義はいい
東北	設計	時間配分等	考査解説は必要ない、修了考査は解答が終わった順に回収してもらいたい、回収後帰りたい。
関東	現場管理	時間配分等	原理を説明する部分と、実務でかたんに出来るやり方を分けて説明してほしい。演習をふやしてくれると良い。
関東	現場管理	時間配分等	午後の講習は時間の無駄だと思う
関東	設計	時間配分等	基本編についての説明をもっと短く設計についての講義時間に余裕を持たせてほしい。設計編の第一章第二章はスピードが早くついていくのが大変だった。
関東	設計	時間配分等	一日で理解するのは時間がたりないが、仕事を一日休む事は長い時間と思う。実務で行えるように計算での説明を増やしてほしい。
関東	設計	時間配分等	断熱設計、開口設計にもっと時間を割くべきではないでしょうか。読んで理解できる事柄の棒読み(PM)をされても意味がありません。
関東	設計	時間配分等	テキスト(設計)が良くても、説明(施工)が悪ければ、意味がありません。時間配分が良くないです(午前の部)。
関東	設計	時間配分等	時間配分をもう少しバランスよくしてほしい(テキスト内容の区切りのよい所で休憩する等)
関東	設計	時間配分等	外皮性能や一次エネルギー等の計算演習に、もう少し時間が取れればよいと思えます。実務でできるでしょうか？
関東	設計	時間配分等	もう少し計算内容に関する説明が聞けたら良かった
関東	設計	時間配分等	演習問題についてももう少し時間を頂きたい。外皮性能の計算部分も時間を多くとってほしいです。
関東	設計	時間配分等	第5章 開口部計算部分の説明がなかったと思います
関東	設計	時間配分等	HP上からのプログラム利用方法は、テキストをそのまま利用すれば出来るので、説明は不要と思います。基準値を満たす設計のポイントやHPプログラム説明時間を利用された方が、全体の住宅レベルUPに繋がると思えます。
関東	設計	時間配分等	すでに実務でQ値計算からIA値計算に移行してきています。もう少し早い時期に講習会を開いてほしい。前半1時間の内容は、特に聞く内容ではなかった。その時間分、今回改正で変わった部分、計算方法等をゆくり説明してほしい。
関東	設計	時間配分等	特にございませんでした。構成を改善して頂くとうわりやすかったです。(できればカリキュラムの順番で内容が分りやすかったと感じました)
関東	設計	時間配分等	一次エネルギー消費量の計算の章ではただ読み上げただけだったので無駄な時間を感じた。AM中の講義が終盤駆け足に感じたので、もう少し時間に余裕があった。
関東	設計	時間配分等	休憩が少なかつた。内容が難しいので理解するのが困難、一連の計算した見本があれば、大変参考になります。入手できればありがたい。
関東	設計	時間配分等	・仕様基準の説明はいろいろと無駄だと思います。・午後の部の方が1時間休憩にしてほしいです。・考査が長い(時間が)
関東	その他	時間配分等	演習問題の穴埋めをもっと多くしてほしい(全部空白でもいいのでは?)又は、3段階くらいのレベル問題とか(空白部分が徐々に増える等)
関東	その他	時間配分等	10:10~の1hはいいと思います
北陸	施工	時間配分等	休憩時間の配分を均一にしたい。2時間講義→5分休憩→30分講義はNG
北陸	現場管理	時間配分等	基本編について時間配分が思わしくありませんでした。早いスピードで説明ですと、内容理解がしにくく思いました。設計編では、ページの移動が多く、説明についていくことに必死でしたが、なんとかついていけました。どちらも重要なポイントを明確に伝えていただくと理解しやすいと思えます。
北陸	現場管理	時間配分等	基本編の説明はいいのではないかと、設計に時間をとるべき。長岡会場参加者の今後がかわいそうだ!!
北陸	設計	時間配分等	演習問題解説実習にもう少し時間が欲しい
北陸	設計	時間配分等	考査の時間が長すぎる。考査後の説明は不要ではないか?
北陸	設計	時間配分等	算出の講習は大変わかりやすかつた。できればもう少し算出の講習の時間をとってほしいと思えます。
北陸	設計	時間配分等	施工技術者講習テキストの解説は不要、もしくは別講習してほしい。
北陸	その他	時間配分等	時間配分もしくは説明する内容を直した方がよいのでは
北陸	その他	時間配分等	練習問題中心にやってもらえた方が良かったです
北陸	その他	時間配分等	終了考査を考えると、説明事項はもう少ししほつても良いのでは。
中部	施工	時間配分等	面積を計算してみるといった内容の演習がほしいです。
中部	施工	時間配分等	休憩時間は12:00~13:00にしてほしい。電話などの連絡をしたいので。設計と施工で分かれているのが不思議です。いくら設計しても施工がためなら意味がありません。施工も合わせてすべきだと思います。
中部	施工	時間配分等	休憩が短い。
中部	現場管理	時間配分等	一次エネルギー消費量の計算はほぼWeb解説だったので、その時間を、外皮性能の計算や演習にまわしたほうがよいと思った
中部	現場管理	時間配分等	仕様基準より外皮計算に時間をかけてほしい。
中部	現場管理	時間配分等	施工技術者研修を受ければよいのかもれないが、時間が少ないとはいえ施工の部分も教えてほしい
中部	現場管理	時間配分等	大切な所が短く、一般常識の所が非常に長く感じた。テキストすべての説明ではなく、計算を重視した講習にしてほしい印象
中部	現場管理	時間配分等	設計技術者向けなら難易度が低いと思う。前半の概要などは不要では?実務者には退屈で一般の人には難しいのではという印象
中部	設計	時間配分等	実務に則した内容の時間をもっと増やしてほしい。実行レベルに不安が残った為
中部	設計	時間配分等	15:25~16:05の演習の時間をもてあました。その割に講義が早すぎる。講師の方と受講者の為に時間配分を見直した方がよい。15:45からの休憩もいらなかつた(多数者席のまま)
中部	設計	時間配分等	午前中の講義の内容であれば、演習問題の解説等に時間を割いた方が、理解が深まるし、わかりやすい。午後の講師はわかりやすかつた。要点を押さえた説明が良かった。
中部	設計	時間配分等	計算の仕方を丁寧に説明するとともに良い講習になると思えます。時間の制約もありますが、
中部	設計	時間配分等	外皮計算の部分をもっと時間をかけてほしい。一次エネルギーについては、説明を聞いても実際に使ってみないと分からない。
中部	設計	時間配分等	第1章からききたかった
中部	設計	時間配分等	少しスピードが早くついていく事ができない部分がありました。もう少し開始時間を早くしてでも、おわる時間を17:00までとしてほしい。
中部	設計	時間配分等	練習問題がもう少し多い方が、わかりやすいと思えます
中部	設計	時間配分等	一次エネルギーについてももう少し細かく説明してほしい。一次エネルギーの設備の選定が一番大変なので。
中部	設計	時間配分等	演習問題説明後の時間が欲しい
中部	設計	時間配分等	設計と施工の講習会を同時に行ってほしい
中部	設計	時間配分等	外皮計算の方法をもっと詳しく教えて頂きたい
中部	設計	時間配分等	昼ごはんの取り方で午前中講習は早く終わってほしい。少なくとも時間内には、
中部	設計	時間配分等	休憩が短い
中部	設計	時間配分等	設計者講習テキストPM14:05~PM15:15 3章~6章までの講義は必要ないと思えました(テキストをなぞってよまれているだけ)
中部	その他	時間配分等	計算についてやす時間がもう少し欲しいです
中部	その他	時間配分等	一つの講義時間が長い為、集中できない
中部	その他	時間配分等	一次エネルギー計算も具体的に説明してほしい
近畿	現場管理	時間配分等	計算方法にもっと時間を取ってほしい
近畿	現場管理	時間配分等	外皮計算、一次エネルギー計算をメインとするならば実際の図面を元にする方が入りやすいと思えます。講師の話を省いた方がよい。時間がムダ
近畿	設計	時間配分等	「関連基準と制度」など、個人で読めば良い章は、講義で触れなくてもよいので、実務に関する章に時間を割いてほしい
近畿	設計	時間配分等	時間配分(カリキュラム)が悪い
近畿	設計	時間配分等	計算、演習については時間が足りない。修了考査は早く終わっている人が多いのに、ムダな待ち時間がある。適当に切り上げて解説の時間に充てた方がよい。
近畿	設計	時間配分等	10:00~11:00頃までの講習は不要、その他の講習時間の方へ時間を持っていくべき。テキスト不備多すぎ。
近畿	設計	時間配分等	計算例はもっと詳しく教えてほしい。外皮の面積計算例も時間を取ってほしい
近畿	設計	時間配分等	本の内容を読んでいるところが多かつたので計算方法や演習を増やすべきだと思えました
近畿	設計	時間配分等	演習で多くのパターンをするべきだと思う。テキストをよんでるだけでは来た意味が少ない。
近畿	設計	時間配分等	最も必要なページに時間を割いて、十分な説明をして頂ければ良かったと感じました。この短時間で全ては無理かと思うので。
近畿	設計	時間配分等	計算が中心の方がよい。基本的な講習はいい
近畿	設計	時間配分等	基本編については各々で読む事とし、計算方法係数の用い方等の部分(午後からの講習)をもっと時間を取る方が有難
近畿	設計	時間配分等	演習問題を基に講習されても良かったかなと思います
近畿	設計	時間配分等	今回は設計者講習だったので、「これからの住い」や「省エネルギー基準」はもう少しサラッと流して、計算が変わったところの詳しい内容をもう少し時間をかけて解説していただけたら良かったと思えます
近畿	設計	時間配分等	施工を受けた人は午前中いらないかもしらなくて良かった
近畿	設計	時間配分等	消費エネルギー算定プログラムの説明については、各自で読み込んでほしいのでは?
近畿	その他	時間配分等	冷暖房計算をしてたのでそれほど内容が難しいと思わなかつたが、意匠設計者の方には、なれていないので難しいと思う。もう少し時間をかけるか又は計算内容に時間を掛けるなどが必要だと思つた。
近畿	その他	時間配分等	実地計算への比重を増やす方がよい
中国	設計	時間配分等	もう少し、外皮性能(計算ルート)の計算方法など詳しく解説してほしい

中国	設計	時間配分等	計算の時の時間を長くした方がいいと思う。じゅんをおって回答した方がいい。
中国	設計	時間配分等	適合計算についてももう少し時間があればと思いました。
中国	設計	時間配分等	演習問題の時間がもう少し多くて欲しい。
中国	設計	時間配分等	休憩が多すぎるのでその分減らして早く終わってほしい。
中国	設計	時間配分等	演習について2~3題やっていただき、その解説についてももう少し重点をおいて頂いた方が、実務で適切に算定していけるように感じました。
中国	設計	時間配分等	施工の基本の内容は必要ないと思う。午後は眠くなるので午前中に計算の講習をしてほしい。午前中はテキストを読むだけでわからなかった。
中国	設計	時間配分等	できれば半日でもお願いできますか、9:00~14:00午前中、13:00~18:00午後のみで。
中国	設計	時間配分等	計算部分についての説明は不要かと思えます。テキストなどを見るまたは必要な人だけにしてください。
中国	設計	時間配分等	計算の説明は言葉よりも実戦の方が分かりやすいと思えます。演習問題を増やすなど。
四国	施工	時間配分等	Webプログラムの入力方法は省いた方がいいと思う
四国	現場管理	時間配分等	もう少し計算問題については時間をかけて行ってほしい(繰り返し)
四国	設計	時間配分等	例題をもう少し多くしてほしい(計算例的なもの)
四国	設計	時間配分等	内容はとても分かりやすく、演習などもありとても役立ったが少し時間が長かった。テキストが分かりやすいので読んでわかる内容はもう少し少なく演習にあててはどうか。話を聞くだけではどうしても長時間であると集中できない。何度も電話で席を立つ人がいて気が散った。
四国	設計	時間配分等	休憩時間を長くしてほしい。
四国	設計	時間配分等	設計テキスト2章終わってすぐ計算問題に入った方がいい。すぐやってみないと忘れてしまう。
四国	その他	時間配分等	丁寧で分かりやすかったです。慣れる為に演習問題がもう少し多くてもいいと思いました。
四国	その他	時間配分等	外皮性能の計算はもっと細かく説明してほしい。時間が少ない。
九州・沖縄	施工	時間配分等	問題を分けてポイント部分のみ説明してほしい方が時間配分が良いと思えます
九州・沖縄	現場管理	時間配分等	内容はいいですけど、時間内で全て行う事が難しいのでは。計算などの説明を時間をとってもっと詳しく知りたい。
九州・沖縄	現場管理	時間配分等	テキストがわかりやすく助かりました。講師の方が来られるのなら、テキストは読めばわかるほど親切に作ってあるので <b>計算にばって詳しく説明がほしかった</b> です。
九州・沖縄	設計	時間配分等	具体的な算出術、提出までの流れ等について、実務にむすびつく内容を時間をとって行ってほしい
九州・沖縄	設計	時間配分等	計算講習の時間を多めにしてください
九州・沖縄	設計	時間配分等	話すのが(講師の方が)はやすくて、理解するのに苦戦しました。計算の所はもう少し時間をかけて欲しいです。
九州・沖縄	設計	時間配分等	施工技術者講習テキストについて、テキストの文章を読んでいる時間が長すぎ。
九州・沖縄	設計	時間配分等	テキストを音読するだけでpm1:30~の説明からスタートで良かったと思います。時間がおして…これは受講者にしわ寄せがくるので。
九州・沖縄	設計	時間配分等	講習会はとても眠くなる。説明の間に小テストなどはさむとよかったです。長々と説明だけでは頭に入らない。
九州・沖縄	設計	時間配分等	支援センターゴミ箱がなく弁当ガラが捨てられない。ランチタイムの少しゆとりをもっとほしい。11:50に休憩入るとか。
九州・沖縄	設計	時間配分等	演習をたくさんした方が、勉強になるかも。テキストを読んでも、何のこともよくわからなくて難しかった。リフォームが多いので、天井の断熱はわからない。でも長期優良リフォームに必要なことが多いので、とても勉強になりました。
九州・沖縄	設計	時間配分等	計算ソフトの説明が不要、その分時間をほかの部分に割いてほしい。
九州・沖縄	設計	時間配分等	住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムの項目は、実際にPC上に入力しないと良くわからないので、講習会での説明は不要かと思えます。
九州・沖縄	設計	時間配分等	最初の1時間が無駄のような気がする。テキストを読めば済むことは省くべき。2人目の講師の声が小さいわけではないが聞き取りにくかった。
九州・沖縄	設計	時間配分等	演習問題多めにして実務で使いやすくなるようにしてほしい。外皮計算の演習とか。

**要望・意見など一講習会運営に関する事について** 79

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北陸	設計	広報・開催案内	他県の講習会より時間が短く、講師の説明がとても速くて聞き落した箇所もありました。 <b>またセミナー時電卓などの準備の指示がなく困りました。</b>	7	広報・開催案内
北陸	設計	広報・開催案内	講習会の案内(告知)、開催日(人数、回数)について検討してほしい。この講習を見つけた時には、すでに希望会場は定員になってしまったため、近県の会場も同様にすべて満席になっていた。		
中部	設計	広報・開催案内	開始時間の案内がずさんでした		
中部	設計	広報・開催案内	開始時間があいまい。その為か、前半の講習が簡素過ぎて理解できない部分があった。		
中国	現場管理	広報・開催案内	インターネットで申し込んだが電卓が必要なのは知らなかった		
九州・沖縄	設計	広報・開催案内	情報を広く流してほしい。		
九州・沖縄	設計	広報・開催案内	講習を完全義務化まで何回かお願いしたい。講習の案内に「電卓持参」の指示がなく計算問題が大変だったよ。		
中部	設計	開催時期・曜日	11月という忙しい月ではなく、1月、2月等に講習会を開催していただいた方が、大勢の参加があるのではないのでしょうか？ 丸一日の講習内容でしたので。	7	開催時期・曜日
近畿	設計	開催時期・曜日	設計の講習会は開催日が少なく、会場が限られているので、地方に住む者としては受講するのに少し大変だった。		
九州・沖縄	現場管理	開催時期・曜日	時間を守ってほしい。 <b>今後、講習会は月末をさけてほしい。</b> テキスト読み上げるだけなら自分で読めます。		
九州・沖縄	現場管理	開催時期・曜日	施工研修の数が少ない。施工研修が福岡、熊本で近々ない。		
九州・沖縄	設計	開催時期・曜日	とても勉強になりました。施工も受講したいのですが水曜日以外の北九州会場があれば参加したいです。なぜ休みの日なのでしょうか。みんなそう言ってます。		
九州・沖縄	設計	開催時期・曜日	日曜日開催は特に疲れる		
九州・沖縄	設計	開催時期・曜日	日曜日の講習は出席したくない。		
関東	設計	受講料・修了証発行手数料	非常に安価で講習を受けることが出来感謝しております。実務につなげていきたいと思っております。	2	受講料・修了証発行手数料
中部	施工	受講料・修了証発行手数料	受講料が高額。修了証が高額。空調がさわかった。		
中部	設計	講習会場開催地要望	場所が遠いです	2	講習会場開催地要望
九州・沖縄	設計	講習会場開催地要望	地方でもしてほしい。		
近畿	設計	講習会場昼食不便	この会場は昼食をとる所がなく不便だった	1	講習会場昼食不便
東北	設計	講習会場狭い	会場が狭かった	11	講習会場狭い
東北	その他	講習会場狭い	講習会場が非常に狭かったです。テキストはカラーで見やすかったです。問題は難しかったです。		
関東	設計	講習会場狭い	会場が狭く一日の講習にはキツイ。もう少しゆとりとしてほしい。		
関東	設計	講習会場狭い	席が狭くて集中できなかった		
関東	設計	講習会場狭い	席が狭すぎる。2~3時間の講習ならまだしも、一日中の講習なのに3人掛けはとても不便。快適な受講空間ではない。		
関東	その他	講習会場狭い	会場がせまい。HP上の参考があったが、実際プレゼンしながら進めた方が分かりやすいのでは？		
関東	その他	講習会場狭い	講習時のテーブルは2人掛けを心がけて下さい。とくに電卓使う時とか困る!!(テキストが広げられない)		
中部	設計	講習会場狭い	テーブル3人は狭い。		
近畿	現場管理	講習会場狭い	参加人数の割に会場が狭く長時間講習を受けるのにはつらいものがある。現実には面積を捨てるに大変時間がかわる。		
中国	設計	講習会場狭い	資料が多いのに1机3人で狭すぎる。ゆっくり聞けない。本を読み合わせるだけならもっとスピーディーにしてほしい		
中国	設計	講習会場狭い	席が狭い		
東北	設計	講習会場空調できてない	足元がすごくさむい	12	講習会場空調できてない
関東	設計	講習会場空調できてない	冷房がききすぎて寒かった		
関東	設計	講習会場空調できてない	会場が寒かった。11月なのに冷房をかけているかは分かりませんが。冷房があたり講習を受けるのに良い環境とはいえないと思います。		
北陸	設計	講習会場空調できてない	エアコンの風が寒すぎて大変つらかった。もっと室内環境をしっかりとってほしい。		
中部	施工	講習会場空調できてない	会場の温度管理してほしい		
中部	設計	講習会場空調できてない	少し急ぎぎみだったので、わかりにくい所がありました。関係ありませんが、 <b>冷房寒くて集中できませんでした。</b>		
中部	設計	講習会場空調できてない	後半寒かったです		
中部	設計	講習会場空調できてない	会場が暑かった。もう少し換気なりエアコンなり入れてもらえればありがたかった。		
近畿	設計	講習会場空調できてない	前半、空調が暑すぎて体調を崩してしまいました。		
中国	施工	講習会場空調できてない	部屋の中が乾燥していると風邪をひきやすいのではどうかと思います。		
九州・沖縄	設計	講習会場空調できてない	会場が寒かった		
九州・沖縄	設計	講習会場空調できてない	少し部屋が寒く感じた。		
東北	設計	講習会場マイク無し、不調	マイクのエコーが聞きづらい	14	講習会場マイク無し、不調
東北	その他	講習会場マイク無し、不調	音響が少々悪かったと思います		

北陸	設計	講習会場 マイク無し、不調	聞きづらかった(マイク?)		
北陸	その他	講習会場 マイク無し、不調	午後の講習マイクの調子が悪くて聴き取りづらかった。時間が不足しているせいか、スピードが速すぎる。		
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	午前中はマイクのトーンのせいなのか何を言っているのか非常に分かりづらかった。疲れる人が出るのもわかる。		
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクの音が聞きとりにくかった		
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	内容は重要な事と思われませんが、会場の音響が合わず講師の方がなにを言っているのか非常に聞きとれなかった!!(音が響きすぎ)		
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクがあるのに使っていない音が聞こえない		
中部	その他	講習会場 マイク無し、不調	マイクを使ってほしい。何をしゃべっているのかわからない!よく聞こえない。		
近畿	施工	講習会場 マイク無し、不調	午後、マイクの声がこもって聞きにくかった		
近畿	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	音響調整が悪かったのか単に会場が広すぎたのか、講義内容が聞きとりにくい場面がありました。もう少し小さめの会場を希望します。		
近畿	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	マイク音声は聞こえにくい		
近畿	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	マイク、スピーカーの性能が悪いのか、聞きとりにくかった		
中国	設計	講習会場 マイク無し、不調	聞こえなかった		
中部	設計	講習会場 暗い	月末31日の講習会(特に終日)は避けてほしい。会場の照明が暗すぎてテキストなどが非常に見えにくい。内容がかなり複雑なので実際の使用にはまだ向かないと考えます。	5	講習会場 暗い
中部	設計	講習会場 暗い	照明が暗い		
中部	その他	講習会場 暗い	60才を超えているので会場の照明が少し暗い、小さい文字が見づらい。		
中国	その他	講習会場 暗い	場内を明るくしてほしい、老眼なので大変文字が見えにくかった		
九州・沖縄	現場管理	講習会場 暗い	会場の照明が暗く資料が見にくいでした。		
関東	その他	講習会場 受付段取り悪い	施工編の時もそうでしたが会場を9:00~借りていて9:00~受付のお知らせはおかしくないですか?9:00~受付であれば9:00前に来られる方もいますし、9:00~そちらが準備するのであれば、9:15~とか9:30~受付でも良いのではないかと段取りをもうちょっと考えて頂きたいです。	1	講習会場 受付段取り 悪い
北海道	現場管理	講習会場 その他不評	喫煙スペースや喫煙時間を設けてほしい。受講者の集中力持続のため、1講義50分が良い。	9	講習会場 その他不評
東北	設計	講習会場 その他不評	内容は大変になりました。ありがとうございました。席が指定されていたのでエアコンの風が直接あたるところで大変寒く不快だったが、移動できず困りました。		
東北	設計	講習会場 その他不評	女子トイレが少ない		
関東	設計	講習会場 その他不評	タバコの煙が会場にも。ロビー全体にも。分煙されていない会場は二度と、体面から受講したくない。		
北陸	現場管理	講習会場 その他不評	講習会自体で把握することができないのと一日がかりという負担なので、何日かにわけてもらいたいです。会場のトイレが全ての階、女性と男性共用トイレで、ものすごく困りました。女性が沢山出席しているので配慮してほしいです。		
中部	現場管理	講習会場 その他不評	会場が狭い、暗い!もう少しゆっくりに話して頂けるとマーカーしながら理解できる		
近畿	設計	講習会場 その他不評	イスが固い。冷房きすぎ。		
近畿	その他	講習会場 その他不評	もっとわかりやすい講義をお願いしたい。空調の音がうるさくて講師の声が聞こえにくい。		
九州・沖縄	設計	講習会場 その他不評	会場を考慮していただきたい。(女子トイレが男子と一緒に使いたい)		
中部	設計	講習会場 好評	会場が素晴らしいですね。研修参加人数ももちろんいいくらいでした。	1	講習会場 好評
東北	施工	講習会運営 その他	<b>講師名の事前発表が必要(受講受付前に)</b> 演習問題解説はわかりやすく良かった	7	講習会運営 その他
東北	設計	講習会運営 その他	タイムスケジュールのけいじ		
関東	設計	講習会運営 その他	施工編のテキストをもらえなかったのが残念です。講師の方だけ??		
中部	設計	講習会運営 その他	個人情報の取り扱いがヒドイ		
中部	その他	講習会運営 その他	先生方ありがとうございました。長時間密閉された場所に同室することになりますので、咳が出る方やカゼの方などは無理をしないよう、HPで書いてください。		
近畿	設計	講習会運営 その他	考查解説を書面配布のみにして、考查終了者から帰れるようにしてほしいかがでしょうか		
中国	設計	講習会運営 その他	カリキュラムに講師名を入れてほしい		

要望・意見などー講師について				116	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	設計	講師の話し方 不評	早口でよくわからない	43	講師の話し方 不評
北海道	設計	講師の話し方 不評	時間に限りがあるのはわかるが、講師の方の説明が早口でとてもわかりずらかった。		
北海道	設計	講師の話し方 不評	耳が悪いので聞きとりにくかったので音が(声)聞きとりやすく願いたい		
北海道	設計	講師の話し方 不評	もう少しききとりやすく話せる人に講師をしてほしい		
東北	現場管理	講師の話し方 不評	講師の声が聞きとりにくい、もっとはっきりと言ってほしい。		
東北	設計	講師の話し方 不評	講師の声が聞きづらい		
東北	その他	講師の話し方 不評	講師の説明がこもって聞きにくかった		
関東	施工	講師の話し方 不評	講師の声が聞きとりにくい、ハキハキと話してもらいたいです。ポイントを明確にしてください。		
関東	設計	講師の話し方 不評	声が小さくて何も聞こえませんでした		
関東	設計	講師の話し方 不評	時間のせいか、講師の方の話し方が少し早口だったように感じました。内容的には難しいとは思わないのですが、実際の仕事の中では悩む事もあるように感じました。		
関東	設計	講師の話し方 不評	たまにお話している講師の方の声が聞きとりにくいです。もう少し配慮して頂くとう理解も深まると思います。		
北陸	施工	講師の話し方 不評	講師の説明が分かりにくい		
北陸	現場管理	講師の話し方 不評	テキストは非常に分かりやすかったです。講師の話は聞きとりにくかったです。(話し方、マイク)		
中部	現場管理	講師の話し方 不評	講師の方にはもう少しはっきり話して頂きたい、手配間違いが多い。		
中部	設計	講師の話し方 不評	早口、どこを指すのかわかりにくい		
中部	設計	講師の話し方 不評	講師の一人の方が発音が悪く、非常に聞きづらかった		
中部	設計	講師の話し方 不評	今回の女性の講師の説明が早く、全く理解できない。話し方が早すぎる。ひとりでテキストを棒読みする。講師を変更してください。他の社員に受講させたくない。		
中部	設計	講師の話し方 不評	女性の講師、聞きとりにくい。何を言っているのかわからない。読めば済むなら自分で読んでの方が頭に入る。時間のムダ!それから…が多い。(4)…とか言ったほうがページのどこを話しているのかわかりやすいのでは?と思います。人の顔を見て話していないので伝わってこない。		
中部	設計	講師の話し方 不評	設計講習の方が聞きとりにくかったので、もう少しはっきり伝えて頂きたいと思いました		
中部	設計	講師の話し方 不評	声がよく聞こえない(聞きづらい)		
中部	設計	講師の話し方 不評	説明というより読み合わせ、声が聞こえにくかった。		
中部	設計	講師の話し方 不評	講師の声が聞きとりにくかった		
中部	設計	講師の話し方 不評	講師の方の声が大変聞きとりにくく、内容がわからない部分があった		
中部	設計	講師の話し方 不評	講師の声が早過ぎたので分からなかった所もあった		
中部	設計	講師の話し方 不評	下を向いて話をするので聞きとりにくかった。お疲れ様でした。受講票がFAXされてこなかった。		
中部	設計	講師の話し方 不評	後半の講師の声が聞き取りづらかった		
中部	その他	講師の話し方 不評	講師の声をもう少し聞きとりやすく話してほしい		
近畿	現場管理	講師の話し方 不評	わかりにくい、何を言っているかわからない、聞きとりにくい。大切な所アンダーライン箇所などはゆっくりに言ってほしい。全くわからない。		
近畿	現場管理	講師の話し方 不評	声が聞きとりにくく、半分近く何を話されているのかわからない		
近畿	現場管理	講師の話し方 不評	声が小さかったり、大きくて響きすぎて聞きとれないことが多かった。前半は早いけど聞きとりやすかった。昼～は半分ぐらい聞き取れなかった。室内の暖房がききすぎました。なぜか昼～温度あげました?以上です。		
近畿	設計	講師の話し方 不評	午後の講義が聞きとりにくかった		
近畿	設計	講師の話し方 不評	テキストが分冊になっていて重複しているのかわかりにくい。講師Bの説明がとても悪かった。よみまちがい多々あり。滑舌悪し。		
近畿	設計	講師の話し方 不評	講師の声がこもって聞きづらかった		
近畿	設計	講師の話し方 不評	声がこもって聞きにくかった		
近畿	設計	講師の話し方 不評	声がききとりにくい部分がある		
近畿	設計	講師の話し方 不評	講義中の声が聴き取りにくかった		
近畿	設計	講師の話し方 不評	先生、時々早口すぎてページ数とか用語が聞きとれなかったです。		

中国	施工	講師の話し方	不評	何をいつてるかよくわからなかった。(聞きとれないことが多かった。午前午後共)	
中国	施工	講師の話し方	不評	もっと早くしゃべってもらいたい。	
中国	現場管理	講師の話し方	不評	分かりにくい(午後からの説明)もっと明確な説明がほしい。声が小さい。	
中国	設計	講師の話し方	不評	声が小さくわかりにくかった	
中国	設計	講師の話し方	不評	講義の語尾が聞き取りにくかった。	
中国	その他	講師の話し方	不評	声が小さいので、もう少し大きく	
北海道	設計	講師としての質	不評	省エネ性能判定プログラムの記入方法の説明は、かなり講師の私見で説明しておられる印象でした。当方の見識からは首をかしげる説明が多いと感じました(面倒くさい、ふつやりませんよね等の発言はいきすぎです)。U:熱橋部についてはよくわからなかったです。	45
北海道	その他	講師としての質	不評	計算メインの講習会であるのに、解説が分かりにくい。正直ちゃんと教える事ができない講師(氏)であれば、変更した方が受講者の為だと思います。	
北海道	その他	講師としての質	不評	講師の説明があまりにひどい	
東北	施工	講師としての質	不評	講師の説明がとても分かりにくい。ホワイトボードでも書いて説明するのが良い。	
東北	設計	講師としての質	不評	講師の説明が分かりづらい。机上の事で実務にはいかせない。	
東北	無回答	講師としての質	不評	特に午後は説明が分かりにくかったです。「四捨五入だったかな？」で説明を終わらせてしまうなど、通常講習会ではありえないような、あいまいな解説だったり、具体的な説明が少なく困りました。あとでテキストを読み返してみます。	
関東	現場管理	講師としての質	不評	特にありません。もう少し分かっている方が講師の方が良いと思います。とても曖昧でした。	
関東	現場管理	講師としての質	不評	残念ですが、講師の方の説明がもう少し長けてる方が良かったと思います	
関東	設計	講師としての質	不評	講師が記号の読み方を間違っていた。一次エネルギーの計算も実例を見てみたかった。(パソコン画面をテキストに記載するなど)。とても良い講習会だった。	
関東	設計	講師としての質	不評	午前中の講師に午後もしてもらいたかった	
関東	設計	講師としての質	不評	関連、流れが分かりづらい。午後の講義はまったくダメだと思う。解説になっていない。	
関東	設計	講師としての質	不評	非常にわかりやすいテキストで有難いです。今後の業務の参考にさせていただきます。それだけに講習がテキストの読み合わせだったことが少し残念です。特に午後の方は準備が足りなかったのではないですか。一次エネルギー消費量が知りたかったためなおさらと思いました	
関東	設計	講師としての質	不評	限られた時間内の講習会なので『や』(や)をかつ閉じまて言わなくてもよいと思います(テキストを見ながらなので分かります)	
関東	設計	講師としての質	不評	1限目、先生、P28の時、アナタスの“たくえつ”と言いましたか。活用しよう、何のことでしょうか？	
関東	設計	講師としての質	不評	「関連基準と制度」は割愛され残念。講師のレベルを上げて欲しい。ムラありすぎ。	
関東	設計	講師としての質	不評	ηをミュート読むとか、用語くらいはしっかり覚えてから説明してほしいです	
関東	その他	講師としての質	不評	午後一番の講師は、ページ数や性能値などの数字の言い間違いが非常に多く戸惑う。	
関東	無回答	講師としての質	不評	眠くならないような、せめて内容にメリハリをつけて話ができる講師の先生をお願いしたいです。	
北陸	施工	講師としての質	不評	講師の話がとてもわかりづらい。ダラダラとあんな説明を聞くと自分でも読んでみた方がよい。	
北陸	施工	講師としての質	不評	説明がよく理解できなかった。講師がもっと勉強してから行ってほしい。	
北陸	設計	講師としての質	不評	ご自分の言葉や意見を入れながらの講師の説明は、とても聞き苦しく、文章を読み上げてもらう方が、聞き入れやすいと思います。とてももうざりしました(設計1章、2章)	
北陸	設計	講師としての質	不評	多忙な中出席していますので、講師(説明者)は充分内容を理解している人を選定してください。(本場に出席者に理解してもらえますか?)	
北陸	設計	講師としての質	不評	講師様、もう少し要点を詰めて重要事項を振り返った方がよいと思います。またページもあちこち飛び、一日の講習で覚えていられないので、せっかくの講習が無駄に思います。	
北陸	設計	講師としての質	不評	講師の先生の理解度が不足していると思いました	
中部	設計	講師としての質	不評	講習内容がわかりにくい。講師さんには工夫してもらいたい	
中部	設計	講師としての質	不評	講師の勉強不足を感じる(外皮性能)(計算全体)	
中部	設計	講師としての質	不評	講師は自信ある講義をお願いしたい	
中部	設計	講師としての質	不評	講師の内容、使用するテキストなどに熟知した方に講師をしていただくとさらに充実したものになるかと思いました。	
中部	その他	講師としての質	不評	・施工編でもそうでしたが、講師の方全員がUAを「ユーエイチ」、「ユーエー」の両方混ぜておっしゃるので、聞いていて非常に分かりづらかったです。・テキストは次々と読んでいくだけでは、設計編は分からないです。はっきり言って全然理解できませんでした。・2時間休憩無しは辛いです。	
近畿	施工	講師としての質	不評	後半の講師の方が早過ぎて、又マキにこもってきつとりにくい部分がありました。評価方法、規準が多すぎて(CASBEE、性能評価、インベクター等)整理してほしいと思います。	
近畿	現場管理	講師としての質	不評	私は何とか理解できましたが計算のところは説明がヘタすぎると感じます。すごくわかりにくい。改善が必要でしょう。	
近畿	現場管理	講師としての質	不評	午後の後半の説明の仕方、どこを説明しているのかわからない点があった。ありがとうございました。	
近畿	設計	講師としての質	不評	もう少し自信をもって講習をしてほしい	
近畿	設計	講師としての質	不評	氏準備不足。独り言多すぎ。	
近畿	設計	講師としての質	不評	後半の講師の説明がわかりづらかった	
近畿	設計	講師としての質	不評	講師が何言ってるのかわからなかった。マイクを離してゆっくり話してほしい。数字(ページ数や数値)のよみまちがいが多い。表のどこの数値について説明しているのかわからない。	
近畿	設計	講師としての質	不評	午後の講習は語尾をはっきりしないと、説明している真とその場所をはっきり言ってくれないのでとどろく	
近畿	設計	講師としての質	不評	タブっている部分をうまくまとめて時短し、もう少しつづいた内容で講義してほしい。テキストをなぞっているだけでは講習の意味が無い。テキスト内容をしゃべるだけで、内容をわかってない講師に思える。質問に全く答えられてな	
近畿	設計	講師としての質	不評	一番大事なUA計算の手順の説明がヘタすぎて、理解しにくい。もう少し深い内容で実施するべきだと思います。理解できない人への説明にしては、流(数字)の説明ははしりすぎ、説明へた、Bの人。	
近畿	設計	講師としての質	不評	外壁に筋違があれば熱橋になりやすいのでない方がよいという解説があったが、本末転倒です	
近畿	設計	講師としての質	不評	講師の説明がぐだぐだで大変わかりにくかった	
近畿	その他	講師としての質	不評	講師は一度シミュレーションをしてから講習に臨んでほしい。ぶつつけ本番の印象を持ちました。又時間つぶしの話は不要かと思えます。	
中国	その他	講師としての質	不評	午後の講師の方は誰に対して講習をされているのですか？	
中国	その他	講師としての質	不評	協議会の本文をただなぞり読み上げるだけの説明が不十分な講習でがっかりだった。協議会のテキストはあくまで補助的なものとし、その講師が独自にホワイトボード、パワーポイントテキストなどでまとめたものを使って、必要な部分はもっと踏み込んで背景やポイントなど、もっときちんと具体的に論理的に説明してほしい。マーカーでラインする部分はあっても講習の内容から手書きで書きこむ要素がなかった。これまで、都市部における建築学会、確認審査機関、メーカーなどの講習会を何十回も受講してきたが、規模の大小にかかわらず上記のような程度のものを当たり前に受けてきたので、このたび初めて徳島で建築に関する講習会を受けてびっくりした。これからは講師のレベルがこの程度なら、今後は単位の交通費がかかるが、東京や大阪の信頼できる所で受講したい。	
九州・沖縄	設計	講師としての質	不評	講師の方には、しっかりと事前の読み込みを行ってほしい。テキスト読み上げでは時間のムダ。実務の時間をさいて参加しているの、少しでも有益な情報提供を。	
関東	現場管理	講師の進行	不評	午前中、ユニットバスの断熱について、あとから説明するつもりでしたが、午後には説明がなかった。午後の説明でページ数をこまかく言ってほしい。	14
北陸	現場管理	講師の進行	不評	時間オーバーは残念。内容を工夫すればもっと短縮できるとおもう。	
北陸	現場管理	講師の進行	不評	予定時間に終了していただきたいです	
北陸	現場管理	講師の進行	不評	スケジュール通り進んでいない。時間オーバーしている。	
北陸	設計	講師の進行	不評	時間通りに講義を進めてほしい	
北陸	設計	講師の進行	不評	予定時間が大幅にずれたので予定表を変えた方がと思う。スクリーンを使えばわかりやすくていいです。	
北陸	設計	講師の進行	不評	講習時間のタイムスケジュールはあまり大きくずれない様にすべきではないでしょうか。タイムスケジュールは講習と同じく大切だと思います。	
北陸	その他	講師の進行	不評	講習以外の時間延長はやめてほしい	
中部	設計	講師の進行	不評	内容が前後してスタートしたのがわかりづらかった	
中部	設計	講師の進行	不評	施工で時間を取った為(施工は別で講習有)設計の時間が少なくなったのが非常に残念	
近畿	設計	講師の進行	不評	タイムスケジュールにあわせて、スピードをあげて説明をなされると、消化不良になってしまう。かいつまんで説明がなされるのであれば、かいつまんで抜粋版資料を用意された方が、講習を受ける価値があると思われる。あるいは事前に簡易資料を送付するなど。痛つてテキストを読んで、理解できるならば、もっと短時間の講習でよいのではないかとと思われる。	
中国	現場管理	講師の進行	不評	講師の時間配分が不適切である	
九州・沖縄	設計	講師の進行	不評	予定時間を守って講義してください(30分近く過ぎています)。STEP説明をしたのに、また違うページで同じ説明をすると時間がいくらあっても足りません	
九州・沖縄	その他	講師の進行	不評	時間割から30分以上ずれた講義があった。計画時点であらかじめ講師と打合せし時間割は作成された。又、午後予定の時間割にもどった。それならば、午前中時間通り12:15に終了し「残りは午後からにします」と宣言し、臨機応変に対応すべき。「タイムスケジュール」は厳守が基本！！プロ意識の低い講師に対してちょっとやる気がそがれました。	
北海道	現場管理	講師	好評	テキストのわかりやすさ、田嶋氏の説明のわかりやすさ、大変勉強になりました。ありがとうございました。	13
関東	現場管理	講師	好評	施行中物件の中にS11ゼロエネ補助金を1件使用しており(担当は違いますが)外皮計算はとても複雑でややこしいと思い、今回の講習も乗り気ではありませんでした。外原さんのご説明がとても分かりやすく全体の流れと要領を理解することができました。今後の業務に生かしていきたいと思えます。	
関東	現場管理	講師	好評	たいへんよかったです。講師の説明がわかりやすい。	
関東	設計	講師	好評	短い時間内(講習会)で講師がキチンと勉強しており、大変分かりやすい説明であった	
関東	設計	講師	好評	計算式やηなど見ただけで難解だと思いついて食わず嫌いだっただけで省エネ計算が身近になった気が致します。講師の方の何とか理解してもらおうという熱い思いが伝わってきました。	
中部	施工	講師	好評	男性の方の説明は聞きやすかった	
中部	設計	講師	好評	開始1時間半くらいテキストが、10でいどなくなつた！おくれるのはおかしい！せつめいもなかった。	

中部	設計	講師 好評	男性の方の説明は分かりやすかった。		
中部	設計	講師 好評	午後の説明はOKでした。今までのUAの講習会では一番よく分かった。眠くないという事は先生が良かったという事。		
近畿	設計	講師 好評	1人目の方は分かりやすかった。ありがとうございます。		
四国	設計	講師 好評	講師の方の説明が分かり易く、非常に今後の業務に役立つ内容でした		
四国	設計	講師 好評	タジマ先生のお話は解りやすく、勉強になります		
九州・沖縄	設計	講師 好評	講師分りやすかった。		
中国	設計	講師 その他	P77の単価「-」はマイナスではなく、単位がないことと思います。今後のために指摘します。	1	講師 その他

要望・意見など一受講中の態度・マナーについて

7

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中国	施工	態度・マナー	後ろの方で職員同士の無駄話があるさかった。(11:45~12:05までの間)	5	態度・マナー
中国	設計	態度・マナー	開始から後ろの受付のひそひそ話が非常に耳障りで集中できなくて不快だった。講義中は静かにすべきでは？途中からマイクの音が聴き取りにくかった。今後改善してほしい。		スタッフ
中国	設計	態度・マナー	後ろの職員の話し声が耳障りでした。講義中は慎んでいただきたい。		
中国	設計	態度・マナー	講習中に後ろから話し声がすると、講義内容に集中できません。廊下でお願いします。		
九州・沖縄	設計	態度・マナー	審査中、主催者側が世間話をずつとしていたので、集中できなかった！！		
関東	設計	態度・マナー	職員が歩き回り、話し方もうるさくわらわらわらした。部屋があつすぎた。受講者同士の私語が気になった。試験中の私語、2組いた。ありえない。(同じ会社の人はずいぶん)	2	態度・マナー
関東	その他	態度・マナー	審査終了後、他に終わっていない人がいるにもかかわらず、先に終了の人が室内でしゃべっていた。それを何も注意しない運営に非常におどろきました。講習前後の説明も早口でうしろのほうでは何を言っているかわかりませんでした。貴重なお話をありがとうございました。とても勉強になりました。		受講者

要望・意見など一省エネ施工への理解を求めたい対象について

12

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	施工	全ての人	設計事務所、施工会社以外の住宅建設にかかわる人々も、受講できるようにすると、より広まるのではないのでしょうか。	4	全ての人
中部	設計	全ての人	施工から設計、施工(大工、設備、電気)まで、また一般までこのH25省エネ基準に対する、理解が必要だと思います。		
中国	その他	全ての人	一般消費者、施工主への高断熱、省エネの啓発が必要です		
九州・沖縄	現場管理	全ての人	大変興味深い内容でした。省エネに対する情報をもっと普及すればいいと思います。分かっているようで分かってないことが多い気がします。		
関東	その他	大工、職人	まだまだ施工者(ビルダー)の意識が低く、認知されてないと思います。我々販売店側でも取引ビルダーへの教育や囲い込みを行っていかないと、66万戸時代に勝ち残る事が出来ないと思っています。	4	大工、職人
中部	現場管理	大工、職人	設計者、監理者教育も大切だが、現実的に施工者のモラル向上しないと無意味だと思う		
中国	設計	大工、職人	今までなじみがなかったもので、貴重な講習会と感じました。設計者だけではなく大工さんへの周知が必要だと思います。未だに断熱を入れない大工さん等もいて苦勞しています。		
四国	設計	大工、職人	施工会社に施工方法や必要性をPRしてほしい(見積でUPになる、めんどくがられる)		
関東	その他	設計者、管理者	本日はありがとうございました。省エネ基準改正については、仕事においてもたくさんのお客様からお問い合わせがあるので、とても為になりました。私自身、設計は行っていませんが、多くの設計者に参加していただきたい内容だと感じました。	1	設計者、管理者
東北	設計	建主	断熱性能を底上げするためには、建物のコストアップが必要だということを、建築主とハウスメーカーの人間に理解してもらい必要があると思う。(コスト維持で3の性能アップは、職人の手抜きへつながるため)	3	建主
東北	設計	建主	省エネルギー化の必要があるのであれば、建築主に理解してもらわなければ、安い低レベルの住宅ばかりふえるのでH25基準について一般の人にどのように周知させるかが必要(過去の構造設計が変わった時の様な混乱が起こらない様に)かなりのコストUPとなる。		
九州・沖縄	設計	建主			

要望・意見など一制度、特定の工法・材料について

57

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	省エネ施策	小数点以下の切り上げるなどちょっと勘違いするよう感じですが、もっと大きな数値でよいのではないのでしょうか。計算値は算数ですが現実的には施工を考えると数式通りには工事ができませんので、考える頃だと思います。	42	省エネ施策への批判的意見
東北	設計	省エネ施策	なぜ住宅省エネの基準がもっとわかりやすい方法にできないのか。国で仕様を選定して義務化した方が仕様が一定基準の建物が出るのではないのか。手間ばかりかかり住宅のコスト高につながると思う。講習会もたまたまテキストを読み上げるだけで国の考えている事が分らない。		
東北	設計	省エネ施策	省エネ基準適合義務はH11年度基準ではダメなのか。早期情報が欲しい。努力義務期間中のUA、ηAの基準値はないのか。		
東北	その他	省エネ施策	理想は分かるのだが、寒冷地で産業のない田舎では若い者は家をたてるようがない。全てレクサスにする必要があるのか(車で例えて)。エネルギーを使うのを前提になっている流れが疑問です。使わない我慢する「心」が大事なのではないでしょうか。設計から施工まで昔より多くの産業と金がかかります。客にとって本当の良い家はここがエネであってはいらないと思います。		
関東	施工	省エネ施策	これほどの施工をしなければならぬのか不思議でした。今まで施工をしても、お施主は冬は暖かいですね、夏もエアコンのききが良いと聞いて、大変喜んでいただけます。計算して数字をだすことに、それだけの意味があるのでしょうか。		
関東	現場管理	省エネ施策	設計者向けの講習を施工者向けの回に割り込んでほしい。無理をしてきたが少し考えが偏っていないか？この基準の周知方法が分かりにくいので、もう少し分かり易くハウスメーカーなどに先立って学べるようにして欲しい。それが一般工務店、大工職人を育てると思うのですが...		
関東	設計	省エネ施策	複層ガラスには性能の保証が7年とあると思いますが、断熱材などの性能保持能力と差があると思います。機能を保持させるために国はこのへんのことは、どのように考えているのでしょうか？		
関東	設計	省エネ施策	断熱と24H換気は矛盾していると思う		
関東	設計	省エネ施策	これはこれで勉強しなければならぬことだと思うが、本当に健全な建物なのか悩む。また、様々な建築的解法を一つの基準にのみはかり、判断基準としてしまっているのか？		
関東	設計	省エネ施策	防湿層簡単にキッチリ張れない梁あるからそれとも全室天井へ壁に張るのか。冬はいいが夏は外から室内に向けて水蒸気が向かってくるため防湿層の軸内で結露する。夏型結露考えると防湿層は疑問。ペットボトルハウスになるのはいや、どんな家に住みたいか？法律を決める人たちはどう考えているのだから？建築材料にしても原油にたよる材料をこれ以上勧めるということが良いのだろうか？もう少し大きな目で日本の住いの計画してほしい。密閉度が高い住宅は危険、省エネが大事か命が大事か？		
関東	設計	省エネ施策	・日本の伝統的な工法について造り続けられる様にして欲しい。・薪ストーブが選べるとよい。・エアコンを使っていない(設けない)家は、エネルギー計算に算入しないで欲しい。・家電エネルギーを何とかしないとけない。		
関東	設計	省エネ施策	「夏を旨とすべし」(徒然草)の意味をきちんと理解してください。現在の住宅は「冬を旨とすべし」だと思います。省エネ住宅を設計する基本中の基本だと思います。		
関東	設計	省エネ施策	省エネの設計内容を数値化して基準値と比較できるのが大変良いと思う		
北陸	設計	省エネ施策	もっと低所得者のための住宅を考えてほしい		
中部	施工	省エネ施策	設計にあたり、計算コストや施工手間コストの単価をどうしていくのか？中小企業の工務店へのサポート等の予定(代行による計算)。和室での真壁納めはどの様にしたら良いでしょうか？外壁材へーベルは考慮されないのでしょうか？ネグレス工法において天井面でも気密止めは必要でしょうか？		
中部	現場管理	省エネ施策	25年度省エネ基準と低炭素住宅とちがう様ですが、低炭素住宅は市街化調整区域ではできないのですか。それはなぜですか。省エネを推進している割に国はどのように考えているのですか。調整区域にも人は住みたいのですが差別ですか。平等ではないです！！		
中部	現場管理	省エネ施策	丁寧なテキストと説明で分かりやすかった。講習会の直接的な内容ではないが、ガラスウールは特に赤外線を通すので、数値上の性能は無いと思う。外壁をサイディングなど前提に通気を義務化するのをおかしい、板張りや左官工法など自然と湿気を排出する工法を認めるべきだ。		
中部	設計	省エネ施策	省エネを考えることは一つの住まいの考え方としてあって良いと思うが、適合義務化は設計主旨を持った建築に対して、(例えば周辺環境と一体となる、風を通すような住まいにする等)かなりの制約を強いられたいと思います。そのような建築や伝統的な日本の建築に対して特例を作るべきだと思う。あるいは義務化するべきではないと思う。そのあたりをどう考えられているかを知りたい。		
中部	設計	省エネ施策	一日の講習であれだけのテキストはハードすぎる。形式だけの講習会でナンセンス！個人住宅への義務付けは疑問！(省エネ設計の)		
中部	設計	省エネ施策	これで本当にいい住宅ができるのか。単調で創造性のない建物ができないか少し不安。制度にしばられすぎると結局、性能と金額のみが価値基準になってしまうのでは？懸念してしまいます。		
中部	設計	省エネ施策	もっと簡略化になるようにしてほしい		
中部	設計	省エネ施策	省エネの理念は崇高であるがコスト面に対する建築主の理解が不可欠。法的規制を掛けるしかないと思う。		
中部	設計	省エネ施策	講習は良いけど、こんなにもんどくさい事を誰が考えたのか？		

中部	設計	省エネ施策	暖房効率を考えると高気密高断熱に行きつづが、義務化となると疑問がある。高山ではパンプスをうまく使おうと冷房が不要であるし、中間期の快適さを犠牲にしている気がする。		
中部	設計	省エネ施策	省エネのめざす内容や計算が難しいので個人や工務店レベルでの対応にはレベル差が生じてくると思われます。簡略な内容を検討してからの導入とすれば良いが、5年後は混乱が多数生じると思われる。		
近畿	現場管理	省エネ施策	国も省エネ住宅などに補助金を出すなど本格的に取り組もうとしている中で、このような講習会をもっと行って頂きたいと思いました。		
近畿	設計	省エネ施策	省エネを満す事により、国や世界レベルでどう貢献されているのかのデータがない(示されていない)		
近畿	設計	省エネ施策	設計者の負担がふえるのでこの手法は見直してほしい		
近畿	設計	省エネ施策	講習内容が難しいのはしかたない。もっと簡単な基準に定着すべきと思う。内容がハード、ほんとに普及したいのかと思う。		
近畿	その他	省エネ施策	施工及び設計など川下の意識が向上しなければ省エネ住宅は増えない。国交省様など支援頂きたい(補助金、研修等)		
中国	設計	省エネ施策	法定化したのであれば、資格として位置付けるべきだと思う。断熱化は理解できるが、建築主へインセンシャルコストの負担が大きくなり、建替え新築がすすましくなると思う。		
中国	設計	省エネ施策	べた基礎+床断熱の場合？土壁は断熱性能は無いと聞いたが実際は冬すこしやすきを体感できるか？いかなのか。C値も法で基準を設けるべきと思います。外皮数値を上げる事はすぐにできますが、C値が低ければ意味がないのでは？例)評価は1cm/cmで行ない、施工時のC値で完成後の性能を標示する。		
九州・沖縄	現場管理	省エネ施策	今現在の省エネ基準はおしつてみたい感じで、仕様を上げればOKという風潮があるように思う。その地域に合った仕様で十分だと思う。物事に過剰に反応して、必要以上にコストを上げている様な点もあるのではないのでしょうか。適正な指導、施工が必要だと思います。		
九州・沖縄	現場管理	省エネ施策	全体のエネルギーからして動力・照明に手を入れるべきであり建物についても壁・天井・床より開口部を強化するだけで良いように感じる。法規制してもお金がかかるとは望めない。		
九州・沖縄	現場管理	省エネ施策	もっと単純明快にできないでしょうか。性能表示、フラット35等…区別まったくわかりません。		
九州・沖縄	現場管理	省エネ施策	0℃、内13.5℃？まだ低い。我々は20℃以上です。無冷暖房住宅を目指さないといけない！※計算表のエクセルデータを入手する方法はないですか。		
九州・沖縄	設計	省エネ施策	九州のような暖かい地域では、内部防湿層まで施工する必要はないという専門家もいるが？(内壁側はPBや合板で十分)この辺は仕様や性能値で規準があいまいように思える。		
九州・沖縄	設計	省エネ施策	住宅の性能保証と、省エネ法の届け出で、参考文献が異なり、Rtの数値が微妙に違い指摘を受けたことがあり統一してほしい。H11の告示が解釈が困難でした。		
九州・沖縄	設計	省エネ施策	詳細計算方法より仕様規定法で誰でも簡単に理解できる(利用できる)制度化が専門家の育成(省エネに特化した専門家がメーカー等)が、省エネの普及の速度に掛かるのでは？場合によっては指定機関でも。		
九州・沖縄	その他	省エネ施策	外皮計算についてはソフトウェアの普及などがなければ対応が遅れると思った		
東北	設計	地域性	地域性のある説明があってもよい(青森を例にした問題があってもよかった)	1	地域性
関東	設計	伝統工法	伝統工法はこれには入れてほしくないです。昔ながらの家造りの低下になりますね。窓の無い家が増える傾向にあります。	7	伝統工法
関東	その他	伝統工法	法隆寺に見られるように、世界最古の木造建築が、我が国の気候にてきた工法であると思いますが、私は新建築により失われていくのではと危惧します		
北陸	設計	伝統工法	木造伝統工法に対する配慮はあるのか。ぜひ考えて頂きたい。		
中国	現場管理	伝統工法	伝統工法がこれからは難しくなる。これで良いのだろうか？エネルギーを多く使って作った建材と湿度の多い日本で通風より気密が重要なのか？矛盾が頭の中で葛藤している。せめて伝統工法と気密のどちらかを選べる補法があっても良いと思う。		
中国	現場管理	伝統工法	伝統工法のゆえに気がなります		
中国	設計	伝統工法	民家などに対する考え方が今ひとつはつきりしません。特に日本特有の建築工法に対する考え方が、全否定されている様でなりません。本当にこれで良いか疑問です。		
九州・沖縄	設計	伝統工法	真壁の和室をどうつづけたらよいか言及がない。住宅メーカー擁護の政策としか思えない点が多い。伝統、文化を理解しない役人、メーカーの智恵としか思えない。		
関東	設計	特定の工法・材料	外断熱が省略されているのが残念(テキスト含め)もう少し踏み込んだ講習かと思った。	7	特定の工法・材料
東北	その他	特定の工法・材料	在来と枠組工法の違いの説明があると良かったです		
関東	設計	特定の工法・材料	気密住宅化にすることが、一番良い事がわかったが、セルロースファイバー断熱材の特長である、調湿機能が使えないとなると、セルロースファイバー断熱材の意味が無いような気がしました。		
北陸	設計	特定の工法・材料	私は施工講習の講師もしていますが、当地では袋に入ったグラスウールでの断熱施工を標準仕様にして断熱住宅をうたっている業者は少ないと思われる。気密層にはシート状の製品で、ペーパーバリアでの普及が必要と思われます。		
中部	施工	特定の工法・材料	サーモウール(羊毛)の性能は？調湿性能のある断熱材であれば室内側の防湿は不要？真壁の場合の計算方法も教えていただきたい		
九州・沖縄	設計	特定の工法・材料	従来の断熱の考えでは暑土の侵入を遅らせることができても、建物内に蓄熱すると体感温度は暑いままだと思うので、対策をいくつか聞いてみたいと思いました。ガイナを塗るだけで今日話した断熱、結露他の問題を県内では全て解消しておりますが、施工主と我々だけで満足しているのが現状です。今日は勉強になりました。ありがとうございます。		
中国	現場管理	特定の工法・材料	外壁、内壁共に真壁の場合、壁内部は30cm程度になりますが、断熱性能的に良い物はありますでしょうか		

受講後の感想など

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	その他	設計	日常の業務でしている事なので、講習会を受けなくても良いと思う。ゼロエネ、長期ブランド、その他省エネ性能評価政策にのっとった家造りしている人は除外しても良いと思う。	1	設計できている
東北	設計	(再)確認ができた	設計で断熱を吟味しても、現場の方々の意識が低いと、良い材料を使っても無駄になってしまうのは、建築主にとっても悲しいことだと思います。断熱を留めるビスの留め方でテキストのように効果が半減するのはビックリです。	13	(再)確認ができた
関東	設計	(再)確認ができた	とても分かりやすかったです。空気止めなければいけないとは、知りませんでした。聞くことができてよかったです。		
関東	設計	(再)確認ができた	省エネの意識が高まりました。施工について今後の参考にしたいと思います。		
関東	設計	(再)確認ができた	省エネの知識がないので久しぶりに聞く用語ばかりでしたが読み直して今後に活かしていきたいです。ありがとうございました。		
関東	設計	(再)確認ができた	とても勉強になりました。また、いかに自分(会社も?)が断熱・省エネに対して意識が低いかよく分かりました。		
関東	その他	(再)確認ができた	勉強不足でした		
中部	設計	(再)確認ができた	計算も大切ですが、それ以上に結露防止の施工方法設計が大切だと思います。		
近畿	設計	(再)確認ができた	大変わかりやすかったです。ありがとうございました。通気層をとること、通気止めの関係がわかっていなかったのですが理解できました。		
中国	設計	(再)確認ができた	省エネの考え方がよく分かった		
中国	設計	(再)確認ができた	気流と防湿層対策の必要性を再確認しました。気流に関しては施工もしっかりしていきたいです。ありがとうございました。		
四国	施工	(再)確認ができた	本日の講習でいっそう理解が深まりました		
九州・沖縄	設計	(再)確認ができた	断熱、省エネについて勉強し直す良い機会となりました。ありがとうございました。		
九州・沖縄	設計	(再)確認ができた	時宜を得た、非常に有意義で貴重な講習で、実に参考となった。又、省エネの重要性を再認識した。今後の設計に活かしたい。		
関東	設計	今後が心配	テキスト、説明共に分かりやすかったのですが、講義で時間内にできなかった部分については、まだやったことのない部分に関して不安があります。断熱の審査など、義務化に伴いどのような形で進んでいくのかなど。	6	今後が心配
関東	設計	今後が心配	規程が複雑化してくると設計事務所も工務店も建材メーカーにたよるようになりがちです。時間があれば自分で計算すると思いますが、、メーカーなしでできなくなる不安が付きまきます。Web上で簡単にできるような計算手順を増やしたりしておいていただけると、良いと思います。		
関東	設計	今後が心配	今日の内容では概論といった感じで、運用に不安がある。		
北陸	施工	今後が心配	コストがあがることをお客が納得するかが、難しく…目に見えないから		
近畿	設計	今後が心配	内容的に時間が長い、内容が難しいのは仕方ないと思うが、実務で自分でできるかは不安		
九州・沖縄	その他	今後が心配	難しいですね。家を建てる自由度をまもれるのか心配になっていきます		
北海道	現場管理	その他	UAの計算はまず何回も実例で計算しておぼえていくようになると思う。でも仕様基準を使っていくのだからと思う。	74	その他
北海道	現場管理	その他	受付開始から15分遅れて全員が受付終了が講習会開始の直前であった。主催者側の対応は早めに行う事。開会主旨説明と第一講の開始時間が同じとプログラムに記載されているが、ありえないので第一講の開始時間と10分遅くする事。時間の制約から説明が駆け足になった。要点を絞るか、もっと時間をかけるべきである。基本編が余分である。設計者テキストに限定し、プログラムを使い一次エネルギー消費量の計算は割愛して演習を充実すべき。		
北海道	設計	その他	一日講習は濃かったです		
北海道	設計	その他	講習会のテキストの要点をDVDで有料で出すことはどうか。講習会説明だけでは理解するに時間不足に思えます。		
東北	現場管理	その他	外皮の計算に早くなれたと思います		
東北	設計	その他	数年経過するとまた別の基準が設定されるだろう。そのつどこのような内容の濃い講習会が開かれることを希望します。		
東北	設計	その他	予備知識がないとなかなか大変である。記号の意味位は頭に入っていないとスムーズに講義を聞いて行けないと感じます。事前勉強不足でした。		
東北	設計	その他	充実した内容ですが、反面ボリュームが多く大変。講師の方はご苦労様でした。		
関東	施工	その他	早く省エネ住宅に進まないメーカーとの格差がひろがり設計者、施工者共新築の住宅についていけなくなる。共に手を取り進んでいかなければ！		
関東	現場管理	その他	演習問題には面食らったが審査は楽だった		
関東	現場管理	その他	埼玉県にて安心して計算を依頼(有料)出来る業者さんをご紹介して頂けると助かります		
関東	設計	その他	外皮面積の算出が一番プランによって処理が大変そうと感じた		
関東	設計	その他	基礎的な内容は理解できましたが、実際の物件で計算するとなると、わからないことがたくさんありそうです。		
関東	設計	その他	施工主のほうでは安い住宅も必要断熱材がもっと安くねば…断熱サッシももっと安くねば		
関東	設計	その他	修了審査があるとは思わなかった		

関東	設計	その他	選ぶサッシ、断熱材によって性能が決定できてしまう。現時点からゼロエネを目指すべきであると思うが、イニシャルコスト+ランニングコストがローン期間中にどうであるか、の検討が必要だと思う。
関東	設計	その他	役人の天下り機関におどらされる事無く、きちんと仕事をしたい。
関東	設計	その他	将来の省エネの方向性について多く学ぶ事ができました。但し、国の省エネへの方向と施主、設計者の総合的な判断にまだ隔りがあるように思います。
関東	設計	その他	お茶がでると嬉しかったです...
関東	設計	その他	セミナー中にP37に誤りがあるとおっしゃっていましたが、(荒尾講師)正誤表内には、P37についての記述がないのですが、聞き間違いだったのか教えて頂きたいと思いました。
関東	設計	その他	断熱による省エネは、それなりにコストが掛かるものです。寒い暑い感覚なのでなかなか答えが表現出来ないものと考えます。明確に説明出来るものがあればいいと思います。
関東	設計	その他	決まった時間内でもとても効率よく、多くの内容を講義いただいたてよかったです。計算については、実務ではすべて計算なしでは(面積など)ならないので、大変だと思う。ひとつずつ行っていけば出来ることなのでしょう。しかし現実はいつも追われていて間取り(設計)変更のときは大変です。施工編も受けたい、伊丹先生のペースちょうどよいです。
関東	設計	その他	大変勉強になりました。相みつもりで省エネなど対策不要と言う工務店に負けてしまうことが多いので、建築主のスキルアップを望みたいです。
関東	その他	その他	合格者には賞状式の修了証がもらえるとのことだが、これは昨今の他資格の「カード式のみ」と比較し、大変有意義であるので、ぜひ今後も継続してもらいたい。受講する側のモチベーションUPにもなるよ。二級建築士のカード式のみと論外である！今今後の類似の講習の案内をメールもしくはDMで送ってほしい。
関東	無回答	その他	何年かごとの更新と考えました。法改正前後に合わせ実施して頂きありがとうございます。
北陸	現場管理	その他	次世代の省エネルギー基準への対応していく為には、一日で周知できる内容ではなく、重張にした内容を多くしていく事が大切だと感じた。
北陸	現場管理	その他	実際の窓の熱貫流率はサッシサイズ各に違うのでは？Windeyeを利用した方法を紹介するべきでは？
北陸	現場管理	その他	住宅省エネルギー講習 良い講習であったと思います。住宅の質の向上に役立てる為100年住宅を目指した内容で長く使う様な建物が望ましい。
北陸	その他	その他	テキストがわかりやすい、良かった。講習時間が長く疲れました。Webプログラムの入力説明が不足していたと思う。特に多灯分散照明など。フラット35の話は関係なし。時間の無駄。
中部	施工	その他	設備に關してもう少し情報が充実していると良かった。
中部	施工	その他	眠くなってしまふ
中部	現場管理	その他	具体的な施工講習会が無いと真に高断熱、高气密の住宅は造ることができない
中部	設計	その他	Webプログラムを利用して長期優良・低炭素住宅を検討する際、暖房方式や手元止水機能、人感センサー照明などの選択肢があるが、どれを採用するより安価に基準値を満足できるかを知りたい。Webプログラムはブラックボックス化しているので、どの選択肢がどの程度省エネに寄与するのか公開していただけたらありがたい。
中部	設計	その他	窓の小さい住宅がふえる事はできない！
中部	設計	その他	思っていたよりも受講者が少ないと感じた。広く理解してもらうためにもう1~2回講習会を開いてもよいのでは？周知も含めて。
中部	設計	その他	断熱材の種類が多すぎるので減らせないのか
中部	設計	その他	ねむくなります
中部	設計	その他	山梨の事務局の活動(講習会)を増やして欲しい。
中部	設計	その他	内容が多いので理論的な説明はものたりなかった。
中部	設計	その他	解説を受けた部分については、ほぼ理解できたと思うが、細かい所は色々難しい点があるように思った。
中部	無回答	その他	気密についての注意点などを含めた講習
近畿	現場管理	その他	省エネ計算がゆとり細かく、又多岐に渡っているため、数値の拾い方が難しいです。Webサイトではどのサイトがより正確かを教えてほしい。
近畿	現場管理	その他	難しくはないがややこしいです
近畿	設計	その他	法制化すればすぐに普及すると思う
近畿	設計	その他	楽しいを目標に講習会を考えると、もっと盛り上がりそうです
近畿	設計	その他	細かい計算が多すぎて、一回毎に計算するのは、手間がかかりすぎるし、それがどの位住人のコスト減につながるかわかりにくい
近畿	設計	その他	24時間換気:ヒートショック回避の為にトイレに設置しないとのことでしたが台所にとりつけた場合、ダークティーンからの流入になりませんか?暖房割合:暖房の熱効率が悪いのは分かりますが地域差はないのでしょうか?
近畿	設計	その他	断熱の事についてまったくわかっていなかったもので、ついていくのが少し大変でした
近畿	設計	その他	本日の時間内での講習で取得できるものだとは思わない。実戦で何度もくりかえしてやらないと身に付かないと思いました
近畿	設計	その他	実務として基礎まわりの周長や、室内に大きな土間の空間がある場合の取り扱いについて悩む
近畿	その他	その他	CPDA登録お願いします
中国	施工	その他	施工精度の抗玉は不可欠。断熱、気密性能の必要を感じてない方が多い。
中国	現場管理	その他	断熱性能をあげることにコストUPもあつたことを、設計と施工の間で協議することが必要。施工業者への負担を割ける配慮が必要かと思う。
中国	現場管理	その他	多くの計算書類の添付が必要となるが現実の設計費用は合っていない。四角な形の住宅でできたやすすぎない図面作成手書き作業が続く...
中国	現場管理	その他	施工中の設計変更があったら大変だと思いました。窓の大きさも、今までなら、大きくなるのはOK!としていたが、断熱性能が劣る可能性もあり、さけてもらうようにすすめていきたい。施工費がゆきよくなるので、早く家を建てた方がよいですね。(予算がない場合)
中国	設計	その他	20年以上前から省エネ住宅を提案してきたが、やっと世間に認知されてきた感がある。もう少し詳しくてもよい。まだまだ設計者の中には、「夏をむねとする」設計をする人が多いし、そんな人はこの講習には来ない、それが問題である。
中国	設計	その他	Ua値が少しだけ身近に感じる事ができました。ありがとうございました。
中国	設計	その他	まだまだ外皮計算や中身について理解が薄いのので、もう少し実際の現場などで実践し、慣れ理解していきたいと思いました。ありがとうございました。
中国	設計	その他	おもにリフォームをやっているのですが、田舎の大家をどのように減築して使いやすく、住みよい家にしていくか、また古い家いい所は今では、ちょっと通用しないことがよくわかりました。それを施主にどう説明するかが難しいです。
中国	設計	その他	ありがとうございました。手計算は慣れるまでなかなか難しいと思います。Web計算ソフトの活用をマスターしたいと思います。
四国	現場管理	その他	復習と演習が必要
四国	設計	その他	この講習だけでは理解しづらいところがある。日頃から業務の中で遵行していかないといけないと思った。専門の方に計算もお願していたが、自分もやってみようと思いついて改めた。計算の講義もあつたが、それよりもっと深く掘り下げての説明がほしい。計算はWEBでできると思う。
四国	設計	その他	202年へ向け、省エネ等級4以上の建築物が一般化すると、どれほど住み手にとって又地球環境にとって有効かを施主、施工、設計、みんなで前向きに進めていけるよう心掛けたい。
四国	その他	その他	知らない間にどんどん仕様が上がっていくので、このような講習会で改めて勉強することは大変参考になり、ありがたいです。省エネの家、理想です。もっと関連商品を安くしたり、そういう家なら税金とか補助金での優遇があったらとかで推進していったらいいと思います。
四国	その他	その他	12-7関わる人が情報共有する事でい仕事をしやすくなるように思う
九州・沖縄	現場管理	その他	建築費及び設計料、管理料と工事費が高くなって消費者様がこまってしまうのではと思われまふ
九州・沖縄	現場管理	その他	年中換気をする必要性が電気代がかかり他に対策はないのでしょうか?
九州・沖縄	設計	その他	キョ高GL400以上時の面積計算が分かりづらい
九州・沖縄	設計	その他	義務化に向けて技術者全体の底上げを図るためによくまとまっていると思います。これから先はどれだけ実際に手を動かせるか、実務で取り入れるかだと思います。
九州・沖縄	設計	その他	今後、省エネは重要な問題であり、設計者を含め現場で指導できる人材を育成しなければいけないと思う
九州・沖縄	設計	その他	サッシがもっとわかりやすくしてもらいたい
九州・沖縄	設計	その他	省エネについて何の知識もないままに参加したので、解りづらかった。設計事務所としてどう生かしていけばいいのかわかりません。
九州・沖縄	設計	その他	断熱材の種類について色々検討しているのですが、計算上の性能と施工性と価格でなやんでいます。今回の研修で性能に役立てたいと思います。
九州・沖縄	その他	その他	実際にやってみないと分からない、難しいのかわかりませんか?

---

平成26年度国土交通省補助事業 住宅市場技術基盤強化推進事業  
住宅省エネ化推進体制強化事業  
～省エネ設計・施工に関する実態調～ 報告書

平成27年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>

---